

# 2010 研究業績集



## 山形大学

大学院医学系研究科  
医学部

# 目 次

## 医 学 科

### 基礎講座

解剖学第一（形態構造医学）講座	1
解剖学第二（組織細胞生物学）講座	3
生理学講座	5
薬理学講座	7
感染症学講座	8
腫瘍分子医学講座	10
免疫学講座	12
法医学講座	13
分子病態学講座	15

### 臨床講座

内科学第一（循環・呼吸・腎臓内科学）講座	17
内科学第二（消化器内科学）講座	36
臨床腫瘍学講座	47
精神医学講座	49
小児科学講座	51
外科学第一（消化器・乳腺甲状腺・一般外科学）講座	57
外科学第二（循環器・呼吸器・小児外科学）講座	71
整形外科学講座	78
皮膚科学講座	86
腎泌尿器外科学講座	89
眼科学講座	96
耳鼻咽喉・頭頸部外科学講座	103
画像医学講座	111
放射線腫瘍学講座	114
産科婦人科学講座	117
麻酔科学講座	121
歯科口腔・形成外科学講座	125
救急医学講座	130
病理診断学講座	132
人体病理学講座	134

## 看 護 学 科

基礎看護学講座	136
臨床看護学講座	140
地域看護学講座	145

## 医学系研究科

### 生命環境医科学専攻

#### 社会環境予防医学部門

公衆衛生学講座	150
医療政策学講座	154

#### 臨床的機能再生部門

脳神経外科学講座	156
高次脳機能障害学講座	166

#### 分子疫学部門

内科学第三（神経・内分泌代謝・血液内科学）講座	169
生化学・分子生物学講座	175
生命情報工学講座	180

## 医学部附属施設

動物実験施設	182
実験実習機器センター	184
総合医学教育センター	185
遺伝子実験施設	189

## 医学部附属病院

### 中央診療施設

検査部	191
放射線部	196

### 特殊診療施設

輸血部	198
リハビリテーション部	199
病理部	203
薬剤部	205
先端分子疫学研究所（ゲノム情報解析ユニット）	208

## 基礎講座

### 解剖学第一（形態構造医学）講座

#### 1. 論文

##### (1) 原著

- 1) Sagae M, Suzuki K, Fujita T, Sotokawa T, Nakano H, Naganuma M, Narita A, Sato T, Fujii H, Ogino T, Naito A: Strict actions of the human wrist extensors: A study with an electrical neuromuscular stimulation method. Journal of Electromyography and Kinesiology 2010;20:1178-1185

#### 2. 学会報告

##### (1) 国内の学会

###### i 一般演題

- 1) 孫英傑, 白澤信行, 吉田沙織, 内藤輝: ニワトリ後根神経節細胞髄鞘形成におけるタイプIIIニューレグリン-1の局在. 第115回日本解剖学会全国学術集会, 盛岡; 2010年3月
- 2) 小林裕人, 白澤信行, 孫英傑, 加藤丈夫, 内藤輝: 迷走神経切断が雄ラット胃 Aromatase に与える影響. 第115回日本解剖学会全国学術集会, 盛岡; 2010年3月
- 3) 長沼誠, 佐藤寿晃, 小西有美子, 佐藤孝史, 鈴木克彦, 成田亜矢, 藤井浩美, 橋爪和足, 内藤輝: 肘屈曲角度による前腕回外力の変化. 第115回日本解剖学会全国学術集会, 盛岡; 2010年3月
- 4) 成田亜矢, 長沼誠, 鈴木克彦, 佐藤寿晃, 藤井浩美, 橋爪和足, 内藤輝: 患者手首に発する力の大きさと方向の自動計測・表示・記録装置の開発. 第115回日本解剖学会全国学術集会, 盛岡; 2010年3月
- 5) 鈴木克彦, 長沼誠, 成田亜矢, 佐藤寿晃, 藤井浩美, 橋爪和足, 宮坂卓治, 進藤政臣, 内藤輝: ヒト正中神経支配の手内筋から腕橈骨筋への促通: 筋電図平均加算法を用いた解析. 第115回日本解剖学会全国学術集会, 盛岡; 2010年3月
- 6) 佐藤寿晃, 佐藤孝史, 小西有美子, 長沼誠, 鈴木克彦, 成田亜矢, 藤井浩美, 橋爪和足, 内藤輝: 手根の屈曲と伸張が前腕回内力に及ぼす影響. 第115回日本解剖学会全国学術集会, 盛岡; 2010年3月

##### (2) 国内地方会

###### i 一般演題

- 1) 小林裕人, 松田友美, 孫英傑, 白澤信行, 内藤輝: 絶食が胃 Aromatase と内分泌環境に与える影響. 日本下垂体研究会第25回学術集会, 伊良湖; 2010年8月
- 2) 小林裕人, 松田友美, 孫英傑, 白澤信行, 内藤輝: 絶食による胃 Estrogen 合成分泌と内分泌環境への影響. 日本解剖学会第56回東北・北海道連合支部学術集会, 旭川; 2010年9月
- 3) 長沼誠, 成田亜矢, 鈴木克彦, 佐藤寿晃, 藤井浩美, 橋爪和足, 内藤輝: 短橈側手根伸筋と尺側手根伸筋の組合せ神経筋電気刺激による手根の動作制御の試み. 日本解剖学会第56回東北・北海道連合支部学術集会, 旭川; 2010年9月

##### (3) 研究会

###### i 一般演題

- 1) 松田友美, 小林裕人, 吉田沙織, 孫英傑, 白澤信行, 内藤輝: 胃の Estradiol-17 $\beta$  合成分泌は絶食により抑制される. 実験動物セミナー第21回研究成果発表会, 山形; 2010年12月
- 2) 長沼誠, 橋爪和足, 鈴木克彦, 佐藤寿晃, 藤井浩美, 成田亜矢, 内藤輝: 組合せ神経筋電気刺激による手根の動作制御の試み. 第27回山形電気生理研究会, 山形; 2010年12月
- 3) 成田亜矢, 渡辺忠良, 仲野春樹, 荻野利彦, 長沼誠, 橋爪和足, 内藤輝, 鈴木克彦, 佐藤寿晃: 手根の力

と運動の自動計測・表示・記録装置の臨床応用. 第27回山形電気生理研究会, 山形; 2010年12月

(4) その他

- 1) 内藤輝: デジタル動画・波形実時間同期収録装置 The Teraview による手首の運動と力の計測. 第35回嵯の会形態科学シンポジウム, 山形; 2010年7月

3. 学会, 講演会, シンポジウム, ワークショップ等の開催

- 1) 第35回嵯の会形態科学シンポジウム, 山形; 2010年7月
- 2) 第26回山形電気生理研究会, 山形; 2010年12月

## 解剖学第二（組織細胞生物学）講座

### 1. 論文

#### (1) 原著

- 1) Hozumi Y, Watanabe M, Goto K: Signaling Cascade of Diacylglycerol Kinase beta in the Pituitary Intermediate Lobe: Dopamine D2 Receptor/ Phospholipase C- $\beta$ 4/ Diacylglycerol Kinase- $\beta$ / Protein Kinase C- $\alpha$ . J Histochem Cytochem. 2010;58:119-129.
- 2) Evangelisti C, Gaboardi GC, Billi AM, Ognibene A, Goto K, Tazzari PL, McCubrey JA, Martelli AM: Identification of a functional nuclear export sequence in diacylglycerol kinase- $\zeta$ . Cell Cycle. 2010;9:1-6.
- 3) Ishida A, Hozumi Y, Goto K, Ito T, Aoyagi M, Yamakawa M: Expression of glucocorticoid receptor spliced variants in lymphoma cell lines. Hematol Oncol. 2010;DOI:10.1002/hon.964.
- 4) Shibuya N, Suzuki A, Sadahiro R, Kamata M, Matsumoto Y, Goto K, Hozumi Y, Otani K: Association study between a functional polymorphism of FK506-binding protein 51 (FKBP5) gene and personality traits in healthy subjects. Neurosci Lett. 2010;485:194-197.
- 5) Sadahiro R, Suzuki A, Shibuya N, Kamata M, Matsumoto Y, Goto K, Otani K: Association study between a functional polymorphism of tyrosine hydroxylase gene promoter and personality traits in healthy subjects. Behav Brain Res. 2010;208:209-212.

#### (2) 総説

- 1) Yamazaki Y, Hozumi Y, Kaneko K, Fujii S, Goto K, Kato H: Oligodendrocytes: Facilitating Axonal Conduction by More Than Myelination. Neuroscientist. 2010;16:11-18.
- 2) 八月朔日泰和、後藤薫：脂質性二次伝達物質ジアシルグリセロールと代謝酵素 DG キナーゼ. 生体の科学. 2010;61:448-450.

#### (3) 著書

- 1) Goto, K, Hozumi Y, Nakano T, Martelli AM, Hondo H: Methods for measuring the activity and expression of diacylglycerol kinase. Murphy EJ, Rosenberger TA, in "Lipid-mediated signaling". Boca Raton, London, New York; CRC Press, 2010:77-107.

### 2. 学会報告

#### (1) 国内の学会

##### i 一般演題

- 1) 八月朔日泰和、後藤薫：海馬ニューロンの樹状突起形成におけるベータ型ジアシルグリセロールキナーゼの役割. 第115回 日本解剖学会総会、盛岡； 2010年3月
- 2) 岡田雅司、後藤薫：Nuclear assembly protein はDGK $\zeta$ の細胞内局在を制御する. 第115回 日本解剖学会総会、盛岡； 2010年3月
- 3) 田中俊昭、後藤薫：DNA 損傷におけるジアシルグリセロールキナーゼと p53 の役割. 第115回 日本解剖学会総会、盛岡； 2010年3月
- 4) 鈴木祐輔、後藤薫：無酸素無グルコース負荷 (OGD) による $\zeta$ 型ジアシルグリセロールキナーゼの細胞内局在の変化：海馬スライスをを用いた検討. 第115回 日本解剖学会総会、盛岡； 2010年3月
- 5) 岩崎聖、後藤薫：DGK $\zeta$ 欠損マウスにおける骨溶解. 第115回 日本解剖学会総会、盛岡； 2010年3月
- 6) 高橋信也、後藤薫：DGK $\zeta$ 結合蛋白 NAP1 と NAP2 の脳内局在解析. 第115回 日本解剖学会総会、盛岡； 2010年3月

(2) 国内地方会

i 一般演題

- 1) 八月朔日泰和、渡辺雅彦、後藤薫：下垂体中間葉細胞におけるベータ型ジアシルグリセロールキナーゼ (DGK  $\beta$ ) の情報伝達系. 第56日本解剖学会・東北北海道地方会, 旭川； 2010年9月
- 2) 田中俊昭、後藤薫：細胞質局在型ジアシルグリセロールキナーゼは細胞死を抑制する. 第56日本解剖学会・東北北海道地方会, 旭川； 2010年9月

(3) 研究会

i シンポジウム

- 1) Goto K. Subcellular localization of diacylglycerol kinase and its regulatory mechanism. 5th Meeting on DGK, Kobe, Japan; December 2010

(4) その他

- 1) 八月朔日泰和: 共焦点顕微鏡. 大学院トレーニングコース; 2010年12月

# 生理学講座

## 1. 論文

### (1) 原著

- 1) Jia Y, Yamazaki Y, Nakauchi S, Ito K-I, Sumikawa K: Nicotine facilitates long-term potentiation induction in oriens-lacunosum moleculare cells via  $Ca^{2+}$  entry through non- $\alpha 7$  nicotinic acetylcholine receptors. *Eur J Neurosci* 2010; 31: 463-476
- 2) Yamazaki Y, Hozumi Y, Kaneko K, Fujii S, Goto K, Kato H: Oligodendrocytes: Facilitating axonal conduction by more than myelination. *The Neuroscientist* 2010;16: 11-18
- 3) Fujii S, Yamazaki Y, Kuroda Y, Mikoshiba K: Involvement of IP3 receptors in synaptic plasticity induced in hippocampal CA1 neurons by low-frequency stimulation. *Neuroscience* 2010;168: 346-358
- 4) Yoshioka M, Yamazaki Y, Fujii S, Kaneko K, Kato H, Mikoshiba K: Intracellular calcium ion dynamics involved in long-term potentiation in hippocampal CA1 neurons in mice lacking the IP3 type 1 receptor. *Neurosci Res* 2010;67: 149-155
- 5) Goto J, Suzuki AZ, Ozaki S, Matsumoto N, Nakamura T, Ebisui E, Fleig A, Penner R, Mikoshiba K: Two novel 2-aminoethyl diphenylborinate (2-APB) analogues differentially activate and inhibit store-operated  $Ca^{2+}$  entry via STIM proteins. *Cell Calcium* 2010;47(1):1-10
- 6) Ozaki S, Ebisui E, Hamada K, Goto J, Suzuki AZ, Terauchi A, Mikoshiba K: Potent transglutaminase inhibitors, aryl beta-aminoethyl ketones. *Bioorg Med Chem Lett* 2010;20(3):1141-1144
- 7) Suzuki AZ, Ozaki S, Goto J, Mikoshiba K: Synthesis of bisboron compounds and their strong inhibitory activity on store-operated calcium entry. *Bioorg Med Chem Lett* 2010;20(4):1395-1398
- 8) Yamazaki Y, Hozumi Y, Kaneko K, Fujiwara H, Kato H, Fujii S: Modulation of neuronal activities by interactions between neurons and glial cells. *Hirosaki Med J* 2010;60 (Suppl): S174-S180

### (2) 総説

- 1) 山崎良彦: 海馬神経回路におけるニコチンの作用. *日本薬理学雑誌* 2010;136: 31-35

### (3) 著書

- 1) 藤井聡: CBT こあかり リ・コ 2010 五肢択一形式篇 「CBT こあかりリ・コ」編集委員会編, 東京; 医学評論社, 2010
- 2) 藤井聡: CBT こあかり リ・コ 2010 連問形式篇 「CBT こあかりリ・コ」編集委員会編, 東京; 医学評論社, 2010
- 3) 藤井聡: CBT こあかり リ・コ 2010 オールチェック 「CBT こあかりリ・コ」編集委員会編, 東京; 医学評論社, 2010

## 2. 学会報告

### (1) 国際学会

#### i 特別講演

- 1) Yamazaki Y: Properties of perineuronal oligodendrocytes and its modulatory effects on neuronal activities in CA1 region of rat hippocampus. The 29th Naito Conference “Glia World-Dynamic function of glial cells in the brain”, Shonan Japan; October 2010

### (2) 国内の学会

#### i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 藤井聡, 相原威, 磯村宜和, 高橋晋: 脳のリズムとシナプス可塑性 (特異的入力パターンにより誘導されるシナプス可塑性). 第87回日本生理学会大会, 盛岡; 2010年5月

#### ii 一般演題

- 1) 藤井聡: 長期間のエタノール投与による海馬長期増強促進効果. 第20回日本病態生理学会大会, 奈良; 2010年1月



### (3) 国内地方会

#### i 一般演題

- 1) 山崎良彦, 八月朔日泰和, 金子健也, 藤原浩樹, 千田邦明, 後藤純一, 藤井 聡: 介在ニューロン付随性オリゴデンドロサイトによる介在ニューロン発火に対する修飾効果. 第43回東北生理談話会, 秋田; 2010年10月

### (4) 研究会

#### i 一般演題

- 1) 後藤純一: ストア作動性カルシウムチャネルに対する新規ビスホウ素化合物の作用の解析. 第27回山形電気生理研究会, 山形; 2010年12月
- 2) 藤原浩樹, 金子健也, 伊藤貴史, 上村雄太, 松木淳, 矢尾板亮, 藤井聡: ラット行動学習への慢性アルコール投与効果. 実験動物セミナー 第21回研究成果発表会, 山形; 2010年12月

# 薬理学講座

## 1. 論文

### (1) 総説

- 1) 石井邦明：電氣的リモデリングに対するベプリジルの作用 (Editorial comment). 心電図 2010 ; 30 : 142.

### (2) その他

- 1) Ishii K : Elsevier' s Integrated Pharmacology. (Editors: Kester M, Vrana KE, Quraishi SA, Karpa KD) MOSBY ELSEVIER, 2010; p81-101, p115-136, p157-164. (翻訳)

## 2. 学会報告

### (1) 国際学会

#### i 一般演題

- 1) Tsutakawa S, Norota I, Yamazaki Y, Ohkura M, Ishii K: Internalization of KCNQ1 protein by activation of AT<sub>1</sub> receptor and  $\alpha_1$  adrenergic receptor. World Congress of the ISHR, Kyoto, May 2010

### (2) 国内の学会

#### i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 石井邦明：I<sub>Ks</sub> チャネルの修飾機構：質的修飾と量的修飾. 第27回日本心電学会学術集会 (臨床医のための心臓生理・心臓薬理学), 大分 ; 2010年10月

#### ii 一般演題

- 1) 蔦川修生, 野呂田郁夫, 呉 明華, 石井邦明 : KCNQ1/KCNE1チャネルの $\alpha_{1A}$ アドレナリン受容体刺激によるインターナリゼーションの可能性. 第83回日本薬理学会年会, 大阪 ; 2010年3月
- 2) 呉 明華, 蔦川修生, 野呂田郁夫, 石井邦明 : インスリンによるKCNQ1/KCNE1電流の抑制. 第83回日本薬理学会年会, 大阪 ; 2010年3月

### (3) 国内地方会

#### i 一般演題

- 1) 蔦川修生, 野呂田郁夫, 呉 明華, 石井邦明 :  $\alpha_{1A}$ アドレナリン受容体刺激によるインターナリゼーション KCNQ1 インターナリゼーションのメカニズム. 第 61 回日本薬理学会北部会, 札幌 ; 2010 年 9 月
- 2) 呉 明華, 野呂田郁夫, 蔦川修生, 石井邦明 : Effects of insulin on KCNQ1/KCNE1 channel expressed in *Xenopus* oocytes. 第 61 回日本薬理学会北部会, 札幌 ; 2010 年 9 月

### (4) その他

- 1) 石井邦明 : 心筋K<sup>+</sup>チャネルの機能とその修飾機構 : 最近の話題. 北里大学大学院特別講義, 東京 ; 2010年6月
- 2) 石井邦明 : 薬と人類との関わり. 青森高校2年ドリーム講座, 青森 ; 2010年11月

## 3. 学会, 講演会, シンポジウム, ワークショップ等の開催

- 1) 第 22 回蔵王カンファレンス, 山形 ; 2010 年 1 月

# 感染症学講座

## 1. 論文

### (1) 原著

- 1) Matsuzaki Y, Mizuta K, Takashita E, Okamoto M, Itagaki T, Katsushima F, Katsushima Y, Nagai Y, Nishimura H: Comparison of virus isolation using the Vero E6 cell line with real-time RT-PCR assay for the detection of human metapneumovirus. *BMC Infect Dis* 2010;10:170
- 2) Matsuzaki Y, Mizuta K, Aoki Y, Suto A, Abiko C, Sanjoh K, Sugawara K, Takashita E, Itagaki T, Katsushima Y, Ujike M, Obuchi M, Odagiri T, Tashiro M: A two-year survey of the oseltamivir-resistant influenza A(H1N1) virus in Yamagata, Japan and the clinical effectiveness of oseltamivir and zanamivir. *Virology* 2010;7(1):53
- 3) Muraki Y, Furukawa T, Kohno Y, Matsuzaki Y, Takashita E, Sugawara K, Hongo S: Influenza C virus NS1 protein upregulates the splicing of viral mRNAs. *J Virol* 2010;84(4):1957-1966
- 4) Okamoto M, Sugawara K, Takashita E, Muraki Y, Hongo S, Nishimura H, Matsuzaki Y: Longitudinal course of human metapneumovirus antibody titers and reinfection in healthy adults. *J Med Virol* 2010;82(12):2092-2096
- 5) Mizuta K, Abiko C, Aoki Y, Ikeda T, Itagaki T, Katsushima N, Matsuzaki Y, Hongo S, Noda M, Kimura H, Ahiko T: Endemicity of human metapneumovirus subgenogroups A2 and B2 in Yamagata, Japan, between 2004 and 2009. *Microbiol Immunol* 2010;54(10):634-638
- 6) Aoki Y, Suto A, Mizuta K, Ahiko T, Osaka K, Matsuzaki Y: Duration of norovirus excretion and the longitudinal course of viral load in norovirus-infected elderly patients. *J Hosp Infect* 2010;75(1):42-46
- 7) Okamoto M, Sugawara K, Takashita E, Muraki Y, Hongo S, Mizuta K, Itagaki T, Nishimura H, Matsuzaki Y: Development and evaluation of a whole virus-based enzyme-linked immunosorbent assay for the detection of human metapneumovirus antibodies in human sera. *J Virol Methods* 2010;164(1-2):24-29
- 8) Yasuda T, Yamaki M, Iimura A, Shimotai Y, Shimizu K, Noshita T, Funayama S: Anti-influenza virus principles from *Muehlenbeckia hastulata*. *J Nat Med* 2010;64(2):206-211.

### (2) 総説

- 1) Muraki Y, Hongo S: The molecular virology and reverse genetics of influenza C virus. *Jpn J Infect Dis* 2010;63(3):157-165
- 2) 松寄葉子: A型、B型およびC型インフルエンザウイルス. *日本臨床* 2010;68(suppl 6):376-379

## 2. 学会報告

### (3) 国際学会

#### i 一般演題

- 1) Hongo S, Muraki Y, Furukawa T, Kohno Y, Matsuzaki Y, Takashita E, Shimotai Y, Sugawara K: Influenza C virus NS1 protein up-regulates viral mRNA splicing. *Options for the Control of Influenza VII*, Hong Kong; September 2010
- 2) Shimotai Y, Shibata T, Sasaki Y, Saito M, Kuroda K, Tanaka T, Hongo S, Hayakawa S, Shimizu K: Overexpression of UBE2L6 gene inhibits the propagation of influenza virus. *Options for the Control of Influenza VII*, Hong Kong; September 2010
- 3) Sasaki Y, Shimotai Y, Shibata T, Kuroda K, Yamamoto T, Shimizu K: Overexpression of IFIT1 inhibits the growth of influenza virus. *Options for the Control of Influenza VII*, Hong Kong; September 2010
- 4) Shimizu K, Sasaki Y, Shibata T, Watanabe S, Nishikawa T, Toyosawa K, Iguchi A, Shimotai Y, Tanaka T, Kuroda K, Shimizu N, Yamamoto N, Yamamoto T: Avirulent H3N2 influenza A virus acquired virulence

during infection in a severe immunodeficiency NOG mouse by a mutation on NS1 gene. Options for the Control of Influenza VII, Hong Kong; September 2010

- 5) Furukawa T, Muraki Y, Sugawara K, Matsuzaki Y, Takashita E, Shimotai Y, Hongo S: The role of the CM2 protein in the influenza C virus replication. Options for the Control of Influenza VII, Hong Kong; September 2010
- 6) Muraki Y, Okuwa T, Furukawa T, Matsuzaki Y, Sugawara K, Himeda T, Hongo S, Ohara Y: Role of palmitoylation of CM2 in the influenza C virus replication. Options for the Control of Influenza VII, Hong Kong; September 2010
- 7) Takashita E, Sugawara K, Matsuzaki Y, Hongo S, Goto H, Kawaoka Y, Nobusawa E: Compatibility between hemagglutinin and neuraminidase affects the growth of H3N2 influenza A viruses. 14th International Negative Strand Virus Meeting, Bruges; June 2010

#### (4) 国内の学会

##### i 一般演題

- 1) 清水一史, 佐々木裕, 芝田敏克, 西川智子, 豊澤恵子, 渡辺哲, 井口晃史, 下平義隆, 田中寅彦, 黒田和道, 山本樹生: 重度免疫不全NOGマウスにおける弱毒インフルエンザウイルスのNS1遺伝子点突然変異による強毒性の獲得. 第33回日本分子生物学会年会, 神戸; 2010年12月
- 2) 板垣勉, 松寄葉子: 1歳未満児のヒトメタニューモウイルス (hMPV) 感染症. 第42回日本小児感染症学会, 仙台; 2010年11月
- 3) 村木 靖, 大桑孝子, 古川孝俊, 松寄葉子, 菅原勘悦, 姫田敏樹, 本郷誠治, 大原義朗: C型インフルエンザウイルスの増殖過程におけるCM2のPALMITOYLATIONの意義. 第24回インフルエンザ研究者交流の会, 軽井沢; 2010年7月
- 4) 松寄葉子, 板垣勉, 勝島史夫, 勝島由利子, 永井幸夫: 迅速診断キットで診断したヒトメタニューモウイルス感染症の臨床像とウイルス量の推移. 第113回日本小児科学会学術集会, 盛岡; 2010年4月

#### (5) 国内地方会

##### i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 松寄葉子: 地衛研と感染症臨床との連携. 第39回日本感染症学会東日本地方会学術集会, 東京; 2010年10月

##### ii 一般演題

- 1) 下平義隆, 芝田敏克, 佐々木裕, 齋藤誠, 黒田和道, 田中寅彦, 本郷誠治, 早川智, 清水一史: UBE2L6遺伝子の過剰発現によるインフルエンザウイルスの増殖抑制. 第64回日本細菌学会東北支部総会, 仙台; 2010年8月

#### (6) 研究会

##### i 特別講演

- 1) 松寄葉子: ノロウイルス感染症の特徴と最近の話題. 仙台医療センター地域医療研修センター講演会, 仙台; 2010年4月
- 2) 松寄葉子: 小児におけるヒトメタニューモウイルスの病原性. 東北小児感染症懇話会 2010, 仙台; 2010年1月

# 腫瘍分子医科学講座

## 1. 論文

### (1) 原著

- 1) Sato A, Sunayama J, Matsuda KI, Tachibana K, Sakurada K, Tomiyama A, Kayama T, Kitanaka C: Regulation of neural stem/progenitor cell maintenance by PI3K and mTOR. *Neurosci Lett* 2010;410:115-120
- 2) Sato A, Sakurada K, Kumabe T, Sasajima T, Beppu T, Asano K, Ohkuma H, Ogawa A, Mizoi K, Tominaga T, Kitanaka C, Kayama T: Association of stem cell marker CD133 expression with dissemination of glioblastomas. *Neurosurg Rev* 2010;33:175-184
- 3) Tomiyama A, Tachibana K, Suzuki K, Seino S, Sunayama J, Matsuda KI, Sato A, Matsumoto Y, Nomiya T, Nemoto K, Yamashita H, Kayama T, Ando K, Kitanaka C: MEK-ERK-dependent multiple caspase activation via mitochondrial proapoptotic Bcl-2 family proteins is essential for heavy ion irradiation-induced glioma cell death. *Cell Death Dis* 2010;1:e60
- 4) Sunayama J, Sato A, Matsuda KI, Tachibana K, Suzuki K, Narita Y, Shibui S, Sakurada K, Kayama T, Tomiyama A, Kitanaka C: Dual blocking of mTOR and PI3K elicits a pro-differentiation effect on glioblastoma stem like-cells. *Neuro-Oncol* 2010;12:1205-1219
- 5) Sunayama J, Matsuda KI, Sato A, Tachibana K, Suzuki K, Narita Y, Shibui S, Sakurada K, Kayama T, Tomiyama A, Kitanaka C: Crosstalk between the PI3K/mTOR and MEK/ERK pathways involved in the maintenance of self-renewal and tumorigenicity of glioblastoma stem-like cells. *Stem Cells* 2010;28:1930-1939

### (2) 総説

- 1) 北中千史: 脳腫瘍の生化学. 日本臨床増刊号 新時代の脳腫瘍学 2010;68(10):31-39

## 2. 学会報告

### (1) 国際学会

#### i シンポジウム・ワークショップ等

- 1) Sato A, Sunayama J, Matsuda KI, Tachibana K, Sakurada K, Tomiyama A, Kayama T, Kitanaka C: Regulation of neural stem/progenitor cell maintenance by PI3K and mTOR. The 18<sup>th</sup> International Conference on Brain Tumor Research and Therapy, Travemuende; May 2010

#### ii 一般演題

- 1) Sato A, Sakurada K, Kumabe T, Sasajima T, Beppu T, Asano A, Ohkuma H, Ogawa A, Mizoi K, Tominaga T, Kitanaka C, Kayama T: Association of stem cell marker CD133 expression with dissemination of glioblastomas. The 9<sup>th</sup> International Conference of the Asian Clinical Oncology Society, Gifu; August 2010

### (2) 国内の学会

#### i シンポジウム・教育講演等

- 1) 北中千史: アポトーシス - 基礎知識とがん領域での最近の話題 - . 第12回放射線腫瘍学夏季セミナー, 山形; 2010年8月
- 2) 北中千史: フリーラジカル産生を超えた、ミトコンドリアと腫瘍の新たな関係. 第11回日本分子脳神経外科学会, 仙台; 2010年8月
- 3) 北中千史: 脳神経外科のキャリアパスについて: 研究 ~グリオブラストーマ克服を夢見て迷い込んだ道~ . 日本脳神経外科学会第69回学術総会, 福岡; 2010年10月

#### ii 一般演題

- 1) Sunayama J, Matsuda KI, Sato A, Tachibana K, Narita Y, Shibui S, Sakurada K, Kayama T, Tomiyama A, Kitanaka C: Crosstalk between the PI3K/mTOR and MEK/ERK pathways involved in the regulation of stemness of glioblastoma stem cells. 第69回日本癌学会学術総会, 大阪; 2010年9月
- 2) Tomiyama A, Sunayama J, Tachibana K, Sato A, Kayama T, Kitanaka C: Mechanism of heavy ion

- radiation-induced glioma cell death. 第69回日本癌学会学術総会, 大阪; 2010年9月
- 3) Kato Y, Kitanaka C: Evaluation of anti-podoplanin rat monoclonal antibody NZ-1 for targeting malignant glioma. 第69回日本癌学会学術総会, 大阪; 2010年9月
  - 4) 佐藤篤, 櫻田香, 隈部俊宏, 笹島寿郎, 別府高明, 浅野研一郎, 大熊洋揮, 小川彰, 溝井和夫, 富永悌二, 北中千史, 嘉山孝正: 膠芽腫におけるCD133発現と播種との関係 東北脳腫瘍研究会共同研究. 日本脳神経外科学会第69回学術総会, 福岡; 2010年10月
  - 5) 佐藤篤, 松田憲一朗, 砂山潤, 清野静香, 鈴木香, 櫻田香, 立花研, 富山新太, 北中千史, 嘉山孝正: グリオーマ幹細胞におけるMGMT発現とテモゾロミド感受性に関する検討. 第28回日本脳腫瘍学会, 軽井沢; 2010年11月
  - 6) 加藤幸成, 金子美華, 北中千史: IDH1/2に対する特異的抗体の開発. 第28回日本脳腫瘍学会, 軽井沢; 2010年11月
  - 7) Kaneko M, Kato Y, Kitanaka C: A high-affinity anti-3' -isoLM1/3' , 6' -isoLD1 IgG monoclonal antibody raised in lacto-series ganglioside-defective knockout mice. 第33回日本分子生物学会年会・第83回日本生化学会大会合同大会, 神戸; 2010年12月
  - 8) Sunayama J, Sato A, Matsuda KI, Tachibana K, Narita Y, Shibui S, Sakurada K, Kayama T, Tomiyama A, Kitanaka C: Crosstalk between the PI3K/mTOR and MEK/ERK pathways involved in the maintenance of self-renewal and tumorigenicity of glioblastoma stem-like cells. 第33回日本分子生物学会年会・第83回日本生化学会大会合同大会, 神戸; 2010年12月

### (3) 研究会

#### i 一般演題

- 1) Tomiyama A, Nomiya T, Kitanaka C, Nemoto K, Yamashita H, Ando K, Kayama T: Mechanism of heavy ion radiation-induced cancer cell death. HIMAC 共同利用研究成果発表会, 千葉; 2010年4月
- 2) 松田憲一朗, 佐藤篤, 櫻田香, 嘉山孝正, 北中千史: 神経幹細胞の維持機構におけるPI3K, mTORの役割. 山形ニューロサイエンス研究会第11回学術集会, 山形; 2010年6月

# 免疫学講座

## 1. 論文

### (1) 原著

- 1) Nara H, Onoda T, Rahman M, Araki A, Juliana FM, Tanaka N and Asao H : Regulation of interleukin-21 receptor expression and its signal transduction by WSB-2. *Biochem. Biophys. Res. Commun.* 2010 ; 392(2): 171-177
- 2) Li J, Nara H, Rahman M, Juliana FM, Araki A and Asao H : Impaired IL-7 signaling may explain a case of atypical JAK3-SCID. *Cytokine* 2010 ; 49(2): 221-228
- 3) Tojo N, Kashiwagi Y, Nishitsuka K, Yamamoto S, Asao H, Sugawara N, Yamashita T, Yamamoto T, and Yamashita H : Interactions between vitreous-derived cells and vascular endothelial cells in vitreoretinal diseases. *Acta Ophthalmol.* 2010 ; 88(5): 564-570

## 2. 学会報告

### (1) 国際学会

#### i 一般演題

- 1) Hidetoshi Nara, Tadashi Onoda, Farha Matin Juliana, Mizanur Rahman, Akemi Araki, Nobuyuki Tanaka, Hironobu Asao: WSB family differentially regulate Interleukin-21 receptor expression and its signal transduction. 14<sup>th</sup> International Congress of Immunology, Kobe, Japan; August 2010
- 2) Farha Matin Juliana, Tadashi Onoda, Hidetoshi Nara, Mizanur Rahman, Akemi Araki, Hodaka Fujii, Hironobu Asao: Functional analysis of Apurinic endonuclease 1/Redox effector factor-1 (Ape1/Ref-1) in response to interleukin 21 (IL-21) signaling. 14<sup>th</sup> International Congress of Immunology, Kobe, Japan; August 2010

### (2) 国内地方会

#### i 一般演題

- 1) Mizanur Rahman, Hidetoshi Nara, Tadashi Onoda, Akemi Araki, Hironobu Asao: Intracellular Mode of Activation of Interleukin-21 isoform (IL-21iso). 第64回日本細菌学会東北支部会, 仙台; 2010年8月
- 2) 荒木明美, 奈良英利, Mizanur Rahman, 小野田 正志, 金 蓮今, 浅尾裕信: インターロイキン21アイソフォームトランスジェニックマウスを用いたデキストラン硫酸ナトリウム誘発大腸炎の解析. 第64回日本細菌学会東北支部会, 仙台; 2010年8月
- 3) Farha Matin Juliana, Hidetoshi Nara, Tadashi Onoda, Mizanur Rahman, Akemi Araki, Lianjin Jin, Nobuyuki Tanaka, and Hironobu Asao: Apurinic endonuclease1/redox factor-1 (Ape1/Ref-1) is an indispensable molecule for IL-21-induced signal transduction. 第64回日本細菌学会東北支部会, 仙台; 2010年8月

### (3) 研究会

#### i 特別講演

- 1) 浅尾裕信: IL-21 の情報伝達と免疫制御. 第9回山形アレルギー研究会, 山形; 2010年11月

#### ii 一般演題

- 1) 奈良英利, Mizanur Rahman, 金蓮今, 荒木明美, 浅尾裕信: インターロイキン-21 情報伝達系制御分子の探索と機能解析. 第18回山形分子生物学セミナー, 山形; 2010年12月

### (4) その他

- 1) 浅尾裕信: 山形大学 Japan Studies Program, URL: <http://juhyo3.kj.yamagata-u.ac.jp/yujsp/en/>

## 3. 学会, 講演会, シンポジウム, ワークショップ等の開催

- 1) 第3回山形免疫懇話会, 山形; 2010年3月

# 法医学講座

## 1. 論文

### (1) 原著

- 1) Yuasa I, Umetsu K, Matsusue A, Nishimukai H, Harihara S, Fukumori Y, Saitou N, Jin F, Chattopadhyay PK, Henke L, Henke J: A Japanese-specific allele in the GALNT11 gene. Leg Med. 2010; 12: 208-211
- 2) 梅津和夫, 杉沼良次, 八鍬広志, 原田 彰, 鴻池紗耶, 久合田伸子, 山崎健太郎. 詐欺事件に用いられたネズミ様の死骸のDNA鑑定. 法医学の実際と研究. 2010 ; 53 : 99-102
- 3) 山崎健太郎, 田宮奈菜子, 松澤明美, 伊藤智子, 梅津和夫: 高齢者事故死検案事例の山形県・東京都区部の地域差と山形県の高齢者徘徊死亡事例の実態調査. 法医学の実際と研究. 2010 ; 53 : 195-202
- 4) 渡邊剛太郎, 梅津和夫, 山崎健太郎: 簡易DNA抽出試薬を用いた迅速なDNA型判定. 法医学の実際と研究. 2010 ; 53 : 103-108
- 5) 永幡嘉之, 梅津和夫, 山崎健太郎: DNAからトホシカミキリ族の食性進化の過程を探る. DNA 多型. 2010 ; 18 : 21-24
- 6) 後藤三千代, 梅津和夫: 食害メロンから加害動物を探る. DNA 多型. 2010 ; 18 : 38-41
- 7) 渡邊剛太郎, 梅津和夫, 山崎健太郎: DNA多型を用いた現場遺留物からの出身地域推定. DNA 多型. 2010 ; 18 : 157-159

### (2) その他

- 1) 山崎健太郎: 山形県の法医剖検データからみた介護の問題点. 厚生労働科学研究費補助金 政策科学総合研究事業 (主任研究者 田宮菜奈子) 福祉・介護サービスの質向上のためのアウトカム評価拠点 一実態評価から改善へのPDCAサイクルの実現 (H21-政策一般-010). 平成21年度総括・分担研究報告書. 2010 ; 163-167

## 2. 学会報告

### (1) 国内の学会

#### i 一般演題

- 1) 山崎健太郎, 田宮菜奈子, 松澤明美, 伊藤智子, 梅津和夫: 山形県における徘徊老人死亡事例の実態調査. 第94次日本法医学会学術全国集会, 東京 ; 2010年6月
- 2) 梅津和夫, 湯浅 勲, 山崎健太郎: STR型判定用キットを用いた陳旧試料のDNA鑑定における問題点について. 第94次日本法医学会学術全国集会, 東京 ; 2010年6月
- 3) 湯浅 勲, 入澤淑人, 梅津和夫, 西向弘明, 中屋敷 徳, 出羽厚二: 補体I因子のイントロン7にみられるSTRについて (2). 第94次日本法医学会学術全国集会, 東京 ; 2010年6月
- 4) 伊藤智子, 田宮菜奈子, 山崎健太郎, 宮石 智: 岡山県, 山形県, 東京都区部における異状死発生率と検案率 —「孤独死」対策における法医学データの意義—. 第94次日本法医学会学術全国集会, 東京 ; 2010年6月
- 5) 伊関 憲, 林田昌子, 下村慶子, 石川恵理, 山崎健太郎, 田瀬長一郎: ジフルオロエタン吸入後に窒息死した一例. 第32回日本中毒学総会・学術集会, 倉敷 ; 2010年7月
- 6) 下村慶子, 伊関 憲, 林田昌子, 石川恵理, 山崎健太郎, 田瀬長一郎: 山形県における硫化水素自殺の発生状況. 第32回日本中毒学総会・学術集会, 倉敷 ; 2010年7月
- 7) 湯浅 勲, 梅津和夫, 針原伸二, 斎藤成也: 補体I因子 (CFI) 遺伝子にみられる集団特異的 SNP と STR. 第64回日本人類学会大会, 伊達 ; 2010年10月
- 8) 渡邊剛太郎, 梅津和夫, 佐藤道比古, 山崎健太郎: Identifiler Kit における非特異ピークの成因. 日本DNA多型学会第19回学術集会, 三島 ; 2010年11月
- 9) 永幡嘉之, 梅津和夫, 山崎健太郎: チョウセンアカジミの進化史を探る. 日本DNA多型学会第19回学術集会, 三島 ; 2010年11月



(2) 国内地方会

i 一般演題

- 1) 梅津和夫, 久合田伸子, 山崎健太郎, 杉沼良次, 八鍬広志, 原田 彰; 詐欺事件に用いられたネズミ様の死骸のDNA鑑定. 第11回日本法医学会北日本地方会・法医学談話会第97回例会, 福島; 2010年10月

(3) その他

- 1) 山崎健太郎: 昨年解剖を振り返って. 山形県警察協力医会, 山形; 2010年6月

# 分子病態学講座

## 1. 論文

### (1) 原著

- 1) Kasahara K, Souri M, Kaneda M, Miki T, Yamamoto N, Ichinose A. Impaired clot retraction in factor XIII A subunit-deficient mice. *Blood*. 2010; 115(6): 1277-1279
- 2) Ishida F, Okubo K, Ito T, Okumura N, Souri M, Ichinose A. Spontaneous regression of the inhibitor against the coagulation factor XIII A subunit in acquired factor XIII deficiency. *Thromb Haemost*. 2010; 104(6): 1284-1285

### (2) 総説

- 1) 一瀬白帝: 凝固 13 因子関連疾患の基礎と臨床 -とくに後天性血友病 13(出血性後天性凝固 13 因子欠乏症)について-. *日本小児血液学会雑誌*, 2010; 24(1): 3-13
- 2) 惣宇利正善, 岩田宏紀, 張 偉光, 一瀬白帝: ヒト protein Z の分泌様式. *血液・腫瘍科*, 2010; 60(2): 183-191
- 3) 惣宇利正善: ヒト protein Z の独特な分泌様式: GLA ドメインによる非効率、ビタミン K 依存性かつワーファリン感受性な分泌. *日本血栓止血学会誌*, 2010; 21(3): 327-333
- 4) 一瀬白帝: 後天性血友病 XIII (13) (出血性後天性凝固第 13 因子欠乏症)とは? *日本内科学会雑誌*, 2010; 99(8): 1934-1943
- 5) 一瀬白帝: 炎症と凝固第 XIII (13) 因子 (基礎編); 第 XIII (13) 因子と炎症性タンパク質、細胞とのクロストーク. *Coagulation & Inflammation*, 2010; 4(2): 1-8
- 6) 一瀬白帝: TAFI (thrombin-activatable fibrinolysis inhibitor). *Int Rev Thromb*, 2010; 5(4): 54-57

## 2. 学会報告

### (1) 国際学会

#### i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) Ichinose A, Kasahara K, Souri M: A novel function of the A subunit of Factor XIII (FXIII-A) in platelet-fibrin clot retraction. *International Factor XIII Symposium/Workshop at the 54th Annual Meeting Society of Thrombosis and Haemostasis Reserch (GTH), Nürnberg, Germany; February 2010*
- 2) Ichinose A: Project of a pilot study to establish the normal value of F13-B concentration using the international standard plasma. *56th Annual Meeting of the Scientific and Standardization Committee of the ISTH (International Society on Thrombosis and Haemostasis), Cairo, Egypt; May 2010*
- 3) Ichinose A: International survey of acquired hemophilia 13 (Hemorrhagic acquired factor 13 deficiency). Proposal for a future international collaborative study. *56th Annual Meeting of the Scientific and Standardization Committee of the ISTH (International Society on Thrombosis and Haemostasis), Cairo, Egypt; May 2010*

### (2) 国内の学会

#### i 特別講演

- 1) 一瀬白帝: 後天性血友病 13 (出血性後天性 13 因子欠乏症). 第 33 回日本血栓止血学会学術集会 教育講演, 鹿児島; 2010 年 4 月 22-24 日

#### ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 惣宇利正善, 張 偉光, 岩田宏紀, 一瀬白帝: Unique secretion mode of human protein Z: its Gla domain is responsible for inefficient, vitamin K-dependent and warfarin-sensitive secretion. 第 33 回日本血栓止血学会学術集会 ISTH 2011 Memorial Award, 鹿児島; 2010 年 4 月
- 2) Ichinose A: The coagulation system interacts with platelets in clot formation: an overview. *BMB2010(第 33 回日本分子生物学会年会・第 83 回日本生化学会大会 合同年会ワークショップ(3W19: 血栓形成における凝固系と血小板の相互作用)*, 神戸; 2010 年 12 月
- 3) Kasahara K(笠原浩二), Kaneda M(兼田瑞穂), Miki T(三木俊明), Iida K(飯田和子), Suzuki H(鈴木英紀), Yamamoto N(山本正雅), Arai M(新井盛大), Souri M(惣宇利正善), Ichinose A(一瀬白帝): Factor XIII-Dependent-Clot Retraction (CR) and -Fibrin Translocation to Platelet Rafts: Factor XIII-Crosslinked Fibrin-Glycoprotein (GP) IIb/IIIa Axis. *BMB2010(第 33 回日本分子生物学会年会・第 83 回日本生化学会大会 合同年会ワークショップ(3W19: 血栓形成における凝固系と血小板の相互作用)*, 神戸; 2010 年 12 月
- 4) Kaneko M(金子 誠), Suzuki A(鈴木明子), Kanno N(菅野信子), Tanaka R(田中亮子), Ishizaka T(石坂泰三), Souri M(惣宇利正善), Yatomi Y(矢富 裕), Ichinose A(一瀬白帝): A novel quick point of care test of coagulation factor XIII activity based on clot retraction in humans. *BMB2010(第 33 回日本分子生物学会年会・第 83 回日本生化学会大会 合同年会ワークショップ(3W19: 血栓形成に*

における凝固系と血小板の相互作用), 神戸; 2010年12月

### iii 一般講演

- 1) 惣宇利正善, 張 偉光, 岩田宏紀, 一瀬白帝: マクロファージのエンドトキシン誘導性組織内浸潤における XIII 因子の関与. 第33回日本血栓止血学会学術集会, 鹿児島; 2010年4月
- 2) 笠原浩二, 惣宇利正善, 兼田瑞穂, 三木俊明, 山本正雅, 一瀬白帝: 凝固 XIII 因子 A サブユニット欠損マウスでは血餅退縮反応が欠如する. 第33回日本血栓止血学会学術集会, 鹿児島; 2010年4月
- 3) 小林達之助, 朝倉英策, 林 朋恵, 前川実生, 門平靖子, 山崎雅英, 森下英理子, 惣宇利正善, 一瀬白帝, 中尾眞二: 皮下血腫と消化管出血を契機に診断された後天性第 XIII 因子欠乏症. 第33回日本血栓止血学会学術集会, 鹿児島; 2010年4月
- 4) 金子 誠, 鈴木明子, 菅野信子, 田中亮子, 石坂泰三, 惣宇利正善, 一瀬白帝, 矢富 裕: 血餅退縮能を用いた血液凝固第 XIII 因子活性の迅速簡易測定法の開発と臨床応用. 第72回日本血液学会学術集会, 横浜; 2010年9月
- 5) 惣宇利正善, 張 偉光, 岩田宏紀, 一瀬白帝: 妊娠期の止血における凝固 XIII 因子陽性細胞の存在意義. BMB2010(第33回日本分子生物学会年会・第83回日本生化学会大会 合同年会, 神戸; 2010年12月

## (4) 研究会

### i 特別講演

- 1) 一瀬白帝: 血栓止血に関わる最近の話題. VTE Protection Seminar in MIYAGI 2010 特別講演, 仙台; 2010年1月
- 2) 一瀬白帝: 後天性第 XIII (13) 因子 (FXIII (13)) 欠乏症 (後天性血友病 XIII (13)) 研究の現状. 第3回後天性第 XIII (13) 因子欠乏症研究会 基調講演, 横浜; 2010年9月
- 3) 一瀬白帝: 見逃しやすい出血傾向-後天性血友病 13 研究の現状と展望-. 特別講演会, 鹿児島; 2010年10月

### ii 一般演題

- 1) 惣宇利正善, 岩田宏紀, 張 偉光, 一瀬白帝: ヒト Protein Z のユニークな分泌様式. 第6回麒麟塾, 東京; 2010年6月
- 2) 金子 誠, 鈴木明子, 菅野信子, 田中亮子, 石坂泰三, 惣宇利正善, 矢富 裕, 一瀬白帝: A novel quick point of care test of coagulation factor XIII activity based on clot retraction in humans. 第8回血液・血管オルビス, 東京; 2010年8月
- 3) 惣宇利正善, 一瀬白帝: Molecular basis of acquired hemophilia due to factor XIII(13) (F13) inhibitors (acquired hemophilia 13): A novel antibody against F13-A hinders the association of a F13-A dimer and F13-B dimer. 第8回血液・血管オルビス, 東京; 2010年8月
- 4) 惣宇利正善, 張 偉光, 岩田宏紀, 一瀬白帝: 異種四量体形成を阻害する凝固 XIII 因子インヒビター. 第48回東北止血・血栓研究会, 山形; 2010年9月
- 5) 笠原浩二, 兼田瑞穂, 三木俊明, 飯田和子, 鈴木英樹, 原 裕太, 下仲基之, 小嶋聡一, 新井盛大, 一瀬白帝, 惣宇利正善, 山本正雅 (注意: 発表者は所属施設順): フィブリンの血小板脂質ラフト移行と血餅退縮における働き. 第48回東北止血・血栓研究会, 山形; 2010年9月
- 6) 石田文宏, 大久保健太郎, 伊藤俊朗, 奥村伸生, 惣宇利正善, 一瀬白帝: インヒビターが自然消退した出血性後天性第 XIII 因子欠乏症. 第3回後天性第 XIII (13) 因子欠乏症研究会, 横浜; 2010年9月23日
- 7) 矢富 裕, 金子 誠, 鈴木明子, 菅野信子, 田中亮子, 惣宇利正善, 一瀬白帝: 血餅退縮反応を用いた新しい迅速第 XIII 因子活性測定法. 第3回後天性第 XIII (13) 因子欠乏症研究会, 横浜; 2010年9月
- 8) 惣宇利正善, 張 偉光, 岩田宏紀, 一瀬白帝: 異種四量体形成を阻害する凝固 XIII 因子インヒビター. 第18回山形分子生物学セミナー, 山形; 2010年12月
- 9) 張 偉光, 岩田宏紀, 惣宇利正善, 一瀬白帝: 妊娠期の止血における凝固 XIII 因子陽性細胞の存在意義. 山形大学医学部実験動物セミナー 第21回研究成果発表会, 山形; 2010年12月

## 3. 学会, 講演会, シンポジウム, ワークショップ等の開催

- 1) International Factor XIII Symposium/Workshop at the 54th Annual Meeting Society of Thrombosis and Haemostasis Reserch (GTH), Nürnberg, Germany; February 2010
- 2) 第3回山形県血栓の病態と治療研究会, 山形; 2010年8月
- 3) 第3回後天性第 XIII (13) 因子欠乏症研究会, 横浜; 2010年9月
- 4) 第13回トランスグルタミナーゼ研究会学術集会, 神戸; 2010年12月
- 5) BMB2010(第33回日本分子生物学会年会・第83回日本生化学会大会 合同年会ワークショップ(3W19: 血栓形成における凝固系と血小板の相互作用), 神戸; 2010年12月
- 6) 第18回山形分子生物学セミナー, 山形; 2010年12月

# 臨床講座

## 内科学第一（循環・呼吸・腎臓内科学）講座

### 1. 論文

#### (1) 原著

- 1) Konta T, Takasaki S, Ichikawa K, Emi M, Toriyama S, Satoh H, Ikeda A, Suzuki K, Mashima Y, Shibata Y, Watanabe T, Kato T, Kawata S, Kubota I: The novel and independent association between single-point SNP of NPHP4 gene and renal function in non-diabetic Japanese population: the Takahata study. *J Hum Genet.* 2010 Dec; 55(12): 791-795
- 2) Bilim O, Takeishi Y, Kitahara T, Ishino M, Sasaki T, Suzuki S, Shishido T, Kubota I: Serum YKL-40 predicts adverse clinical outcomes in patients with chronic heart failure. *J Card Fail.* 2010 Nov; 6(11): 873-879
- 3) Arimoto T, Watanabe T, Nitobe J, Kubota I: Catheter ablation of ventricular tachycardia induced by injection of acetylcholine in the right coronary artery. *J Cardiovasc Electrophysiol.* 2010 Dec; 21 (12): 1410-1412
- 4) Sasaki T, Takeishi Y, Suzuki S, Niizeki T, Kitahara T, Katoh S, Ishino M, Shishido T, Watanabe T, Kubota I: High serum level of neopterin is a risk factor of patients with heart failure. *Int J Cardiol.* 2010 Nov 19; 145(2): 318
- 5) Katoh S, Shishido T, Kutsuzawa D, Arimoto T, Netsu S, Funayama A, Ishino M, Niizeki T, Nishiyama S, Takahashi H, Miyashita T, Miyamoto T, Nitobe J, Watanabe T, Kubota I: Iodine-123-metaiodobenzylguanidine imaging can predict future cardiac events in heart failure patients with preserved ejection fraction. *Ann Nucl Med.* 2010 Nov; 24(9): 679-686
- 6) Hasegawa H, Arimoto T, Iwayama T, Kutsuzawa D, Nishiyama S, Nitobe J, Watanabe T, Sadahiro M, Kubota I: Images in cardiovascular medicine. Silent myocardial ischemia in adult Bland-White-Garland syndrome. *Circ J.* 2010 Oct; 74(10): 2239-2240
- 7) Konta T, Hoshikawa M, Takasaki S, Ichikawa K, Mashima Y, Takahashi T, Abiko H, Masakane I, Matsunaga T, Suzuki M, Degawa N, Kubota I: Patient survival and the combination of vitamin D and phosphorus binder in dialysis. *Dialysis Transplant.* 2010 Oct; 39(10): 427-431
- 8) Okuyama H, Hirono O, Ishigaki D, Yuki K, Kubota I: Percutaneous transvenous stent implantation to external iliac vein stenosis in a patient with retroperitoneal fibrosis. *Intern Med.* 2010; 49: 913-918
- 9) Nishiyama S, Watanabe T, Arimoto T, Takahashi H, Shishido T, Miyashita T, Miyamoto T, Nitobe J, Shibata Y, Konta T, Kawata S, Kato T, Fukao A, Kubota I: Trends in coronary risk factors among patients with acute myocardial infarction over the last decade: the Yamagata AMI registry. *J Atheroscler Thromb.* 2010 Sep; 17(9): 989-998
- 10) Osaka D, Shibata Y, Abe S, Inoue S, Tokairin Y, Igarashi A, Yamauchi K, Kimura T, Sato M, Kishi H, Takabatake N, Sata M, Watanabe T, Konta T, Kawata S, Kato T, Kubota I: Relationship between habit of cigarette smoking and airflow limitation in healthy Japanese individuals: The Takahata study. *Intern Med.* 2010; 49(15): 1489-1499
- 11) Nishise Y, Saito N, Makino N, Okumoto K, Ito J, Watanabe H, Saito K, Togashi H, Ikeda C, Kubota I, Daimon M, Kato T, Fukao A, Kawata S: Relationship between alcohol consumption and serum adiponectin levels: the Takahata study—a cross-sectional study of a healthy Japanese population. *J Clin Endocrinol Metab.* 2010 Aug; 95(8): 3828-3835
- 12) Tamura H, Watanabe T, Hirono O, Nishiyama S, Sasaki S, Shishido T, Miyashita T, Miyamoto T, Nitobe J, Kayama T, Kubota I: Low wall velocity of left atrial appendage measured by trans-thoracic

echocardiography predicts thrombus formation caused by atrial appendage dysfunction. J Am Soc Echocardiogr. 2010 May; 23(5): 545-552

- 13) Karasawa S, Daimon M, Sasaki S, Toriyama S, Oizumi T, Susa S, Kameda W, Wada K, Muramatsu M, Fukao A, Kubota I, Kawata S, Kayama T, Kato T: Association of the common fat mass and obesity associated (FTO) gene polymorphism with obesity in a Japanese population. Endocr J. 2010 Apr 20; 57(4): 293-301
- 14) Kitahara T, Shishido T, Suzuki S, Katoh S, Sasaki T, Ishino M, Nitobe J, Miyamoto T, Miyashita T, Watanabe T, Takeishi Y, Kubota I: Serum midkine as a predictor of cardiac events in patients with chronic heart failure. J Card Fail. 2010 Apr; 16(4): 308-313
- 15) Wada M, Nagasawa H, Kawanami T, Kurita K, Daimon M, Kubota I, Kayama T, Kato T: Cystatin C as an index of cerebral small vessel disease: results of a cross-sectional study in community-based Japanese elderly. Eur J Neurol. 2010 Mar; 17: 383-390
- 16) Suzuki K, Nishimaki K, Okuyama K, Katoh T, Yasujima M, Chihara J, Suwabe A, Shibata Y, Takahashi C, Takeda H, Ida S, Kaku M, Watanabe A, Nukiwa T, Niitsuma K, Kanemitsu K, Takayanagi M, Ohno I: Trends in antimicrobial susceptibility of streptococcus pneumoniae in the Tohoku district of Japan: A longitudinal analysis from 1998 to 2007. Tohoku J Exp Med. 2010 Jan; 220: 47-57
- 17) 會田康子, 五十嵐朗, 井上純人, 阿部修一, 柴田陽光, 久保田功: 髄膜癌腫症による Garcin 症候群を呈した肺腺癌の1例. 日本呼吸器学会雑誌 2010; 48 (1): 66-69
- 18) 西山悟史, 佐々木真太郎, 渡邊哲, 久保田功, 武田憲夫, 深尾彰, 有海躬行: 山形県急性心筋梗塞発症登録評価研究事業平成20年のまとめ. 山形県医師会会報 2010; 702: 14-18

## (2) 総説

- 1) 山内啓子, 柴田陽光, 木村友美, 阿部修一, 井上純人, 久保田功: アジスロマイシンは炎症刺激に対するマクロファージの IL-12p40 産生を抑制する. 分子呼吸器病. 2010 ; 14(1) : 92-95
- 2) 宮本卓也: 第Ⅲ部 治療における最近の新薬の位置付け〈薬効別〉～新薬の広場～ 心不全治療薬. 医薬ジャーナル 新薬展望2010 増刊号. 2010 ; 46(S-1) : 278-283
- 3) 今田恒夫: チームワークで膠原病患者の全身管理をおこなう. 分子リウマチ治療. 2010 ; 3(Suppl. 1) : 14
- 4) 今田恒夫: 診断 検尿の意義. 最新医学 慢性腎臓病 (CKD). 2010 ; 65(3月増刊号) : 113(585)-122(594)
- 5) 柴田陽光: 特集 禁煙と COPD 禁煙後も COPD は進展するか?. 呼吸器内科. 2010 ; 17(5) : 443-449
- 6) 高崎聡, 池田亜美, 市川一誠, 今田恒夫, 久保田功: シリーズ: 考えてみよう 臨床クイズ問題 食欲不振, 倦怠感を呈した急性腎不全の74歳の男性. 日本内科学会雑誌. 2010 ; 99(6) : 204-205
- 7) 今田恒夫: ネフローゼ症候群 腎アミロイドーシス—診断と治療における最新の進歩. 医学のあゆみ. 2010 ; 233(11) : 1083-1086
- 8) 今田恒夫: 腎臓内科学 高昌研究—地域分子疫学研究. 医学のあゆみ. 2010 ; 233(12) : 1177-1178
- 9) 阿部修一, 川前金幸: VI. 人工呼吸の終了 急性呼吸不全の後遺症としての慢性呼吸不全. 救急医学(9月臨時増刊号). 2010 ; 34(10) : 1367-1370
- 10) 井上純人: 当院における肺癌診療: 平成22年度山形県医師会学術雑誌. 2010 ; 40 : 66-76
- 11) 今田恒夫: 特集: 見逃されやすい低血圧症 慢性腎臓病・透析患者に伴う低血圧. 治療. 2010 ; 92(11) : 2502-2506

## (3) 著書

- 1) 阿部修一, 柴田陽光: 5. 胸水貯留. 貫和敏博, 杉山幸比古, 門田淳一編, 呼吸器疾患最新の治療2010-2012. 東京; 南江堂, 2010 : 186-188
- 2) 渡邊哲, 久保田功: 第4章. 各疾患のみかたと対応 D. 虚血性心疾患 2. 急性冠症候群 ⑨心筋梗塞の長期予後と再発防止. 永井良三総監修, 川名正敏, 許俊鋭, 長谷川昭, 広井透雄, 三田村秀雄, 山下武志編, 循環器研修ノート. 東京; 診断と治療社, 2010 : 571-573
- 3) 今田恒夫: 腎不全の知識. 政金生人編, 臨床ナースのための Basic & Standard. 透析看護の知識と実践. 大阪; 株式会社メディカ出版, 2010 : 8-26

## (4) その他

- 1) Suzuki S, Shishido T, Sasaki T, Kitahara T, Katoh S, Ishino M, Funayama A, Netsu S, Watanabe T, Takeishi Y, Kubota I: Deficiency of the long pentraxin PTX3 reduced pressure overload-induced left

- ventricular dysfunction. *Circ J.* 2010; 74(Suppl. I): 204
- 2) Kaneko K, Kadowaki S, Narumi T, Ohtaki Y, Niizeki T, Itoh M, Oguma M, Kubota I: A novel visualization of aortic arch stiffness using with tissue doppler imaging in aortic wall correlated to complicated aortic plaque. *Circ J.* 2010; 74(Suppl. I): 325
  - 3) Tamabuchi T, Watanabe T, Konta T, Kubota I: Impact of excess salt intake on serum brain natriuretic peptide (BNP) leveis in general Japanese population with chronic kidney disease. *Circ J.* 2010; 74(Suppl. I): 418
  - 4) Ishino M, Shishido T, Funayama A, Netsu S, Katoh S, Sasaki T, Arimoto T, Takahashi H, Miyashita T, Miyamoto T, Nitobe J, Watanabe T, Kubota I: Comparison of the prognostic usefulness of BNP and H-FABP in chronic heart failure patients with versus without chronic kidney disease. *Circ J.* 2010; 74(Suppl. I): 419
  - 5) Iwayama T, Nitobe J, Hasegawa H, Honda S, Ishino M, Tamura H, Arimoto T, Takahashi H, Shishido T, Miyashita T, Miyamoto T, Watanabe T, Kubota I: Relationship between epicardial fat measured by multi-detector computed tomography (MDCT) and coronary atherosclerotic remodeling. *Circ J.* 2010; 74(Suppl. I): 423
  - 6) Iwayama T, Nitobe J, Hasegawa H, Honda S, Ishino M, Tamura H, Arimoto T, Takahashi H, Shishido T, Miyashita T, Miyamoto T, Watanabe T, Kubota I: The combined assessment of left atrial and ventricular volume by multi-detector computed tomography (MDCT) for prognosis in heart disease patients. *Circ J.* 2010; 74(Suppl. I): 438
  - 7) Ishino M, Shishido T, Funayama A, Netsu S, Katoh S, Sasaki T, Suzuki S, Arimoto T, Takahashi H, Miyashita T, Miyamoto T, Nitobe J, Watanabe T, Kubota I: Short and long-term outcome by multi-biomarkers risk stratification of BNP, H-FABP, PTX3, and Cystatin-C in patients with chronic heart failure. *Circ J.* 2010; 74(Suppl. I): 439
  - 8) Funayama A, Shishido T, Netsu S, Ishino M, Katoh S, Sasaki T, Suzuki S, Nishiyama S, Arimoto T, Takahashi H, Miyashita T, Miyamoto T, Nitobe J, Watanabe T, Kubota I: High serum level of pregnancy associated plasma protein A (PAPP-A) is a risk factor of patients with heart failure. *Circ J.* 2010; 74(Suppl. I): 472
  - 9) Suzuki S, Shishido T, Sasaki T, Kitahara T, Katoh S, Ishino M, Funayama A, Netsu S, Watanabe T, Takeishi Y, Kubota I: The long pentraxin PTX3 exacerbates pressure overload-induced left ventricular dysfunction. *Circ J.* 2010; 74(Suppl. I): 508
  - 10) Kutsuzawa D, Watanabe T, Takahashi H, Arimoto T, Shishido T, Miyashita T, Miyamoto T, Nitobe J, Kubota I: Impact of autonomic nerve activities on late potential variability in brugada syndrome. *Circ J.* 2010; 74(Suppl. I): 576
  - 11) Sasaki S, Nishiyama S, Watanabe T, Tamura H, Arimoto T, Takahashi H, Shishido T, Miyashita T, Miyamoto T, Nitobe J, Kubota I: Left atrial ejection fraction (LAEF) is a novel marker of left atrial appendage dysfunction in acute stroke patients. *Circ J.* 2010; 74(Suppl. I): 616
  - 12) Ohtaki Y, Niizeki T, Daidoji H, Kaneko K, Itoh M, Oguma M, Kubota I: Albuminuria could independently predict impaired renal function after elective percutaneous coronary intervention. *Circ J.* 2010; 74(Suppl. I): 620
  - 13) Kaneko K, Kadowaki S, Narumi T, Ohtaki Y, Niizeki T, Itoh M, Oguma M, Kubota I: Left atrial wall motion velocities obtained from tissue doppler imaging concerned with left atrial appendage function in ischemic stroke patients. *Circ J.* 2010; 74(Suppl. I): 650
  - 14) Tamura H, Watanabe T, Nishiyama S, Sasaki S, Arimoto T, Takahashi H, Shishido T, Miyashita T, Miyamoto T, Nitobe J, Kubota I: Low wall velocity of left atrial appendage measured by trans-thoracic echocardiography predicts thrombus formation caused by atrial appendage dysfunction. *Circ J.* 2010; 74(Suppl. I): 651
  - 15) Nishiyama S, Watanabe T, Arimoto T, Takahashi H, Shishido T, Miyashita T, Miyamoto T, Nitobe J, Kubota I: Impact of estimated glomerular filtration rate on long-term prognosis after acute myocardial

- infarction. *Circ J.* 2010; 74(Suppl. I): 653
- 16) Nishiyama S, Watanabe T, Arimoto T, Takahashi H, Shishido T, Miyashita T, Miyamoto T, Nitobe J, Kubota I: Increased prevalence of metabolic syndrome may be associated with increase in younger male patients with acute myocardial infarction. *Circ J.* 2010; 74(Suppl. I): 664
  - 17) Sasaki T, Shishido T, Suzuki S, Katoh S, Ishino M, Funayama A, Netsu S, Watanabe T, Takeishi Y, Kubota I: Diacylglycerol kinase exacerbates cardiac injury after ischemia/reperfusion in transgenic mouse hearts. *Circ J.* 2010; 74(Suppl. I): 673
  - 18) Katoh S, Watanabe T, Suzuki S, Ishino M, Kitahara T, Funayama A, Netsu S, Sasaki T, Shishido T, Kubota I: Atrial endothelial impairment through toll-like receptor (TLR)-4 signaling may cause atrial thrombogenesis. *Circ J.* 2010; 74(Suppl. I): 757
  - 19) Tamabuchi T, Watanabe T, Konta T, Kubota I: Impact of chronic kidney disease and anemia on brain natriuretic peptide (BNP) level in Japanese general population. *Circ J.* 2010; 74(Suppl. I): 758
  - 20) Tamura H, Watanabe T, Nishiyama S, Sasaki S, Arimoto T, Takahashi H, Shishido T, Miyashita T, Miyamoto T, Nitobe J, Kubota I: Left atrial volume index predicts poor prognosis in patients with diastolic heart failure. *Circ J.* 2010; 74(Suppl. I): 764
  - 21) Funayama A, Shishido T, Arimoto T, Netsu S, Ishino M, Katoh S, Sasaki T, Suzuki S, Nishiyama S, Takahashi H, Miyashita T, Miyamoto T, Nitobe J, Watanabe T, Kubota I: Urinary excretion of beta2-microglobulin as a new predictor of restenosis after PCI. *Circ J.* 2010; 74(Suppl. I): 775
  - 22) Funayama A, Shishido T, Kitahara T, Netsu S, Ishino M, Katoh S, Sasaki T, Suzuki S, Nishiyama S, Arimoto T, Takahashi H, Miyashita T, Miyamoto T, Nitobe J, Watanabe T, Kubota I: Serum carboxy terminal telopeptide of type I collagen (ICTP) predicts progression of left ventricular remodeling after reperfused acute myocardial infarction. *Circ J.* 2010; 74(Suppl. I): 795
  - 23) Katoh S, Shishido T, Arimoto T, Kutsuzawa D, Takahashi H, Miyashita T, Miyamoto T, Nitobe J, Watanabe T, Kubota I: Combination of iodine-123-metaiodobenzylguanidine imaging and heart-type fatty acid binding protein for risk stratification in heart failure with preserved ejection fraction. *Circ J.* 2010; 74(Suppl. I): 800
  - 24) Niizeki T, Itoh M, Oguma M, Takeishi Y, Kubota I: Heart shock proteins 60 (Hsp60) predicts clinical outcome in female patients with chronic heart failure (CHF). *Circ J.* 2010; 74(Suppl. I): 813
  - 25) Kiribayashi N, Watanabe T, Sasaki T, Takahashi H, Arimoto T, Shishido T, Miyashita T, Miyamoto T, Nitobe J, Kubota I: Risk stratification by combination of brain natriuretic peptide and heart-type fatty acid binding protein in female patients with heart failure. *Circ J.* 2010; 74(Suppl. I): 814
  - 26) Arimoto T, Tada H, Sekiguchi Y, Satoh A, Igarashi M, Yamasaki H, Machino T, Kuroki K, Kuga K, Aonuma K: High washout rate of iodine-123-metaiodobenzylguanidine imaging predicts late recurrence of atrial fibrillation following radiofrequency catheter ablation. *Circ J.* 2010; 74(Suppl. I): 591
  - 27) Ichikawa K, Konta T, Takasaki S, Ikeda A, Mashima Y, Kudo K, Kubota I: Genetic polymorphisms of paraoxonase-1 are associated with chronic kidney disease in Japanese female population. *ISN NEXUS FINAL PROGRAM & BOOK OF ABSTRACTS.* 2010: 128
  - 28) Sato M, Shibata Y, Kimura T, Abe S, Aida Y, Kishi H, Fukuzaki K, Osaka D, Yamauchi K, Inoue S, Kubota I: Dominant negative MAFB reduces the numbers of murine alveolar macrophages. *Am J Respir Crit Care Med.* 2010; 181: A2881
  - 29) Kishi H, Inoue S, Aida Y, Sato M, Fukuzaki K, Osaka D, Yamauchi K, Abe S, Shibata Y, Kubota I: Exercise tolerance in patients with chronic obstructive pulmonary disease is independent of resting pulmonary or cardiac functions. *Am J Respir Crit Care Med.* 2010; 181: A3585
  - 30) Osaka D, Shibata Y, Abe S, Inoue S, Tokairin Y, Igarashi A, Yamauchi K, Kimura T, Fukuzaki K, Aida Y, Takabatake N, Sata M, Kubota I: Cigarette smoking causes airflow limitation in Japanese healthy individuals: Takahata Study. *Am J Respir Crit Care Med.* 2010; 181: A4101
  - 31) Konta T: Prevalence and risk factor analysis of albuminuria in Japanese general population: the Takahata study. *The 4th Research Forum on Chronic Kidney Disease Program & Abstract.* 2010: 34-35

- 32) Shishido T, Abe J, Kubota I: Critical role of P90RSK on ERK5-SUMOylation in development of LV dysfunction in diabetic heart after myocardial infarction. *Exp Clin Cardiol.* 2010; 15(2): 25
- 33) Ohtaki Y, Takahashi H, Ishino M, Hasegawa H, Honda S, Netsu S, Funayama A, Arimoto T, Shishido T, Miyashita T, Miyamoto T, Nitobe J, Watanabe T, Kubota I: Cystatin C-based estimated glomerular filtration rate predict cardiac event in chronic heart failure patients more precisely than creatinine-based estimated glomerular filtration rate. *Circulation.* 2010; 122: A10061
- 34) Ishino M, Shishido T, Funayama A, Netsu S, Kiribayashi N, Arimoto T, Takahashi H, Miyashita T, Miyamoto T, Nitobe J, Watanabe T, Kubota I: A comparison of B-type natriuretic peptide and heart-type fatty acid binding protein as predictors of cardiac events in heart failure patients with chronic kidney disease. *Circulation.* 2010; 122: A10066
- 35) Tamura H, Watanabe T, Nishiyama S, Sasaki S, Wanezaki M, Arimoto T, Takahashi H, Shishido T, Miyashita T, Miyamoto T, Nitobe J, Kubota I: Low wall velocity of left atrial appendage measured by transthoracic echocardiography predicts long-term prognosis in ischemic stroke patients with atrial fibrillation. *Circulation.* 2010; 122: A10391
- 36) Ishino M, Shishido T, Funayama A, Netsu S, Kiribayashi N, Arimoto T, Takahashi H, Miyashita T, Miyamoto T, Nitobe J, Watanabe T, Kubota I: Short- and long-term outcome and risk stratification by multibiomarkers in patients with chronic heart failure. *Circulation.* 2010; 122: A10851
- 37) Tamura H, Watanabe T, Nishiyama S, Sasaki S, Wanezaki M, Arimoto T, Takahashi H, Shishido T, Miyashita T, Miyamoto T, Nitobe J, Kubota I: Increased left atrial volume index predicts poor prognosis in heart failure patients with preserved ejection fraction. *Circulation.* 2010; 122: A10944
- 38) Tamura H, Watanabe T, Nishiyama S, Sasaki S, Wanezaki M, Arimoto T, Takahashi H, Shishido T, Miyashita T, Miyamoto T, Nitobe J, Kubota I: Elevated plasma brain natriuretic peptide levels predict left atrial appendage dysfunction in patients with acute ischemic stroke. *Circulation.* 2010; 122: A10946
- 39) Funayama A, Shishido T, Ohtaki Y, Hasegawa H, Honda S, Netsu S, Ishino M, Arimoto T, Takahashi H, Miyashita T, Miyamoto T, Nitobe J, Watanabe T, Kubota I: Combination of pentosidine and carboxy-terminal telopeptide of type I collagen strongly predicts cardiac events in heart failure patients with preserved left ventricular ejection fraction. *Circulation.* 2010; 122: A12196
- 40) Sasaki S, Watanabe T, Tamura H, Nishiyama S, Wanezaki M, Arimoto T, Takahashi H, Shishido T, Miyashita T, Miyamoto T, Nitobe J, Kubota I: Risk stratification of heart failure patients with preserved ejection fraction by multiple echocardiographic parameters. *Circulation.* 2010; 122: A12234
- 41) Funayama A, Shishido T, Ohtaki Y, Hasegawa H, Honda S, Netsu S, Ishino M, Arimoto T, Takahashi H, Miyashita T, Miyamoto T, Nitobe J, Watanabe T, Kubota I: Utility of urinary excretion of b2 microglobulin to identify high risk subset for restenosis in patients who underwent percutaneous coronary intervention. *Circulation.* 2010; 122: A12440
- 42) Sasaki S, Watanabe T, Tamura H, Nishiyama S, Wanezaki M, Arimoto T, Takahashi H, Shishido T, Miyashita T, Miyamoto T, Nitobe J, Kubota I: Combined evaluation of left atrial volume index and heart-type fatty acid-binding protein is a feasible prognostic predictor in heart failure patients with preserved ejection fraction. *Circulation.* 2010; 122: A12559
- 43) Kaneko K, Kadowaki S, Narumi T, Niizeki T, Sasaki T, Omi K, Oguma M, Watanabe T, Kubota I: Deterioration of left atrial wall motion velocity may predict left atrial appendage dysfunction in acute cerebral embolism patients with paroxysmal atrial fibrillation. *Circulation.* 2010; 122: A12793
- 44) Wanezaki M, Watanabe T, Tamura H, Nishiyama S, Sasaki S, Arimoto T, Takahashi H, Shishido T, Miyashita T, Miyamoto T, Nitobe J, Kubota I: Elevated plasma von willebrand factor level predict thrombus formation in the left atrial appendage in patients with acute ischemic stroke. *Circulation.* 2010; 122: A14193
- 45) Wanezaki M, Nishiyama S, Watanabe T, Arimoto T, Takahashi H, Shishido T, Miyashita T, Miyamoto T, Nitobe J, Kubota I: Decreased estimated glomerular filtration rate deteriorates long-term prognosis after st-segment elevation acute myocardial infarction. *Circulation.* 2010; 122: A14230



- 46) Netsu S, Shishido T, Ohtaki Y, Hasegawa H, Honda S, Funayama A, Ishino M, Arimoto T, Takahashi H, Miyashita T, Miyamoto T, Nitobe J, Watanabe T, Kubota I: Serum surfactant protein-D is a useful marker reflecting pulmonary congestion in patients with heart failure. *Circulation*. 2010; 122: A14245
- 47) Ishino M, Shishido T, Funayama A, Netsu S, Kiribayashi N, Arimoto T, Takahashi H, Miyashita T, Miyamoto T, Nitobe J, Watanabe T, Kubota I: Heart-type fatty acid binding protein as predictor of cardiac mortality and events in patients with acute decompensated heart failure. *Circulation*. 2010; 122: A14282
- 48) Tamabuchi T, Watanabe T, Tamura H, Nishiyama S, Arimoto T, Takahashi H, Shishido T, Miyashita T, Nitobe J, Shibata Y, Konta T, Kawata S, Kato T, Kubota I: Impacts of coexistence of metabolic syndrome and chronic kidney disease on serum heart-type fatty acid-binding protein levels in general population. *Circulation*. 2010; 122: A15849
- 49) Hasegawa H, Watanabe T, Kiribayashi N, Sasaki T, Ohtaki Y, Honda S, Netsu S, Funayama A, Ishino M, Takahashi H, Arimoto T, Shishido T, Miyashita T, Miyamoto T, Nitobe J, Kubota I: Feasibility of combined evaluation of brain natriuretic peptide and heart-type fatty acid binding protein in female patients with heart failure. *Circulation*. 2010; 122: A16402
- 50) Katoh S, Shishido T, Kutsuzawa D, Arimoto T, Watanabe T, Kubota I: Influence of diabetes mellitus on prognostic utility of cardiac iodine-123-metaiodobenzylguanidine in diastolic heart failure patients. *Circulation*. 2010; 122: A16441
- 51) Nishiyama S, Watanabe T, Tamura H, Sasaki S, Wanezaki M, Arimoto T, Takahashi H, Shishido T, Miyashita T, Miyamoto T, Nitobe J, Kubota I: Left atrial ejection fraction (LAEF) predicts cardioembolic stroke in patients with chronic atrial fibrillation. *Circulation*. 2010; 122: A18895
- 52) 工藤光介, 高崎聡, 真島佑介, 池田亜美, 市川一誠, 今田恒夫, 久保田功: 薬剤性肝炎に合併した急性腎不全の1例. 第190回日本内科学会東北地方会抄録集. 2010; 22(1): 27
- 53) 矢萩淑恵, 宮本卓也, 西山悟史, 鈴木聡, 本田晋太郎, 宍戸哲郎, 宮下武彦, 二藤部丈司, 渡邊哲, 久保田功: サルコイドーシスに合併したAA型心アミロイドーシスの1例. 第190回日本内科学会東北地方会抄録集. 2010; 22(1): 29
- 54) 横山美雪, 會田康子, 岸宏幸, 福崎幸治, 山内啓子, 井上純人, 二藤部丈司, 阿部修一, 柴田陽光, 久保田功: びまん性汎細気管支炎に伴う肺高血圧症に対しボセンタン及びシルデナフィルが有効であった1例. 第190回日本内科学会東北地方会抄録集. 2010; 22(1): 40
- 55) 石川恵理, 井上純人, 會田康子, 岸宏幸, 佐藤道子, 福崎幸治, 小坂太祐, 山内啓子, 阿部修一, 柴田陽光, 久保田功: 胸水貯留を契機に発見された胸壁リンパ腫の一例. 第90回日本呼吸器学会東北地方会・第120回日本結核病学会東北地方会 講演プログラム・抄録集. 2010: 18
- 56) 棟方充, 奈良正之, 柴田陽光, 村松康成, 佐藤俊: 座談会 気管支喘息治療における吸入ステロイド療法. *Prog Med*. 2010; 30(4): 1147-1154
- 57) 田村晴俊, 渡邊哲, 西山悟史, 佐々木真太郎, 久保田功: 経胸壁心エコーを用いた左心耳壁運動速度の低下は, 脳梗塞症例における左心耳内血栓形成の有用な予測因子である. 日本超音波医学会東北地方会第39回学術集会プログラム・抄録集. 2010: 6
- 58) 岸宏幸, 井上純人, 會田康子, 佐藤道子, 福崎幸治, 木村友美, 小坂太祐, 山内啓子, 阿部修一, 柴田陽光, 久保田功: 慢性閉塞性肺疾患患者の運動耐容能を規定する因子の検討. 日本呼吸器学会雑誌. 2010; 48(増刊号): 168
- 59) 小坂太祐, 柴田陽光, 阿部修一, 井上純人, 木村友美, 福崎幸治, 高島典明, 佐田誠, 久保田功: 喫煙が呼吸機能に及ぼす影響(高島町住民健診の疫学解析). 日本呼吸器学会雑誌. 2010; 48(増刊号): 242
- 60) 田村晴俊, 渡邊哲, 佐々木真太郎, 西山悟史, 久保田功: 経胸壁心エコーによる左心耳壁運動速度は心房細動を有する脳梗塞の再発予測因子である. 超音波医学(第83回学術集会プログラム・講演抄録集). 2010; 37(Suppl.): S310
- 61) 佐々木真太郎, 渡邊哲, 田村晴俊, 西山悟史, 久保田功: 経胸壁心エコーで得られる左房駆出率は左心耳機能低下を鋭敏に反映する. 超音波医学(第83回学術集会プログラム・講演抄録集). 2010; 37(Suppl.): S479

- 62) 長谷川寛真, 有本貴範, 岩山忠輝, 本田晋太郎, 沓澤大輔, 佐々木真太郎, 大道寺飛雄馬, 玉瀧智昭, 田村晴俊, 西山悟史, 高橋大, 宍戸哲郎, 宮下武彦, 宮本卓也, 二藤部丈司, 渡邊哲, 早坂真喜雄, 貞弘光章, 久保田功: 56歳まで無症状で経過した Bland-White-Garland 症候群の一例. 第150回日本循環器学会東北地方会プログラム. 2010:26
- 63) 田村晴俊, 渡邊哲, 西山悟史, 佐々木真太郎, 沓澤大輔, 玉瀧智昭, 大道寺飛雄馬, 有本貴範, 高橋大, 宍戸哲郎, 宮下武彦, 宮本卓也, 二藤部丈司, 久保田功: 脳梗塞急性期における血漿 BNP の上昇は心原性脳塞栓を予測する有用なマーカーである. 第150回日本循環器学会東北地方会プログラム. 2010:27
- 64) 大道寺飛雄馬, 宮本卓也, 久保田功, 渡邊哲, 二藤部丈司, 宮下武彦, 宍戸哲郎, 有本貴範, 高橋大, 西山悟史, 田村晴俊, 佐々木真太郎, 玉瀧智昭, 長谷川寛真, 本田晋太郎, 沓澤大輔: 高齢者症候性大動脈弁狭窄症に対する経皮的動脈弁パルーン形成術の治療経験. 第150回日本循環器学会東北地方会プログラム. 2010:39
- 65) 高崎聡, 真島佑介, 工藤光介, 池田亜美, 市川一誠, 今田恒夫, 久保田功: 日本人一般住民における炎症性サイトカインの遺伝多型とアルブミン尿との関連. 日本腎臓学会誌. 2010;52(3):278
- 66) 真島佑介, 工藤光介, 池田亜美, 市川一誠, 高崎聡, 今田恒夫, 久保田功: 一般住民における塩分摂取と血圧の関連について. 日本腎臓学会誌. 2010;52(3):298
- 67) 鈴木和子, 工藤光介, 真島佑介, 池田亜美, 市川一誠, 高崎聡, 今田恒夫, 久保田功: 一般住民の慢性腎臓病における血圧コントロールについて. 日本腎臓学会誌. 2010;52(3):298
- 68) 真島佑介, 工藤光介, 池田亜美, 市川一誠, 高崎聡, 今田恒夫, 久保田功: 心筋梗塞患者 138 例の腎機能年間変化について. 日本腎臓学会誌. 2010;52(3):300
- 69) 今田恒夫, 市川一誠, 高崎聡, 永井俊一, 久保田功: かりつけ医での蛋白尿・アルブミン尿検出における濃度補正尿試験紙の有用性. 日本腎臓学会誌. 2010;52(3):341
- 70) 工藤光介, 真島佑介, 池田亜美, 市川一誠, 高崎聡, 今田恒夫, 久保田功: 一般住民における尿細管障害の頻度と関連因子の検討: 高島研究. 日本腎臓学会誌. 2010;52(3):369
- 71) 池田亜美, 工藤光介, 真島佑介, 市川一誠, 高崎聡, 今田恒夫, 久保田功: 腎臓病の診断と進行リスク評価における尿プロテオーム解析の有用性. 日本腎臓学会誌. 2010;52(3):371
- 72) 新野弘樹, 星川仁人, 高崎聡, 市川一誠, 高橋俊之, 安孫子広, 政金生人, 松永智仁, 鈴木昌幸, 出川紀行, 今田恒夫, 久保田功: ビタミンD製剤, りん吸着薬の組み合わせと透析予後の関連. 日本透析医学会雑誌 (第55回日本透析医学会学術集会・総会特別号). 2010;43(Suppl.1):383
- 73) 市川一誠, 今田恒夫, 高崎聡, 池田亜美, 真島佑介, 工藤光介, 高橋俊之, 安孫子広, 伊東稔, 政金生人, 松永智仁, 出川紀行, 久保田功: PD と HD 患者の死亡率の比較. 日本透析医学会雑誌 (第55回日本透析医学会学術集会・総会特別号). 2010;43(Suppl.1):780
- 74) 沓澤大輔, 有本貴範, 渡邊哲, 二藤部丈司, 岩山忠輝, 久保田功: 潜在的な心室遅延電位—低カリウム血症が致死性不整脈の誘引になった Brugada 症候群の2例—. J Arrhythmia (第25回日本不整脈学会学術大会予稿集). 2010;26(Suppl.):347
- 75) 佐藤道子: 遺伝子改変マウスを用いた転写因子 MafB のマクロファージにおける機能の検討. 第9回肺サーファクタント分子病態研究会プログラム. 2010:4
- 76) 二藤部丈司, 久保田功: II. 分担研究報告 慢性閉塞性肺疾患患者における Multi-slice computed tomography (MSCT) を用いた冠動脈病変の検討. 厚生労働科学研究費補助金 循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業 「動脈硬化性疾患の危険因子の性差と予防に関するコホート研究」平成21年度総括・分担研究報告書. 2010:15-16
- 77) 久保田功: II. 分担研究報告 MIBG 心筋シンチによる収縮機能保持心不全患者の予後予測. 厚生労働省難治性克服研究事業 特発性心筋症に関する調査研究〈北風班〉2009年度報告書. 2010:5-6
- 78) 久保田功: 教育講演 リスクファクターの管理 心房細動の管理. 第19回日本脳ドック学会総会プログラム・抄録集. 2010:24-25
- 79) 久保田功: COPD と CKD の最新のトピックス. 平成22年度東北地区生理機能検査部門研修会 生理機能検査「Up-To-Date」. 2010:24
- 80) 渡邊哲: 心電図の基礎. 平成22年度東北地区生理機能検査部門研修会 生理機能検査「Up-To-Date」. 2010:20

- 81) 沓澤大輔, 加藤重彦, 宍戸哲郎, 有本貴範, 岡田明男, 高橋大, 宮下武彦, 宮本卓也, 二藤部丈司, 渡邊哲, 久保田功: 123I-MIBG は心収縮の保たれた心不全患者における心血管イベントを予測する. 動態核医学 (第27回研究会記録:2009年5月30日). 2010; 27: 35-40
- 82) 今田恒夫: Epidemiological Data in Japan 「高島研究」に学ぶ. The Preventers. 2010; 6: 10
- 83) 奥山英伸, 廣野撰, 石垣大輔, 結城孝一, 久保田功: 心不全患者の予後予測における E/E' (左室拡張能指標) の経時的変化の有用性. J Cardiol. (第58回日本心臓病学会学術集会抄録集). 2010; 2(Suppl. 1): 284
- 84) 石垣大輔, 奥山英伸, 小野宗一, 結城孝一, 廣野撰, 久保田功: 虚血性心疾患における負荷後の心機能変化と 99mTc-MIBI washout rate の関連性. J Cardiol. (第58回日本心臓病学会学術集会抄録集). 2010; 2(Suppl. 1): 332
- 85) 禰津俊介, 宍戸哲郎, 舟山哲, 渡邊哲, 久保田功: Surfactant protein-D は不全患者における二次性の右心負荷を反映する. J Cardiol. (第58回日本心臓病学会学術集会抄録集). 2010; 2(Suppl. 1): 341
- 86) 舟山哲, 宍戸哲郎, 禰津俊介, 渡邊哲, 久保田功: 尿β2ミクログロブリンはPCI後ステント再狭窄の予測因子となる. J Cardiol. (第58回日本心臓病学会学術集会抄録集). 2010; 2(Suppl. 1): 440
- 87) 小山雄太, 安孫子広, 後藤瑞恵, 小松田敦, 涌井秀樹, 今田恒夫, 澤田賢一: R342Q の missense mutation を認めた Fabry 病の1例. 日本腎臓学会誌. 2010; 52(6): 684
- 88) 小山雄太, 安孫子広, 後藤瑞恵, 小松田敦, 涌井秀樹, 今田恒夫, 澤田賢一: Monoclonal immunoglobulin deposition disease associated with membranous features. (MIDDMF) の1例. 日本腎臓学会誌. 2010; 52(6): 701
- 89) 市川一誠, 新野弘樹, 工藤光介, 真島佑介, 池田亜美, 高崎聡, 今田恒夫, 久保田功: 急性腎不全で発症し, 腎生検を行った AIDS 関連悪性リンパ腫の一例. 日本腎臓学会誌. 2010; 52(6): 7145
- 90) 沓澤大輔, 有本貴範, 二藤部丈司, 渡邊哲, 宮本卓也, 宍戸哲郎, 高橋大, 西山悟史, 久保田功: 低エネルギーで施行する除細動テストの有用性. 第2回東北臨床不整脈研究会. 2010: 7
- 91) 今田恒夫, 玉淵智昭, 西山悟史, 宍戸哲郎, 渡邊哲, 久保田功: 地域住民の慢性腎臓病における血圧コントロールについて: 高島研究. 第33回日本高血圧学会総会プログラム・抄録集. 2010: 380
- 92) 玉淵智昭, 渡邊哲, 西山悟史, 今田恒夫, 久保田功: JSH2009による脳心血管リスク層別化と臓器障害について. 第33回日本高血圧学会総会プログラム・抄録集. 2010: 414
- 93) 有本貴範, 渡邊哲, 二藤部丈司, 沓澤大輔, 久保田功: 房室結節リエントリー性頻拍アブレーション後, 長期の経過観察が有用な症例の特徴. 第22回カテテルアブレーション委員会公開研究会プログラム/抄録. 2010: 105
- 94) 真島佑介, 高崎聡, 市川一誠, 高橋俊之, 安孫子広, 政生生人, 松永智仁, 鈴木昌幸, 出川紀行, 今田恒夫, 久保田功: ビタミンD製剤, リン吸着薬の組み合わせと透析予後の関連. 第41回山形腎不全研究会プログラム・抄録集. 2010: 21
- 95) 加藤重彦, 渡邊哲, 鈴木聡, 石野光則, 佐々木敏樹, 久保田功: Toll-like receptor (TLR)-4 を介した心房内皮障害は, 心房内血栓形成に関与する. 厚生労働省難治性疾患克服研究事業 特発性心筋症に関する調査研究<北風班> 2010年度第1回研究報告会プログラム. 2010: 7
- 96) 中野寛之, 井上純人, 根本貴子, 會田康子, 布宮慶子, 岸宏幸, 西脇道子, 木村友美, 小坂太祐, 山内啓子, 阿部修一, 柴田陽光, 久保田功: 急速な経過で発症したびまん性肺泡出血の一例. 第91回日本呼吸器学会東北地方会・第121回日本結核病学会東北支部学会抄録集. 2010: 23
- 97) 玉淵智昭, 渡邊哲, 西山悟史, 高橋大, 有本貴範, 宍戸哲郎, 宮本卓也, 二藤部丈司, 久保田功: 正常高値血圧群におけるリスク管理の重要性と臓器障害について. 第151回日本循環器学会東北地方会プログラム. 2010: 31
- 98) 屋代洋典, 二藤部丈司, 田村晴俊, 大道寺飛雄馬, 西山悟史, 有本貴範, 高橋大, 宍戸哲郎, 宮本卓也, 渡邊哲, 久保田功: 冠攣縮性狭心症により心室細動をきたした Churg-Strauss 症候群の1例. 第151回日本循環器学会東北地方会プログラム. 2010: 37
- 99) 有本貴範, 二藤部丈司, 沓澤大輔, 高橋大, 宍戸哲郎, 宮本卓也, 渡邊哲, 久保田功: 心房細動のカテテルアブレーション: 当科における初期連続50例の検討. 第151回日本循環器学会東北地方会プログラム. 2010: 40
- 100) 和根崎真大, 宮本卓也, 西山悟史, 本田晋太郎, 佐々木真太郎, 田村晴俊, 有本貴範, 高橋大, 宍戸哲郎, 二藤部丈司, 渡邊哲, 久保田功, 宮崎良太, 金哲樹, 外山秀司, 吉村幸浩, 貞弘光章: 拘束型心筋症所見を

合併し、心膜切除術後も拡張不全が残存した放射線照射後収縮性心膜炎の1例. 第151回日本循環器学会東北地方会プログラム. 2010:46

- 101) 佐藤道子, 柴田陽光, 木村友美, 阿部修一, 會田康子, 岸宏幸, 小坂太祐, 山内啓子, 井上純人, 久保田功: Dominant negative (DN) MafB トランスジェニックマウスにおけるマクロファージの検討. 実験動物セミナー 第21回研究成果発表会講演要旨集. 2010:9

## 2. 学会報告

### (1) 国際学会

#### i 一般演題

- 1) Ichikawa K, Konta T, Takasaki S, Ikeda A, Mashima Y, Kudo K, Kubota I: Genetic polymorphisms of paraoxonase-1 are associated with chronic kidney disease in Japanese female population. 国際腎臓学会 (ISN) NEXUS シンポジウム, Kyoto; April 2010
- 2) Sato M, Shibata Y, Kimura T, Abe S, Aida Y, Kishi H, Fukuzaki K, Osaka D, Yamauchi K, Inoue S, Kubota I: Dominant negative MAFB reduces the numbers of murine alveolar macrophages. American Thoracic Society 2010 International Conference, New Orleans; May 2010
- 3) Kishi H, Inoue S, Aida Y, Sato M, Fukuzaki K, Osaka D, Yamauchi K, Abe S, Shibata Y, Kubota I: Exercise tolerance in patients with chronic obstructive pulmonary disease is independent of resting pulmonary or cardiac functions. American Thoracic Society 2010 International Conference, New Orleans; May 2010
- 4) Osaka D, Shibata Y, Abe S, Inoue S, Tokairin Y, Igarashi A, Yamauchi K, Kimura T, Fukuzaki K, Aida Y, Takabatake N, Sata M, Kubota I: Cigarette smoking causes airflow limitation in Japanese healthy individuals: Takahata Study. American Thoracic Society 2010 International Conference, New Orleans; May 2010
- 5) Mashima Y, Suzuki K, Ichikawa K, Ikeda A, Takasaki S, Konta T, Kubota I: The changes in renal function after myocardial infarction. JSN-Asia Young Nephrologists Seminar (JSN-AYNS) 2010, Kobe; June 2010
- 6) Ichikawa K, Konta T, Takasaki S, Ikeda A, Kubota I: The comparison of the mortality between Japanese PD and HD patients: The four-year follow-up multicenter study. XLVII ERA-EDTA CONGRESS, II DGfn CONGRESS, Munich, Germany; June 2010
- 7) Mashima Y, Kudo K, Ichikawa K, Ikeda A, Takasaki S, Konta T, Kubota I: The changes in renal function after myocardial infarction. XLVII ERA-EDTA CONGRESS, II DGfn CONGRESS, Munich, Germany; June 2010
- 8) Kudo K, Konta T, Hoshikawa M, Takasaki S, Ichikawa K, Mashima Y, Masakane I, Suzuki M, Degawa N, Kubota I: The survival and combination of vitamin D and phosphorus binder in dialysis. XLVII ERA-EDTA CONGRESS, II DGfn CONGRESS, Munich, Germany; June 2010
- 9) Suzuki S, Shishido T, Sasaki T, Kato S, Ishino M, Watanabe T, Takeishi Y, Kubota I: The long pentraxin PTX3 exacerbates pressure overload-induced left ventricular dysfunction. XXth World Congress of the International Society for Heart Research 2010, Kyoto; May 2010
- 10) Kato S, Watanabe T, Suzuki S, Ishino M, Sasaki T, Shishido T, Sadahiro M, Kubota I: Atrial endothelial impairment through toll-like receptor-4 signaling may cause atrial thrombogenesis. XXth World Congress of the International Society for Heart Research 2010, Kyoto; May 2010
- 11) Ohtaki Y, Takahashi H, Ishino M, Hasegawa H, Honda S, Netsu S, Funayama A, Arimoto T, Shishido T, Miyashita T, Miyamoto T, Nitobe J, Watanabe T, Kubota I: Cystatin C-based estimated glomerular filtration rate predict cardiac event in chronic heart failure patients more precisely than creatinine-based estimated glomerular filtration rate. American Heart Association Scientific Sessions 2010, Chicago; November 2010
- 12) Ishino M, Shishido T, Funayama A, Netsu S, Kiribayashi N, Arimoto T, Takahashi H, Miyashita T, Miyamoto T, Nitobe J, Watanabe T, Kubota I: A comparison of B-type natriuretic peptide and heart-type fatty acid binding protein as predictors of cardiac events in heart failure patients with chronic

- kidney disease. American Heart Association Scientific Sessions 2010, Chicago; November 2010
- 13) Tamura H, Watanabe T, Nishiyama S, Sasaki S, Wanezaki M, Arimoto T, Takahashi H, Shishido T, Miyashita T, Miyamoto T, Nitobe J, Kubota I: Low wall velocity of left atrial appendage measured by transthoracic echocardiography predicts long-term prognosis in ischemic stroke patients with atrial fibrillation. American Heart Association Scientific Sessions 2010, Chicago; November 2010
  - 14) Ishino M, Shishido T, Funayama A, Netsu S, Kiribayashi N, Arimoto T, Takahashi H, Miyashita T, Miyamoto T, Nitobe J, Watanabe T, Kubota I: Short- and long-term outcome and risk stratification by multibiomarkers in patients with chronic heart failure. American Heart Association Scientific Sessions 2010, Chicago; November 2010
  - 15) Tamura H, Watanabe T, Nishiyama S, Sasaki S, Wanezaki M, Arimoto T, Takahashi H, Shishido T, Miyashita T, Miyamoto T, Nitobe J, Kubota I: Increased left atrial volume index predicts poor prognosis in heart failure patients with preserved ejection fraction. American Heart Association Scientific Sessions 2010, Chicago; November 2010
  - 16) Tamura H, Watanabe T, Nishiyama S, Sasaki S, Wanezaki M, Arimoto T, Takahashi H, Shishido T, Miyashita T, Miyamoto T, Nitobe J, Kubota I: Elevated plasma brain natriuretic peptide levels predict left atrial appendage dysfunction in patients with acute ischemic stroke. American Heart Association Scientific Sessions 2010, Chicago; November 2010
  - 17) Funayama A, Shishido T, Ohtaki Y, Hasegawa H, Honda S, Netsu S, Ishino M, Arimoto T, Takahashi H, Miyashita T, Miyamoto T, Nitobe J, Watanabe T, Kubota I: Combination of pentosidine and carboxy-terminal telopeptide of type I collagen strongly predicts cardiac events in heart failure patients with preserved left ventricular ejection fraction. American Heart Association Scientific Sessions 2010, Chicago; November 2010
  - 18) Sasaki S, Watanabe T, Tamura H, Nishiyama S, Wanezaki M, Arimoto T, Takahashi H, Shishido T, Miyashita T, Miyamoto T, Nitobe J, Kubota I: Risk stratification of heart failure patients with preserved ejection fraction by multiple echocardiographic parameters. American Heart Association Scientific Sessions 2010, Chicago; November 2010
  - 19) Funayama A, Shishido T, Ohtaki Y, Hasegawa H, Honda S, Netsu S, Ishino M, Arimoto T, Takahashi H, Miyashita T, Miyamoto T, Nitobe J, Watanabe T, Kubota I: Utility of urinary excretion of b2 microglobulin to identify high risk subset for restenosis in patients who underwent percutaneous coronary intervention. American Heart Association Scientific Sessions 2010, Chicago; November 2010
  - 20) Sasaki S, Watanabe T, Tamura H, Nishiyama S, Wanezaki M, Arimoto T, Takahashi H, Shishido T, Miyashita T, Miyamoto T, Nitobe J, Kubota I: Combined evaluation of left atrial volume index and heart-type fatty acid-binding protein is a feasible prognostic predictor in heart failure patients with preserved ejection fraction. American Heart Association Scientific Sessions 2010, Chicago; November 2010
  - 21) Kaneko K, Kadowaki S, Narumi T, Niizeki T, Sasaki T, Omi K, Oguma M, Watanabe T, Kubota I: Deterioration of left atrial wall motion velocity may predict left atrial appendage dysfunction in acute cerebral embolism patients with paroxysmal atrial fibrillation. American Heart Association Scientific Sessions 2010, Chicago; November 2010
  - 22) Wanezaki M, Watanabe T, Tamura H, Nishiyama S, Sasaki S, Arimoto T, Takahashi H, Shishido T, Miyashita T, Miyamoto T, Nitobe J, Kubota I: Elevated plasma von Willebrand factor level predicts thrombus formation in the left atrial appendage in patients with acute ischemic stroke. American Heart Association Scientific Sessions 2010, Chicago; November 2010
  - 23) Wanezaki M, Nishiyama S, Watanabe T, Arimoto T, Takahashi H, Shishido T, Miyashita T, Miyamoto T, Nitobe J, Kubota I: Decreased estimated glomerular filtration rate deteriorates long-term prognosis after ST-segment elevation acute myocardial infarction. American Heart Association Scientific Sessions 2010, Chicago; November 2010
  - 24) Netsu S, Shishido T, Ohtaki Y, Hasegawa H, Honda S, Funayama A, Ishino M, Arimoto T, Takahashi H,

- Miyashita T, Miyamoto T, Nitobe J, Watanabe T, Kubota I: Serum surfactant protein-D is a useful marker reflecting pulmonary congestion in patients with heart failure. American Heart Association Scientific Sessions 2010, Chicago; November 2010
- 25) Ishino M, Shishido T, Funayama A, Netsu S, Kiribayashi N, Arimoto T, Takahashi H, Miyashita T, Miyamoto T, Nitobe J, Watanabe T, Kubota I: Heart-type fatty acid binding protein as predictor of cardiac mortality and events in patients with acute decompensated heart failure. American Heart Association Scientific Sessions 2010, Chicago; November 2010
- 26) Tamabuchi T, Watanabe T, Tamura H, Nishiyama S, Arimoto T, Takahashi H, Shishido T, Miyashita T, Nitobe J, Shibata Y, Konta T, Kawata S, Kato T, Kubota I: Impacts of coexistence of metabolic syndrome and chronic kidney disease on serum heart-type fatty acid-binding protein levels in general population. American Heart Association Scientific Sessions 2010, Chicago; November 2010
- 27) Hasegawa H, Watanabe T, Kiribayashi N, Sasaki T, Ohtaki Y, Honda S, Netsu S, Funayama A, Ishino M, Takahashi H, Arimoto T, Shishido T, Miyashita T, Miyamoto T, Nitobe J, Kubota I: Feasibility of combined evaluation of brain natriuretic peptide and heart-type fatty acid binding protein in female patients with heart failure. American Heart Association Scientific Sessions 2010, Chicago; November 2010
- 28) Katoh S, Shishido T, Kutsuzawa D, Arimoto T, Watanabe T, Kubota I: Influence of diabetes mellitus on prognostic utility of cardiac iodine-123-metaiodobenzylguanidine in diastolic heart failure patients. American Heart Association Scientific Sessions 2010, Chicago; November 2010
- 29) Nishiyama S, Watanabe T, Tamura H, Sasaki S, Wanezaki M, Arimoto T, Takahashi H, Shishido T, Miyashita T, Miyamoto T, Nitobe J, Kubota I: Left atrial ejection fraction (LAEF) predicts cardioembolic stroke in patients with chronic atrial fibrillation. American Heart Association Scientific Sessions 2010, Chicago; November 2010
- 30) Konta T, Suzuki K, Ikeda A, Mashima Y, Ichikawa K, Takasaki S, Kubota I: The optimal cutoff value of urine albumin concentration for albuminuria in Japanese population: The Takahata study. Renal Week 2010, Denver; November 2010
- 31) Ikeda A, Konta T, Suzuki K, Mashima Y, Ichikawa K, Takasaki S, Kubota I: Genetic polymorphism of proinflammatory cytokines and albuminuria in Japanese general population: The Takahata study. Renal Week 2010, Denver; November 2010
- 32) Suzuki K, Ikeda A, Mashima Y, Ichikawa K, Takasaki S, Konta T, Kubota I: The slight increase in urine albumin and beta 2-microglobulin are independently related with blood pressure in general Japanese population: The Takahata study. Renal Week 2010, Denver; November 2010

## (2) 国内の学会

### i 特別講演

- 1) 久保田功: 特発性心筋症. 日本内科学会学術集会 第38回内科学の展望, 京都; 2010年12月

### ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 久保田功: 高血圧症. 第15回日本更年期医学会ワークショップ, 山形; 2010年3月
- 2) 久保田功: 教育講演: リスクファクターの管理 心房細動の管理. 第19回日本脳ドック学会総会, 山形; 2010年6月

### iii 一般演題

- 1) Suzuki S, Shishido T, Sasaki T, Kitahara T, Katoh S, Ishino M, Funayama A, Netsu S, Watanabe T, Takeishi Y, Kubota I: Deficiency of the long pentraxin PTX3 reduced pressure overload-induced left ventricular dysfunction. The 74th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, Kyoto; March 2010
- 2) Kaneko K, Kadowaki S, Narumi T, Ohtaki Y, Niizeki T, Itoh M, Oguma M, Kubota I: A novel visualization of aortic arch stiffness using with tissue doppler imaging in aortic wall correlated to complicated aortic plaque. The 74th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, Kyoto; March 2010

- 3) Tamabuchi T, Watanabe T, Konta T, Kubota I: Impact of excess salt intake on serum brain natriuretic peptide (BNP) levels in general Japanese population with chronic kidney disease. The 74th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, Kyoto; March 2010
- 4) Ishino M, Shishido T, Funayama A, Netsu S, Katoh S, Sasaki T, Arimoto T, Takahashi H, Miyashita T, Miyamoto T, Nitobe J, Watanabe T, Kubota I: Comparison of the prognostic usefulness of BNP and H-FABP in chronic heart failure patients with versus without chronic kidney disease. The 74th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, Kyoto; March 2010
- 5) Iwayama T, Nitobe J, Hasegawa H, Honda S, Ishino M, Tamura H, Arimoto T, Takahashi H, Shishido T, Miyashita T, Miyamoto T, Watanabe T, Kubota I: Relationship between epicardial fat measured by multi-detector computed tomography (MDCT) and coronary atherosclerotic remodeling. The 74th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, Kyoto; March 2010
- 6) Iwayama T, Nitobe J, Hasegawa H, Honda S, Ishino M, Tamura H, Arimoto T, Takahashi H, Shishido T, Miyashita T, Miyamoto T, Watanabe T, Kubota I: The combined assessment of left atrial and ventricular volume by multi-detector computed tomography (MDCT) for prognosis in heart disease patients. The 74th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, Kyoto; March 2010
- 7) Ishino M, Shishido T, Funayama A, Netsu S, Katoh S, Sasaki T, Suzuki S, Arimoto T, Takahashi H, Miyashita T, Miyamoto T, Nitobe J, Watanabe T, Kubota I: Short and long-term outcome by multi-biomarkers risk stratification of BNP, H-FABP, PTX3, and Cystatin-C in patients with chronic heart failure. The 74th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, Kyoto; March 2010
- 8) Funayama A, Shishido T, Netsu S, Ishino M, Katoh S, Sasaki T, Suzuki S, Nishiyama S, Arimoto T, Takahashi H, Miyashita T, Miyamoto T, Nitobe J, Watanabe T, Kubota I: High serum level of pregnancy associated plasma protein A (PAPP-A) is a risk factor of patients with heart failure. The 74th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, Kyoto; March 2010
- 9) Suzuki S, Shishido T, Sasaki T, Kitahara T, Katoh S, Ishino M, Funayama A, Netsu S, Watanabe T, Takeishi Y, Kubota I: The long pentraxin PTX3 exacerbates pressure overload-induced left ventricular dysfunction. The 74th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, Kyoto; March 2010
- 10) Kutsuzawa D, Watanabe T, Takahashi H, Arimoto T, Shishido T, Miyashita T, Miyamoto T, Nitobe J, Kubota I: Impact of autonomic nerve activities on late potential variability in brugada syndrome. The 74th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, Kyoto; March 2010
- 11) Sasaki S, Nishiyama S, Watanabe T, Tamura H, Arimoto T, Takahashi H, Shishido T, Miyashita T, Miyamoto T, Nitobe J, Kubota I: Left atrial ejection fraction (LAEF) is a novel marker of left atrial appendage dysfunction in acute stroke patients. The 74th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, Kyoto; March 2010
- 12) Ohtaki Y, Niizeki T, Daidoji H, Kaneko K, Itoh M, Oguma M, Kubota I: Albuminuria could independently predict impaired renal function after elective percutaneous coronary intervention. The 74th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, Kyoto; March 2010
- 13) Kaneko K, Kadowaki S, Narumi T, Ohtaki Y, Niizeki T, Itoh M, Oguma M, Kubota I: Left atrial wall motion velocities obtained from tissue doppler imaging concerned with left atrial appendage function in ischemic stroke patients. The 74th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, Kyoto; March 2010
- 14) Tamura H, Watanabe T, Nishiyama S, Sasaki S, Arimoto T, Takahashi H, Shishido T, Miyashita T, Miyamoto T, Nitobe J, Kubota I: Low wall velocity of left atrial appendage measured by trans-thoracic echocardiography predicts thrombus formation caused by atrial appendage dysfunction. The 74th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, Kyoto; March 2010
- 15) Nishiyama S, Watanabe T, Arimoto T, Takahashi H, Shishido T, Miyashita T, Miyamoto T, Nitobe J, Kubota I: Impact of estimated glomerular filtration rate on long-term prognosis after acute

- myocardial infarction. The 74th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, Kyoto; March 2010
- 16) Nishiyama S, Watanabe T, Ariomoto T, Takahashi H, Shishido T, Miyashita T, Miyamoto T, Nitobe J, Kubota I: Increased prevalence of metabolic syndrome may be associated with increase in younger male patients with acute myocardial infarction. The 74th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, Kyoto; March 2010
  - 17) Sasaki T, Shishido T, Suzuki S, Katoh S, Ishino M, Funayama A, Netsu S, Watanabe T, Takeishi Y, Kubota I: Diacylglycerol kinase exacerbates cardiac injury after ischemia/reperfusion in transgenic mouse hearts. The 74th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, Kyoto; March 2010
  - 18) Katoh S, Watanabe T, Suzuki S, Ishino M, Kitahara T, Funayama A, Netsu S, Sasaki T, Shishido T, Kubota I: Atrial endothelial impairment through toll-like receptor (TLR)-4 signaling may cause atrial thrombogenesis. The 74th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, Kyoto; March 2010
  - 19) Tamabuchi T, Watanabe T, Konta T, Kubota I: Impact of chronic kidney disease and anemia on brain natriuretic peptide (BNP) level in Japanese general population. The 74th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, Kyoto; March 2010
  - 20) Tamura H, Watanabe T, Nishiyama S, Sasaki S, Arimoto T, Takahashi H, Shishido T, Miyashita T, Miyamoto T, Nitobe J, Kubota I: Left atrial volume index predicts poor prognosis in patients with diastolic heart failure. The 74th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, Kyoto; March 2010
  - 21) Funayama A, Shishido T, Arimoto T, Netsu S, Ishino M, Katoh S, Sasaki T, Suzuki S, Nishiyama S, Takahashi H, Miyashita T, Miyamoto T, Nitobe J, Watanabe T, Kubota I: Urinary excretion of beta2-microglobulin as a new predictor of restenosis after PCI. The 74th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, Kyoto; March 2010
  - 22) Funayama A, Shishido T, Kitahara T, Netsu S, Ishino M, Katoh S, Sasaki T, Suzuki S, Nishiyama S, Arimoto T, Takahashi H, Miyashita T, Miyamoto T, Nitobe J, Watanabe T, Kubota I: Serum carboxy terminal telopeptide of type I collagen (ICTP) predicts progression of left ventricular remodeling after reperfused acute myocardial infarction. The 74th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, Kyoto; March 2010
  - 23) Katoh S, Shishido T, Arimoto T, Kutsuzawa D, Takahashi H, Miyashita T, Miyamoto T, Nitobe J, Watanabe T, Kubota I: Combination of iodine-123-metaiodobenzylguanidine imaging and heart-type fatty acid binding protein for risk stratification in heart failure with preserved ejection fraction. The 74th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, Kyoto; March 2010
  - 24) Niizeki T, Itoh M, Oguma M, Takeishi Y, Kubota I: Heart shock proteins 60 (Hsp60) predicts clinical outcome in female patients with chronic heart failure (CHF). The 74th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, Kyoto; March 2010
  - 25) Kiribayashi N, Watanabe T, Sasaki T, Takahashi H, Arimoto T, Shishido T, Miyashita T, Miyamoto T, Nitobe J, Kubota I: Risk stratification by combination of brain natriuretic peptide and heart-type fatty acid binding protein in female patients with heart failure. The 74th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, Kyoto; March 2010
  - 26) Arimoto T, Tada H, Sekiguchi Y, Satoh A, Igarashi M, Yamasaki H, Machino T, Kuroki K, Kuga K, Aonuma K: High washout rate of iodine-123-metaiodobenzylguanidine imaging predicts late recurrence of atrial fibrillation following radiofrequency catheter ablation. The 74th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, Kyoto; March 2010
  - 27) 岸宏幸, 井上純人, 會田康子, 佐藤道子, 福崎幸治, 木村友美, 小坂太祐, 山内啓子, 阿部修一, 柴田陽光, 久保田功: 慢性閉塞性肺疾患患者の運動耐容能を規定する因子の検討. 第50回日本呼吸器学会学術講演会, 京都; 2010年4月



- 28) 小坂太祐, 柴田陽光, 阿部修一, 井上純人, 木村友美, 福崎幸治, 高島典明, 佐田誠, 久保田功: 喫煙が呼吸機能に及ぼす影響 (高島町住民健診の疫学解析). 第 50 回日本呼吸器学会学術講演会, 京都; 2010 年 4 月
- 29) 田村晴俊, 渡邊哲, 佐々木真太郎, 西山悟史, 久保田功: 経胸壁心エコーによる左心耳壁運動速度は心房細動を有する脳梗塞の再発予測因子である. 日本超音波医学会第 83 回学術集会, 京都; 2010 年 5 月
- 30) 佐々木真太郎, 渡邊哲, 田村晴俊, 西山悟史, 久保田功: 経胸壁心エコーで得られる左房駆出率は左心耳機能低下を鋭敏に反映する. 日本超音波医学会第 83 回学術集会, 京都; 2010 年 5 月
- 31) 高崎聡, 真島佑介, 工藤光介, 池田亜美, 市川一誠, 今田恒夫, 久保田功: 日本人一般住民における炎症性サイトカインの遺伝多型とアルブミン尿との関連. 第 53 回 (平成 22 年度) 日本腎臓学会学術総会, 神戸; 2010 年 6 月
- 32) 真島佑介, 工藤光介, 池田亜美, 市川一誠, 高崎聡, 今田恒夫, 久保田功: 一般住民における塩分摂取と血圧の関連について. 第 53 回 (平成 22 年度) 日本腎臓学会学術総会, 神戸; 2010 年 6 月
- 33) 鈴木和子, 工藤光介, 真島佑介, 池田亜美, 市川一誠, 高崎聡, 今田恒夫, 久保田功: 一般住民の慢性腎臓病における血圧コントロールについて. 第 53 回 (平成 22 年度) 日本腎臓学会学術総会, 神戸; 2010 年 6 月
- 34) 真島佑介, 工藤光介, 池田亜美, 市川一誠, 高崎聡, 今田恒夫, 久保田功: 心筋梗塞患者 138 例の腎機能年間変化について. 第 53 回 (平成 22 年度) 日本腎臓学会学術総会, 神戸; 2010 年 6 月
- 35) 今田恒夫, 市川一誠, 高崎聡, 永井俊一, 久保田功: かかりつけ医での蛋白尿・アルブミン尿検出における濃度補正尿試験紙の有用性. 第 53 回 (平成 22 年度) 日本腎臓学会学術総会, 神戸; 2010 年 6 月
- 36) 工藤光介, 真島佑介, 池田亜美, 市川一誠, 高崎聡, 今田恒夫, 久保田功: 一般住民における尿細管障害の頻度と関連因子の検討: 高島研究. 第 53 回 (平成 22 年度) 日本腎臓学会学術総会, 神戸; 2010. 06. 16-18
- 37) 池田亜美, 工藤光介, 真島佑介, 市川一誠, 高崎聡, 今田恒夫, 久保田功: 腎臓病の診断と進行リスク評価における尿プロテオーム解析の有用性. 第 53 回 (平成 22 年度) 日本腎臓学会学術総会, 神戸; 2010 年 6 月
- 38) 新野弘樹, 星川仁人, 高崎聡, 市川一誠, 高橋俊之, 安孫子広, 政金生人, 松永智仁, 鈴木昌幸, 出川紀行, 今田恒夫, 久保田功: ビタミン D 製剤, りん吸着薬の組み合わせと透析予後の関連. 第 55 回 (社) 日本透析医学会学術集会, 神戸; 2010 年 6 月. 06. 18-20
- 39) 市川一誠, 今田恒夫, 高崎聡, 池田亜美, 真島佑介, 工藤光介, 高橋俊之, 安孫子広, 伊東稔, 政金生人, 松永智仁, 出川紀行, 久保田功: PD と HD 患者の死亡率の比較. 第 55 回 (社) 日本透析医学会学術集会, 神戸; 2010 年 6 月
- 40) 杏澤大輔, 有本貴範, 渡邊哲, 二藤部丈司, 岩山忠輝, 久保田功: 潜在的な心室遅延電位—低カリウム血症が致死性不整脈の誘引になった Brugada 症候群の 2 例—. 第 25 回日本不整脈学会学術大会, 名古屋; 2010 年 6 月
- 41) 奥山英伸, 廣野撰, 石垣大輔, 結城孝一, 久保田功: 心不全患者の予後予測における E/E' (左室拡張能指標) の経時的変化の有用性. 第 58 回日本心臓病学会学術集会, 東京; 2010 年 9 月
- 42) 石垣大輔, 奥山英伸, 小野宗一, 結城孝一, 廣野撰, 久保田功: 虚血性心疾患における負荷後の心機能変化と  $^{99m}\text{Tc}$ -MIBI washout rate の関連性. 第 58 回日本心臓病学会学術集会, 東京; 2010 年 9 月
- 43) 禰津俊介, 宍戸哲郎, 舟山哲, 渡邊哲, 久保田功: Surfactant protein-D は不全患者における二次性の右心負荷を反映する. 第 58 回日本心臓病学会学術集会, 東京; 2010 年 9 月
- 44) 舟山哲, 宍戸哲郎, 禰津俊介, 渡邊哲, 久保田功: 尿  $\beta 2$  ミクログロブリンは PCI 後ステント再狭窄の予測因子となる. 第 58 回日本心臓病学会学術集会, 東京; 2010 年 9 月
- 45) 小山雄太, 安孫子広, 後藤瑞恵, 小松田敦, 涌井秀樹, 今田恒夫, 澤田賢一: R342Q の missense mutation を認めた Fabry 病の 1 例. 第 40 回 (平成 22 年度) 日本腎臓学会東部学術大会, 宇都宮; 2010 年 9 月
- 46) 小山雄太, 安孫子広, 後藤瑞恵, 小松田敦, 涌井秀樹, 今田恒夫, 澤田賢一: Monoclonal immunoglobulin deposition disease associated with membranous features. (MIDDMF) の 1 例. 第 40 回 (平成 22 年度) 日本腎臓学会東部学術大会, 宇都宮; 2010 年 9 月
- 47) 市川一誠, 新野弘樹, 工藤光介, 真島佑介, 池田亜美, 高崎聡, 今田恒夫, 久保田功: 急性腎不全で発症し, 腎生検を行った AIDS 関連悪性リンパ腫の一例. 第 40 回 (平成 22 年度) 日本腎臓学会東部学術大会,

宇都宮：2010年9月

- 48) 今田恒夫, 柏木哲也, 齋藤和英, 安田隆：解説 3. 筋力低下で来院した40歳の女性. 第40回(平成22年度)日本腎臓学会東部学術大会学生・研修医のための教育セミナー, 宇都宮; 2010年9月
- 49) 今田恒夫, 玉渕智昭, 西山悟史, 宍戸哲郎, 渡邊哲, 久保田功：地域住民の慢性腎臓病における血圧コントロールについて：高島研究. 第33回日本高血圧学会総会 福岡, 2010年10月
- 50) 玉渕智昭, 渡邊哲, 西山悟史, 今田恒夫, 久保田功：JSH2009による脳心血管リスク層別化と臓器障害について. 第33回日本高血圧学会総会, 福岡, 2010年10月

### (3) 国内地方会

#### i 一般演題

- 1) 工藤光介, 高崎聡, 真島佑介, 池田亜美, 市川一誠, 今田恒夫, 久保田功：薬剤性肝炎に合併した急性腎不全の1例. 第190回日本内科学会東北地方会, 仙台; 2010年2月
- 2) 矢萩淑恵, 宮本卓也, 西山悟史, 鈴木聡, 本田晋太郎, 宍戸哲郎, 宮下武彦, 二藤部丈司, 渡邊哲, 久保田功：サルコイドーシスに合併したAA型心アミロイドーシスの1例. 第190回日本内科学会東北地方会, 仙台; 2010年2月
- 3) 横山美雪, 會田康子, 岸宏幸, 福崎幸治, 山内啓子, 井上純人, 二藤部丈司, 阿部修一, 柴田陽光, 久保田功：びまん性汎細気管支炎に伴う肺高血圧症に対しボセンタン大尾シルデナフィルが有効であった1例. 第190回日本内科学会東北地方会, 仙台; 2010年2月
- 4) 田村晴俊, 渡邊哲, 西山悟史, 佐々木真太郎, 久保田功：経胸壁心エコーを用いた左心耳壁運動速度の低下は, 脳梗塞症例における左心耳内血栓形成の有用な予測因子である. 日本超音波医学会東北地方会第39回学術集会, 仙台; 2010年3月
- 5) 長谷川寛真, 有本貴範, 岩山忠輝, 本田晋太郎, 沓澤大輔, 佐々木真太郎, 大道寺飛雄馬, 玉渕智昭, 田村晴俊, 西山悟史, 高橋大, 宍戸哲郎, 宮下武彦, 宮本卓也, 二藤部丈司, 渡邊哲, 早坂真喜雄, 貞弘光章, 久保田功：56歳まで無症状で経過したBland-White-Garland症候群の一例. 第150回日本循環器学会東北地方会, 盛岡; 2010年6月
- 6) 田村晴俊, 渡邊哲, 西山悟史, 佐々木真太郎, 沓澤大輔, 玉渕智昭, 大道寺飛雄馬, 有本貴範, 高橋大, 宍戸哲郎, 宮下武彦, 宮本卓也, 二藤部丈司, 久保田功：脳梗塞急性期における血漿BNPの上昇は心原性脳塞栓を予測する有用なマーカーである. 第150回日本循環器学会東北地方会, 盛岡; 2010年6月
- 7) 大道寺飛雄馬, 宮本卓也, 久保田功, 渡邊哲, 二藤部丈司, 宮下武彦, 宍戸哲郎, 有本貴範, 高橋大, 西山悟史, 田村晴俊, 佐々木真太郎, 玉渕智昭, 長谷川寛真, 本田晋太郎, 沓澤大輔：高齢者症候性大動脈弁狭窄症に対する経皮的動脈弁バルーン形成術の治療経験. 第150回日本循環器学会東北地方会, 盛岡; 2010年6月
- 8) 玉渕智昭, 渡邊哲, 西山悟史, 高橋大, 有本貴範, 宍戸哲郎, 宮本卓也, 二藤部丈司, 久保田功：正常高値血圧群におけるリスク管理の重要性と臓器障害について. 第151回日本循環器学会東北地方会, 仙台; 2010年12月
- 9) 屋代祥典, 二藤部丈司, 田村晴俊, 大道寺飛雄馬, 西山悟史, 有本貴範, 高橋大, 宍戸哲郎, 宮本卓也, 渡邊哲, 久保田功：冠攣縮性狭心症により心室細動をきたしたChurg-Strauss症候群の1例. 第151回日本循環器学会東北地方会, 仙台; 2010年12月
- 10) 有本貴範, 二藤部丈司, 沓澤大輔, 高橋大, 宍戸哲郎, 宮本卓也, 渡邊哲, 久保田功：心房細動のカテーテルアブレーション：当科における初期連続50例の検討. 第151回日本循環器学会東北地方会, 仙台; 2010年12月
- 11) 和根崎真大, 宮本卓也, 西山悟史, 本田晋太郎, 佐々木真太郎, 田村晴俊, 有本貴範, 高橋大, 宍戸哲郎, 二藤部丈司, 渡邊哲, 久保田功, 宮崎良太, 金哲樹, 外山秀司, 吉村幸浩, 貞弘光章：拘束型心筋症所見を合併し, 心膜切除術後も拡張不全が残存した放射線照射後収縮性心膜炎の1例. 第151回日本循環器学会東北地方会, 仙台; 2010年12月

### (4) 研究会

#### i 特別講演

- 1) 柴田陽光：一喫煙がいかかに肺機能を悪化させるかー 山形県高島町一般住民におけるCOPD疫学研究. 呼吸器インターラクティブセミナー2010, 札幌; 2010年1月

- 2) 今田恒夫：一般住民におけるCKDの頻度と危険因子：高阜研究。第13回埼玉東部腎臓臨床勉強会，浦和；2010年3月
- 3) 今田恒夫：一般住民における慢性腎臓病の診断と治療：高阜研究より ～血圧コントロールと減塩の重要性～。第11回山形いちごの会，山形；2010年5月
- 4) 渡邊哲：心房細動患者の外来管理について。第146回新庄・最上臨床懇話会，新庄；2010年5月
- 5) 久保田功：内科学研究の最先端。第6回開放型病床懇話会，山形；2010年6月
- 6) 宮本卓也：高齢者大動脈弁狭窄症の治療とその現状と問題点。置賜循環器学術講演会，南陽；2010年6月
- 7) 柴田陽光：COPDに関する最新の話。第148回新庄・最上臨床懇話会，新庄；2010年9月
- 8) 今田恒夫：CKDを誰がどう治療すべきか：高阜研究からの提案。腎義ある戦い2010 ～CKD Leaders Meeting～，札幌；2010年7月
- 9) 今田恒夫：ビタミンDとリン吸着薬併用の有効性 ～Yamagata dialysis cohort study～ビタミンD TVフォーラム ～オキサロール発売10周年記念～，山形；2010年9月
- 10) 二藤部丈司：当科における肺高血圧患者に対する診断・治療の実際。八戸肺高血圧症フォーラム，八戸；2010年10月
- 11) 高橋大：抹消動脈疾患，特に重症虚血肢に対する集学的治療の必要性 ～内科だけでもダメ，外科だけでもダメ～。第21回山形血管疾患研究会，山形；2010年11月
- 12) 今田恒夫：高血圧，心血管疾患の基礎病態としての慢性腎臓病の意義。第4回酒田 Circulation Meeting，酒田；2010年11月
- 13) 今田恒夫：高血圧，脳卒中の基礎病態としての慢性腎臓病の意義。腎疾患治療勉強会 in 米沢，米沢；2010年11月
- 14) 今田恒夫：慢性腎臓病（CKD）における降圧治療（RAS抑制薬とN型チャンネルCCB）。青森市循環器勉強会，青森；2010年12月
- 15) 井上純人：山形県におけるCOPD研究について ―基礎と臨床―。第11回庄内地区Expert研究会，酒田；2010年11月

## ii 一般演題

- 1) 阿部修一：大学病院における新型インフルエンザ対策。第9回東北臨床感染症研究会，仙台；2010年1月
- 2) 池田亜美：若年性強皮症の一例。第4回山形アレルギー膠原病自己免疫疾患勉強会，山形；2010年1月
- 3) 真島佑介：一般住民における尿酸と慢性腎臓病の関連：高阜研究。第2回山形CKD・CVD研究会，山形；2010年2月
- 4) 玉渕智昭：当院におけるOCTを用いたステント留置後のlate lossの検討。OCT症例検討会 in 東北，仙台；2010年2月
- 5) Konta T, Takasaki T, Ichikawa K, Kubota I : Prevalence and risk factor analysis of albuminuria in Japanese general population: the Takahata study. The 4th Research Forum on Chronic Kidney Disease, Nagoya; February 2010
- 6) 有本貴範：心房細動と心臓MIBGシンチグラフィ。第15回山形心臓核医学懇話会，山形；2010年3月
- 7) 田村晴俊，宮本卓也，西山悟史，沓澤大輔，本田晋太郎，佐々木真太郎，大道寺飛雄馬，玉渕智昭，有本貴範，高橋大，宍戸哲郎，宮下武彦，二藤部丈司，渡邊哲，久保田功：経食道心エコー下に大動脈弁バルーン拡張術を施行した重症大動脈弁狭窄症の一例。第4回心エコー図研究会，山形；2010年2月
- 8) 真島佑介：一般住民における塩分摂取と血圧の相関に合併症が与える影響について：高阜研究。第13回東北腎・高血圧研究会，仙台；2010年3月
- 9) 今田恒夫：日本人一般住民のアルブミン尿発現における環境・遺伝的要因の検討：高阜研究。Takeda CKD-Expert Meeting，仙台；2010年3月
- 10) 市川一誠：再発性多発性軟骨炎と副鼻腔炎を合併し，治療に難渋している間接リウマチの1例。第20回山形リウマチ研究会，山形；2010年3月
- 11) 二藤部丈司：びまん性汎細気管支炎に伴う肺高血圧症に対しボセンタンおよびシルデナフィルが有効であった1例。第4回肺循環研究会，仙台；2010年4月
- 12) 長谷川寛真，有本貴範，岩山忠輝，沓澤大輔，西山悟史，高橋大，宍戸哲郎，宮下武彦，宮本卓也，二藤部丈司，渡邊哲，久保田功：Stress MPIで左前下行枝領域の虚血性心疾患を疑った一例。第28回動態核

- 医学研究会, 仙台; 2010年5月
- 13) 佐藤道子: 遺伝子改変マウスを用いた転写因子 MafB のマクロファージにおける機能の検討. 第9回肺サーファクタント分子病態研究会, 札幌; 2010年7月
  - 14) 岸宏幸: 慢性閉塞性肺疾患の運動耐容能を規定する因子の検討. 第9回山形 COPD 研究会, 山形; 2010年5月
  - 15) 宮本卓也, 二藤部丈司, 大道寺飛雄馬, 田村晴俊, 西山悟史, 玉瀧智昭, 桐林, 佐々木真太郎, 沓澤大輔, 本田晋太郎, 長谷川寛真, 高橋大, 有本貴範, 宍戸哲郎, 宮下武彦, 渡邊哲, 久保田功, 葉山泰史, 坂田芳人: 高齢者大動脈弁狭窄症に対する経皮的動脈弁バルーン形成術の治療経験. 第31回山形冠疾患治療検討会, 山形; 2010年5月
  - 16) 二藤部丈司, 有本貴範, 沓澤大輔, 田村晴俊, 西山悟史, 高橋大, 宍戸哲郎, 宮下武彦, 宮本卓也, 渡邊哲, 久保田功: 当科における心房細動に対するカテーテルアブレーションの経験. 第26回山形不整脈研究会, 山形; 2010年6月
  - 17) 宮下武彦: PAD に対する意識調査 —山形県の現状—. 第1回山形 PAD 研究会, 山形; 2010年6月
  - 18) 齋藤真紀, 根本貴子, 會田康子, 布宮慶子, 岸宏幸, 木村友美, 小坂太祐, 山内啓子, 井上純人, 阿部修一, 柴田陽光, 久保田功: 気管支内腔を原発として悪性リンパ腫の一例. 第42回山形肺癌懇話会, 山形; 2010年6月
  - 19) 長谷川寛真: 慢性閉塞性肺疾患患者における Multi-slice computed tomography (MSCT) を用いた冠動脈疾患の検討. 第6回循環器疾患研究会, 石巻; 2010年6月
  - 20) 高崎聡: 再発性多発軟骨炎と副鼻腔炎を合併した悪性関節リウマチの一例. 第5回山形アレルギー膠原病自己免疫疾患勉強会, 山形; 2010年7月
  - 21) 井上純人: 重症喘息に対してゾレアが奏功した一例. 庄内 IgE Forum for asthma, 酒田; 2010年7月
  - 22) 市川一誠: リウマチ治療における DMARDs の使用方法. 山形県ヒュミラ発売2周年記念講演会, 山形; 2010年7月
  - 23) 西山悟史: 軽中等度慢性腎臓病が頸動脈硬化に与える影響の検討. 第2回東北頸動脈研究会, 仙台; 2010年7月
  - 24) Shishido T, Abe J, Kubota I: Critical role of P90RSK on ERK5-SUMOylation in development of LV dysfunction in diabetic heart after myocardial infarction. International Academy of Cardiovascular Sciences Japan Section Meeting (第33回心筋代謝研究会), Tokyo; July 2010
  - 25) 西山悟史: 心筋梗塞における急性期予後に及ぼす性差の影響. 第30回心筋梗塞研究会, 東京; 2010年7月
  - 26) 佐藤道子, 柴田陽光, 木村友美, 阿部修一, 井上純人, 會田康子, 岸宏幸, 小坂太祐, 山内啓子, 久保田功: Dominant negative (DN) MafB トランスジェニックマウスにおけるマクロファージの解析. 第81回閉塞性肺疾患研究会, 東京; 2010年7月
  - 27) 鈴木和子: 一般住民における尿酸と慢性腎臓病の関連についての検討. 第21回東北腎フォーラム, 仙台; 2010年7月
  - 28) 池田亜美: 難治性 ITP と抗リン脂質抗体症候群加療中に腸炎と腎機能障害をきたした一例. 第9回東北臨床免疫研究会, 仙台; 2010年8月
  - 29) 禰津俊介: 慢性閉塞性肺疾患の合併は心不全予後を規定する ～スパイロメトリーを基にした検討～. 第1回東北心不全研究会, 仙台; 2010年8月
  - 30) 田村晴俊: 脳梗塞急性期における血小板マイクロパーティクル上昇は左心耳内血栓形成を反映する. 第48回東北止血・血栓研究会, 山形; 2010年9月
  - 31) 田村晴俊, 西山悟史, 佐々木真太郎, 和根崎真大, 渡邊哲, 久保田, 廣野撰: 脳梗塞急性期における血小板マイクロパーティクル上昇は左心耳内血栓形成を反映する. 第48回東北止血・血栓研究会, 山形; 2010年9月
  - 32) 中野寛之, 井上純人, 根本貴子, 會田康子, 布宮慶子, 岸宏幸, 西脇道子, 木村友美, 小坂太祐, 山内啓子, 阿部修一, 柴田陽光, 久保田功: 急速な経過で発症したびまん性肺胞出血の一例. 第91回日本呼吸器学会東北地方会・第121回日本結核病学会東北支部学会, 山形; 2010年9月
  - 33) 西脇道子: Dominant negative (DN) MafB トランスジェニックマウスにおけるマクロファージの解析. 第

- 1 回山形気道炎症研究会, 山形; 2010年9月
- 34) 石野光則: 炎症性蛋白ペントラキシン3の血管内膜新生への役割についての検討. 第1回山形心血管調節因子懇話会, 山形; 2010年9月
- 35) 沓澤大輔, 有本貴範, 二藤部丈司, 渡邊哲, 宮本卓也, 宍戸哲郎, 高橋大, 西山悟史, 久保田功: 低エネルギーで施行する除細動テストの有用性. 第2回東北臨床不整脈研究会, 秋田; 2010年10月
- 36) 有本貴範, 渡邊哲, 二藤部丈司, 沓澤大輔, 久保田功: 房室結節リエントリー性頻拍アブレーション後, 長期の経過観察が有用な症例の特徴. 第22回カテーテルアブレーション委員会公開研究会, 東京; 2010年10月
- 37) 真島佑介, 高崎聡, 市川一誠, 高橋俊之, 安孫子広, 政金生人, 松永智仁, 鈴木昌幸, 出川紀行, 今田恒夫, 久保田功: ビタミンD製剤, リン吸着薬の組み合わせと透析予後の関連. 第41回山形腎不全研究会, 山形; 2010年10月
- 38) 加藤重彦, 渡邊哲, 鈴木聡, 石野光則, 佐々木敏樹, 久保田功: Toll-like receptor (TLR)-4を介した心房内皮障害は, 心房内血栓形成に関与する. 厚生労働省難治性疾患克服研究事業 特発性心筋症に関する調査研究〈北風班〉 2010年度第1回研究報告会, 東京; 2010年10月
- 39) 今田恒夫: ビタミンD製剤, リン吸着薬の組み合わせと透析予後の関連. 第29回腎と骨代謝研究会学術集会, 東京; 2010年10月
- 40) 市川一誠: 腎臓内科の立場からみたN型CCBの有用性について. N型チャネルシボジウム, 山形; 2010年11月
- 41) 小坂太祐: SIRSの病態とその治療戦略. Yamagata Respiratory Club Conference, 山形; 2010年11月
- 42) 井上純人, 根本貴子, 布宮慶子, 會田康子, 西脇道子, 岸宏幸, 木村友美, 小坂太祐, 山内啓子, 阿部修一, 柴田陽光, 久保田功: 重症気管支喘息に対し, オマリズマブが奏功した一例. 第9回山形アレルギー研究会, 山形; 2010年11月
- 43) 大道寺飛雄馬, 高橋大, 田村晴俊, 大瀧陽一郎, 和根崎真大, 沓澤大輔, 佐々木真太郎, 桐林伸幸, 屋代祥典, 玉淵智昭, 西山悟史, 有本貴範, 宍戸哲郎, 宮本卓也, 二藤部丈司, 渡邊哲, 久保田功: IB-IVASを用いたブラック性状とno-reflow現象との関係. 第32回山形冠疾患治療検討会, 山形; 2010年11月
- 44) 佐藤道子, 柴田陽光, 木村友美, 阿部修一, 會田康子, 岸宏幸, 小坂太祐, 山内啓子, 井上純人, 久保田功: Dominant negative (DN) MafB トランスジェニックマウスにおけるマクロファージの検討. 実験動物ミセナー第21回研究成果発表会, 山形; 2010年12月

#### (5) その他

- 1) 高崎聡: 糖尿病から大事な腎臓を守るために. 上市市健康講演会, 上山; 2010年2月
- 2) 棟方充, 奈良正之, 柴田陽光, 村松康成, 佐藤俊: 気管支喘息治療における吸入ステロイド療法. 座談会, 福島; 2010年2月
- 3) 井上純人: 当院における肺癌診療. 山形県医師会呼吸器検診研修会, 山形; 2010年3月
- 4) 久保田功: COPDとCKDの最新のトピックス. 平成22年度東北地区生理機能検査部門研修会「生理機能検査Up-To-Date」, 山形; 2010年7月
- 5) 渡邊哲: 心電図の基礎. 平成22年度東北地区生理機能検査部門研修会「生理機能検査Up-To-Date」, 山形; 2010年7月
- 6) 今田恒夫: 慢性腎臓病(CKD)を理解する. 山形県栄養士会平成22年度生涯学習研修会, 山形; 2010年7月
- 7) 柴田陽光: COPDの病態整理: 早期診断の立場から. 日医生涯教育協力講座 セミナー 肺の生活習慣病: COPD〈慢性気管支炎・肺気腫〉 ～中高年のせき・たん・息切れをどう治療するか～. 山形; 2010年7月
- 8) 今田恒夫: 腎疾患領域における研究のありかた, 目指すこと, そして将来. 第16回山形県臨床工学会, 天童; 2010年9月
- 9) 宮本卓也: 慢性心不全のトータルマネジメント. 山形県医師会循環器検診研修会, 山形; 2010年11月
- 10) 宮本卓也: 慢性心不全のトータルマネジメント. 山形県医師会循環器検診研修会, 米沢; 2010年11月

### 3. 学会, 講演会, シンポジウム, ワークショップ等の開催

- 1) 第2回山形CKD・CVD研究会, 山形; 2010年2月
- 2) 第90回日本呼吸器学会東北地方会, 山形; 2010年3月
- 3) 第15回山形心臓核医学懇話会, 山形; 2010年3月
- 4) 第9回山形COPD研究会, 山形; 2010年5月
- 5) Yamagata Respiratory Club Conference, 山形; 2010年6月
- 6) 第91回日本呼吸器学会東北地方会, 山形; 2010年9月
- 7) 第48回東北止血・血栓研究会, 山形; 2010年9月
- 8) 第1回山形気道炎症研究会, 山形; 2010年9月

## 内科学第二（消化器内科学）講座

### 1. 論文

#### (1) 原著

- 1) Nishise Y, Saito T, Makino N, Okumoto K, Ito JI, Watanabe H, Saito K, Togashi H, Ikeda C, Kubota I, Daimon M, Kato T, Fukao A, Kawata S: Relationship between Alcohol Consumption and Serum Adiponectin Levels: The Takahata Study—A Cross-Sectional Study of a Healthy Japanese Population. *J Clin Endocrinol Metab* 2010; 95: 3828-3835
- 2) Hattori E, Shu HJ, Saito T, Okumoto K, Haga H, Yokozawa J, Ito J, Watanabe H, Saito K, Togashi H, Kawata S: Expression of the RNA-binding protein Musashi1 in adult liver stem-like cells. *Hepatol Res* 2010; 40: 432-437
- 3) Sanjo M, Saito T, Ishii R, Nishise Y, Haga H, Okumoto K, Ito J, Watanabe H, Saito K, Togashi H, Fukuda K, Imai Y, El-Shamy A, Deng L, Shoji I, Hotta H, Kawata S: Secondary structure of the amino-terminal region of HCV NS3 and virological response to pegylated interferon plus ribavirin therapy for chronic hepatitis C. *J Med Virol* 2010; 82: 1364-1370
- 4) Nishise S, Takeda Y, Fujishima S, Orii T, Sato T, Sasaki Y, Nishise Y, Takeda H, Kawata S: Release of interleukin 1 receptor antagonist by combining a leukocyte adsorption carrier with ulinastatin. *Ther Apher Dial* 2010; 14: 386-391
- 5) Fujishima T, Nishise S, Ichihara M, Kobayashi S, Takeuchi T: Difficulties in the treatment of intestinal amoebiasis in mentally disabled individuals at a rehabilitation institution for the intellectually impaired in Japan. *Chemotherapy* 2010; 56: 348-352
- 6) Takeda H, Fujishima S, Orii T, Fukui T, Otake S, Takeshi Sato, Nishise S, Kawata S: Improvement of Cecal Insertion Using an Extra-Flexible Small-Diameter Colonoscope, CF-SV. *Yamagata Med J.* 2010; 28 : 33-38
- 7) Orii T, Takeda H, Kawata S, Maeda K, Yamakawa M: Differential immunophenotypic analysis of dendritic cell tumours. *J Clin Pathol* 2010; 63 : 497-503
- 8) Otake S, Takeda H, Fujishima S, Fukui T, Orii T, Sato T, Sasaki Y, Nishise S, Kawata S: Decreased levels of plasma adiponectin associated with increased risk of colorectal cancer. *World J Gastroenterol* 2010; 16 : 1252-1257
- 9) Nishise S, Fujishima T, Kobayashi S, Otani K, Nishise Y, Takeda H, Kawata S: Mass infection with *Entamoeba histolytica* in a Japanese institution for individuals with mental retardation: epidemiology and control measures. *Ann Trop Med Parasitol* 2010; 104: 383-390
- 10) Sato T, Takeda H, Otake S, Yokozawa J, Nishise S, Fujishima S, Orii T, Fukui T, Takano J, Sasaki Y, Nagino K, Iwano D, Yaoita T, Kawata S : Increased Plasma Levels of 8-Hydroxydeoxyguanosine are associated with development of Colorectal Tumors. *J Clin Biochem Nutr* 2010; 47: 59-63
- 11) Shao L, Takeda H, Fukui T, Mabe K, Jian Han J, Kawata S, Ootani K, Fukao A: Genetic diversity of the *Helicobacter pylori* sialic acid-binding adhesin (sabA) gene. *Bioscience Trends*

2010; 4 : 249-253

- 12) Watanabe H, Wells F, Major M: Clearance of hepatitis C in chimpanzees is associated with intrahepatic T-cell perforin expression during late acute phase. J Viral Hepatitis 2010; 17: 245-253
- 13) 伊藤純一、鈴木明彦、宇賀神智、佐藤智佳子、芳賀弘明、石井里佳、三條麻衣、奥本和夫、西瀬雄子、渡辺久剛、齋藤孝治、齋藤貴史、河田純男：高齢者に発症した肝動脈化学塞栓療法(TACE)後のガス産生肝膿瘍の1例. 日本高齢消化器病学会誌 2010; 12: 83-87
- 14) 松尾 拓、王 玉来、五十嵐貴宏、齋藤吉彦、鈴木恒治、平田慎也、伊藤純一、山川光徳：シスプラチン/リビオドール懸濁液による肝動注化学療法後に急速に浸潤性増殖をきたし、診断に苦慮した肝細胞癌の1例. 肝臓 2010; 51: 447-453

## (2) 総説

- 1) 石井里佳、渡辺久剛、齋藤貴史、河田純男：肝静脈閉塞症、肝静脈血栓症. 別冊日本臨床 肝・胆道系症候群 (第2版) その他肝・胆道系疾患を含めて 肝臓編 (下) 2010; 14: 87-90
- 2) 齋藤貴史、渡辺久剛：学会だより 第46回日本肝臓学会総会. 臨床消化器内科 2010; 25: 1294
- 3) 齋藤貴史、小野寺 滋、新澤陽英、河田純男：肝吸虫症. 肝・胆道系症候群 I (第2版) 肝臓編 (上) 別冊日本臨床 新領域別症候群シリーズ 2010; No.13: 110-112
- 4) 齋藤貴史、奥本和夫、齋藤孝治、河田純男：肝平滑筋腫. 肝・胆道系症候群 II (第2版) 肝臓編 (下) 別冊日本臨床 新領域別症候群シリーズ 2010; No.14: 328-329
- 5) 齋藤貴史、渡辺久剛: Meeting Report 第46回日本肝臓学会総会. The Liver Cancer Journal 2010; 2: 226-228
- 6) 齋藤貴史、芳賀弘明、河田純男：分岐鎖アミノ酸製剤 ヘパン ED. 特集・肝胆膵薬物治療学の進歩. 肝胆膵 2010; 61: 1046-1049
- 7) 大泉晴史：一般開業医におけるコメディカルおよびメンタルクリニックとの連携. 日医生涯教育協力講座カラー図説, 日本医師会雑誌 2010; 139 (7) : SF-5~SF-8
- 8) 深瀬和利： *Helicobacter Pylori* 除菌による胃がんの予防. 最新医学 2010; 65: 130-134
- 9) 深瀬和利：日常臨床からの学位論文、そして Lancet への道. 自治医科大学地域医療オープンラボ News Letter 2010; 39

## (3) 著書

- 1) 渡辺久剛：分子標的薬治療における消化器症状対策. 富田善彦編、分子標的薬トータルマネージメント YURCC パッケージ ver. 1.2、2010; 23-27
- 2) 西瀬雄子、河田純男：Current Topics 「今、見直される肝機能異常 ～ALT コントロールの重要性～」. Medicament News 2010年1月15号 (第2003号) ライフ・サイエンス, 2010: p10-11
- 3) 河田純男、齋藤貴史：アルコール性肝硬変に対する ABMi 療法とヒト骨髄細胞の培養に関する研究. 厚生労働省肝炎等克服緊急対策研究事業 平成22年度総合研究報告書 「骨髄および脂肪由来細胞を用いた次世代型肝臓再生・修復 (抗線維化) 療法の開発研究」、2010; 12-16
- 4) 齋藤貴史：B型肝炎ジェノタイプB型高浸淫地域における急性B型肝炎の実態に関する臨床研究. 厚生労働省肝炎等克服緊急対策研究事業 平成21年度総括・分担研究報告書 「B型肝炎ジェノタイプA型感染の慢性化など本邦における実態とその予防に関する研究」、2010; 21-24



## 2. 学会報告

### (1) 国際学会

#### i 一般演題

- 1) Ishii R, Saito T, Watanabe H, Ugajin S, Sato T, Haga H, Sanjo M, Okumoto K, Nishise Y, Ito J, Saito K, Togashi H, Kawata S: Occurrence of hepatocellular carcinoma after achieving sustained virological response to interferon therapy for chronic hepatitis C. Asian Pacific Association for the Study of the Liver, Beijing, China: March 2010
- 2) Ishii R, Saito T, Watanabe H, Shao L, Sato C, Haga H, Sanjo M, Okumoto K, Nishise Y, Ito J, Saito K, Togashi H, Kawata S: Induction of Prolactin in Hepatitis C Virus Infection and expression in human peripheral blood mononuclear cells stimulated by cell-cultured hepatitis C virus. 17<sup>th</sup> International meeting on hepatitis C virus and related viruses, Yokohama, Japan: September 2010
- 3) Ishii R, Watanabe H, Saito T, Sato C, Haga H, Sanjo M, Okumoto K, Nishise Y, Ito J, Saito K, Kawata S: Incidence of hepatocellular carcinoma after achieving sustained virological response to interferon therapy for chronic hepatitis C. 7<sup>th</sup> APASL single topic conference, Chiba, Japan: December 2010
- 4) Okumoto K, Saito T, Haga H, Ishii R, Sanjo M, Ito J, Nishise Y, Watanabe H, Saito K, Togashi H, Kawata S: The serum level of b-FGF in hepatitis C patients and its prognosis in patients with hepatocellular carcinoma. 18<sup>th</sup> United European Gastroenterology Week (UEGW2010), Barcelona, Spain; October 2010
- 5) Watanabe H, Saito T, Ishii R, Sato C, Haga H, Sanjo M, Okumoto K, Nishise Y, Ito J, Saito K, Kawata S: Incidence of hepatocellular carcinoma after achieving sustained virological response to interferon therapy for chronic hepatitis C. The 61<sup>th</sup> Annual Meeting of the American Association for the Study of Liver Diseases, Boston, USA; November 2010
- 6) Nishise Y, Saito T, Sato C, Ishii R, Haga H, Sanjo M, Okumoto K, Ito J, Watanabe H, Saito K, Togashi H, Kawata S: Relationship between an Increased Bright Echo Pattern of the Liver on Ultrasonography and Metabolic Syndrome in a Japanese Population. The 20<sup>th</sup> Conference of the Asian Pacific Association for the Study of the Liver, Beijing, China; March 2010
- 7) Haga H, Nishise Y, Ishii R, Sato C, Sanjo M, Okumoto K, Ito J, Watanabe H, Saito K, Saito T, Kawata S: Therapeutic Effect of Danaparoid Sodium on Portal Thrombosis in Patients with Hepatic Cirrhosis - A Pilot Study. American Gastroenterological Association 2010, New Orleans, USA; May 2010

### (2) 国内の学会

#### i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 佐々木 悠、折居智彦、西瀬祥一、藤嶋昌一郎、佐藤剛司、名木野匡、岩野大輔、矢尾板孝夫、武田弘明、河田純男：クローン病治療に対する分子標的治療：当院におけるクローン病に対するインフリキシマブ維持投与例の検討。第6回日本消化管学会総会学術集会。福岡；2010年2月
- 2) 佐藤智佳子、斎藤貴史、河田純男：非アルコール性脂肪性肝炎におけるミトコンドリア脂肪酸β

酸化障害—絶食試験による検討 (パネルディスカッション NASH/NAFLD の病因・病態と予後). 第 46 回日本肝臓学会総会、山形; 2010 年 5 月

- 3) 渡辺久剛、斎藤貴史、西瀬雄子、邵 力、佐藤智佳子、石井里佳、芳賀弘明、三條麻衣、奥本和夫、伊藤純一、斉藤孝治、石橋正道、富樫 整、新澤陽英、河田純男: HCV コホート研究による持続感染者の自然経過. 第 46 回日本肝臓学会総会サテライトシンポジウム「HCV 感染の natural course を探る: わが国におけるコホート研究」、山形; 2010 年 5 月
- 4) 斎藤貴史、奥本和夫、河田純男: アルコール性肝硬変症に対する自己骨髄移植療法の有用性 (ワークショップ: 肝再生医学—臨床応用を目指した研究の新展開)、第 46 回日本肝臓学会総会、山形; 2010 年 5 月

## ii 一般演題

- 1) 渡辺久剛、斎藤貴史、西瀬雄子、佐藤智佳子、石井里佳、芳賀弘明、三條麻衣、奥本和夫、伊藤純一、斉藤孝治、富樫 整、新澤陽英、河田純男: B 型肝炎ジェノタイプ B 型高浸淫地域における急性 B 型肝炎の実態 第 14 回日本肝臓学会大会、横浜; 2010 年 10 月
- 2) 渡辺久剛、斎藤貴史、西瀬雄子、佐藤智佳子、石井里佳、芳賀弘明、三條麻衣、奥本和夫、伊藤純一、斉藤孝治、富樫 整、新澤陽英、河田純男: HCV コホートにおけるウイルス自然治癒および肝発癌の検討 第 46 回日本肝臓学会総会、山形; 2010 年 5 月
- 3) 西瀬雄子、斎藤貴史、佐藤智佳子、芳賀弘明、石井里佳、三條麻衣、奥本和夫、伊藤純一、渡辺久剛、斎藤孝治、富樫整、河田純男: 超音波検査における肝腎光学輝度比の上昇とメタボリックシンドローム関連因子との関係. 第 46 回日本肝臓学会総会、山形; 2010 年 5 月
- 4) 石井里佳、斎藤貴史、渡辺久剛、宇賀神智、佐藤智佳子、芳賀弘明、三條麻衣、奥本和夫、西瀬雄子、伊藤純一、斉藤孝治、富樫 整、河田純男: 当科における SVR 例からの肝発癌症例の検討. 第 96 回日本消化器病学会総会、新潟; 2010 年 4 月
- 5) 石井里佳、斎藤貴史、佐藤智佳子、芳賀弘明、三條麻衣、奥本和夫、西瀬雄子、伊藤純一、渡辺久剛、斉藤孝治、富樫 整、河田純男: C 型慢性肝炎に対する IFN 治療後の SVR 例からの肝発癌症例の検討: 第 46 回日本肝臓学会総会、山形; 2010 年 5 月
- 6) 石井里佳、斉藤孝治、伊藤純一、佐藤智佳子、芳賀弘明、三條麻衣、奥本和夫、西瀬雄子、渡辺久剛、斎藤貴史、富樫整、河田純男: Low-Dose FP 肝動注療法および Mitoxantrone 併用療法が奏功した肝細胞癌の一例. 第 38 回日本肝臓学会東部会、東京; 2010 年 12 月
- 7) 斉藤孝治、奥本和夫、芳賀弘明、石井里佳、佐藤智佳子、三條麻衣、西瀬雄子、伊藤純一、渡辺久剛、斎藤貴史、富樫 整、河田純男: 肝細胞癌局所治療におけるソナゾイド造影超音波および RVS の有用性について. 第 46 回日本肝臓学会総会、山形; 2010 年 5 月
- 8) 斉藤孝治、奥本和夫、石井里佳、佐藤智佳子、芳賀弘明、三條麻衣、西瀬雄子、伊藤純一、渡辺久剛、斎藤貴史、富樫 整、河田純男: 当科における肝細胞癌に対する Sorafenib 投与例について. 第 38 回日本肝臓学会東部会、東京; 2010 年 12 月
- 9) 斉藤孝治、奥本和夫、芳賀弘明、石井里佳、佐藤智佳子、三條麻衣、西瀬雄子、伊藤純一、渡辺久剛、斎藤貴史、富樫 整、河田純男: 肝癌局所治療における造影超音波および RVS の有用性と問題点について. 第 38 回日本肝臓学会東部会、東京; 2010 年 12 月
- 10) 奥本和夫、佐藤智佳子、石井里佳、芳賀弘明、三條麻衣、西瀬雄子、伊藤純一、渡辺久剛、斎藤

- 孝治、斎藤貴史、富樫整、河田純男：抗ミトコンドリア抗体陽性自己免疫性肝炎の1男性例。第38回日本肝臓学会東部会，東京；2010年12月
- 11) 奥本和夫、斎藤貴史、芳賀弘明、佐藤智佳子、石井里佳、三條麻衣、西瀬雄子、伊藤純一、渡辺久剛、斎藤孝治、河田純男：骨髓細胞由来肝様細胞の樹立と移植による肝再生療法についての検討。第9回日本再生医療学会総会，広島；2010年3月
  - 12) 奥本和夫、斎藤貴史、佐藤智佳子、石井里佳、芳賀弘明、三條麻衣、西瀬雄子、伊藤純一、渡辺久剛、斎藤孝治、富樫整、河田純男：B型急性肝炎（ゲノタイプA）に対する核酸アナログ投与の検討。第96回日本消化器病学会総会，新潟；2010年4月
  - 13) 奥本和夫、斎藤貴史、佐藤智佳子、石井里佳、芳賀弘明、三條麻衣、西瀬雄子、伊藤純一、渡辺久剛、斎藤孝治、富樫整、河田純男：肝再生におけるStem Cell Factor(SCF)の役割についての検討。第46回日本肝臓学会総会，山形；2010年5月
  - 14) 奥本和夫、富樫整、佐藤智佳子、石井里佳、芳賀弘明、三條麻衣、西瀬雄子、伊藤純一、渡辺久剛、斎藤孝治、斎藤貴史、河田純男：並走傍食道静脈の発達した食道静脈瘤に対する内視鏡的食道静脈瘤結紮術（EVL）の有用性について。第17回日本門脈圧亢進症学会，富山；2010年9月
  - 15) 奥本和夫、斎藤孝治、芳賀弘明、佐藤智佳子、石井里佳、三條麻衣、西瀬雄子、伊藤純一、渡辺久剛、斎藤貴史、富樫整、河田純男：尾状葉（S1）肝細胞癌に対する穿刺局所療法時におけるReal-time Virtual Sonography(RVS)の有用性について。第52回日本消化器病学会大会，横浜；2010年10月
  - 16) 芳賀弘明、斎藤貴史、奥本和夫、佐々木弥生、佐藤智佳子、石井里佳、三條麻衣、西瀬雄子、伊藤純一、渡辺久剛、斎藤孝治、富樫整、河田純男：アルコール性肝硬変症に対する自己骨髓細胞投与療法の検討。第9回日本再生医療学会総会，広島；2010年3月
  - 17) 芳賀弘明、斎藤貴史、奥本和夫、佐々木弥生、宇賀神智、佐藤智佳子、石井里佳、三條麻衣、西瀬雄子、伊藤純一、渡辺久剛、斎藤孝治、富樫整、河田純男：Fibroblast growth factor 2(FGF2)の肝再生における役割についての検討。第46回日本肝臓学会総会，山形；2010年6月
  - 18) 芳賀弘明、西瀬雄子、菅原心平、佐藤智佳子、石井里佳、三條麻衣、奥本和夫、伊藤純一、渡辺久剛、斎藤孝治、斎藤貴史、富樫整、河田純男：肝区域におけるVirtual Touch Tissue Quantificationの検討。第46回日本肝臓学会総会，山形；2010年6月
  - 19) 芳賀弘明、佐藤智佳子、西瀬雄子、石井里佳、奥本和夫、渡辺久剛、斎藤孝治、斎藤貴史、富樫整、河田純男：NASH患者におけるVirtual Touch Tissue Quantificationの検討。第14回日本肝臓学会大会，横浜；2010年10月
  - 20) 西瀬祥一、武田弘明、藤嶋昌一郎、折居智彦、佐藤剛司、佐々木悠、河田純男：抗凝固剤メシル酸ナファモスタットが顆粒球吸着除去療法に与える影響について—ヘパリンとの比較—。第96回日本消化器病学会総会，新潟；2010年4月
  - 21) 西瀬祥一、武田弘明、藤嶋昌一郎、折居智彦、佐藤剛司、佐々木悠、河田純男：ウリナスタチンが顆粒球吸着除去療法時のmacrophage colony-stimulating factor発現に与える影響について。第52回日本消化器病学会大会，横浜；2010年10月
  - 22) 西瀬祥一、武田弘明、河田純男：蛋白分解酵素阻害剤が顆粒球吸着除去療法時のmacrophage colony-stimulating factor発現に与える影響について。第31回日本アフェレンシス学会学術大会，浦安；2010年11月

- 23) 佐藤智佳子、斎藤貴史、石井里佳、芳賀弘明、奥本和夫、西瀬雄子、渡辺久剛、斉藤孝治、富樫整、河田純男：C型慢性肝炎患者におけるミトコンドリア脂肪酸β酸化障害—絶食試験による *in vivo* 解析。第52回日本消化器病学会大会、横浜；2010年10月
- 24) 佐藤剛司、武田弘明、大武さや香、藤嶋昌一郎、折居智彦、佐々木悠、名木野匡、岩野大輔、矢尾板孝夫、西瀬祥一、福井忠久、河田純男：大腸腫瘍患者における血漿 8-hydroxy-2'-deoxyguanosine (8-OHdG) の検討。第96回日本消化器病学会総会、新潟；2010年4月
- 25) 矢尾板孝夫、岩野大輔、佐々木 悠、名木野匡、佐藤剛司、折居智彦、藤嶋昌一郎、西瀬祥一、武田弘明、河田純男：当院における EVL デバイスを用いた吸引粘膜切除法のまとめ。第80回日本消化器内視鏡学会総会、横浜；2010年10月
- 26) 佐々木 悠、折居智彦、岩野大輔、矢尾板孝夫、名木野匡、佐藤剛司、藤嶋昌一郎、西瀬祥一、武田弘明、河田純男：胃病変からの出血を繰り返した原発性全身性アミロイドーシスの一例。第80回日本消化器内視鏡学会総会、横浜；2010年10月
- 27) 武田由美子：定期採血の ALP 異常高値で前立腺癌が発見された一例。第24回日本臨床内科医学会。金沢；2010年10月
- 28) 鈴木克典：ペグインターフェロン・リバビリン併用療法における、外来クリニカルパス導入の効果。第46回日本肝臓学会総会、山形；2010年5月
- 29) 深瀬和利：早期胃癌に対する EMR と ESD における遺残再発とその特徴。平成22年度がん研究開発費斎藤小班第1回班会議。東京；2010年7月
- 30) 深瀬和利：ESD の病理診断で治癒切除とされながら局所遺残を認めた早期胃癌の検討。平成22年度がん研究開発費斎藤小班第2回班会議。東京；2010年12月
- 31) 大滝雄造、深瀬和利、石澤哲也、原倫代、柿崎泰明、鈴木康之、白幡名香雄、阿部貴志、鈴木克典：ドック内視鏡を契機に発見された胃 MALT リンパ腫の2例。第49回日本消化器がん検診学会総会、沖縄；2010年6月
- 32) 石澤哲也、深瀬和利、原倫代、大滝雄造、柿崎泰明、鈴木康之、白幡名香雄、阿部貴志、鈴木克典：食道メラノーシスを経過観察中に発見された食道悪性黒色腫の1例。第79回日本消化器内視鏡学会総会、東京；2010年5月
- 33) 作田和裕、大村清成、安藤嘉章、勝見智大、斎藤吉彦、松田 剛、柄澤 哲、武田 忠、渡辺晋一郎、鶴飼克明：肝門部胆管癌との鑑別が困難であった肝細胞癌の一例。第52回日本消化器病学会大会、横浜；2010年10月

### (3) 国内地方会

#### i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 鈴木康之、原倫代、深瀬和利：ESD における酢酸、インジゴカルミン散布の胃癌範囲診断に関する有用性の検討。第145回日本消化器内視鏡学会東北支部例会（シンポジウム）、山形；2010年7月
- 2) 柿崎泰明、白幡名香雄、斎藤裕之、原倫代、三浦友来、鈴木康之、阿部貴志、鈴木克典、深瀬和利、高橋邦之：分枝膵管型 IPMN の手術適応についての検討。第189回日本消化器病学会東北支部例会（シンポジウム：IPMN はどう変わったか？—診断と治療の進歩）、山形；2010年7月

## ii 一般演題

- 1) 佐藤智佳子、奥本和夫、石井里佳、芳賀弘明、三條麻衣、西瀬雄子、伊藤純一、渡辺久剛、斎藤孝治、斎藤貴史、富樫 整、河田純男：高度の肝脂肪化を呈した自己免疫性肝炎の一例。第 189 回日本消化器病学会東北支部例会、山形；2010 年 7 月
- 2) 三條麻衣、奥本和夫、佐藤智佳子、石井里佳、芳賀弘明、西瀬雄子、伊藤純一、渡辺久剛、斎藤孝治、斎藤貴史、富樫 整、河田純男：胃静脈瘤出血に対して緊急 EVL 施行後、硬化療法を施行した 1 例。第 144 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会、仙台；2010 年 2 月
- 3) 奥本和夫、佐藤智佳子、石井里佳、芳賀弘明、三條麻衣、西瀬雄子、伊藤純一、渡辺久剛、斎藤孝治、斎藤貴史、富樫整、河田純男：肝動注化学療法後に胆管壊死を発症し、早期に再発出血を来した食道静脈瘤の 1 例。第 145 回日本消化器内視鏡病学会東北支部例会、山形；2010 年 7 月
- 4) 西瀬雄子、齋藤貴史、齋藤孝治、渡辺久剛、伊藤純一、奥本和夫、三條麻衣、石井里佳、芳賀弘明、佐藤智佳子、宇賀神智、富樫整、河田純男：ダナパロイドナトリウムによる門脈血栓溶解療法が奏功した肝硬変の 2 例。日本消化器病学会第 188 回東北支部例会、仙台；2010 年 2 月
- 5) 西瀬雄子、渡辺久剛、斎藤貴史、佐藤智佳子、石井里佳、芳賀弘明、三條麻衣、奥本和夫、伊藤純一、斎藤孝治、新澤陽英、河田純男：HCV コホート超音波検診における肝発癌の検討。第 48 回日本消化器がん検診学会東北地方会、山形；2010 年 7 月
- 6) 藤嶋昌一郎、武田弘明、西瀬祥一、折居智彦、佐藤剛司、佐々木悠、名木野匡、岩野大輔、矢尾板孝夫、河田純男：NBI 併用拡大内視鏡で診断しえた早期胃癌の 3 病変。第 145 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会、山形；2010 年 7 月
- 7) 佐藤剛司、矢尾板孝夫、岩野大輔、名木野匡、佐々木悠、折居智彦、藤嶋昌一郎、西瀬祥一、武田弘明、河田純男：小腸リンパ管腫による消化管出血の 1 例。第 144 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会、仙台；2010 年 2 月
- 8) 大島真悟、佐々木悠、矢尾板孝夫、岩野大輔、高野潤、佐藤剛司、折居智彦、藤嶋昌一郎、西瀬祥一、武田弘明、河田純男：40 年にわたる鉄欠乏性品果の原因と考えられた Blind Pouch Syndrome の 1 例。第 145 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会、山形；2010 年 7 月
- 9) 矢尾板孝夫、岩野大輔、佐々木悠、名木野匡、佐藤剛司、高野潤、折居智彦、藤嶋昌一郎、西瀬祥一、武田弘明、河田純男：便潜血陽性を契機に診断された腸管スピロヘータ症の 1 例。第 145 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会、山形；2010 年 7 月
- 10) 岩野大輔、大島真悟、矢尾板孝夫、名木野匡、佐々木悠、高野潤、佐藤剛司、折居智彦、藤嶋昌一郎、武田弘明、河田純男：胃アニサキス症に出血性胃潰瘍を合併した 1 例。第 145 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会、山形；2010 年 7 月
- 11) 東海林正邦、折居智彦、武田弘明、藤嶋昌一郎、佐藤剛司、佐々木悠、名木野匡、岩野大輔、矢尾板孝夫、河田純男：肺癌多発小腸転移の 1 例。第 188 回日本消化器病学会東北支部例会、仙台；2010 年 2 月
- 12) 石澤哲也、伊藤美保、池田裕之、松田暁子、本田悌一郎、戸澤智浩、白幡名香雄、牧野直彦、河田純男：膵管空腸吻合部狭窄に対しダブルバルーン内視鏡下膵管ステント留置が有効であった一例。第 145 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会、山形；2010 年 7 月
- 13) 石澤哲也、鈴木克典、原倫代、大滝雄造、柿崎泰明、鈴木康之、白幡名香雄、桜井直樹、阿部貴

- 志, 深瀬和利: 肝動注が著効した肝癌胆管内腫瘍栓の1例. 第188回日本消化器病学会東北支部例会, 仙台; 2010年2月
- 14) 白幡名香雄, 柿崎泰明, 齋藤裕之, 原倫代, 三浦友来, 鈴木康之, 阿部貴志, 鈴木克典, 深瀬和利, 櫻井直樹, 小関大平, 高橋邦之: 自己免疫性膵炎に胆嚢癌を合併した1例. 第189回日本消化器病学会東北支部例会, 山形; 2010年7月
- 15) 柿崎泰明, 白幡名香雄, 齋藤裕之, 原倫代, 三浦友来, 鈴木康之, 阿部貴志, 鈴木克典, 深瀬和利, 高橋邦之: IPMC微小浸潤とIPMC由来浸潤癌の2例. 第145回日本消化器内視鏡学会東北支部例会, 山形; 2010年7月
- 16) 大滝雄造, 深瀬和利, 石澤哲也, 原倫代, 柿崎泰明, 鈴木康之, 白幡名香雄, 阿部貴志, 鈴木克典: 急性腸管GVHDの1例. 第144回日本消化器内視鏡学会東北支部例会, 仙台; 2010年2月
- 17) 三浦友来, 深瀬和利, 齋藤裕之, 原倫代, 柿崎泰明, 鈴木康之, 白幡名香雄, 阿部貴志, 鈴木克典: 内視鏡的に採石し得たBouveret症候群の1例(内視鏡専門医をめざす先生方のプレナリセッション、優秀演題賞). 第145回日本消化器内視鏡学会東北支部例会, 山形; 2010年7月
- 18) 下山輝美, 佐藤俊浩, 齋藤光雄, 佐藤清也, 小野良一, 吉田徹, 板垣孝知: 当院におけるPACSを採用した放射線画像支援更新の現状. 山形県国保地域医療学会, 山形; 2010年9月
- 19) 角田卓哉, 合志 彰, 田中 繁: 大腸ポリープ内視鏡的切除後に腸閉塞をきたした2例. 第145回日本消化器内視鏡学会東北支部例会, 山形; 2010年7月
- 20) 石浜活義, 伊藤ななみ, 宇賀神智, 齋藤秀樹: 当院における大腸ESDの現状と手順の工夫. 第145回日本消化器内視鏡病学会東北支部例会, 山形; 2010年7月
- 21) 吉澤和哉, 八戸茂美, 作田和裕, 堀内英和, 桜本基嗣, 本間直之, 三浦友来: 内視鏡下ネオオペール®充填が効果的であった食道癌術後胃管潰瘍-気管支瘻の一治療例. 第145回日本消化器内視鏡学会東北支部例会, 山形; 2010年7月
- 22) 作田和裕, 大村清成, 安藤嘉章, 勝見智大, 齋藤吉彦, 松田 剛, 柄澤 哲, 武田 忠, 渡辺晋一郎, 鶴飼克明, 新澤陽英: 膵石により急性胆管炎・急性膵炎を起こした慢性膵炎の一例. 第144回日本消化器内視鏡学会東北支部例会, 仙台; 2010年2月

#### (4) 研究会

##### i 特別講演

- 1) 武田弘明: バルーン式小腸鏡 と カプセル内視鏡による消化管出血の診断と治療. 第16回山形消化器一般外科研究会, 山形; 2010年2月
- 2) 武田弘明: 経験例から学ぶIBD治療のむずかしさと治療の進歩. Influximab Meeting, 酒田; 2010年3月
- 3) 武田弘明: CDに対する最新治療法の紹介. 第8回IBDキャンパス, 郡山; 2010年12月
- 4) 武田弘明: 最新の治療と日常生活の注意点. 潰瘍性大腸炎医療福祉相談会, 山形; 2010年11月
- 5) 武田弘明: 大きく変化したIBD治療の現況とその注意点. 第30回山形県病院薬剤師会実務研修会, 山形; 2010年10月
- 6) 武田弘明: 消化器内科からみたNSAIDs関連の消化管障害とその対策. 第106回山形市整形外科開業医の会, 山形; 2010年10月
- 7) 武田弘明: 大きく変化したIBD治療の現状-免疫調整剤・生物学的製剤の登場-. 第429回青葉会学術講演会, 山形; 2010年9月

- 8) 藤嶋昌一郎：早期胃癌の診断とESD治療. YamagataGI Forum 2010, 山形；2010年4月
- 9) 大泉晴史：広視野角経鼻内視鏡EG-530NWの使用経験. 山形県経鼻内視鏡セミナー, 山形；2010年2月
- 10) 大泉晴史：胃がん・大腸がんの予防. がん予防講座, 山形；2010年2月
- 11) 大泉晴史：胃がん・大腸がんの検診受診率向上をめざして. がん予防講座, 村山；2010年3月
- 12) 大泉晴史：最近経験した胃がん症例から. 平成21年度胃がん検診X線撮影従事者講習会, 山形；2010年3月
- 13) 大泉晴史：Helicobacter pylori 山形研究と今後の胃癌検診. 長井市西置賜郡医師会学術講演会, 長井；2010年6月
- 14) 大泉晴史：胃がん検診二次精検における経鼻内視鏡の位置づけ. 第48回日本消化器がん検診学会東北地方会 第13回技師部会研修会, 山形；2010年7月
- 15) 大泉晴史：胃がん検診の現状と今後の展望. 第2回新庄内視鏡テクニカルセミナー特別講演会, 新庄；2010年11月
- 16) 大泉晴史：胃がん検診のこれまでとこれから. 一胃がんX検診における読影のポイントを含めて一. 置賜・胃と腸を語る会, 南陽；2010年12月
- 17) 大泉晴史：胃・大腸がん検診の現状と今後の展望. 第432回青葉会学術講演会, 山形；2010年12月
- 18) 深瀬和利：早期胃癌に対する内視鏡的切除術の治療戦略・Helicobacter Pylori除菌によるEMR後異時性胃癌の予防. 長井市西置賜郡医師会消化器検診研修会, 長井；2010年2月

## ii 一般演題

- 1) 石井里佳、斎藤貴史、渡辺久剛、宇賀神智、佐藤智佳子、芳賀弘明、三條麻衣、奥本和夫、西瀬雄子、伊藤純一、斎藤孝治、富樫整、河田純男：診断・治療にソナゾイド造影超音波が有用であった肝細胞癌の一例：東北肝疾患病態・治療研究会、仙台；2010年11月
- 2) 石井里佳、斎藤貴史、渡辺久剛、宇賀神智、佐藤智佳子、芳賀弘明、三條麻衣、奥本和夫、西瀬雄子、伊藤純一、斎藤孝治、富樫整、河田純男：診断・治療にソナゾイド造影超音波が有用であった肝細胞癌の一例：第9回山形県肝癌局所治療研究会 山形；2010年11月
- 3) 奥本和夫、宇賀神智、佐藤智佳子、石井里佳、芳賀弘明、三條麻衣、西瀬雄子、伊藤純一、渡辺久剛、斎藤孝治、斎藤貴史、富樫整、河田純男：出血性ショックにより肝腫瘍性病変を生じたアルコール性肝硬変の1例. 第16回肝血流動態イメージ研究会, 神戸；2010年1月
- 4) 奥本和夫、斎藤孝治、佐藤智佳子、芳賀弘明、石井里佳、三條麻衣、西瀬雄子、伊藤純一、渡辺久剛、斎藤貴史、河田純男：RFA後大網動脈出血に対し経動脈的カテーテルにて止血した肝細胞癌の1例, 第46回日本肝癌研究会, 大阪；2010年7月
- 5) 奥本和夫、富樫整、佐藤智佳子、石井里佳、芳賀弘明、三條麻衣、西瀬雄子、伊藤純一、渡辺久剛、斎藤孝治、斎藤貴史、河田純男：再発例、肝予備能低下例に対する内視鏡的食道静脈瘤治療の検討. 第22回東北食道・胃静脈瘤硬化療法研究会（吾妻シンポジウム）, 福島；2010年9月
- 6) 奥本和夫、佐藤智佳子、石井里佳、芳賀弘明、三條麻衣、西瀬雄子、伊藤純一、渡辺久剛、斎藤孝治、斎藤貴史、富樫整、河田純男：血漿交換と高用量ステロイドが奏功した急性肝不全の1例, 第7回肝不全研究会, 山形；2010年9月
- 7) 藤嶋昌一郎、武田弘明、西瀬祥一、折居智彦、佐藤剛司、佐々木悠、名木野匡、岩野大輔、矢尾

- 板孝夫, 河田純男: 食道 high grade intraepithelial neoplasia の 1 例. 山形県胃と腸勉強会、山形; 2010 年 6 月
- 8) 藤嶋昌一郎, 武田弘明, 西瀬祥一, 折居智彦, 佐藤剛司, 佐々木悠, 名木野匡, 岩野大輔, 矢尾板孝夫, 河田純男: 診断に苦慮した全身性アミロイドーシスの一例. 山形県胃と腸勉強会、山形; 2010 年 3 月
- 9) 藤嶋昌一郎, 武田弘明, 西瀬祥一, 折居智彦, 佐藤剛司, 佐々木悠, 名木野匡, 岩野大輔, 矢尾板孝夫, 河田純男: NBI, 酢酸散布により診断しえた早期胃癌の 1 例. 第 15 回食道胃疾患研究会、山形; 2010 年 2 月
- 10) 藤嶋昌一郎, 武田弘明, 西瀬祥一, 折居智彦, 佐藤剛司, 佐々木悠, 名木野匡, 岩野大輔, 矢尾板孝夫, 河田純男: 早期胃癌の診断と ESD 治療. 山形 GI フォーラム、山形; 2010 年 4 月
- 11) 藤嶋昌一郎, 武田弘明, 西瀬祥一, 折居智彦, 佐藤剛司, 佐々木悠, 名木野匡, 岩野大輔, 矢尾板孝夫, 河田純男: ESD 時代の胃癌の診断について. 消化器治療シンポジウム、山形; 2010 年 9 月
- 12) 矢尾板孝夫, 石澤哲也, 吉澤和哉, 岩野大輔, 名木野匡, 佐々木悠, 佐藤剛司, 折居智彦, 西瀬祥一, 武田弘明, 河田純男: ステロイド抵抗性潰瘍性大腸炎に対するタクロリムスの使用経験. 第 15 回山形県炎症性腸疾患研究会, 山形; 2010 年 10 月
- 13) 折居智彦, 石澤哲也, 矢尾板孝夫, 吉澤和哉, 岩野大輔, 名木野匡, 佐々木悠, 佐藤剛司, 西瀬祥一, 武田弘明, 河田純男: 多彩な症状を呈したクローン病の 1 例. 第 15 回山形県炎症性腸疾患研究会, 山形; 2010 年 10 月
- 14) 矢尾板孝夫, 折居智彦, 佐藤剛司, 岩野大輔, 佐々木悠, 名木野匡, 西瀬祥一, 武田弘明, 河田純男: 当院における直腸カルチノイドに対する EMRL の治療成績. 第 31 回山形県消化器治療内視鏡研究会, 山形; 2010 年 12 月
- 15) 佐藤智佳子, 斎藤貴史, 三沢慶子, 芳賀弘明, 石井里佳, 三條麻衣, 奥本和夫, 西瀬雄子, 伊藤純一, 渡辺久剛, 斎藤孝治, 富樫 整, 河田純男: 非アルコール性脂肪性肝疾患における 1. ミトコンドリア脂肪酸  $\beta$  酸化能と 2. チアゾリジン誘導体の治療効果. 第 5 回山形県 NASH 研究会、山形; 2010 年 7 月
- 16) 佐藤智佳子, 奥本和夫, 芳賀弘明, 石井里佳, 西瀬雄子, 渡辺久剛, 斎藤孝治, 斎藤貴史, 富樫整, 河田純男: 高度の好酸球増多を伴うメトロニダゾールによる薬物性肝障害の一例. 第 9 回山形アレルギー研究会、山形; 2010 年 11 月
- 17) 大泉晴史, 福島紀雅, 田村 元: 若年早期胃癌の 1 例. 第 37 回山形県胃と腸勉強会 (山形県医師会消化器読影研修会) 山形; 2010 年 3 月
- 18) 大泉晴史, 福島紀雅, 田村 元: 検診発見で 2 型を呈した lymphoidstnoma を伴った早期胃癌の 1 例. 第 38 回山形県胃と腸勉強会 (山形県医師会消化器読影研修会) 山形; 2010 年 6 月
- 19) 大泉晴史, 佐藤敏彦, 田村 元: Colitic high grade adenoma の 1 例. 第 28 回山形県大腸疾患研究会 山形; 2010 年 6 月
- 20) 大泉晴史, 福島紀雅, 田村 元: 胸やけが契機となり発見された早期胃癌の 1 例. 第 39 回山形県胃と腸勉強会 (山形県医師会消化器読影研修会) 山形; 2010 年 11 月
- 21) 鈴木康之, 齋藤裕之, 齋藤吉彦, 三浦友来, 藤嶋昌一郎, 白幡名香雄, 鈴木克典, 深瀬和利: 当院における大腸 ESD の現状. 第 31 回山形県消化器治療内視鏡研究会、山形; 2010 年 12 月



- 22) 柿崎泰明、白幡名香雄、齋藤裕之、三浦友来、鈴木康之、阿部貴志、鈴木克典、深瀬和利：診断に苦慮した膵腫瘤性病変の2例。第14回膵疾患懇話会，山形；2010年4月
- 23) 柿崎泰明、白幡名香雄、齋藤裕之、三浦友来、鈴木康之、阿部貴志、鈴木克典、深瀬和利、盛直生、櫻井直樹、刑部光正、田村元：膵尾部嚢胞性腫瘍の1例。第49回山形県消化器病懇話会、山形；2010年9月
- 24) 佐藤俊浩：ミコンビ錠の使用経験、新庄・最上地区ミコンビ配合錠新発売記念学術講演会。新庄；2010年1月
- 25) 佐藤俊浩：最上町ウェルネスプラザにおける地域包括ケアシステム。天童東村山医師会主治医研修会、天童；2010年9月
- 26) 佐藤俊浩：選択的DPP4阻害薬「ジャヌビア錠」の使用経験、第5回生活習慣病検討会。山形；2010年10月
- 27) 石浜活義、伊藤ななみ、宇賀神智、齋藤秀樹：早期胃癌に対する治療内視鏡の現状。第3回消化器疾患治療シンポジウム 山形；2010年9月
- 28) 石浜活義、伊藤ななみ、阿部貴志、齋藤秀樹：当院における大腸ESDの現状と手順の工夫。山形県治療内視鏡研究会 山形；2010年12月
- 29) 石浜活義：当院における最新の治療内視鏡について。天童医師会 天童；2010年2月
- 30) 吉澤和哉、八戸茂美、三浦友来、堀内英和、中間直之、桜本基嗣：内視鏡的粘膜切開下生検を行った胃脂肪腫の一例。第60回最上消化器症例検討会，新庄；2010年2月
- 31) 吉澤和哉、吉岡彩子、石澤哲也、矢尾板孝夫、岩野大輔、佐々木悠、名木野匡、佐藤剛司、折居智彦、西瀬祥一、武田弘明、河田純男、藤嶋昌一郎、加藤智也、山川光徳：内視鏡的粘膜下層剥離術を行ない脈管侵襲により粘膜下層浸潤をきたした0-IIa型早期胃癌の一例。第39回山形胃と腸勉強会，山形；2010年11月
- 32) 芳賀弘明、西瀬雄子、佐藤智佳子、石井里佳、三條麻衣、奥本和夫、伊藤純一、渡辺久剛、齋藤孝治、齋藤貴史、富樫 整、河田純男：Virtual Touch Tissue Quantification法による肝測定部位の検討。第12回東北肝炎・肝癌研究会，仙台；2010年9月

#### (5) その他

- 1) 大泉晴史：胃がんでどんな病気？。朝だ 元気だ 六時半！ YBC ラジオ 2010.6.14～18

### 3. 学会、講演会、シンポジウム、ワークショップ等の開催

- 1) 第46回日本肝臓学会総会（会長：河田純男）、山形；2010年5月
- 2) 第145回日本消化器内視鏡学会東北支部例会（会長：武田弘明）、山形；2010年7月
- 3) 第48回日本消化器がん検診学会東北地方会（会長：新澤陽英）、山形；2010年7月
- 4) 第10回日本医療マシナリ学会東北連合会・第7回日本医療マシナリ学会山形地方会（会長：新澤陽英）、山形；2010年10月
- 5) 第55回市民公開講座 日本消化器病学会東北支部（会長：鶴飼克明）、長井；2010年11月

# 臨床腫瘍学講座

## 1. 論文

### (1) 原著

- 1) 安藤敏典, 鈴木祥郎, 菅野伸一, 宮下英士, 田中直樹, 生澤史江, 柴田近, 佐々木巖, 吉岡孝志: 腫瘍増大に伴い化学療法を変更し4年以上の長期生存を得られている同時性多発肝転移のStageIV胃癌の1例, 癌と化学療法. 2010; 37(5):891-894
- 2) 折原美佳, 黒木実智雄, 平本圭一郎, 庄司広和, 松村吉史, 菊地義文, 平川秀紀, 前田邦彦: 重症急性膵炎を合併した漿液性嚢胞腫瘍の1剖検例, 日本消化器病学会雑誌. 2010 ; 107(6) :923-929

### (2) 著書

- 1) 伊藤由理子, 山田康秀: 大腸がんに対する薬物療法. 消化器がん薬物療法 2010. 日本メディカルセンター, 2010;191-201
- 2) 吉岡孝志: 新しいレジメンの開発状況と臨床試験, 臨床腫瘍プラクティス. ヴァンメディカル, 2010;178-181
- 3) 吉岡孝志: II. カテゴリー別 癌分子標的治療薬 抗EGFR治療薬, The Liver Cancer Journal. メディカルレビュー社, 2010;47-51

## 2. 学会報告

### (1) 国内の学会

#### i 一般演題

- 1) 福井忠久, 折原美佳, 吉岡孝志: 治療効果からみた原発不明癌についての考察. 第107回日本内科学会総会, 東京都;2010年4月
- 2) 福井忠久, 伊藤由理子, 吉岡孝志: FOLFOX Stop-and-Go法で長期制御可能であった直腸癌肝転移の1例. 第189回日本消化器病学会東北支部例会, 山形;2010
- 3) 吉岡孝志, 坂井庸祐, 村上祥子, 山川真由美, 太田昭子, 大滝和幸, 有川卓, 栗村恵子, 石山智敏, 斎藤惇子, 橋本敏夫, 遠藤俊子, 沼倉堅一, 川口みつる, 星宣次: がん疼痛緩和に対する患者満足度について-山形県がん診療連携協議会緩和ケア部会調査-. 第48回日本癌治療学会学術集会, 京都;2010年10月

### (2) 研究会

#### i 特別講演

- 1) 吉岡孝志: 最近の消化器がんの化学療法. 第62回最上消化器症例検討会, 新庄;2010年10月
- 2) 吉岡孝志: 肺がん・消化器がんの薬物療法の現状. 第163回三郡市医師会合同学術講演会, 天童;2010年11月
- 3) 吉岡孝志: 進行再発大腸癌の薬物療法 -ガイドライン改訂を受けて-. 第515回八戸胃腸研究会, 八戸;2010年11月

### (3) その他

- 1) 第2回食道癌集学的治療カンファレンス特別講演, 仙台;2010年1月
- 2) 第5回庄内癌フォーラム特別講演, 酒田;2010年2月
- 3) 座談会『若手医師のがん教育』, 東京;2010年5月

- 4) ACCEL in Shonai, 酒田;2010年7月
- 5) 第12回放射線腫瘍学夏季セミナー, 山形;2010年8月
- 6) 第2回山形外来化学療法セミナー, 山形;2010年9月
- 7) 第1回山形チーム医療ワークショップ, 山形;2010年9月
- 8) 第5回山形県がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会, 酒田;2010年9月
- 9) 平成22年度 第4回山形県がん化学療法セミナー, 山形;2010年10月
- 10) 化学療法における副作用マネジメントについて, 西村山郡河北町;2010年11月
- 11) 第3回山形がんと骨病変カンファランス;山形;2010年11月
- 12) 第5回山形県がん化学療法セミナー, 山形;2010年11月

# 精神医学講座

## 1. 論文

### (1) 原著

- 1) Hayashi H, Akahane T, Suzuki H, Sasaki T, Kawakatsu S, Otani K. : Successful treatment by paroxetine of delusional disorder, somatic type, accompanied by severe secondary depression. Clin Neuropharmacol 2010;33(1):48-9
- 2) Sadahiro R, Suzuki A, Shibuya N, Kamata M, Matsumoto Y, Goto K, Otani K. : Association study between a functional polymorphism of tyrosine hydroxylase gene promoter and personality traits in healthy subjects. Behav Brain Res 2010;208(1):209-12
- 3) Otani K, Miura Y, Suzuki A, Kinoshita O. : Effectiveness and safety of milnacipran treatment for a patient with delusional disorder, somatic type taking multiple medications for concomitant physical diseases. Clin Neuropharmacol 2010;33(4):212-3
- 4) Umene-Nakano W, Yoshimura R, Ueda N, Suzuki A, Ikenouchi-Sugita A, Hori H, Otani K, Nakamura J. : Predictive factors for responding to sertraline treatment: views from plasma catecholamine metabolites and serotonin transporter polymorphism. J Psychopharmacol 2010;24(12):1764-71
- 5) 小林良太, 川勝 忍: 器質性健忘症候群(今日の精神科治療ガイドライン) 2010年版, 精神科治療学. 2010; 25(増刊): 11-12
- 6) 浦上克哉, 田北昌史, 安田朝子, 八森淳, 福井俊哉, 川勝忍, 銚石和彦, 繁田雅弘: アルツハイマー病診療のスキルアップを考える. 老年精神医学雑誌 2010;21:7-15

## 2. 学会報告

### (1) 国内の学会

#### i) シンポジウム

- 1) 川勝 忍: シンポジウム8「総合病院精神科と認知症疾患医療センター」認知症の専門医療相談・鑑別診断と初期対応. 第23回日本総合病院精神医学会, 東京; 2010年11月
- 2) 川勝 忍: 精神医学研修コース5-3認知症診療に必要な画像診断のポイント. 第106回日本精神神経学会, 広島; 2010年5月

#### ii) 一般演題

- 1) 川勝 忍, 小林良太, 山崎 猛, 渋谷 譲, 大谷浩一, 田村 元: ピック嗜銀球を伴う意味性認知症の1剖検例-神経心理検査と神経画像の経過を含めて-. 第51回日本神経病理学会, 東京; 2010年4月
- 2) 小林良太, 川勝 忍, 渋谷 譲, 大谷浩一: 前頭側頭型認知症運動ニューロン疾患型の言語・精神症状と脳画像所見における多様性. 第25回日本老年精神医学会, 熊本; 2010年6月
- 3) 川勝 忍, 山崎 猛, 林 博史, 渋谷 譲, 小林良太, 鈴木春芳, 佐々木哲也, 深澤 隆, 大谷浩一: ピック嗜銀球を有する意味性認知症の1剖検例-コピキチン/TDP43陽性例との比較を含めて-. 第25回日本老年精神医学会, 熊本; 2010年6月
- 4) 小林良太, 川勝 忍: Fahr病の1症例. 第15回日本神経精神医学会, 東京; 2010年12月

### (2) 国内地方会

- 1) 渋谷直史, 鈴木昭仁, 貞廣良一, 鎌田光宏, 松本祥彦, 大谷浩一: 健常日本人におけるFK506-binding protein 51(FKBP5)遺伝多型と人格特徴との関係. 第64回東北精神神経学会総会 弘前市 2010年9月
- 2) 林博史, 鈴木昭仁, 松本祥彦, 大谷浩一: 著明な体感幻覚を認めたアルツハイマー型認知症の1例. 第64回東北精神神経学会総会 弘前市 2010年9月

### (3) 研究会

#### i) 特別講演

- 1) 大谷浩一: 妄想性障害身体型の臨床. 第6回宮城新規抗精神病薬臨床研究会 仙台市; 2010年3月

## ii シンポジウム

- 1) 川勝 忍：シンポジウム「神経病理所見からみた臨床診断のポイント」画像と病理を踏まえた認知症の鑑別診断。第11会アルツハイマー病研究会，東京；2010年4月

## iii 一般講演

- 1) 小林良太，澁谷譲，川勝忍，大谷浩一：前頭側頭型認知症（運動ニューロン病型）の2例一言語症状の多様性。第22回山形認知症研究会 山形市 2010年4月
- 2) 簡野宗明：オイゲン・ブロイラーによる精神分裂病の概念。山形臨床精神病理研究会 山形市 2010年6月

## (4) その他

- 1) 川勝 忍：画像をふまえた認知症の鑑別診断。第17回福井の認知症を考える会、特別講演、福井、2010年10月
- 2) 川勝 忍：認知症の診断と治療～認知症診療25年の経験と今後の展望を含めて～。リハビリテーション・ケア合同研究大会山形ランチョンセミナー2010，山形；2010年10月
- 3) 川勝 忍：認知症について。市民後見人養成講座，山形；2010年12月

## 3. 学会，講演会，シンポジウム，ワークショップ等の開催

- 1) 第71回日本心身医学会東北地方会，山形大学医学部第三講義室；2010年9月4日
- 2) 第20回日本臨床精神神経薬理学会，仙台国際センター；2010年9月15日～17日

# 小児科学講座

## 1. 論文

### (1) 原著

- 1) Shiihara T, Maruyama K, Yamada Y, Nishimura A, Matsumoto N, Kato M, Sakazume S : A case of Baraitser-Winter syndrome with unusual brain MRI findings: pachygyria, subcortical-band heterotopia, and periventricular heterotopia. *Brain Dev* 2010;32(6):502-505
- 2) Ide S, Sasaki M, Kato M, Shiihara T, Kinoshita S, Takahashi JY, Goto Y. Abnormal glucose metabolism in aromatic L-amino acid decarboxylase deficiency. *Brain Dev* 2010;32(6):506-510
- 3) Saitsu H, Tohyama J, Kumada T, Egawa K, Hamada K, Okada I, Mizuguchi T, Osaka H, Miyata R, Furukawa T, Haginoya K, Hoshino H, Goto T, Hachiya Y, Yamagata T, Saitoh S, Nagai T, Nishiyama K, Nishimura A, Miyake N, Komada M, Hayashi K, Hirai S, Ogata K, Kato M, Fukuda A, Matsumoto N : Dominant-negative mutations in alpha-II spectrin cause West syndrome with severe cerebral hypomyelination, spastic quadriplegia, and developmental delay. *Am J Hum Genet* 2010;86(6):881-891
- 4) Hamaguchi A, Ishida C, Iwasa K, Abe A, Yamada M : Charcot-Marie-Tooth disease type 2D with a novel glycyl-tRNA synthetase gene (GARS) mutation. *J Neurol* 2010;257(7):1202-1204
- 5) Numakura C, Kitanaka S, Kato M, Ishikawa S, Hamamoto Y, Katsushima Y, Kimura T, Hayasaka K : Supernumerary impacted teeth in a patient with SOX2 anophthalmia syndrome. *Am J Med Genet A* 2010;152A(9):2355-2359
- 6) Kato M, Koyama N, Ohta M, Miura K, Hayasaka K : Frameshift mutations of the *ARY* gene in familial Ohtahara syndrome. *Epilepsia* 2010;51(9):1679-1684
- 7) Okano S, Hayasaka K, Igarashi M, Iwai H, Togashi Y, Nakajima O: Non-obese early onset diabetes mellitus in mutant cryptochrome 1 transgenic mice. *Eur J Clin Invest* 2010;40(11):1011-1017
- 8) Saitsu H\*, Kato M\*, Okada I, Orii KE, Higuchi T, Hoshino H, Kubota M, Arai H, Tagawa T, Kimura S, Sudo A, Miyama S, Takami Y, Watanabe T, Nishimura A, Nishiyama K, Miyake N, Wada T, Osaka H, Kondo N, Hayasaka K, Matsumoto N : *STXBPI* mutations in early infantile epileptic encephalopathy with suppression-burst pattern. *Epilepsia* 2010;51(12):2397-2405 (co-first author)
- 9) Kanazawa K, Kumada S, Kato M, Saitsu H, Kurihara E, Matsumoto N : Choreo-ballistic movements in a case carrying a missense mutation in syntaxin binding protein 1 gene. *Mov Disord* 2010;25(13):2265-2267
- 10) Brun L, Ngu LH, Keng WT, Ch'ng GS, Choy YS, Hwu WL, Lee WT, Willemsen MA, Verbeek MM, Wassenberg T, Regal L, Orcesi S, Tonduti D, Accorsi P, Testard H, Abdenur JE, Tay S, Allen GF, Heales S, Kern I, Kato M, Burlina A, Manegold C, Hoffmann GF, Blau N : Clinical and biochemical features of aromatic L-amino acid decarboxylase deficiency. *Neurology* 2010;75(1):64-71
- 11) Arai H, Otagiri T, Sasaki A, Umetsu K, Hayasaka K : Polyalanine expansion of *PHOX2B* in congenital central hypoventilation syndrome: rs17884724:A>C is associated with seven - alanine expansion. *J Hum Genet* 2010;55(1):4-7
- 12) Sudo Y, Numakura C, Abe A, Aiba S, Matsunaga A, Hayasaka K : Phenotypic variability in a family with Townes-Brocks syndrome. *J Hum Genet* 2010;55(8):550-551
- 13) Abe A, Nakamura K, Kato M, Numakura C, Honma T, Seiwa C, Shirahata E, Itoh A, Kishikawa Y, Hayasaka K : Compound heterozygous PMP22 deletion mutations causing severe Charcot-Marie-Tooth disease type 1. *J Hum Genet* 2010;55(11):771-773
- 14) 松永明, 鈴木浩, 早坂清 : Nephropathy in cyanotic congenital heart disease (NCCHD) の2例. *日本小児腎臓病学会雑誌* 2010;23(1):22-28

### (2) 総説

- 1) 加藤光広 : 【小児の発達の診かた 障害の早期発見と対応】 知能の発達と遺伝子異常. *小児内科*. 2010 ;

42(3) : 389-391

- 2) 加藤光広 : 脳形成障害・てんかんのトピックス - 年齢依存性てんかん性脳症と介在ニューロン病 -. 脳と発達. 2010 ; 42(5) : 333-338
- 3) 三井哲夫 : 再発・難治性非ホジキンリンパ腫の治療. 日小血会誌. 2010 ; 24(4) : 250-254

### (3) 著書

- 1) 加藤光広 : 大脳皮質形成異常. 大場洋, 小児神経の画像診断 脳脊髄から頭頸部・骨軟部まで. 東京 ; 学研メディカル秀潤社, 2010, 232-249
- 2) 加藤光広 : 脳形成異常の遺伝相談. 杉田克生, 林雅晴, イメージからせまる小児神経疾患 50. 東京 ; 診断と治療社, 2010, 10

### (4) その他

- 1) 加藤光広 : 大脳皮質形成障害の原因遺伝子解析に関する研究. 厚生労働科学研究費補助金 (難治性疾患克服研究事業) 平成 21 年度「胎児診断における難治性脳形成障害症の診断基準の作成」平成 21 年度総括・分担研究報告書. 2010 ; 37-39

## 2. 学会報告

### (1) 国際学会

#### i 一般演題

- 1) Shintaku H, Segawa M, Kato M, and Japan PND study group : Nation-wide epidemiologic study of pediatric neurologic disease in Japan (the 1st report). International Symposium on Epilepsy in Neurometabolic Diseases (ISENMD)-The 13th Annual Meeting of the Infantile Seizure Society, Taipei, Taiwan; March 2010
- 2) Kato M, Honma T, Hayasaka K : Autosomal dominant form of periventricular nodular heterotopia. International Child Neurology Congress Meeting, Cairo, Egypt; May 2010
- 3) Hayasaka K : Clinical and molecular diagnosis of Charcot-Marie-Tooth disease in Japan. Peripheral nerve society Satellite meeting, Invited speaker, Sydney, Australia; July 2010
- 4) Kato M, Saitou H, Okada I, Orii KE, Higuchi T, Hoshino H, Kubota M, Arai H, Tagawa T, Kimura S, Sudo A, Miyama S, Takami Y, Watanabe T, Nishimura A, Nishiyama K, Miyake N, Wada T, Osaka H, Kondo N, Hayasaka K, Matsumoto N : Haploinsufficiency of STXBP1 is an important cause for Ohtahara syndrome, but not for cryptogenic West syndrome. 8th Asian & Oceanian Epilepsy Congress, Melbourne, Australia; October 2010
- 5) Tohyama J, Saitou H, Akasaka N, Osaka H, Miyata R, Kato M, Matsumoto N : A new clinical epileptic syndrome caused by SPTAN1 mutation. 8th Asian & Oceanian Epilepsy Congress, Melbourne, Australia; October 2010
- 6) Matsunaga A, Toyota K, Furuyama M, Sando D, Mitsui T : Hypouricemia in the clinical course of neoplastic disease of children. The 3rd Congress of the European academy of paediatric societies, Copenhagen, Denmark; October 2010

### (2) 国内の学会

#### i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 加藤光広 : 画像でわかる脳形成障害の分類と原因. 第 29 回日本画像医学会 教育講演, 東京 ; 2010 年 2 月
- 2) 加藤光広 : 画像と分子病態からみた乳児期の難治てんかん. シンポジウム 2「てんかん症候群に対する多面的アプローチ」シンポジスト. 第 44 回日本てんかん学会総会, 岡山 ; 2010 年 10 月

#### ii 一般演題

- 1) 小田切徹州, 安河内聰, 瀧間浄宏, 武井黄太, 井上奈緒, 中野裕介, 橋田祐一郎 : 当科における, Amplatzer

- 動脈管閉鎖栓術の経験. 第 21 回日本 Pediatric Interventional Cardiology 学会学術集会, 静岡; 2010 年 1 月
- 2) 阿部暁子, 中村和幸, 加藤光広, 沼倉周彦, 本間友美, 白幡恵美, 清和ちづる, 伊東愛子, 早坂清: PMP22 遺伝子欠失の複合ヘテロ接合体による遺伝性ニューロパチーの 2 家系. 第 113 回日本小児科学会学術集会, 盛岡; 2010 年 4 月
  - 3) 鈴木浩, 佐々木綾子, 金井雅代, 仁木敬夫, 早坂清: 先天性横隔膜ヘルニアに合併した新生児遷延性肺高血圧症に対する治療. 第 113 回日本小児科学会学術集会, 盛岡; 2010 年 4 月
  - 4) 小田切徹州, 安河内聰, 瀧間浄宏, 武井黄太, 井上奈緒, 中野裕介, 橋田祐一郎: 動脈管開存症に対する Amplatzer 動脈管閉鎖栓術. 第 113 回日本小児科学会学術集会, 盛岡; 2010 年 4 月
  - 5) 阿部暁子, 木島一己, 白幡恵美, 早坂清: 日本人 Charcot-Marie-Tooth 病の遺伝子診断と臨床像について. 第 52 回日本小児神経学会総会, 福岡; 2010 年 5 月
  - 6) 中村和幸, 加藤光広, 早坂清: ARX 遺伝子第 2 ポリアラニン伸長変異を認めた孤発性 West 症候群の 1 男児例. 第 52 回日本小児神経学会総会, 福岡; 2010 年 5 月
  - 7) 境信哉, 境直子, 須藤章, 加藤光広, 斎藤伸治: 脊髄性筋萎縮症 (I 型) 児者の上肢機能について～親へのアンケート調査より～. 第 52 回日本小児神経学会総会, 福岡; 2010 年 5 月
  - 8) 折居建治, 加藤光広, 船戸建治, 松井永子, 寺本貴英, 加藤善一郎, 深尾敏幸, 近藤直実: VitB6 大量投与および ACTH 投与が発作抑制に有効であった乳児早期てんかん性脳症の一例. 第 52 回日本小児神経学会総会, 福岡; 2010 年 5 月
  - 9) 新宅治夫, 瀬川昌也, 加藤光広, 斎藤伸治, 浜野晋一郎, 久保田雅也, 遠山潤, 夏目淳, 服部英司, 前垣義弘, 松石豊次郎, 井出秀平, 藤岡弘季, 野村芳子, 伊藤康: 小児神経伝達物質病 (PND) の全国調査. 第 52 回日本小児神経学会総会, 福岡; 2010 年 5 月
  - 10) 境信哉, 須藤章, 加藤光広, 斎藤伸治: 全国の脊髄性筋萎縮症 (I 型) 児に対するスイッチ活動の獲得を目指した遠隔支援の紹介. 第 44 回日本作業療法学会, 仙台; 2010 年 6 月
  - 11) 松永明, 豊田健太郎, 古山政幸, 仙道大, 三井哲夫, 早坂清: 小児悪性腫瘍治療中の低尿酸血症～低尿酸血症は何を引き起こすのか～. 第 45 回日本小児腎臓病学会, 大阪; 2010 年 7 月
  - 12) 橋本多恵子, 荻野大助, 菊池貴洋, 秋葉香, 出川紀行, 清水行敏: IgA 腎症を合併したダウン症候群の 1 女児例. 第 45 回日本小児腎臓病学会, 大阪; 2010 年 7 月
  - 13) 鈴木浩, 仁木敬夫, 小田切徹州, 安孫子雅之: 当科で経験した特発性肺動脈性肺高血圧症の臨床的検討. 第 46 回日本小児循環器学会, 浦安; 2010 年 7 月
  - 14) 沼倉周彦, 北中幸子, 木村敏之, 早坂清: デスマプレシン濫用により低ナトリウム血症が頻発した代理ミュンヒハウゼン症候群の一例. 第 44 回日本小児内分泌学会, 大阪; 2010 年 10 月
  - 15) 鈴木浩: ガンマグロブリンとインフリキシマブに不応性の川崎病に対するシクロスポリン療法. 第 30 回日本川崎病学会, 京都; 2010 年 10 月
  - 16) 目黒亨, 川上貴子, 簡野美弥子, 高橋憲幸, 仙道大, 下風朋章, 篠崎敏行, 三井哲夫, 早坂清, 櫻田香, 嘉山孝正: 髄芽腫で造血幹細胞移植を行なった 3 症例. 第 26 回日本小児がん学会学術集会, 大阪; 2010 年 12 月

### (3) 国内地方会

#### i 一般演題

- 1) 中島翠, 須藤章, 谷口宏太, 半田つばさ, 高橋俊行, 濱野貫通, 佐野仁美, 福島直樹, 白石秀明, 斎藤伸治, 加藤光広, 才津浩智, 松本直通: 最重度な経過をたどった STXBP1 遺伝子変異を有する大田原症候群の 1 例. 第 5 回日本てんかん学会北海道地方会, 札幌; 2010 年 2 月
- 2) 古山政幸, 松永明, 早坂清, 近本祐子, 服部元史, 倉山亮太: 父をドナーとする生体腎移植を施行した, 重症心身障害の一慢性腎不全症例. 第 88 回日本小児科学会山形地方会, 山形; 2010 年 5 月
- 3) 沼倉周彦, 高橋憲幸, 簡野美弥子, 仙道大, 佐竹寛史, 荻野利彦, 鈴木民夫, 早坂清: 新たな自己炎症疾患と考えられる一例. 第 88 回日本小児科学会山形地方会, 山形; 2010 年 5 月
- 4) 清和ちづる, 白幡恵美, 沼倉周彦, 伊東愛子: 経管栄養によりダンピング症候群様症状を呈した 1 例. 第 88 回日本小児科学会山形地方会, 山形; 2010 年 5 月
- 5) 須藤陽介, 佐々木綾子, 若林崇, 金井雅代, 早坂清, 前田勝子, 秋葉香, 清水行敏: 生後早期から急性左



- 心不全を呈した1例. 第88回日本小児科学会山形地方会, 山形; 2010年5月
- 6) 安孫子雅之, 仁木敬夫, 鈴木浩, 早坂清, 橋本多恵子, 本間友美, 吉村幸浩, 貞弘光章: 生後5カ月時に診断された総肺静脈還流異常症の1例. 第88回日本小児科学会山形地方会, 山形; 2010年5月
  - 7) 鈴木恵美子, 片山紗乙莉, 渡辺哲, 内田俊彦, 柏原俊彦, 今野昭宏, 饗場智, 渡辺真史, 藤山純一, 加藤光広, 早坂清: ヒトヘルペスウイルス7型による突発性発疹関連脳症の1例. 第88回日本小児科学会山形地方会; 2010年5月
  - 8) 大通尚, 木島一己, 仁科正裕, 加藤光広: Lamotrigine (LTG) が著効した潜因性 West 症候群の1例. 第88回日本小児科学会山形地方会, 山形; 2010年5月
  - 9) 鈴木浩, 仁木敬夫, 小田切徹州, 安孫子雅之, 早坂清: Ca拮抗薬が著効した特発性肺動脈性肺高血圧症の1例. 第62回北日本小児科学会, 札幌; 2010年9月
  - 10) 安孫子雅之, 仁木敬夫, 鈴木浩, 早坂清: Circular shunt を呈した Epstein 奇形の1例. 第62回北日本小児科学会, 札幌; 2010年9月
  - 11) 菊池貴洋, 加藤光広, 中村和幸, 早坂清: 当科における先天性多発性関節拘縮症13例の検討. 第62回北日本小児科学会, 札幌; 2010年9月
  - 12) 篠崎敏行, 中村和幸, 本間信夫, 菊池貴洋, 荻野大助, 岡田昌彦, 加藤光広, 早坂清: 母斑のない脳軟膜限局性血管腫を示す Sturge-Weber 症候群の1乳児例. 第16回日本小児神経学会東北地方会, 仙台; 2010年10月
  - 13) 橋本多恵子, 豊田健太郎, 松永明, 早坂清, 鹿子島俊夫: 今年新たに検出したリポ蛋白糸球体症の1家系: リポ蛋白糸球体症の病態解明に向けた取り組み. 第89回日本小児科学会山形地方会, 山形; 2010年12月
  - 14) 安孫子優, 高橋辰徳, 笹真一, 田邊さおり, 木村敏之, 加藤光広: ヒトヘルペスウイルス6型 (HHV6) 感染を契機に深部灰白質病変を呈した1例. 第89回日本小児科学会山形地方会, 山形; 2010年12月
  - 15) 中村和幸, 加藤光広, 三橋玉絵, 早坂清: 慢性進行性外眼筋麻痺の1男児例. 第89回日本小児科学会山形地方会, 山形; 2010年12月
  - 16) 沼倉周彦, 豊田健太郎, 羽根田思音, 三浦瞳, 山本崇, 早坂清: 白内障を契機に診断されたシトリン欠損症の1例. 第89回日本小児科学会山形地方会, 山形; 2010年12月
  - 17) 安孫子雅之, 小田切徹州, 仁木敬夫, 鈴木浩, 早坂清, 林真貴子, 佐藤誠, 本間信夫, 岡田昌彦, 田邊さおり, 木村敏之: ガンマグロブリン不応性の川崎病に対する治療. 第89回日本小児科学会山形地方会, 山形; 2010年12月
  - 18) 高橋憲幸, 川上貴子, 早川裕子, 小野田正志, 簡野美弥子, 三井哲夫, 早坂清, 太田伸男, 渡辺知緒, 伊藤吏, 窪田俊憲, 八鍬修一, 青柳優, 武田憲夫: 中耳炎, 乳突洞炎を契機に発見されたランゲルハンス組織球症 (LCH) の2例. 第89回日本小児科学会山形地方会, 山形; 2010年12月

#### (4) 研究会

##### i 特別講演

- 1) 加藤光広: 乳幼児期てんかん性脳症の分子遺伝学的発症機構. 第10回北海道小児神経症例検討会 特別講演, 札幌; 2010年1月
- 2) 加藤光広: てんかん性脳症の分子病態. 第74回大阪小児神経学懇話会 特別講演, 大阪; 2010年2月
- 3) 加藤光広: 遺伝子からみた大田原症候群とウエスト症候群の病態. 第23回埼玉小児神経懇話会 特別講演, さいたま; 2010年2月
- 4) 加藤光広: 介在ニューロンとシナプスからみたてんかん性脳症の病態. 第37回多摩てんかん懇話会 特別講演, 立川; 2010年12月

##### ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 加藤光広: 小児の言語発達とその障害. 第5回山形臨床耳鼻科医会 講演, 山形; 2010年3月
- 2) 加藤光広: 大脳皮質形成障害の新しい視点 - ARX と介在ニューロン病. 第41回慶応ニューロサイエンス研究会 招待講演, 東京; 2010年11月

##### iii 一般演題

- 1) 安孫子雅之, 仁木敬夫, 鈴木浩, 早坂清: 特発性肺動脈性肺高血圧症の1小児例. 第4回山形心エコー図研究会, 山形; 2010年2月
- 2) 古山政幸, 近本祐子, 石塚喜世伸, 秋岡祐子, 服部元史, 北中幸子, 松永明: 腎外病変の有無において対

- 照的であった Nail-patella 症候群の二女児例. 第 20 回東北小児腎臓病研究会, 仙台; 2010 年 2 月
- 3) 豊田健太郎, 松永明, 早坂清: 血中アンチトロンビンⅢからみた小児特発性ネフローゼ症候群. 第 20 回東北小児腎臓病研究会, 仙台; 2010 年 2 月
  - 4) 高橋憲幸, 簡野美弥子, 目黒亨, 川上貴子, 仙道大, 古山政幸, 内田ゆり, 三井哲夫, 早坂清, 久下淳史, 嘉山孝正: JPLSG ALB-NHL03 による寛解導入治療直後に脳静脈洞血栓を来した 12 歳男児. 第 56 回東北小児白血病研究会, 仙台; 2010 年 4 月
  - 5) 市川大輔, 田尾克生, 野口靖, 野口博史, 杉田克生, 加藤光広: ARX 遺伝子に新規の変異を認めた X 連鎖性滑脳症の一例. 第 40 回胎児・新生児神経研究会, 東京; 2010 年 5 月
  - 6) 安孫子雅之, 小田切徹州, 仁木敬夫, 鈴木浩, 阿部暁子, 早坂清: ACE 阻害薬と  $\beta$  受容体遮断薬の高用量投与が有効であった Barth 症候群の 1 例. 第 1 回東北小児循環器懇話会, 仙台; 2010 年 5 月
  - 7) 高橋憲幸, 目黒亨, 古山政幸, 簡野美弥子, 川上貴子, 仙道大, 三井哲夫, 早坂清, 久下淳史, 山田裕樹, 齋藤佑規, 貞廣良一, 嘉山孝正: JPLSG ALB-NHL03 による寛解導入治療直後に脳静脈洞血栓を来した 12 歳男児例. JACLS 第 14 回総会, 大阪; 2010 年 5 月
  - 8) 沼倉周彦, 北中幸子, 藤山純一, 堤誠司, 早坂清: 性腺を摘出した Y 染色体成分を持つモザイク型 Turner 症候群の一例. 第 16 回山形小児内分泌・代謝研究会, 山形; 2010 年 6 月
  - 9) 安孫子雅之, 仁木敬夫, 鈴木浩, 早坂清: 胎児水腫を呈した Ebstein 奇形の 1 例. 第 27 回山形県周産期・新生児医療研究会, 山形; 2010 年 6 月
  - 10) 小田切徹州, 鈴木浩, 仁木敬夫, 安孫子雅之, 早坂清, 吉村幸浩, 貞弘光章: 重症先天性心疾患の早期診断. 第 27 回山形県周産期・新生児医療研究会, 山形; 2010 年 6 月
  - 11) 早川裕子, 川上貴子, 目黒亨, 下風朋章, 高橋憲幸, 簡野美弥子, 仙道大, 三井哲夫, 早坂清: 難治性固形腫瘍の骨髄移植後, 多発性漿膜炎を起こした 2 例. 第 23 回東北 BMT 研究会, 仙台; 2010 年 7 月
  - 12) 沼倉周彦, 伊藤純一, 石井里佳, 齋藤貴史, 河田純男, 伊田博幸, 早坂清: 成人後に診断された Gaucher 病の一例. 第 9 回東北代謝異常症治療研究会, 仙台; 2010 年 7 月
  - 13) 松永明, 荻野大助, 早坂清: Nephrogenic Systemic Fibrosis (NSF) 患者に対する腎移植の効果. 第 13 回東北移植研究会, 仙台; 2010 年 9 月
  - 14) 高橋辰徳, 中村和幸, 菊池貴洋, 笹真一, 田邊さおり, 松本直通, 木村敏之, 加藤光広: 両側傍 Sylvius 裂多小脳回を認めた 1p36 欠失症候群の 1 男児例. 第 15 回山形小児神経研究会, 山形; 2010 年 8 月
  - 15) 須藤陽介, 加藤光広, 菊池貴洋, 中村和幸, 金井雅代, 若林崇, 佐々木綾子, 早坂清: 筋病変を伴わず Walker-Warburg 症候群類似の脳形成異常を認める 1 女児例. 第 15 回山形小児神経研究会, 山形; 2010 年 8 月
  - 16) 川上貴子, 簡野美弥子, 高橋憲幸, 早川裕子, 小野田正志, 三井哲夫, 早坂清: AML with tri-lineage dysplasia の同種移植治療 7 年後に口蓋に粘表皮癌を発症した 12 歳男児. 第 57 回東北小児白血病研究会, 福島; 2010 年 10 月
  - 17) 安孫子雅之, 仁木敬夫, 鈴木浩, 早坂清: 高度の僧帽弁逆流を伴った孤立性左室心筋緻密化障害の 1 死亡例. 第 19 回関東小児心筋疾患研究会, 東京; 2010 年 10 月
  - 18) 小田切徹州, 鈴木浩, 安孫子雅之, 早坂清: ベラプロスト長期投与後に Fontan 手術に到達した両大血管右室起始症の 1 例. 第 45 回東北小児心臓病研究会, 仙台; 2010 年 11 月
  - 19) 橋本多恵子, 荻野大助, 菊池貴洋, 秋葉香, 出川紀行, 清水行敏: 初診時から尿所見に比較し腎機能低下症を認め, 間質病変が目立ったダウン症候群の IgA 腎症の一女児例. 第 13 回山形腎と免疫研究会, 山形; 2010 年 11 月

##### (5) その他

- 1) 加藤光広: AADC 欠損症の臨床像と病態生理について. 平成 21 年度厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業. 小児神経伝達物質病の診断基準の作成と患者数の実態調査に関する研究班 (新宅治夫班長) 第 3 回班会議, 大阪; 2010 年 1 月
- 2) 加藤光広, 沼倉周彦: AADC 欠損症の遺伝子解析. 平成 21 年度厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業. 小児神経伝達物質病の診断基準の作成と患者数の実態調査に関する研究班 (新宅治夫班長) 第 3 回班会議, 大阪; 2010 年 1 月
- 3) 加藤光広: AADC 欠損症の診断基準作成. 平成 21 年度厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事

- 業. 小児神経伝達物質病の診断基準の作成と患者数の実態調査に関する研究班(新宅治夫班長)第3回班会議, 大阪; 2010年1月
- 4) 鈴木浩: こどもの心臓病. 寒河江市西村山郡医師会学校医講演会, 寒河江; 2010年2月
  - 5) 阿部暁子, 早坂清: CMT病の臨床症状と診断法(2)小児発症のCMT. 平成21年度厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業「シャルコー・マリー・トゥース病の診断・治療・ケアに関する研究」班主催 シャルコー・マリー・トゥース病(CMT)市民公開講座, 東京; 2010年2月
  - 6) 中村和幸: 小児の急性脳炎・脳症. 平成22年度第15回山形大学医学部技術部職員研修～感染症の脅威～, 山形; 2010年8月
  - 7) 阿部暁子, 早坂清: CMT病の臨床症状と診断法(2)小児発症のCMT. 平成22年度厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業「シャルコー・マリー・トゥース病の診断・治療・ケアに関する研究」班主催 シャルコー・マリー・トゥース病(CMT)市民公開講座, 大阪; 2010年9月
  - 8) 松永明: 尿異常のマネージメントリレー ～発症から診断まで～. 第45回山形県小児保健会研修会, 山形; 2010年10月
  - 9) 沼倉周彦, 勝島由利子, 木村敏之, 伊藤末志, 早坂清: 小児肥満の診断・治療基準の確立. 第45回山形県小児保健会研修会, 山形; 2010年10月
  - 10) 加藤光広: 脳形成障害の病態解明. 厚生労働省精神・神経疾患研究委託費「重症心身障害児(者)の病因・病態解明, 治療・療育, および施設のあり方に関する研究班」(20指-14)平成22年度班会議, 東京; 2010年11月
  - 11) 加藤光広: ARX 遺伝子変異に起因する精神遅滞の分子遺伝学的研究. 厚生労働省精神・神経疾患研究委託費「精神・神経疾患バイオソース・レポジトリーの構築及び病因病態の解明に関する研究」(21指-6)平成22年度班会議. 東京; 2010年11月

### 3. 学会, 講演会, シンポジウム, ワークショップ等の開催

- 1) 第15回小児神経症例検討会(蔵王セミナー), 上山; 2010年2月
- 2) 第88回日本小児科学会山形地方会開催, 山形; 2010年5月
- 3) 第16回山形小児内分泌・代謝研究会開催, 山形; 2010年6月
- 4) 第27回山形県周産期・新生児医療研究会開催, 山形; 2010年6月
- 5) 第7回山形こどもの腎研究会開催, 山形; 2010年7月
- 6) 第7回山形小児アレルギー研究会開催, 山形; 2010年7月
- 7) 第15回山形小児神経研究会開催, 山形; 2010年8月
- 8) 第45回山形県小児保健会研修会開催, 山形; 2010年10月
- 9) 第89回日本小児科学会山形地方会開催, 山形; 2010年12月

## 外科学第一（消化器・乳腺甲状腺・一般外科学）講座

### 1. 論文

#### (1) 原著

- 1) Kimura W, Yano M, Sugawara S, Okazaki S, Sato T, Moriya T, Watanabe T, Fujimoto H, Tezuka K, Takeshita A, Hirai I: Spleen-preserving distal pancreatectomy with conservation of the splenic artery and vein: techniques and its significance. *Journal of Hepato-biliary-Pancreatic Surgery*. 2010;17:813-823
- 2) Takasu N, Kimura W, Moriya T, Takeshita A, Kamio Y, Nomura T: Intraductal Papillary-Mucinous Neoplasms of the Gastric and Intestinal Types May Have Less Malignant Potential Than the Pancreatobiliary Type. *Pancreas*. 2010;39(5):604-610
- 3) Takasu N, Kimura W, Moriya T, Takeshita A, Urayama S, Hirai I, Ogata S: A pancreatobiliary-type carcinoma in situ at the periphery of a mural nodule developed from a gastric adenoma in an intraductal papillary mucinous neoplasm. *Clin J Gastroenterol* 2010;3:209-213
- 4) Kamio Y, Maeda K, Moriya T, Takasu N, Takeshita A, Hirai I, Kimura W, Yamakawa M: Clinicopathological significance of cell cycle regulatory factors and differentiation-related factors in pancreatic neoplasms. *Pancreas*. 2010;39(3):345-352
- 5) Zhe Wu Jin, Baik Hwan Cho, Murakami G, Fujiyama M, Kimura W, Hee Chul Yu: Fetal Development of the Retrohepatic Inferior Vena Cava and Accessory Hepatic Veins: Re-evaluation of the Alexander Barry's Hypothesis. *Clinical Anatomy*. 2010;23:297-303
- 6) Zhe Wu Jin, Hee Chul Yu, Baik Hwan Cho, Hyung Tea Kim, Kimura W, Fujimiyama M, Murakami G: Fetal Topographical Anatomy of the Pancreatic Head and Duodenum with Special Reference to Courses of the Pancreaticoduodenal Arteries. *Yonsei Medical Journal*. 2010;51(3):398-406
- 7) Ito T, Sasano H, Tanaka M, Osamura Y, Sasaki I, Kimura W, Takano K, Obara T, Ishibashi M, Nakao K, Doi R, Shimatsu A, Nishida T, Komoto I, Hirata Y, Nakamura K, Igarashi H, Robert T. Jensen, Wiedenmann B, Imamura M: Epidemiological study of gastroenteropancreatic neuroendocrine tumors in Japan. *Journal of Gastroenterology*. 2010; 45(2):234-243
- 8) Tezuka K, Makino T, Hirai I, Kimura W: Groove Pancreatitis. *Digestive Surgery*. 2010;27:149-152
- 9) Takasu N, Kimura W, Moriya T, Takeshita A, Murayama S, Hirai I, Okazaki S: A pancreatobiliary-type carcinoma in situ at the periphery of a mural nodule developed from a gastric adenoma in an intraductal papillary mucinous neoplasm. *Clinical Journal of Gastroenterology*. 2010;3(4):209-213
- 10) Hasegawa S, Kimura W, Isobe H, Hachiya O, Mizutani M, Nomura T, Tezuka K, Ogata T, Hirai I: Case of Survival Without Intravenous Nutritional Support in an Adult with Short Bowel Syndrome. *Yamagata Medical Journal*. 2010; 28(2):71-76
- 11) 木村 理: 脾切除(再建を含む)に愛用の手術器具・材料. *臨床外科*. 2010;65(1):5-14
- 12) 渡邊利広, 木村 理: 診断(分類)と治療, 外科手術の適応は肝胆膵. 2010;61(3):367-381
- 13) 長谷川繁生, 木村 理, 蜂谷 修, 磯部秀樹, 水谷雅臣, 野村 尚, 平井一郎: 当科における上腸間膜動脈血栓症 6 例の検討. *日本腹部救急医学会誌*. 2010;30(6):741-745
- 14) 平井一郎, 竹下明子, 岡崎慎史, 牧野直彦, 白幡名香雄, 戸澤智浩, 本田悌一郎, 河田純男, 木村 理: 異時性に発生した肝門部胆管癌と Vater 乳頭部癌を治癒切除し得た 1 例. *胆道* 2010;24(4):585-589

#### (2) 総説

- 1) 叶谷由佳, 大竹まり子, 森健祐子, 鈴木育子, 細谷たき子, 小林淳子, 田代久男, 木村 理: 効果的な内部連携と外部連携による患者支援 第 5 回病院外施設からみた地域医療連携・退院支援部署と外部連携. 地域連携 network.

2010;2(6):39-43

- 2) 手塚康二, 木村 理: 膵の内分泌腫瘍. 成人病と生活習慣病. 2010;40(1):110-113
- 3) 木村 理, 手塚康二, 平井一郎: 消化器神経内分泌腫瘍の外科的治療. 日本消化器病学会雑誌. 2010;107(3):380-391
- 4) 手塚康二, 木村 理: ドレナージ. 消化器外科. 2010;33(3):315-323
- 5) 高須直樹, 水谷雅臣, 木村 理: 1. 高齢者穿孔性腹膜炎手術の合併症と対策. 外科. 2010;72(3):243-246
- 6) 野村 尚, 蜂谷 修, 尾形貴史, 手塚康二, 高須直樹, 水谷雅臣, 磯部秀樹, 長谷川繁生, 木村 理: 幽門側胃切除後 Roux-Y 再建および幽門保存胃切除術における術後合併症、愁訴の検討. 日本消化器外科学会雑誌. 2010;43(3):109
- 7) 手塚康二, 木村 理: 胆道癌のハイリスクグループの胆石症と胆嚢癌. 肝胆膵画像. 2010;12(2):197-206
- 8) 菅原秀一郎, 木村 理: 腹腔鏡下胆嚢摘出術. 消化器外科. 2010;33(5):841-842
- 9) 長谷川繁生, 木村 理, 蜂谷 修, 磯部秀樹, 水谷雅臣, 野村 尚: 多発外傷による nonsurgical pneumoperitoneum の 1 例. 日本臨床外科学会雑誌. 2010;71(4):976-980
- 10) 手塚康二, 森谷敏幸, 岡崎慎史, 竹下明子, 平井一郎, 木村 理: 膵体尾部切除 (脾臓温存). 手術. 2010;64(5):617-622
- 11) 木村 理: 山形県がん診療連携協議会 地域連携パス部会長. 山形県がん診療連携拠点病院 “がんの地域医療アンケート調査” 報告. 山形県医師会会報. 2010;706:11-15
- 12) 木村 理, 手塚康二, 渡邊利広, 森谷敏幸, 竹下明子, 平井一郎: 脾温存膵体尾部切除術. 外科治療. 2010;103(3):309-314
- 13) 木村 理: 胆・膵, 胆膵急性疾患の病態と治療. 主題のポイント. 2010 年 [平成 22 年] 度後期日本消化器外科学会教育集会. 2010 年 10 月 16 日~17 日, 2010 年 [平成 22 年] 度後期日本消化器外科学会教育集会テキスト. 2010
- 14) 水谷雅臣, 木村 理: 消化器外科における輸液・栄養管理の実際 肝胆膵手術. 消化器外科. 2010;33:1179-1187
- 15) 木村 理: 膵頭十二指腸切除に必要な外科解剖. 2010;72(11):1149-1157

### (3) 著書

- 1) 平井一郎, 木村 理: 膵全摘術-膵癌に対する膵全摘術. Digestive Surgery Now No.8 胆・膵外科手術 標準手術からのステップアップ. 東京;株式会社メジカルビュー社, 2010:124-144
- 2) 木村 理: 15. 外科 1.3 肝・胆・膵臓の外科. 新老年医学 第 3 版. 東京;東京大学出版会, 2010:1358-1369
- 3) 鈴木明彦, 木村 理: ビスフォスフォネート剤と歯科 乳がん治療の観点から. この疾患 医科で診る? 歯科で診る?. 東京;株式会社デンタルダイヤモンド社, 2010:131
- 4) 木村 理: 12. クロウン病と潰瘍性大腸炎. 疾患と治療薬-医師・薬剤師のためのマニュアル(改訂第 6 版). 東京;株式会社南江堂, 2010:206-207
- 5) 木村 理: 13. 大腸ポリープと大腸癌. 疾患と治療薬-医師・薬剤師のためのマニュアル(改訂第 6 版). 東京;株式会社南江堂, 2010:208-211
- 6) 木村 理: 14. イレウス. 疾患と治療薬-医師・薬剤師のためのマニュアル(改訂第 6 版). 東京;株式会社南江堂, 2010:212
- 7) 木村 理: 15. 虚血性腸疾患. 疾患と治療薬-医師・薬剤師のためのマニュアル(改訂第 6 版). 東京;株式会社南江堂, 2010:213-214
- 8) 木村 理: 16. 過敏性大腸症候群. 疾患と治療薬-医師・薬剤師のためのマニュアル(改訂第 6 版). 東京;株式会社南江堂, 2010:215
- 9) 木村 理: 17. 腹膜炎. 疾患と治療薬-医師・薬剤師のためのマニュアル(改訂第 6 版). 東京;株式会社南江堂, 2010:215
- 10) 木村 理: 18. 虫垂炎. 疾患と治療薬-医師・薬剤師のためのマニュアル(改訂第 6 版). 東京;株式会社南江堂, 2010:215

- 堂, 2010:216
- 11) 木村 理: 19. 蛋白漏出性胃腸症. 疾患と治療薬-医師・薬剤師のためのマニュアル(改訂第6版). 東京;株式会社南江堂, 2010:217
  - 12) 木村 理: 20. Hirschsprung 病. 疾患と治療薬-医師・薬剤師のためのマニュアル(改訂第6版). 東京;株式会社南江堂, 2010:218
  - 13) 木村 理: 胆道・膵臓の手術に必要な解剖. みる・わかる・自信がつく! 消化器外科手術ナビガイド胆・膵. 東京;株式会社中山書店, 2010:74-82
  - 14) 木村 理: 膵部分切除術と腫瘍核出術. みる・わかる・自信がつく! 消化器外科手術ナビガイド胆・膵. 東京;株式会社中山書店, 2010:2-22
  - 15) 木村 理: 脾合併および脾温存膵体尾部切除術. みる・わかる・自信がつく! 消化器外科手術ナビガイド胆・膵. 東京;株式会社中山書店, 2010:83-95
  - 16) 木村 理: 膵臓の外科解剖. 肝胆膵高難度外科手術. 東京;株式会社医学書院, 2010:21-22
  - 17) 木村 理: 膵の解剖における癒合筋膜. 肝胆膵高難度外科手術. 東京;株式会社医学書院, 2010:22-25
  - 18) 木村 理: 膵の動脈. 肝胆膵高難度外科手術. 東京;株式会社医学書院, 2010:25-29
  - 19) 木村 理: 膵の静脈. 肝胆膵高難度外科手術. 東京;株式会社医学書院, 2010:29-31
  - 20) 木村 理: 膵頭神経叢. 肝胆膵高難度外科手術. 東京;株式会社医学書院, 2010:31-33
  - 21) 平井一郎, 竹下明子, 手塚康二, 渡邊利広, 木村 理: 肝内血腫, 肝被膜下血腫. 日本臨床 新領域別症候群シリーズNo. 14 肝・胆道系症候群(第2版) II 肝臓編(下). 東京;株式会社日本臨床社, 2010:461-464
  - 22) 木村 理: お年寄りの病気 高齢者の悪性腫瘍と消化器救急疾患①高齢者にみられる悪性腫瘍. 六訂版 家庭医学大全科. 東京;株式会社法研, 2010:549
  - 23) 木村 理: お年寄りの病気 高齢者の悪性腫瘍と消化器救急疾患②高齢者消化器救急疾患の問題点と対策. 六訂版 家庭医学大全科. 東京;株式会社法研, 2010:549-550
  - 24) 木村 理: お年寄りの病気 高齢者の悪性腫瘍と消化器救急疾患③疾患別の対応 腸閉塞(イレウス). 六訂版 家庭医学大全科. 東京;株式会社法研, 2010:550-551
  - 25) 木村 理: お年寄りの病気 高齢者の悪性腫瘍と消化器救急疾患③疾患別の対応 汎発性腹膜炎. 六訂版 家庭医学大全科. 東京;株式会社法研, 2010:551
  - 26) 木村 理: お年寄りの病気 高齢者の悪性腫瘍と消化器救急疾患③疾患別の対応 急性虫垂炎. 六訂版 家庭医学大全科. 東京;株式会社法研, 2010:551-552
  - 27) 木村 理: お年寄りの病気 消化器疾患の手術適応 胃がん 高齢者の胃がんの特徴. 六訂版 家庭医学大全科. 東京;株式会社法研, 2010:599
  - 28) 木村 理: お年寄りの病気 消化器疾患の手術適応 胃がん 手術の種類と適応. 六訂版 家庭医学大全科. 東京;株式会社法研, 2010:599
  - 29) 木村 理: お年寄りの病気 消化器疾患の手術適応 胃がん 根治性手術の考え方. 六訂版 家庭医学大全科. 東京;株式会社法研, 2010:600
  - 30) 木村 理: お年寄りの病気 消化器疾患の手術適応 大腸がん 高齢者の大腸がんの特徴. 六訂版 家庭医学大全科. 東京;株式会社法研, 2010:600
  - 31) 木村 理: お年寄りの病気 消化器疾患の手術適応 大腸がん 手術適応について. 六訂版 家庭医学大全科. 東京;株式会社法研, 2010:600
  - 32) 木村 理: お年寄りの病気 消化器疾患の手術適応 大腸がん 根治性手術の考え方. 六訂版 家庭医学大全科. 東京;株式会社法研, 2010:600
  - 33) 木村 理: お年寄りの病気 消化器疾患の手術適応 大腸がん 人工肛門の造設と管理. 六訂版 家庭医学大全科. 東京;株式会社法研, 2010:600-601
  - 34) 木村 理: お年寄りの病気 消化器疾患の手術適応 肝胆膵疾患 原発性肝がん. 六訂版 家庭医学大全科. 東京;株

式会社法研, 2010:601

35) 木村 理: お年寄りの病気 消化器疾患の手術適応 肝胆膵疾患 転移性肝腫瘍. 六訂版 家庭医学大全科. 東京; 株式会社法研, 2010:601

36) 木村 理: お年寄りの病気 消化器疾患の手術適応 肝胆膵疾患 胆石症. 六訂版 家庭医学大全科. 東京; 株式会社法研, 2010:601-602

37) 木村 理: お年寄りの病気 消化器疾患の手術適応 肝胆膵疾患 胆道がん. 六訂版 家庭医学大全科. 東京; 株式会社法研, 2010:602

38) 木村 理: お年寄りの病気 消化器疾患の手術適応 肝胆膵疾患 急性膵炎. 六訂版 家庭医学大全科. 東京; 株式会社法研, 2010:602-603

39) 木村 理: お年寄りの病気 消化器疾患の手術適応 肝胆膵疾患 膵管内乳頭粘液性腫瘍(IPMN). 六訂版 家庭医学大全科. 東京; 株式会社法研, 2010:603-604

40) 木村 理: お年寄りの病気 消化器疾患の手術適応 肝胆膵疾患 膵臓の外科手術. 六訂版 家庭医学大全科. 東京; 株式会社法研, 2010:604

41) 手塚康二, 森谷敏幸, 木村 理: 膵脾脱転による腹腔鏡補助下脾温存尾側膵切除術. 膵臓の内視鏡外科手術. 東京; 株式会社メジカルビュー社, 2010:86-94

#### (4) その他

1) 木村 理: 手術で治る膵がん 病院情報ファイル 2010. 週刊文春 3月18日号. 2010:125

2) 木村 理: 院内感染対策マニュアルの再々改訂版(平成21年度)の発刊にあたって. 山形大学医学部附属病院「院内感染対策の手引き(平成21年度)」。感染対策委員長, 感染制御部長. 2010

3) 木村青史, 川合由美子, 須田義恵, 五十嵐祐子: 手術室における画像診断の支援と3次元画像作成装置の有用性について. 日本手術医学会誌. 2010;31(3):259-262

4) 木村 理: 石川啄木と母と私. 国際啄木学会会報. 2010;28:22-24

5) 木村 理: 外科学と芸術の心. 山形県医師会会報. 2010;709:6-8

6) 木村 理: ブエノスアイレスのIHPBA(国際肝胆膵学会)参加記 胆道. 2010;24(4):648-649

7) 鈴木明彦: 第7回日本乳癌学会東北地方会印象記 日本乳癌学会会報. 2010;15(2) 通巻58号:12

8) 木村 理: わが旅. 日本医師会雑誌. 2010;139(9):1908

## 2. 学会報告

### (1) 国際学会

#### i 特別講演

1) Kimura W: Special Lecture 1, Strategies for the treatment of invasive ductal carcinoma of the pancreas and how to achieve zero mortality for pancreaticoduodenectomy—Techniques and Significance of the Extrapancreatic Nerve Plexus Resection. The 32th Congress of The Korean Association of Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery, Korea; March 2010

2) Kimura W: Surgery for benign pancreatic tumors: Pancreas Preserving Operations. 9th World Congress of the International Hepato-Pancreato-Biliary Association, Buenos Aires; April 2010

#### ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

1) Kimura W: Recent surgical strategies for intraductal papillary mucinous neoplasm(IPMN). 20th World Congress of the International Association of Surgeons, Gastroenterologists and Oncologists(IASGO), Cairo; October 2010

- 2) Kimura W: Symposium 12 Ampullary adenoma. 9th World Congress of the International Hepato-Pancreato-Biliary Association, Buenos Aires;April 2010
- 3) Kimura W: Plenary Session VI Pancreatic endocrine tumors. PROGRESS IN SURGICAL AND MEDICAL THERAPY IN GASTRO-ENTERO PANCREATIC NEUROENDOCRINE TUMORS. Masayuki Imamura Osaka Saiseikai Noe Hospital, Japan 12th Congress of the Asian Association of Endocrine Surgeons, Tokyo;March 2010
- 4) Kimura W: Recent Advances in Oesophageal Carcinoma. 20th World Congress of the International Association of Surgeons, Gastroenterologists and Oncologists(IASGO), Cairo ;October 2010
- 5) Kimura W: IAP Symposium 3 International Consensus on Cystic Neoplasms of the Pancreas. 2. Can Branch Duct IPMN be Distinguished Preoperatively from MCN and Other Pancreatic Cystic? What is the Role of Cystic Fluid Analysis? Joint Meeting of the International Association of Pancreatology and the Japan Pancreas Society 2010 (第14回国際膵臓学会・第41回日本膵臓学会大会合同会議), Fukuoka;July 2010
- 6) Kimura W: Forum16:Pancreatic Cancer Case Report. Joint Meeting of the International Association of Pancreatology and the Japan Pancreas Society 2010 (第14回国際膵臓学会・第41回日本膵臓学会大会合同会議), Fukuoka;July 2010

### iii 一般演題

- 1) Murayama S, Kimura W, Takasu N, Hirai I: Clinical Factors for Malignancy in Intraductal Papillary-Mucinous Neoplasma of the Pancreas. 9th World Congress of the International Hepato-Pancreato-Biliary Association, Buenos Aires;April 2010
- 2) Murayama S, Takasu N, Kimura W, Moriya T, Takeshita A, Hirai I: Intraductal Papillary-Mucinous Carcinoma of the Gastric Type with a Mural Nodule. 9th World Congress of the International Hepato-Pancreato-Biliary Association, Buenos Aires;April 2010
- 3) Tezuka K, Kimura W, Hirai I, Mizutani M, Moriya T, Takeshita A, Sato T: Spleen-Preserving Distal Pancreatectomy with Conservation of the Splenic Artery and Vein. 9th World Congress of the International Hepato-Pancreato-Biliary Association, Buenos Aires;April 2010
- 4) Tezuka K, Kimura W, Hirai I, Mizutani M, Moriya T, Takeshita A, Watanabe T, Sugawara S, Okazaki S: Fatty Liver After Pancreatoduodenectomy and Total Pancreatectomy. 9th World Congress of the International Hepato-Pancreato-Biliary Association, Buenos Aires;April 2010
- 5) Kimura W. Recent Surgical Strategies for Intraductal Papillary Mucinous Neoplasm. 9th World Congress of the International Hepato-Pancreato-Biliary Association, Buenos Aires ;April 2010
- 6) Tezuka K, Kimura W, Hirai I, Ogata T, Sugawara S, Takeshita A, Mizutani M, Nomura T, Isobe H, Hachiya O, Hasegawa S: Aseptic Splenic Abscess with Behcet's Disease Case Report. 9th World Congress of the International Hepato-Pancreato-Biliary Association, Buenos Aires;April 2010
- 7) Takasu N, Kimura W, Takeshita A, Ogata T, Hirai I, Murayama S, Tezuka K: Intraductal Papillary-mucinous Neoplasms of the Gastric and Intestinal Types May Have Less Malignant Potential Than the Pancreatobiliary Type. Joint Meeting of the International Association of Pancreatology and the Japan Pancreas Society 2010 (第14回国際膵臓学会・第41回日本膵臓学会大会合同会議), Fukuoka;July 2010
- 8) Tezuka K, Kimura W, Takasu N, Murayama S, Moriya T, Takeshita A, Hirai I: Spleen-Preserving Distal Pancreatectomy with Conservation of the Splenic Artery and Vein. Joint Meeting of the International Association of Pancreatology and the Japan Pancreas Society 2010 (第14回国際膵臓学会・第41回日本膵臓学会大会合同会議), Fukuoka;July 2010
- 9) Hirai I, Kimura W, Mizutani M, Takeshita A, Sugawara S, Tezuka K, Watanabe T, Takasu N: Fatty Liver after Pancreatoduodenectomy and Total Pancreatectomy. Joint Meeting of the International Association of



- Pancreatology and the Japan Pancreas Society 2010 (第14回国際膵臓学会・第41回日本膵臓学会大会合同会議), Fukuoka; July 2010
- 10) Murayama S, Kimura W, Takasu N, Hirai I: Volumetry and Morphological Analysis of Intraductal Papillary Mucinous Neoplasm of the Pancreas (IPMN) with Computed Tomography (CT) and Magnetic Resonance Imaging (MRI). Joint Meeting of the International Association of Pancreatology and the Japan Pancreas Society 2010 (第14回国際膵臓学会・第41回日本膵臓学会大会合同会議), Fukuoka; July 2010
  - 11) Terashima M, Saze Z, Hosotani A, Takahashi M, Takagane A, Hachiya O, Koeda K, Matsui S, Ohashi W, Gotoh M: Results of a phase II multicenter study of neoadjuvant S-1 and irinotecan in patients with locally advanced gastric cancer. ASCO-GI2010,
  - 12) Out N, Mizutani M, Yamada M, Sato M, Sato T, Morikane K, Kurachi H, Kimura W: Preoperative Immunonutrition may be Potent to prevent the Nutritional Depletion in Preoperative period of the patients with Digestive organ cancer. 32nd ESPEN Congress. The European Society Clinical Nutrition & Metabolism International Congress, France; September 2010
  - 13) Hirai I, Tezuka K, Onodera Y, Yamagishi T, Takeshita A, Watanabe T, Fukumoto T, Kimura W: Left-sided gallbladder (right-sided round ligament) with anomaly of portal and biliary branches. 20th World Congress of the International Association of Surgeons, Gastroenterologists and Oncologists (IASGO), Cairo; October 2010
  - 14) Murayama S: Volumetric and Morphological Analysis of Intraductal Papillary Mucinous Neoplasm of the Pancreas (IPMN) by using Computed Tomography (CT) and Magnetic Resonance Imaging (MRI). 20th World Congress of the International Association of Surgeons, Gastroenterologists and Oncologists (IASGO), Cairo; October 2010
  - 15) Kamio Y, Yamakawa M, Maeda K, Moriya T, Takasu N, Takeshita A, Hirai I, Kimura W: Clinicopathological Significance of Cell Cycle Regulatory Factors and Differentiation-Related Factors in Pancreatic Neoplasms. 20th World Congress of the International Association of Surgeons, Gastroenterologists and Oncologists (IASGO), Cairo; October 2010
  - 16) Takeshita A, Kimura W, Hirai I, Moriya T, Watanabe T: Clinicopathological study of Proliferative activity and postoperative prognosis for intraductal papillary mucinous neoplasms (IPMNs) and ordinary carcinoma. 20th World Congress of the International Association of Surgeons, Gastroenterologists and Oncologists (IASGO), Cairo; October 2010
  - 17) Takeshita A, Kimura W, Hirai I, Moriya T, Watanabe T, Sato T: Peritoneal dissemination from gastrinoma. 20th World Congress of the International Association of Surgeons, Gastroenterologists, and Oncologists (IASGO), Cairo; October 2010
  - 18) Watanabe T: Serous cystic neoplasms of the pancreas: a clinicopathological study of five cases. 20th World Congress of the International Association of Surgeons, Gastroenterologists and Oncologists (IASGO), Cairo; October 2010
  - 19) Watanabe T: For complete R0 resection of the pancreatic cancer: Result of intraoperative frozen section study of the stumps of the extrapancreatic plexus of the nerve. 20th World Congress of the International Association of Surgeons, Gastroenterologists and Oncologists (IASGO), Cairo; October 2010
  - 20) Kimura W: Strategies for treatment of invasive ductal carcinoma of the pancreas and how to obtain no mortality for pancreaticoduodenectomy. 20th World Congress of the International Association of Surgeons, Gastroenterologists and Oncologists (IASGO), Cairo; October 2010
  - 21) Hirai I, Kimura W, Watanabe T, Takeshita A, Tezuka K, Fukumoto T: Postoperative chemotherapy for pancreatic cancer Tomor dormancy therapy. 20th World Congress of the International Association of

- Surgeons, Gastroenterologists and Oncologists (IASGO), Cairo; October 2010
- 22) Tezuka K, Hirai I, Watanabe T, Yamagishi T, Murayama S, Takasu N, Moriya T, Takeshita A, Kimura W: Postoperative hematological changes after Spleen-preserving distal pancreatectomy (SpDp) with conservation of the splenic artery vein. 20th World Congress of the International Association of Surgeons, Gastroenterologists and Oncologists (IASGO), Cairo; October 2010
- 23) Takasu N, Kimura W, Takeshita A, Kamio Y, Hirai I, Murayama S, Tezuka K: Intraductal Papillary-mucinous Neoplasms of the Gastric and Intestinal. 20th World Congress of the International Association of Surgeons, Gastroenterologists and Oncologists (IASGO), Cairo; October 2010
- 24) Kimura W: A stent tube is need for pancreaticojejunal anastomosis in Pancreaticoduodenectomy. 20th World Congress of the International Association of Surgeons, Gastroenterologists and Oncologists (IASGO), Cairo; October 2010
- 25) Hwang SE, Cho BH, Hirai I, Kim HT, Kim JH, Fujimiya M, Murakami G, Kimura W. Topographical anatomy of Spiegel's lobe and its adjacent organs in mid-term fetuses: Its implication on the development of the lesser sac and adult morphology of the upper abdomen. Clin Anat 2010; 23: 712-719.

## (2) 国内の学会

### i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 木村 理: 演題3「下部胆管狭窄病変の1切除例」第18回21世紀外科セミナー, 下関市; 2010年7月
- 2) 木村 理: ランチョンセミナー 東京女子医科大学消化器病センター外科主任教授 山本雅一先生「肝内胆管癌の外科病理」. 第15回日本外科病理学会学術集会, 横浜市; 2010年10月

### ii 一般演題

- 1) 佐瀬善一郎, 寺島雅典, 細谷 亮, 高金明典, 肥田圭介, 蜂谷 修, 福嶋紀雅, 高橋昌宏, 松井茂之, 大橋 涉, 後藤満一: 局所進行胃癌に対する術前TS-1+イリノテカン療法の多施設共同第二相試験. 第82回日本胃癌学会総会, 新潟市; 2010年3月
- 2) 蜂谷 修, 野村 尚, 高須直樹, 長谷川繁生, 水谷雅臣, 磯部秀樹, 木村 理: 腹腔鏡下(補助下)幽門側胃切除術の検討. 第82回日本胃癌学会総会, 新潟市; 2010年3月
- 3) 長谷川繁生, 蜂谷 修, 磯部秀樹, 水谷雅臣, 野村 尚, 高須直樹, 菅原秀一郎, 佐藤多未笑, 木村 理: 入院期間からみた80歳以上の胃癌術後における幽門側胃切除術後の再建術式に関する検討. 第82回日本胃癌学会総会, 新潟市; 2010年3月
- 4) 高須直樹, 野村 尚, 佐藤多未笑, 菅原秀一郎, 蜂谷 修, 長谷川繁生, 木村 理: 80歳以上の胃癌手術症例の検討. 第82回日本胃癌学会総会, 新潟市; 2010年3月
- 5) 野村 尚, 蜂谷 修, 佐藤多未笑, 菅原秀一郎, 高須直樹, 水谷雅臣, 磯部秀樹, 長谷川繁生, 木村 理: Clinical Stage III胃癌症例における手術先行治療の成績. 第82回日本胃癌学会総会, 新潟市; 2010年3月
- 6) 尾形貴史, 蜂谷 修, 高須直樹, 磯部秀樹, 水谷雅臣, 長谷川繁生, 木村 理: 胃十二指腸潰瘍穿孔に対する保存的治療の検討. 第46回日本腹部救急医学会総会, 富山市; 2010年3月
- 7) 岡崎慎史, 磯部秀樹, 水谷雅臣, 手塚康二, 村山最二郎, 鈴木明彦, 木村 理: 成人腸回転異常症に合併した右傍十二指腸ヘルニアの一例. 第46回日本腹部救急医学会総会, 富山市; 2010年3月
- 8) 佐藤多未笑, 長谷川繁生, 尾形貴史, 菅原秀一郎, 手塚康二, 野村 尚, 水谷雅臣, 磯部秀樹, 蜂谷 修, 木村 理: 分娩後子宮破裂による非閉塞性腸間膜虚血症の1例. 第46回日本腹部救急医学会総会, 富山市; 2010年3月
- 9) 木村 理: 映像による私の手術手技 (5) 膵癌の治療戦略: R0をめざした膵頭神経叢切除の方法, および膵腸吻合の方法. 第110回日本外科学会定期定期学術集会, 名古屋市; 2010年4月

- 10) 野村 尚, 蜂谷 修, 尾形貴史, 手塚康二, 高須直樹, 水谷雅臣, 磯部秀樹, 長谷川繁生, 木村 理:脾臓を温存した上部進行胃癌切除例の手術成績の検討. 第110回日本外科学会定期定期学術集会, 名古屋市;2010年4月
- 11) 手塚康二, 木村 理, 平井一郎, 竹下明子, 森谷敏幸, 尾形貴史, 野村 尚, 水谷雅臣, 磯部秀樹, 蜂谷 修, 長谷川繁生:脾動静脈を温存した脾温存尾側脾切除術後の赤血球数, ヘマトクリット値, ヘモグロビン値の変動に関する検討. 第110回日本外科学会定期学術集会, 名古屋市;2010年4月
- 12) 高須直樹, 森谷敏幸, 竹下明子, 野村 尚, 平井一郎, 菅原秀一郎, 岡崎慎史, 木村 理:IPMN由来浸潤癌症例の検討. 第110回日本外科学会定期定期学術集会, 名古屋市;2010年4月
- 13) 尾形慎史, 蜂谷 修, 岡崎慎史, 佐藤多未笑, 菅原秀一郎, 手塚康二, 村山最二郎, 高須直樹, 野村 尚, 竹下明子, 鈴木明彦, 水谷雅臣, 磯部秀樹, 平井一郎, 長谷川繁生, 木村青史, 木村 理:胃・十二指腸潰瘍穿孔に対する保存的治療の検討. 第110回日本外科学会定期定期学術集会, 名古屋市;2010年4月
- 14) 平井一郎, 木村 理, 水谷雅臣, 竹下明子, 渡邊利広, 菅原秀一郎, 手塚康二:脾頭十二指腸切除術と脾全摘術後の脂肪肝について. 第22回日本肝胆膵外科学会・学術集会, 仙台市;2010年5月
- 15) 手塚康二, 平井一郎, 竹下明子, 尾形貴史, 栗田 悠, 木村 理:肝内門脈分岐の破格をともなった右側肝円索の2例. 第22回日本肝胆膵外科学会・学術集会, 仙台市;2010年5月
- 16) 高須直樹, 尾形貴史, 竹下明子, 村山最二郎, 手塚康二, 平井一郎, 木村 理:胃型 IPMN に胆膵管型上皮の癌を発生し, 5年間の経過観察の後に切除した IPMN の1症例. 第22回日本肝胆膵外科学会・学術集会, 仙台市;2010年5月
- 17) 手塚康二, 平井一郎, 竹下明子, 森谷敏幸, 佐藤多未笑, 岡崎慎史, 高須直樹, 木村 理:脾神経内分泌腫瘍に対する脾温存尾側脾切除術. 第22回日本内分泌外科学会総会, 豊中市;2010年6月
- 18) 佐藤多未笑, 竹下明子, 平井一郎, 菅原秀一郎, 手塚康二, 高須直樹, 加藤智也, 福元 剛, 瀬尾伸夫, 木村 理:腹膜播種が著明であったガストリノーマの1例. 第22回日本内分泌外科学会総会, 豊中市;2010年6月
- 19) 鈴木明彦, 木村青史, 木村 理:乳癌脊椎転移による下肢麻痺に対して TC 療法が奏功した1例. 第22回日本内分泌外科学会総会, 大阪;2010年6月
- 20) 鈴木明彦, 木村青史, 佐藤多未笑, 蜂谷 修, 木村 理:当科における乳房温存手術切除断端検索と治療成績に関する検討. 第18回日本乳癌学会学術総会, 札幌市;2010年6月
- 21) 木村青史, 鈴木明彦, 佐藤多未笑, 蜂谷 修, 木村 理. MD-CTによる乳癌術前腋窩リンパ節転移の評価について. 第18回日本乳癌学会学術総会, 札幌市;2010年6月
- 22) 蜂谷 修, 福島紀雅, 川口 清, 川村博司, 薄場 修, 高須直樹, 野村 尚, 木村 理:切除不能または再発胃癌に対するTS-1/CDDP/LNT 併用療法の第II相臨床試験. 第65回日本消化器外科学会総会, 下関市;2010年7月
- 23) 手塚康二, 森谷敏幸, 平井一郎, 竹下明子, 高須直樹, 尾形貴史, 木村 理:当院における十二指腸乳頭部癌切除例の検討. 第65回日本消化器外科学会総会, 下関市;2010年7月
- 24) 高須直樹, 野村 尚, 蜂谷 修, 佐藤多未笑, 平井一郎, 木村 理:Churg-Strauss 症候群に合併した小腸潰瘍穿孔の2例. 第65回日本消化器外科学会総会, 下関市;2010年7月
- 25) 平井一郎:脾癌に対するオーダーメイド術後化学療法について. 第65回日本消化器外科学会総会, 下関市;2010年7月
- 26) 水谷雅臣, 蜂谷 修, 磯部秀樹, 高須直樹, 神尾幸則, 小野寺雄二, 外田 慎, 木村 理:食道癌手術症例における術前免疫増強栄養および術後早期経腸栄養の検討. 第65回日本消化器外科学会総会, 下関市;2010年7月
- 27) 野村 尚, 蜂谷修, 長谷川繁生, 佐藤多未笑, 菅原秀一郎, 水谷雅臣, 磯部秀樹, 木村 理:胃癌脾浸潤の検討-特に術前診断について-. 第65回日本消化器外科学会総会, 下関市;2010年7月
- 28) 蜂谷 修, 野村 尚, 神尾幸則, 高須直樹, 木村 理:長期CRを得ている術後再発の2例. 第46回日本食道学会学術集会, 久留米市;2010年8月
- 29) 手塚康二, 森谷敏幸, 平井一郎, 蜂谷 修, 山岸岳人, 渡邊利広, 神尾幸則, 竹下明子, 木村 理:腹腔鏡補助下脾温存脾体尾部切除術. 第2回小切開・鏡視外科学会, 東京都;2010年9月

- 30) 手塚康二, 森谷敏幸, 平井一郎, 竹下明子, 渡邊利広, 山岸岳人, 高須直樹, 水谷雅臣, 木村 理: 十二指腸乳頭部癌術後の予後因子. Prognostic factors for survival after surgery and for carcinoma of the papilla of the Vater. 第 69 回日本癌学会学術総会 69th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association, 大阪府; 2010 年 9 月
- 31) 高須直樹, 村山最二郎, 神尾幸則, 竹下明子, 平井一郎, 木村 理: IPMN 由来浸潤癌症例の検討. Invasive carcinomas derived from intraductal papillary mucinous neoplasms. 第 69 回日本癌学会学術総会 69th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association, 大阪府; 2010 年 9 月
- 32) 村山最二郎, 木村 理, 平井一郎, 高須直樹, 竹下明子, 森谷敏幸: 膵管内乳頭粘液性腫瘍 (IPMN) の CT, MRI による容積測定と形態分析. Volumetry and morphological analysis of intraductal papillary mucinous neoplasm of the pancreas (IPMN) with CT and MRI. 第 69 回日本癌学会学術総会 69th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association, 大阪府; 2010 年 9 月
- 33) 手塚康二, 平井一郎, 竹下明子, 渡邊利広, 山岸岳人, 鈴木武文, 木村 理: 胆管分岐の破格を伴った右側肝円索の 2 例. 第 46 回日本胆道学会学術集会, 広島市; 2010 年 9 月
- 34) 竹下明子, 平井一郎, 森谷敏幸, 渡邊利広, 木村 理: 当科における乳頭形成術の検討. 第 46 回日本胆道学会学術集会, 広島市; 2010 年 9 月
- 35) 須田義恵, 岡崎淳子, 川合由美子, 木村青史: 「ラテックスフリー手術」プロトコルの作成. 第 32 回日本手術医学会総会, 横浜市; 2010 年 10 月
- 36) 木村青史, 川合由美子, 須田義恵, 岡崎淳子, 蒲生厚子, 五十嵐祐子, 木村 理: 申し込み予定手術時間の適正化に向けて. 第 32 回日本手術医学会総会, 横浜市; 2010 年 10 月
- 37) 高須直樹, 蜂谷 修, 神尾幸則, 水谷雅臣, 磯部秀樹, 木村 理: S-1/CPT-11 による術前補助化学療法で組織学的 CR を得られた一例. 第 15 回日本外科病理学会学術集会, 横浜市; 2010 年 10 月
- 38) 蜂谷 修, 高須直樹, 神尾幸則, 山岸岳人, 柴田健一, 渡邊利広, 手塚康二, 村山最二郎, 水谷雅臣, 磯部秀樹, 木村 理: 腹腔鏡下胃切除術における Sentinel Node Navigation Surgery. 第 23 回日本内視鏡外科学会総会, 横浜市; 2010 年 10 月
- 39) 磯部秀樹, 蜂谷 修, 神尾幸則, 高須直樹, 水谷雅臣, 木村 理: 再発 GIST6 例の検討. 第 48 回日本癌治療学会学術集会, 京都市; 2010 年 10 月
- 40) 渡邊利広, 手塚康二, 神尾幸則, 高須直樹, 森谷敏幸, 竹下明子, 平井一郎, 木村 理: 当科における膵切除・再建術式. 第 72 回日本臨床外科学会総会, 横浜市; 2010 年 11 月
- 41) 渡邊利広, 手塚康二, 村山最二郎, 神尾幸則, 高須直樹, 竹下明子, 平井一郎, 木村 理: 当科における borderline resectable 膵癌症例の検討. 第 72 回日本臨床外科学会総会, 横浜市; 2010 年 11 月
- 42) 手塚康二, 森谷敏幸, 平井一郎, 高須直樹, 村山最二郎, 渡邊利広, 山岸岳人, 竹下明子, 蜂谷 修, 木村 理: 膵脾脱転を伴う腹腔鏡補助下脾温存尾側膵切除術. 第 72 回日本臨床外科学会総会, 横浜市; 2010 年 11 月
- 43) 平井一郎, 手塚康二, 渡邊利広, 竹下明子, 山岸岳人, 木村 理: 門脈, 胆道の走行異常を有する左側胆嚢 (右側肝円索) の 2 例. 第 72 回日本臨床外科学会総会, 横浜市; 2010 年 11 月
- 44) 村山最二郎, 福島紀雅, 飯澤 肇, 木村 理: 胃原発の Ewing/PNET 腫瘍の 1 例. 第 72 回日本臨床外科学会総会, 横浜市; 2010 年 11 月
- 45) 手塚康二, 磯部秀樹, 村山最二郎, 木村 理: 右閉鎖神経の合併切除を伴う側方郭清を施行した進行直腸癌の 1 例. 第 65 回日本大腸肛門病学会学術集会, 浜松市; 2010 年 11 月
- 46) 磯部秀樹, 村山最二郎, 木村 理: 高齢者潰瘍性大腸炎手術の 5 例. 第 65 回日本大腸肛門病学会学術集会, 浜松市; 2010 年 11 月

### (3) 国内地方会

#### i 特別講演

- 1) 木村 理: 消化器病学とともに歩んできた道. 第 189 回日本消化器病学会東北支部例会, 山形市; 2010 年 7 月
- 2) 木村 理: 外科学における老年病学. 第 52 回日本老年医学顔管等甲信越地方会, 東京都; 2010 年 9 月

#### ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 木村 理: 特別講演 日本赤十字社医療センター院長 幕内雅敏先生「HCC の診療: 米国との比較をふまえて」第 189 回日本消化器病学会東北支部例会, 山形市; 2010 年 7 月
- 2) 蜂谷 修: ランチョンセミナー 東北大学大学院医学研究科 消化器外科学分野 (肝胆膵外科) 力山 敏樹 先生「肝胆膵領域における Harmonic FOCUS の使用経験」. 第 160 回東北外科集談会 第 86 回日本胸部外科学会東北地方会 第 78 回日本小児外科学会東北地方会, 山形市; 2010 年 9 月
- 3) 磯部秀樹: 「外科と化学療法 大腸癌」. 平成 22 年度 第 18 回日本外科学会生涯教育セミナー (東北地区), 山形市; 2010 年 9 月
- 4) 木村 理: 特別講演 I. 福島県立医科大学 消化器・リウマチ膠原病内科学講座 教授 大平弘正 先生「高齢者の消化器診療」第 21 回日本老年医学東北地方会, 福島市; 2010 年 10 月

#### iii 一般演題

- 1) 手塚康二, 平井一郎, 竹下明子, 尾形貴史, 野村 尚, 水谷雅臣, 磯部秀樹, 蜂谷 修, 長谷川繁生, 木村 理: 消化器病治療における内科・外科の連携. 第 188 回日本消化器病学会東北支部例会, 仙台市; 2010 年 2 月
- 2) 長谷川繁生, 蜂谷 修, 磯部秀樹, 水谷雅臣, 野村 尚, 高須直樹, 菅原秀一郎, 佐藤多未笑, 平井一郎, 木村 理: 当科における EMR/EDS 後の胃癌手術例の検討. 第 188 回日本消化器病学会東北支部例会, 仙台市; 2010 年 2 月
- 3) 鈴木明彦, 木村青史, 佐藤多未笑, 岡崎慎史, 蜂谷 修, 木村 理: 長期ビスフォスフォネート使用により両大腿骨疲労骨折をきたした乳癌骨転移の一例. 第 7 回日本乳癌学会東北地方会, 仙台市; 2010 年 3 月
- 4) 岡崎慎史, 鈴木明彦, 木村青史, 木村 理: 妊娠期乳癌の一例. 第 7 回日本乳癌学会東北地方会, 仙台市; 2010 年 3 月
- 5) 蜂谷 修, 野村 尚, 高須直樹, 岡崎慎史, 尾形貴史, 佐藤多未笑, 菅原秀一郎, 水谷雅臣, 磯部秀樹, 長谷川繁生, 木村 理: 早期胃癌に対する腹腔鏡下胃切除術における Sentinel node navigation surgery (SNNS). 第 21 回内視鏡外科フォーラム東北, 福島市; 2010 年 4 月
- 6) 鈴木武文, 蜂谷 修, 小野寺雄二, 外田 慎, 神尾幸則, 高須直樹, 水谷雅臣, 磯部秀樹, 平井一郎, 木村 理: 空腸憩室穿孔を来した超高齢者の 1 例. 第 159 回東北外科集談会 第 85 回日本胸部外科学会東北地方会, 仙台市; 2010 年 6 月
- 7) 外田 慎, 竹下明子, 平井一郎, 渡邊利広, 菅原秀一郎, 山岸岳人, 岡崎慎史, 木村 理: 下部胆管と胆嚢の同時性重複癌の 1 例. 第 159 回東北外科集談会 第 85 回日本胸部外科学会東北地方会, 仙台市; 2010 年 6 月
- 8) 小野寺雄二, 磯部秀樹, 神尾幸則, 高須直樹, 水谷雅臣, 蜂谷 修, 木村 理: 後腹膜に発症した巨大リンパ管腫の 1 例. 第 159 回東北外科集談会 第 85 回日本胸部外科学会東北地方会, 仙台市; 2010 年 6 月
- 9) 竹下明子, 平井一郎, 渡邊利広, 山岸岳人, 佐藤多未笑, 鈴木武文, 木村 理: 著明な腹膜播種をみとめたガストリノーマの 1 例. 第 3 回 Tohoku-NET Work, 福島市; 2010 年 6 月
- 10) 高須直樹, 蜂谷 修, 磯部秀樹, 水谷雅臣, 神尾幸則, 小野寺雄二, 平井一郎, 木村 理: Churg-Strauss 症候群を合併した小腸潰瘍穿孔の 2 例. 第 189 回日本消化器病学会東北支部例会, 山形市; 2010 年 7 月
- 11) 小野寺雄二, 手塚康二, 平井一郎, 竹下明子, 渡邊利広, 山岸岳人, 木村 理: 左側胆嚢 (右側肝円索) の 2 例-肝内門脈、胆管の走行異常について. 第 160 回東北外科集談会 第 86 回日本胸部外科学会東北地方会 第 78 回日本小児外科学会東北地方会, 山形市; 2010 年 9 月
- 12) 外田 慎, 蜂谷 修, 小野寺雄二, 神尾幸則, 高須直樹, 水谷雅臣, 磯部秀樹, 平井一郎, 木村 理: 回盲部切除

術後の吻合部潰瘍の一例. 第 160 回東北外科集談会 第 86 回日本胸部外科学会東北地方会 第 78 回日本小児外科学会東北地方会, 山形市;2010 年 9 月

- 13) 柴田健一, 小野寺雄二, 神尾幸則, 高須直樹, 磯部秀樹, 水谷雅臣, 蜂谷 修, 平井一郎, 木村 理: 右総腸骨動脈グラフトの背側に小腸が嵌頓した一例. 第 160 回東北外科集談会 第 86 回日本胸部外科学会東北地方会 第 78 回日本小児外科学会東北地方会, 山形市;2010 年 9 月

#### (4) 研究会

##### i 特別講演

- 1) 木村 理: 外科学について. 置賜地区学術講演会, 川西町;2010 年 2 月
- 2) 木村 理: 膵臓病学と研究. 第 12 回北九州膵研究会, 北九州市;2010 年 5 月
- 3) 木村 理: 膵臓の外科学. 肝胆膵を考える Part V. さいたま市;2010 年 6 月
- 4) 木村 理: 膵臓外科学について. 第 13 回福島県肝胆膵疾患研究会特別講演会, 福島市;2010 年 6 月
- 5) 木村 理: がん地域連携クリティカルパス. 平成 22 年度 (第 49 回) 山形県消化器病懇話会, 山形市;2010 年 9 月
- 6) 木村 理: 山形肝胆膵研究会講演. 第 4 7 回山形肝胆膵症例検討会, 山形市;2010 年 9 月
- 7) 木村 理: 地域連携クリティカルパスについて. 第 17 回山形消化器・一般外科研究会, 山形市;2010 年 9 月
- 8) 木村 理: 膵臓病学について. 第 63 回鳥取大学医学部外科学第一講座開講記念会, 米子市;2010 年 10 月
- 9) 木村 理: 「外科学と臨床栄養・NST」第 25 回東北静脈経腸栄養研究会, 山形市;2010 年 11 月
- 10) 木村 理: 「外科学について」第 9 回庄内肝胆膵研究会, 酒田市;2010 年 11 月

##### ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 蜂谷 修: 第 16 回山形消化器・一般外科研究会, 山形市;2010 年 2 月
- 2) 木村 理: 東京歯科大学市川総合病院 病院長 安藤暢敏先生「JCOG 試験よりみた食道癌治療の変遷」第 15 回山形県食道・胃疾患研究会, 山形市;2010 年 2 月
- 3) 木村青史: パネルディスカッション「乳がんの『標準治療』を知りましょう」. 県民健康講座 2010 第 2 回山形乳がんフォーラム 一乳がんを乗り切るコツ, 山形市;2010 年 5 月
- 4) 木村 理: 特別講演 富山大学消化器・腫瘍・総合外科 教授 塚田一博先生「肝胆膵癌への最新アプローチ」. 第 28 回山形外科談話会学術集会, 山形市;2010 年 6 月
- 5) 蜂谷 修: 一般演題. 第 28 回山形外科談話会学術集会, 山形市;2010 年 6 月
- 6) 竹下明子: 一般演題. 第 28 回山形外科談話会学術集会, 山形市;2010 年 6 月
- 7) 木村 理: 第 3 回 Tohoku-NET Work 福島市;2010 年 6 月
- 8) 木村 理: 全員討論会「局所進行膵癌における borderline resectable とは?」-resectable, borderline resectable, unresectable の本邦コンセンサス-. 第 37 回日本膵切研究会, 津市;2010 年 8 月
- 9) 木村青史: パネルディスカッション「がん医療の未来～山形発がん研究の最前線～」. 山形市;2010 年 8 月
- 10) 木村青史: パネルディスカッション「がん医療の未来～山形発がん研究の最前線～」, 山形市;2010 年 8 月
- 11) 木村 理: 特別講演 東海大学医学部 消化器外科 生越喬二 先生「消化性潰瘍(特に穿孔例)の病態と潰瘍病態研究会 20 年の歩み」. 潰瘍病態研究会第 19 回フォーラム, 東京都;2010 年 8 月
- 12) 蜂谷 修: 要望演題「TANKO の現状」. 第 14 回山形内視鏡外科研究会 学術集会, 山形市;2010 年 8 月
- 13) 磯部秀樹: ミニパネルディスカッション「大腸疾患とストーマケアの現状」. 第 37 回東北・大腸癌研究会, 山形市;2010 年 9 月
- 14) 木村 理: 特別講演 癌研有明病院 乳腺センター センター長 岩瀬拓士先生「検診発券乳癌に対する温存手術を考える」. 第 34 回山形県乳腺疾患研究会, 山形市;2010 年 9 月
- 15) 木村 理: 特別講演 東京女子医科大学 総合医科学研究所 教授 古川 徹 先生「膵管内腫瘍とその関連病変」. 平成 22 年度 (第 49 回) 山形県消化器病懇話会, 山形市;2010 年 9 月

- 16) 平井一郎, 木村 理, 村上 弦: 外科手術から見た肝解剖-下大静脈韌帯および短肝静脈の解剖-. 第 14 回臨床解剖研究会, 金沢市; 2010 年 9 月
- 17) 蜂谷 修: 第 17 回山形消化器・一般外科研究会, 山形市; 2010 年 9 月
- 18) 木村 理: 特別講演 2. 東京女子医科大学病院 炎症性腸疾患センター第二外科 准教授 板橋道朗先生「炎症性腸疾患に対する腹腔鏡下手術」. 第 15 回山形県炎症性腸疾患(IBD)研究会, 山形市; 2010 年 10 月

### iii 一般演題

- 1) 尾形貴史, 竹下明子, 平井一郎, 岡崎慎史, 菅原秀一郎, 高須直樹, 森谷敏幸, 木村 理: 腹膜播種が著明であったガストリノーマの 1 例. 第 44 回東北膵臓研究会, 仙台市; 2010 年 2 月
- 2) 岡崎慎史, 蜂谷 修, 尾形貴史, 佐藤多未笑, 菅原秀一郎, 手塚康二, 野村 尚, 水谷雅臣, 磯部秀樹, 長谷川繁生, 木村 理: G-CSF 産生食道扁平上皮癌の一例. 第 15 回山形県食道・胃疾患研究会, 山形市; 2010 年 2 月
- 3) 蜂谷 修. 胸腔鏡下腫瘍核出術を施行した食道粘膜下腫瘍の一例. 山形消化器・一般外科研究会, 山形市; 2010 年 2 月
- 4) 山岸岳人, 手塚康二, 平井一郎, 渡邊利広, 竹下明子, 木村 理: 左側胆嚢の 2 例. 第 20 回東北肝臓外科研究会, 仙台市; 2010 年 6 月
- 5) 柴田健一, 鈴木明彦, 木村青史, 木村 理: 乳腺原発悪性リンパ腫の 1 例. 第 18 回山形乳腺画像病理研究会, 山形市; 2010 年 6 月
- 6) 柴田健一, 鈴木明彦, 木村青史, 木村 理: 乳癌脊椎転移による下肢麻痺に対して TC 療法が奏功した 1 例. 山形乳癌治療情報交換会, 山形市; 2010 年 6 月
- 7) 柴田健一, 小野寺雄二, 神尾幸則, 高須直樹, 磯部秀樹, 水谷雅臣, 蜂谷 修, 平井一郎, 木村 理: 右総腸胃骨動脈グラフトの背側に小腸が嵌頓した 1 例. 第 28 回山形外科談話会学術集会, 山形市; 2010 年 6 月
- 8) 蜂谷 修, 小野寺雄二, 神尾幸則, 高須直樹, 水谷雅臣, 磯部秀樹, 平井一郎, 木村 理: 腹腔鏡下胃切除 to Sentinel Node Navigation Surgery. 第 28 回山形外科談話会学術集会, 山形市; 2010 年 6 月
- 9) 鈴木武文, 山岸岳人, 渡邊利広, 竹下明子, 平井一郎, 木村 理: 診断に苦慮した下部胆管癌の 1 例. 第 28 回山形外科談話会学術集会, 山形市; 2010 年 6 月
- 10) 渡邊利広, 平井一郎, 鈴木武文, 小野寺雄二, 外田 慎, 山岸岳人, 柴田健一, 手塚康二, 村山最二郎, 神尾幸則, 高須直樹, 竹下明子, 鈴木明彦, 水谷雅臣, 磯部秀樹, 蜂谷 修, 木村 理: 当科における脾温存脾体尾部切除術. 第 28 回山形外科談話会学術集会, 山形市; 2010 年 6 月
- 11) 磯部秀樹, 村山最二郎, 水谷雅臣, 小野寺雄二, 神尾幸則, 高須直樹, 蜂谷 修, 平井一郎, 木村 理: 大腸癌同時性肝転移に対する肝切除後の補助化学療法に関する検討. 第 73 回大腸癌研究会, 奄美大島; 2010 年 7 月
- 12) 渡邊利広, 鈴木武文, 山岸岳人, 高須直樹, 竹下明子, 平井一郎, 木村 理: 診断に苦慮した下部胆管狭窄の 1 例. 第 18 回 21 世紀外科セミナー, 下関市; 2010 年 7 月
- 13) 柴田健一, 鈴木明彦, 木村青史, 木村 理: 進行乳癌の 1 例. 第 8 回山形乳がん井戸端会議, 山形市; 2010 年 7 月
- 14) 蜂谷 修, 小野寺雄二, 高須直樹, 神尾幸則, 水谷雅臣, 磯部秀樹, 平井一郎, 木村 理: 腹腔鏡下胃切除と Sentinel Node Navigation Surgery. 山形外科談話会, 山形市; 2010 年 7 月
- 15) 渡邊利広, 手塚康二, 村山最二郎, 神尾幸則, 高須直樹, 竹下明子, 平井一郎, 木村 理: 当科における borderline resectable 膵癌症例の検討. 第 37 回日本膵切研究会, 津市; 2010 年 8 月
- 16) 手塚康二, 森谷敏幸, 渡邊利広, 竹下明子, 蜂谷 修, 平井一郎, 木村 理: 腹腔鏡補助下脾温存脾体尾部切除術. 第 14 回山形内視鏡外科研究会 学術集会, 山形市; 2010 年 8 月
- 17) 蜂谷 修, 神尾幸則, 高須直樹, 小野寺雄二, 外田 慎, 水谷雅臣, 磯部秀樹, 平井一郎, 木村 理: 腹腔鏡下腫瘍核出術を施行した食道血管平滑筋腫の一例. 第 14 回山形内視鏡外科研究会 学術集会, 山形市; 2010 年 8 月
- 18) 平井一郎, 木村 理, 村上 弦: シンポジウム「肝臓の解剖を極める Master of liver anatomy」外科手術から見た肝解剖-下大静脈韌帯および短肝静脈の解剖-. 第 14 回臨床解剖研究会, 金沢; 2010 年 9 月

- 19) 山岸岳人, 手塚康二, 渡邊利広, 竹下明子, 平井一郎, 木村 理: 肝内門脈、胆管分岐の破格を伴った左側胆嚢(右側肝円索)の2例. 第14回臨床解剖研究会, 金沢市;2010年9月
- 20) 柴田健一, 鈴木明彦, 水谷雅臣, 木村青史, 木村 理: 乳癌周術期における rapid turnover protein の検討. 第34回山形県乳癌疾患研究会学術集会, 山形市;2010年9月
- 21) 磯部秀樹, 村山最二郎, 外田 慎, 神尾幸則, 高須直樹, 水谷雅臣, 蜂谷 修, 木村 理: 進行再発大腸癌に対する Bevacizumab 併用化学療法への検討. 第37回東北・大腸癌研究会, 山形市;2010年9月
- 22) 柴田健一, 鈴木明彦, 水谷雅臣, 木村青史, 木村 理: 乳癌周術期における rapid turnover protein の検討. 第34回山形県乳癌疾患研究会学術集会, 山形市;2010年9月
- 23) 高須直樹: 多発早期胃癌の1例(芳賀胃腸科内科クリニック) 第17回山形消化器・一般外科研究会, 山形市;2010年9月
- 24) 外田 慎: 腹腔鏡手術を施行した胃 GIST の1例(やさく医院) 第17回山形消化器・一般外科研究会, 山形市;2010年9月
- 25) 神尾幸則: 術前放射線化学療法後の食道癌根治手術の1例(吉井胃腸科内科クリニック) 第17回山形消化器・一般外科研究会, 山形市;2010年9月
- 26) 山岸岳人: 門脈塞栓術後に拡大右葉切除を施行した1例(大泉胃腸科内科クリニック) 第17回山形消化器・一般外科研究会, 山形市;2010年9月
- 27) 小野寺雄二: 同時性肝転移直腸癌の1例(柘植医院) 第17回山形消化器・一般外科研究会, 山形市;2010年9月
- 28) 小野寺雄二, 竹下明子, 山岸岳人, 渡邊利広, 平井一郎, 木村 理: 胆管穿破した膵腫瘍の一例. 平成22年度(第49回)山形県消化器病懇話会, 山形市;2010年9月
- 29) 柴田健一: イマニチブを長期投与中の巨大小腸 GIST の一切除例. 第2回山形 GIST フォーラム, 山形市;2010年11月
- 30) 磯部秀樹, 蜂谷 修, 山岸岳人, 柴田健一, 神尾幸則, 水谷雅臣, 木村 理, 布施 明: Hsrd-assisted laparoscopic surgery (HALS)により大腸全摘術を施行した若年者潰瘍性大腸炎の2例. 第15回山形県炎症性腸疾患(IBD)研究会, 山形市;2010年10月
- 31) 蜂谷 修, 神尾幸則, 高須直樹, 小野寺雄二, 外田 慎, 木村 理: SNS を利用した幽門保存胃切除術. 第40回胃外科・術後障害研究会, 東京都;2010年11月
- 32) 小野寺雄二, 平井一郎, 竹下明子, 渡邊利広, 山岸岳人, 木村 理: 胆管穿破した IOMN 由来浸潤癌の1例. 第23回東北膵・胆道癌研究会, 仙台市;2010年11月
- 33) 丘 龍祥, 太田聖子, 金野 昇, 新関昌宏, 豊口禎子, 柏倉美幸, 大津信博, 水谷雅臣, 白石 正, 木村 理: 濃厚流動食(食品)を含んだ経腸栄養剤の適正使用に向けた取り組み～経腸栄養剤の成分表示に対する検討～. 第25回東北静脈経腸栄養研究会, 山形市;2010年11月
- 34) 大津信博, 水谷雅臣, 柏倉美幸, 丘 龍祥, 佐藤智明, 森兼啓太, 倉智博久, 木村 理: 免疫賦活栄養調整食摂取による手術待機中の栄養低下防止効果に関する検討. 第25回東北静脈経腸栄養研究会, 山形市;2010年11月
- 35) 外田 慎, 竹下明子, 福元 剛, 柴田健一, 渡邊利広, 神尾幸則, 平井一郎, 木村 理: 傍十二指腸ヘルニアに絞扼性イレウスを合併した一例. 第18回山形周術期病態研究会, 山形市;2010年11月
- 36) 木村青史: 講演2「乳がん早期発見のメリット&ここまでわかった乳がんの姿」. 米沢市医師会公開セミナー 第8回乳がんってどんな病気?～女性のための健康セミナー～, 米沢市;2010年11月

## (5) その他

- 1) 木村青史: 知っておきたい乳がん検診の基礎知識. 山形市乳がん検診委員会(兼平成21年度山形県「乳がん検診従事者講習会」), 山形市;2010年3月
- 2) 鈴木明彦: 乳がんの『標準治療』を知りましょう. 県民健康講座2010第2回山形乳がんフォーラム 一乳がんを乗り切るコツ, 山形市;2010年5月



- 3) 木村 理:膵頭十二指腸切除術における膵管チューブの必要性. 第 22 回日本肝胆膵外科学会・学術集会, 仙台市;2010 年 5 月
- 4) 磯部秀樹: 済生会山形済生病院 外科 医長 浦山雅弘先生「当院における GIST 治療の実際」. 山形消化管間質腫瘍講演会-Achieving Optimal Benefit with Sutent in GIST-, 山形市;2010 年 5 月
- 5) 木村 理: 特別講演 新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器・一般外科分野 講師 神田達夫先生「GIST の分子標的治療-至適効果を得るために-」. 山形消化管間質腫瘍講演会-Achieving Optimal Benefit with Sutent in GIST-, 山形市;2010 年 5 月
- 6) 木村 理, 手塚康二: 「IPMN に関する膵炎について」 東京都;2010 年 7 月
- 7) 木村 理: IASGO 2011 in Tokyo. 潰瘍病態研究会第 19 回フォーラム, 東京都;2010 年 8 月
- 8) 木村青史: 乳がん死ゼロをめざして. がん医療の未来～先端医療開発特区 (スーパー特区) の取り組み～, 山形市;2010 年 8 月
- 9) 木村 理: 山形における乳腺疾患について. 第 34 回山形県乳腺疾患研究会学術集会, 山形市;2010 年 9 月
- 10) 木村 理: 術後の MRSA 肺炎について. 平成 22 年度 (第 1 回) 感染対策に関する講演会, 山形市;2010 年 9 月
- 11) 木村 理: 講演 山形大学医学部附属病院検査部 准教授 森兼啓太 先生「MRSA の何が問題なのか?」平成 22 年度 (第 1 回) 感染対策の関する講演会, 山形市;2010 年 9 月

### 3. 学会, 講演会, シンポジウム, ワークショップ等の開催

- 1) 第 25 回東北静脈経腸栄養研究会, 山形市;2010 年 11 月
- 2) 第 18 回山形乳腺画像病理研究会, 山形市;2010 年 6 月
- 3) 第 28 回山形外科談話会学術集会, 山形市;2010 年 6 月
- 4) 第 189 回日本消化器病学会東北支部例会, 山形市;2010 年 7 月
- 5) 第 14 回山形県内視鏡外科研究会学術集会, 山形市;2010 年 8 月
- 6) 第 34 回山形県乳腺疾患研究会, 山形市;2010 年 9 月
- 7) 第 17 回山形消化器・一般外科研究会, 山形市;2010 年 9 月
- 8) 平成 22 年度 第 18 回日本外科学会教育セミナー (東北地区) (第 160 回東北外科集談会 第 86 回日本胸部外科学会東北地方会 第 78 回日本小児外科学会東北地方会), 山形市;2010 年 9 月

## 外科学第二（循環器・呼吸器・小児外科学）講座

### 1. 論文

#### (1) 原著

- 1) Oizumi H, Endoh M, Takeda S, Suzuki J, Fukaya K, Sadahiro M: Anatomical Lung Segmentectomy Simulated by Computed Tomographic Angiography. Ann Thorac Surg 2010;90:1382-3
- 2) Minagawa T, Oizumi H, Emura T, Sadahiro M: Tracheal Stenosis Treated by Division of the Brachiocephalic Artery: Surgery Today 2010;40:1152-54
- 3) 大泉弘幸: 4. 肺癌区域切除(完全鏡視下) -胸腔鏡下肺区域切除術-. 手術 2010;64(2):244-250 第63回手術手技研究会(2009.05.16)記事
- 4) 中村 健, 外山秀司, 中嶋和恵, 前川慶之, 皆川忠徳, 吉村幸浩, 貞弘光章: 左肋骨骨折による外傷性左室損傷. 胸部外科 2010;63(3):194-197
- 5) 大泉弘幸, 遠藤 誠, 鈴木 潤, 深谷 建, 貞弘光章: 特集 胸腔鏡下肺葉切除術の実際-長期予後と合併症をめぐって-肺癌における胸腔鏡下肺葉切除術の成績. 日本胸部臨床 2010;69(4):295-301
- 6) 加藤博久, 大泉弘幸, 金内直樹, 遠藤 誠, 深谷 建, 貞弘光章: 胸腔鏡下管結紮術が有効であった大血管術後乳糜胸の1例. 日本呼吸器外科学会雑誌 2010;24(2):220-224
- 7) 大泉弘幸, 遠藤 誠, 鈴木 潤, 深谷 建, 貞弘光章: 手技の工夫 胸腔鏡下ゲル吸引法の工夫. 日本呼吸器外科学会雑誌, 2010;24(4):120-122(776-778)
- 8) 遠藤 誠, 大泉弘幸, 金内直樹, 鈴木 潤, 深谷 建, 貞弘光章: 肺腫瘍の胸腔鏡下核出にMDCTシミュレーションが有用であった1例. 日本呼吸器外科学会雑誌, 2010;24(5):35-39
- 9) 深谷 建, 大泉弘幸, 遠藤 誠, 鈴木 潤, 貞弘光章: 陰圧閉鎖療法(VAC: vacuum-assisted closure)が奏功した胸鎖関節炎・縦隔膿瘍の一例. 日本呼吸器外科学会雑誌, 2010;24(6):36-39(920-923)
- 10) 大泉弘幸, 金内直樹, 加藤博久, 遠藤 誠, 鈴木 潤, 深谷 建, 貞弘光章: II 肺癌および転移性肺腫瘍 B. 縮小手術 2. 胸腔鏡下肺区域切除術 - 小型肺癌の診断的区域切除術を中心に -. 日本胸部臨床, 2010;69 増刊号:100-104

#### (2) 症例報告

- 1) 前川慶之, 吉村幸浩, 外山秀司, 宮崎良太, 黒田吉則, 貞弘光章, 仁木敬夫, 伊関 憲: Fallot 四徴症根治術後に発症した横紋筋融解症の一例. 日集中医誌. 2010;17:213-214
- 2) 前川慶之, 吉村幸浩, 外山秀司, 宮崎良太, 黒田吉則, 貞弘光章: 大動脈基部置換術後, 中枢側吻合部離開をきたした大動脈炎症候群の1救命例. 日心外会誌 2010;39:152-154

### 2. 学会報告

#### (1) 国内の学会

##### i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) (要望ビデオ) 遠藤 誠, 大泉弘幸, 鈴木 潤, 深谷 建, 貞弘光章: GG0 主体の肺腺癌に胸腔鏡下右S8+S9b区域切除術を施行した1例. 第27回日本呼吸器外科学会総会, 仙台: 2010年5月
- 2) (要望ビデオ) 鈴木 潤, 大泉弘幸, 遠藤 誠, 深谷 建, 貞弘光章: 3DCT血管把握に基づく胸腔鏡下S9区域切除術. 第27回日本呼吸器外科学会総会, 仙台: 2010年5月
- 3) (シンポジウム) 黒田吉則, 外山秀司, 吉村幸浩, 金 哲樹, 宮崎良太, 大場栄一, 山下 淳, 水本雅弘, 貞弘光章: 抹消血管病変を有する症例に対する術前MDCTによる冠動脈評価. 第38回日本血管外科学会学術総会, 大宮: 2010年5月
- 4) (ビデオシンポジウム) 大泉弘幸, 金内直樹, 加藤博久, 遠藤 誠, 鈴木 潤, 深谷 建, 貞弘光章: 胸腔鏡下手術における安全確保の工夫-視野展開・シミュレーション等-. 第38回日本外科系連合学会学術集会, 千葉: 2010年6月
- 5) (パネルディスカッション) 大泉弘幸: 胸腔鏡下肺区域切除における画像支援: Computer Aided Dissection. 第23回日本内視鏡外科学会総会, 横浜: 2010年10月

## ii 一般演題

- 1) (ビデオ) 深谷 建, 大泉弘幸, 遠藤 誠, 鈴木 潤, 貞弘光章: 胸腔鏡下肺区域切除術における3 DCT シミュレーション. 第110回日本外科学会定期学術集会, 名古屋: 2010年4月
- 2) 大泉弘幸, 遠藤 誠, 鈴木 潤, 深谷 建, 貞弘光章: 呼吸器外科教育とトレーニング. 第110回日本外科学会定期学術集会, 名古屋: 2010年4月
- 3) (ビデオ) 鈴木 潤, 大泉弘幸, 遠藤 誠, 深谷 建, 貞弘光章: 自動縫合器が適応できない部位の胸腔鏡下肺部分切除術. 第27回日本呼吸器外科学会総会, 仙台: 2010年5月
- 4) (ビデオ) 遠藤 誠, 大泉弘幸, 鈴木 潤, 深谷 建, 貞弘光章: 放線菌による炎症性気管支閉鎖症に対して左 S6 + \* 区域管状切除術を施行した1例. 第27回日本呼吸器外科学会総会, 仙台: 2010年5月
- 5) 深谷 建, 大泉弘幸, 遠藤 誠, 鈴木 潤, 貞弘光章: 肺区域切除術における術前CT 撮像法の工夫. 第27回日本呼吸器外科学会総会, 仙台: 2010年5月
- 6) 大泉弘幸, 遠藤 誠, 鈴木 潤, 深谷 建, 貞弘光章: Morcellator を用いた胸腔鏡下縦隔腫瘍摘出術. 第27回日本呼吸器外科学会総会, 仙台: 2010年5月
- 7) 大泉弘幸, 遠藤 誠, 鈴木 潤, 深谷 建, 貞弘光章: 後方アプローチによる胸腔鏡下右 S9, 10 区域切除術. 第27回日本呼吸器外科学会総会, 仙台: 2010年5月
- 8) 深谷 建, 大泉弘幸, 遠藤 誠, 鈴木 潤, 貞弘光章: 非結核性抗酸菌症による有癭性慢性膿胸の手術例. 第27回日本呼吸器外科学会総会, 仙台: 2010年5月
- 9) (ビデオ) 金 哲樹, 外山秀司, 宮崎良太, 黒田吉則, 大場栄一, 水本雅弘, 山下 淳, 中村 健, 吉村幸浩, 貞弘光章: 巨大遠位弓部及び近位胸部下行大動脈瘤に対し, composite long elephant trunk を併用した一手術例. 第38回日本血管外科学会学術総会, 大宮: 2010年5月
- 10) 大場栄一, 外山秀司, 中村 健, 水本雅弘, 山下 淳, 黒田吉則, 宮崎良太, 金 哲樹, 吉村幸浩, 貞弘光章: グラフト吻合部離開を伴った腹部大動脈瘤 Y 型人工血管置換術後仮性動脈瘤 2 例の経験. 第38回日本血管外科学会学術総会, 大宮: 2010年5月
- 11) 水本雅弘, 外山秀司, 大場栄一, 黒田吉則, 宮崎良太, 貞弘光章: 頻回のグラフト感染と MRSA 敗血症既往のある重症 ASO に対して再バイパス術を施行し救肢し得た1例. 第38回日本血管外科学会学術総会, 大宮: 2010年5月
- 12) 宮崎良太, 外山秀司, 中村 健, 山下 淳, 大場栄一, 水本雅弘, 黒田吉則, 金 哲樹, 吉村幸浩, 貞弘光章: 健側腎静脈脱血を行った下大静脈腫瘍進展合併腎癌手術の経験. 第38回日本血管外科学会学術総会, 大宮: 2010年5月
- 13) (ビデオ) 遠藤 誠, 大泉弘幸, 鈴木 潤, 深谷 建, 貞弘光章: 下部気管に発生した腺様嚢胞癌に対して気管管状切除・再建術を施行した1例. 第33回日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 横浜: 2010年6月
- 14) (ビデオ) 江村隆起, 崇原裕夫, 太田 寛, 貞弘光章: 男児鼠径ヘルニアに対する視鏡下手術のコツ. 第47回日本小児外科学会学術集会, 名古屋: 2010年6月
- 15) 吉村幸浩, 宮崎良太, 貞弘光章, 鈴木 浩, 仁木敬夫, 阿部正一, 五味聖吾, 坂有希子, 塩野淳子: 肺静脈環流異常症に対する Vargas 法. 第46回日本小児循環器学会総会・学術集会, 千葉: 2010年7月
- 16) 山下 淳, 外山秀司, 吉村幸浩, 内田徹郎, 金 哲樹, 宮崎良太, 水本雅弘, 大場栄一, 中村 健, 貞弘光章: 開胸術既往を有する狭心症に対し, 非正中切開アプローチ CABG を施行した6例. 第15回日本冠動脈外科学会学術大会, 大阪: 2010年7月
- 17) 中村 健, 外山秀司, 山下 淳, 大場栄一, 宮崎良太, 金 哲樹, 吉村幸浩, 貞弘光章: 成人型左冠動脈肺動脈起始症 Bland-White-Garland 症候群に対し手術を行った1例. 第15回日本冠動脈外科学会学術大会, 大阪: 2010年7月
- 18) 深谷 建: 肺結核症に対する胸腔鏡下右 S1, 2 区域切除術. 第23回日本内視鏡外科学会総会, 横浜: 2010年10月
- 19) 江村隆起: 手術中に初めて異常高血圧を呈した褐色細胞腫の1例. 第23回日本内視鏡外科学会総会, 横浜: 2010年10月

- 20) 加藤博久：縦隔神経原性腫瘍における胸腔鏡手術の適応. 第 23 回日本内視鏡外科学会総会, 横浜 : 2010 年 10 月
- 21) 大泉弘幸, 加藤博久, 深谷 建, 塩田 光, 貞弘光章：小型肺癌に対する積極的縮小手術：ポートアクセス下の楔状および区域切除術. 第 63 回日本胸部外科学会定期学術集会, 大阪 : 2010 年 10 月
- 22) 深谷 建, 大泉弘幸, 加藤博久, 山下 淳, 塩田 光, 貞弘光章：PACS の活用による呼吸器外科手術支援. 第 63 回日本胸部外科学会定期学術集会, 大阪 : 2010 年 10 月
- 23) 加藤博久, 大泉弘幸, 深谷 建, 山下 淳, 貞弘光章：Multidetector CT による肺区域切除シミュレーション. 第 19 回日本コンピュータ外科学会大会, 福岡 : 2010 年 11 月

## (2) 国内地方会

### i 特別演題

- 1) 大泉弘幸：MDCT 画像処理を用いた胸腔鏡下肺区域切除術の適応と実際. 日本呼吸器学会東北地方会, 山形 : 2010 年 3 月

### ii 一般演題

- 1) 長谷川寛真, 有本貴範, 岩山忠輝, 本田晋太郎, 沓沢大輔, 佐々木真太郎, 大道寺飛雄馬, 玉瀧智昭, 田村晴俊, 西山悟史, 高橋 大, 宍戸哲郎, 宮下武彦, 宮本卓也, 二藤部丈司, 渡邊 哲, 早坂真喜雄, 貞弘光章, 久保田 功：56 歳まで無症状で経過した Bland-White-Garland 症候群の一例. 第 150 回日本循環器学会東北地方会, 岩手 : 2010 年 6 月
- 2) 宮崎良太, 吉村幸浩, 中村 健, 水本雅弘, 金 哲樹, 外山秀司, 内田徹郎, 貞弘光章：Inferior sinus venosus type ASD の経験. 第 85 回日本胸部外科学会東北地方会, 仙台 : 2010 年 6 月
- 3) 山下 淳, 外山秀司, 吉村幸浩, 内田徹郎, 金 哲樹, 宮崎良太, 大場栄一, 水本雅弘, 中村 健, 林 潤, 貞弘光章：RCA 重症狭窄に対し, 準緊急的に経横膈膜的 CABG を施行した一例. 第 85 回日本胸部外科学会東北地方会, 仙台 : 2010 年 6 月
- 4) 水本雅弘, 外山秀司, 中村 健, 大場栄一, 山下 淳, 宮崎良太, 金 哲樹, 内田徹郎, 吉村幸浩, 貞弘光章：術前に慢性硬膜下血腫を認め, 術中脳血流評価に難渋した重症 AS の 1 例. 第 85 回日本胸部外科学会東北地方会, 仙台 : 2010 年 6 月
- 5) 金 哲樹, 外山秀司, 内田徹郎, 宮崎良太, 水本雅弘, 中村 健, 吉村幸浩, 貞弘光章：1 秒量 0.84L と高度呼吸機能障害を合併した大動脈弁閉鎖不全症に対する 1 手術例. 第 85 回日本胸部外科学会東北地方会, 仙台 : 2010 年 6 月
- 6) 中村 健, 外山秀司, 大場栄一, 山下 淳, 宮崎良太, 金 哲樹, 吉村幸浩, 貞弘光章：狭小化 elephant trunk に対して open proximal 法で二期的手術を施行した大動脈解離の一例. 第 85 回日本胸部外科学会東北地方会, 仙台 : 2010 年 6 月
- 7) 黒田吉則, 内田徹郎, 岡崎敏昌, 中嶋和恵, 内野英明, 島貫隆夫：2 型急性大動脈解離に左胸膜外出血および肺出血を合併した 1 例. 第 85 回日本胸部外科学会東北地方会, 仙台 : 2010 年 6 月
- 8) 加藤博久, 大泉弘幸, 鈴木 潤, 深谷 建, 山下 淳, 貞弘光章：小児 Ewing 肉腫に対し腫瘍切除, 胸壁再建を行った一例. 第 85 回日本胸部外科学会東北地方会, 仙台 : 2010 年 6 月
- 9) 加藤博久, 大泉弘幸, 深谷 建, 鈴木 潤, 山下 淳, 塩田 光, 貞弘光章：Mucinous (“Colloid”) adenocarcinoma の 1 例. 第 49 回日本肺癌学会東北支部会, 第 36 回日本呼吸器内視鏡学会東北支部会, 仙台 : 2010 年 7 月
- 10) 遠藤 誠, 金内直樹, 岡崎敏昌：留置後 11 年を経て劣化した Dynamic stent を抜去した一例. 第 36 回日本呼吸器内視鏡学会東北支部会, 仙台 : 2010 年 7 月
- 11) 安本 匠, 内田徹郎, 金 哲樹, 中村 健, 水本雅弘, 宮崎良太, 吉村幸浩, 貞弘光章：収縮性心膜炎に対し心膜および心外膜切除術を施行した 2 例. 第 86 回日本胸部外科学会東北地方会, 山形 : 2010 年 9 月
- 12) 塩田 光, 大泉弘幸, 加藤博久, 深谷 建, 山下 淳, 貞弘光章：若年女性の縦隔リンパ管血管腫の一例. 第 86 回日本胸部外科学会東北地方会, 山形 : 2010 年 9 月
- 13) 太田 寛, 江村隆起, 貞弘光章：8 歳女児の正常卵巣捻転の 1 例. 第 78 回日本小児外科学会東北地方会, 山形 : 2010 年 9 月
- 14) 江村隆起, 太田 寛, 貞弘光章：当科における腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術症例の検討. 第 89 回日本

小児科学会山形地方会. 山形: 2010年12月

- 15) 太田 寛, 江村隆起, 貞弘光章: 8歳女児の正常卵巣捻転の1例. 第89回日本小児科学会山形地方会, 山形: 2010年12月
- 16) 和根崎真大, 宮本卓也, 西山悟史, 本田晋太郎, 佐々木真太郎, 田村晴俊, 有本貴範, 高橋 大, 宍戸哲郎, 二藤部丈司, 渡邊 哲, 久保田 功, 宮崎良太, 金 哲樹, 外山秀司, 吉村幸浩, 貞弘光章: 拘束型心筋症所見を合併し, 心膜切除術後も拡張不全が残存した放射線照射後収縮性心膜炎の1例. 第151回日本循環器学会東北地方会, 仙台: 2010年12月

### (3) 国内地方会

#### i 特別講演

- 1) 外山秀司: 下肢の動脈硬化症の薬物治療・血管治療・手術治療について. 血管疾患懇話会, 山形: 2010年2月
- 2) 貞弘光章: 手術成績の安定をめざして一冠動脈バイパス手術を中心に. 第70回茨城心臓血管研究会, 水戸: 2010年3月
- 3) 貞弘光章: 手術成績の安定に向けて一冠動脈疾患を中心として. 第13回埼玉循環器フォーラム, 大宮: 2010年6月
- 4) 貞弘光章: 増加する無症候性大動脈弁狭窄症の外科治療. 第3回心臓血管セミナーin 八戸, 八戸: 2010年7月17日
- 5) 大泉弘幸: 胸腔鏡下肺区域切除術における3次元CTの応用とその実際. 第17回米沢外科懇話会, 米沢: 2010年9月
- 6) 大泉弘幸: 胸腔鏡下肺区域切除術. 第1回肺区域切除セミナー, 須賀川: 2010年11月

#### ii インストラクター

- 1) 大泉弘幸: 第6回日本呼吸器外科学会東北地区胸腔鏡手術セミナー, 郡山: 2010年7月

#### iii 一般演題

- 1) 遠藤 誠, 大泉弘幸, 鈴木 潤, 深谷 建, 貞弘光章: GGO主体の肺腺癌に胸腔鏡下右S8+S9b区域切除術を施行した1例. 第26回東北肺癌研究談話会, 仙台: 2010年1月
- 2) 水本雅弘, 外山秀司, 中村 健, 大場栄一, 山下 淳, 黒田吉則, 宮崎良太, 金 哲樹, 吉村幸浩, 貞弘光章, 富田善彦: 健側腎静脈の選択的脱血を加え, 下大静脈置換を行った右腎細胞癌の症例. 第24回心臓血管外科ウインターセミナー, 長野: 2010年2月
- 3) 遠藤 誠, 大泉弘幸, 鈴木 潤, 深谷 建, 貞弘光章: 胸腔鏡下肺葉切除術と胸膜再発の関連性についての検討. 第21回三地区合同肺癌・呼吸器疾患研究会, 酒田: 2010年4月
- 4) 深谷 建, 大泉弘幸, 遠藤 誠, 鈴木 潤, 貞弘光章: MDCTシミュレーションによる胸腔鏡下肺区域切除術. 第21回内視鏡外科フォーラム東北, 福島: 2010年4月
- 5) 江村隆起, 太田 寛, 大泉弘幸, 貞弘光章: 小児鼠径ヘルニアに対するneedle scopeを用いた腹腔鏡下手術の検討. 第21回内視鏡外科フォーラム東北, 福島: 2010年4月
- 6) 大泉弘幸: (タイトルなし) 第1回肺区域切除術勉強会, 東京: 2010年5月
- 7) 加藤博久: どうする? この症例. 第2回山形県肺癌フォーラム, 山形: 2010年6月
- 8) 塩田 光, 大泉弘幸, 加藤博久, 深谷 建, 山下 淳, 猪狩龍祐, 貞弘光章: 肥大型骨関節症を合併した巨大孤立性線維性胸膜腫瘍の1例. 第28回山形外科談話会学術集会, 山形: 2010年6月
- 9) 中村 健, 吉村幸浩, 安本 匠, 水本雅弘, 大場栄一, 山下 淳, 宮崎良太, 金 哲樹, 外山秀司, 内田徹郎, 貞弘光章: 当科における小児側方開胸手術創のSSI発生状況. 第28回山形外科談話会学術集会, 山形: 2010年6月
- 10) 金 哲樹: バージャー病に対して大腿動脈-後脛骨動脈バイパス術を施行した一例. 第1回山形PAD研究会, 山形: 2010年6月
- 11) 深谷 建, 大泉弘幸, 加藤博久, 山下 淳, 塩田 光, 貞弘光章: 5cmのGGOを呈した肺腺癌の一例. 第42回山形肺癌懇話会, 山形: 2010年6月
- 12) 小田切撤州, 鈴木 浩, 仁木敬夫, 安孫子雅之, 早坂 清, 吉村幸浩, 貞弘光章: 重症先天性心疾患の早期診断. 第27回山形県周産期・新生児医療研究会, 山形: 2010年6月
- 13) 田辺さおり, 高橋辰則徳, 菊池貴洋, 木村敏之, 鈴木 浩, 仁木敬夫, 須藤陽介, 安孫子雅之, 佐々

木綾子, 金井雅代, 早坂 清, 吉村幸浩, 貞弘光章, 堤 誠司, 高田恵子, 逸見典子, 佐藤 恵, 倉智博久: 新生児期に永久ペースメーカー植込み術を施行した先天性完全房室ブロックの1例. 第27回山形県周産期・新生児医療研究会, 山形: 2010年6月

- 14) 大泉弘幸: CRT 後, 局所再発病変のサルベージ区域切除. 第5回東北呼吸器外科手術手技研究会, 福島: 2010年7月
- 15) 中村 健, 外山秀司, 安本 匠, 山下 淳, 大場栄一, 水本雅弘, 宮崎良太, 金 哲樹, 内田徹郎, 吉村幸浩, 貞弘光章: 成人型左冠動脈肺動脈起始症 Bland-White-Garland 症候群に対し手術を行った1例. 第16回山形心臓外科懇話会, 山形: 2010年7月
- 16) 金 哲樹, 外山秀司, 内田徹郎, 宮崎良太, 水本雅弘, 中村 健, 吉村幸浩, 貞弘光章: 巨大遠位弓部及び近位胸部下行大動脈瘤に対し, composite long elephant trunk を併用した一手術例. 第16回山形心臓外科懇話会, 山形: 2010年7月
- 17) 宮崎良太, 内田徹郎, 安本 匠, 中村 健, 水本雅弘, 金 哲樹, 吉村幸浩, 貞弘光章: 左開胸で到達困難な慢性解離性下行大動脈瘤に対して胸骨正中切開と回腹アプローチ, ブルスルー法で施行した人工血管置換術の一例. 第7回心臓血管外科研究会, 仙台: 2010年7月
- 18) 山下 淳, 大泉弘幸, 加藤博久, 深谷 建, 塩田 光, 貞弘光章: 3DCT の術野投影による胸腔鏡ポート設定. 第14回山形内視鏡外科研究会学術集会, 山形: 2010年8月
- 19) 深谷 建, 大泉弘幸, 加藤博久, 山下 淳, 塩田 光, 貞弘光章: 肺結核症に対する胸腔鏡下右S1, 2区域切除術. 第14回山形内視鏡外科研究会学術集会, 山形: 2010年8月
- 20) 江村隆起, 太田 寛, 山際岩雄, 貞弘光章: 気管食道瘻再開通の2例. 第36回東北小児外科研究会, 天童: 2010年9月
- 21) 中村 健, 金 哲樹, 外山秀司, 山下 淳, 大場栄一, 水本雅弘, 宮崎良太, 黒田吉則, 内田徹郎, 吉村幸浩, 貞弘光章: Biphasic cuirass ventilation (BCV) の呼吸と循環に及ぼす効果. 山形循環器呼吸器外科・麻酔・集中治療研究会2010, 山形: 2010年9月
- 22) 加藤博久: 縦隔炎で紹介され, 術後感染性気管支囊胞と診断された一例. 第5回山形呼吸器外科研究会, 山形: 2010年10月
- 23) 江村隆起, 岩中 督, 太田 寛, 貞弘光章: 手術中に初めて異常高血圧を呈した褐色細胞腫の1例. 第30回日本小児内視鏡外科・手術手技研究会, 横浜: 2010年10月
- 24) 桐林伸幸, 高橋 大, 沓澤大輔, 和根崎真大, 佐々木信太郎, 屋代祥典, 大道寺飛雄馬, 玉渕智昭, 田村晴俊, 西山悟史, 有本貴範, 宍戸哲郎, 宮本卓也, 二藤部丈司, 渡邊 哲, 久保田功, 宮下武彦, 金 哲樹, 内田徹郎, 貞弘光章: 下肢動脈グラフト感染・抜去述後に経皮的下肢血管形成術を行った一例. 第21回山形血管疾患研究会, 山形: 2010年11月
- 25) 宮崎良太, 内田徹郎, 林 潤, 大場栄一, 金 哲樹, 吉村幸浩, 貞弘光章: 当科における末梢 distal bypass の現状. 第21回山形血管疾患研究会, 山形: 2010年11月
- 26) 内田徹郎, 金 哲樹, 前川慶之, 宮崎良太, 大場栄一, 林 潤, 吉村幸浩, 貞弘光章: EVAR 困難な広範囲胸部大動脈瘤ハイリスク症例に対する pull-through 法の経験. 第21回山形血管疾患研究会, 山形: 2010年11月
- 27) 江村隆起, 太田 寛, 貞弘光章: 当科における腹腔鏡下鼠径ヘルニア根治術症例の検討. 第21回腹腔鏡的治療研究会, 徳島: 2010年11月

### 3. 学会, 講演会, シンポジウム, ワークショップ等の開催

#### (1) 学会主催

- 1) (当番世話人) 貞弘光章: 日本血管外科学会東北地方会第18回学術集会, 山形テルサ: 2010年9月10日
- 2) (会長) 貞弘光章: 第160回東北外科集談会, 山形テルサ: 2010年9月11日
- 3) (会長) 貞弘光章: 第86回日本胸部外科学会東北地方会, 山形テルサ: 2010年9月11日
- 4) (会長) 貞弘光章: 第78回日本小児外科学会東北地方会, 山形テルサ: 2010年9月11日
- 5) (実行委員長) 貞弘光章: 統合医療を進める山形の集い, 天童: 2010年9月12日
- 6) (世話人) 貞弘光章: 山形エリアワークショップ, 山形テルサ: 2010年11月13日

## (2) 座長

### 1-学術集会等

- 1) 貞弘光章：一般演題 ポスター「弃膜症4」. 第40回日本心臓血管外科学会学術総会, 神戸; 2010年2月
- 2) 貞弘光章：ランチョンセミナー 岩手医科大学附属病院 副院長, 岩手医科大学附属病院循環器医療センター センター長 岡林 均先生「冠動脈バイパス術における周術期管理」第15回日本冠動脈外科学会学術大会, 大阪; 2010年7月
- 3) 貞弘光章：イブニングセミナー 慶応義塾大学医学部外科学教室 心臓血管外科学 講師 志水秀行先生「胸腹部大動脈手術をより安全に行うための工夫」. 日本血管外科学会東北地方会第18回学術集会, 山形: 2010年9月1
- 4) 内田徹郎：セッションIV 大血管. 日本血管外科学会東北地方会第18回学術集会, 山形: 2010年9月
- 5) 貞弘光章：ランチョンセミナー2 長崎大学大学院医歯薬総合研究科 循環病態制御外科学 江石清行先生「僧帽弁形成術のパラダイムシフト」. 第160回東北外科集談会, 第86回日本胸部外科学会東北地方会, 第78回日本小児外科学会東北地方会, 山形: 2010年9月
- 6) 吉村幸浩：先天性心疾患. 第86回日本胸部外科学会東北地方会, 山形: 2010年9月
- 7) 貞弘光章：基調講演. 統合医療を進める山形の集い, 天童: 2010年9月
- 8) 大泉弘幸：一般演題 呼吸器 新しい手技①. 第23回日本内視鏡外科学会総会, 横浜: 2010年10月
- 9) 貞弘光章：ランチョンセミナー3. 浜松医科大学医学部第一外科 椎谷紀彦先生「人工血管の構造と生体への影響」. 第48回日本人工臓器学会大会, 仙台: 2010年11月
- 10) 貞弘光章：一般演題16 ハイリスク症例1(外科). 第24回日本冠疾患学会学術集会, 東京: 2010年12月
- 11) 江村隆起：一般演題. 第89回日本小児科学会山形地方会, 山形: 2010年12月

### 2-研究会・セミナー等

- 1) 貞弘光章：東北大学大学院医学系研究科 心臓血管外科学 教授 田林肱一先生「より安全な胸部大動脈瘤手術を目指して」. 山形県循環器疾患セミナー, 山形; 2010年3月
- 2) 貞弘光章：独立行政法人国立病院機構東京医療センター 統括診療部長 岩田 敏先生「新型インフルエンザの診療と対策」～パンデミック2009年の経験から～. 第3回山形 ICT Special Meeting, 山形; 2010年4月
- 3) 大泉弘幸：特別講演 獨協医科大学呼吸器外科学 教授 千田雅之先生「局所制御としての外科治療の可能性」. 第2回山形県肺癌フォーラム, 山形; 2010年6月
- 4) 大泉弘幸：一般演題(2). 第28回山形外科談話会学術集会, 山形: 2010年6月
- 5) 内田徹郎：一般講演. 第1回山形PAD研究会, 山形; 2010年6月
- 6) 内田徹郎：臨床報告. 東北血管作働薬研究会2010, 仙台; 2010年6月
- 7) 貞弘光章：特別講演II 国立循環器病研究センター 心臓血管外科 部長 荻野 均先生『心臓外科医が扱う血管外科』. 東北血管作働薬研究会2010, 仙台; 2010年6月
- 8) 貞弘光章：特別講演 岐阜大学大学院医学系研究科 高度先進外科学分野 教授 竹村博文先生「冠動脈手術における品質管理」. 第16回山形心臓外科懇話会, 山形: 2010年7月
- 9) 内田徹郎：セッション2. 第16回山形心臓外科懇話会, 山形: 2010年7月
- 10) 貞弘光章：特別講演II 神戸大学大学院医学研究科特命教授・医学部附属病院感染制御部長 荒川創一先生『感染制御学ノススメト当世流行リノ言葉ー抗菌薬適正使用ー』. 第3回山形感染制御研究会, 山形; 2010年7月
- 11) 大泉弘幸：福岡大学医学部 呼吸器・乳腺内分泌・小児外科 教授 岩崎昭憲先生「呼吸器領域における内視鏡外科手術と教育についての取り組み」. 第14回山形内視鏡外科研究会学術集会, 山形: 2010年8月
- 12) 江村隆起：一般演題. 第36回東北小児外科研究会, 天童: 2010年9月
- 13) 江村隆起：特別講演 東京大学医学部小児外科 教授 岩中 督先生「新生児・幼弱乳児における内視鏡手術」. 第36回東北小児外科研究会, 天童: 2010年9月
- 14) 貞弘光章：特別講演I 日本大学心臓血管・呼吸器・総合外科 講師 瀬在 明先生「日本から世界に

発信する心臓手術における超短時間作用βブロッカーの新たな使用法」. 山形循環器呼吸器外科・麻酔・集中治療研究会 2010, 山形: 2010年9月

- 15) 内田徹郎: 一般演題. 山形循環器呼吸器外科・麻酔・集中治療研究会 2010, 山形: 2010年9月
- 16) 加藤博久: 一般演題. 第5回山形呼吸器外科研究会, 山形: 2010年10月
- 17) 内田徹郎: 一般演題. 第21回山形血管疾患研究会, 山形: 2010年11月
- 18) 金 哲樹: 基調講演. 山形大学医学部内科学第一講座 助教 高橋 大先生「末梢動脈疾患, 特に重症虚血肢に対する集学的治療の必要性～内科だけでもダメ, 外科だけでもダメ～」. 第21回山形血管疾患研究会, 山形: 2010年11月
- 19) 貞弘光章: 特別講演. 神戸大学大学院医学研究科 心臓血管外科学分野 教授 大北 裕先生「大動脈基部再建の手法」. 第21回山形血管疾患研究会, 山形: 2010年11月
- 20) 加藤博久: 一般演題 Session II. 第18回山形周術期病態研究会, 山形: 2010年11月

### (3) 新聞・テレビ報道等

- 1) 大泉弘幸: 胸腔鏡下肺区域切除ー良好術後成績に期待「未確診結節にも施行で再発・死亡認めず」; Medical Tribune 2010. 2. 4; 43(5):13
- 2) (テレビ) 大泉弘幸: 医療最前線「がんには負けない!」. BS朝日; 2010年5月4日



# 整形外科科学講座

## 1. 論文

### (1) 原著

- 1) Dairaku K, Ishii M, Kobayashi S, Kawaji H, Sasaki K, Takakubo Y, Takagi M : Initial evaluation on subsidence of cemented collarless polished tapered stem applied to the patients with narrow femoral medullar canal. *Open Orthop J.* 2010 ; 4 : 141-151
- 2) Harada M, Takahara M, Mura N, Sasaki J, Ito T, Ogino T : Risk factors for elbow injuries among young baseball players. *J Shoulder Elbow Surg.* 2010 ; 19 : 502-507
- 3) Kikuchi N, Kashiwa H, Ogino T, Kato M, Hayasaka K : The Nuss technique for Jeune asphyxiating thoracic dystrophy repair in siblings. *Ann Plast Surg.* 2010 ; 65 : 214-218
- 4) Maruyama M, Takahara M, Kikuchi N, Ito K, Watanabe T, Ogino T : Snapping elbow with congenital radial head dislocation: case report. *J Hand Surg Am.* 2010 ; 35 : 981-985
- 5) Sagae M, Suzuki K, Fujita T, Sotokawa T, Nakano H, Naganuma M, Narita A, Sato T, Fujii H, Ogino T, Naito A : Strict actions of the human wrist extensors: A study with an electrical neuromuscular stimulation method. *J Electromyogr Kinesiol.* 2010 ; 20 : 1178-1185
- 6) Satake H, Ogino T, Takahara M, Watanabe T, Iba K : Radial longitudinal deficiencies with hypoplastic/absent thumbs and cutaneous syndactyly of the most radial digits. *J Hand Surg Am.* 2010 ; 35 : 1497-1501
- 7) Ogino T, Satake H, Takahara M, Kikuchi N, Watanabe T, Iba K, Ishii S : Aberrant muscle syndrome: Hypertrophy of the hand and arm due to aberrant muscles with or without hypertrophy of the muscle. *Congenital Anomalies.* 2010 ; 50 : 133-138
- 8) Osanai T, Ogino T : Modified digital tourniquet designed to prevent the tourniquet from inadvertently being left in place after the end of surgery. *J Orthop Trauma.* 2010 ; 24 : 387-388
- 9) Pajarinen J, Cenni E, Savarino L, Gomez-Barrena E, Tamaki Y, Takagi M, Salo J, Konttinen YT : Profile of Toll-like positive cells in septic and aseptic loosening of total hip arthroplasty implants. *J Biomed Mater Res A.* 2010 ; 94 : 84-92
- 10) Pajarinen J, Mackiewicz Z, MD, Pöllänen R, Takagi M, Epstein N, Ting Ma T, Goodman SB, Konttinen YT : Titanium particles modulate expression of Toll-like receptor proteins. *J Biomed Mater Res A.* 2010 ; 92 : 1528-1537
- 11) Takakubo Y, Takagi M, Tamaki Y, Sasaki A, Nakano H, Orui H, Ogino T : Mid-term results of joint preserving procedures by a modified Mann method for big toe deformities in rheumatoid patients with undergoing forefoot surgeries. *Mod Rheumatol.* 2010 ; 20 : 147-153
- 12) 伊藤友一, 武井寛 : 動脈硬化性閉塞により発症したと思われる脊髄梗塞の1例. *日本脊髄障害医学会誌.* 2010 ; 23 : 158-159
- 13) 川路博之, 石井政次, 浜崎允, 玉木康信, 高木理彰 : 当院における大転子側方移行術の成績. *日本股関節学会誌.* 2010 ; 36 : 345-347
- 14) 佐々木幹, 来次浩之, 豊口禎子, 岩崎聖, 高窪祐弥, 白石正, 赤塚孝雄, 高木理彰 : 凍結乾燥アミカシン含有骨セメントの性状に関する検討. *日人工関節学会誌.* 2010 ; 40 : 232-233
- 15) 佐竹寛史, 高原政利, 中島拓, 渡邊忠良, 荻野利彦 : ゴルフ愛好家に発生した豆状三角関節内遊離体の1例. *臨整外.* 2010 ; 45 : 655-658
- 16) 澁谷純一郎, 鶴田大作, 村成幸, 荻野利彦 : 色素性絨毛結節性滑膜炎(PVNS)に肩腱板断裂を合併した1例. *東日本整形災害外科学会雑誌.* 2010 ; 22(3) : 410
- 17) 澁谷純一郎, 武井寛, 橋本淳一, 杉田誠, 荻野利彦 : 強直性脊椎骨増殖症による後弯変形に対し脊椎短

- 縮術を施行した1例. 東日本整災誌. 2010 ; 22(3) : 352
- 18) 鈴木朱美, 佐々木淳也, 福島重宣, 村成幸, 高原政利, 荻野利彦 : Half-mini-Bunnell 法 (内山法) によるアキレス腱縫合術後の筋力評価. 整スポ会誌. 2010 ; 30 : 124-127
- 19) 鈴木朱美, 村成幸, 鶴田大作, 荻野利彦, 後藤康夫, 松田雅彦 : 肩腱板断裂修復術後のスポーツ復帰. 肩関節. 2010 ; 34 : 419-421
- 20) 鈴木光典, 小林真司, 高木理彰, 荒川忍, 佐々木幹, 高窪祐弥 : 人工股関節置換術を施行した強直股に対してバイオフィードバック機器を用いた1例. 整形外科. 2010 ; 61 : 343-346
- 21) 大楽勝之, 玉木康信, 川路博之, 石井政次, 高木理彰 : Impaction bone graft 法における骨セメントの浸透現象. 日本股関節学会誌. 2010 ; 36 : 217-221
- 22) 高窪祐弥, 高木理彰, 佐々木幹, 小林真司, 松木宏史, 浅野多聞 : 人工関節手術患者の腎機能評価におけるシスタチンCの有用性. 日人工関節会誌. 2010 ; 40 : 82-83
- 23) 高窪祐弥, 高木理彰, 浅野多聞, 村成幸, 佐々木幹, 玉木康信, 梁秀蘭, 佐々木明子, 仲野春樹, 大類広, 荻野利彦 : 生物学的製剤投与中の関節リウマチ患者における手術症例の検討. 日本関節病学会誌. 2010 ; 29 : 231-236
- 24) 高窪祐弥, 高木理彰, 梁秀蘭, 小林真司, 佐々木幹, 玉木康信, 川路博之, 石井政次 : ミノサイクリン長期投与により骨の黒色変化 (Black Bone) を認めた人工股関節手術例の検討. 日本股関節学会誌. 2010 ; 36 : 672-675
- 25) 武居功, 原田幹生, 村成幸, 鶴田大作, 荻野利彦, 後藤康夫 : 当院における肩甲骨骨折手術症例の検討. 肩関節. 2010 ; 34 : 725-729
- 26) 武井寛, 後藤文昭, 笹木勇人, 橋本淳一, 杉田誠, 林雅弘 : 3 椎間に行った片側進入両側除圧術の成績 - 開窓術との比較 -. J Spine Res. 2010 ; 1 : 1417-1421
- 27) 武井寛, 杉田誠, 橋本淳一, 笹木勇人, 長谷川浩士 : ケージによる頸椎前方固定術の問題点と対策. J Spine Res. 2010 ; 1 : 1539-1543
- 28) 武井寛, 橋本淳一, 杉田誠, 仲野春樹, 荻野利彦 : 胸椎凸側椎弓根スクリューと in situ contouring technique による手術の経験. J Spine Res. 2010 ; 1 : 2060-2064
- 29) 塚本重治, 大楽勝之, 佐藤哲也, 高木理彰 : 大腿骨転子部骨折に対する Gamma 3 の治療成績. 日本股関節学会誌. 2010 ; 36 : 409-411
- 30) 鶴田大作, 村成幸, 荻野利彦 : 腱板断裂患者における臨床像, 腱板筋の MRI 所見と病理組織像との関係. 肩関節. 2010 ; 34 : 737-740
- 31) 仲野春樹, 武井寛, 橋本淳一, 杉田誠, 成田垂矢, 荻野利彦 : 経頭蓋電気刺激による両下肢複合筋活動電位におけるアラーム基準の検討. 脊髄機能診断学. 2010 ; 32 : 155-160
- 32) 原田幹生, 高原政利, 鈴木智人, 佐々木淳也, 村成幸 : 高校野球選手の肘障害. 臨スポ会誌. 2010 ; 18 : 442-447
- 33) 原田幹生, 武居功, 後藤康夫, 村成幸, 荻野利彦 : スポーツにより生じた鎖骨骨幹部の治療成績 早期スポーツ復帰を目指して. 肩関節. 2010 ; 34 : 731-735
- 34) 丸山真博, 高原政利, 原田幹生, 佐々木淳也, 村成幸 : 投球時肘痛と投球の支障度との関係. 臨スポ会誌. 2010 ; 18 : 470-473
- 35) 丸山真博, 高原政利, 原田幹生, 佐々木淳也, 村成幸, 荻野利彦 : 中学野球選手における投球時の肘痛の有無と肘・手関節筋力との関係. 整スポ会誌. 2010 ; 30 : 35-39
- 36) 村成幸, 後藤康夫, 桃井義敬, 武居功, 鶴田大作, 荻野利彦, 佐々木淳也 : 腱板断裂一次修復不能例に対する腱板再建術 (パッチ移植術と広背筋移行術) の成績. 肩関節. 2010 ; 34 : 441-444
- 37) 桃井義敬, 村成幸, 鶴田大作, 荻野利彦, 後藤康夫, 松田雅彦, 武居功, 佐々木淳也 : 上腕骨外科頸骨折に対する保存的治療の前向き治療成績. 肩関節. 2010 ; 34 : 371-374
- 38) 渡邊忠良, 高原政利, 井上林, 荻野利彦 : 手根管症候群に対するトリアムシノロン手根管内注射の効果. 日手会誌. 2010 ; 26 : 69-72
- 39) 渡邊忠良, 高原政利, 佐竹寛史, 荻野利彦 : 手根管症候群に対するトリアムシノロン手根管内注射後1年以上経過例の成績. 日手会誌. 2010 ; 26 : 625-627
- 40) 渡邊忠良, 高原政利, 荻野利彦 : 上腕骨内上顆の前方を走行していた尺骨神経走行異常の1例. 日本肘関

(2) 総説

- 1) 石井政次, 川路博之, 玉木康信, 高木理彰, 佐々木幹, 大楽勝之 : 感染性人工股関節治療での再建法. 整形災害外科. 2010 ; 53 : 579-587
- 2) 高木理彰, 玉木康信, 高窪祐弥, 平山朋幸, 佐々木幹 : 人工関節術後感染と生体反応. Monthly Book Orthopaedics. 2010 ; 23 : 7-16
- 3) 荻野利彦 : 上肢の絞扼性末梢神経障害. 臨床整形外科. 2010 ; 61(5) : 467-473
- 4) 荻野利彦 : シンポジウム小児の肩関節疾患緒言. 臨床整形外科. 2010 ; 45(12) : 1076
- 5) 荻野利彦 : 手の先天異常. 整形外科専門医テキスト. 2010 : 209-215

(3) 著書

- 1) Ogino T : Congenital al hand differences in Japan. HAND SURGERY WORLDWIDE International Reconstruction of a “Beautiful and Ready Instrument of the Mind”. Saunders Ltd, 2010
- 2) 荻野利彦 : 肩甲帯の先天異常. 国分正一ほか編, 今日の整形外科治療指針第6版. 東京 ; 医学書院, 2010 : 397
- 3) 荻野利彦 : 毛髪・鼻・指節異形成症. 国分正一ほか編, 今日の整形外科治療指針第6版. 東京 ; 医学書院, 2010 : 255
- 4) 荻野利彦 : Apert 症候群. 国分正一ほか編, 今日の整形外科治療指針第6版. 東京 ; 医学書院, 2010 : 276
- 5) 荻野利彦 : Poland 症候群. 国分正一ほか編, 今日の整形外科治療指針第6版. 東京 ; 医学書院, 2010 : 276
- 6) 菅原正登, 村成幸, 尾鷲和也 : 胸郭出口症候群. 戸山芳昭監修 井樋栄二編, 「アトラス骨・関節画像診断 1 関節-上肢-」. 東京 ; 中外医学社, 2010 : 19-21
- 7) 高木理彰 : 下肢静脈瘤. 国分正一ほか編, 今日の整形外科治療指針第6版. 東京 ; 医学書院, 2010 : 318
- 8) 村成幸, 和田学 : 筋ジストロフィー. 戸山芳昭監修 井樋栄二編, 「アトラス骨・関節画像診断 1 関節-上肢-」. 東京 ; 中外医学社, 2010 : 16-18
- 9) 村成幸, 後藤康夫 : プレートを用いた上腕骨近位端骨折に対する手術療法. 飯田寛和総監修 高岸憲二編, 「整形外科手術テクニック IV 肩関節編」. メディカ出版, 2010 : 123-132
- 10) 村成幸 : 症例検討-私ならこうする 症例 2-(2). 玉井和哉編, 「上腕骨近位端骨折 適切な治療法選択のために」. 金原出版, 2010 : 167
- 11) 村成幸 訳 : 第 20 章 肩の解剖. 福林徹 渡邊好博監訳, ギャレット スピーア カーケンダル編, 「スポーツ整形外科学-理論と実践」. 西村書店, 2010 : 261-289
- 12) 村成幸 訳 : 第 22 章 肩関節前方不安定症. 福林徹 渡邊好博監訳, ギャレット スピーア カーケンダル編, 「スポーツ整形外科学-理論と実践」. 西村書店, 2010 : 315-324
- 13) 村成幸 訳 : 第 25 章 投球動作における関節唇損傷. 福林徹 渡邊好博監訳, ギャレット スピーア カーケンダル編, 「スポーツ整形外科学-理論と実践」. 西村書店, 2010 : 358-375
- 14) 渡邊忠良, 高原政利 : 1. 肘関節痛の原因とその診断 肘関節痛からどのような疾患を考えるか/壮年期～高齢者の場合. 中村耕三総編集 加藤博之専門編集, 「整形外科臨床パサージュ 5 手・肘の痛みクリニカルプラクティス」. 中山書店, 2010 : 12-23

## 2. 学会報告

(1) 国際学会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) Asano T : MIS TKA for young RA patient using navigation system: MIS TKA Current Meeting, Melbourne ; August 2010
- 2) Ogino T, Chan C, Choi AK : Extrathumb(Round Table Seminar). 1st International Conference on Extra-thumb, Hong Kong ; September 2010
- 3) Ogino T : Overview on the principle of surgical management of the extra-thumb. 1st International Conference on Extra-thumb, Hong Kong ; September 2010

- 4) Ogino T : Type IV extrathumb reconstruction:tips and peals. 1st International Conference on Extra-thumb, Hong Kong ; September 2010

## ii 一般演題

- 1) Hirayama T, Tamaki Y, Takakubo Y, Ogino T, Goodman SB, Konttinen YT, Takagi M : Adherent endotoxin modulate expression of Toll-like receptor (TLR) 4 and their adaptor molecules phagocytosis of titanium particles in monocytes/macrophages. 7th Combined Meeting of the Orthopaedic Research Societies, Kyoto ; October 2010
- 2) Mura N, Goto Y, Momonoi Y, Takei I, Tsuruta D, Sasaki J, Harada M, Ogino T : Postoperative evaluation of the patch graft procedure for irreparable rotator cuff tears. 11th International Congress of Shoulder and Elbow Surgery, Edinburgh ; September 2010
- 3) Nakano H, Takei H, Hashimoto J, Sugita M, Narita A, Ogino T : Alarm criteria for compound muscle action potential evoked by transcranial electrical stimulation in bilateral lower limbs recording. 29th International Conference of Clinical Neurophysiology, Kobe ; October 2010
- 4) Ogino T, Watanabe T, Satake H, Sato D : Clinical features and treatment of Wassel type 6 radial polydactyly(Invited Speech). 11th Triennial Congress of the International Federation of Societies for Surgery of Hand, Seoul ; October 2010
- 5) Satake H, Ogino T, Watanabe T, Sato D : Metacarpal hypoplasia associated with congenital constriction band syndrome. 11th Triennial Congress of the International Federation of Societies for Surgery of Hand, Seoul ; October 2010
- 6) Sato D, Takahara M, Narita A, Yamakawa J, Hashimoto J, Ogino T : The effect of platelet- rich plasma on the healing of intrasynovial flexor tendons: in vivo study. 7th Combined Meeting of the Orthopaedic Research Society, Kyoto ; October 2010
- 7) Sato D, Takahara M, Narita A, Yamakawa J, Hashimoto J, Ogino T : The effect of platelet- rich plasma on the healing of intrasynovial flexor tendons: in vivo study. 11th Triennial Congress of the International Federation of Societies for Surgery of Hand, Seoul ; October 2010
- 8) Takagi M, Tamaki Y, Hirayama T, Sasaki K, Ogino T, Goodman S, Konttinen Y : Activated signal pathway of Toll-like receptor in the synovial-like membrane around aseptic and septic loose artificial hip joints. 57th Annual Meeting of the Orthopaedic Research Society, Long Beach ; January 2010
- 9) Takagi M, Tamaki Y, Takakubo Y, Hirayama T, Ogino T, Goodman S, Konttinen Y : Expression of Toll-like receptors and their adaptor molecules in synoviocytes and sublining cells in actively inflamed rheumatoid synovial membranes. 7th Combined Meeting of the Orthopaedic Research Societies, Kyoto ; October 2010
- 10) Takagi M, Takakubo Y, Hirayama T, Tamaki Y : Increased expression of Toll-like receptors and the adaptor molecules in rheumatoid synovium with active auto-immune inflammation. Annual European Congress of Rheumatology (EULAR 2010), Rome ; June 2010
- 11) Takahara M, Watanabe T, Satake H, Sato D, Ogino T : Outcome of osteochondritis dissecans of the humeral capitellum(Invited Speech). 11th Triennial Congress of the International Federation of Societies for Surgery of Hand, Seoul ; October 2010
- 12) Tsuruta D, Mura N, Ogino T : The relationship between clinical, MRI and pathological findings associated with the torn rotator cuff muscles. 11th International Congress on Shoulder and Elbow Surgery, Scotland ; September 2010
- 13) Watanabe T, Takahara M, Satake S, Sato D, Ogino T : Early active motion under intrathecal block after flexor tenolysis. 11th Triennial Congress of the International Federation of Societies for Surgery of the Hand, Seoul ; October–November 2010

## (2) 国内の学会

### i 特別講演

- 1) 荻野利彦 : 上肢先天異常の治療. 第1回千葉手と小児の整形外科合同研究会, 千葉 ; 2010年4月
- 2) 高木理彰 : 関節構造と関節破壊を呈する疾患の基礎知識 (教育研修講演). 第54回日本リウマチ学会

総会. 神戸 ; 2010年4月

ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 杉田誠, 武井寛, 橋本淳一, 荻野利彦 : 立位-仰臥位 X 線側面像による骨粗鬆症性椎体骨折遷延治癒危険因子の検討. 第 83 回 日本整形外科学会学術総会, 東京 ; 2010年5月
- 2) 杉田誠, 武井寛, 橋本淳一, 菅原正登, 荻野利彦 : 立位-仰臥位 X 線側面像による骨粗鬆症性椎体骨折遷延治癒危険因子の検討. 第 83 回 日本整形外科学会学術総会, 東京 ; 2010年5月
- 3) 高木理彰, 玉木康信, 高窪祐弥, 平山朋幸, 佐々木明子, 梁秀蘭, 石井政次, 荻野利彦 : 関節リウマチ滑膜組織における Toll 様受容体発現に関する検討 (ワークショップ). 第 54 回 日本リウマチ学会総会, 神戸 ; 2010年4月
- 4) 高木理彰, 佐々木幹, 小林真司, 川路博之, 大楽勝之, 高窪祐弥, 玉木康信, 大木弘治, 塚本重治, 井田英雄, 石井政次 : 無菌性白蓋弛緩に対するケルブールタイプ十字プレートを用いた機能再建の検討 (シンポジウム). 第 37 回 日本股関節学会, 福岡 ; 2010年10月

iii 一般演題

- 1) Hanaka N, Fukushima S, Togashi E, Tsuchiya A, Suzuki A : DVT and PE combined with HIT after arthroscopic meniscectomy. 2nd Annual meeting of Japanese Orthopaedic Society of Knee, Arthroscopy and Sports Medicine, Okinawa ; July 2010
- 2) 浅野多聞, 松木宏史, 成田淳, 高窪祐弥, 荻野利彦 : Intraoperative Measurement of Extension and Flexion Gap in Navigated TKA. 第 2 回 JOSKAS, 沖縄 ; 2010年7月
- 3) 石川和彦, 太田吉雄, 武井寛 : 後期高齢者脊椎手術後のせん妄に低酸素血症は関与する. 第 39 回 日本脊椎脊髄病学会学術集会, 高知 ; 2010年4月
- 4) 伊藤卓偉, 小澤浩司, 武井寛, 橋本淳一, 中村豪, 平野徹, 日下部隆, 杉田誠, 相澤俊峰, 佐野敦樹 : 脊椎脊髄手術後の血栓塞栓症の発生率と D-ダイマー, 可溶性フィブリンモノマー複合体の有用性. 第 39 回 日本脊椎脊髄病学会学術集会, 高知 ; 2010年4月
- 5) 岩崎聖, 後藤薫 : DGKz 欠損マウスにおける骨溶解. 第 115 回 日本解剖学会全国学術集会, 岩手 ; 2010年3月
- 6) 遠藤誠一, 土屋登嗣, 菅原正登, 荻野利彦 : 高齢者の下腿に発症した Ewing 肉腫の 1 例. 第 46 回 日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会, 東京 ; 2010年7月
- 7) 大木弘治, 高木理彰, 小林真司, 佐々木幹, 高窪祐弥 : 血液透析患者における THA の周術期合併症の検討. 第 37 回 日本股関節学会, 福岡 ; 2010年10月
- 8) 荻野利彦 : 手の先天異常の基本的診療. 札幌整形外科開業医会学術講演会, 札幌 ; 2010年8月
- 9) 荻野利彦 : 上肢の先天異常. 第 17 回 日本小児整形外科学会教育研修会, 東京 ; 2010年8月
- 10) 佐竹寛史, 荻野利彦, 渡邊忠良, 佐藤大祐 : Kirner 変形の単純 X 線像の特徴. 第 25 回 東日本手の外科学会, さいたま ; 2010年2月
- 11) 佐竹寛史, 荻野利彦, 渡邊忠良, 佐藤大祐 : Kirner 変形の単純 X 線像の特徴. 第 59 回 東日本整形災害外科学会, 盛岡 ; 2010年9月
- 12) 佐竹寛史, 石垣大介, 渡邊忠良, 佐藤大祐, 荻野利彦 : 橈骨遠位端骨折に合併した尺骨遠位開放性粉碎骨折 - 尺骨の粉碎骨片をどう治療するか -. 第 59 回 東日本整形災害外科学会, 盛岡 ; 2010年9月
- 13) 佐藤大祐, 高原政利, 成田淳, 山川淳一, 橋本淳一, 荻野利彦 : 屈筋腱損傷に対する多血小板血漿の影響 : in vivo での検討. 第 9 回 日本再生医療学会, 広島 ; 2010年3月
- 14) 佐藤大祐, 高原政利, 成田淳, 山川淳一, 荻野利彦 : 屈筋腱損傷に対する多血小板血漿の影響 : in vivo での検討. 第 53 回 日本手の外科学会, 新潟 ; 2010年4月
- 15) 佐藤大祐, 荻野利彦, 渡邊忠良, 佐竹寛史 : 母指形成不全に対する母指化術の成績. 第 59 回 東日本整形災害外科学会, 盛岡 ; 2010年9月
- 16) 佐藤大祐, 高原政利, 成田淳, 山川淳一, 橋本淳一, 荻野利彦 : 屈筋腱損傷に対する多血小板血漿の影響 : in vivo での検討. 第 25 回 日本整形外科基礎学術集会, 京都 ; 2010年10月
- 17) 澁谷純一郎, 武井寛, 橋本淳一, 杉田誠, 荻野利彦 : 強直性脊椎骨増殖症による後弯変形に対し脊椎短縮術を施行した 1 例. 第 59 回 東日本整形災害外科学会, 盛岡 ; 2010年9月
- 18) 菅原正登, 加藤哲子, 武田淳子, 本山悌一 : 骨肉腫における RUNX2 の発現. 第 99 回 日本病理学会総会,

東京；2010年4月

- 19) 菅原正登, 加藤哲子, 土屋登嗣, 石川朗, 荻野利彦, 本山悌一：骨肉腫における RUNX2 の発現と類骨形成との関連性. 第43回 日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会, 東京；2010年7月
- 20) 菅原正登, 土屋登嗣, 加藤哲子, 石川朗, 荻野利彦：膝関節内に発生した desmoplastic fibroblastoma の1例. 第43回 日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会, 東京；2010年7月
- 21) 杉田誠, 武井寛, 寒河江正明, 橋本淳一, 石川和彦, 荻野利彦：立位-仰臥位X線側面像による骨粗鬆症性椎体骨折遷延治癒危険因子の検討. 第39回 日本脊椎脊髄病学会学術集会, 高知；2010年4月
- 22) 杉田誠, 武井寛, 橋本淳一, 荻野利彦：第3腰椎圧迫骨折後偽関節, 脊髓円錐症候群, 腰部脊柱管狭窄症を同時に合併した1例. 第59回 東日本整形災害外科学会, 盛岡；2010年9月
- 23) 鈴木智人, 伊藤友一, 千葉克司, 長谷川浩士, 橋本淳一：腰背部痛・下肢麻痺が診断の契機となった多発性骨髄腫症例の検討. 第18回 日本腰痛学会, 札幌；2010年10月
- 24) 高木理彰, 佐々木幹, 大楽勝之, 高窪祐弥, 玉木康信, 小林真司, 川路博之, 石井政次：人工股関節術後感染症例の病態特性と治療法に関する検討. 第40回 日本人工関節学会, 沖縄；2010年2月
- 25) 武井寛, 勝見敬一, 小澤浩司, 村上秀樹, 橋本淳一, 和田簡一郎, 大谷晃司, 鈴木智人, 伊藤卓偉, 山崎昭義：手術を必要とした骨粗鬆症性椎体圧迫骨折後偽関節例の初期治療と問題点. 第39回 日本脊椎脊髄病学会学術集会, 高知；2010年4月
- 26) 武井寛, 山崎健, 宮腰尚久, 小澤浩司, 小野睦, 矢吹省司, 田中靖久, 紺野慎一, 国分正一：保存療法を行った腰部椎間板ヘルニア・腰部脊柱管狭窄症の実態調査-第1報-. 第83回 日本整形外科学会学術総会, 東京；2010年5月
- 27) 武井寛, 橋本淳一, 杉田誠, 仲野春樹, 荻野利彦：胸椎凸側椎弓根スクリューと in situ contouring technique による側弯症の矯正. 第83回 日本整形外科学会学術総会, 東京；2010年5月
- 28) 武井寛, 橋本淳一, 杉田誠, 仲野春樹, 荻野利彦：in situ contouring technique による側弯症胸腰/腰椎カーブの矯正. 第59回 東日本整形災害外科学会, 盛岡；2010年9月
- 29) 武井寛, 橋本淳一, 杉田誠, 仲野春樹：特発性側弯症側弯症胸腰/腰椎カーブに対する in situ contouring technique. 第44回 日本側弯症学会, 札幌；2010年10月
- 30) 土屋登嗣, 菅原正登, 荻野利彦：大腿骨遠位部に発生した原発性悪性リンパ腫の2例. 第46回 日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会, 東京；2010年7月
- 31) 鶴田大作, 村成幸, 荻野利彦：腱板断裂患者における腱板筋の病理組織像と肩の筋力との関係. 第37回 日本肩関節学会学術集会, 仙台；2010年10月
- 32) 豊野修二, 浅野多聞, 杉田誠, 橋本淳一, 武井寛, 荻野利彦：エノキサパリンナトリウムの使用後に脊椎硬膜外血腫を発症した1例, 東日本整形外科学会, 盛岡；2010年9月
- 33) 長沼誠, 佐藤寿晃, 鈴木克彦, 成田亜矢, 橋爪和足, 内藤輝：「肘屈曲角度による前腕回外力の変化」. 第115回 日本解剖学会総会, 盛岡；2010年3月
- 34) 仲野春樹, 高木理彰, 佐々木明子, 高窪祐弥, 大類広, 荻野利彦：関節リウマチ患者における副鼻腔炎の合併状況. 第54回 日本リウマチ学会, 神戸；2010年4月
- 35) 仲野春樹, 高木理彰, 佐々木幹, 成田亜矢, 荻野利彦：血管炎症候群のリハビリテーションの検討. 第47回 日本リハビリテーション医学会, 鹿児島；2010年5月
- 36) 成田淳, 高原政利, 佐藤大祐, 荻野利彦, 福島重宣, 木村祐, 田畑泰彦：線維芽細胞増殖因子とゼラチンハイドロゲルを用いた家兎半月板修復. 第2回 日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学術集会, 沖縄；2010年7月
- 37) 成田淳, 高原政利, 佐藤大祐, 荻野利彦, 福島重宣, 木村祐, 田畑泰彦：線維芽細胞増殖因子とゼラチンハイドロゲルを用いた家兎半月板修復. 第25回 日本整形外科学会基礎学術集会, 京都；2010年10月
- 38) 橋本淳一, 武井寛, 杉田誠, 仲野春樹, 荻野利彦：骨粗鬆症性椎体圧迫骨折後遅発性下肢麻痺の神経症候. 第39回 日本脊椎脊髄病学会, 高知；2010年4月
- 39) 橋本淳一, 伊藤友一：非骨傷性頸髄損傷の疫学調査. 第45回 日本脊髄障害医学会, 松本；2010年10月
- 40) 橋本淳一, 武井寛, 杉田誠, 仲野春樹：骨粗鬆症性椎体圧迫骨折後遅発性下肢麻痺の神経症候. 第39回

日本脊椎脊髄病学会学術集会, 高知 ; 2010年4月

- 41) 花香直美, 土屋登嗣, 菅原正登, 佐竹寛史, 渡邊忠良, 高木理彰, 荻野利彦 : 手背に発生した線維形成性線維芽腫 (Desmoplastic fibroblastoma) の一例. 第59回 東日本整形災害外科学会, 2010年9月
- 42) 平山朋幸, 高木理彰, 玉木康信, 高窪祐弥, 荻野利彦 : LPS 刺激骨髄マクロファージにおける Toll-like receptor とアダプター分子発現の検討. 第54回 日本リウマチ学会, 神戸 : 2010年4月
- 43) 平山朋幸, 高木理彰, 玉木康信, 高窪祐弥, 荻野利彦 : 骨髄マクロファージにおける Toll-like receptor (TLR) 4 とアダプター分子発現の検討. 第25回 日本整形外科学会基礎学術集会, 京都 : 2010年10月
- 44) 村成幸, 鶴田大作, 武居功, 鈴木朱美, 後藤康夫, 荻野利彦 : Bioknotless anchor を用いた鏡視下 Bankart 修復術の経験. 第37回 日本肩関節学会, 仙台 ; 2010年10月
- 45) 渡邊忠良, 高原政利, 佐竹寛史, 荻野利彦 : 手根管症候群に対する手術療法とトリアムシノロン注射療法における治療成績の比較. 第53回 日本手外科学会学術集会, 新潟 ; 2010年4月
- 46) 渡邊忠良, 荻野利彦, 佐竹寛史, 佐藤大祐, 射場浩介 : 迷入筋症候群の臨床像. 第59回 東日本整形災害外科学会, 岩手 ; 2010年9月

### (3) 国内地方会

#### i 特別講演

- 1) 高木理彰 : 感染性人工股関節周囲の生体反応. -DAMPs, PAMPs, ALARMINs- (特別講演). 第58回 宮城リウマチの外科研究会, 仙台 ; 2010年2月

#### ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 高木理彰 : 外科治療をどのように活用するか? (シンポジウム). 第20回 日本リウマチ学会 北海道東北支部学術集会, 札幌 ; 2010年9月

#### iii 一般演題

- 1) 佐竹寛史, 井上林, 菊地憲明, 渡邊忠良, 佐藤大祐, 高原政利, 土田浩之, 荻野利彦 : 指再接着術における骨短縮の必要性. 第16回 東北マイクロサージャリー懇話会, 仙台 ; 2010年10月
- 2) 佐竹寛史, 高原政利 : 上腕骨小頭離断性骨軟骨炎に伴った大きな骨嚢胞に対する治療. 第1回 野球肘研究会, 仙台 ; 2010年12月
- 3) 武井寛, 橋本淳一, 杉田誠, 仲野春樹, 荻野利彦 : in situ contouring technique による特発性側弯症胸腰椎カーブの矯正. 第108回 東北整形災害外科学会, 弘前 ; 2010年6月
- 4) 豊野修二, 内海秀明, 尾鷲和也 : 環椎骨折に対してスクリューによる骨接合を施行した2例, 東北整形災害外科学会, 弘前 ; 2010年6月
- 5) 橋本淳一, 武井寛, 杉田誠, 伊藤友一, 千葉克司, 尾鷲和也, 内海秀明, 林雅弘, 後藤文昭, 長谷川浩士, 荻野利彦 : 脊髄損傷の疫学 -当病院と関連病院における調査 2000-2008. 第59回 東日本整形災害外科学会, 盛岡 ; 2010年9月

### (4) 研究会

#### i 特別講演

- 1) 武井寛 : 骨粗鬆症脊椎圧迫骨折の保存療法 -そのコツとポイント-. 整形外科臨床を語る会 2nd シリーズ 第8回, 東京 ; 2010年2月
- 2) 武井寛 : 骨粗鬆症脊椎圧迫骨折の治療. 第8回 奥州整形外科医会, 奥州 ; 2010年11月
- 3) 武井寛 : 骨粗鬆症脊椎圧迫骨折の治療 -偽関節を作らないために-. 奥州整形外科医会, 酒田 ; 2010年12月

#### ii 一般演題

- 1) 伊藤卓偉, 小澤浩司, 武井寛, 橋本淳一, 中村豪, 平野徹, 日下部隆 : 脊椎脊髄手術後の血栓塞栓症発生率 (3大学病院における). 第20回 東北脊椎外科研究会, 仙台 ; 2010年1月
- 2) 澁谷純一郎, 土屋登嗣, 菅原正登, 石川朗, 荻野利彦 : 左橈骨遠位部骨腫瘍の1例. 第17回 東北地区骨軟部腫瘍研究会, 秋田 ; 2010年10月
- 3) 武井寛, 勝見敬一, 小澤浩司, 村上秀樹, 橋本淳一, 和田簡一郎, 大谷晃司, 鈴木智人, 伊藤卓偉, 山崎昭義 : 手術を必要とした脊椎圧迫骨折後偽関節例の初期治療と問題点. 第20回 東北脊椎外科研究会, 仙台 ; 2010年1月

- 4) 武井寛, 笹木勇人, 橋本淳一, 杉田誠 : 腰椎変性すべり症に対する片側進入両側除圧術. 第 20 回 東北脊椎外科研究会, 仙台 ; 2010 年 1 月
- 5) 鶴田大作, 村成幸, 荻野利彦 : 鏡視下腱板断裂手術時にフレキシブルスーチャーパッサーのトラブルが生じた 4 例. 第 21 回 東北肩関節研究会, 仙台 ; 2010 年 6 月
- 6) 仲野春樹, 武井寛, 橋本淳一, 杉田誠, 成田亜也, 荻野利彦 : 当科における脊髄モニタリングのアラーム基準の検討. 第 32 回 脊髄機能診断研究会, 東京 ; 2010 年 2 月
- 7) 成田亜矢, 渡邊忠良, 仲野春樹, 荻野利彦, 長沼誠, 橋爪和足, 内藤輝, 鈴木克彦, 佐藤寿晃 : 「手根の力と運動の自動計測・表示・記録装置の臨床応用」. 山形電気生理研究会, 山形 ; 2010 年 11 月

#### (5) その他

- 1) 浅野多聞 : (招待講演) 膝関節疾患の診断と治療. 山形県立山形東高等学校, 山形 ; 2010 年 10 月
- 2) 高木理彰 : 関節炎の鑑別診断. -分子標的薬による治療の時代を迎えて- (特別講演). 第 16 回 山形臨床整形外科懇話会, 山形 ; 2010 年 7 月
- 3) 高木理彰 : 関節炎. -思い出したいあの疾患, この病態- (特別講演). 第 21 回 青森県リウマチ懇話会, 八戸 ; 2010 年 7 月
- 4) 高木理彰 : リウマチ性股関節障害の機能再建. -分子標的薬治療の時代を迎えて- (特別講演). 第 4 回 股基礎の会, 京都 ; 2010 年 11 月
- 5) 高木理彰 : 人工股関節の生体親和性. -現在, 過去, 未来- (特別講演). 第 7 回 秋田県南由利地区リウマチと関節疾患懇話会, 大仙 ; 2010 年 11 月
- 6) 高木理彰 : 人工股関節の生体親和性に関する研究. 山形大学医学部医学会 特別賞 金賞, 2011 年 1 月 (受賞)
- 7) 武井寛 : In situ contouring による脊柱側彎症の矯正. 第 3 回 みちのく脊椎・側弯セミナー, 青森 ; 2010 年 2 月
- 8) 武井寛 : あしのしびれ・痛み自己チェック票 Ver2.0 を用いた前向き調査について -1 年間の検討-. 第 7 回 東北腰痛フォーラム, 仙台 ; 2010 年 4 月
- 9) 武井寛 : 第 44 回 全国高等学校体育連盟研究大会 第 2 分科会 健康と安全 助言者, 山形 ; 2010 年 1 月
- 10) 武井寛 : 腰痛について. 山形整形外科イベント, 山形 ; 2010 年 9 月
- 11) 武井寛 : 青年期の身体作り -生活習慣病とスポーツ障害をどう防ぐ-. 山形県立山形工業高校保健講話, 山形 ; 2010 年 10 月
- 12) 橋本淳一 : ロコモティブシンドローム. 骨と関節の日, 山形 ; 2010 年 9 月
- 13) 橋本淳一 : 膝痛・腰痛の予防. 山形大学・COME 「すこやか教室」, 寒河江 ; 2010 年 8 月
- 14) 橋本淳一 : 脊椎術後合併症は予測できる?. 第 15 回 山形脊椎脊髄懇話会, 山形 ; 2010 年 10 月
- 15) 橋本淳一 : (招待講演) 高齢者脊椎圧迫骨折に対する手術療法. モーラステープ記念講演会, 山形 ; 2010 年 1 月
- 16) 村成幸 : (招待講演) 成長期の肩のスポーツ傷害. 整流会講演会, 山形 ; 2010 年 9 月



# 皮膚科学講座

## 1. 論文

### (1) 原著

- 1) Hayashi M, Monma F, Katagiri Y, Kawaguchi M, Suzuki T: Linear immunoglobulin A bullous dermatosis associated with herpes simplex virus infection and Kawasaki disease. *J Dermatol.* 2010; 37: 276-279
- 2) Hayashi M, Suzuki T: A missense mutation c.G2747A (p.R916Q) of ADAR1 gene in dyschromatosis symmetrica hereditaria is not a novel mutation. *Arch Dermatol Res.* 2010; 302: 481-482
- 3) Murata I, Hayashi M, Hozumi Y, Fujii K, Mitsuhashi Y, Oiso N, Fukai K, Kuroki N, Mori Y, Utani A, Tomita Y, Fujita Y, Suzuki T: Mutation analyses of patients with dyschromatosis symmetrica hereditaria: five novel mutations of the ADAR1 gene. *J Dermatol Sci.* 2010; 58: 218-220
- 4) Matsui Y, Sugiyama K, Kamei M, Takahashi T, Suzuki T, Katagata Y, Ito T: Extract of Passion Fruit (*Passiflora edulis*) Seed Containing High Amounts of Piceatannol Inhibits Melanogenesis and Promotes Collagen Synthesis. *J Agric Food Chem.* 2010; 58: 11112-11118
- 5) 鈴木民夫: 色素細胞の生物学 色素異常症の病因と生活指導. 日本皮膚科学会雑誌. 2010; 120: 2823-2827
- 6) 鈴木民夫: 遺伝子変異による色素異常症. *Derma.* 2010; 163: 47-54
- 7) 林昌浩: 最近2年間に山形県立新庄病院皮膚科を受診した疥癬患者の統計的観察. *皮膚臨床.* 2010; 52: 199-203
- 8) 二階堂(豊野)まり子, 紺野隆之, 門馬文子, 吉澤順子, 大浪宏介, 橘知睦, 鈴木民夫: 臍部に生じた基底細胞癌の1例. *臨床皮膚.* 2010; 64: 681-683
- 9) 阿部優子, 南雲正人, 宮地智洋, 鈴木民夫: 皮膚原発のEwing肉腫/未分化神経外胚葉性腫瘍(primitive neuroectodermal tumor: PNET)の1例. *臨床皮膚.* 2010; 64: 1041-1044
- 10) 前田龍郎, 門馬文子, 中野創, 鈴木民夫, 坪井良治, 三橋善比古: Meleda病 SLURP-遺伝子に変異を確認した本邦第1例. *皮膚病診療.* 2010; 32: 555-558
- 11) 村田老太, 川口雅一, 吉澤順子, 阿部優子, 片桐美之, 鈴木民夫, 富田善彦: 腎細胞癌の分子標的薬治療におけるhand-foot syndrome. *皮膚病診療.* 2010; 32: 883-886
- 12) 龍野一樹, 秦まき, 吉田康秀, 穂積豊, 阿部優子, 鈴木民夫: Hermansky-Pudlak症候群. *皮膚病診療.* 2010; 32: 963-966
- 13) 林昌浩, 鈴木民夫: 【皮膚科検査法の実際】 遺伝性色素異常症の遺伝子診断. *皮膚病診療.* 2010 32: S32-S38

### (2) 著書

- 1) 鈴木民夫: そばかす、肝斑、黒皮症. 山口徹ら編, 今日の治療指針2010 私はこう治療している. 医学書院, 2010: 1056-1057
- 2) 鈴木民夫: メラノサイト. 太陽紫外線防御研究委員会編, からだと光の事典. 朝倉書店, 2010: 143-148
- 3) 阿部優子: 眼皮白皮症、伊藤母斑、Waardenburg症候群. 小児科臨床ピクシス17 年代別子どもの皮膚疾患. 中山書店, 2010: 46-48

## 2. 学会報告

### (1) 国際学会

#### i 一般演題

- 1) Masahiro Hayashi, Tamio Suzuki: A case of subcutaneous lobular capillary hemangioma. The First Eastern Asia Dermatology Congress, Fukuoka; September 2010

### (2) 国内の学会

#### i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 鈴木民夫: 色素細胞の生物学 色素異常症の病因と生活指導. 第109回日本皮膚科学会総会, 大阪; 2010年4月

#### ii 一般演題

- 1) 林昌浩, 吉澤順子, 田嶋克史, 高野桂: 少量ステロイド内服とbath-PUVA療法が奏効したSezary症候群の

- 一例. 第109回日本皮膚科学会総会, 大阪; 2010年4月
- 2) 有本理恵, 鈴木教之, 稲坂優, 山田元人, 穂積豊, 阿部優子, 鈴木民夫: Hermansky-Pudlak 症候群に潰瘍性大腸炎を伴った1例. 第109回日本皮膚科学会総会, 大阪; 2010年4月
  - 3) 村田壺大, 川口雅一, 吉澤順子, 阿部優子, 片桐美之, 鈴木民夫, 富田善彦: 分子標的薬治療における Hand-foot syndrome. 第109回日本皮膚科学会総会, 大阪; 2010年4月
  - 4) 紺野隆之, 吉澤順子, 豊野まり子, 鈴木民夫: 脳症を合併した硬化性粘液水腫の1例. 第109回日本皮膚科学会総会, 大阪; 2010年4月
  - 5) 島貫美和, 水落宏太, 泉口裕一: 大きな皮膚潰瘍を伴った Churg-Strauss 症候群の一例. 第109回日本皮膚科学会総会, 大阪; 2010年4月
  - 6) 紺野隆之, 阿部優子, 鈴木民夫, Katrien Storm, Martine Biervliet, Winnie Courtens, 富田靖: SLC45A2 に新規変異を認めた眼皮膚白皮症4型(OCA4)モロッコ人家系男児の1例. 第34回日本小児皮膚科学会, 松山; 2010年7月
  - 7) 林昌浩, 川口雅一, 穂積豊, 中野創, 澤村大輔, 鈴木民夫: 高齢で発症した dystrophic epidermolysis bullosa pruriginosa の一例. 第37回皮膚かたち研究学会学術大会, 東京; 2010年7月
  - 8) 村田壺大, 川口雅一, 片桐美之, 鈴木民夫: Dermatofibroma の一例. 第74回日本皮膚科学会東部支部学術大会, 仙台; 2010年11月
  - 9) 宮地千尋, 荒木勇太, 門馬文子, 紺野隆之, 鈴木民夫, 角田孝彦: Basosquamous cell carcinoma (BSCC) の一例. 第74回日本皮膚科学会東部支部学術大会, 仙台; 2010年11月
  - 10) 林昌浩, 村田壺大, 穂積豊, 三橋善比古, 藤田靖幸, 鈴木民夫: 臨床的に遺伝性対側性色素異常症と診断した3例の遺伝子解析. 第23回日本色素細胞学会, 東京; 2010年11月
  - 11) 阿部優子, 穂積豊, 田宮元, 鈴木民夫: 日本人女性の皮膚色と眼皮膚白皮症2型原因遺伝子の SNP との関係について. 第23回日本色素細胞学会, 東京; 2010年11月
  - 12) 河野通浩, 近藤泰輔, 鈴木民夫, 金田真理, 藤原作平, 芝木晃彦, Amarillis Sanchez-Valle, 秋田浩孝, Joseph Lam, 富田靖: 遺伝性対側性色素異常症原因遺伝子 ADAR1 の5新規変異とウイルス性大脳炎発症後に皮膚症状を発症した1例. 第23回日本色素細胞学会, 東京; 2010年11月
  - 13) Masahiro Hayashi, Ichidai Murata, Yutaka Hozumi, Yoshihiko Mitsuhashi, Yasuyuki Fujita, Tamio Suzuki: Mutation analyses of two patients with dyschromatosis symmetrica hereditaria. 第35回日本研究皮膚科学会学術大会, 和歌; 2010年12月
  - 14) Kono M, Kondo T, Suzuki T, Suganuma M, Kaneda M, Shibaki A, Fujiwara S, Akita H, Lam J, Sanchez-Valle A, Tomita Y: Four novel ADAR1 gene mutations in patients with dyschromatosis symmetrica hereditaria and a mutation in patient associated with encephalitis. 第35回日本研究皮膚科学会学術大会, 和歌; 2010年12月

### (3) 国内地方会

#### i 特別講演

- 1) 鈴木民夫: 遺伝性色素異常症の最近の話題. 日本皮膚科学会第353回福岡地方会, 久留米; 2010年7月
- 2) 鈴木民夫: 遺伝性色素異常症の最近の話題. 第67回日本皮膚科学会山梨地方会特別講演, 古名屋; 2010年12月

#### ii 一般演題

- 1) 林昌浩, 川口雅一, 穂積豊, 中野創, 澤村大輔, 鈴木民夫: 高齢で発症した dystrophic epidermolysis bullosa pruriginosa の1例. 第349回日本皮膚科学会東北六県合同地方会, 仙台; 2010年2月
- 2) 松永純, 宮地千尋, 門馬文子, 紺野隆之, 鈴木民夫: 巨大リンパ節転移を郭清後、大胸筋と広背筋を縫合、その上にメッシュスキングラフトを行って腋窩の閉鎖を行った1例. 第349回日本皮膚科学会東北六県合同地方会, 仙台; 2010年2月
- 3) 紺野隆之, 阿部優子, 鈴木民夫, Katrien Storm, Martine Biervliet, Winnie Courtens, 富田靖: SLC45A2 に新規変異を認めた眼皮膚白皮症4型(OCA4)モロッコ人家系男児の1例. 第349回日本皮膚科学会東北六県合同地方会, 仙台; 2010年2月
- 4) 林昌浩, 豊野まり子, 吉澤順子, 鈴木民夫: 陰囊部に生じた BCC. 第350回日本皮膚科学会山形地方会, 山形; 2010年4月

- 5) 門馬文子, 紺野隆之, 鈴木民夫, 松田ゆり, 佐藤誠, 本間信夫, 岡田昌彦: 結核疹を合併した川崎病の一例. 第350回日本皮膚科学会山形地方会, 山形; 2010年4月
- 6) 松永純, 佐藤真枝子, 村田老太, 鈴木民夫, 田中利治, 小関伸: 浅筋膜を茎として移動させた島状皮弁の2例. 第350回日本皮膚科学会山形地方会, 山形; 2010年4月
- 7) 吉澤順子, 林昌浩, 鈴木民夫: 足底に生じた皮膚軟骨腫の1例. 第350回日本皮膚科学会山形地方会, 山形; 2010年4月
- 8) 林昌浩, 山田真枝子, 片桐美之, 阿部優子, 鈴木民夫: 外陰部に生じた angiomofibroma の1例. 第351回日本皮膚科学会福島・山形・宮城3県合同地方会, 福島; 2010年9月
- 9) 宮地千尋, 門馬文子, 紺野隆之, 鈴木民夫: 免疫グロブリン大量静注療法 (IVIg) が有効であった水疱性類天疱瘡の1例. 第351回日本皮膚科学会福島・山形・宮城3県合同地方会, 福島; 2010年9月
- 10) 松永純, 村田老太, 藤岡美穂, 山田真枝子, 鈴木民夫, 石澤俊幸: 前額神経麻痺の静的な再建を行った基底細胞癌の1例. 第351回日本皮膚科学会福島・山形・宮城3県合同地方会, 福島; 2010年9月
- 11) 山田真枝子, 林昌浩, 片桐美之, 鈴木民夫, 佐々木五月: 指間部に生じた基底細胞癌の1例. 第352回日本皮膚科学会山形地方会, 山形; 2010年12月
- 12) 村田老太, 吉澤順子, 豊野まり子, 島貫美和, 松永純, 鈴木民夫: 外陰部に生じた巨大な基底細胞癌の一例. 第352回日本皮膚科学会山形地方会, 山形; 2010年12月
- 13) 門馬文子, 宮地千尋, 紺野隆之, 鈴木民夫, 杉木浩: Spindle SCC と鑑別を要した malignant fibrous histiocytoma. 第352回日本皮膚科学会山形地方会, 山形; 2010年12月

#### (4) 研究会

##### i 一般演題

- 1) 鈴木民夫: 遺伝性色素異常症の最近の話題. 第15回スキンケア研究会, 静岡; 2010年2月

#### (5) その他

- 1) 鈴木民夫: 遺伝性色素異常症の最近の話題. 慶應臨床遺伝セミナー, 東京; 2010年5月
- 2) 鈴木民夫: 遺伝性色素異常症の最近の話題. ポーラファルマ・シンポジウム, 和歌; 2010年6月
- 3) 鈴木民夫: あぶない薬疹. 山形市医師会学術講演会, 山形; 2010年10月
- 4) 鈴木民夫: 遺伝性色素異常症の最近の話題. 高知大学皮膚科セミナー, 高知; 2010年10月

### 3. 学会, 講演会, シンポジウム, ワークショップ等の開催

- 1) 第4回山形アレルギー・膠原病・自己免疫疾患勉強会, 山形; 2010年1月;
- 2) 第48回山形皮膚医学研究会, 山形; 2010年3月
- 3) 第350回日本皮膚科学会山形地方会, 山形; 2010年4月
- 4) 第4回Promising Dermatologist's Seminar, 山形; 2010年6月
- 5) 第5回山形アレルギー・膠原病・自己免疫疾患勉強会, 山形; 2010年7月;
- 6) 第49回山形皮膚医学研究会, 山形; 2010年9月
- 7) 第50回山形皮膚医学研究会, 山形; 2010年10月
- 8) 第5回Promising Dermatologist's Seminar, 山形; 2010年11月
- 9) 第352回日本皮膚科学会山形地方会, 山形; 2010年12月

# 腎泌尿器外科学講座

## 1. 論文

### (1) 原著

- 1) Yoshihiko Tomita, Nobuo Shinohara, Takeshi Yuasa, Hiroyuki Fujimoto, Masashi Niwakawa, Soichi Mugiya, Tsuneharu Miki, Hirotsugu Uemura, Norio Nonomura, Masayuki Takahashi, Yoshihiro Hasegawa, Naoki Agata, Brett Houk, Seiji Naito and Hideyuki Akaza : Overall Survival and Updated Results from a Phase II Study of Sunitinib in Japanese Patients with Metastatic Renal Cell Carcinoma. Japanese Journal of Clinical Oncology. 2010
- 2) Kato T, Bilim V, Yuuki K, Naito S, Yamanobe T, Nagaoka A, Yano I, Akaza H, Tomita Y. Bacillus Calmette-Guerin and BCG Cell Wall Skeleton Suppressed Viability of Bladder Cancer Cells in Vitro. ANTICANCER RESEARCH. 2010 Oct ; 30 : 4089-4096
- 3) Sei Naito, Naoki Yamamoto, Tatsuya Takayama, Masatoshi Muramoto, Nobuo Shinohara, Kenryu Nishiyama, Atsushi Takahashi, Ryo Maruyama, Takashi Saika, Senji Hoshi, Kazuhiro Nagao, Shingo Yamamoto, Issei Sugimura, Hirotsugu Uemura, Shigehiko Koga, Masayuki Takahashi, Fumio Ito, Seiichiro Ozono, Toshiro Terachi, Seiji Naito, Yoshihiko Tomita: Prognosis of Japanese Metastatic Renal Cell Carcinoma Patients in the Cytokine Era : A Cooperative Group Report of 1463 Patients. EUROPEAN UROLOGY. 2010 ; 57 : 317-326
- 4) Naito S, Bilim V, Yuuki K, Ugolkov A, Motoyama T, Nagaoka A, Kato T, Tomita Y. Glycogen Synthase kinase-3 $\beta$  : A Prognostic Marker and a Potential Therapeutic Target in Human Bladder Cancer. Clin Cancer Res. 2010 Nov 1 ; 16(21) : 5124-32
- 5) Hideyuki Akaza, Koji Kawai, Taiji Tsukamoto, Tomoaki Fujioka, Yoshihiko Tomita, Tadaichi Kitamura, Seiichiro Ozono, Tsuneharu Miki, Seiji Naito, Hitoshi Zembutsu and Yusuke Nakamura: Successful Outcomes Using Combination Therapy of Interleukin-2 and Interferon- $\alpha$  for Renal Cell Carcinoma Patients with Lung Metastasis. Japanese Journal of Clinical Oncology. 2010
- 6) Hinotsu Shiro, Akaza Hideyuki, Naito Seiji, Ozono Seiichiro, Sumiyoshi Yoshiteru, Noguchi Sumio, Nagamori Satoshi, Terai Akito, Nasu Yasutomo, Kume Haruki, Tomita Yoshihiko, Tanaka Yoshinori, Samma Shoji, Uemura Hirotsugu, Koga Hirofumi, Tsushima Tomoyasu : Maintenance Therapy with Bacillus Calmette - Guerin (BCG) Connaught Strain Clearly Prolongs Recurrence - free Survival Following Transurethral . BJU International. 2010
- 7) OSAMU MIZUMORI, HITOSHI ZEMBUTSU, YOICHIRO KATO, TATSUHIKO TSUNODA, FUYUKI MIYA, TAKASHI MORIZONO, TAIJI TSUKAMOTO, TOMOAKI FUJIOKA, YOSHIHIKO TOMITA, TADAICHI KITAMURA, SEIICHIRO OZONO, TSUNEHARU MIKI, SEIJI NAITO, HIDEYUKI AKAZA and YUSUKE NAKAMURA : Identification of a set of genes associated with response to interleukin-2 and interferon- $\alpha$  combination therapy for renal cell carcinoma through genome-wide gene expression profiling. EXPERIMENTAL AND THERAPEUTIC MEDICINE 1. 2010 ; 955-961
- 8) Seiji Naito, Yoshihiko Tomita, Sun Young Rha, Hirotsugu Uemura, Mototsugu Oya, He Zhi Song, Li Han Zhong and Mohamed Ibrahim Bin A Wahid : Kidney Cancer Working Group Report. Japanese Journal of Clinical Oncology. 2010 ; 40(Supplement 1)
- 9) 武藤明紀, 加藤智幸, 長岡明, 富田善彦 : 腹腔鏡下腎部分切除術における術後腎機能に影響を与える因子の検討. 泌尿紀要. 2010 ; 56 : 1-4
- 10) 柿崎弘, 黒田悠太, 柴崎智宏, 中野裕子, 金子尚嗣, 細谷法之, 櫻井俊彦, 内藤整, 武藤明紀, 加藤智幸, 富田善彦 : 山形県庄内地方における泌尿器科新患者の癌告知に関する 14 年間の意識調査. 日本泌尿器科学会雑誌. 2010 ; 101(4)

### (2) 総説

- 1) 富田善彦:特集 EAU/AUA/ASCO における泌尿器腫瘍のトピックス・進歩 2010 腎細胞癌治療. 泌尿器外科. 2010 ; 23(10) : 1405-1410

- 2) 古家琢也, 米山高弘, 橋本安弘, 神村典孝, 吉川和暁, 加藤智幸, 富田善彦, 大山力: シンポジウム 5 浸潤性膀胱癌周辺の話題 3. 新膀胱 up-to-date. 泌尿器外科. 2010 ; 23(臨増) : 455-457
- 3) 西田隼人, 富田善彦: 特集: 腎機能の評価法 ドップラーによる腎血流の評価. 腎臓. 2010 ; 33(2) : 104-108
- 4) 富田善彦: 泌尿器科最新トピックス第 61 号 分子標的薬治療における手足症候群. 泌尿器ケア. 2010 ; 15(2) : 56
- 5) 志田敏宏, 小嶋文良, 豊口禎子, 加藤智幸, 富田善彦, 白石正: MVAC 療法の骨髄抑制発現に対する NSAIDs の影響. 医薬品相互作用研究. 2010 ; 33(3)
- 6) 槻木真明, 富田善彦: がん薬物療法のガイドライン 泌尿器がん. 腫瘍内科. 2010 ; 5(1) : 66-73
- 7) 富田善彦: 座談会 進行性腎癌に対するサイトカイン療法の有用性とその可能性. 診療と新薬. 2010 ; 47
- 8) 富田善彦: 腎・泌尿器癌 -基礎・臨床研究のアップデート-. 日本臨床. 2010 ; 68(4) : 145-151
- 9) 加藤智幸, 富田善彦: 特集 Practice 小径腎腫瘍の診断と治療 Update 小径腎腫瘍に対する治療法選択の指針. Urology View. 2010 ; 8(4) : 35-40
- 10) 富田善彦: A SPECIAL EDITION 7 腎がんに対する分子標的薬. BIO Clinica. 2010 ; 25(11) : 34-39
- 11) 富田善彦: 特集 腎腫瘍 up to date 2010s 腎腫瘍の臨床 -腎癌に対する治療, 分子標的薬を中心に-. 病理と臨床. 2010 ; 28(10) : 1022-1028
- 12) 富田善彦: Prognosis of Japanese MI-RCC in Cytokine Era. 泌尿器がん治療フォーラム 2009. 2010

### (3) 著書

- 1) 内藤整, 富田善彦: II Topics of RCC -分子標的治療の最前線- 8 New drug 紹介. Year Book of RCC 2010. 2010 ; 127-137
- 2) 長岡明, 富田善彦: 尿管形成・再建術 Boari 法. Urologic Surgery シリーズ 6 尿路変向・再建術. 2010 ; 154-157
- 3) 西田隼人: 透析技術 バスキュラーアクセス. 臨床工学講座 生体機能代行装置学 血液浄化療法装置 (竹澤真吾, 出淵靖志編). 医歯薬出版. 2010 ; 93-104

### (4) その他

- 1) 富田善彦: Area Review 35th ESMO 腎細胞がん テムシロリウムはアジア人でも有用 柔軟な考え方で投与していくことが大切. 日経メディカル Cancer Review. 2010 ; 第 21 号特別編集版
- 2) 堀江重郎, Thomas E. Hutson, 江藤正俊, 富田善彦, 大家基嗣, 野々村祝夫, 植村天受, 木村剛, 羽瀧友則: 座談会 腎細胞癌領域における治療戦略と今後の展望. 日経メディカル Cancer Review. 2010 ; 第 19 号同封別冊
- 3) 赤座英之, 大園誠一郎, 金山博臣, 富田善彦, 舛森直哉, 高橋俊二: 泌尿器外科座談会 エベロリムス (アフィニトール) による腎細胞癌の治療戦略 (前編). 泌尿器外科. 2010 ; 23(11) : 1591-1599
- 4) 赤座英之, 大園誠一郎, 金山博臣, 富田善彦, 舛森直哉, 高橋俊二: 泌尿器外科座談会 エベロリムス (アフィニトール) による腎細胞癌の治療戦略 (後編). 泌尿器外科. 2010 ; 23(12) : 1731-1737
- 5) 富田善彦, 金山博臣, 植村天受, 篠原信雄: I Round Table Discussion Experts Debate on RCC Surgery. Year Book of RCC 2010. 2010 ; 11-36
- 6) 富田善彦, Daniel George, 大家基嗣, 木村剛: 座談会 転移性腎細胞がん治療における予後因子・予測因子 -ASCO2010 の最新知見を交えて-. 泌尿器外科. 2010 ; 23(10) : 1425-1433
- 7) 成澤貴史, 細谷法之, 櫻井俊彦, 真島英太, 松木真吾, 阿部寛, 富田善彦: 膿瘍形成を伴う腎感染症の検討. 鶴岡市立荘内病院医学雑誌. 2010 ; 21 別冊
- 8) 黒田悠太, 柴崎智宏, 中野裕子, 金子尚嗣, 柿崎弘, 富田善彦: 下行結腸に炎症の波及した黄色肉芽腫性腎盂腎炎の 1 例. 山形県病医誌. 2010 ; 44(1) 別冊

### (5) 症例報告

- 1) 櫻井俊彦, 加藤智幸, 長岡明, 金子尚嗣, 柿崎弘, 富田善彦: 膀胱壁に発生したと考えられる消化管間質腫瘍 (GIST). 臨床泌尿器科. 2010 ; 64(1) : 67-70
- 2) 成澤貴史, 細谷法之, 櫻井俊彦, 真島英太, 松木真吾, 阿部寛, 富田善彦: 膿瘍形成を伴う腎感染症の検討. 鶴岡市立荘内病院医学雑誌. 2010 ; 21 別冊
- 3) 黒田悠太, 柴崎智宏, 中野裕子, 金子尚嗣, 柿崎弘, 富田善彦: 下行結腸に炎症の波及した黄色肉芽腫性腎盂腎炎の 1 例. 山形県病医誌. 2010 ; 44(1) 別冊

## 2. 学会報告

### (1) 国際学会

#### i 一般演題

- 1) Yoshihiko Tomita: Key predictive factors of axitinib (AG-013736)-induced proteinuria and efficacy: a Japanese phase II study in patients with cytokine-refractory metastatic renal cell cancer (mRCC). 35th European Society for Medical Oncology, Milan, Italy; Oct 2010
- 2) Yoshihiko TOMITA: Treatment strategy for renal cell cancer 2010. 9th International Conference of The Asian Clinical Oncology Society, Gifu, Japan; Aug 2010
- 3) H. Kawazoe, V. Bilim, K. Yuuki, S. Naito, A. Muto, Y. Tomita: Effect of GSK-3 inhibition in vitro and in vivo on antitumor effect of sorafenib in renal cell carcinoma (RCC). ASCO, Chicago; Jun 2010
- 4) T. Sakurai, V. Bilim, K. Yuuki, M. Tsukigi, A. V. Ougolkov, Y. Yomita: Expression of enhancer of zeste homolog 2 in renal cell carcinoma and relationship to downregulation of micro RNA-101. ASCO, Chicago; Jun 2010
- 5) Toshihiko Sakurai, Vladimir Bilim, Kaori Yuuki, Masaaki Tsukigi, Yoshihiko Tomita: ENHANCER OF ZESTE HOMOLOG 2 IS OVEREXPRESSED IN RENAL CELL CARCINOMA POSSIBLY DUE TO DOWNREGULATION OF MICRORNA-101. AUA Annual Meeting, San Francisco, USA; May 2010
- 6) Tomoyuki Kato, Mayu Yagi, Atsushi Yamagishi, Noriyuki Hosoya, Toshihiko Sakurai, Hayato Nishida, Sei Naito, Masaaki Tsukigi, Hisahi Kawazoe, Akinori Muto, Akira Nagaoka, Yoshihiko Tomita: DIRECT ANTITUMOR EFFECT OF BACILLUS CALMETTE-GUERIN IN HIGH GRADE UROTHELIAL CANCER CELLS WHICH EXPRESS VLA5 (ALPHA 5 BETA 1 INTEGRIN). AUA Annual Meeting, San Francisco, USA; May 2010

### (2) 国内の学会

#### i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 富田善彦: 尿路上皮癌に対する全身化学療法とその支持療法の実践. 第98回日本泌尿器科学会総会 教育セミナー22, 岩手; 2010年4月
- 2) 加藤智幸, 富田善彦: 腎細胞癌患者に対する分子標的薬による Presurgical 療法—コンセプトと我々の経験から—. 第98回日本泌尿器科学会総会, 岩手; 2010年4月
- 3) 富田善彦: 本邦における転移性腎がんの治療—Over view—. 第48回日本癌治療学会学術集会, 京都; 2010年10月

#### ii 一般演題

- 1) 中野裕子, 長岡明, 柴崎智宏, 金子尚嗣, 柿崎弘, 尾形吉彦, 藤原博通, 矢口博理, 堀米亨, 平野順治, 平野和彦, 小関清夫, 富田善彦: 夜間頻尿を有する OAB 患者に対するイミダフェナシンの有用性の検討 (第三報) —F' Y' USION STUDY—. 第98回日本泌尿器科学会総会, 岩手; 2010年4月
- 2) 長岡明, 八木真由, 山岸敦史, 細谷法之, 櫻井俊彦, 西田隼人, 内藤整, 槻木真明, 川添久, 武藤明紀, 加藤智幸, 菊地憲明, 富田善彦: 径直腸超音波ガイド鏡視下小切開神経温存根治的前立腺全摘除術後排尿機能および性機能の検討. 第98回日本泌尿器科学会総会, 岩手; 2010年4月
- 3) 加藤智幸, 山岸敦史, 八木真由, 細谷法之, 櫻井俊彦, 西田隼人, 内藤整, 槻木真明, 武藤明紀, 長岡明, 富田善彦: TKI 投与後に開放手術を施行した腎細胞癌症例の検討. 第98回日本泌尿器科学会総会, 岩手; 2010年4月
- 4) 川添久, 八木真由, 山岸敦史, 細谷法之, 櫻井俊彦, 西田隼人, 内藤整, 槻木真明, 武藤明紀, 加藤智幸, 長岡明, 富田善彦: 当院における表在性膀胱癌に対する re-YUR-Bt の臨床的検討. 第98回日本泌尿器科学会総会, 岩手; 2010年4月
- 5) 黒田悠太, 柴崎智宏, 中野裕子, 金子尚嗣, 柿崎弘, 富田善彦: 男性ホルモン除去療法における LHRH アナログの投与法に関する考察. 第98回日本泌尿器科学会総会, 岩手; 2010年4月
- 6) 山岸敦史, 八木真由, 櫻井俊彦, 細谷法之, 内藤整, 西田隼人, 槻木真明, 川添久, 武藤明紀, 加藤智幸, 長岡明, 富田善彦: 当院における腎盂尿管癌の clinical T stage と pathological T stage の乖離について. 第98回日本泌尿器科学会総会, 岩手; 2010年4月

- 7) 志田敏宏, 小嶋文良, 豊口禎子, 白石正, 加藤智幸, 富田善彦: 尿路上皮癌に対する MVAC 療法による副作用発現への NSAIDs の影響. 第 98 回日本泌尿器科学会総会, 岩手; 2010 年 4 月
- 8) 槻木真明, 八木真由, 山岸敦史, 細谷法之, 櫻井俊彦, 西田隼人, 内藤整, 川添久, 武藤明紀, 加藤智幸, 長岡明, 富田善彦, 貞弘光章: スニチニブによるネオアジュバント療法後の下大静脈血栓を伴う腎癌の手術経験の 1 例. 第 98 回日本泌尿器科学会総会, 岩手; 2010 年 4 月
- 9) 八木真由, 山岸敦史, 細谷法之, 櫻井俊彦, 西田隼人, 内藤整, 槻木真明, 川添久, 武藤明紀, 加藤智幸, 長岡明, 富田善彦: 山形大学における前立腺 16 ヶ所生検の部位別癌検出率と有用性の検討. 第 98 回日本泌尿器科学会総会, 岩手; 2010 年 4 月
- 10) 細谷法之, 山岸敦史, 八木真由, 櫻井俊彦, 西田隼人, 内藤整, 川添久, 槻木真明, 武藤明紀, 加藤智幸, 長岡明, 富田善彦: 当科における T1 腎腫瘍に対する手術式の選択と outcome. 第 98 回日本泌尿器科学会総会, 岩手; 2010 年 4 月
- 11) 武藤明紀, 八木真由, 山岸敦史, 櫻井俊彦, 細谷法之, 内藤整, 西田隼人, 槻木真明, 川添久, 加藤智幸, 長岡明, 富田善彦: 当科における副腎腫瘍手術の実際. 第 98 回日本泌尿器科学会総会, 岩手; 2010 年 4 月
- 12) 櫻井俊彦, 八木真由, 山岸敦史, 細谷法之, 内藤整, 西田隼人, 槻木真明, 川添久, 武藤明紀, 加藤智幸, 長岡明, 富田善彦: 腎癌の分子標的薬の治療効果判定における RECIST と Choi criteria の比較. 第 98 回日本泌尿器科学会総会, 岩手; 2010 年 4 月
- 13) 石井達矢, 長浦主税, 菅野秀典, 鈴木仁, 一柳統, 富田善彦: 膀胱原発小細胞癌に対して CPT-11 と CBDCA による全身化学療法を施行した血液透析患者の 1 例. 第 98 回日本泌尿器科学会総会, 岩手; 2010 年 4 月
- 14) 内藤整, 山岸敦史, 八木真由, 細谷法之, 櫻井俊彦, 西田隼人, 槻木真明, 川添久, 武藤明紀, 加藤智幸, 長岡明, 富田善彦: 山形大学における腎癌分子標的薬治療の使用経験. 第 98 回日本泌尿器科学会総会, 岩手; 2010 年 4 月
- 15) 西田隼人, 政金生人, 小鹿雅隆, 谷田秀樹, 伊東稔, 白澤賢, 江刺志穂, 吉岡淳子, 富田善彦: 末梢循環と微小炎症に及ぼす透析膜材質の検討. 第 56 回日本透析医学会学術集会, 神戸; 2010 年 6 月
- 16) 川添久, ビリウムウラジミル, 内藤整, 富田善彦: 腎細胞がんにおけるソラフェニブの抗腫瘍効果に対する GSK-3 阻害の影響. 第 69 回日本癌学会学術総会, 大阪; 2010 年 9 月
- 17) 櫻井俊彦, ビリウムウラジミル, 結城加織, 槻木真明, 富田善彦: 腎細胞癌における Enhancer of zeste homolog 2 の発現上昇は, microRNA101 の発現低下が関与している. 第 69 回日本癌学会学術総会, 大阪; 2010 年 9 月
- 18) 長岡明, 櫻井俊彦, 細谷法之, 菅野秀典, 黒田悠太, 真島英太, 西田隼人, 内藤整, 槻木真明, 川添久, 加藤智幸, 富田善彦: マンチェスター手術後膀胱癌に対する TVM-A 手術施工時に膀胱損傷を来した 1 例. 第 17 回日本排尿機能学会, 山梨; 2010 年 10 月
- 19) 一柳統, 和泉卓司, 石井達矢, 長岡明, 加藤智幸, 富田善彦: 当院における Storz 社製 modulith SLX-MX を用いた上部尿路結石に対する最近の治療成績. 第 24 回日本 Endourology・ESWL 学会総会, 京都; 2010 年 10 月
- 20) 石井達矢, ビリウムウラジミル, 山岸敦史, 鈴木仁, 富田善彦: 当院における flexible YUL(f-TUL) の治療経験. 第 24 回日本 Endourology・ESWL 学会総会, 京都; 2010 年 10 月
- 21) 川添久, 細谷法之, 櫻井俊彦, 真島英太, 西田隼人, 内藤整, 槻木真明, 加藤智幸, 長岡明, 富田善彦: 山形大学における T1 腎腫瘍に対する腹腔鏡下手術の成績. 第 24 回日本 Endourology・ESWL 学会総会, 京都; 2010 年 10 月
- 22) 櫻井俊彦: 腎癌の分子標的薬の治療効果判定における RECIST と Choi criteria の比較. 第 48 回日本癌治療学会学術集会, 京都; 2010 年 10 月
- 23) 山辺拓也: 山形県立河北病院における Stage D 前立腺癌の予後の検討. 第 48 回日本癌治療学会学術集会, 京都; 2010 年 10 月
- 24) 加藤智幸: 腎細胞癌に対する分子標的薬による Presurgical 療法の経験. 第 48 回日本癌治療学会学術集会, 京都; 2010 年 10 月
- 25) 菅野秀典: 高齢者の浸潤性膀胱癌における TUR-Bt+放射線療法の治療成績. 第 48 回日本癌治療学会学術集会, 京都; 2010 年 10 月

- 26) 細谷法之：山形大学における尿路上皮癌に対する化学療法 その成績と副作用対策. 第48回日本癌治療学会学術集会, 京都; 2010年10月

### (3) 国内地方会

#### i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 内藤整：山形大学における臨床研究 一進行性腎癌に対する2つの多施設共同研究 (IAT療法第II相試験, CROSS-J-RCC) と、開業医と連携した排尿障害のstudy (FUSION study)。そして、NGO (JUN-net)。第42回 日本泌尿器科学会東北地方会, 弘前; 2010年5月

#### ii 一般演題

- 1) 山岸淳史, 成澤貴史, 黒田悠太, 菅野秀典, 櫻井俊彦, 細谷法之, 内藤整, 西田隼人, 真島英太, 川添久, 槻木真明, 加藤智幸, 長岡明, 富田善彦：成人ウイルス腫瘍の1例. 第42回 日本泌尿器科学会東北地方会, 弘前; 2010年5月
- 2) 沼畑健司, 津久井秀則, 林夏穂, 山室拓, 菅野理, 星宣次：小児馬蹄腎結石治療の一例. 第42回 日本泌尿器科学会東北地方会, 弘前; 2010年5月
- 3) 一柳統, 和泉卓司：当院における上部尿路結石に対するf-TUL手術導入の初期経験. 第42回 日本泌尿器科学会東北地方会, 弘前; 2010年5月
- 4) 成澤貴史, 黒田悠太, 菅野秀典, 櫻井俊彦, 細谷法之, 内藤整, 西田隼人, 真島英太, 川添久, 槻木真明, 加藤智幸, 長岡明, 富田善彦：HIVキャリアに発症した精巣悪性リンパ腫の1例. 第42回 日本泌尿器科学会東北地方会, 弘前; 2010年5月
- 5) 山室拓, 津久井秀則, 林夏穂, 沼畑健司, 菅野理, 星宣次：前立腺生検後の敗血症ショックの1例. 第42回 日本泌尿器科学会東北地方会, 弘前; 2010年5月
- 6) 津久井秀則, 林夏穂, 山室拓, 沼畑健司, 菅野理, 星宣次：副腎のう胞例の検討. 第42回 日本泌尿器科学会東北地方会, 弘前; 2010年5月
- 7) 長浦主税, 八木真由, 柴崎智宏, 金子尚嗣, 柿崎弘, 富田善彦：長期尿道カテーテル留置患者に生じた膀胱回腸瘻の1例. 第42回 日本泌尿器科学会東北地方会, 弘前; 2010年5月
- 8) 菅野秀典：妊娠合併Cushing症候群に対し腹腔鏡下右副腎摘除術を施行した1例. 第243回 日本泌尿器科学会東北地方会, 山形; 2010年9月
- 9) 黒田悠太：副腎外パラガンクリオーマの1例. 第243回 日本泌尿器科学会東北地方会, 山形; 2010年9月
- 10) 長浦主税, 八木真由, 柴崎智宏, 金子尚嗣, 柿崎弘, 富田善彦：Low grade, low stage 膀胱腫瘍から癌性腹膜炎を生じた2例. 第243回 日本泌尿器科学会東北地方会, 山形; 2010年9月
- 11) 石井達矢, ビリーム ウラジミル, 山岸敦史, 鈴木仁, 富田善彦：急性腎盂腎炎を合併した尿管結石症例の検討. 第243回 日本泌尿器科学会東北地方会, 山形; 2010年9月

### (4) 研究会

#### i 一般演題

- 1) ビリーム ウラジミル, 長浦主税, 菅野秀典, 山岸敦史, 石井達矢, 鈴木仁：最近経験した腎良性腫瘍の2例. 第94回山形泌尿器科研究会, 山形; 2010年6月
- 2) 一柳統, 和泉卓司, 長岡明, 富田善彦：前立腺全摘術後の膀胱尿道吻合部狭窄に対して径尿道的バルーン拡張術を施行した1症例 X-フォース U30®の使用経験. 第94回山形泌尿器科研究会, 山形; 2010年6月
- 3) 柴崎智宏, 長浦主税, 八木真由, 金子尚嗣, 柿崎弘, 川村裕子, 石井達矢, 三戸部勝幸, 黒田悠太, 富田善彦：当科における, 過去2年間の手術の検討. 第94回山形泌尿器科研究会, 山形; 2010年6月
- 4) 内藤整：Prognosis of Japanese Metastatic Renal Cell Carcinoma Patients in the Cytokine era: A Cooperative Group Report of 1463 Patients. 第94回山形泌尿器科研究会, 山形; 2010年6月
- 5) 黒田悠太：下行結腸に炎症の波及した黄色肉芽腫性腎盂腎炎の1例. 第94回山形泌尿器科研究会, 山形; 2010年6月
- 6) 西田隼人, 政金生人, 小鹿雅隆, 谷田秀樹, 伊東稔, 白澤賢, 江刺志穂, 吉岡淳子, 富田善彦：末梢循環と微小炎症に及ぼす透析膜材質の検討. 第11回 Vitamembrane 研究会, 東京; 2010年7月
- 7) 内藤整：腎細胞癌の危険因子と予防. 第19回日本腎泌尿器疾患予防医学研究会, 千葉; 2010年7月
- 8) 西田隼人, 富田善彦, 長岡明, 加藤智彦, 川添久, 槻木真明, 内藤整, 櫻井俊彦, 真島英太, 細谷法之,



- 菅野秀典, 黒田悠太, 成澤貴史, 高橋公太: Parapelvic cyst を伴う腎臓の提供により施行した生体腎移植の一例. 第 41 回山形腎不全研究会, 山形; 2010 年 10 月
- 9) 加藤智幸, 成澤貴史, 黒田悠太, 菅野秀典, 真島英太, 細谷法之, 櫻井俊彦, 西田隼人, 内藤整, 槻木真明, 川添久, ビリーム・ウラジミル, 長岡明, 富田善彦: 当科における副腎腫瘍手術の実際. 第 30 回山形内分泌代謝研究会, 山形; 2010 年 10 月
  - 10) 山辺拓也, 梶沼陽: 県立河北病院における Stage D 前立腺癌の予後の検討. 第 95 回山形泌尿器科研究会, 山形; 2010 年 10 月
  - 11) 大地宏, 橋本透: 経会陰前立腺生検における有効な局所麻酔法の試み. 第 95 回山形泌尿器科研究会, 山形; 2010 年 10 月
  - 12) 山岸敦史, ビリーム ウラジミル, 石井達矢, 鈴木仁: 膀胱悪性リンパ腫の一例. 第 95 回山形泌尿器科研究会, 山形; 2010 年 10 月
  - 13) 金子尚嗣, 長浦主税, 八木真由, 柴崎智宏, 柿崎弘, 川村裕子: 当院における HoLEP と TUR-P の比較. 第 95 回山形泌尿器科研究会, 山形; 2010 年 10 月
  - 14) 八木真由, 長浦主税, 柴崎智宏, 金子尚嗣, 柿崎弘: 腹水細胞診で尿路上皮癌と誤診された膀胱癌の一例. 第 95 回山形泌尿器科研究会, 山形; 2010 年 10 月
  - 15) 川村裕子, 阿部寛, 三浦道治: 尿路平滑筋腫の 2 例. 第 95 回山形泌尿器科研究会, 山形; 2010 年 10 月
  - 16) 成澤貴史, 菅野秀典, 黒田悠太, 櫻井俊彦, 細谷法之, 真島英太, 内藤整, 西田隼人, 槻木真明, 川添久, 加藤智幸, 長岡明, 富田善彦: 診断に苦慮した尿路結核の一例. 第 95 回山形泌尿器科研究会, 山形; 2010 年 10 月
  - 17) 一柳統, 和泉卓司: 当院における上部尿路結石に対する f-TUL の経験 導入後 1 年間の治療成績. 第 95 回山形泌尿器科研究会, 山形; 2010 年 10 月
  - 18) 長岡明, 成澤貴史, 黒田悠太, 菅野秀典, 櫻井俊彦, 細谷法之, 真島英太, 内藤整, 西田隼人, 槻木真明, 川添久, 加藤智幸, 富田善彦: 山形大学医学部及び関連施設における女性骨盤臓器手術の初期経験. 第 95 回山形泌尿器科研究会, 山形; 2010 年 10 月

#### (5) その他

- 1) 富田善彦: 今後の静脈血栓塞栓の予防および治療のあり方について. グループフォーカスインタビュー, 東京; 2010 年 1 月
- 2) 長岡明: 共同研究 F`Y`USION Study について. 第 5 回山形臨床泌尿器科懇話会, 山形; 2010 年 1 月
- 3) 細谷法之: 2009 年山形大学医学部附属病院外来紹介患者の診療について. 第 5 回山形臨床泌尿器科懇話会, 山形; 2010 年 1 月
- 4) 富田善彦: 分子標的薬時代の腎細胞癌のマネジメント学術講演会, 東京; 2010 年 1 月
- 5) 富田善彦: 免疫療法の有用性の座談会, 東京; 2010 年 1 月
- 6) 富田善彦: 知っておきたい前立腺がん. 男性の健康づくり教室, 天童; 2010 年 1 月
- 7) 長岡明: 外来初診患者における OAB と睡眠障害の検討. 夜間頻尿を考える会, 福岡; 2010 年 2 月
- 8) 富田善彦: 腎細胞癌の薬物療法. 腎癌サミット, 札幌; 2010 年 2 月
- 9) 富田善彦: 第 24 回新潟泌尿器腫瘍セミナー, 新潟; 2010 年 2 月
- 10) 富田善彦: RCC に関するアドバイザー会議, 東京; 2010 年 3 月
- 11) 富田善彦: 腎細胞癌の薬物療法 2010, 第 14 回山口臨床泌尿器科医会, 山口; 2010 年 3 月
- 12) 櫻井俊彦: 山形前立腺癌化学療法講演会, 山形; 2010 年 3 月
- 13) 長岡明: 山形前立腺癌化学療法講演会, 山形; 2010 年 3 月
- 14) 富田善彦: CORE 2010 Review Meeting, イスタンブール; 2010 年 3 月
- 15) 長岡明: 夜間頻尿を有する OAB 患者に対するイミダフェナシンの治療効果. 南陽市医師会学術講演会, 南陽; 2010 年 3 月
- 16) 富田善彦: 第 6 回 NEXT THERAPY FOR ADOVANCED RCC, 東京; 2010 年 3 月
- 17) 富田善彦: SUTENT アドバイザリー会議, 山形; 2010 年 4 月
- 18) 富田善彦: 尿路上皮癌に対する全身化学療法とその支持療法の実際. 第 98 回日本泌尿器科学会総会教育セミナー-22, 盛岡; 2010 年 4 月
- 19) 内藤整: 山形大学における分子標的薬治療における実際. 第 2 回山形癌薬物治療講演会, 山形; 2010 年 5 月

- 20) 富田善彦：兵庫腎癌フォーラム，神戸；2010年5月
- 21) 富田善彦：腎細胞癌の薬物療法. RCC Expert Meeting in SENDAI, 仙台；2010年5月
- 22) 富田善彦：腎細胞癌に対する薬物療法. 腎細胞癌におけるステートメント最近の知見, 旭川；2010年5月
- 23) 富田善彦：LEAD Summit VIII, イスタンブール；2010年6月
- 24) 富田善彦：第2回Urological Cancer Round Meeting, 仙台；2010年6月
- 25) 富田善彦：AVE0005/TCD10794 効果・安全性評価委員会, 東京；2010年7月
- 26) 内藤整：第19回日本腎泌尿器疾患予防医学研究会 シンポジウム, 千葉；2010年7月
- 27) 富田善彦：Renal Cell Carcinoma Meeting in Nara 2010, 奈良；2010年7月
- 28) 加藤智幸：開腹腎部分切除術 制癌性と腎機能温存を目指して. Next generation urology forum in Hirosaki, 弘前；2010年7月
- 29) 富田善彦：Chinese conference on Medical Oncology セミナー, 中国；2010年7月
- 30) 富田善彦：アフィニートール錠発売記念学術講演会, 仙台；2010年7月
- 31) 内藤整：アフィニートール錠発売記念学術講演会, 仙台；2010年8月
- 32) 富田善彦：アフィニートール錠発売記念講演会, 名古屋；2010年8月
- 33) 加藤智幸：泌尿器がん治療フォーラム プログラム編集委員会, 東京；2010年8月
- 34) 富田善彦：第5回Basic Urology Research Seminar, 長野；2010年8月
- 35) 富田善彦：第9回アジア臨床腫瘍学会 学術集会, 岐阜；2010年8月
- 36) 富田善彦：第14回北陸腎癌研究会, 金沢；2010年9月
- 37) 富田善彦：RCC Forum in Sendai 2010, 仙台；2010年9月
- 38) 加藤智幸：RCC Forum in Sendai 2010, 仙台；2010年9月
- 39) 富田善彦：腎細胞癌薬物治療の up to date 2010. 第75回日本泌尿器科学会東部総会, 栃木；2010年9月
- 40) 富田善彦：TV会議によるメディカルオンコロジーカンファレンステーマ「分子標的治療のモデル腫瘍、腎細胞癌。ー治療戦略の変化について」。がん診療施設情報ネットワーク (TV 会議) におけるカンファレンス (MOC), 山形；2010年10月
- 41) 長岡明：前立腺肥大症の新たな治療展開. 米沢市医師会学術講演会, 米沢；2010年10月
- 42) 富田善彦：第24回E E学会, 京都；2010年10月
- 43) 富田善彦：腎癌免疫化学療法研究会, 京都；2010年10月
- 44) 富田善彦：第62回日本泌尿器科学会西日本総会教育セミナー3, 鹿児島；2010年11月
- 45) 富田善彦：過活動膀胱の実態と治療 座談会, 山形；2010年11月
- 46) 長岡明：過活動膀胱の実態と治療 座談会, 山形；2010年11月
- 47) 富田善彦：Nexavar Symposium2010, 東京；2010年11月
- 48) 長岡明：前立腺肥大症の新たな治療展開, 山形市プライマリケア BPH 勉強会, 山形；2010年11月
- 49) 富田善彦：「腎細胞癌の薬物療法」。長崎腎がん治療セミナー, 長崎；2010年11月
- 50) 富田善彦：「腎細胞癌の治療戦略2010」。沖縄県腎がん講演会, 沖縄；2010年11月
- 51) 富田善彦：第33回青森県泌尿器科研究会, 青森；2010年11月
- 52) 富田善彦：精巣腫瘍セミナーin 米沢, 米沢；2010年11月
- 53) 長岡明：前立腺肥大症の新たな治療展開. 庄内アボルブ発売1周年記念講演会, 酒田；2010年11月
- 54) 富田善彦：講演「女性の健康づくり」～知っておきたい女性の尿失禁～. 女性の健康づくり教室, 天童；2010年12月

### 1. 論文

#### (1) 原著

- 1) Kashiwagi Y, Horie K, Kanno C, Inomata M, Imamura T, Kato M, Yamamoto T, Yamashita H: TGF- $\beta$  type II receptor mRNA in retinoblastoma cell lines is induced by Trichostatin. *Invest Ophthalmol Vis Sci* 2010 ;51:679-85
- 2) Sone H, Tanaka S, Iimuro S, Tanaka S, Oida K, Yamasaki Y, Oikawa S, Ishibashi S, Katayama S, Yamashita H, Ito H, Yoshimura Y, Ohashi Y, Akanuma Y, Yamada N: Long-Term Lifestyle Intervention Lowers Incidence of Stroke in Japanese Patients with Type 2 Diabetes: Nationwide Multicenter Randomised Controlled Trial. The Japan Diabetes Complications Study (JDCS). *Diabetologia* 2010;53(3):419-28
- 3) Kashiwagi Y, Nishitsuka K, Namba H, Kamiyori M, Takamura H, Yamashita H: Cloning and characterization of cell strains derived from human corneal stroma and sclera. *Jpn J Ophthalmol* 2010;54:74-80
- 4) Kanno M, Nagasawa M, Suzuki M, Yamashita H : Peripapillary retinal nerve fiber layer thickness in normal Japanese eyes measured with optical coherence tomography. *Jpn J Ophthalmol* 2010 ;54:36-42
- 5) Nakano S, Yamamoto T, Kirii E, Abe S, Yamashita H: Steroid eye drop treatment (difluprednate ophthalmic emulsion) is effective in reducing refractory diabetic macular edema. *Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol* 2010;248(6):805-10
- 6) Tanabe Y, Kawasaki R, Wang J, Wong T, Mitchell P, Daimon M, Oizumi T, Kato T, Kawata S, Kayama T, Yamashita H : Retinal arteriolar narrowing predicts 5-year risk of hypertension in Japanese people: the Funagata Study. *Microcirculation* 2010;17:94-102
- 7) Tojo N, Kashiwagi Y, Yamamoto S, Yamamoto T, Yamashita H: The in vitro response of human retinal endothelial cells to cytokines and other chemically-active agents is altered by co-culture with vitreous-derived hyalocytes. *Acta Ophthalmologica* 2010;88(3):66-72
- 8) Kashiwagi Y, Kato N, Sassa T, Nishitsuka K, Yamamoto T, Takamura H, Yamashita H: Cotylenin A inhibits cell proliferation and induces apoptosis and PAX6 mRNA transcripts in retinoblastoma cell lines. *Mol Vis* 2010;16:970-82
- 9) Abe S, Yamamoto T, Haneda S, Saito K, Miura H, Kirii E, Yamashita H : Three-dimensional features of polypoidal choroidal vasculopathy observed by Spectral-domain optical coherence tomography. *Ophthalmic Surg Lasers Imaging* 2010;9:1-6
- 10) Namba H, Nishitsuka K, Kashiwagi Y, Takamura H, Yamamoto T, Yamashita H: Association of platelet-derived growth factor-BB-induced thrombomodulin with the regulation of inflammation in the corneal and scleral stroma. *Invest Ophthalmol Vis Sci* 2010;51(11):5460-9
- 11) Karousou E, Kamiyori M, Skandalis SS, Ruusala A, Asteriou T, Passi A, Yamashita H, Hellman U, Heldin C-H, Heldin P: The activity of hyaluronan synthase 2 is regulated by dimerization and ubiquitination. *J Biol Chem* 2010;285:23647-54
- 12) Rogers S, McIntosh RL, Cheung N, Lim L, Wang JJ, Mitchell P, Kowalski JW, Nguyen H, Wong TY: International Eye Disease Consortium (including Yamashita H) : The prevalence of retinal vein occlusion: pooled data from population studies from the United States, Europe, Asia, and Australia. *Ophthalmology* 2010;117(2):313-9
- 13) Abe S, Yamamoto T, Kirii E, Yamashita H: Cup-shaped choroidal excavation detected by optical coherence tomography : A case report. *Retinal Cases & Brief Reports* 2010;4:373-6
- 14) Kashiwagi Y, Kato N, Sassa T, Nishitsuka K, Yamamoto T, Takamura H, Yamashita H: Cotylenin A inhibits cell proliferation and induces apoptosis and PAX6 mRNA transcripts in retinoblastoma cell lines. *Molecular Vision* 2010;16:970-82

- 15) Cheung N, Mosley T, Islam FMA, Kawasaki R, Sharrett AR, Klein R, Coker LH, Knopman DS, Shibata DK, Catellier D, Wong TY: Retinal Microvascular Abnormalities and Subclinical MRI Brain Infarct: A Prospective Study. *Brain* 2010;133:1987-93
- 16) Dirani M, McAuley AK, Maple-Brown L, Kawasaki R, McIntosh RL, Lamoureux EL, Wong TY, Tatipata S, Dunbar T, O' Dea K, Cunningham J: The Association of Retinal Vessel Calibre with Diabetic Retinopathy in an Urban Australian Indigenous Population. *Clinical and Experimental Ophthalmology* 2010;38:577-82
- 17) Kawasaki R, Cheung N, Mosley T, Islam FMA, Sharrett AR, Klein R, Coker LH, Knopman DS, Shibata DK, Catellier D, Wong TY: Retinal Microvascular signs and 10-Year Risk of Cerebral Atrophy: The ARIC Study. *Stroke* 2010;41:1826-8
- 18) Rogers S, McIntosh RL, Cheung N, Lim L, Wang JJ, Mitchell P, Kowalski JW, Nguyen H, Wong TY: International Eye Disease Consortium (includes Kawasaki R). The prevalence of retinal vein occlusion: Pooled data from population studies from the United States, Europe, Asia, and Australia. *Ophthalmology* 2010;117:313-9
- 19) Kawasaki R, Yasuda M, Song SJ, Chen SJ, Jonas JB, Wang JJ, Mitchell P, Wong TY: The Prevalence of Age-related Macular Degeneration in Asians: A Systematic Review and Meta-Analysis. *Ophthalmology* 2010;117:921-7
- 20) Lamoureux E, Shyong Tai E, Thumboo J, Kawasaki R, Saw SM, Mitchell P, Wong TY: Impact of Diabetic Retinopathy on Vision-Specific Function. *Ophthalmology* 2010;117:757-65
- 21) Grauslund J, Green A, Kawasaki R, Hodgson L, Sjølie AK, Wong TY: Retinal vascular fractals and diabetes-related micro and macro vascular complications in type 1 diabetes. *Ophthalmology* 2010;117:1400-5
- 22) Karousou E, Kamiryo M, Skandalis SS, Ruusala A, Asteriou T, Passi A, Yamashita H, Hellman U, Heldin C, Heldin P: Contributed equally to the work. The activity of hyaluronan synthase 2 is regulated by dimerization and ubiquitination. *J Biol Chem* 2010;285(31):23647-54
- 23) Kashiwagi Y, Nishitsuka K, Namba H, Kamiryo M, Takamura H, Yamashita H: Cloning and characterization of cell strains derived from human corneal stroma and sclera. *Jpn J Ophthalmol* 2010;54:74-80
- 24) Tomiyama A, Tachibana K, Suzuki K, Seino S, Sunayama J, Matsuda K, Atsushi Sato, Matsumoto Y, Nomiya T, Nemoto K, Yamashita H, Kayama T, Ando K, Kitanaka C: MEK-ERK-Dependent Multiple Caspase Activation via Mitochondrial Proapoptotic Bcl-2 Family Proteins Is Essential for Heavy Ion Irradiation-Induced Glioma Cell Death. *Cell Death and Disease* 2010;1(7):e60
- 25) Yau JWY, Kawasaki R, Islam FMA, Shaw J, Zimmet P, Wang JJ, Wong TY: Retinal Fractals is increased in Persons with Diabetes but not Impaired Glucose Metabolism: The Australian Diabetes Obesity and Lifestyle (AusDiab) Study. *Diabetologia* 2010;53(9):2042-5
- 26) Fenwick EK, Pesudovs K, Rees G, Dirani M, Kawasaki R, Wong TY, Lamoureux EL: The Impact of Diabetic Retinopathy: Understanding the Patient's perspective. *Br J Ophthalmol* 2010; doi: 10.1136/bjo.2010.191312
- 27) Ng C, Cheung N, Wang JJ, Islam FMA, Kawasaki R, Meuer SM, Cotch MF, Klein BEK, Klein R, Wong TY: Prevalence and Risk Factors for Epiretinal Membranes in a Multi-Ethnic United States Population. *Ophthalmology* 2010 doi:10.1016/j.ophtha.2010.08.009
- 28) Lavanya R, Kawasaki R, Tay WT, Cheung GCM, Mitchell P, Saw SM, Aung T, Wong TY: Hyperopic Refractive Error and Shorter Axial Length are associated with Age-Related Macular Degeneration: The Singapore Malay Eye Study. *Invest Ophthalmol Vis Sci* 2010;51(12):6247-52
- 29) Bhuiyan A, Nath B, Ramamohanarao K, Kawasaki R, Wong TY: Automated Analysis of Retinal Vascular Tortuosity on Color Retinal Images. *Journal of Medical Systems* 2010; 10.1007/s10916-010-9536-6
- 30) Che Azemin MZ, Kumar DK, Wong TY, Wang JJ, Mitchell P, Kawasaki R, Wu H: Age-related rarefaction in the fractal dimension of retinal vessel. *Neurobiology of Aging* 2010; 10.1016/j.neurobiolaging.2010.04.010
- 31) Naoki T, Kashiwagi Y, Yamamoto S, Yamamoto T, Yamashita H: The in vitro response of human retinal endothelial cells to cytokines and other chemically-active agents is altered by co-culture with vitreous-derived hyalocytes *Acta Ophthalmologica* 2010;88(3):e66-72
- 32) 猪狩龍佑, 伊関憲, 阿部さち, 東海林正邦, 佐藤恵, 下村慶子, 林田昌子, 杉浦明日美, 岩下義明, 緑川新一: マムシ咬傷により複視・眼瞼下垂をきたした1例. *BRAIN and NERVE* 2010;62:273-7

- 33) 羽根田思音, 山本禎子, 阿部さち, 斉藤公子, 佐藤さくら, 山下英俊: ポリブ状脈絡膜血管症に対する低照射エネルギー光線力学的療法の効果. 眼科臨床紀要 2010;3(12):1271-77

## (2) 総説

- 1) 阿部さち, 山下英俊: 後天性網膜・硝子体疾患。あたらしい眼科 2010;27:176-84
- 2) 山下英俊, 阿部さち, 後藤早紀子: 糖尿病網膜症の予防と新しい治療。学術の動向 2010;7:26-32
- 3) 桐井枝里子, 山下英俊: 3. 内科・眼科の医療連携が重要な眼疾患の診断と治療、1) 生活習慣病と主な眼疾患。a) 糖尿病網膜症。Progress in Medicine 2010;30:1249-54
- 4) 後藤早紀子, 山下英俊: 糖尿病網膜症の新しい薬物治療がはじまって8年: その現状と問題点。糖尿病診療マスター2010;8(4):419-422
- 5) 野間英孝, 船津英陽, 張野正誉, 長岡泰司, 山下英俊, 堀貞夫: 網膜静脈分枝閉塞症に伴う黄斑浮腫の病態研究と治療戦略。日眼会誌 2010;114:577-91
- 6) 後藤早紀子, 山下英俊: 糖尿病網膜症 日本医師会雑誌 2010;139(2):260-3
- 7) 後藤早紀子: 糖尿病黄斑浮腫の治療戦略。あたらしい眼科, 2010;27:1217-21
- 8) 羽根田思音, 山下英俊: 糖尿病網膜症の国際重症度分類。糖尿病性細小血管症 (第2版) 日本臨床 2010;68:228-35
- 9) 田邊 祐資, 川崎 良, 山下 英俊: 糖尿病網膜症感受性遺伝子検索の最新動向。日本臨床 2010;68:236-9
- 10) 桐井枝里子, 山下英俊: 慢性合併症の診かた 網膜症。medicina 2010;47:1927-31
- 11) 北原光夫, 岡田アナベルあやめ, 寺崎浩子, 根木昭, 山下英俊: 知っておきたい全身疾患からの眼病変。(座談会) 日本医師会雑誌 2010;139(8):1617-29
- 12) 川崎良: 糖尿病網膜症と大血管症の関連。月刊糖尿病 2010;2:89-95
- 13) 斉藤公子, 川崎良. 眼底検診と全身疾患。日本の眼科 2010 ; 81(8):101-4
- 14) 西塚弘一: 眼科医のための先端医療 増殖因子によるヒアルロン代謝の調節。あたらしい眼科 2010;27:1415-6
- 15) 本間慶, 川崎良. 糖尿病網膜症の疫学: 糖尿病網膜症と大血管症 あたらしい眼科 2010;27(9):1169-74
- 16) 柏木佳子 眼科医のための先端医療 第113回; エピジェネティクスについて, あたらしい眼科 2010;27:647-9
- 17) 西塚弘一: 眼科医にもわかる生理活性物質と眼疾患の基本 TGF- $\beta$ . 臨床眼科 2010;64(13):2020-3

## (3) 著書

- 1) 山下英俊: 眼底出血。今日の診断指針 (第6版、金澤一郎、永井良三総編集) 医学書院、東京、2010:1616-8
- 2) 山下英俊, 阿部さち, 羽根田思音, 後藤早紀子, 山本禎子: 糖尿病網膜症の診断と治療。糖尿病の療養指導 (第44回糖尿病学の進歩・日本糖尿病学会編) 診断と治療社、東京、2010:70-75
- 3) 高村 浩: 眼瞼腫瘍切除と眼瞼形成。新ES NOW No. 2 外来小手術 外眼手術 達人への道。メジカルビュー社、2010:136-43
- 4) 高村 浩: 8. 外眼部(涙嚢・涙道・眼窩など) 眼窩悪性リンパ腫はCT, MRIなどの画像上は浸潤性の増殖を示すとされているが、境界鮮明で孤立性のものもある。眼科検査のグノーティ・セアウトン。山下英俊, 谷原秀信編, シナジー, 東京, 2020:316-7
- 5) 高村 浩: 8. 外眼部(涙嚢・涙道・眼窩など) 涙嚢部悪性腫瘍の初期は涙嚢炎との鑑別が困難である。臨床経過や涙洗の所見で腫瘍を疑う。眼科検査のグノーティ・セアウトン。山下英俊, 谷原秀信編, シナジー, 東京, 2010:318-9
- 6) 菅野誠: 自動視野計のオーダーと読み方。新眼科レジデント・戦略ガイド 診断と治療社, 2010:406-13
- 7) 桐井枝里子, 山下英俊: VEGF。『糖尿病ナビゲーター第2版』(門脇孝編集) メディカルレビュー社、東京、大阪, 2010:438-9

## (4) その他

- 1) 山下英俊, 山本禎子, 阿部さち, 大橋靖雄, 田中佐智子: 糖尿病における血管合併症の発症予防と進展抑制に關する調査 (JDCStudy)。網膜症経過観察プログラムについての報告書。平成21年度厚生省長期慢性疾患総合研究事業、糖尿病調査研究報告書。2010:16-23

- 2) 菅野誠：私の処方 ルミガン点眼液 0.03%。銀海, 千寿製薬株式会社 2010;212:35
- 3) 本間慶, 山下英俊：眼科領域における舟形町スタディについて。Health and safety 2010:4
- 4) 本間慶, 山下英俊：眼底（網膜）から全身の病気が見える：健康のひろば（写真提供）
- 5) 柏木佳子 外国誌要覧「網膜芽細胞腫細胞株においてトリコスタチンAが誘導するTGF- $\beta$  II型受容体の発現についての研究」, 日本眼科学会雑誌 2010;114 : 634

## 2. 学会報告

### (1) 国際学会

#### i 特別講演

- 1) Kawasaki R. Epidemiology of Retinal Diseases in Asia. Opening of SAILOR & 2<sup>nd</sup> Asia-Pacific Ocular Imaging Symposium in Singapore 2010, Singapore ; March 2010

#### ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) Kawasaki R. Epidemiology of Retinal Vein Occlusions in Asia. Asia Pacific Academy of Ophthalmology Congress 2010, Beijing, China ;September 2010
- 2) Kawasaki R. The Asian Eye: How do the epidemiology and mechanism of eye disease differ between Asia and the West? Asia Pacific Academy of Ophthalmology Congress 2010, Beijing, China ;September 2010

#### iii 一般演題

- 1) Hodgson LAB, Sasongko MB, Kawasaki R, Wang JJ, Wong TY : Correlation and Reproducibility of Semi-Automated Retinal Vascular Geometric Measurements within Paired Stereoscopic Images. ARVO Annual Meeting ,Fort Lauderdale , USA ;May 2010
- 2) Yanagi M, Kawasaki R, Maple-Brown L, McAuley AK, McIntosh RL, Lamoureux EL, Harper A, Wong TY, Tatipata S, Dunbar T, O' Dea K, Cunningham J:Retinal Vascular Fractals and Diabetic Retinopathy: The Diabetes and Related conditions in Urban Indigenous people in the Darwin region (DRUID) Study. ARVO Annual Meeting ,Fort Lauderdale, USA ; May 2010
- 3) Kawasaki R, Wang JJ, Islam FMA, Rohtchina E, Aung T, Saw SM, Mitchell P, Wong TY:Are Asians with Age-related Macular Degeneration Less Likely to Have Bilateral Involvement than Caucasians? The Singapore Malay Eye Study and The Blue Mountains Eye Study. ARVO Annual Meeting ,Fort Lauderdale, USA ;May 2010
- 4) Nishitsuka K, Kashiwagi Y, Kanno C, Yamamoto T, Takamura H, Yamashita H: Immortalization of several human eye-derived cells using human papilloma virus 16 E6 and E7 . 82nd ARVO Annual Meeting ,Fort Lauderdale, USA ; May 2010
- 5) Abe S, Sugano A, Yamamoto T, Kato T, Wada M, Kayama T, Takemura S, Yamashita H: A case of hypertrophic pachymeningitis with optic neuritis like symptoms. World Congress of Ophthalmology 2010 ,Berlin ; June 2010.
- 6) Kirii E, Yamamoto T, Miura H, Yamashita H: Effects of Intravitreal Injection of Anti-VEGF Agents on Macular edema due to Retinal Vein Occlusion. World Congress of Ophthalmology 2010 ,Berlin ; June 2010.
- 7) Abe S, Yamamoto T, Kashiwagi Y, Yamashita H: Three-dimensional observation of vitreoretinal interface in diabetic macular edema. 10<sup>th</sup> EURETINA Congress, Paris ;September 2010
- 8) Nishitsuka K, Konno N, Yamamoto T, Takamura H, Yamashita H: Intraoperative fluoroscopy-guided removal of the orbital foreign body in patient with penetrating ocular injury. : A case report. 25<sup>th</sup> Asia Pacific Academy of Ophthalmology, Beijing ;September 2010
- 9) Nishitsuka K, Kashiwagi Y, Kaneko Y, Yamamoto T, Heldin P, Yamashita H: Effect of tumor necrosis factor- $\alpha$  on hyaluronan production and cell proliferation by porcine vitreous derived cell line. 8th International Conference on Hyaluronan, Kyoto, JAPAN ; June 2010
- 10) Haneda S, Kanno M, Sato M, Oonuma I, Yamashita H: A case of myopic strabismus fixus with increased intraocular pressure, Istanbul ; 2010

## (2) 国内の学会

### i 特別講演

- 1) 山下英俊 (特別講演) : 糖尿病網膜症診療の戦略。第64回日本臨床眼科学会、神戸; 2010年11月

### ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 高村 浩 (教育セミナー講演) : 教育セミナー13 眼付属器腫瘍の手術に必要な知識と技術。第33回日本眼科手術学会、東京; 2010年1月
- 2) 川崎良. 眼科手術の必須知識アップデート 5. 疫学 第33回眼科手術学会、東京; 2010年1月
- 3) 山下英俊, 山本禎子, 中野早紀子: 糖尿病網膜症の診断と治療。第44回糖尿病学の進歩, 大阪; 2010年3月
- 4) 山下英俊, 吉村長久: Molecular mechanisms of retinal and macular degenerations. ARVO-JOS symposium. 第114回日本眼科学会総会, 名古屋; 2010年4月
- 5) 須藤史子, 山下英俊: 糖尿病眼合併症治療の新常識。(教育セミナーオーガナイザー) 第114回日本眼科学会総会, 名古屋; 2010年4月
- 6) 中野早紀子 (教育セミナー) : 糖尿病眼合併症治療の新常識. 糖尿病黄斑浮腫の治療戦略. 第114回日本眼科学会総会, 名古屋; 2010年4月
- 7) 山下英俊: 糖尿病網膜症合併血糖管理不良患者の血糖コントロール: 緩徐に行うべきか否か? (Debate Session 4) 第53回日本糖尿病学会年次学術総会, 岡山; 2010年5月
- 8) 山下英俊, 柴輝男: 糖尿病網膜症治療の進歩。第22回日本糖尿病合併症学会, 大津; 2010年10月
- 9) 高村 浩, 鈴木茂伸 (シンポジウム・オーガナイザー) : シンポジウム11: 眼部腫瘍に対する局所化学療法. 第64回日本臨床眼科学会, 神戸; 2010年11月
- 10) 川崎良. 糖尿病網膜症と大血管症: 糖尿病患者の眼底所見から大血管症発症の危険を評価できるか? 第16回日本糖尿病眼学会総会, 大阪; 2010年11月
- 11) 川崎良. 研究報告の実際 インストラクションコース 第64回日本臨床眼科学会総会, 神戸; 2010年11月

### iii 一般演題

- 1) 武田祐介, 今野伸弥, 高村浩, 山本禎子, 山下英俊: 経皮のおよび経結膜的アプローチによってマイラゲルを完全に除去できた一例。第33回日本眼科手術学会, 東京; 2010年1月
- 2) 菅野誠, 溝上志朗, 兵頭涼子, 鈴木弘隆, 木村泰朗, 吉川啓司: 緑内障性中心視野障害と周辺視野感度低下。第114回日本眼科学会総会, 名古屋; 2010年4月
- 3) 今野伸弥, 高村 浩, 山下英俊: 結膜悪性上皮性腫瘍の治療法選択の検討。第114回日本眼科学会, 名古屋; 2010年4月
- 4) 西塚弘一, 柏木佳子, 菅野智華子, 山本禎子, 高村浩, 山下英俊: ヒト眼組織由来不死化線維芽細胞株の性質について。第114回日本眼科学会総会, 名古屋; 2010年4月
- 5) 阿部さち, 山本禎子, 中野早紀子, 桐井枝里子, 柏木佳子, 山下英俊: 糖尿病黄斑浮腫における網膜-硝子体界面病態の3次元画像観察。第114回日本眼科学会総会, 名古屋; 2010年4月
- 6) 高橋真紀子, 内藤知子, 溝上志朗, 菅野誠, 鈴木弘隆, 吉川啓司: 緑内障点眼薬使用状況のアンケート調査“第1報”。第21回日本緑内障学会, 福岡; 2010年9月
- 7) 阿部さち, 山本禎子, 金子優, 山下英俊: 網膜色素上皮症に対するステロイド点眼(ジフルプレドナート点眼薬)の治療効果。第64回日本臨床眼科学会, 神戸; 2010年11月
- 8) 武田祐介, 山本禎子, 本間慶, 三浦瞳, 桐井枝里子, 山下英俊: 網膜静脈分枝閉塞症に伴う難治性黄斑浮腫に対するステロイド点眼治療。第64回日本臨床眼科学会, 神戸; 2010年11月
- 9) 桐井枝里子, 山本禎子, 三浦瞳, 武田祐介, 山下英俊: 網膜静脈閉塞症に対する抗VEGF薬硝子体内投与の短期予後。第64回日本臨床眼科学会, 神戸; 2010年11月
- 10) 西塚 弘一, 山本 禎子, 山下 英俊: Peripapillary Detachment in Pathogenic Myopia に対する硝子体手術の長期経過。第64回日本臨床眼科学会総会, 神戸; 2010年11月
- 11) 後藤早紀子, 山本禎子, 桐井枝里子, 阿部さち, 山下英俊: 糖尿病黄斑浮腫に対するステロイド点眼治療の長期経過。第49回日本網膜硝子体学会, 大阪; 2010年11月
- 12) 高橋真紀子, 内藤知子, 溝上志朗, 菅野誠, 鈴木弘隆, 吉川啓司: 緑内障点眼薬使用状況のアンケート調査“第2報”。第64回日本臨床眼科学会, 神戸; 2010年11月

### (3) 研究会

#### i 特別講演

- 1) 川崎良. 舟形町研究の成果・眼科疫学研究の展望. 旭川医科大学眼科研究会, 旭川; 2010年1月
- 2) 川崎良. 舟形町研究の成果. 関西眼疾患研究会, 京都; 2010年1月
- 3) 高村 浩 (特別講演): 眼腫瘍の診療. 第4回青森眼科倶楽部, 青森市; 2010年2月
- 4) 山下英俊: 糖尿病網膜症の治療戦略—疫学研究の成果をもとに—. 第118回八戸糖尿病談話会, 青森; 2010年4月
- 5) 山下英俊: 糖尿病網膜症の病態と治療戦略. 第1回千葉糖尿病眼合併症研究会, 千葉; 2010年7月
- 6) 山下英俊: 糖尿病網膜症の診療と予防医学. 第12回川崎眼病変談話会, 川崎; 2010年7月
- 7) 山下英俊: 糖尿病網膜症. やさしく教える糖尿病治療: プロフェッショナルのための必要な知識・技術を学ぶ. 東京; 2010年8月
- 8) 菅野誠: 緑内障薬物治療の現状. Santen Summer Seminar in Sendai, 仙台; 2010年8月
- 9) 山下英俊: 糖尿病網膜症の一次予防、二次予防の戦略. 第3回Osaka Ophthalmology Forum, 大阪; 2010年10月

#### ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 西塚弘一 (教育講演): 硝子体組織由来細胞に関する研究 —網膜硝子体疾患の病態解明に向けて—. 第84回山形眼科研究会, 山形; 2010年2月
- 2) 高村 浩 (教育講演): 眼腫瘍の診療. 第85回山形眼科研究会, 山形; 2010年3月
- 3) 金子優 (教育講演): ぶどう膜炎の診療. 第86回山形眼科研究会, 山形; 2010年5月
- 4) 後藤早紀子 (教育講演): 糖尿病黄斑浮腫に対する治療戦略. 第87回山形眼科研究会, 山形; 2010年7月
- 5) 難波広幸 (指名講演): 角膜分野の最近の話題. 第87回山形眼科研究会, 山形; 2010年7月
- 6) 佐藤さくら (教育講演): 涙道・涙道疾患に関する最新の知見について. 第88回山形眼科研究会, 山形; 2010年9月
- 7) 田邊祐資 (教育講演): 山形県舟形町研究 ～私の研究結果と今後の展望～. 第88回山形眼科研究会, 山形; 2010年9月
- 8) 菅野誠 (教育講演): 緑内障点眼治療2010 ～配合剤と後発品～. 第89回山形眼科研究会, 山形; 2010年10月

#### iii 一般演題

- 1) 菅野誠, 溝上志朗, 兵頭涼子, 鈴木弘隆, 木村泰朗, 吉川啓司: Esterman テストによる視野評価. 第84回山形眼科研究会, 山形; 2010年2月
- 2) 今野伸弥, 高村浩, 山下英俊: 眼瞼メルケル細胞癌の治療の経験. 第84回山形眼科研究会, 山形; 2010年2月
- 3) 武田 祐介, 山本 禎子, 菅野 彰, 本間 慶, 阿部 さち, 羽根田 思音, 佐藤さくら, 山下 英俊: 低照射エネルギー光線力学的療法が有効であったポリリーブ状脈絡膜血管症の1例. 第11回東北黄斑研究会, 仙台; 2010年2月
- 4) 羽根田思音, 山本禎子, 阿部さち, 佐藤さくら, 山下英俊: ポリリーブ状脈絡膜血管症に対する低照射エネルギー光線力学的療法. 第85回山形眼科研究会, 山形; 2010年3月
- 5) 田邊祐資, 菅野誠, 山下英俊: トラボプロスト、タフルプロスト片眼投与による眼圧下降効果の検討. 第85回山形眼科研究会, 山形; 2010年3月
- 6) 阿部さち, 菅野彰, 山本禎子, 和田学, 加藤丈夫, 竹村直, 嘉山孝正, 山下英俊: 視神経炎様の症状を来した視神経周囲肥厚性硬膜炎の一例. 第85回山形眼科研究会, 山形; 2010年3月
- 7) 西塚弘一, 今野伸弥, 山本禎子, 高村浩, 山下英俊: 眼窩内異物における術中X線透視の有用性. 第85回山形眼科研究会, 山形; 2010年3月
- 8) 高宮美智子, 佐藤憲夫: チン氏帯断裂白内障症例. 第15回置賜眼科研究会, 米沢市; 2010年3月
- 9) 高宮美智子, 佐藤憲夫: 角膜潰瘍をきっかけにアルツハイマー認知症が発覚した症例. 第15回置賜眼科研究会, 米沢市; 2010年3月
- 10) 高宮美智子, 佐藤憲夫: ルセンティス硝子体内注射の症例. 第15回置賜眼科研究会, 米沢市; 2010年3月
- 11) 佐藤浩章: Surgical Media Center (SMC) と白内障手術のbrush up. 第86回山形眼科研究会, 山形; 2010年5月
- 12) 本間慶, 金子優, 山下英俊: 中枢神経系悪性リンパ腫の一例. 第86回山形眼科研究会, 山形; 2010年5月



- 13) 武田祐介、今野伸弥、高村 浩、山本禎子、山下英俊：経皮的・経結膜的アプローチによりマイラゲルを完全に除去できた1例。第86回山形眼科研究会，山形；2010年5月
- 14) 佐藤さくら：眉毛下アプローチによる眼瞼皮膚弛緩症手術。第87回山形眼科研究会，山形；2010年7月
- 15) 高宮美智子（米沢市立病院眼科）：症例1 55歳男性、遷延性角膜潰瘍の症例、症例2 51歳男性、レーザー治療中網膜分枝動脈閉塞症を発症した症例、症例3 63歳男性 血糖コントロール不良症例の眼底所見。第1回置賜内科眼科糖尿病カンファレンス，米沢市；2010年9月
- 16) 菅野彰、羽根田思音、大沼郁子、三浦瞳：先天性Double elevator palsyの1例。第88回山形眼科研究会，山形；2010年9月
- 17) 難波広幸：角膜感染症の診断と治療。山形県眼科医会集談会，山形；2010年10月
- 18) 高宮美智子、佐藤憲夫：白内障術後嚢胞様黄斑浮腫に対しステロイドテノン嚢下注射により良好な経過をたどった3症例。第89回山形県眼科研究会，山形；2010年10月
- 19) 難波広幸、西塚弘一、桐井枝里子、山下英俊：春季カタルに対するタクロリムス0.1%点眼液治療の有効性。第9回山形アレルギー研究会，山形；2010年11月
- 20) 高宮美智子、佐藤憲夫：StageⅡ黄斑円孔手術症例。第17回置賜眼科研究会，米沢；2010年11月
- 21) 高宮美智子、佐藤憲夫：臨床所見より真菌性角膜炎と思われた2症例。第17回置賜眼科研究会，米沢；2010年11月

#### (4) その他

- 1) 金子優：山形学院高等学校アイバンク講演会，山形；2010年1月
- 2) 西塚弘一（教育講演）：裂孔原性網膜剥離の治療ーバックリングを中心にー。第4回東北6大学Step Upセミナー，福島；2010年10月
- 3) 菅野誠：緑内障点眼治療2010。MSD株式会社勉強会，東京；2010年11月

### 3. 学会，講演会，シンポジウム，ワークショップ等の開催

- 1) 第84回山形眼科研究会，山形；2010年2月
- 2) 第17回やまがたDM Meeting，山形；2010年2月
- 3) 第20回山形眼科先進医療研究会，山形；2010年3月
- 4) 第85回山形眼科研究会，山形；2010年3月
- 5) 第1回Visual Science研究会，山形；2010年4月
- 6) 第86回山形眼科研究会，山形；2010年6月
- 7) 第8回山形緑内障セミナー，山形；2010年6月
- 8) 第87回山形眼科研究会，山形；2010年7月
- 9) 第18回やまがたDM Meeting，山形；2010年8月
- 10) 第88回山形眼科研究会，山形；2010年9月
- 11) 第2回Visual Science研究会，山形；2010年9月
- 12) 第21回山形眼科先進医療研究会，山形；2010年10月
- 13) 第89回山形眼科研究会，山形；2010年10月

## 1. 論文

### (1) 原著

- 1) Ohta N, Ito T, Sasaki A, Aoyagi M: Endoscopic treatment of intranasal glioma in an infant presenting with dyspnea. *Auris Nasus Larynx* 2010; 37(3): 373-376
- 2) Kubota Y, Ohta N, Fukase S, Kon Y, Aoyagi M: Treatment of auricular hematoma by OK-432. *Otolaryngol Head Neck Surgery* 2010;42(6):863-866
- 3) Ohta N, Fukase S, Watanabe T, Ito T, Aoyagi M: The effect and mechanism of OK-432 therapy on various neck cystic lesions. *Acta Otolaryngol* 2010;130(11):1287-1292
- 4) Ishida A, Ohta N, Koike S, Aoyagi M, Yamakawa M: Overexpression of glucocorticoid receptor-beta in severe allergic rhinitis. *Auris Nasus Larynx* 2010;37(5):584-588
- 5) Ohta N, Fukase S, Suzuki Y, Ishida A, Aoyagi M: Treatment of various otolaryngological cystic diseases by OK-432. Its indications and limitations. *Laryngoscope* 2010;120(11):2193-2196
- 6) Ishida A, Hozumi Y, Goto K, Ito T, Aoyagi M, and Yamakawa M: Expression of glucocorticoid receptor spliced variants in lymphoma cell lines. *Hematological Oncology* 2010; 28(3): 1-4
- 7) Kanoto M, Oda A, Hooya T, Nemoto K, Ishida A, Nasu T, Koike S, Aoyagi M: Impact of Superselective Transarterial Infusion Therapy of High-Dose Cisplatin on Maxillary Cancer with Orbital Invasion. *AJNR* 2010;31:1390-1394.
- 8) Muraki Y, Furukawa T, Kohno Y, Matsuzaki Y, Takashita E, Sugawara K, Hongo S: Influenza C virus NS1 protein upregulates the splicing of viral mRNAs. *Journal of Virology* 2010;84(4):1957-1966
- 9) 窪田俊憲, 伊藤史, 渡辺知緒, 阿部靖弘, 千葉寛之, 井川信子, 鈴木豊, 青柳優: 聴力正常成人における ASSR の刺激音圧とパワー・潜時・CSM の関係. ASSR を用いた補充現象解析へむけて. *Audiology Japan* 2010; 53(4): 266-273
- 10) 石井健一, 稲村博雄, 川口和浩, 阿部靖弘, 青柳優: 小児顔面神経麻痺症例の検討. *Facial N Res Jpn* 2010;30:84-86
- 11) 川口和浩, 石井健一, 稲村博雄, 阿部靖弘, 青柳優: 家族性顔面神経麻痺症例の検討. *Facial N Res Jpn* 2010;30:181-183
- 12) 古川孝俊, 石井健一, 稲村博雄, 川口和浩, 阿部靖弘, 青柳優: 高齢者顔面神経麻痺症例の治療戦略. *Facial N Res Jpn* 2010;30:69-71
- 13) 野田大介, 小池修治, 那須隆, 石田晃弘, 石井健一, 青柳優: 山形大学における中咽頭癌の治療成績. *耳展* 2010; 53: (補1): 20-21
- 14) 那須隆, 小池修治, 野田大介, 石田晃弘, 菊池憲明, 青柳優: 喉頭温存下咽頭部分切除術を施行した 8 例の治療経験. *頭頸部癌* 2010; 36(1): 62-66
- 15) 小池修治, 那須隆, 石田晃弘, 野田大介, 菊池憲明, 青柳優, 長瀬輝顕, 斉藤史明; 上顎洞扁平上皮癌に対する超選択的動注化学療法 of 長期成績と晩期合併症. *頭頸部癌* 2010; 36(4): 83-87
- 16) 太田伸男, 青柳優: 副鼻腔破壊型真菌症の 2 症例. *日本鼻科学会誌* 2010; 49(1): 33-39
- 17) 那須隆, 小池修治, 倉上和也, 青柳優: 放射線治療により形態変化・機能障害を来した晩発性喉頭障害症例の検討. *喉頭* 2010;22(1):8-12
- 18) 那須隆, 小池修治, 野田大介, 石田晃弘, 青柳優: 下咽頭癌喉頭温存手術の術後合併症と術後管理の検討. *頭頸部外科* 2010;20(5): 217-224
- 19) 太田伸男, 鈴木祐輔, 後藤崇成, 高橋裕一, 青柳優: スギ花粉症におけるベポタスチンベシル酸塩とプラナルカスト水和物の初期治療効果. *QOL と睡眠障害. アレルギー・免疫* 2010; 17(2): 98-105
- 20) 太田伸男, 鈴木祐輔, 後藤崇成, 高橋裕一, 青柳優, 大久保公裕: スギ花粉症患者の QOL と睡眠障害. *アレルギー・免疫* 2010; 17(2): 90-97
- 21) 倉上和也, 太田伸男, 阿部靖弘, 渡辺知緒, 伊藤史, 尾上義浩, 石田晃弘, 稲村和俊, 和気貴祥, 鈴木祐輔, 青柳優: IgG4 関連硬化性疾患の検討. *耳鼻咽喉科臨床* 2010; 103(8): 747-754
- 22) 太田伸男, 鈴木祐輔, 青柳優: イネ科花粉症に対するモメタゾンフランカルボン酸エステル水和物点鼻液の治療効果. *耳鼻咽喉科臨床* 2010; 103(12): 1147-1155
- 23) 新川智佳子, 太田伸男, 稲村和俊, 古瀬秀和, 岡崎慎一, 阿部靖弘, 青柳優: 内視鏡下蝶口蓋動脈凝固術の有効性. *日本鼻科学会誌* 2010;49(4): 501-506
- 24) 倉上和也, 太田伸男, 石田晃弘, 稲村和俊, 青柳優: 経過中に自己免疫性睪炎を合併した IgG4 関連硬化性疾患の 1 例. *耳喉頭頸* 2010;82(2): 96-98
- 25) 太田伸男, 鈴木祐輔, 後藤崇成, 高橋裕一, 青柳優, 大久保公裕: リアルタイムモニターによるスギ花粉飛散

## (2) 総説

- 1) 青柳 優、石井健一：麻痺の重症度と予後診断. 顔面神経麻痺. 特集：顔面神経麻痺治療 update、Monthly Book ENTONI 2010: 111: 12-18
- 2) 青柳 優：聴性誘発電位. Equilibrium Res 2010: 69 (3): 113-126.
- 3) 青柳 優：身体障害者申請. 特集「耳鼻咽喉科専門研修をはじめの医師へ：書類作成と留意点」耳鼻咽喉科・頭頸部外科 2010: 82 (12): 829-836.
- 4) 小池修治, 那須隆, 石田晃弘, 野田大介, 青柳 優：粘膜表面が正常な声門下非扁平上皮癌の2例. 耳鼻咽喉科臨床 2010;103(10):900-901
- 5) 伊藤史, 青柳優：知っておきたい生理・病態の基礎 顔面知覚. 耳候頭頸, 2010 ; 82(4) : 327-332
- 6) 野田大介, 太田伸男, 小池修治:耳鼻咽喉・頭頸部画像アトラス, 鼻副鼻腔 鼻副鼻腔悪性黒色腫. JOHNS. 2010;26(3): 404-405
- 7) 太田伸男: アレルギー性副鼻腔炎 up to date アレルギーの臨床 2010; 30(2):17-20
- 8) 太田伸男:鼻噴霧用ステロイド薬の臨床 ステロイド抵抗性 アレルギーの臨床 2010; 30(11):27-31
- 9) 太田伸男: デキる医師の紹介・逆紹介 鼻副鼻腔疾患. 治療 2010; 4:1221-1225
- 10) 太田伸男: EBMのある浸潤型副鼻腔真菌症の治療法とは? EBM 耳鼻咽喉科・頭頸部外科の治療 2010:61-64
- 11) 太田伸男: ガマ腫治療のEBMとは? EBM 耳鼻咽喉科・頭頸部外科の治療 2010:402-404
- 12) 倉上和也, 太田伸男, 石田晃弘, 稲村和俊, 青柳優：目でみる耳鼻咽喉科 経過中に自己免疫肺炎を合併した IgG4 関連硬化性疾患の1例. 耳候頭頸 2010 ; 82(2) :96-98
- 13) 伊藤史, 青柳優：【耳鼻咽喉科・頭頸部外科の検査マニュアル 方法・結果とその解釈】 聴覚検査 聴性定常反応検査. 耳候頭頸, 2010 ; 82(5) : 71-79
- 14) 伊藤史, 青柳優：【お母さんへの回答マニュアル耳鼻咽喉科 Q&A 2010】 顔面・頸部編 ある日突然、子どもが顔面神経麻痺になりました。原因は何でしょうか?治りますか? JOHNS, 2010 ; 26(9) : 1524-1526
- 15) 太田伸男:感染症 最近の話題 真菌感染症 浸潤型副鼻腔真菌症 JOHNS 2010; 26(11):1081-1807
- 16) 太田伸男:嚢胞性疾患に対する OK-432 療法 その適応と限界 耳鼻咽喉科免疫アレルギー 2010; 28(4):285-289
- 17) 太田伸男: 2010 年の花粉飛散予測と初期治療法の有用性 info Allergy 2010; 50:1

## (3) 著書

- 1) 青柳 優：A-3 医療事故. 「耳鼻咽喉科・頭頸部外科研修ノート」第 8 章知っておくべき知識と制度, 診断と治療社, 2010; 474-479
- 2) 小池修治: C 感染症の基礎知識. 「耳鼻咽喉科・頭頸部外科研修ノート」第 7 章臨床に役立つ基礎知識, 診断と治療社, 2010; 449-453
- 3) 小池修治: A-7 感染症届け出基準. 「耳鼻咽喉科・頭頸部外科研修ノート」第 8 章臨床に役立つ基礎知識, 診断と治療社, 2010; 493-498
- 4) 小池修治: 平衡機能障害. 1. 人体の構造と機能及び疾病-新社会福祉士養成講座- (第 2 版), 中央法規, 東京, 2010; 131-134

## (4) その他

- 1) 太田伸男, 石田晃弘, 鈴木祐輔: リアルタイムモニター花粉症情報のあり方の研究と舌下ペプチドアジュバント療法の臨床研究; スギ花粉飛散数とスギ花粉症患者の QOL と睡眠障害. 平成 21 年度厚生労働科学研究費補助金 免疫アレルギー疾患予防・治療研究事業 研究報告会書 第 2 分冊; 2010: 295-297
- 2) 小池修治: 山形わいわい子育て-乗り物酔い 少しでも軽く-. 山形新聞 2010; 第 44883 号:9
- 3) 小池修治: がんを知る 最新の診断と治療法 頭頸部がん 山形新聞 2010; 第 44900 号:8
- 4) 太田伸男: 2010 年の花粉飛散予測と初期治療法の有用性 info Allergy 2010; 第 50 号:1

## 2. 学会報告

### (1) 国際学会

#### i 一般演題

- 1) Ishida A, Ohta N, Aoyagi M, Izuhara K: Investigating the Overexpression of Pendrin and Periostin in Nasal Disorders.

23rd Congress of the European Rhinologic Society and the 29th International Symposium of Infection and allergy of the Nose, Geneve; June 20-24, 2010

- 2) Ohta N, Ito T, Watanabe T, Sasaki A, Aoyagi M: Endoscopic treatment of intranasal glioma in an infant presenting with dyspnea. International Symposium on Infection and Allergy of the Nose, Geneva; June 2010
- 3) Ohta N, Suzuki Y, Takahashi Y, Aoyagi M: Efficacy regarding sleep and quality of life of cedar pollinosis patients. International Symposium on Infection and Allergy of the Nose, Geneva; June 2010
- 4) Ohta N, Kurakami K, Yakuwa S, Ito T, Watanabe T, Sasaki A, Masuda S, Aoyagi M: Effect of tonsillectomy combined with steroid pulse on patients with IgA nephropathy. The 7<sup>th</sup> International Symposium on tonsils and mucosal barriers of the upper airways, Asahikawa; July 2010 Kanetsu Sugawara
- 5) Ohta N, Kurakami K, Yakuwa S, Ito T, Watanabe T, Sasaki A, Masuda S, Aoyagi M: Effect of tonsillectomy on sleep disturbance of patients with obstructive sleep apnea. The 7<sup>th</sup> International Symposium on tonsils and mucosal barriers of the upper airways, Asahikawa; July 2010

## (2) 国内の学会

### i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 太田伸男：教育講演 鼻アレルギーガイドライン. 第22回アレルギー学会春季臨床大会, 京都, 2010年5月
- 2) 太田伸男：教育講演『治療と管理』アレルギー性鼻炎の治療と管理. 第22回アレルギー学会春季臨床大会, 京都, 2010年5月
- 3) 太田伸男:イブニングシンポジウム One way, One diseaseの基礎と臨床 小児科, 内科, 耳鼻科医の協力による気道炎症疾患の管理. 第49回日本鼻科学会, 札幌;2010年8月

### ii 一般演題

- 1) 岡崎雅, 川口和浩, 八鍬修一, 鈴木豊:脳内酸素飽和度モニターが有用であった甲状腺乳頭癌頸動脈置換術例, 第20回日本頭頸部外科学会, 東京;2010年1月
- 2) 石田晃弘, 小池修治, 那須隆, 野田大介, 石井健一, 青柳優:当科にて一次治療を行った大唾液腺悪性腫瘍症例の検討. 第20回日本頭頸部外科学会, 東京;2010年1月
- 3) 伊藤吏, 渡辺知緒, 阿部靖弘, 窪田俊憲, 稲村博雄, 青柳優:耳かき外傷による耳小骨連鎖離断症例の検討. 第20回頭頸部外科学会, 東京;2010年1月
- 4) 小池修治, 那須隆, 石田晃弘, 野田大介, 青柳優:眼部悪性腫瘍の耳下腺・頸部転移に対する外科的治療. 第20回日本頭頸部外科学会, 東京;2010年1月
- 5) 那須隆, 小池修治, 野田大介, 石田晃弘, 石井健一, 青柳優:下咽頭癌部分切除術後再発症例の検討. 第20回日本頭頸部外科学会, 東京;2010年1月
- 6) 野田大介, 小池修治, 那須隆, 石田晃弘, 齋藤史明, 石井健一, 青柳優:複数の移植弁を用いて再建を施行した頭頸部悪性腫瘍症例の検討. 第20回日本頭頸部外科学会, 東京;2010年1月
- 7) 松井祐興, 長瀬輝頭, 和氣貴祥, 小池修治:舌根舌腺様嚢胞癌に対する治療経験. 第20回日本頭頸部外科学会, 東京;2010年1月
- 8) 新川智佳子, 小池修治, 那須隆, 石田晃弘, 野田大介, 石井健一, 青柳優:憩室切除術を施行したZenker憩室の症例. 第20回日本頭頸部外科学会, 東京;2010年1月
- 9) 太田伸男, 鈴木祐輔, 高橋裕一, 青柳優:イネ科花粉症に対するモメタゾンフランカルボン酸エステルの効果. 第28回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会, 福井;2010年2月
- 10) 太田伸男, 深瀬 滋, 鈴木祐輔, 青柳優:のう胞性疾患に対するOK-432局所注入療法 その適応と限界. 第28回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会, 福井;2010年2月
- 11) 倉上和也, 太田伸男, 石田晃弘, 稲村和俊, 青柳優: IgG4関連硬化性疾患の線維化に関わる新規分子の検索. 第28回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会, 福井;2010年2月
- 12) 鈴木祐輔, 太田伸男, 高橋裕一, 深瀬滋, 大久保公裕, 青柳優:当科における花粉抗原陽性率と花粉共通抗原性の検討. 第28回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会, 福井;2010年2月
- 13) 後藤崇成, 太田伸男, 鈴木祐輔, 青柳優:スギ花粉症患者のQOLおよび睡眠障害に対する初期治療の効果. 第28回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会, 福井;2010年2月
- 14) 倉上和也, 小池修治, 那須隆, 青柳優:シリコンキール留置が奏功した喉頭横隔膜症の1例. 第22回日本喉頭科学会, 下関;2010年3月
- 15) 小池修治, 那須隆, 石田晃弘, 野田大介, 青柳優:喉頭アミロイドーシス例. 第22回日本喉頭科学会 下関;2010年3月

- 16) 那須隆, 小池修治, 倉上和也, 青柳優:放射線, 化学放射線治療に伴う晩発性喉頭形態変化・機能障害症例の検討. 第22回日本喉頭科学会. 下関; 2010年3月
- 17) 鈴木祐輔, 後藤薫:無酸素無グルコース負荷(OGD)による型ジアシルグリセロールキナーゼの細胞内局在の変化〜海馬スライスを用いた検討〜. 第115回日本解剖学会総会・全国学術集会, 岩手; 2010年3月
- 18) 石田晃弘, 太田伸男, 青柳優:鼻疾患における pendrin 及び periostin の発現についての検討. 第111回日本耳鼻咽喉科学会総会, 仙台; 2010年5月
- 19) 太田伸男, 深瀬滋, 青柳優:嚢胞性疾患に対する OK-432 局所注入療法 その適応と限界. 第111回日本耳鼻咽喉科学会総会, 仙台; 2010年5月
- 20) 小池修治, 那須隆, 石田晃弘, 野田大介, 青柳優, 長瀬輝頭, 大竹祐輔, 斉藤史明:上顎洞癌に対する超選択的動注化学療法を併用した集学的治療. 第110回日本耳鼻咽喉科学会総会, 仙台; 2010年5月
- 21) 新川智佳子, 太田伸男, 渡辺知緒, 伊藤史, 窪田俊憲, 稲村和俊, 古瀬秀和, 岡崎慎一, 阿部靖弘, 青柳優:難治性鼻出血に対する内視鏡下蝶口蓋動脈凝固術の有効性. 第111回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会, 仙台; 2010年5月
- 22) 和氣貴祥, 長瀬輝頭, 松井裕興 タイヤ破裂による頸部皮下気腫の一例第111回日本耳鼻咽喉科学会総会, 仙台; 2010年5月
- 23) 渡辺知緒, 伊藤史, 窪田俊憲, 青柳優:当科におけるアブミ骨手術の検討. 日本耳鼻咽喉科学会総会, 仙台; 2010年5月
- 24) 太田伸男, 鈴木祐輔, 青柳優:イネ科花粉症に対するモメタゾンフランカルボン酸エステル点鼻液の効果. 第22回日本アレルギー学会春季臨床大会, 京都; 2010年5月
- 25) 石田晃弘, 小池修治, 那須隆, 野田大介, 青柳優:舌癌に対する術前超選択的動注療法の検討. 第34回日本頭頸部癌学会, 東京; 2010年6月
- 26) 小池修治, 那須隆, 石田晃弘, 野田大介, 菊池憲明, 青柳優, 長瀬輝頭, 斉藤史明:上顎洞癌に対する超選択的動注化学療法の長期成績と晩期合併症 第33回日本頭頸部癌学会, 東京, 2009年6月
- 27) 長瀬輝頭, 小池修治, 和氣貴祥, 千田邦明, 松井祐興, 八鍬修一:耳下腺オンコサイト癌の一例. 第34回日本頭頸部癌学会, 東京; 2010年6月
- 28) 那須隆, 小池修治, 野田大介, 石田晃弘, 青柳優:頭頸部癌遊離再建手術の術後管理 ー早期離床による効果ー. 第34回日本頭頸部癌学会. 東京; 2010年6月
- 29) 野田大介, 小池修治, 那須隆, 石田晃弘, 青柳優:TPF療法を用いた術前化学療法の有用性について. 第34回日本頭頸部癌学会, 東京; 2010年6月
- 30) 古瀬秀和, 岡崎慎一, 阿部靖弘:急速に増大した甲状腺低分化癌の1例. 第34回日本頭頸部癌学会, 東京; 2010年6月
- 31)
- 32) 新川智佳子, 太田伸男, 伊藤史, 渡辺知緒, 窪田俊憲, 稲村和俊, 青柳優:化膿性脊椎炎から咽後膿瘍に進展した1例. 第72回耳鼻咽喉科臨床学会, 倉敷; 2010年7月
- 33) 伊藤史, 太田伸男, 渡辺知緒, 窪田俊憲, 鈴木祐輔, 新川智佳子, 青柳優:脳膿瘍を合併した鼻NK/T細胞リンパ腫症例. 第72回耳鼻咽喉科臨床学会, 倉敷; 2010年7月
- 34) 太田伸男, 渡辺知緒, 阿部靖弘, 尾上義弘, 青柳優:頸部脂肪肉腫の1症例. 第72回耳鼻咽喉科臨床学会, 倉敷; 2010年7月
- 35) 太田伸男, 渡辺知緒, 伊藤史, 青柳優:OK-432によるのう胞性疾患の治療 その適応と限界. 第72回耳鼻咽喉科臨床学会, 倉敷; 2010年7月
- 36) 倉上和也, 石井健一, 小池修治, 那須隆, 石田晃弘, 野田大介, 太田伸男, 青柳優:唾液腺導管癌を合併したIgG4関連硬化性疾患の1例. 第72回耳鼻咽喉科臨床学会, 倉敷; 2010年7月
- 37) 太田伸男, 鈴木祐輔, 青柳優:イネ科花粉症に対するモメタゾンフランカルボン酸エステル点鼻液の効果. 第49回日本鼻科学会, 札幌; 2010
- 38) 太田伸男, 藤枝重治, 増山敬祐, 大久保公裕:同一市内の複数のリアルタイム花粉モニター測定値の比較 山形市, 中央市, 福井市3市の検討. 第49回日本鼻科学会, 札幌; 2010
- 39) 松原 篤, 新川秀一, 本田耕平, 石川和夫, 佐藤宏昭, 太田伸男, 青柳優, 大島猛史, 小林俊光, 小川洋, 大森孝一:第2世代抗ヒスタミン薬の効果不十分例に対するモメタゾン点鼻薬単独投与の効果. 第49回日

本鼻科学会, 札幌;2010

- 40) 石戸谷淳一, 松根彰志, 岡野光博, 増田佐和子, 太田伸男, 堀口茂俊, 川内秀之:国際的視野から見た日本の慢性副鼻腔炎病態研究のスタンスとは?他施設共同研究の取り組み. 第49回日本鼻科学会, 札幌;2010
- 41) 東野哲也, 青柳優, 伊藤吏, 奥野妙子, 小島博己, 比野平恭之, 松田圭二, 三代康雄, 山本裕, 日本耳科学会用語委員会:中耳真珠腫進展度分類2010年改訂案. 第20回日本耳科学会, 松山;2010年10月
- 42) 八鍬修一, 渡辺知緒, 伊藤 吏, 窪田俊憲, 青柳 優, 鈴木 豊:人工内耳埋め込み術により良好な聴取成績が得られたCogan症候群の1例. 第20回日本耳科学会, 松山;2010年10月
- 43) 渡辺知緒, 伊藤 吏, 窪田俊憲, 八鍬修一, 青柳 優:超選択的動注化学療法が奏功した側頭骨悪性腫瘍の1例. 第20回日本耳科学会, 松山;2010年10月
- 44) 窪田俊憲, 渡辺知緒, 伊藤吏, 八鍬修一, 青柳優:突発性難聴におけるグリセロールテスト. 第20回日本耳科学会, 松山;2010年10月
- 45) 後藤崇成, 小池修治, 那須隆, 石田晃弘, 野田大介:当科における喉頭摘出後気管孔狭窄の検討. 第62回日本気管食道科学会, 大分;2010年11月
- 46) 那須隆, 小池修治, 野田大介, 石田晃弘, 蜂谷修, 青柳優:頭頸部癌咽頭食道再建手術症例における腸瘻形成・経腸栄養管理の効果. 第62回日本気管食道科学会. 別府;2010年11月
- 47) 窪田俊憲, 伊藤吏, 渡辺知緒, 阿部靖弘, 千葉寛之, 井川信子, 鈴木豊, 青柳優:ASSRにおける補充現象の検討. 第55回日本聴覚医学会, 奈良;2010年11月
- 48) 渡辺知緒, 伊藤 吏, 阿部靖弘, 窪田俊憲, 千葉寛之, 青柳 優:聴性定常反応と心理学的聴力検査の閾値に乖離を示す症例の検討. 第55回日本聴覚医学会, 奈良;2010年11月
- 49) 千葉寛之, 渡辺知緒, 伊藤吏, 窪田俊憲, 青柳優:乳幼児における聴性定常反応の経時的観察. 第55回日本聴覚医学会, 奈良県;2010年11月
- 50) 伊藤吏, 窪田俊憲, 渡辺知緒, 阿部靖弘, 千葉寛之, 青柳優:聴性定常反応 ASSR に対する睡眠深度の影響. 第55回日本聴覚医学会, 奈良;2010年11月
- 51) 倉上和也, 太田伸男, 石田晃弘, 稲村和俊, 和氣貴祥, 鈴木祐輔, 青柳優, 牧原靖一郎, 岡野光博, 出原賢治: IgG4 関連硬化疾患における IL-17 の役割. 第60回日本アレルギー学会秋季学術大会, 東京;2010年11月
- 52) 鈴木祐輔, 太田伸男, 高橋裕一, 深瀬滋, 大久保公裕, 青柳優:当科における花粉抗原陽性率と花粉共通抗原性の検討. 第60回日本アレルギー学会秋季学術大会日, 東京;2010年11月

### (3) 国内地方会

#### i 特別講演

- 1) 古川孝俊, 村木 靖, 本郷誠治, 青柳 優:C型インフルエンザウイルスの増殖におけるCM2蛋白の役割. 第59回日本耳鼻咽喉科学会東北地方部会連合学術講演会, 秋田;2010年7月
- 2) 渡辺知緒, 伊藤 吏, 阿部靖弘, 窪田俊憲, 古川孝俊, 青柳 優:聴性定常反応検査の結果の解釈と留意点. 第59回日本耳鼻咽喉科学会東北地方部会連合学術講演会, 秋田;2010年7月
- 3) 鈴木 豊:一般病院に勤務する耳鼻咽喉科医の立場から. 第59回日本耳鼻咽喉科学会東北地方部会連合学術講演会, 秋田;2010年7月
- 4) 青柳 優:顔面神経麻痺診療の手引きについて. 福井県地方部会:2010年12月

#### ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 倉上和也: IgG4 関連硬化性疾患・その臨床像と病態. 第54回山形耳鼻咽喉科疾患研究会, 山形市;2010年6月
- 2) 窪田俊憲:聴性定常反応を用いた補充現象解析への取り組み,. 第54回山形耳鼻咽喉科疾患研究会, 山形;2010年6月

#### iii 一般演題

- 1) 新川智佳子, 小池修治, 那須 隆, 野田大介, 石田晃弘, 石井健一, 後藤崇成, 青柳 優:上咽頭癌の治療成績.
- 2) 第125回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会, 山形;2010年3月
- 3) 松井祐興, 長瀬輝頭, 和氣貴祥:創傷被覆材としてポリグルタル酸(PGA)シートを用いた舌癌の治療経験. 第125回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会, 山形;2010年3月
- 4) 鈴木 豊, 八鍬修一, 岡崎 雅, 川口和浩:ビデオラリンゴスコープの導入と手術支援機器の工夫. 第125回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会, 山形;2010年3月

- 5) 岡崎慎一, 古瀬秀和, 阿部靖弘, 黒川克朗, 長瀬輝頭: 下咽頭癌術後に posterior reversible encephalopathy syndrome を発症した一例. 第 125 回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会, 山形; 2010 年 3 月
- 6) 櫻井真一, 大竹祐輔, 齊藤史明: 交代性一過性難聴と逆行性健忘を発症した 1 症例. 第 125 回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会, 山形; 2010 年 3 月
- 7) 窪田俊憲, 渡辺知緒, 伊藤 吏, 千葉寛之, 青柳 優: 機能的難聴に対する SR 検査. 第 125 回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会, 山形; 2010 年 3 月
- 8) 八鍬修一, 渡辺知緒, 伊藤 吏, 窪田俊憲, 青柳 優, 鈴木豊: 人工内耳埋め込みにより良好な聴取成績が得られた Cogan 症候群の 1 例. 第 59 回日本耳鼻咽喉科学会 東北地方部会連合学術講演会, 秋田; 2010 年 7 月
- 9) 千葉真人, 那須 隆, 石田晃弘, 野田大介, 小池修治, 青柳 優: 耳介軟骨皮膚複合弁を用いて気管再建を行った気管浸潤甲状腺乳頭癌の 1 例. 第 59 回日本耳鼻咽喉科学会 東北地方部会連合学術講演会, 秋田; 2010 年 7 月
- 10) 倉上和也, 長瀬輝頭, 和氣貴祥, 松井祐興: 顎下腺唾石症術後に発生した粘液嚢胞の 1 例. 第 59 回日本耳鼻咽喉科学会 東北地方部会連合学術講演会, 秋田; 2010 年 7 月
- 11) 岡崎慎一, 古瀬秀和, 阿部靖弘, 門馬亮介, 森野一馬, 岡田宗一郎: 気管切開術後に ARDS を発症した 1 例. 第 59 回日本耳鼻咽喉科学会東北地方部会連合学術講演会, 秋田; 2010 年 7 月
- 12) 千葉真人, 小池修治, 那須 隆, 石田晃弘, 野田大介, 青柳 優: 当科における気管浸潤甲状腺癌症例の検討. 第 127 回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会, 山形; 2010 年 9 月
- 13) 後藤崇成, 岡崎 雅, 川口和浩, 鈴木 豊: 下咽頭浸潤をきたした菌状息肉症の 1 例. 第 127 回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会, 山形; 2010 年 9 月
- 14) 倉上和也, 長瀬輝頭, 和氣貴祥: 当科における耳下腺腫瘍症例の検討. 第 127 回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会, 山形; 2010 年 9 月
- 15) 大竹祐輔, 櫻井真一, 齊藤史明, 不破信和: 陽子線治療をおこなった耳下腺癌の一例. 第 127 回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会, 山形; 2010 年 9 月
- 16) 阿部靖弘, 新川智佳子, 岡崎慎一, 古瀬秀和: 甲状腺嚢胞による気管狭窄により呼吸困難をきたした一例. 第 127 回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会, 山形; 2010 年 9 月
- 17) 八鍬修一, 太田伸男, 青柳 優, 遠藤里見: 学校検診における扁桃肥大の取り扱いの現況. 第 127 回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会, 山形; 2010 年 9 月
- 18) 古川孝俊, 青柳 優, 石井健一, 稲村博雄, 川口和浩, 阿部靖弘: 当科における高齢者顔面神経麻痺症例の検討. 第 127 回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会, 山形; 2010 年 9 月
- 19) 伊藤 吏, 渡辺知緒, 窪田俊憲, 太田伸男, 青柳 優, 阿倍靖弘, 稲村博雄: 耳かき外傷の診断と治療. 第 127 回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会, 山形; 2010 年 9 月
- 20) 千葉 真人, 太田伸男, 渡辺知緒, 伊藤吏, 窪田俊憲, 青柳 優: 難治性耳漏を契機に診断されたランゲルハンス細胞組織球症(LCH)の一例. 第 128 回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会, 山形; 2010 年 12 月
- 21) 八鍬修一, 太田伸男, 渡辺知緒, 伊藤 吏, 窪田俊憲, 青柳 優: 口蓋扁桃摘出術を施行した PFAPA 症候群の 1 例. 第 128 回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会, 山形; 2010 年 12 月
- 22) 倉上和也, 長瀬輝頭, 和氣貴祥: アルカリ誤飲により喉頭蓋の脱落, および狭窄を認めた腐食性咽頭食道炎の一例. 第 128 回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会, 山形; 2010 年 12 月
- 23) 斎藤史明, 櫻井真一, 大竹祐輔: 鼻腔多形腺腫の 1 例. 第 128 回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会, 山形; 2010 年 12 月
- 24) 大竹悟史, 太田伸男, 千葉真人, 八鍬修一, 倉上和也, 窪田俊憲, 石田晃弘, 伊藤 吏, 渡辺知緒, 青柳 優: 小児睡眠時無呼吸症候群のアンケート調査. 第 128 回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会, 山形; 2010 年 12 月
- 25) 那須 隆, 小池修治, 野田大介, 石田晃弘, 古川孝俊, 八鍬修一, 青柳 優, 蜂谷 修: 頭頸部癌遊離空腸再建症例における腸瘻形成・経腸栄養管理の効果. 第 128 回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会, 山形; 2010 年 12 月
- 26) 新川智佳子, 古瀬秀和, 岡崎慎一, 阿部靖弘: 頭頸部癌転移リンパ節の診断における PET/CT の有用性. 第 128 回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会, 山形; 2010 年 12 月
- 27) 川口和浩 鈴木豊 岡崎雅 後藤崇成: ラジオ波焼灼術が奏功した咽頭癌の 2 例. 第 128 回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会, 山形; 2010 年 12 月

## (4) 研究会

### i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

1) 太田伸男：シンポジウム 鼻疾患におけるpendrinおよびperiostinの発現についての検討. 第30回気道分泌研究会. 東京, 2010年4月

### ii 一般演題

- 1) 古川孝俊, 石井健一, 稲村博雄, 川口和浩, 阿部靖弘, 青柳 優：高齢者顔面神経麻痺症例の治療戦略. 第3回日本顔面神経研究会, 福岡; 2010年5月
- 2) 倉上和也, 長瀬輝頭, 和氣貴祥, 松井祐興：当科における誤嚥防止手術としての声門閉鎖術. 第146回新庄・最上臨床懇話会, 新庄; 2010年5月
- 3) 窪田俊憲, 渡辺知緒, 伊藤史, 千葉寛之, 青柳優：MLR・ABR構成周波数を用いたASSR成立機序に関する検討. ERA・OAE研究会, 東京; 2010年7月
- 4) 小池修治, 那須隆, 石田晃弘, 野田大介, 青柳 優, 長瀬輝頭, 齊藤史明：上顎洞扁平上皮癌に対する超選択的動注化学療法の長期成績. 第16回北日本頭頸部癌治療研究会, 札幌; 2010年10月

## (5) その他

- 1) 太田伸男：花粉症の診断と治療. 朝霞地区三師会, 新座; 2010年1月
- 2) 太田伸男：花粉症の診断と治療. 2010年度第1回慶耳会, 東京; 2010年1月
- 3) 太田伸男：鼻出血の診断と治療. 置賜耳鼻科医会, 米沢; 2010年1月
- 4) 青柳 優：ABRとASSR. 平成22年聴力測定技術講習会 医師コース(日本聴覚医学会主催)、東京; 2010年2月
- 5) 太田伸男：スギ花粉数とスギ花粉症患者の眼鼻以外の症状. 2010花粉症フォーラム, 山形; 2010年2月
- 6) 太田伸男：花粉症の診断と治療. 酒田地区耳鼻咽喉科医会, 酒田; 2010年2月
- 7) 太田伸男：花粉症の診断と治療. 大館市医師会学術講演会, 大館; 2010年2月
- 8) 太田伸男：花粉症の診断と治療. 第47回弘前耳鼻咽喉科医会, 弘前; 2010年2月
- 9) 太田伸男：花粉症の診断と治療. 紫波郡医師会講演会, 盛岡; 2010年2月
- 10) 太田伸男：花粉症の診断と治療. 会津地区医師会講演会, 会津; 2010年2月
- 11) 太田伸男：花粉症の診断と治療. 花粉症治療最前線2010, 仙台; 2010年2月
- 12) 太田伸男：花粉症の診断と治療. 新庄最上耳鼻咽喉科セミナー, 新庄; 2010年3月
- 13) 太田伸男：花粉症の診断と治療. 盛岡市耳鼻咽喉科臨床研究会, 盛岡; 2010年3月
- 14) 渡辺知緒：難聴と補聴器、人工内耳. 市民公開講座, 山形; 2010年3月
- 15) 千葉寛之：聞こえに関する講演会, 山形; 平成22年4月
- 16) 青柳 優：末梢性めまいの診断と治療. 第35回佐野足利耳鼻咽喉科集談会、足利; 2010年5月
- 17) 渡辺知緒：聴覚障がい基礎知識. 要約筆記奉仕員養成講座, 山形; 2010年5月
- 18) 伊藤史：耳の解剖. 平成22年度山形県教育職員免許法認定講習会, 山形; 2010年8月
- 19) 伊藤史：耳の生理学. 平成22年度山形県教育職員免許法認定講習会, 山形; 2010年8月
- 20) 青柳 優：聴性定常反応の臨床応用と問題点. 第50回富山県耳鼻咽喉科疾患研究会、富山; 2010年7月
- 21) 青柳 優：医療倫理と生命倫理. 日本頭頸部癌専門医取得講習会、東京; 2010年9月
- 22) 青柳 優：ASSRの臨床応用と問題点. 新潟大学耳鼻咽喉科教室百周年記念講演会、新潟; 2010年9月
- 23) 太田伸男：イネ科花粉症の診断と治療. 第29回城南耳鼻咽喉科臨床懇話会, 東京; 2010年9月
- 24) 青柳 優：ASSR—臨床応用、起源と問題点— 第17回Auris Nasus Larynx石川(ANLI)学術集会、金沢; 2010年10月
- 25) 小池修治：頭頸部癌に関わる最近のトピックス. 置賜地区耳鼻咽喉科医会. 2010年11月, 米沢
- 26) 太田伸男：アレルギー性鼻炎の診断と治療. 石巻地区耳鼻科医会, 酒田; 2010年11月
- 27) 渡辺知緒：「軽度難聴に対する補聴器適用」. 補聴器相談医講習会, 山形; 2010年11月
- 28) 伊藤史：関係法規と補聴器相談. 山形県耳鼻補聴器相談医講習会, 山形; 2010年11月

## 3. 学会、講演会、シンポジウム、ワークショップ等の開催

- 1) 第12回山形めまい研究会, 山形市; 2010年1月
- 2) 第125回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会, 山形市; 2010年3月
- 3) 第53回山形県耳鼻咽喉科疾患研究会, 山形市; 2010年3月
- 4) 第54回山形県耳鼻咽喉科疾患研究会, 山形市; 2010年6月
- 5) 第126回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会, 秋田市; 2010年7月



- 6) 第127回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会, 山形市;2010年9月
- 7) 第55回山形県耳鼻咽喉科疾患研究会, 山形市;2010年9月
- 8) 第56回山形県耳鼻咽喉科疾患研究会, 山形市;2010年10月
- 9) 第129回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会, 山形市;2010年12月
- 10) 第57回山形県耳鼻咽喉科疾患研究会, 山形市;2010年12月

# 画像医学講座

## 1. 論文

### (1) 原著

- 1) M. Kanoto, A. Oda, T. Hosoya, K. Nemoto, A. Ishida, T. Nasu, S. Koike, and M. Aoyagi : Impact of Superselective Transarterial Infusion Therapy of High-Dose Cisplatin on Maxillary Cancer with Orbital Invasion. AJNR Am J Neuroradiol. 2010 ; 31 : 1390-1394
- 2) Kuchiki M, Hosoya T, Fukao A : Assessment of Breast Cancer Risk Based on Mammary Gland Volume Measured with CT. Breast Cancer: Basic and Clinical Research. 2010 ; 4 : 57-64
- 3) Kuroda Y, Hosoya T, Oda A, Ooki N, Toyoguchi Y, Murakami M, Kanoto M, Sugawara C, Honma T, Sugai Y, Nemoto K : Inverse-direction scanning improves the image quality of whole carotid CT angiography with 64-MDCT. Eur J Radiol. In press. 2010 ; IP=2. 645

### (2) 総説

- 1) 鹿戸将史, 細矢貴亮 : 会心の症例, 痛恨の症例. 臨床画像. 2010 ; 26(2) : 222-227
- 2) 鹿戸将史, 細矢貴亮 : 「T1強調画像で高信号」または「T2強調画像で低信号」を示す病変-視点を変えて探る鑑別診断と読影のコツ- 中枢神経. 臨床画像. 2010 ; 26(12) : 1314-1322
- 3) 豊口裕樹, 細矢貴亮 : 脳静脈血栓症の画像診断. 分子脳血管病. 2010 ; 9(4) : 392-396
- 4) 細矢貴亮 : 知っているのと得する神経画像診断ワンポイント 1. 撮影断面の怪. Modern physician. 2010 ; 30(2) : 335-338
- 5) 本間次男, 細矢貴亮 : 知っているのと得する神経画像診断ワンポイント 2. 造影剤の功罪. Modern physician. 2010 ; 30(3) : 451-454
- 6) 菅井幸雄, 細矢貴亮 : 知っているのと得する神経画像診断ワンポイント 3. MRI には何故画像の種類が多い? 脳MRIの撮像法と臨床的意義. Modern physician. 2010 ; 30(4) : 583-586
- 7) 細矢貴亮 : 知っているのと得する神経画像診断ワンポイント 4. ペンタゴンとニコニコサイン. Modern physician. 2010 ; 30(5) : 754-748
- 8) 豊口裕樹, 細矢貴亮 : 知っているのと得する神経画像診断ワンポイント 5. 診断しにくい脳卒中: その1 脳動脈解離. Modern physician. 2010 ; 30(6) : 885-888
- 9) 菅原千智, 細矢貴亮 : 知っているのと得する神経画像診断ワンポイント 6. 診断しにくい脳卒中: その2 静脈洞血栓症と硬膜動静脈奇形. Modern physician. 2010 ; 30(7) : 987-990
- 10) 朽木恵, 細矢貴亮 : 知っているのと得する神経画像診断ワンポイント 7. 小児虐待. Modern physician. 2010 ; 30(8) : 1131-1134
- 11) 細矢貴亮 : 知っているのと得する神経画像診断ワンポイント 8. 脳神経を視る. Modern physician. 2010 ; 30(9) : 1229-1231
- 12) 鹿戸将史, 細矢貴亮 : 知っているのと得する神経画像診断ワンポイント 9. CT だけでは不十分: その1 視力障害. Modern physician. 2010 ; 30(10) : 1373-1376
- 13) 大木望, 細矢貴亮 : CT だけでは不十分: その2 意識障害. Modern Physician. 2010 ; 30(11) : 1485-1490
- 14) 長谷川七恵, 細矢貴亮 : 知っているのと得する神経画像診断ワンポイント 11. 注目の疾患: 脳脊髄液減少症と正常圧水頭症. Modern physician. 2010 ; 30(12) : 1595-1598

### (3) 著書

- 1) 黒田勇氣, 大木望 : 5 消化器腫瘍 2 胸部食道. 大西洋, 唐澤久美子, 唐澤克之, がん・放射線療法 2010 別冊 代表的照射野と CT 上のターゲット. 篠原出版新社. 2010 年 : 62-63

### (4) その他

- 1) 大木望, 菅井幸雄, 長谷川七重, 本間次男, 細矢貴亮, 倉智博久, 刑部光正, 本山悌一: 有茎性発育により卵巣腫瘍との鑑別が困難だった漿膜下嚢性腺筋症の2例. 臨床放射線. 2010 ; 55(13) : 1792-1796

## 2. 学会報告

### (1) 国際学会

#### i 一般演題

- 1) 鹿戸将史, 小田敦子, 細矢貴亮, 影山咲子, 大木望, 豊口裕樹, 長谷川七重, 本間次男, 朽木恵, 菅井幸雄: Compressed print of the cranial nerves observed on Multislice Motion-Sensitized Driven Equilibrium (MSDE) in patients with neurovascular compression. 19<sup>th</sup> Symposium Neuroradiologicum. イタリア, ボローニャ; 2010年10月
- 2) Megumi Kuchiki, Takaaki Hosoya: Observation environment for diagnostic imaging: Considering illuminance in image interpretation. 8th Symposium of the Scandinavian Japanese Radiological Society and 11th Nordic Japan PACS Symposium. Denmark; 2010; Sep.

### (2) 国内の学会

#### i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 鹿戸将史: イブニングセミナー・フィルムリーディング. 第39回 日本神経放射線学会, 東京; 2010年2月
- 2) 本間次男: これだけは知っておきたい画像診断 (単純写真). 日本放射線技術学会 第38回 秋季学術大会, 仙台市; 2010年10月

#### ii 一般演題

- 1) 鹿戸将史, 小田敦子, 細矢貴亮, 渡辺智緒: 超選択的動注化学放射線同時併用療法が奏効した進行中耳癌の一例; 第39回 日本神経放射線学会, 東京; 2010年2月
- 2) 鹿戸将史, 小田敦子, 細矢貴亮, 影山咲子, 大木望, 豊口裕樹, 長谷川七重, 本間次男, 朽木恵, 菅井幸雄: Neurovascular compression における神経圧痕の描出. 第69回 日本医学放射線学会総会, 横浜; 2010年4月
- 3) 豊口裕樹, 小田敦子, 鹿戸将史, 菅井幸雄, 細矢貴亮: 急性期小脳・脳幹梗塞と椎骨脳底動脈解離との関連. 第19回 日本脳ドック学会総会, 山形; 2010年6月

### (3) 国内地方会

#### i 一般演題

- 1) 大木望, 紺野義浩, 本間次男, 菅井幸雄, 細矢貴亮, 豊口裕樹, 竹下明子, 平井一郎, 木村理: 選択的動注カルシウム負荷試験が診断に有用であった脾外ガストリノーマの1例. 第122回 日本医学放射線学会北日本地方会, 山形; 2010年6月
- 2) 桐井一邦, 小林篤紀, 紺野義浩, 大道寺明子, 渡會文果, 長谷川七恵, 朽木恵, 菅井幸雄, 細矢貴亮: 造影 dynamic CT における肝鎌状動脈描出能の検討. 第123回 日本医学放射線学会 北日本地方会, 仙台; 2010年10月
- 3) 小林篤紀, 太田伊吹, 市川真由美, 鹿戸将史, 本間次男, 菅井幸雄, 細矢貴亮: 前縦隔 lymphangiohemangioma の一例. 第123回 日本医学放射線学会 北日本地方会, 仙台; 2010年10月
- 4) 鈴木啓介, 太田伊吹, 市川真由美, 鹿戸将史, 長谷川七重, 本間次男, 菅井幸雄, 細矢貴亮: 肺静脈走行異常の一例. 第123回 日本医学放射線学会 北日本地方会, 仙台; 2010年10月
- 5) 萩原靖倫, 鈴木啓介, 紺野義浩, 大道寺明子, 渡會文果, 鹿戸将史, 小田敦子, 細矢貴亮: Epidermoid cyst の部分切除29年後に悪性転化を来した1例. 第123回 日本医学放射線学会 北日本地方会, 仙台; 2010年10月

### (4) 研究会

#### i 特別講演

- 1) 菅井幸雄: 肝腫瘍のCT診断. 第25回 山形県造影画像研究会, 山形; 2010年6月

#### ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 朽木恵: マンモグラフィ講習会. 第64回 乳房撮影ガイドライン制度管理研修会, 仙台; 2010年1月
- 2) 朽木恵: マンモグラフィ症例解説. 山形県乳癌検診講習会, 山形; 2010年5月

#### iii 一般演題

- 1) 本間次男, 大木望, 鹿戸将史, 小田敦子, 菅井幸雄, 細矢貴亮, 土屋登嗣: 類骨骨腫に対するRFAの初期

経験. 第17回 山形県IVR研究会, 山形; 2010年5月

(5) その他

- 1) 朽木恵: 乳がん検診のすすめーやさしい乳がん検診のはなしー. 第7回 医用原子力技術研究振興財団講演会, 山形; 2010年11月.

3. 学会, 講演会, シンポジウム, ワークショップ等の開催

- 1) 第24回 山形県放射線科医の会, 山形; 2010年2月
- 2) 第10回 山形デジタル画像セミナー, 山形; 2010年3月
- 3) 第16回 山形県IVR研究会, 山形; 2010年6月
- 4) 第122回 日本医学放射線学会 北日本地方会・第67回 日本核医学会 北日本地方会, 山形; 2010年6月
- 5) 第65回 山形神経放射線懇話会, 山形; 2010年6月
- 6) 第19回 山形CT・MRI研究会, 山形; 2010年9月
- 7) 第66回 山形神経放射線懇話会, 山形; 2010年11月

# 放射線腫瘍学講座

## 1. 論文

### (1) 原著

- 1) Kuroda Y, Hosoya T, Oda A, Ooki N, Toyoguchi Y, Murakami M, Kanoto M, Sugawara C, Honma T, Sugai Y, Nemoto K: Inverse-direction scanning improves the image quality of whole carotid CT angiography with 64-MDCT. *Eur J Radiol.* 2010
- 2) Ogawa K, Ito Y, Karasawa K, Ogawa Y, Onishi H, Kazumoto T, Shibuya K, Shibuya H, Okuno Y, Nishino S, Ogo E, Uchida N, Karasawa K, Nemoto K, Nishimura Y; JROSG Working Subgroup of Gastrointestinal Cancers: Patterns of radiotherapy practice for pancreatic cancer in Japan: results of the Japanese Radiation Oncology Study Group (JROSG) survey. *Int J Radiat Oncol Biol Phys.* 2010;77(3):743-50
- 3) Ogawa K, Shibuya H, Uchida N, Onishi H, Okuno Y, Myojin M, Kobayashi M, Ogawa Y, Kanesaka N, Shibuya K, Tokumaru S, Sasamoto R, Karasawa K, Nemoto K, Nishimura Y: Postoperative external beam radiotherapy for resected pancreatic adenocarcinoma: impact of chemotherapy on local control and survival. *Anticancer Res.* 2010;30:2959-2967
- 4) Tomiyama A, Tachibana K, Suzuki K, Seino S, Sunayama J, Matsuda K, Sato A, Matsumoto Y, Nomiya T, Nemoto K, Yamashita H, Kayama T, Ando K, Kitanaka C: MEK-ERK-Dependent Multiple Caspase Activation via Mitochondrial Proapoptotic Bcl-2 Family Proteins Is Essential for Heavy Ion Irradiation-Induced Glioma Cell Death. *Cell Death and Disease.* 2010;1, e60; doi:10.1038/cddis.37
- 5) Kanoto M, Oda A, Hosoya T, Nemoto K, Ishida A, Nasu T, Koike S, Aoyagi M: Impact of Superselective Transarterial Infusion Therapy of High-Dose Cisplatin on Maxillary Cancer with Orbital Invasion. *AJNR.* 2010;31:1390-1394
- 6) Jingu K, Ariga H, Kaneta T, Takai Y, Takeda K, Katja L, Narazaki K, Metoki T, Fujimoto K, Umezawa R, Ogawa Y, Nemoto K, Koto M, Mitsuya M, Matsufuji N, Takahashi S, Yamada: Focal dose escalation using FDG-PET-guided intensity-modulated radiation therapy boost for postoperative local recurrent rectal cancer: a planning study with comparison of DVH and NTCP. *BMC Cancer.* 2010;10:127
- 7) Jingu K, Kaneta T, Nemoto K, Takeda K, Ogawa Y, Ariga H, Koto M, Sakayauchi T, Takai Y, Takahashi S, Yamada S: (18)F-fluorodeoxyglucose positron emission tomography immediately after chemoradiotherapy predicts prognosis in patients with locoregional postoperative recurrent esophageal cancer. *Int J Clin Oncol.* 2010;15:184-19
- 8) Nomiya T, Teruyama K, Wada H, Nemoto K: Time course of pain relief in patients treated with radiotherapy for cancer pain: a prospective study. *Clin J Pain.* 2010;26(1):38-42

### (2) 総説

- 1) 和田仁, 太田伊吹, 根本建二: 小線源治療. *がん治療レクチャー.* 2010;1:208-212

### (3) 著書

- 1) 根本建二: 食道がん—がん医療の今—. *市民のためのがん医療の会*, 2010: 126-132
- 2) 根本建二: 食道がん. *がん放射線療法*. 篠原出版, 2010: 857-866
- 3) 根本建二: 放射線療法. *脳腫瘍取り扱い規約第3版*. 金原出版, 2010: 222-231
- 4) 根本建二: 放射線療法概論. *がん治療認定医教育セミナーテキスト第4版*. *がん治療認定機構*, 2010: 61-65
- 5) 黒田勇気, 大木望: 5 消化器腫瘍 2 胸部食道. 大西洋, 唐澤久美子, 唐澤克之, *がん・放射線療法 2010 別冊 代表的照射野と CT 上のターゲット*. 篠原出版新社, 2010: 62-63

### (4) その他

- 1) 和田仁: 高精度放射線治療—がんを知る—. *山形新聞*, 2010年4月
- 2) 野宮琢磨: 粒子線治療—がんを知る—. *山形新聞*, 2010年4月

## 2. 学会報告

### (1) 国際学会

#### i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) Kenji Nemoto : ISDE2010 meeting comentator, Kagoshima; 2010年9月
- 2) Y. Ito, K. Ogawa, K. Shibuya, S. Nishino, H. Shibuya, K. Karasawa, T. Kazumoto, K. Karasawa, K. Nemoto, Y. Nishimura : Concurrent Chemoradiotherapy for Unresectable Locally Advanced Pancreatic Adenocarcinoma: ASTRO Impact of Adjuvant Chemotherapy on Local Control and Survival. ASTRO, San Diego; 2010年11月
- 3) Nomiya T, Teruyama K, Wada H, Nemoto K : Duration of pain relief in patients treated with radiotherapy for cancer pain. 21st Annual Clinical Meeting of American Academy of Pain Management, Las Vegas, NV, USA; 2010年9月

### (2) 国内の学会

#### i 特別講演

- 1) 根本建二 : 第64回日本食道学会コンセンサスマーティング, 久留米; 2010年9月
- 2) 根本建二 : 最近の放射線治療のトピックス. 第15回日本歯科放射線学会特別講演, 鹿児島; 2010年9月

#### ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 根本建二 : 放射線治療の適応と効果. 第2回日本癌治療学会教育シンポジウム, 仙台; 2010年10月
- 2) 根本建二, 和田仁, 野宮琢磨, 吉岡孝志, 山川真由美 : がんセンター主導によるキャンサーボードの集中開催. 日本癌治療学会, 京都; 2010年10月
- 3) 根本建二 : 放射線治療総論. がん治療認定医講習会教育講演, 幕張; 2010年11月
- 4) 根本建二 : 食道癌の放射線治療の動向と問題点. 東京医科歯科大学がんプロフェッショナル養成プラン講演, 東京; 2010年11月
- 5) 和田仁 : 膀胱がん. 第23回日本放射線腫瘍学会, 東京; 2010年11月
- 6) 野宮琢磨, 太田伊吹, 村上弥沙子, 鈴木志恒, 和田仁, 根本建二 : 有痛性骨転移への除痛照射における疼痛の経時的変化の前向き解析. 第23回日本放射線腫瘍学会, 千葉、浦安; 2010年11月

#### iii 一般演題

- 1) 野宮琢磨, 佐藤龍二, 能登山洋喜, 五十嵐優, 平藤貴之, 佐藤公彦, 小野伴, 和田仁, 根本建二 : 体幹部呼吸同期装置アブチェスの位置再現精度の検証 : 治療計画CTとCBCTを用いた解析. 第23回日本放射線腫瘍学会, 千葉、浦安; 2010年11月
- 2) 野宮琢磨, 太田伊吹, 村上弥沙子, 鈴木志恒, 和田仁, 根本建二 : 放射線照射ラットにおける血液酸化ストレス値と急性期反応・晩期皮膚障害の関係. 第23回日本放射線腫瘍学会, 千葉、浦安; 2010年11月
- 3) 野宮琢磨, 太田伊吹, 村上弥沙子, 鈴木志恒, 和田仁, 根本建二 : 切除不能巨大乳癌に対してSIB法にて放射線治療を行った2例. 第23回日本放射線腫瘍学会, 千葉、浦安; 2010年11月
- 4) 鈴木志恒 : 脊椎腫瘍に対する重粒子線パッチ照射の検討. 第69回日本医学放射線学会総会, 横浜; 2010年4月

### (3) 国内地方会

#### i 一般演題

- 1) 野宮琢磨, 太田伊吹, 小林篤紀, 村上弥沙子, 鈴木志恒, 和田仁, 根本建二, 小野伴, 佐藤龍二, 能登山洋喜, 五十嵐優, 平藤貴之, 佐藤公彦 : CBCTを用いた体幹部呼吸同期装置アブチェスの位置再現精度の検証. 第122回日本医学放射線学会北日本地方会, 山形; 2010年6月
- 2) 野宮琢磨, 太田伊吹, 小林篤紀, 黒田勇氣, 村上弥沙子, 鈴木志恒, 和田仁, 根本建二 : 切除不能巨大乳癌に対してSIB法にて放射線治療を行った2例. 第122回日本医学放射線学会北日本地方会, 山形; 2010年6月
- 3) 野宮琢磨, 太田伊吹, 小林篤紀, 村上弥沙子, 鈴木志恒, 和田仁, 根本建二, 金子崇, 後藤準 : 放射線照射後のラットにおける酸化ストレス値の経時変化—急性期の反応—. 第122回日本医学放射線学会北日本地方会, 山形; 2010年6月

- 4) 野宮琢磨, 太田伊吹, 小林篤紀, 村上弥沙子, 鈴木志恒, 和田仁, 根本建二, 金子崇, 後藤準: 放射線照射後のラットにおける酸化ストレス値と晩期皮膚障害の関係. 第122回日本医学放射線学会北日本地方会, 山形; 2010年6月
- 5) 鈴木志恒, 太田伊吹, 小林篤紀, 村上弥沙子, 野宮琢磨, 和田仁, 根本建二: 脊椎腫瘍に対する重粒子線パッチ照射の検討. 第122回日本医学放射線学会北日本地方会, 山形; 2010年6月

#### (4) 研究会

##### i 特別講演

- 1) 根本建二: 胸部放射線治療を受ける疾患の特徴. 第10回がん放射線看護セミナー, 東京; 2010年2月
- 2) 根本建二: がんと放射線治療. 市民公開講座, 山形; 2010年4月
- 3) 根本建二: 最新の放射線治療. 山形県がん専門薬剤師講習会, 山形; 2010年5月
- 4) 根本建二: 緩和医療における放射線治療の役割. 第2回いわきCSC研究会, いわき; 2010年7月
- 5) 根本建二: 放射線腫瘍医を目指す諸君へ. 日本放射線腫瘍学会学生研修医セミナー, 東京; 2010年7月
- 6) 根本建二: がん治療最前線. 生理機能部門東北部会, 山形; 2010年7月
- 7) 根本建二: がんの放射線治療. 大鵬薬品講演会, 山形; 2010年8月
- 8) 根本建二: 食道癌の放射線治療の動向と問題点. 広島放射線治療研究会, 広島; 2010年10月

##### ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 和田仁: 乳癌の放射線療法の適応とタイミング. 東北 breast cancer workshop 2010, 仙台; 2010年5月
- 2) 和田仁: 放射線療法概論. 第1回北東北・南東北がんプロ合同勤務医セミナー, 盛岡; 2010年6月
- 3) 和田仁, 根本建二: 再発神経膠芽腫に対する術後再照射. 第54回北日本放射線腫瘍学研究会, 仙台; 2010年6月
- 4) 野宮琢磨: がん治療最新の話—放射線治療—. 3大学合同学生セミナー, 山形市; 2010年12月

##### iii 一般演題

- 1) 鈴木志恒: この症例にはどのような治療が?. 第2回 NSCLC Conference for the future in Yamagata, 山形; 2010年7月

#### (5) その他

- 1) 根本建二: 放射線治療総論. Cancer e-learning, <http://www.cael.jp/>
- 2) 根本建二: 食道がん. Cancer e-learning, <http://www.cael.jp/>
- 3) 和田仁: 緩和医療における放射線治療の役割. 平成22年度第3回がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会, 山形; 2010年7月

### 3. 学会, 講演会, シンポジウム, ワークショップ等の開催

- 1) 第2回 Lung cancer conference in Yamagata, 山形国際ホテル; 2010年8月
- 2) 第11回 放射線腫瘍学夏季セミナー, 山形テルサ; 2010年8月
- 3) 第3回 がんと骨病変カンファレンス, 山形グランドホテル; 2010年11月
- 4) 体に優しい放射線医療 (医用原子力振興財団講演会), 山形テルサ; 2010年11月

## 1. 論文

### (1) 原著

- 1) Amita M, Takahashi T, Tsutsumi S, Ohta T, Takata K, Hermi N, Hara S, Igarashi H, Takahashi K, Kurachi H: Molecular mechanism of the inhibition of estradiol-induced endometrial epithelial cell proliferation by clomiphene citrate. *Endocrinology*. 2010;151(1):394-405
- 2) Hermi N, Takahashi K, Amita M, Takata K, Ohta T, Tsutsumi S, Takahashi T, Kurachi H: Effect of dienogest on estrogen-induced nitric oxide production in human umbilical vein endothelial cells and endothelium-dependent vasodilatation in postmenopausal women. *Menopause*. 2010;17(3):615-621
- 3) Hara S, Takahashi T, Amita M, Igarashi H, Kurachi H: Usefulness of bezafibrate for ovulation induction in clomiphene citrate-resistant polycystic ovary syndrome patients with dyslipidemia: a prospective pilot study of seven cases. *Gynecol Obstet Invest*. 2010;70(3):166-172
- 4) Karube Y, Fujimoto T, Takahashi O, Nanjyo H, Mizunuma H, Yaegashi N, Sugiyama T, Kurachi H, Sato A, Tanaka T: Histopathological prognostic factors predicting para-aortic lymph node metastasis in patients with endometrioid uterine cancer. *Gynecol Oncol*. 2010;118(2):151-154

### (2) 総説

- 1) Takahashi T, Igarashi H, Amita M, Hara S, Kurachi H: -Mini Review- Roles of prostaglandins during oocyte maturation: lessons from knockout mice. *J Mamm Ova Res*. 2010;27(1):11-20
- 2) 高橋俊文, 五十嵐秀樹, 倉智博久: ここが知りたい-PCOSの最新情報 PCOSの病因-最近の考え方. *臨床婦人科産科*. 2010;64(2):130-141
- 3) 中原健次, 須藤 毅, 倉智博久: 子宮頸がんの予防戦略-ワクチンと検診 [子宮頸がん検診-普及をめざして] HPV感染はSTDではない. *臨床婦人科産科*. 2010;64(3):314-317
- 4) 倉智博久: 女性のやせ・肥満は次世代の健康に大きな影響を与える. *日本医事新報*. 2010;4485:74-75
- 5) 倉智博久: 問診・診察法 問診および病歴の記載 知っておくべき女性のライフサイクル. *日本産科婦人科学会雑誌*. 2010;62(4):N25-N26
- 6) 倉智博久: 問診・診察法 問診および病歴の記載 問診と病歴記載のポイント. *日本産科婦人科学会雑誌*. 2010;62(4):N27-N30
- 7) 倉智博久: 問診・診察法 産婦人科診察法 内診(視診、双合診)、直腸診. *日本産科婦人科学会雑誌*. 2010;62(4):N31-N33
- 8) 倉智博久: 問診・診察法 産婦人科診察法 新生児の診察. *日本産科婦人科学会雑誌*. 2010;62(4):N34-N39
- 9) 五十嵐秀樹, 高田恵子, 倉智博久: ホルモンQ&A. *HORMONE FRONTIER IN GYNECOLOGY*. 2010;17(1):78-81
- 10) 高田恵子, 山谷日鶴, 倉智博久: [肥満治療 患者を中心とした集学的診療体制の構築] 診断・疫学・病態・合併症 女性肥満へのアプローチ 不妊と妊娠. *治療学*. 2010;44(4):414-418
- 11) 堤 誠司, 高田恵子, 倉智博久: [肥満とやせ]女性のやせと次世代への健康影響. *公衆衛生*. 2010;74(6):484-487
- 12) 堤 誠司: 婦人科外来での検査 妊娠の検査 妊娠反応の原理と実際 妊娠の診断・除外診断 妊娠の診断のピットフォール. *日本産科婦人科学会雑誌*. 2010;62(5):N56-N60
- 13) 五十嵐秀樹, 太田 剛, 倉智博久: II 検査 ホルモン検査, 負荷検査, GnRH テスト, TRH テスト. *産婦人科治療 産婦人科救急のすべて*. 2010;58(1):1629-1636
- 14) 五十嵐秀樹, 原周一郎, 倉智博久: [産婦人科検査マニュアル] 生殖・内分泌 エストロゲン. *産科と婦人科*. 2010;77(Suppl):137-144
- 15) 堤 誠司: 超音波検査 産科超音波検査. *日本産科婦人科学会雑誌*. 2010;62(7):N90-N97
- 16) 堤 誠司, 前川絢子, 倉智博久: 異所性妊娠 [診断と治療の実際] 帝切創部妊娠. *臨床婦人科産科*. 2010;64(7):1122-1125
- 17) 五十嵐秀樹, 吉田隆之, 倉智博久: [産婦人科救急のすべて] 産婦人科救急に必要な基本手技 産婦人科救急



と画像診断. 産婦人科治療. 2010;100(suppl):512-520

- 18) 網田光喜, 高橋俊文, 倉智博久: クエン酸クロミフェンによる子宮内膜増殖抑制作用の分子機構. 産婦人科の実際. 2010;59(9):1399-1405
- 19) 高田恵子, 清野 学, 倉智博久: 無月経 続発性無月経 肥満. 産科と婦人科. 2010;77(11):1318-1323
- 20) 高田恵子, 山谷日鶴, 倉智博久: [更年期障害] ホルモン補充療法. 治療. 2010;12(92):2772-2776
- 21) 高橋一広, 山谷日鶴, 倉智博久: 女性のヘルスケアとホルモン療法 -女性の QOL 向上を目指して- 女性の健康とエストロゲン. 産婦人科治療. 2010;101(6):578-582
- 22) 高橋一広, 逸見典子, 倉智博久: [明日から役立つ「性差医学・医療」] 女性ホルモンからみた性差. 診断と治療. 2010;98(7):1093-1097

### (3) 著書

- 1) 中原健次, 小島原敬信, 倉智博久: 婦人科手術 開腹手術 [キーワード: 広汎性子宮全摘術]. 倉智博久編, ここが聞きたい 産婦人科手術・処置とトラブル対処法. 東京;医学書院 2010:p23-25
- 2) 中原健次, 太田 剛, 倉智博久: 婦人科手術 開腹手術 [キーワード: 卵巣腫瘍摘出術]. 倉智博久編, ここが聞きたい 産婦人科手術・処置とトラブル対処法. 東京;医学書院 2010:p37-39

## 2. 学会報告

### (1) 国際学会

#### i 一般演題

- 1) Otsu N, Mizutani M, Yamada M, Sato M, Sato T, Morikane K, Kurachi H, Kimura W: Preoperative immunonutrition may be potent to prevent the nutritional depletion in preoperative period of the patients with digestive organ cancer. ESPEN2010, Nice, France; Sept 5-8, 2010
- 2) Takahashi T, Hara S, Amita M, Igarashi H, Kurachi H: Usefulness of bezafibrate for ovulation induction in clomiphene citrate-resistant polycystic ovary syndrome patients with dyslipidemia: a case series of 7 patients. ICE2010, Kyoto, Japan; March 26-30, 2010
- 3) Takahashi T, Amita M, Hara S, Igarashi H, Kurachi H: Effects and molecular mechanisms of postovulatory aging on cumulus cells apoptosis. ASRM2010, Denver, Co, USA; Oct 23-27, 2010

### (2) 国内の学会

#### i 一般演題

- 1) 高橋俊文, 原 周一郎, 網田光喜, 五十嵐秀樹, 倉智博久: 脂質異常を有するクロミフェン抵抗性多嚢胞性卵巣症候群に対するベザフィブレードの排卵促進効果の検討. 第 83 回日本内分泌学会, 京都; 2010 年 3 月
- 2) 網田光喜, 高橋俊文, 原 周一郎, 五十嵐秀樹, 倉智博久: GFP 結合 ER $\alpha$  を用いた子宮内膜細胞におけるエストロゲン, 抗エストロゲン作用の可視化. 第 62 回日本産科婦人科学会, 東京; 2010 年 4 月
- 3) 清野 学, 太田 剛, 高橋俊文, 逸見典子, 須藤 毅, 本山梯一, 倉智博久: 化学療法後の卵巣癌再発巣における Akt と ERK の活性化は予後良好因子である. 第 62 回日本産科婦人科学会, 東京; 2010 年 4 月
- 4) 吉田隆之, 山谷日鶴, 逸見典子, 高田恵子, 高橋一広, 倉智博久: 卵巣摘出が脂質・骨代謝に及ぼす経時的影響と卵巣摘出後の薬剤介入についての検討. 第 62 回日本産科婦人科学会, 東京; 2010 年 4 月
- 5) 高田恵子, 山谷日鶴, 吉田隆之, 堤 誠司, 逸見典子, 高橋一広, 倉智博久: 閉経後女性の内臓脂肪量と骨密度との関係についての検討. 第 62 回日本産科婦人科学会, 東京; 2010 年 4 月
- 6) 堤 誠司, 吉田隆之, 前川絢子, 石田博美, 佐藤 恵, 高橋一広, 倉智博久: 新しい遺伝子変異が同定された Boomerang dysplasia の 1 症例: 特徴的な超音波および 3D-CT 所見. 第 62 回日本産科婦人科学会, 東京; 2010 年 4 月
- 7) 前川絢子, 高橋俊文, 小島原敬信, 須藤 毅, 松村創平, 堤 誠司, 倉智博久: 婦人科悪性腫瘍患者における術後静脈血栓症予防に関する臨床的検討—高リスク群に対する間欠的空気圧迫法の限界—. 第 62 回日本産科婦人科学会, 東京; 2010 年 4 月
- 8) 中原健次, 小島原敬信, 須藤 毅, 横山良仁, 水沼英樹, 庄子忠宏, 杉山 徹, 佐藤宏和, 田中俊誠, 高野忠夫, 八重樫伸生, 田勢 亨, 西山 浩, 藤森敬也, 倉智博久: 卵巣卵黄嚢腫瘍(yolk sac tumor)の臨床的検討. 第 62

回日本産科婦人科学会, 東京; 2010年4月

- 9) 高橋俊文, 五十嵐秀樹, 網田光喜, 原周一郎, 倉智博久: 加齢マウスにおける卵の老化による胚発育悪化のメカニズム. 第62回日本産科婦人科学会, 東京; 2010年4月
- 10) 横山良仁, 水沼英樹, 杉山 徹, 田中俊誠, 八重樫伸生, 倉智博久, 藤森敬也, 田勢 亨, 庄子忠宏, 藤本俊郎, 高野忠夫, 中原健次, 西山 浩: 婦人科悪性腫瘍術後の健康維持管理についての意識調査. 第62回日本産科婦人科学会, 東京; 2010年4月
- 11) 島田宗昭, 西村隆一郎, 日浦昌道, 波多江正紀, 竹原和宏, 佐藤 章, 倉智博久, 水沼英樹, 八重樫伸生, 杉山 徹, 紀川純三: 子宮頸部腺癌に対する術後放射線療法の意義 三海婦人科癌スタディグループ/東北婦人科腫瘍研究会多施設共同研究. 第62回日本産科婦人科学会, 東京; 2010年4月
- 12) 高橋俊文, 五十嵐秀樹, 網田光喜, 原 周一郎, 倉智博久: 加齢マウスにおける卵の老化による胚発育悪化のメカニズム. 第51回日本哺乳動物卵子学会, 新潟; 2010年5月
- 13) 高野忠夫, 大槻健郎, 吉永浩介, 永瀬 智, 新倉 仁, 伊藤 潔, 八重樫伸生, 田勢 亨, 中原健次, 倉智博久, 横山良仁, 水沼英樹, 竹原和宏, 野村弘行, 青木大輔, 中山裕樹, 藤本俊郎, 田中俊誠, 大竹秀幸, 片瀨秀隆: 子宮癌肉腫に対するパクリタキセル・カルボプラチン併用術後補助化学療法の第II相試験. 第48回日本婦人科腫瘍学会, 筑波; 2010年7月
- 14) 前川絢子, 堤 誠司, 倉智博久: 帝王切開癒痕部妊娠の3例. 第46回日本周産期・新生児医学会, 神戸; 2010年7月
- 15) 前川絢子, 吉田隆之, 堤 誠司, 倉智博久: 帝王切開癒痕部妊娠5例の検討. 第46回日本周産期・新生児医学会, 神戸; 2010年7月
- 16) 高橋俊文, 五十嵐秀樹, 網田光喜, 原 周一郎, 倉智博久: 加齢マウスにおける卵の老化による胚発育悪化のメカニズム. 第28回日本受精着床学会, 横浜; 2010年7月
- 17) 大津信博, 佐藤智明, 森兼啓太, 倉智博久, 水谷雅臣, 木村 理: インパクトの術前摂取による手術待機中の栄養低下抑制効果に関する検討. 第42回日本臨床検査自動化学会, 神戸; 2010年10月
- 18) 佐藤直仁, 白田 亨, 中嶋英治, 佐藤智明, 森兼啓太, 倉智博久: 血清ガストリン放出ペプチド前駆体(ProGRP)測定における腎機能障害の影響の検討. 第42回日本臨床検査自動化学会, 第42回日本臨床検査自動化学会, 神戸; 2010年10月
- 19) 網田光善, 高橋俊文, 原 周一郎, 五十嵐秀樹, 倉智博久: GFP-ER $\alpha$ を用いた子宮内膜細胞におけるエストロゲン・抗エストロゲン作用の可視化. 第55回日本生殖医学会, 徳島; 2010年11月
- 20) 高橋俊文, 五十嵐秀樹, 網田光善, 原周一郎, 倉智博久: 加齢マウスにおける胚発育悪化のメカニズムーカルシウム制御機構の検討ー. 第15回日本生殖内分泌学会, 大阪; 2010年11月

### (3) 国内地方会

#### i 特別講演

- 1) 倉智博久: 「子宮頸がん検診と予防ワクチンについて」. 第160回三郡市医師会合同学術講演会, 山形; 2010年7月
- 2) 倉智博久: 「中高年女性のヘルスケア」. 定例産婦人科医会, 佐世保; 2010年8月
- 3) 倉智博久: 閉経後女性のヘルスケアー心血管系疾患を中心にー. 第25回日本更年期医学会, 鹿児島; 2010年10月

#### ii 一般演題

- 1) 清野 学, 五十嵐秀樹, 須藤 毅, 高橋俊文, 中原健次, 倉智博久: 腸管壊死を伴った子宮破裂の一例. 第129回東北連合地方部会, 盛岡; 2010年5月
- 2) 成味 恵, 前川絢子, 早坂典子, 吉田隆之, 堤 誠司, 高橋一広, 倉智博久: 妊娠17週でHELLP症候群を発症した抗リン脂質抗体症候群合併妊娠の1例. 第129回東北連合地方部会, 盛岡; 2010年5月
- 3) 渡邊憲和, 網田光喜, 前川絢子, 堤 誠司, 倉智博久: 癒着防止フィルム使用部位に発生した帝王切開術後貯留性嚢胞の一例. 第108回山形県産婦人科集談会, 山形; 2010年7月
- 4) 渡邊憲和, 前川絢子, 網田光喜, 高田恵子, 高橋俊文, 堤 誠司, 倉智博久: 癒着防止フィルム使用部位に発生した帝王切開後貯留性嚢胞の一例. 第58回北日本連合地方部会, 石川; 2010年9月
- 5) 清野 学, 五十嵐秀樹, 須藤 毅, 原周一郎, 小島原敬信, 中原健次, 倉智博久: 腸管壊死を伴った子宮破裂の一例. 第58回北日本連合地方部会, 石川; 2010年9月

- 6) 成味 恵, 前川絢子, 早坂典子, 吉田隆之, 堤 誠司, 高橋一広, 倉智博久 : 妊娠 17 週でHELLP 症候群を発症した抗リン脂質抗体症候群合併妊娠の 1 例. 第 58 回北日本連合地方部会, 石川; 2010 年 9 月
- 7) 漆山敬子, 松尾幸城, 前川絢子, 山谷日鶴, 網田光喜, 堤 誠司, 倉智博久 : 完全大血管転位症合併妊娠の一例. 第 58 回北日本連合地方部会, 石川; 2010 年 9 月
- 8) 漆山敬子, 渡辺憲和, 前川絢子, 網田光善, 吉田隆之, 堤 誠司, 倉智博久 : 完全大血管転位症合併妊娠の一例. 第 110 回山形県産婦人科集談会, 山形; 2010 年 11 月

#### (4) 研究会

##### i 特別講演

- 1) 倉智博久 : 「婦人科術後のヘルスケア」. 第 1 回福島県女性疾患研究会, 郡山; 2010 年 1 月
- 2) 倉智博久 : 「婦人科術後患者のヘルスケア」. 第 3 回三重県産婦人科内分泌研究会, 三重; 2010 年 6 月
- 3) 倉智博久 : 「エストロゲンと血管」. 第 3 回 Tokyo Circulation Seminar, 東京; 2010 年 9 月

##### ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 倉智博久 : 「中高年女性のヘルスケア」. エストラナテープ 0.72mg 発売 10 周年記念講演会, 千葉; 2010 年 3 月
- 2) 倉智博久 : 「中高年女性のヘルスケア」. エストラナテープ 0.72mg 発売 10 周年記念講演会, 岐阜; 2010 年 6 月
- 3) 倉智博久 : 「中高年女性のヘルスケア」. 第 112 回近畿産科婦人科学会学術集会イブニングセミナー, 京都; 2010 年 6 月
- 4) 倉智博久 : 「中高年女性のヘルスケア」. エストラナテープ 0.72mg 発売 10 周年記念講演会, 石川; 2010 年 6 月
- 5) 倉智博久 : 「中高年女性のヘルスケア」. エストラナテープ 0.72mg 発売 10 周年記念講演会, 長崎; 2010 年 6 月
- 6) 倉智博久 : 「中高年女性のヘルスケア」. エストラナテープ 0.72mg 発売 10 周年記念講演会, 山梨; 2010 年 6 月
- 7) 須藤 毅 : 「再発卵巣がん治療～当科におけるドキシル使用経験～」. 再発卵巣がんセミナー in 庄内, 鶴岡; 2010 年 12 月

##### iii 一般演題

- 1) 山谷日鶴 : 閉経後女性の体脂肪分布変化とその臨床的意義についての研究. 第 10 回中高年女性の予防医学研究会, 山形; 2010 年 6 月
- 2) 前川絢子 : 婦人科悪性腫瘍患者における術後静脈血栓症予防に関する臨床的検討. 第 10 回中高年女性の予防医学研究会, 山形; 2010 年 6 月
- 3) 須藤 毅, 清野 学, 成味 恵, 太田 剛, 小島原敬信, 中原健次, 倉智博久 : 当科におけるリボソーム化ドキソルビシンの使用経験. 第 21 回山形県婦人科悪性腫瘍研究会, 山形; 2010 年 9 月
- 4) 大津信博, 水谷雅臣, 柏倉美幸, 丘 龍祥, 佐藤智明, 森兼啓太, 倉智博久, 木村 理 : 免疫賦活栄養調整食摂取による手術待機中の栄養低下防止効果に関する検討. 第 25 回東北静脈経腸栄養研究会, 山形; 2010 年 11 月

#### (5) その他

- 1) 中原健次 : 「子宮頸がんの予防とワクチン」. 学術講演会, 山形; 2010 年 2 月
- 2) 倉智博久 : 「子宮頸がん検診と予防ワクチンについて」. 「子宮頸がん」市民公開講座, 大阪; 2010 年 6 月
- 3) 倉智博久 : 「子宮頸がん予防ワクチン接種の最新情報」. 市民公開講座, 最上; 2010 年 8 月
- 4) 倉智博久 : 「周産期医療～現状と問題点～」. 山形県病院薬剤師会 妊婦・授乳婦薬物療法研修会, 山形; 2010 年 9 月
- 5) 倉智博久 : 子宮頸がん検診と予防ワクチンについて. 市民公開講座, 山形; 2010 年 12 月
- 6) 落合和徳, 小林 浩, 倉智博久, 平嶋泰之, 竹島信宏 : (座談会) 婦人科領域における静脈血栓塞栓症(VTE) 予防について. Pharma Medica. 2010;28(4):67-74

# 麻酔科学講座

## 1. 論文

### (1) 原著

- 1) Blankstein M, Byrick RJ, Nakane M, Bang KW, Freedman J, Richards RR, Kajikawa O, Zdero R, Bell D, Schemitsch EH: Amplified inflammatory response to sequential hemorrhage, resuscitation, and pulmonary fat embolism: an animal study. *J Bone Joint Surg Am.* 2010; 92: 149-161
- 2) Miura Y, Kanazawa K, Yokoo N, Iizawa K, Okada M, Oda S, Nakane M: Low-dose but not high-dose prostaglandin E1 improves the histological outcome of severe forebrain ischemia in rats. *J Anesth.* 2010; 24: 234-239
- 3) Endo S, Shibata S, Sato N, Hashiba E, Tajimi K, Saito K, Kawamae K, Nakane M, Murakawa M, Tohoku ALI Study Group: A prospective cohort study of ALI/ARDS in the Tohoku district of Japan (second report). *J Anesth.* 2010; 24: 351-358
- 4) 岡田真行, 高田康輔, 川前金幸: 手術中に覚醒を必要とする脳神経外科手術(awake craniotomy)の麻酔管理におけるレミフェンタニルの有効性. *麻酔.* 2010; 59: 75-81
- 5) 永野達也, 伊関憲, 仁木敬夫, 杉浦明日美, 二藤部丈司, 川前金幸: アナフィラキシーショックの治療にβ遮断薬が影響を及ぼした心肺停止に陥った1症例. *日本集中治療医学会雑誌.* 2010; 17(2): 207-210
- 6) 志馬伸朗, 阪井裕一, 植田育也, 上田康久, 櫻井淑男, 清水直樹, 中村友彦, 竹田晋浩, 中川聡, 小谷透, 落合亮一, 妙中信之, 西村匡司, 氏家良人, 川前金幸, 多治見公高, 日本集中治療医学会新生児小児集中治療委員会: ICUに入室した新型インフルエンザA(2009-H1N1)感染患者データベースの分析. *人工呼吸.* 2010; 27(2): 179-190
- 7) 浅利靖, 太田美子, 小笠原賢, 金田正樹, 川前金幸, 今明秀, 齋藤兄治, 成田智, 山崎達枝, 吉崎宏二, 日本集団災害医学会八甲田雪崩災害特別調査委員会: 平成19年2月14日「八甲田山前嶽山頂付近で発生した雪崩災害」調査報告書. *日本集団災害医学会誌.* 2010; 15(2): 231-270
- 8) 伊関憲, 永野達也, 杉浦明日美, 金井雅代, 仁木敬夫, 堀寧, 川前金幸: 嫌酒者によるメタノール中毒の1例. *中毒研究.* 2010; 22(3): 238-239

### (2) 総説

- 1) 篠崎克洋, 川前金幸: 【麻酔前の評価・準備と予後予測】呼吸器疾患 喘息. *麻酔.* 2010; 59(7): 821-826
- 2) 篠崎克洋, 川前金幸: 【麻酔前の評価・準備と予後予測】呼吸器疾患 慢性閉塞性肺疾患. *麻酔.* 2010; 59(7): 827-832
- 3) 阿部修一, 川前金幸: 【呼吸管理プラクティカルガイド】人工呼吸の終了 急性呼吸不全の後遺症としての慢性呼吸不全. *救急医学.* 2010; 34(10): 1367-1370
- 4) 秋元亮, 小野寺悠, 中根正樹: 特集 ALI/ARDS. 呼吸器ケア. 2010; 8: 1040-1046
- 5) 岩下義明, 川前金幸: 【呼吸ケアチーム必携 呼吸療法のための画像診断】見逃せない陰影変化・基本的な異常陰影 横隔膜と肺野透過性を常に意識する 陽圧換気と PEEP による影響. *呼吸器ケア.* 2010; 夏期増刊: 182-188
- 6) 高岡誠司, 川前金幸: 【「困った!」「わからない!」現場の疑問を徹底サポート 手術・麻酔の看護 Q&A103】全身麻酔 Q&A 麻酔器・麻酔薬準備の重要ポイント. *オペナーシング.* 2010; 秋季増刊: 96-114
- 7) 永野達也, 川前金幸: 【人工呼吸器とケア Q&A 基本用語からトラブル対策まで(第2版)】人工呼吸法の基本種類. *ナーシングケア Q&A.* 2010; 35: 66-71

### (3) 著書

- 1) 川前金幸: 1. 麻酔と呼吸機能. 天羽敬祐監修, 麻酔科学レビュー2010. 東京; 総合医学社, 2010: 1-6
- 2) 川前金幸: 第10章 危機管理 4 気胸. 麻酔科研修ノート. 東京; 診断と治療社, 2010: 260-261
- 3) 中根正樹: 人工呼吸関連肺炎とその予防. 人工呼吸 Q&A (日本呼吸療法医学会セミナー委員会編). 大阪; メディカ出版, 2010: 185-200
- 4) 山川真由美, 加藤佳子: 症例別処方例 11 脊柱管狭窄症. 難治性疼痛の薬物療法. 東京; 南山堂, 2010: 33-36

#### (4) その他

- 1) 中根正樹：急性期 NPPV 療法の一步進んだ活用法. 第 30 回日本呼吸療法医学会セミナーテキスト, 神戸 ; メディカ出版, 2010 : 113-134
- 2) 川前金幸 : モニター. 3 学会合同呼吸療法認定士認定更新講習会テキスト, 東京 ; (財) 医療機器センター, 2010 : 30-38

## 2. 学会報告

### (1) 国際学会

#### i 一般演題

- 1) Masaki Nakane, Sayumi Kurita, Nana Takahashi, Jun Yoshioka, Shinya Oda, Kaneyuki Kawamae : Inspiratory Trigger and Expiratory Termination Sensitivity of New Anesthesia Ventilators. American Society of Anesthesiologists annual congress 2010, San Diego ; October 2010
- 2) Shinya Oda, Kei Otaki, Masahiro Iwabuti, Masayuki Okada, Noriko Yokoo, Masaki Nakane, Kaneyuki Kawamae : Work of breathing by different interfaces in spontaneous positive pressure ventilation. -helmet, facemask, endotracheal tube-. American Society of Anesthesiologists annual congress 2010, San Diego ; October 2010
- 3) Masaki Nakane, Kei Otaki, Sachiko Matsushita, Masayuki Okada, Kaneyuki Kawamae : Inspiratory Trigger Sensitivity of New Anesthesia Ventilators Capable of Spontaneous Breathing Synchronization. The 13th Asian Australasian Congress of Anesthesiologists, Fukuoka ; June 2010

### (2) 国内の学会

#### i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 川前金幸, 鮎川勝彦, 内野博之, 中敏夫, 西田修, 成松英智, 池田寿昭, 日本集中治療医学会危機管理委員会 : 各施設の集中治療部における危機管理体制の現状. 第 37 回日本集中治療医学会, 広島 ; 2010 年 3 月
- 2) 中根正樹 : 日本国内における HF0V 施行症例の症例登録について. 第 5 回 HF0V フォーラム. 第 32 回日本呼吸療法医学会, 東京 ; 2010 年 7 月
- 3) 中根正樹 : 解説「気管吸引のガイドライン」. 第 32 回日本呼吸療法医学会, 東京 ; 2010 年 7 月

#### ii 一般演題

- 1) 岡田真行, 松下佐智子, 横尾倫子, 飯澤和恵, 川前金幸 : フェンタニル持続静注による小児の術後鎮痛. 日本麻酔科学会第 57 回学術集会, 福岡 ; 2010 年 6 月
- 2) 飯澤和恵, 岡田真行, 横尾倫子, 松下佐智子, 川前金幸 : 術後痛対策チーム始動. 日本麻酔科学会第 57 回学術集会, 福岡 ; 2010 年 6 月
- 3) 横尾倫子, 飯澤和恵, 岡田真行, 松下佐智子, 高岡誠司, 川前金幸 : 術後鎮痛状況調査に基づいた硬膜外注入プロトコールの作成とその検討—開胸肺手術における快適な術後鎮痛を目指して—. 日本麻酔科学会第 57 回学術集会, 福岡 ; 2010 年 6 月
- 4) 大瀧恵, 横尾倫子, 松下佐智子, 高岡誠司, 川前金幸 : 当院における禁煙への取り組みと現状—術前の禁煙 100%を目指して—. 日本麻酔科学会第 57 回学術集会, 福岡 ; 2010 年 6 月
- 5) 松下佐智子, 小野寺悠, 加藤二葉, 岩淵雅洋, 中根正樹, 川前金幸 : プロポフォール, ミダゾラム, ケタミンの麻酔導入時における AEP index と Bispectral Index の変化. 日本臨床麻酔学会第 30 回大会, 徳島 ; 2010 年 11 月
- 6) 岩淵雅洋, 中根正樹, 吉岡淳, 岡田真行, 市川一誠, 宮本卓也, 小田真也, 高岡誠司, 川前金幸 : ヘルメット型インターフェイス (CaStar R) の有用性と注意点. 第 37 回日本集中治療医学会, 広島 ; 2010 年 3 月
- 7) 吉岡淳, 阿部勲, 岩淵雅洋, 大瀧恵, 中根正樹, 小田真也, 川前金幸 : 人工呼吸中の Heliox 換気における有用性と問題点. 第 37 回日本集中治療医学会, 広島 ; 2010 年 3 月
- 8) 加藤二葉, 小野寺悠, 岩淵雅洋, 松下佐智子, 中根正樹, 川前金幸 : 小児におけるヘルメット型インターフェイスの使用経験. 第 37 回日本集中治療医学会, 広島 ; 2010 年 3 月
- 9) 島田二郎, 川前金幸, 田勢長一郎, 池上之浩, 長谷川有史, 塚田泰彦 : 集中治療における気道管理セミナー

一開催の試み. 第 37 回日本集中治療医学会, 広島; 2010 年 3 月

- 10) 飯澤和恵, 前田聖代, 岡田真行, 横尾倫子, 川前金幸: 帝王切開術後の鎮痛方法の検討—脊髄くも膜下硬膜外併用麻酔後の硬膜外鎮痛はフェンタニルが有用である—. 第 114 回日本産科麻酔学会, 横浜; 2010 年 12 月
- 11) 秋元亮, 岩淵雅洋, 中根正樹, 小田真也, 川前金幸: ヘルメット型インターフェイス (CASTAR R) における呼気ポートリーク量の検討. 第 32 回日本呼吸療法医学会, 東京; 2010 年 7 月
- 12) 吉岡淳, 松川陽明, 秋元亮, 岩淵雅洋, 小田真也, 中根正樹, 川前金幸: ヘルメット型マスク (CaStar R) におけるトリガ位置と呼気ポートについての検討. 第 32 回日本呼吸療法医学会, 東京; 2010 年 7 月
- 13) 加藤二葉, 大畑淳, 花岡透子, 市野隆, 川前金幸, 小田真也: 小児に対するヒドロキシエチルデンプンの投与は安全か. 日本小児麻酔学会第 16 回学術集会, 倉敷; 2010 年 9 月
- 14) 山川真由美, 加藤佳子: 帯状疱疹・帯状疱疹後神経痛に対するモルヒネ内服治療—第 2 報 2 1 年間の成績から—. 第 44 回日本ペインクリニック学会, 京都; 2010 年 7 月
- 15) 小野寺悠, 中根正樹, 秋元亮, 岩淵雅洋, 岡田真行, 川前金幸: 心臓血管外科術後における呼吸管理と集中治療専門医の重要性. 第 15 回日本心臓血管麻酔学会学術集会, 東京; 2010 年 10 月

### (3) 国内地方会

#### i 特別講演

- 1) 中根正樹: 周術期管理のためのモニタリング. 日本麻酔科学会北海道・東北支部学術集会 (第 67 回東北地方会), 山形; 2010 年 9 月

#### ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 加藤二葉: 小児におけるスガマデクスの使用～deep extubation～. 日本麻酔科学会北海道・東北支部学術集会 (第 67 回東北地方会), 山形; 2010 年 9 月

2)

#### iii 一般演題

- 1) 前田聖代, 小田真也, 川前金幸, 高橋達郎, 布川浩子, 高岡誠司: 周術期に PiCCOplus を用いて肺血管外水分量を測定し, 肺胞洗浄を行った肺胞蛋白症の一例. 日本麻酔科学会北海道・東北支部学術集会 (第 67 回東北地方会), 山形; 2010 年 9 月
- 2) 岩淵雅洋, 中根正樹, 小野寺悠, 成澤あゆ香, 加藤二葉, 前田聖代, 佐藤さくら, 岡田真行, 小田真也, 川前金幸: ヘルメット型インターフェイス (CASTAR R) の使用経験. 第 19 回日本集中治療医学会東北地方会, 仙台; 2010 年 7 月
- 3) 秋元亮, 岩淵雅洋, 松下佐智子, 横尾倫子, 市川一誠, 宮本卓也, 篠崎克洋, 小田真也, 中根正樹, 川前金幸: 少量ステロイドと APRV が奏効した術後 ARDS の一例. 第 19 回日本集中治療医学会東北地方会, 仙台; 2010 年 7 月
- 4) 宮本卓也, 中根正樹, 市川一誠, 川前金幸, 久保田功: 大動脈弁狭窄症による難治性うっ血性心不全に対し経皮的動脈弁バルーン形成術が有効であった 1 例. 第 19 回日本集中治療医学会東北地方会, 仙台; 2010 年 7 月
- 5) 松下佐智子, 小野寺悠, 加藤二葉, 岩淵雅洋, 中根正樹, 川前金幸: 聴性誘発反応測定装置 AEP モニタ aepEX<sup>plus</sup> の使用経験. 日本麻酔科学会北海道・東北支部学術集会 (第 67 回東北地方会), 山形; 2010 年 9 月
- 6) 成澤あゆ香, 小田真也, 秋元亮, 佐藤さくら, 大瀧恵, 川前金幸: 硬膜外麻酔・骨盤高位手術との関連が疑われた低髄圧症候群に伴う硬膜下血腫の 1 症例. 日本麻酔科学会北海道・東北支部学術集会 (第 67 回東北地方会), 山形; 2010 年 9 月
- 7) 秋元亮, 大瀧恵, 岡田真行, 小田真也, 加藤晃, 川前金幸: ラテックスアレルギーのハイリスクグループに属する症例に対する麻酔経験 ～ラテックスフリーの手術環境を目指して～. 日本麻酔科学会北海道・東北支部学術集会 (第 67 回東北地方会), 山形; 2010 年 9 月
- 8) 設楽哲也, 中根正樹, 篠崎克洋, 杉浦明日美, 伊閑恵, 川前金幸: 救急用カプノメータ EMMA の性能評価. 第 24 回東北救急医学会総会・学術集会, 横手; 2010 年 6 月
- 9) 加藤佳子, 加藤晃, 山川真由美: 「モルヒネ友の会 (非がん疼痛をモルヒネでコントロールしている患者さんたちの会)」発足. 第 34 回日本ペインクリニック学会東北地方会, 秋田; 2010 年 3 月

#### (4) 研究会

##### i 特別講演

- 1) 川前金幸：呼吸のみかた。東京バイタルサインセミナー，東京；2010年11月
- 2) 中根正樹：急性期NPPV療法の一步進んだ活用法。第30回日本呼吸療法医学会セミナー，神戸；2010年5月
- 3) 中根正樹：若手医師のための呼吸療法セミナー。第14回救急総合診療を考える会，名古屋；2010年5月
- 4) 中根正樹：人工呼吸の安全管理と呼吸ケアチームの役割。日本海総合病院講演会，酒田；2010年6月
- 5) 中根正樹：人工呼吸中の鎮静鎮痛をどうすべきか？。山形大学医学部附属病院医療安全レクチャー，山形；2010年6月
- 6) 中根正樹：急性呼吸不全に対するNPPV療法の有用性とピットフォール。第2回青森県NPPVセミナー，青森；2010年9月
- 7) 中根正樹：気管吸引に必要な基礎知識と実際。山形県呼吸リハ勉強会，山形；2010年10月
- 8) 中根正樹：気管吸引ガイドラインって～最低限これだけは知っておこう～。第4回東京呼吸療法セミナー，東京；2010年11月
- 9) 山川真由美：緩和ケアチーム 山形大学病院ではこうやっています。第6回置賜地区緩和医療研究会，米沢；2010年7月

##### ii 一般演題

- 1) 成澤あゆ香，小田真也，岡田真行，大瀧恵，秋元亮，佐藤さくら，川前金幸：術後の抗凝固療法と硬膜外麻酔—急性硬膜外血腫の一例—。第17回山形麻酔懇話会，山形；2010年7月
- 2) 成澤あゆ香，中根正樹，川前金幸：デクスメトミジンにより心臓血管外科術後患者の心房細動発生率が減少するか。第1回 2nd stage Precedex focus meeting in Miyagi/Yamagata，仙台；2010年11月
- 3) 松下佐智子，小野寺悠，加藤二葉，岩淵雅洋，中根正樹，川前金幸：デクスメトミジン投与中におけるAEPEX®での鎮痛深度評価。第1回 2nd stage Precedex focus meeting in Miyagi/Yamagata，仙台；2010年11月
- 4) 横尾倫子，飯澤和恵，岡田真行，前田聖代，川前金幸：術後モルヒネ持続静注の現状 術後痛：まだまだホットです。第18回山形周術期病態研究会，山形；2010年11月
- 5) 小野寺悠：Airway Pressure Release Ventilationが奏功した心臓血管外科術後ARDS症例。第16回山形県臨床工学会，天童；2010年9月
- 6) 秋元亮，小野寺悠，成澤あゆ香，前田聖代，加藤二葉，飯澤和恵，松下佐智子，大瀧恵，岩淵雅洋，岡田真行，横尾倫子，小田真也，中根正樹，川前金幸：少量ステロイドとAPRVが奏効した術後ARDSの一例。第4回循環器呼吸器外科・麻酔集中治療研究会，山形；2010年9月
- 7) 中根正樹，小野寺悠，成澤あゆ香，秋元亮，前田聖代，加藤二葉，飯澤和恵，松下佐智子，大瀧恵，岩淵雅洋，岡田真行，横尾倫子，小田真也，川前金幸：心臓血管外科術後における呼吸管理と集中治療専門医の重要性。第4回循環器呼吸器外科・麻酔集中治療研究会，山形；2010年9月

#### 3. 学会，講演会，シンポジウム，ワークショップ等の開催

- 1) 日本麻酔科学会北海道・東北支部学術集会（第67回東北地方会），山形；2010年9月
- 2) 第17回山形麻酔懇話会，山形；2010年7月

## 1. 論文

### (1) 原著

- 1) Mitsuyoshi Iino, Mami Suzuki, Yoshiki Hamada : Kabuki Syndrome with complete bilateral cleft lip and palate. *Malaysian J Oral Maxillofac Surg.* 2010 ; 8 (Suppl), 99
- 2) Hisako Fujihara, Daichi Chikazu, Hideto Saijo, Hiroyuki Suenaga, Mitsuyoshi Iino, Yoshiki Hamada, Tsuyoshi Takato : Metastasis of hepatocellular carcinoma into the mandible with radiographic findings mimicking a radicular cyst: a case report. *J Endod.* 2010 ; 36(9) : 1593-1596
- 3) Hideto Saijo, Yoshiyuki Mori, Hisako Fujihara, Yuki Kanno, Daichi Chikazu, Kazumi Ohkubo, Hisako Hikiiji, Mitsuyoshi Iino, Yoshiyuki Yonehara, Tsuyoshi Takato : Evaluation and analysis of formation of bone at the palate in patients with cleft lip and palate after palatoplasty based on computed tomograms and three-dimensional data. *Scand J Plast Reconstr Surg Hand Surg.* 2010; 44(1): 21-25
- 4) Hiroyuki Yamada, Kenji Mishima, Koji Kawaguchi, Toshikatsu Horiuchi, Kazutoshi Nakaoka, Mitsuyoshi Iino, Ichiro Saito, Yoshiki Hamada : A nodular buccal mass. *Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Rad Endod.* 2010 ; 110(2) : 140-144
- 5) Hideto Saijo, Yoshiyuki Mori, Daichi Chikazu, Mitsuyoshi Iino, Tsuyoshi Takato : A bone harvesting method involving a surgical template prepared using a three-dimensional method. *Asian J Oral Maxillofac Surg.* 2010 ; 22(1) : 20-22
- 6) Daichi Chikazu, Tetsushi Taguchi, Hiroyuki Koyama, Hisako Hikiiji, Hisako Fujihara, Hideyuki Suenaga, Hideto Saijo, Yoshiyuki Mori, Ichiro Seto, Mitsuyoshi Iino, Tsuyoshi Takato : Improvement in wound healing by a novel synthetic collagen-gel dressing in genetically diabetic mice. *Asian J Oral Maxillofac Surg.* 2010 ; 22(2) : 61-67
- 7) Noriaki Kikuchi, Hideo Kashiwa, Toshihiko Ogino, Mituhiro Kato, Kiyoshi Hayasaka : The Nuss Technique for Jeune Asphyxiating Thoracic Dystrophy Repair in Siblings. *Annals of Plastic Surgery.* 2010; 65(2): 214-218
- 8) Toshiaki Tanaka, Mitsuyoshi Iino : t (11;18)(q21;q21) chromosome translocation (A1446-M1150) of MALT lymphoma in buccal mucosa. *J Cancer Res Clin Oncol.* 2010 ;136(11) : 1783-1785
- 9) Chikahiko Numakura, Sachiko Kitanaka, Mitsuhiro Kato, Shigeo Ishikawa, Yoshiaki Hamamoto, Yuriko Katsushima, Toshiyuki Kimura, and Kiyoshi Hayasaka : Supernumerary Impacted Teeth in a Patient With SOX2 Anophthalmia Syndrome. *Am J Med Genet A.* 2010 ; 152A(9) : 2355-2359
- 10) Toshihiko Ogino, Hiroshi Satake, Masatoshi Takahara, Noriaki Kikuchi, Tadayosi Watanabe, Kousuke Iba, and Seiichi Ishii : Aberrant muscle syndrome, Hypertrophy of the hand and arm due to aberrant muscles with or without hypertrophy of the muscles. *Congenital Anomalies.* 2010; 50(2):133-138.
- 11) 菊地憲明, 荻野利彦, 佐竹寛史, 佐藤大祐, 高原政利 : 尖端合指部に絞扼組織片を認めた先天性絞扼輪症候群の1例. *形成外科.* 2010 ; 53(3) : 325-330
- 12) 菊地憲明, 加藤秀輝, 柏 英雄 : 自家真皮脂肪組織移植を用いた巻き爪変形の治療. *形成外科.* 2010 ; 53(4) : 423-429
- 13) 菊地憲明, 荻野利彦, 佐竹寛史, 佐藤大祐, 高原政利 : 常染色体異常症例に見られた先天性梨状孔部骨性狭窄の1例. *形成外科.* 2010 ; 53(5) : 545-551
- 14) 加藤秀輝, 菊地憲明, 柏 英雄 : 急性リンパ球性白血病患者に発症した電撃性紫斑病に対して骨髄ドナーからの植皮を行った1例. *日形会誌.* 2010;30(10):550-555.
- 15) 鴻池紗耶, 菅原正登, 小山内俊久, 土屋登嗣, 荻野利彦 : 骨内に進展発育した軟部発生神経鞘腫の1例. *整形外科.* 2010 ; 61(12) : 1307-1310
- 16) 石川恵生, 藤井 聡, 里見 孝, 吉田孝史, 濱本宜興, 飯野光喜 : 歯科技工士の作業管理に関する調査. *日歯技工誌.* 2010 ; 30(2):161-166



- 17) 石川恵生, 吉田孝史, 下山泰明, 藤井 聡, 里見 孝, 濱本宜興, 飯野光喜: 歯科技工士の作業管理に関する縦断研究—保健指導前後での作業管理の変化について—. 日歯技工誌. 2010 ; 31(1), 10~16
- 18) 石川恵生, 栗谷忠知, 小林武仁, 橘 寛彦, 櫻井博理, 濱本宜興, 飯野光喜: 多剤アレルギーの既往をもつ患者の抜歯経験. Hospital Dentistry & Oral-Maxillofacial Surgery. 2010 ; 22(1) : 119-121
- 19) 柴田 肇, 山ノ内秀之, 諏訪しのぶ, 荒井 茂, 濱本宜興: 初回手術から 11 年後に再発を認めた下顎エナメル上皮腫の 1 例. 山形県病医誌. 2010 ; 44 (1) : 51-54
- 20) 中林洋平, 菊地憲明, 荻野利彦, 金 哲樹, 宮崎良太, 貞弘光章: 悪性リンパ腫治療後の開胸術後胸骨骨髓炎の 1 例. 形成外科. 2010 ; 53(10) : 1141-1146
- 21) 深作 達也, 秋山 孝夫, 冨塚 謙一: 下顎骨の残存歯数変化時における応力解析. 第 29 回 日本シミュレーション学会大会発表論文集 JSST 2010 : 395-398
- 22) 安藤申直, 林 頼雄, 安藤嘉明, 里見 孝, 丹野雅仁: 水溶性ワックスを応用したエコロジカルな技工作業の提案—環境学の視点から補綴物製作時の金属使用量および二酸化炭素排出の軽減を目指す 1. 全部铸造冠製作におけるワックスアップ時の“内面削除材”としての応用. The International Journal of Dental Technology 歯科技工. 2010 ; 38 (2), 235-242
- 23) 安藤申直, 林 頼雄, 安藤嘉明, 里見 孝, 丹野雅仁: 水溶性ワックスを応用したエコロジカルな技工作業の提案—環境学の視点から補綴物製作時の金属使用量および二酸化炭素排出の軽減を目指す 2. 部分床義歯の製作における“蠟義歯材”としての応用. The International Journal of Dental Technology 歯科技工. 2010 ; 38 (4), 478-483
- 24) 安藤申直, 林 頼雄, 安藤嘉明, 里見 孝, 丹野雅仁: 水溶性ワックスを応用したエコロジカルな技工作業の提案—環境学の視点から補綴物製作時の金属使用量および二酸化炭素排出の軽減を目指す 3. 最終回総義歯製作における“蠟義歯材”としての応用. The International Journal of Dental Technology 歯科技工. 2010 ; 38 (6), 713-719

## (2) 総説

- 1) 飯野光喜: 自家腸骨海綿骨細片による顎骨の機能再建. 山形医学. 2010 ; 28(1) : 1-11

## (3) 著書

- 1) 飯野光喜: 口内炎、口腔ヘルペス、舌苔・舌炎. 幕内雅敏, 菅野健太郎, 工藤正俊編, 今日の消化器疾患治療指針, 第3版. 東京; 医学書院. 2010年: 272-273
- 2) 飯野光喜: 初メス体験記・腸骨海綿骨採取術. 福田仁一, 瀬戸完一, 栗田賢一, 木村博人, 野間弘康, 朝波惣一郎編, 口腔外科 YEAR BOOK・口腔外科ハンドマニュアル' 10. 東京; クインテッセンス出版. 2010年: 145-146
- 3) 飯野光喜: 舌が腫脹している患者が来院したら?. 高戸毅監修, 医師・歯科医師のための口腔診療必携—困った時のマニュアル・ヒント集—. 東京; 金原出版. 2010年: 19
- 4) 飯野光喜: 舌が痛いと訴える患者が来院したら?. 高戸毅監修, 医師・歯科医師のための口腔診療必携—困った時のマニュアル・ヒント集—. 東京; 金原出版. 2010年: 20-21
- 5) 飯野光喜: インプラント治療を行う際に注意すべき全身疾患と服用薬は?. 高戸毅監修, 医師・歯科医師のための口腔診療必携—困った時のマニュアル・ヒント集—. 東京; 金原出版. 2010年: 166

## 2. 学会報告

### (1) 国際学会

#### i 一般演題

- 1) Mitsuyoshi Iino, Mami Suzuki, Yoshiki Hamada: Kabuki Syndrome with complete bilateral cleft lip and palate. 9<sup>th</sup> Asian Congress on Oral & Maxillofacial Surgery, Kuala Lumpur, Malasia; November 24-27 2010

### (2) 国内の学会

#### i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 濱本宜興: シンポジウム I Enamel Protein を用いた基礎研究と臨床応用—移植・再植歯の歯根膜再生に関する研究を中心に—. 日本歯科保存学会 第133回秋季学術大会, 岐阜; 2010年10月
- 2) 菊地憲明, 加藤秀輝, 鴻池紗耶: 皮弁の術後管理—手術中からの準備. 第37回日本マイクロサージャリ

一学会, 名古屋; 2010年11月

ii 一般演題

- 1) 田中俊昭, 後藤 薫: DNA 損傷におけるジアシルグリセロールキナーゼゼータ (DGKz) と p53 の役割. 第115回日本解剖学会総会, 盛岡; 2010年3月
- 2) 菊地憲明, 加藤秀輝, 鴻池紗耶, 大泉弘幸, 蜂谷 修: 広背筋弁で治療した胃管吊上げ術後に胃管気管支瘻を生じた1例. 第53回日本形成外科学会, 金沢; 2010年4月
- 3) 菊地憲明, 加藤秀輝, 鴻池紗耶, 土屋登嗣, 菅原正登, 荻野利彦, 小山内俊久: 四肢温存のための術中血行バイパスを使用した血行再建術. 第43回日本整形外科学会骨軟部腫瘍学術集会, 東京; 2010年7月
- 4) 冨塚謙一, 小林武仁, 飯野光喜: 下顎骨折条件下における下顎骨および骨接合材料の三次元有限要素法による応力解析. 第55回(社)日本口腔外科学会総会, 千葉; 2010年10月
- 5) 田中俊昭, 小林武仁, 北島健一朗, 尾崎 尚, 飯野光喜: t(11;18)(q21;q21)転座を伴う頬粘膜 MALT リンパ腫の1例. 第55回(社)日本口腔外科学会総会, 千葉; 2010年10月
- 6) 吉田孝史, 橘 寛彦, 小林武仁, 石川恵生, 尾崎 尚, 飯野光喜: ポリドカノールによる硬化療法を行った口腔血管腫の2例. 第55回(社)日本口腔外科学会総会, 千葉; 2010年10月
- 7) 北島健一朗, 飯野光喜: 頬粘膜に発生した基底細胞腺腫の1例. 第55回(社)日本口腔外科学会総会, 千葉; 2010年10月
- 8) 加藤秀輝, 柏 英雄, 鴻池紗耶, 菊地憲明: 巨舌を呈した舌・口腔底リンパ管腫の1例. 第28回日本頭蓋顎顔面外科学会, 京都; 2010年10月
- 9) 石川恵生, 吉田孝史, 藤井 聡, 里見 孝, 下山泰明, 濱本宜興, 飯野光喜: 歯科技工士の作業管理に関する調査. 第32回日本歯科技工学会学術大会, 名古屋; 2010年11月
- 10) 里見 孝, 田中新一, 伊藤多佳男, 高田 朝, 安藤申直, 阿部和夫: 義歯作成における人口歯排列ナビゲーションシステムの開発. 第32回日本歯科技工学会学術大会, 名古屋; 2010年11月
- 11) 安藤嘉明, 土田康夫, 里見 孝, 山本勝一: 義歯刻印により身元が確認された事例. 日本法歯科医学会第4回学術大会, 東京; 2010年7月
- 12) 深作達也, 秋山孝夫, 冨塚謙一: 下顎骨の残存歯数変化時における応力解析. 第29回日本シミュレーション学会大会, 米沢市; 2010年6月

(3) 国内地方会

i 特別講演

- 1) 濱本宜興: 地域連携クリティカルパスと歯科医療のかかわり. 第22回日本口腔衛生学会東北地方会特別講演, 山形; 2010年5月

ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 飯野光喜: インプラント教育に望むこと. シンポジウム「インプラント予後不良例を乗り越えるために」. 第48回NPO法人日本口腔科学会第36回(社)日本口腔外科学会北日本地方会, 仙台; 2010年5月

iii 一般演題

- 1) 櫻井博理, 熊坂愛里, 北島健一朗, 吉田孝史, 助川香織, 栗谷忠知, 石川恵生, 橘 寛彦, 濱本宜興, 飯野光喜: 塩化ストロンチウムによる多発性骨転移舌癌患者の治療経験. 第36回(社)日本口腔外科学会北日本地方会, 仙台; 2010年5月
- 2) 高橋雪絵, 濱本宜興, 小林武仁, 櫻井博理, 橘 寛彦, 冨塚謙一, 飯野光喜: 山形大学医学部附属病院歯科口腔外科における口腔領域悪性腫瘍症例について. 第36回(社)日本口腔外科学会北日本地方会, 仙台; 2010年5月
- 3) 小林武仁, 里見 孝, 櫻井博理, 石川恵生, 橘 寛彦, 濱本宜興, 飯野光喜: フルバランス型開口訓練器の開発-第2報-. 第36回(社)日本口腔外科学会北日本地方会, 仙台; 2010年5月
- 4) 菊地大樹, 濱本宜興, 冨塚謙一, 櫻井博理, 橘 寛彦, 小林武仁, 石川恵生, 栗谷忠知, 尾崎 尚, 高橋雪絵, 飯野光喜: 当科における過去4年間の口腔・顎・顔面外傷の臨床統計的検討. 第48回NPO法人日本口腔科学会第36回日本口腔外科学会北日本地方会 仙台; 2010年5月
- 5) 菊地憲明, 黒木ひとみ: 骨髄炎を伴う大転子部褥瘡に対して抗生剤含有骨セメントと筋皮弁にて治療した一例. 第7回日本褥瘡学会東北地方学術集会, 仙台; 2010年7月
- 6) 鴻池紗耶, 菊地憲明, 加藤秀輝, 金 哲樹, 佐々木 幹: 抗生剤含有骨セメントを使用した骨髄炎合併潰瘍

- 瘍の治療. 第26回日本形成外科学会北海道東北支部学術集会, 福島; 2010年7月
- 7) 田中俊昭, 後藤 薫: 細胞質局在型ジアシルグリセロールキナーゼゼータ (DGKz) は細胞死を抑制する. 第56回日本解剖学会地方会, 旭川; 2010年9月
  - 8) 吉田雪絵, 濱本宜興, 櫻井博理, 橘 寛彦, 小林武仁, 石川恵生, 栗谷忠知, 土谷理恵子, 尾崎 尚, 飯野光喜: 山形大学医学部歯科口腔外科における口腔領域悪性腫瘍症例について. 第63回東北地区歯科医学会, 仙台; 2010年10月

#### (4) 研究会

##### i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 飯野光喜: 顎骨再生医療の基礎と臨床. 山形大学医学会, 山形; 2010年3月

##### ii 一般演題

- 2) 鴻池紗耶, 菊地憲明, 加藤秀輝, 根本信仁, 和田学: 脊椎悪性リンパ腫に対する放射線治療後潰瘍から細菌性脳炎を発症した一例. 第15回山形形成外科懇話会, 山形; 2010年7月
- 3) 矢野亜希子, 菊地憲明, 鴻池紗耶, 加藤秀輝: ステロイド皮下注入療法後の陥凹変形に自家脂肪移植を行った3例. 第15回山形形成外科懇話会, 山形; 2010年7月
- 4) 里見 孝, 小林武仁, 桜井博理, 石川恵生, 濱本宜興, 飯野光喜, 深作達也, 秋山孝夫: フルバランス型開口訓練器の力学的検討、臨床応用に向けた三次元有限要素解析. 第12回日本口腔顎顔面技工研究会, 札幌; 2010年7月
- 5) 濱本宜興, 櫻井博理, 橘 寛彦, 小林武仁, 石川恵生, 栗谷忠知, 土谷理恵子, 尾崎 尚, 吉田雪絵, 飯野光喜: 小児期咬合治療における歯の自家移植の位置付け. 山形県歯科医学会, 山形; 2010年9月
- 6) 加藤秀輝, 鴻池紗耶, 菊地憲明: 頬部皮膚合併切除を行った歯肉癌症例に対する筋膜移植と二皮島皮弁による再建. 第16回東北マイクロサージャリー懇話会, 仙台; 2010年10月
- 7) 後藤勇吉, 斎藤輝彦, 里見 孝, 小林武仁, 江口幸也, 安藤詠子, 久松徳郎, 中野 哲: 産学官連携によるフルバランス型開口訓練器の開発. 山形県工業技術センター第73回研究成果発表, 山形; 2010年7月
- 8) 深作達也, 富澤直毅, 秋山孝夫, 富塚謙一: 下顎骨折条件下における下顎骨及び骨接合材料の応力解析. 日本知能情報ファジィ学会 東北・関東支部研究部会 知能制御・ヒューマンインタフェース合同研究会, 米沢; 2010年7月
- 9) 佐竹寛史, 井上 林, 菊地憲明, 渡邊忠良, 佐藤大祐, 高原政利, 土田浩之, 荻野利彦: 指再接着術における骨短縮の必要性. 第16回東北マイクロサージャリー懇話会, 仙台; 2010年10月

#### (5) その他

- 1) 飯野光喜: 口腔癌の診断と治療 - 超選択的動注化学療法と顎骨再建 -. 平成22年西村山地区学術研修会, 寒河江市; 2010年1月21日
- 2) 飯野光喜: 有病者歯科治療と緊急偶発症発生時の対応・インプラント手術と出血. 平成22年川口市歯科医師会学術講演, 川口市; 2010年2月6日
- 3) 飯野光喜: 口唇裂・口蓋裂の診断と治療. 平成22年山形市医師会学術講演会, 山形市; 2010年2月26日
- 4) 飯野光喜: 顎骨再生医療の臨床. 平成22年米沢市歯科医師会学術講演会, 米沢市; 2010年4月9日
- 5) 飯野光喜: インプラントと顎骨再生医療. 山形歯科インプラント研究会発足会記念講演, 山形市; 2010年4月17日
- 6) 飯野光喜: 口腔癌について. 平成22年山形市歯科医師会学術講演会, 山形市; 2010年5月8日
- 7) 飯野光喜: 口腔がんについて. 平成22年度置賜地区歯科医師会学術講演会, 長井市; 2010年6月19日
- 8) 飯野光喜: 有病者歯科治療と緊急偶発症発生時の対応・インプラント手術と出血. 山形県歯科医師会主催平成22年度「医療安全管理セミナー」, 山形市; 2010年6月10日.
- 9) 飯野光喜: 安全なインプラント手術に必要なこと. 平成22年山形県歯科学術講演会, 山形市; 2010年7月8日
- 10) 飯野光喜: 口腔がん一検診から治療まで - 緊急時の対応 - 特に救急薬品の使用法について -, 山形県歯科医師会主催平成22年度「第一回病診連携医学講座」, 山形市; 2010年7月22日
- 11) 飯野光喜: 口腔がん検診について. 西村山地区歯科医師会学術研修会, 寒河江市; 2010年9月30日
- 12) 飯野光喜: 産学官連携、医工連携による開口訓練器の開発. 平成22年度産学官連携セミナー秋田メディカルリングダストリ (AMI) ネットワーク, 秋田市; 2010年11月9日

- 13) 飯野光喜：口腔がんー検診から治療までー、インプラントと顎骨再生医療. 天童市・東村山郡歯科医師会  
学術講演会, 天童市 ; 2010年11月13日

# 救急医学講座

## 1. 論文

### (1) 原著

- 1) 堀寧, 伊関憲, 鈴木幸一郎, 奈女良昭, 福本真理子, 福家千昭, 森博美, 相馬一玄, 日本中毒学会分析委員会: 1998年度に厚生省(現厚生労働省)から薬毒物分析機器が配備された救急医療施設における分析業務の実態調査. 中毒研究. 2010;23(3):224-231
- 2) 前川慶之, 吉村幸浩, 外山秀司, 宮崎良太, 黒田吉則, 貞弘光章, 仁木敬夫, 伊関憲: Fallot 四徴症根治術後に発症した横紋筋融解症の一例. 日本集中治療医学会雑誌. 2010;17(2):213-214
- 3) 永野達也, 伊関憲, 仁木敬夫, 杉浦明日美, 二藤部丈司, 川前金幸: アナフィラキシーショックの治療にβ遮断薬が影響を及ぼし心肺停止に陥った1症例. 日本集中治療医学会雑誌. 2010;17(2):207-210
- 4) 猪狩龍佑, 伊関憲, 阿部さち, 東海林正邦, 佐藤恵, 下村慶子, 林田昌子, 杉浦明日美, 岩下義明, 緑川新一: マムシ咬傷により複視・眼瞼下垂をきたした1例. BRAIN and NERVE. 2010;62(3):273-277

### (2) 総説

- 1) 福本真理子, 福家千昭, 堀寧, 森博美, 伊関憲, 鈴木幸一郎, 相馬一玄, 奈女良昭, 日本中毒学会分析委員会: 急性中毒の分析における臨床的な問題と最近の話題(その8) 臨床中毒分析におけるパラダイムシフト. 中毒研究. 2010;23(3):256-259
- 2) 福家千昭, 堀寧, 森博美, 伊関憲, 鈴木幸一郎, 相馬一玄, 奈女良昭, 福本真理子, 日本中毒学会分析委員会: 急性中毒の分析における臨床的な問題と最近の話題(その7) 15品目の中毒の発生の推移とジフェンヒドラミンとSSRIの分析法の紹介. 中毒研究. 2010;23(2):124-128
- 3) 伊関憲: 中毒初級講座 第3回 消化管除染. 中毒研究. 2010;23(2):117-122
- 4) 伊関憲, 鈴木幸一郎, 相馬一玄, 奈女良昭, 福本真理子, 福家千昭, 堀寧, 森博美, 下村慶子, 林田昌子: ラマン光分析を用いた薬毒物定性検査法—First Defender™を用いた分光分析法—. 中毒研究. 2010;23(1):59-63
- 5) 田勢長一郎, 伊関憲: 【Pros & Cons 有機リン中毒にPAMは有効か】Cons 有効というエビデンスはない. 中毒研究. 2010;23(1):36-40

### (3) その他

- 1) 伊関憲, 田勢長一郎: 人工呼吸器とケア Q&A 基本用語からトラブル対策まで(第2版)【人工呼吸器からの離脱(ウィーニング)とケア 離脱(ウィーニング)はどうしたらよいの? ナーシングケア Q&A. 2010;35:262-263
- 2) 伊関憲, 田勢長一郎: 人工呼吸器とケア Q&A 基本用語からトラブル対策まで(第2版)【人工呼吸器からの離脱(ウィーニング)とケア 離脱(ウィーニング)はどんな時は始めるの? ナーシングケア Q&A. 2010;35:260-261

## 2. 学会報告

### (1) 国内の学会

#### i 一般演題

- 1) 伊関憲, 林田昌子, 下村慶子, 石川恵理, 山崎健太郎, 田勢長一郎: ジフルオロエタン吸入後に窒息死した一例. 第32回日本中毒学会, 倉敷; 2010年7月
- 2) 下村慶子, 伊関憲, 林田昌子, 石川恵理, 山崎健太郎, 田勢長一郎: 山形県における硫化水素自殺の発生状況. 第32回日本中毒学会, 倉敷; 2010年7月
- 3) 石川恵理, 伊関憲, 下村慶子, 林田昌子, 福家千昭, 山崎健太郎, 田勢長一郎: 塩化カルシウムが著効したジルチアゼムなどの大量服薬の2例. 第32回日本中毒学会, 倉敷; 2010年7月
- 4) 乗峯絵理, 石澤不二雄, 川端三十一, 菅野幸子, 本田克也, 伊関憲, 豊口禎子: アセトアミノフェンのスクリーニングキットの試作. 第32回日本中毒学会, 倉敷; 2010年7月

## (2) 国内地方会

### i 一般演題

- 1) 武藤鮎美, 伊関憲, 下村慶子, 林田昌子, 篠崎克洋: エアダスターを吸入した後に窒息死した一例. 第19回日本集中治療医学会東北地方会, 仙台; 2010年7月
- 2) 下村慶子, 林田昌子, 岩下義明, 杉浦明日美, 緑川新一, 伊関憲, 豊口禎子, 田勢長一郎: First Defender を用いたアセトアミノフェンの検出. 第24回日本中毒学会東日本地方会, 新潟; 2010年1月
- 3) 林田昌子, 下村慶子, 岩下義明, 杉浦明日美, 緑川新一, 伊関憲: ツキヨタケによるキノコ中毒の治療経験. 第24回日本中毒学会東日本地方会, 新潟; 2010年1月

### (3) その他

- 1) 伊関憲: 救急の現状と今後の対策. 福島医大同門会, 山形市; 2010年9月
- 2) 伊関憲: 河北の救急, 日本の救急. 河北町婦人会会員研修, 河北町; 2010年11月

## 3. 学会, 講演会, シンポジウム, ワークショップ等の開催

- 1) AHA BLS 講習会, 山形; 2010年4月, 9月
- 2) AHA ACLS 講習会, 山形; 2010年6月, 9月
- 3) 第7回山形救急医療研究会, 山形; 2010年4月
- 4) 第8回山形救急医療研究会, 山形; 2010年11月
- 5) 山形大学救急医療講演会, 山形; 2010年10月

# 病理診断学講座

## 1. 論文

### (1) 原著

- 1) Hiroya Ohtake, Hiroshi Kawamura, Masami Matsuzaki, Eiichi Yokoyama, Masayuki Kitajima, Shiro Onizuka, Mitsunori Yamakawa : Oncocytic adrenocortical carcinoma : a case report and review of the literature. *Annals of Diagnostic Pathology*. 2010 ; 14 : 204-208.
- 2) Kamio Y, Maeda K, Moriya T, Takasu N, Takeshita A, Hirai I, Kimura W, Yamakawa M : Clinicopathological significance of cell cycle regulatory factors and differentiation-related factors in pancreatic neoplasms. *Pancreas*. 2010 ; 39 : 345-352
- 3) Orii T, Takeda H, Kawata S, Maeda K, Yamakawa M : Differential immunophenotypic analysis of dendritic cell tumours. *J Clin Pathol*. 2010 ; 63 : 497-503
- 4) Ishida A, Hozumi Y, Goto K, Ito T, Aoyagi M, Yamakawa M : Expression of glucocorticoid receptor spliced variants in lymphoma cell lines. *Hematol Oncol*. 2010 ; 29 : 1-4
- 5) Ishida A, Ohta N, Koike S, Aoyagi M, Yamakawa M : Overexpression of glucocorticoid receptor- $\beta$  in severe allergic rhinitis. *Auris Nasus Larynx*. 2010 ; 37 : 584-588
- 6) 松尾拓, 王玉来, 五十嵐貴宏, 齋藤吉彦, 鈴木恒治, 平田慎也, 伊藤純一, 山川光徳 : シスプラチン/リピオドール懸濁液による肝動脈化学療法後に急速に浸潤性増殖をきたし、診断に苦慮した肝細胞癌の1例. 2010 ; 肝臓 51 (8) : 447-453

### (2) 著書

- 1) 前田邦彦, 山川光徳 : 第I章 医学一般(原因と病態). 鈴木利光, 山川光徳, 吉野正, 医学一般ダイナミック病理学 -365 症例からのアプローチ-. 東京 ; 西村書店, 2010 : 35-49
- 2) 斉藤仁昭, 山川光徳 : 第II章 人体各器官の正常構造と疾患 1. 血液・造血器・リンパ系 C. 正常構造 [リンパ系]. 鈴木利光, 山川光徳, 吉野正, 医学一般ダイナミック病理学 -365 症例からのアプローチ-. 東京 ; 西村書店, 2010 : 140-147
- 3) 山川光徳 : 第II章 人体各器官の正常構造と疾患 5. 循環器系 Box 5-1 Marfan 症候群の診断基準. 鈴木利光, 山川光徳, 吉野正, 医学一般ダイナミック病理学 -365 症例からのアプローチ-. 東京 ; 西村書店, 2010 : 375
- 4) 横井豊治, 山川光徳 : 第II章 人体各器官の正常構造と疾患 6. 呼吸器系 症例 141 突然死. 鈴木利光, 山川光徳, 吉野正, 医学一般ダイナミック病理学 -365 症例からのアプローチ-. 東京 ; 西村書店, 2010 : 426-427
- 5) 山川光徳 : 第II章 人体各器官の正常構造と疾患 12. 内分泌・栄養・代謝系 Box 12-1 ビタミン欠乏症. 鈴木利光, 山川光徳, 吉野正, 医学一般ダイナミック病理学 -365 症例からのアプローチ-. 東京 ; 西村書店, 2010 : 862-863

## 2. 学会報告

### (1) 国内の学会

#### i 一般演題

- 1) 岩場晶子, 大江倫太郎, 加藤智也, 大竹浩也, 山川光徳, 石田晃弘 : 肉腫成分を伴う副鼻腔 small cell carcinoma, neuroendocrine type の1例. 第99回日本病理学会総会, 新宿 ; 2010年4月
- 2) ナイン・イエイ・アウン, 大竹浩也, 岩場晶子, 加藤智也, 大江倫太郎, 田嶋克史, 長瀬輝顕, 山川光徳 : Angioimmunoblastic T-cell Lymphoma Involvement in Palatine Tonsil as Primary Site. 第50回日本リンパ網内系学会総会, 新潟 ; 2010年6月
- 3) 大竹浩也, 加藤智也, 岩場晶子, 大江倫太郎, ナイン・イエイ・アウン, 山川光徳, 田嶋克史, 高野桂 : 甲状腺原発と考えられたfollicular lymphomaの一例. 第50回リンパ網内系学会総会, 新潟 ; 2010年6月

- 4) 佐藤裕子, 二本松明, 宇津木努, 安戸方邦, 吉田眞夢, 平井顯徳 : 癩痕への皮内鍼の効果について. 社団法人東洋療法学校協会第 32 回学術大会, 東京 ; 2010 年 10 月

(2) 国内地方会

i 一般演題

- 1) 加藤智也, ナイン・イエイ・アウン, 大江倫太郎, 大竹浩也, 岩場晶子, 山川光徳, 東海林佳兼, 五十嵐朗 : 新型インフルエンザ(A/H1N1)肺炎の一部検例. 第 70 回日本病理学会東北支部学術集会, 仙台 ; 2010 年 2 月
- 2) 岩場晶子, ナイン・イエイ・アウン, 熊沢豊, 大江倫太郎, 加藤智也, 大竹浩也, 山川光徳, 加藤哲子, 本山悌一, 布山繁美, 松永純 : 全身に多発する浸潤性紅斑の一例. 第 71 回日本病理学会東北支部学術集会, 山形 ; 2010 年 7 月

(3) 研究会

i 一般演題

- 1) 加藤智也, ナイン・イエイ・アウン, 大江倫太郎, 熊澤豊, 大竹浩也, 岩場晶子, 山川光徳 : セミノーマにおける血管新生・成熟と腫瘍内炎症細胞浸潤との相関. 第 20 回日本樹状細胞研究会, 新潟 ; 2010 年 6 月
- 2) 鈴木郁子, 加藤裕一, 高野桂, 廣島由紀, 塩野洋介, 田嶋克史, 岩場晶子, ナイン・イエイ・アウン, 熊澤豊, 大江倫太郎, 加藤智也, 大竹浩也, 山川光徳 : 木村氏病の診断でフォロー中に発症した悪性リンパ腫の一例. 第 9 回福島・新潟・山形血液スライドカンファレンス, 山形 ; 2010 年 10 月
- 3) 廣島由紀, 塩野洋介, 鈴木郁子, 加藤裕一, 高野桂, 田嶋克史, 大江倫太郎, ナイン・イエイ・アウン, 熊澤豊, 加藤智也, 大竹浩也, 岩場晶子, 山川光徳 : Castleman 病とホジキンリンパ腫の鑑別が問題となった一例. 第 9 回福島・新潟・山形血液スライドカンファレンス, 山形 ; 2010 年 10 月



# 人体病理学講座

## 1. 論文

### (1) 原著

- 1) Kato N, Takeda J, Fukase M, Motoyama T: Alternate mucoid and hyalinized stroma in clear cell carcinoma of the ovary: manifestation of serial stromal remodeling. *Mod Pathol* 2010; 23: 881-888
- 2) 高野潤, 朴正華, 緒形真也, 川口清, 本山悌一: 絨毛癌と肝様腺癌とが共存した胃癌の1例. *診断病理* 2010; 27: 45-47
- 3) 佐藤英之, 高野潤, 緒形真也, 宮脇元彦, 瀬尾伸夫, 本山悌一:  $\alpha$ -フェトプロテイン陽性細胞を混在した大腸内分泌細胞癌の1例. *診断病理* 2010; 27: 248-251
- 4) 高野潤: 神経内分泌分化を示す胃充実型癌の臨床病理学的研究. *山形医学* 2010; 28: 59-69

### (2) 著書

- 1) 本山悌一: 男性生殖器. 坂本穆彦, 北側昌伸, 仁木利郎 編, 標準病理学 [改訂第4版]. 東京: 医学書院, 2010: 625-636
- 2) 加藤哲子, 本山悌一: 男性生殖器. 笹野公伸, 岡田保典, 安井弥 編, シンプル病理学 [改訂第6版]. 東京: 南江堂, 2010: 262-270

### (3) その他

- 1) 加藤哲子: 間質硝子化. 「病理と臨床」常任編集委員会 編, 病理形態学キーワード. *病理と臨床* 2010; 28: 262s-263s

## 2. 学会報告

### (1) 国内の学会

#### i 特別講演

- 1) 本山悌一: 子宮頸部 HPV 関連病変: Overdiagnosis, Underdiagnosis されやすい疾患. 第49回日本臨床細胞学会秋期大会, 神戸; 2010年11月

#### ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 加藤哲子, 武田淳子, 内ヶ崎新也, 深瀬真之, 本山悌一: 卵巣明細胞腺癌における間質の変化 [ワークショップ: 卵巣腫瘍の基礎と臨床: 明細胞腺癌の病理像, 病態解析そして治療の最前線]. 第99回日本病理学会総会, 東京; 2010年4月
- 2) 本山悌一: ベセスダシステムの精神と細胞診・組織診の精度管理 [シンポジウム: ベセスダシステム時代の子宮頸部組織診]. 第51回日本臨床細胞学会総会, 横浜; 2010年5月
- 3) 加藤哲子, 成富耕二, 深瀬真之, 本山悌一: 類内膜/明細胞腺癌の組織像からみた腹水細胞像 [ワークショップ: 卵巣腫瘍の組織像からみた細胞形態の検討]. 第49回日本臨床細胞学会秋期大会, 神戸; 2010年11月
- 4) 本山悌一: 新カルチノイド症候群の提唱とその民族的背景 [B演説]. 第56回日本病理学会秋期特別総会, 北九州; 2010年11月

#### iii 一般演題

- 1) 清野学, 太田剛, 高橋俊文, 逸見典子, 須藤毅, 本山悌一, 倉智博久: 化学療法後の卵巣癌再発巣における Akt と ERK の活性化は予後良好因子である. 第62回日本産科婦人科学会学術集会, 東京; 2010年4月
- 2) 刑部光正, 本山悌一: 子宮頸部乳頭状未熟化生の臨床病理学的特徴. 第99回日本病理学会総会, 東京; 2010年4月
- 3) 菅原正登, 加藤哲子, 武田淳子, 本山悌一: 骨肉腫における RUNX2 の発現. 第99回日本病理学会総会, 東京; 2010年4月

- 4) 佐藤英之, 高野潤, 武田淳子, 遠藤泰志, 田村元, 本山悌一: 胃肝様腺癌の高転移能について. 第99回日本病理学会総会, 東京; 2010年4月
- 5) 井上恒行, 加藤哲子, 浅沼いづみ, 本山悌一: 乳腺化生癌の1例. 第51回臨床細胞学会総会, 横浜; 2010年5月
- 6) 狩野正昭, 緒形真也, 加藤哲子, 本山悌一: 臨床的には悪性が疑われていた乳腺管状腺腫の一例. 第49回日本臨床細胞学会秋期大会, 神戸; 2010年11月

(2) **国内地方会**

i **特別公演**

- 1) 本山悌一: 卵巣腫瘍の病理 —規約改訂に伴う細胞診の理解のために—. 第25回日本臨床細胞学会山梨県支部学術集会, 甲府; 2010年2月

ii **一般演題**

- 1) 刑部光正, 本山悌一: 左卵巣充実性腫瘍の一例. 第70回日本病理学会東北支部学術集会, 仙台; 2010年2月
- 2) 緒形真也, 柳川直樹, 田村元, 笹生俊一, 本山悌一: 食道腫瘍の1例. 第70回日本病理学会東北支部学術集会, 仙台; 2010年2月
- 3) 刑部光正, 田村元: 左乳腺腫瘍の一例. 第71回日本病理学会東北支部学術集会, 山形; 2010年7月
- 4) 武藤鮎美, 緒形真也, 本山悌一: 大腸ポリポースの1例. 第71回日本病理学会東北支部学術集会, 山形; 2010年7月

(3) **研究会**

i **特別講演**

- 1) 本山悌一: 子宮腫瘍. 特に診断に苦慮する腫瘍及び最近のトピックスについて. 第313回九州・沖縄スライドコンファレンス, 鹿児島; 2010年1月
- 2) 本山悌一: 子宮頸部の腺系病変. 第5回岩手婦人科病理セミナー, 盛岡; 2010年8月
- 3) 本山悌一: HPVと子宮頸部病変 —その組織像と細胞像—. 第30回岩手細胞・組織検討会, 盛岡; 2010年10月
- 4) 本山悌一: HPVと性器腫瘍およびその関連疾患. 第2回関西婦人科腫瘍・病理懇話会, 京都; 2010年11月
- 5) 本山悌一: 婦人科細胞診の新潮流とその基本的理念 —子宮頸部と卵巣腫瘍腹水を中心に—. 新潟県細胞診従事者研修会, 新潟; 2010年12月

ii **シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等**

- 1) 本山悌一: 子宮肉腫の病理 —診断の標準化に関連して— [病理学セミナー]. 第7回婦人科がん会議, 松山; 2010年6月
- 2) 本山悌一: 子宮内膜症とその関連疾患 [教育公演]. 国際病理アカデミー 2010年度診断セミナー, 北九州; 2010年11月

iii **一般演題**

- 1) 緒形真也: GISTの病理診断とリスク分類. 第2回山形GISTフォーラム, 山形; 2010年11月

(4) **その他**

- 1) 本山悌一: 卵巣疾患の病理学. 新潟大学歯学部講義, 新潟; 2010年7月

3. **学会, 講演会, シンポジウム, ワークショップ等の開催**

- 1) 第71回日本病理学会東北支部学術集会, 山形; 2010年7月

## 基礎看護学講座

### 1. 論文

#### (1) 原著

- 1) Sachiko Tanaka, Yukie Maruyama, Satoko Ooshima, Hiroataka Ito: Working condition of nurses in Japan Awareness of work- life - balance among nursing personnel at a university hospital. *Journal of Clinical Nursing* 2010; 20:12-22
- 2) Murakami-Sekimata A, Huang D, Piening BD, Bangur C, Paulovich AG.: The *Saccharomyces cerevisiae* *RAD9*, *RAD17* and *RAD24* genes are required for suppression of mutagenic post-replicative repair during chronic DNA damage. *DNA Repair* 2010; 9(7):824-34.
- 3) 五十嵐祐子, 清水良美, 片野由美, 石幡明: 食後高トリグリセリド血症による血管機能の変化. *日本末病システム学会雑誌*, 2010 ; 15(2):333-334.
- 4) 遠藤良仁, 布施淳子: 看護管理者が認識する研究成果活用を推進する組織的支援の現状と阻害要因の検討. *日本看護研究学会雑誌*. 2010 ; 33 (2) : 61-68
- 5) 只浦寛子, 徳永恵子, 石田陽子, 小山奈都子, 多田千和子: 交流セッションI キネステティック概念を応用した看護支援の可能性—医療のパラダイムを変革させるキネステティックを科学する—. *日本看護技術学会誌*. 2010 ; 9(1) : 21-24
- 6) 小山奈都子, 武田利明, 及川正広, 石田陽子, 市川尚: 交流セッションIX 薬剤の血管外漏出時のケアを考える. *日本看護技術学会誌*. 2010 ; 9(1) : 44-46

#### (2) 総説

- 1) 田中幸子: 中長期的な看護職員の確保に関する一考察、医療人材の確保・育成の課題 I. 連合総研・同志社大学 I T E C 共同研究報告書. 財団法人 連合総合生活開発研究所. 2010 年:32-38

#### (3) 著書

- 1) 布施淳子: 学生のリスク感性を育てる医療安全教育の進め方. 福岡 ; 日総研出版, 2010

#### (4) その他

- 1) A. Ishihata, Y. Igarashi, Y. Shimizu, Y. Kobayashi, A. Yamada, S. Hishinuma, T. Hosoda, Y. Katano. Effects of polyphenolic compounds on glutathione level and endothelial NO production in hypercholesterolemic rats. *Basic & Clinical Pharmacology & Toxicology*. 2010: 107 (s1):329
- 2) 田中幸子, 奥山彩, 佐藤優, 丸山幸恵: 求職中の中老年看護職者のセカンドキャリア就労支援に関する研究—就労ニーズとキャリア・ヒストリーからの考察—. *人材育成学会第 8 回年次大会論文集*. 2010 年;315-320

### 2. 学会報告

#### (1) 国際学会

##### i 一般演題

- 1) Noriko Numadate, Junko Fuse: The Documents review about the definition of emotional support during labor. The 13<sup>th</sup> EAFONS, Hong Kong; Feb. 2010
- 2) Chika Satoh, Junko Fuse : Trends in Literature Related to Advocacy of Clinical Nursing in Japan. 2nd Japan China Korea Nursing Conference, Tokyo Japan; Nov. 2010
- 3) Masako Takahashi, Junko Fuse : Visiting Nurse' s Understanding of a Home Residing Senior Patient' s Will, With respect to the Patient' s Terminal Care. 2nd Japan China Korea Nursing Conference, Tokyo Japan; Nov. 2010
- 4) Kimiko Takahashi, Junko Fuse : Perceived Effectiveness and Practical Problems of Faculty Development at 3-Year Nursing Schools in Japan, Tokyo Japan; Nov. 2010

- 5) A. Ishihata, Y. Igarashi, Y. Shimizu, Y. Kobayashi, A. Yamada, S. Hishinuma, T. Hosoda, Y. Katano. Effects of polyphenolic compounds on glutathione level and endothelial NO production in hypercholesterolemic rats. 16th World Congress on Basic and Clinical Pharmacology, Copenhagen, Denmark; July 2010
- 6) Yoko Ishida, Yumi Matsuda, Natsuko M. Oyama, Toshiaki Takeda: Histological study regarding skin maceration. 2010 WOCN/WCET Joint Conference, Phoenix; June 2010
- 7) Natsuko M. Oyama, Masahiro Oikawa, Yoko Ishida, Toshiaki Takeda: Experimental study of the effect of applying a poultice to skin lesions produced by extravasation of medical drugs. 2010 WOCN/WCET Joint Conference, Phoenix; June 2010

## (2) 国内の学会

### i 特別講演

- 1) 布施淳子：看護基礎教育における医療安全教育の行方。第14回北日本看護学会学術集会，山形；2010年8月

### ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 田中幸子：看護労働の歴史。シンポジウム 看護職者の多様な働き方を考える—生涯現役を可能とする働き方の探究—。看護経済・政策研究学会，山形；2010年10月
- 2) 石田陽子：看護系大学において、いかに解剖学教育を担当する教員を養成していくか。第115回日本解剖学会総会・全国学術集会，盛岡；2010年3月
- 3) 小山奈都子，石田陽子，似鳥徹：コ・メディカル教育における解剖学教員選定の現状と問題点—岩手県内の看護教育施設に対する調査をもとにして—。第115回日本解剖学会総会・全国学術集会，盛岡；2010年3月

### iii 一般演題

- 1) 佐藤美紀，布施淳子：がん患者の治療方針に関する意思決定場面における看護師の倫理的感受性を構成する要因。日本看護倫理学会第3回年次大会，札幌；2010年6月
- 2) 沼館紀子，布施淳子：病院出産と助産院出産を両方経験した褥婦の感じた病院における分娩支援の問題点。第14回北日本看護学会学術集会，山形；2010年8月
- 3) 長谷川幸子，佐藤めぐみ，齋藤由美，布施淳子：放射線科での胃瘻造設患者誤認防止の取り組み—タイムアウトを取り入れて—。第14回北日本看護学会学術集会，山形；2010年8月
- 4) 武田真，布施淳子：基礎看護教育における社会人学生に関する研究の動向。第14回北日本看護学会学術集会，山形；2010年8月
- 5) 田中聡美，布施淳子：看護学生の間関係構築に関する研究の動向。第14回北日本看護学会学術集会，山形；2010年8月
- 6) 高橋方子，布施淳子：訪問看護における在宅療養高齢者の終末期医療に関する意思の把握の特徴。第14回北日本看護学会学術集会，山形；2010年8月
- 7) 高橋公子，布施淳子：3年課程看護師養成所の看護学教務責任者が看護教員に期待する資質と研修の現実。第14回北日本看護学会学術集会，山形；2010年8月
- 8) 布施淳子：3年課程看護専門学校におけるカリキュラム改正後の医療安全教育の強化を阻害する要因。医療の質・安全学会第5回学術集会，千葉；2010年11月
- 9) 磯邊由美，丸山幸恵，田中幸子：育児休業を取得した看護職者の復職時の不安と必要な支援。北日本看護学会，山形；2010年8月
- 10) 田中幸子，奥山彩，佐藤優，丸山幸恵：求職中の中老年看護職者のセカンドキャリア就労支援に関する研究—就労ニーズとキャリア・ヒストリーからの考察—。人材育成学会第8回年次大会，東京；2010年12月
- 11) 松本裕，佐野翔子，片野由美，石幡明：パッションフルーツ種子に含まれるポリフェノール成分の冠循環改善作用。第17回日本未病システム学会，沖縄；2010年11月
- 12) 山崎理美，岩田宏紀，片野由美，石幡明：新しい赤ワインポリフェノール成分の分離およびその血管弛緩作用機序の解析。第17回日本未病システム学会，沖縄；2010年11月。
- 13) 平賀愛美，布施淳子：卒後臨床研修の努力義務化の実施に伴い強化すべきプリセプター育成に関する研修内容の検討。第30回日本看護科学学会学術集会，北海道札幌市；2010年12月

- 14) 石田陽子, 卯野陽子, 菊池智尋, 原亜由美, 松田友美: 薬剤漏出性皮膚傷害に対する罨法の作用に関する基礎的研究. 第19回日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集会, 東京; 2010年5月
- 15) 池端つむぎ, 松田友美, 石田陽子: ウサギ皮膚の浸軟に関する実験的研究. 第14回北日本看護学会学術集会, 山形; 2010年8月
- 16) 卯野陽子, 菊池智尋, 原亜由美, 松田友美, 石田陽子: 薬剤の血管外漏出による皮膚傷害の経時的变化. 第14回北日本看護学会学術集会, 山形; 2010年8月
- 17) 菊池智尋, 卯野陽子, 原亜由美, 松田友美, 石田陽子: 薬剤の血管外漏出による皮膚傷害に対する冷罨法の作用に関する基礎的研究. 第14回北日本看護学会学術集会, 山形; 2010年8月
- 18) 原亜由美, 卯野陽子, 菊池智尋, 松田友美, 石田陽子: 薬剤の血管外漏出による皮膚傷害に対する温罨法の作用に関する基礎的研究. 第14回北日本看護学会学術集会, 山形; 2010年8月
- 19) 松田友美, 石田陽子: 深部損傷褥瘡 (DTI) の動物実験モデル作製に関する組織学的検討. 第12回日本褥瘡学会学術集会, 幕張; 2010年8月
- 20) 桑原一道, 石田陽子, 松田友美: 皮膚創傷における浸軟の影響に関する組織学的研究. 第12回日本褥瘡学会学術集会, 幕張; 2010年8月
- 21) 松田友美, 石田陽子: 仙骨部皮膚にみられた深部組織損傷を疑う褥瘡の一事例. コ・メディカル形態機能学会第9回総会学術集会, 新潟; 2010年9月
- 22) 菊池和子, 高橋有里, 小山奈都子, 石田陽子, 似鳥徹: 根拠に基づく大腿部筋肉内自己注射部位の皮下組織厚アセスメント法. 日本看護技術学会第9回学術集会, 名古屋; 2010年10月
- 23) 小山奈都子, 武田利明, 及川正広, 石田陽子, 熊谷真澄, 横田則子: 「静脈注射」を再考するーアセスメントから副作用のマネジメントまでー. 日本看護技術学会第9回学術集会, 名古屋; 2010年10月

### (3) 研究会

#### i 一般演題

- 1) 田中幸子: 日本の医療人材市場の現状 2 看護労働政策の現状からー潜在看護者の就労支援研修の現状と課題ー. 医療人材Ⅱ研究会, 東京; 2010年3月
- 2) 田中幸子: 看護労働 1996-2010. 新通史フォーラム研究会, 東京; 2010年12月

### 3. 学会, 講演会, シンポジウム, ワークショップ等の開催

- 1) 布施淳子: 「看護診断」「看護過程」講義. 山形大学リフレッシュ医学教育看護師リフレッシュ研修. 山形大学医学部主催, 山形; 2010年(4回)
- 2) 布施淳子: 「学生のリスク完成を育てる医療安全教育の進め方」講演. 日総研主催, 福岡; 2010年5月
- 3) 布施淳子: 「学生のリスク完成を育てる医療安全教育の進め方」講演. 日総研主催, 東京; 2010年6月
- 4) 布施淳子: 「学生のリスク完成を育てる医療安全教育の進め方」講演. 日総研主催, 大阪; 2010年7月
- 5) 布施淳子: 第14回北日本看護学会学術集会開催 2010年8月
- 6) 布施淳子: 看護論, 第21回山形県看護実習指導者講習会, 5回, 山形県看護協会主催, 山形; 2010年5~6月
- 7) 布施淳子: 鶴岡市立荘内病院看護研究支援, 3回, 山形; 2010年1, 6, 7, 9月
- 8) 布施淳子: 公立高島病院看護研究支援, 3回, 山形; 2010年1, 5, 6月
- 9) 田中幸子: 実習指導の原理と評価 (6回). 第21回山形県看護実習指導者講習会, 山形; 2010年5月~6月
- 10) 田中幸子: 看護専門職論 看護教育制度. 平成22年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル, 宮城; 2010年7月
- 11) 田中幸子: 人的資源活用論 看護人事と労務. 平成22年度認定看護管理者教育課程セカンドレベル, 山形; 2010年10月
- 12) 田中幸子: 復職のための中高年看護職者のセカンドキャリア. 加瀬ウエルネスタウン 潜在看護師復職支援セミナー, 宮城; 2011年2月
- 13) 田中幸子: 看護職者の多様な働き方を考えるー生涯現役を可能とする働き方の探究ー. 看護経済・政策研究学会, 山形; 2010年10月
- 14) 田中幸子: 看護職者のワーク・ライフ・バランスに関するワークショップ. 山形; 2010年8月

- 15) 石田陽子：精緻なからだのつくりを探る（特色ある高校づくり学習活動支援事業），山形；2010年2月
- 16) 石田陽子，松田友美：看護系教員の解剖実習講習会，山形；2010年8月
- 17) 平賀愛美：第14回北日本看護学会学術集会準備委員長，山形；2010年8月
- 18) 平賀愛美：看護記録，第21回山形県看護実習指導者講習会講師，山形県看護協会主催，山形；2010年6月
- 19) 平賀愛美：文献検索，第21回山形県看護実習指導者講習会講師，山形県看護協会主催，山形；2010年5月
- 20) 平賀愛美：情報検索，平成22年度認定看護管理者制度ファーストレベル教育課程講師，山形県看護協会主催，山形；2010年6月
- 21) 平賀愛美：情報検索，平成22年度認定看護管理者制度セカンドレベル教育課程講師，山形県看護協会主催，山形；2010年8月

# 臨床看護学講座

## 1. 論文

### (1) 原著

- 1) 古瀬みどり, 青柳翔子, 松浪容子: 訪問看護師の在宅人工呼吸療養者支援の現状および支援にかかわる研修参加のニーズ調査. 訪問看護と介護. 2010; 15(4): 298-303
- 2) 森谷真澄美, 松田幸恵, 船田志保, 古瀬みどり: 新卒看護師のリアリティショックと乗り越えた. 日本看護学会論文集—看護管理—. 2010; 40: 300-302
- 3) 横山浩之, 廣瀬三恵子, 奈良千恵子, 涌澤圭介, 久保田由紀, 萩野谷和裕, 土屋滋, 飯沼一字: 指示を待つことが抑うつ初期症状であった双極Ⅰ型障害を示した自閉症の1例. 脳と発達. 2010; 42: 55-57
- 4) 横山浩之, 佐藤利憲, 富澤弥生: 発達障害がある児(者)の気分障害の症状と治療. 太田ステージ研究会誌. 2010; 20: 53-57
- 5) 高見美奈, 佐藤幸子, 塩飽仁: 神経症患児の両親の役割受容と親役割行動の特徴—子どもの精神的健康および家族機能評価との関連. 日本小児看護学会雑誌. 2010; 19(1): 25-36
- 6) 三上千佳子, 佐藤幸子, 佐藤志保: 幼児の採血への対処行動に関連する要因. 北日本看護学会誌. 2010; 12(1): 1-10
- 7) 長谷川直人, 佐藤和佳子: 居宅要支援高齢者の健康状態と健康管理の特徴—前期・後期高齢者別の検討—. 厚生指標. 2010; 57(2): 35-42
- 8) 長谷川直人, 佐藤和佳子: ウオーキングイベント参加者の運動習慣および運動に対する認識の特徴と参加後の変化. 山形医学. 2010; 28(1): 13-23
- 9) 長谷川直人, 佐藤和佳子: ウオーキングイベント参加者の運動実施目的と運動時の安全対策—運動習慣および運動に対する認識の追加調査—. 山形医学. 2010; 28(1): 25-31
- 10) 伊藤直子, 佐藤富美子, 佐藤和佳子: 療養病床における経管栄養者の頸部関節可動域と意識障害度およびADLの特性. 日本老年看護学会. 2010; 14(2): 68-74
- 11) 高橋幸子, 齋藤深雪, 山崎登志子: 精神科看護師のバーンアウトの要因と情緒的支援の有効性に関する研究. 日本ヒューマンケア心理学会誌. 2010; 11(2): 59-69
- 12) 漆山歩, 遠藤由美子, 山口咲奈枝: 小学生をもつ母親の更年期症状, 日常生活ストレスおよびその対処行動の実態. 北日本看護学会誌. 2010; 12(2): 39-49
- 13) 浅川真由美, 遠藤由美子, 山口咲奈枝: 更年期症状に対する受診行動の関連要因に関する検討. 北日本看護学会誌. 2010; 12(2): 69-79
- 14) 叶谷由佳, 佐藤富美子, 遠藤由美子, 鈴木育子, 峯岸由紀子, 赤間明子, 横山浩之, 吉谷須磨子, 佐藤幸子, 古瀬みどり, 松崎葉子, 齋藤深雪, 山口咲奈枝, 松田友美, 松浪容子, 長谷川直人, 馬場薫, 森鍵祐子, 堀江竜弥: 看護系大学卒業生の職場定着および専門性獲得に関する意識調査. 看護展望. 2010; 35(12): 71-77

### (2) 総説

- 1) 横山浩之: 子育て支援から始める軽度発達障害の臨床—ペアレントトレーニングを中心に. 日本小児科学会雑誌. 2010; 114(9): 1367-72

### (3) 著書

- 1) 佐藤和佳子, 小泉美佐子, 坂本祐子, 堀江竜弥, 阿部桃子, 岡本充子, 上山真美: 自然な排尿を取り戻すためのケア. 酒井郁子, 北川公子, 佐藤和佳子, 伴真由美 編, 高齢者の生活機能再獲得のためのケアプロトコール—連携と協働のために. 東京: 日本看護協会出版会, 2010: 107-133

### (4) その他

- 1) 横山浩之: 小一プロブレム対策最前線 PART 4/「気になる子」への対応と指導—まず, 最初にすべきこと. 総合教育技術. 2010
- 2) 横山浩之: 特別支援教育&医教連携—最先端実践校レポート. 総合教育技術. 2010
- 3) 齋藤深雪: 平成19年度-21年度総合研究報告書—厚生労働科学研究費補助金障害保健福祉総合研究事業—精神障害者の生活機能と社会参加の促進に関する研究. 2010; 1-12

- 4) 齋藤深雪：平成 21 年度総括研究報告書 厚生労働科学研究費補助金障害保健福祉総合研究事業 精神障害者の生活機能と社会参加の促進に関する研究。2010；1-30
- 5) 堀江竜弥, 佐藤和佳子：老年看護の基礎知識。泌尿器ケア。2010;15(4):48-53
- 6) 堀江竜弥：高齢患者の退院支援。泌尿器ケア。2010;15(5):77-82
- 7) 堀江竜弥, 佐藤和佳子：前立腺肥大症の看護。クリニカルスタディ。2010;31(12):13-31
- 8) 長谷川直人, 佐藤和佳子, 堀江竜弥, 他 6 名：「悠遊健歩」参加者のウォーキングの運動強度, 「悠遊健歩」研究報告書, 2010；1-16
- 9) 飯田貴映子, 伊藤隆子, 佐藤和佳子, 西山みどり, 堀田總子：平成 21 年度海外高齢者施設における看護職等のケア管理・提供に関する調査研究報告書（平成 21 年度老人保健健康増進等事業）。日本老年看護学会, 2010；31-84

## 2. 学会報告

### (1) 国際学会

#### i 一般演題

- 1) Yukiko Sato, Shiho Sato, Eiko Suzuki, Miyuki Saito: Example of casework in which intervention with the mother improved school non-attendance. 6th International Conference on Social Work in Health and Mental Health, Dublin; July 2010
- 2) Shiho Sato, Yukiko Sato, Eiko Suzuki, Miyuki Saito: Case study : A case study: Nursing intervention for a child who repeats school refusal due to lower self-esteem. 6th International Conference on Social Work in Health and Mental Health, Dublin; July 2010
- 3) Miyuki Saito, Kaoru Baba, Eiko Suzuki, Yukiko Sato, Shiho Sato: Rehabilitation effects of psychiatric daycare services: Base on International Classification of Functioning, Disability and Health (ICF) model. 6th International Conference on Social Work in Health and Mental Health, Dublin; July 2010
- 4) Eiko Suzuki, Miyuki Saito, Akiko Maruyama, Rieko Matsuura, Yukiko Sato, Shiho Sato, Akira Tagaya: The mental health of the novice nurses who performed of medical care /the social work in Japan. 6th International Conference on Social Work in Health and Mental Health, Dublin; July 2010

### (2) 国内の学会

#### i 特別講演

- 1) 横山浩之：注意欠陥多動性障害のテーラーメイド医療を考える。第 12 回応用薬理シンポジウム, 横浜; 2010 年 9 月

#### ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 佐藤和佳子：高齢者の排泄自立に向けたアセスメントとケア（西村かおる講演）座長。日本老年看護学会 第 15 回学術集会, 前橋; 2010 年 11 月
- 2) 横山浩之：子育て支援から始める軽度発達障害の臨床—ペアレントトレーニングを中心に。第 114 回日本小児科学会, 盛岡; 2010 年 4 月

#### iii 一般演題

- 1) 佐藤幸子, 塩飽仁, 遠藤芳子, 佐藤志保: 心身症・神経症児の不応行動とその関連因子の検討。日本看護科学学会, 札幌; 2010 年 12 月
- 2) 佐藤幸子, 佐藤志保, 山口咲奈枝, 古瀬みどり: 養護施設職員が被虐待児とのかかわりを進展させるプロセス。日本看護研究学会, 岡山; 2010 年 8 月
- 3) 佐藤志保, 佐藤幸子, 塩飽仁: 採血を受ける子どもの非効果的対処行動と関連要因の検討。第 36 回日本看護研究学会学術集会, 岡山; 2010 年 8 月
- 4) 松浪容子, 古瀬みどり: 虚血性心疾患男性患者の精神的健康状態と関連因子。第 36 回日本看護研究学会学術集会, 岡山; 2010 年 8 月
- 5) 伊藤充里, 古瀬みどり: 半側空間無視を有する在宅脳卒中療養者の家族が療養者との生活に適応するプロセス。第 36 回日本看護研究学会学術集会, 岡山; 2010 年 8 月



- 6) 佐藤幸子, 佐藤志保, 山口咲奈枝, 古瀬みどり: 養護施設職員が被虐待児とのかかわりを進展させるプロセス. 第36回日本看護研究学会学術集会, 岡山; 2010年8月
- 7) 濱口真名美, 梶川アユミ, 古瀬みどり, 松浪容子: フライトナースの現任教育の現状とニーズ. 第14回北日本看護学会学術集会, 山形; 2010年8月
- 8) 梶川アユミ, 濱口真名美, 古瀬みどり, 松浪容子: フライトナースの看護実践の困難感と業務上の負担感に関する調査; 第14回北日本看護学会学術集会, 山形; 2010年8月
- 9) 菅原綾, 古瀬みどり, 松浪容子: 看護学生の救命救急センターに対するイメージ. 第14回北日本看護学会学術集会, 山形; 2010年8月
- 10) 鈴木好, 古瀬みどり, 松浪容子: 救命救急センターの新人看護師の勤務状況及び看護技術到達度の現状と学生時代に抱いていたイメージとの違い. 第14回北日本看護学会学術集会, 山形; 2010年8月
- 11) 古瀬みどり, 松浪容子: 在宅人工呼吸療養者の支援にかかわる看護職のエンパワーメントを目的とした介入の効果. 第14回北日本看護学会学術集会, 山形; 2010年8月
- 12) 松浪容子, 古瀬みどり: 虚血性心疾患患者の禁煙と職場の分煙対策の実態. 第14回北日本看護学会学術集会, 山形; 2010年8月
- 13) 横山浩之: 発達障害がある児(者)の気分障害の症状と治療. 第20回太田ステージ研究会, 東京; 2010年1月
- 14) 横山浩之, 奈良千恵子, 廣瀬三恵子, 涌澤圭介, 萩野谷和裕, 飯沼一字: 自閉症のペアレントトレーニング. 第52回日本小児神経学会総会, 福岡; 2010年5月
- 15) 阿部桃子, 佐藤和佳子: 脳卒中患者の排尿に関する心理的ストレス反応尺度作成過程の報告. 日本老年看護学会第15回学術集会, 前橋, 2010年11月
- 16) 高橋幸子, 齋藤深雪, 山崎登志子: 情緒的支援の認知が精神科看護師のバーンアウトに与える影響. 第12回日本ヒューマンケア心理学会, 東京; 2010年7月
- 17) 齋藤深雪, 馬場薫, 吾妻知美, 真木智: 統合失調症患者の日本語版 Rathus assertiveness schedule (J-RAS) の信頼性と妥当性の検討. 第36回日本看護研究学会学術集会, 岡山; 2010年8月
- 18) 齋藤深雪, 馬場薫, 鈴木英子, 吾妻知美, 真木智: 精神科デイケア通所者のコミュニケーション能力の実態—J-RASを用いて—. 第30回日本看護科学学会学術集会, 北海道; 2010年12月
- 19) 武田未来, 齋藤深雪, 馬場薫: 精神障害者の就労に関する文献検討. 第9回北日本看護学会学術集会, 山形; 2010年8月
- 20) 山口咲奈枝: 3歳児をもつ父親の育児支援行動と母親の育児負担感との関連. 第36回日本看護研究学会学術集会, 岡山; 2010年8月
- 21) 山口咲奈枝: 乳幼児をもつ父親の情緒的支援行動と母親の育児負担感との関連. 第30回日本看護科学学会学術集会, 札幌; 2010年12月
- 22) 松浪容子, 古瀬みどり: 虚血性心疾患男性患者の精神的健康状態と関連因子. 第36回日本看護研究学会学術集会, 岡山; 2010年8月
- 23) 坂本明美, 松田麻衣, 浅野希望, 安達千佳子, 三宅淳子, 奥山隆子, 金子純子, 松浪容子: 下肢リンパドレナージュ手法を用いたリラクゼーション効果. 第41回日本看護学会—成人看護Ⅱ—学術集会, 福岡; 2010年8月
- 24) 堀江竜弥, 舟山恵美, 佐藤和佳子: 居宅要支援高齢者の排尿に関する主観的評価に影響を及ぼした要因の検討—モデル地域包括支援センター管轄地区における全数訪問調査より—. 老年泌尿器科学会, 東京; 2010年5月
- 25) 堀江竜弥, 坂本祐子, 阿部桃子, 上山真美, 岡本充子, 小泉美佐子, 佐藤和佳子: 性差による膀胱留置カテーテル管理の実態. 日本老年看護学会, 群馬; 2010年11月

### (3) 国内地方会

#### i 特別講演

- 1) 横山浩之: ペアレントトレーニングから子育て支援を考える. 平成22年栃木県小児保健会, 宇都宮; 2010年6月

## ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 佐藤幸子：子どもの肥満. 東北学校保健学会, 山形; 2010年9月

## iii 一般演題

- 1) 石川翔太, 佐藤幸子, 佐藤志保：両親の養育態度と幼児の自発性の関連. 北日本看護学会, 山形; 2010年8月
- 2) 庄子未希子, 佐藤幸子, 佐藤志保：養護施設職員が捉えた被虐待児の行動特徴と職員の対応. 北日本看護学会, 山形; 2010年8月
- 3) 鈴木麗, 佐藤幸子, 佐藤志保：子どもの学校ストレスと心身症状の関連. 北日本看護学会, 山形; 2010年8月
- 4) 鞠子梨奈, 佐藤幸子, 佐藤志保：第2子誕生後における第1子の言動の変化と認知的発達との関連. 北日本看護学会, 山形; 2010年8月
- 5) 佐藤幸子, 塩飽仁, 遠藤芳子, 佐藤志保：子どもの心のケアに関する看護師のニーズ調査. 北日本看護学会, 山形; 2010年8月
- 6) 佐藤志保, 佐藤幸子：教室で学習困難が続いていた患児に対する看護介入の検討. 第14回北日本看護学会学術集会, 山形; 2010年8月
- 7) 横山浩之, 岩城利充, 工藤充哉：広汎性発達障害と診断・判定されていた maltreatment の3例. 第210回日本小児科学会宮城地方会, 仙台; 2010年11月
- 8) 松田めぐみ, 遠藤由美子, 山口咲奈枝：月経時の痛みに対する真正ラベンダーを用いた足浴の効果. 第14回北日本看護学会学術集会, 山形; 2010年8月
- 9) 宮下ルリ子, 遠藤由美子, 山口咲奈枝：東北地方A市在住中高年女性の生活習慣と生活習慣病のリスクの実態. 第14回北日本看護学会学術集会, 山形; 2010年8月
- 10) 石山絵美子, 遠藤由美子, 山口咲奈枝：死産・新生児死亡を経験した父親が受けたケアの実態. 第14回北日本看護学会学術集会, 山形; 2010年8月
- 11) 安本彩加, 遠藤由美子, 山口咲奈枝：1歳6カ月児をもつ父親の育児支援行動の実態とそれに対する父親と母親の満足度. 第14回北日本看護学会学術集会, 山形; 2010年8月
- 12) 手塚阿沙美, 遠藤由美子, 山口咲奈枝：親が認識する祖父の父親役割と父親意識・現在の育児行動との関連性. 第14回北日本看護学会学術集会, 山形; 2010年8月
- 13) 深瀬未希子, 山口咲奈枝, 宇野日菜子：青年期男女の男性の育児支援行動に関する意識調査. 第33回山形県母性衛生学会学術集会, 山形; 2010年12月
- 14) 松浪容子, 大谷勝実, 邵力, 深尾彰：虚血性心疾患患者の喫煙行動の変化と関連要因に関する研究. 第59回東北公衆衛生学会集会, 山形; 2010年7月
- 15) 松浪容子, 古瀬みどり：虚血性心疾患患者の禁煙と職場の分煙対策の実態. 第14回北日本看護学会学術集会, 山形; 2010年8月
- 16) 後藤真紀, 伊藤祐紀子, 会田治子, 大宮喜和美, 松浪容子：外来における患者呼び出しの実態と患者誤認防止の検討～「同姓同名」に着目して～. 第14回北日本看護学会学術集会, 山形; 2010年8月
- 17) 大内るり子, 大石佳代子, 小林千里, 長澤美雪, 松浪容子：内服管理選択フローチャート導入前後の看護師の意識の変化～患者に適した内服管理を目指して～. 第10回日本医療マネジメント学会東北連合会, 山形; 2010年10月

## (4) その他

- 1) 佐藤和佳子：地域連携による排泄ケアネットワークの課題と展望—山形方式の検証. 第11回 さぬき尿失禁懇話会, 高松市; 2010年4月.
- 2) 佐藤和佳子：看護倫理について考える. 徳洲会病院平成22年度東北ブロック新人看護職員研修(Ⅱ)講師, 山形市; 2010年10月
- 3) 佐藤和佳子：看護研究計画書について. 北村山公立病院看護研究講師, 東根市; 2010年9月
- 4) 佐藤和佳子・堀江竜弥：悠遊健歩 成果報告と展望. 東根市・山形大学医学部合同プロジェクト悠遊健歩; 2010年10月
- 5) 横山浩之：医師が行う子育て支援～発達障害があってもなくても～. 富山県立黒部学園講演会, 黒部; 2010年2月

- 6) 横山浩之：DV・虐待家庭の子どもと保護者への対応～発達障害の関わりも含めて～. 人権啓発活動地方委託事業講演会. 仙台；2010年2月. <http://www.moj.go.jp/JINKEN/jinken122.html>
- 7) 横山浩之：高機能広汎性発達障害児の自立をめざした支援 「学校や家庭で取り組むべきこと」青森県総合教育センター 特別支援教育相談セミナー, 青森；2010年6月. <http://www.edu-c.pref.aomori.jp/tokushi/seminar.htm>
- 8) 西塚新, 真木智, 青木沙織, 真木佐代子, 齋藤深雪：企死念慮のある患者の内服行動へのアプローチ～内服自己管理システムを導入して～. 平成22年度山形大学医学部附属病院院内研究発表会, 山形；2010年12月

### 3. 学会, 講演会, シンポジウム, ワークショップ等の開催

- 1) 佐藤和佳子：日本老年看護学会評議員・日本老年看護学会誌専任査読委員
- 2) 佐藤和佳子：日本看護科学学会誌専任査読委員
- 3) 佐藤和佳子：日本老年泌尿器科学会評議員
- 4) 横山浩之：市民団体にゃっき～ずにおけるペアレントトレーニング (毎月2回)

# 地域看護学講座

## 1. 論文

### (1) 原著

- 1) 大脇万起子, 鈴木育子, 鳥居央子, 飯田恭子: 知的障がい児の家族支援プログラムにおける同胞への支援. 家族看護学研究. 2010 ; 15(3) : 2-10
- 2) 久保よう子, 大竹まり子, 赤間明子, 鈴木育子, 小林淳子, 細谷たき子, 叶谷由佳: 筋ジストロフィー患者家族介護者のレジリエンスとその関連要因の検討. 家族看護学研究. 2010 ; 16(2) : 91-100
- 3) 荒川千秋, 叶谷由佳, 佐藤千史: 交替制勤務をしている病院勤務看護師のインシデント・アクシデントに影響する要因. 日本看護管理学会誌. 2010 ; 14(1) : 42-50
- 4) 巽夕起, 佐々木晶世, 叶谷由佳, 佐藤千史: 小学生の咀嚼と生活習慣に関する研究. 日本健康医学会. 2010 ; 19(1) : 16-22
- 5) 高橋直美, 大竹まり子, 赤間明子, 鈴木育子, 細谷たき子, 小林淳子, 叶谷由佳, 佐藤千史: 診療所所長と訪問看護ステーション所長からみた双方の連携の現状および訪問看護に対する意向—東北6県の調査から— . 日本在宅ケア学会誌. 2010 ; 13(2) : 58-65
- 6) 齋藤郁子, 赤間明子, 大竹まり子, 細谷たき子, 叶谷由佳, 小林淳子: 全国の病棟看護師における在宅看護の視点に関する意識ならびに実践の認識と関連要因に関する研究. 北日本看護学会誌. 2010 ; 12(2) : 13-25
- 7) 丸山幸恵, 大竹まり子, 赤間明子, 小林淳子, 細谷たき子, 叶谷由佳: 家族介護者の日常的な介護経験の構成要素と関連する要因の検討. 北日本看護学会誌. 2010 ; 12(2) : 27-37
- 8) 福島優貴, 赤間明子, 大竹まり子, 細谷たき子, 叶谷由佳, 小林淳子: A町基本健康診査受診者における耐糖能判定判別の食生活と心理的社会的関連要因の検討. 北日本看護学会誌. 2010 ; 12(2) : 51-60
- 9) 高田絵理子, 大竹まり子, 赤間明子, 小林淳子, 細谷たき子, 叶谷由佳: 精神科病院付設デイケアの職員構成と提供されているプログラムの現状. 北日本看護学会誌. 2010 ; 12(2) : 93-100
- 10) 高橋直美, 菊地美津子, 叶谷由佳: 地域住民・介護支援専門員の訪問看護の認識と訪問看護利用者増加を目指した広報活動の試み. 北日本看護学会誌. 2010 ; 13(1) : 45-52
- 11) 亀井彩加, 大竹まり子, 赤間明子, 細谷たき子, 小林淳子, 叶谷由佳: 診療所看護職の看護活動と自律性—東北地方A県における都市部とへき地の比較—. 北日本看護学会誌. 2010 ; 13(1) : 61-69
- 12) 齋藤温子, 高橋真由美, 若松直子, 阿部和子, 辻美美, 叶谷由佳: インフリキシマブ療法を受ける関節リウマチ患者の思い. 日本看護学会論文集成人看護 II. 2010 ; 40 : 138-140

### (2) 総説

- 1) 叶谷由佳, 大竹まり子, 森鍵祐子, 鈴木育子, 細谷たき子, 小林淳子, 田代久男, 木村理, 赤間明子: 第6回看護系大学教員と地域連携・退院支援部署の連携. 地域連携 network. 2010 ; 2(6) : 39-43

### (3) 著書

- 1) 叶谷由佳: 5章在宅看護論, 高久史麿監, 看護学生とナースのためのベーシックナーシング. 東京; メディカルレビュー, 2010 : E2-E25
- 2) 鈴木育子: 第1章, 第4章, 第7章, 付録. 石垣和子, 宮崎美砂子, 北池正, 山本則子監訳, 質的研究のメタスタディ実践ガイド. 東京; 医学書院, 2010 : 1-17, 63-80, 123-137, 153-158

### (4) その他

- 1) 細谷たき子, 鈴木育子, 小林淳子, 叶谷由佳, 大竹まり子, 佐藤和佳子: 軽度認知症者の排泄・コミュニケーションの在宅介護モデルに関する研究. 平成19-21年科学研究補助金研究成果報告書. 2010
- 2) 叶谷由佳: 在宅ターミナル療養者の遺族に対するケアについて. 平成22年度山形県医師会学術雑誌. 2010 ; 40 : 46-54
- 3) 進藤真由美, 大竹まり子, 森鍵祐子, 鈴木育子, 細谷たき子, 小林淳子, 叶谷由佳: 平成21年度研究助成研究報告9病棟看護師に求められる退院支援—地域連携室担当者, 訪問看護ステーション勤務者への面接調査による検討—. ヘルスサポートニュース. 2010 ; 13(11) : 12-15
- 4) 小林淳子, 森鍵祐子, 大竹まり子, 鈴木育子, 叶谷由佳, 細谷たき子: 出産後の母親の喫煙を予防するア

## 2. 学会報告

### (1) 国際学会

#### i 一般演題

- 1) Takiko Hosoya, Ikuko Suzuki, Atsuko Kobayashi, Yuka Kanoya, Mariko Ohtake, Yuko Morikagi, Noriko Asakawa: Evaluation of Communication-Focused Education Program for Caregivers of Demented Elderly in Daycare Facilities. American Public Health Association 138<sup>th</sup> Annual Meeting, Denver, Colorado, November, 2010

### (2) 国内の学会

#### i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 川村良子, 叶谷由佳座長: パネルディスカッション「先端医療から在宅看護までの医療安全の現状と課題」. 第 14 回北日本看護学会学術集会, 山形; 2010 年 8 月

#### ii 一般演題

- 1) 叶谷由佳, 大竹まり子, 赤間明子, 鈴木育子, 小林淳子, 細谷たき子, 山田雅子: 北海道における訪問看護サービス展開の事業事例の実際. 第 14 回日本在宅ケア学会学術集会, 東京; 2010 年 1 月
- 2) 大竹まり子, 叶谷由佳, 赤間明子, 鈴木育子, 小林淳子, 細谷たき子, 山田雅子: 訪問看護事業所の大規模化による経営安定化の効果. 第 14 回日本在宅ケア学会学術集会, 東京; 2010 年 1 月
- 3) 丸山幸恵, 大竹まり子, 赤間明子, 鈴木育子, 小林淳子, 細谷たき子, 叶谷由佳: 家族介護者の経験と介護評価の関連. 第 14 回日本在宅ケア学会学術集会, 東京; 2010 年 1 月
- 4) 大竹まり子, 進藤真由美, 森鍵祐子, 鈴木育子, 細谷たき子, 小林淳子, 叶谷由佳: 医療処置のある患者の在宅療養移行の課題—病棟看護職に求められる退院支援の検討—. 第 36 回山形県公衆衛生学会, 山形; 2010 年 3 月
- 5) 片野裕子, 森鍵祐子, 大竹まり子, 鈴木育子, 叶谷由佳, 細谷たき子, 小林淳子: 20 代 30 代女性における乳がん自己検診実施の関連要因. 第 36 回山形県公衆衛生学会, 山形; 2010 年 3 月
- 6) 油井千果, 森鍵祐子, 大竹まり子, 鈴木育子, 叶谷由佳, 細谷たき子, 小林淳子: 大学の禁煙支援に関する文献検討. 第 36 回山形県公衆衛生学会, 山形; 2010 年 3 月
- 7) 皆川光, 大竹まり子, 森鍵祐子, 鈴木育子, 小林淳子, 細谷たき子, 叶谷由佳: がん終末期療養者を自宅で介護した遺族に必要なケア—訪問看護の視点から—. 第 36 回山形県公衆衛生学会, 山形; 2010 年 3 月
- 8) 天野和沙, 森鍵祐子, 大竹まり子, 鈴木育子, 叶谷由佳, 小林淳子, 細谷たき子, 久保よう子: 病院に勤務する看護師の認知機能の低下している高齢者に対する捉え方に関する検討. 第 36 回山形県公衆衛生学会, 山形; 2010 年 3 月
- 9) 鈴木沙代子, 森鍵祐子, 大竹まり子, 鈴木育子, 叶谷由佳, 小林淳子, 細谷たき子, 志田信也: 認知症高齢者の家族の介護への適応. 第 36 回山形県公衆衛生学会, 山形; 2010 年 3 月
- 10) 早坂絵里, 大竹まり子, 森鍵祐子, 鈴木育子, 小林淳子, 細谷たき子, 叶谷由佳, 鈴木弘一, 船山久: 独居高齢者のソーシャルサポートと生活満足感に関する研究—人口集中都市と過疎地域の比較—. 第 36 回山形県公衆衛生学会, 山形; 2010 年 3 月
- 11) 竹田飛鳥, 大竹まり子, 森鍵祐子, 鈴木育子, 小林淳子, 細谷たき子, 叶谷由佳, 今野貴代美, 佐藤貴美: 虚血性心疾患患者の退院後の生活状況. 第 36 回山形県公衆衛生学会, 山形; 2010 年 3 月
- 12) 鈴木育子, 大脇万起子, 加藤さゆり, 法橋尚宏: 知的障がい児が利用している社会資源と関連要因の検討. 第 59 回東北公衆衛生学会, 山形; 2010 年 7 月
- 13) 大竹まり子, 森鍵祐子, 鈴木育子, 小林淳子, 細谷たき子, 叶谷由佳: 転倒予防教室参加者の 1 年後の転倒経験. 第 59 回東北公衆衛生学会, 山形; 2010 年 7 月
- 14) 新井志穂, 大竹まり子, 森鍵祐子, 鈴木育子, 小林淳子, 細谷たき子, 叶谷由佳: 観光バスの運転手における家庭食・外食・欠食ごとの頻度, 外食の入手先ごとの利用頻度と BMI の関連. 第 59 回東北公衆衛生学会, 山形; 2010 年 7 月
- 15) 土田美奈子, 森鍵祐子, 大竹まり子, 鈴木育子, 叶谷由佳, 小林淳子, 細谷たき子: 認知症対応型通所介

護施設における送迎サービスの安全ケアの実態とその関連要因. 第 59 回東北公衆衛生学会, 山形; 2010 年 7 月

- 16) 森鍵祐子, 大竹まり子, 叶谷由佳, 小林淳子, 細谷たき子: 認知機能が低下した高齢者に対する看護師の捉え方・対応の研修前後の変化, 第 14 回北日本看護学会学術集会, 山形; 2010 年 8 月
- 17) 進藤真由美, 大竹まり子, 森鍵祐子, 細谷たき子, 小林淳子, 叶谷由佳: 病院看護部による病棟看護職への退院支援教育の実態と必要性—医療処置を必要とする患者の退院支援の充実を目指して—, 第 14 回北日本看護学会学術集会, 山形; 2010 年 8 月
- 18) 大竹まり子, 久保よう子, 小林淳子, 叶谷由佳: 筋ジストロフィー患者を看取った家族のレジリエンスの検討. 第 15 回日本難病看護学会学術集会, 山形; 2010 年 8 月
- 19) 久松由里, 渋谷一志, 遠藤亜矢子, 黒沼優子, 岩田美紀, 樋口あけみ, 大竹まり子: 人工呼吸器を装着した ALS 患者の自宅退院を可能とする要因. 第 15 回日本難病看護学会学術集会, 山形; 2010 年 8 月
- 20) 大竹まり子, 佐久間夕美子, 佐々木晶世, 瀧浪敦, 清石幸子, 森鍵祐子, 鈴木育子, 細谷たき子, 小林淳子, 叶谷由佳, 大貫義人, 佐藤千史: 山形県内の児童生徒における肥満傾向の地域差. 第 58 回東北学校保健学会, 山形; 2010 年 9 月
- 21) 高橋瑠梨, 大竹まり子, 森鍵祐子, 鈴木育子, 細谷たき子, 叶谷由佳, 大貫義人, 小林淳子: 児童の「自己決定意識」「自尊心」及び「家族との関係性」の「健康行動」への関連. 第 58 回東北学校保健学会, 山形; 2010 年 9 月
- 22) 佐々木晶世, 佐久間夕美子, 瀧浪敦, 清石幸子, 大竹まり子, 森鍵祐子, 鈴木育子, 細谷たき子, 小林淳子, 叶谷由佳, 大貫義人, 佐藤千史: 山形県内の小学校における咀嚼に関する健康教育の実態調査. 第 58 回東北学校保健学会, 山形; 2010 年 9 月
- 23) 佐久間夕美子, 佐々木晶世, 瀧浪敦, 清石幸子, 大竹まり子, 森鍵祐子, 鈴木育子, 細谷たき子, 小林淳子, 叶谷由佳, 大貫義人, 佐藤千史: 山形県内における低体力児童生徒の地域差. 第 58 回東北学校保健学会, 山形; 2010 年 9 月
- 24) 荒木京子, 森鍵祐子, 大竹まり子, 叶谷由佳, 細谷たき子, 小林淳子, 有海清彦: 「ひきこもり」家族グループ支援利用家族の家族機能に関連する要因. 第 69 回日本公衆衛生学会総会, 東京; 2010 年 10 月
- 25) 近野睦子, 大竹まり子, 叶谷由佳, 細谷たき子, 小林淳子, 松田徹, 阿彦忠之: 感染予防に対応したオムツ交換マニュアル協同作成による介護職員の認識と行動の変化. 第 69 回日本公衆衛生学会, 東京; 2010 年 10 月
- 26) 後藤順子, 細谷たき子, 小林淳子, 叶谷由佳, 赤塚清矢: 地域在宅高齢者の主観的健康感の影響要因—ベースライン調査の実態から—. 第 69 回日本公衆衛生学会, 東京; 2010 年 10 月
- 27) 細谷たき子, 鈴木育子, 小林淳子, 叶谷由佳, 大竹まり子, 森鍵祐子, 浅川典子, 佐藤和佳子: 認知症通所介護施設の入浴・排泄・介護困難の問題解決にむけて. 日本老年看護学会第 15 回学術集会, 群馬, 2010 年 11 月
- 28) 佐々木晶世, 佐久間夕美子, 大竹まり子, 森鍵祐子, 細谷たき子, 小林淳子, 叶谷由佳, 大貫義人, 佐藤千史: 28 日間のガム咀嚼が小学生のストレスに与える影響. 第 20 回日本健康医学会総会, 京都; 2010 年 11 月
- 29) 鈴木育子, 大脇万起子, 加藤さゆり, 法橋尚宏: 発達障がい児への支援—生活能力実態調査から—. 第 30 回日本看護科学学会, 山形; 2010 年 12 月

### (3) その他

- 1) 細谷たき子: 山形県精神保健福祉審議会委員
- 2) 細谷たき子: 山形県地域密着型サービス外部評価機関「協同組合オール・イン・ワン」評価審査委員
- 3) 細谷たき子: (社) 日本キリスト教海外医療協会奨学金委員会委員
- 4) 細谷たき子: 日本在宅ケア学会誌査読委員
- 5) 細谷たき子: 日本地域看護学会誌査読委員
- 6) 細谷たき子: 第 14 回北日本看護学会学術集会実行委員, 山形; 2010 年 8 月
- 7) 細谷たき子: (講師) 山形県看護協会研修会「看護研究—しっかり学ぼう基礎編—」, 山形; 2010 年 5 月
- 8) 細谷たき子: (講師) 山形県看護協会平成 22 年度訪問看護師養成講習会, 山形; 2010 年 10 月
- 9) 細谷たき子: (研究代表者) 平成 22 年度科学研究費基盤 C 「通所介護施設における認知症高齢者介護困難

ケースへの介護とスタッフ職場研修に関する研究」

- 10) 小林淳子：山形県立保健医療大学教育研究審議会委員
- 11) 小林淳子：日本看護研究学会評議員
- 12) 小林淳子：日本看護科学学会評議員
- 13) 小林淳子：北日本看護学会理事
- 14) 小林淳子：日本看護研究学会査読委員
- 15) 小林淳子：日本看護科学学会査読委員
- 16) 小林淳子：北日本看護学会査読委員
- 17) 小林淳子：第14回北日本看護学会学術集会実行委員，山形；2010年8月
- 18) 小林淳子：山形大学医学部看護学科同窓会樹氷会会長
- 19) 小林淳子：(講師) 庄内保健所研修会，鶴岡；2010年2月，11月
- 20) 小林淳子：(研究代表者) 平成22年度科学研究費基盤C「アクション・リサーチによる妊産婦の喫煙予防アセスメントツールの開発」
- 21) 叶谷由佳：日本看護系大学協議会看護学教育評価機関検討委員会ワーキンググループメンバー
- 22) 叶谷由佳：国立保健学系大学代表者協議会看護学分会組織検討委員会委員
- 23) 叶谷由佳：財団法人社会福祉振興・試験センター，介護福祉士試験委員
- 24) 叶谷由佳：Japan contact person of European Pathway Association
- 25) 叶谷由佳：山形県訪問看護推進事業協議会委員
- 26) 叶谷由佳：山形県介護予防市町村支援委員会委員
- 27) 叶谷由佳：山形県医師会主催山形県在宅医療・緩和ケア推進会議委員
- 28) 叶谷由佳：山形県看護協会認定看護管理者研修セカンドレベル運営委員
- 29) 叶谷由佳：山形県看護協会山形県看護協会基本理念策定プロジェクト委員
- 30) 叶谷由佳：日本看護管理学会学術活動推進委員
- 31) 叶谷由佳：日本看護研究学会理事
- 32) 叶谷由佳：北日本看護学会理事
- 33) 叶谷由佳：日本看護研究学会査読委員
- 34) 叶谷由佳：日本看護管理学会査読委員
- 35) 叶谷由佳：日本在宅ケア学会査読委員
- 36) 叶谷由佳：日本保健福祉学会査読委員
- 37) 叶谷由佳：日本整形外科看護研究会査読委員
- 38) 叶谷由佳：第40回日本看護学会-地域看護-論文集査読委員
- 39) 叶谷由佳：第14回北日本看護学会学術集会実行委員，山形；2010年8月
- 40) 叶谷由佳：(研究支援) 山形県立新庄病院看護部研究支援
- 41) 叶谷由佳：(研究支援) 三友堂病院看護部研究支援
- 42) 叶谷由佳：(研究支援) 医療法人健育会看護部研究支援
- 43) 叶谷由佳：(研究支援) 医療法人喬成会研究支援
- 44) 叶谷由佳：(研修支援) 米沢市立病院看護部研修支援
- 45) 叶谷由佳：(講師) 東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科非常勤講師
- 46) 叶谷由佳：(講師) 山形県立新庄病院看護師長研修，2010年1月
- 47) 叶谷由佳：(講師) 山形県医師会主催山形県緩和ケア推進事業研修会「在宅ターミナルケアの遺族に対するケアについて」，山形；2010年2月
- 48) 叶谷由佳：(講師) 平成21年度徳州会東北地区看護・介護研究発表会講評，2010年6月
- 49) 叶谷由佳：(講師) 山形県立北高校出張講義「看護の専門性」，2010年6月
- 50) 叶谷由佳：(講師) 山形県看護協会ナースセンター主催平成22年度訪問看護師養成講習「基礎領域」，山形；2010年6月
- 51) 叶谷由佳：(講師) 山形県徳州会病院看護部主催研修会「看護記録フォーカスチャーティング総論」「看護記録フォーカスチャーティング記録の実践」，山形；2010年6，7月
- 52) 叶谷由佳：(講師) 社会保険看護研修センター主催，平成22年度退院調整看護師養成研修「退院調整概論」，

船橋；2010年7月

- 53) 叶谷由佳：(講師) 平成 22 年度国立病院機構大阪医療センター・大阪南医療センター・京都医療センター・姫路医療センター・舞鶴医療センター附属看護学校副校長・教育主事・教員合同夏期研修会「学校評価について基本的な考え方とその取組について」, 2010年8月
- 54) 叶谷由佳：(講師) 全国国立病院機構副校長・教育主事協議会北海道・東北支部研修会「看護教育における評価の実際と課題」, 2010年8月
- 55) 叶谷由佳：(講師) 山形県看護協会ナースセンター主催平成 22 年度訪問看護師養成講習会「感染・安全領域」, 山形；2010年9月
- 56) 叶谷由佳：(講師) 山形県看護協会認定看護管理者研修セカンドレベル「看護管理過程と目標管理」「看護管理研究の活用」「演習：人的資源活用論 管理実践計画書作成」, 山形；2010年9月
- 57) 叶谷由佳：(講師) 独立行政法人国立病院機構看護専門看護学校非常勤講師「保健統計学」, 2010年11, 12月
- 58) 叶谷由佳：(講師) 平成 22 年度山形県訪問看護推進事業「訪問看護ステーション・医療機関相互研修」, 山形；2010年10月
- 59) 叶谷由佳：(講師) 山形大学医学部看護学科リフレッシュ研修「ストレスマネジメント」, 2010年10月
- 60) 叶谷由佳：(講師) 山形県徳州会病院看護部主催研修会「プリセプターシップの役割と効果的なプリセプターシップ」, 2010年
- 61) 鈴木育子：日本ルーラルナーシング学会評議員
- 62) 鈴木育子：山形県准看護師試験委員
- 63) 鈴木育子：第 14 回北日本看護学会学術集会実行委員, 山形；2010年8月
- 64) 大竹まり子：第 41 回日本看護学会-地域看護-論文選考委員
- 65) 大竹まり子：第 14 回北日本看護学会学術集会実行委員, 山形；2010年8月
- 66) 大竹まり子：(演習支援) 山形県看護協会研修会「看護研究-しっかり学ぼう基礎編-」, 山形；2010年5月
- 67) 大竹まり子：(講師) 国立病院機構山形病院看護研究研修会, 山形；2010年4月, 11月
- 68) 大竹まり子：(講師) 山形県看護協会第 3 回最北支部研修, 新庄；2010年11月
- 69) 大竹まり子：(講師) 社会保険看護研修センター退院調整看護師養成研修, 2010年11月
- 70) 大竹まり子：(研究代表者) 平成 22 年度科学研究費基盤 C「病院看護職の退院支援教育プログラムに関する研究」
- 71) 森鍵祐子：第 36 回山形県公衆衛生学会事務局スタッフ, 山形；2010年3月
- 72) 森鍵祐子：第 14 回北日本看護学会学術集会実行委員, 山形；2010年8月
- 73) 森鍵祐子：(演習支援) 山形県看護協会研修会「看護研究-しっかり学ぼう基礎編-」, 山形；2010年4月
- 74) 森鍵祐子：(講師) 山形県看護協会東西村山支部平成 21 年度第 2 回看護研修会, 寒河江；2010年1月
- 75) 森鍵祐子：(講師) 公立置賜総合病院看護研究研修会, 川西町；2010年7月, 11月
- 76) 森鍵祐子：(研究代表者)：平成 22 年度科学研究費若手研究(B)「看護職が行う退院支援の質の向上に関する研究-看護職のコンピテンシーに着目して-」



# 医学系研究科

## 生命環境医科学専攻 社会環境予防医学部門

### 公衆衛生学講座

#### 1. 論文

##### (1) 原著

- 1) Nishise Y, Saito T, Makino N, Okumoto K, Ito J, Watanabe H, Saito K, Togashi H, Ikeda C, Kubota I, Daimon M, Kato T, Fukao A, Kawata S : Relationship between Alcohol Consumption and Serum Adiponectin Levels : The Takahata Study-A Cross-Sectional Study of a Healthy Japanese Population. *J Clin Endocrinol Metab.* 2010;95(8):3828-3835
- 2) Nishiyama S, Watanabe T, Arimoto T, Takahashi H, Shishido T, Miyashita T, Miyamoto T, Nitobe J, Shibata Y, Konta T, Kawata S, Kato T, Fukao A, Kubota I : Trends in Coronary Risk Factor Among Patients with Acute Myocardial Infarction Over the Last Decade : The Yamagata AMI Registry. *J Atheroscler Thromb.* 2010;17(9):989-998
- 3) Nitta A, Hozawa A, Kuriyama S, Nakaya N, Ohmori-Matsuda K, Sone T, Kakizaki M, Ebihara S, Ichiki M, Arai H, Tsuji I : Relationship between Peripheral Arterial Disease and Incident Disability among Elderly Japanese : the Tsurugaya Project. *J Atheroscler Thromb.* 2010;17(12):1290-1296
- 4) Shao L, Takeda H, Fukui T, Mabe K, Han J, Kawata S, Ootani K, Fukao A : Genetic diversity of the *Helicobacter pylori* sialic acid-binding adhesin (*sabA*) gene. *Biosci Trends.* 2010;4(5):249-253
- 5) Ohmori-Matsuda K, Hozawa A, Sone T, Koizumi-Masamune Y, Nakaya N, Kuriyama S, Suzuki S, Awata S, Tsuji I : [Depression and the risk of long-term care insurance certification : the Tsurugaya project]. *Nippon Koshu Eisei Zasshi.* 2010;57(7):538-549 Japanese.
- 6) Kawai M, Minami Y, Kuriyama S, Kakizaki M, Kakugawa Y, Nishino Y, Ishida T, Fukao A, Tsuji I, Ohuchi N : Adiposity, adult weight change and breast cancer risk in postmenopausal Japanese women : the Miyagi Cohort Study. *Br J Cancer.* 2010;103(9):1443-1447
- 7) Hozawa A, Kuriyama S, Watanabe I, Kakizaki M, Ohmori-Matsuda K, Sone T, Nagai M, Sugawara Y, Nitta A, Li Q, Ohkubo T, Murakami Y, Tsuji I : Participation in health check-ups and mortality using propensity score matched cohort analyses. *Prev Med.* 2010;51(5):397-402
- 8) Nakagawa H, Niu K, Hozawa A, Ikeda Y, Kaiho Y, Ohmori-Matsuda K, Nakaya N, Kuriyama S, Ebihara S, Nagatomi R, Tsuji I, Arai Y : Impact of nocturia on bone fracture and mortality in older individuals : a Japanese longitudinal cohort study. *J Urol.* 2010;184(4):1413-1418
- 9) Nagai M, Kuriyama S, Kakizaki M, Ohmori-Matsuda K, Sugawara Y, Sone T, Hozawa A, Tsuji I : Effect of age on the association between body mass index and all-cause mortality : the Ohsaki cohort study. *J Epidemiol.* 2010;20(5):398-407
- 10) Yatsuya H, Toyoshima H, Yamagishi K, Tamakoshi K, Taguri M, Harada A, Ohashi Y, Kita Y, Naito Y, Yamada M, Tanabe N, Iso H, Ueshima H ; Japan Arteriosclerosis Longitudinal Study (JALS) group : Body mass index and risk of stroke and myocardial infarction in a relatively lean population : meta-analysis of 16 Japanese cohorts using individual data. *Circ Cardiovasc Qual Outcomes.* 2010;3(5):498-505
- 11) Takashima N, Miura K, Hozawa A, Okamura T, Hayakawa T, Okuda N, Kadowaki T, Murakami Y,

- Kita Y, Nakamura Y, Okayama A, Ueshima H; NIPPON DATA80 Research Group : Cigarette smoking in middle age and a long-term risk of impaired activities of daily living : NIPPON DATA80. *Nicotine Tob Res.* 2010;12(9):944-949
- 12) Toyohara T, Akiyama Y, Suzuki T, Takeuchi Y, Mishima E, Tanemoto M, Momose A, Toki N, Sato H, Nakayama M, Hozawa A, Tsuji I, Ito S, Soga T, Abe T : Metabolomic profiling of uremic solutes in CKD patients. *Hypertens Res.* 2010;33(9):944-952
- 13) Parr CL, Batty GD, Lam TH, Barzi F, Fang X, Ho SC, Jee SH, Ansary-Moghaddam A, Jamrozik K, Ueshima H, Woodward M, Huxley RR ; Asia-Pacific Cohort Studies Collaboration : Body-mass index and cancer mortality in the Asia-Pacific Cohort Studies Collaboration : pooled analyses of 424,519 participants. *Lancet Oncol.* 2010;11(8):741-752
- 14) Takashima N, Miura K, Hozawa A, Kadota A, Okamura T, Nakamura Y, Hayakawa T, Okuda N, Fujiyoshi A, Nagasawa SY, Kadowaki T, Murakami Y, Kita Y, Okayama A, Ueshima H ; NIPPON DATA 90 Research Group : Population attributable fraction of smoking and metabolic syndrome on cardiovascular disease mortality in Japan : a 15-year follow up of NIPPON DATA90. *BMC Public Health.* 2010;10:306
- 15) Monma Y, Niu K, Iwasaki K, Tomita N, Nakaya N, Hozawa A, Kuriyama S, Takayama S, Seki T, Takeda T, Yaegashi N, Ebihara S, Arai H, Nagatomi R, Tsuji I : Dietary patterns associated with fall-related fracture in elderly Japanese : a population based prospective study. *BMC Geriatr.* 2010;10:31
- 16) Scott KM, Hwang I, Chiu WT, Kessler RC, Sampson NA, Angermeyer M, Beautrais A, Borges G, Bruffaerts R, de Graaf R, Florescu S, Fukao A, Haro JM, Hu C, Kovess V, Levinson D, Posada-Villa J, Scocco P, Nock MK : Chronic physical conditions and their association with first onset of suicidal behavior in the world mental health surveys. *Psychosom Med.* 2010;72(7):712-719
- 17) Kuriyama S, Nakaya N, Ohmori-Matsuda K, Shimazu T, Kikuchi N, Kakizaki M, Sone T, Sato F, Nagai M, Sugawara Y, Tomata Y, Akhter M, Higashiguchi M, Fukuchi N, Takahashi H, Hozawa A, Tsuji I : The Ohsaki Cohort 2006 Study : design of study and profile of participants at baseline. *J Epidemiol.* 2010;20(3):253-258
- 18) Okuda N, Miura K, Yoshita K, Matsumura Y, Okayama A, Nakamura Y, Okamura T, Saitoh S, Sakata K, Ojima T, Turin TC, Ueshima H; NIPPON DATA80/90 Research Group : Integration of data from NIPPON DATA80/90 and National Nutrition Survey in Japan : for cohort studies of representative Japanese on nutrition. *J Epidemiol.* 2010;20 Suppl3:S506-514
- 19) Guo Z, Miura K, Turin TC, Hozawa A, Okuda N, Okamura T, Saitoh S, Sakata K, Nakagawa H, Okayama A, Yoshita K, Kadowaki T, Choudhury SR, Nakamura Y, Rodriguez BL, Curb DJ, Elliott P, Stamler J, Ueshima H : Relationship of the polyunsaturated to saturated fatty acid ratio to cardiovascular risk factors and metabolic syndrome in Japanese : the INTERLIPID study. *J Atheroscler Thromb.* 2010;17(8):777-784
- 20) Sugiyama K, Kuriyama S, Akhter M, Kakizaki M, Nakaya N, Ohmori-Matsuda K, Shimazu T, Nagai M, Sugawara Y, Hozawa A, Fukao A, Tsuji I : Coffee consumption and mortality due to all causes, cardiovascular disease, and cancer in Japanese women. *J Nutr.* 2010;140(5):1007-1013
- 21) Li Q, Kuriyama S, Kakizaki M, Yan H, Sone T, Nagai M, Sugawara Y, Ohmori-Matsuda K, Hozawa A, Nishino Y, Tsuji I : History of diabetes mellitus and the risk of prostate cancer : the Ohsaki Cohort Study. *Cancer Causes Control.* 2010;21(7):1025-1032
- 22) Morimoto A, Miyamatsu N, Okamura T, Hozawa A, Kadota A, Morinaga M, Ogita M, Kashiwagi A, Ueshima H : What psychosocial characteristics are associated with smoking cessation behavior and readiness to quit smoking among Japanese male ever-smokers with type 2 diabetes mellitus? *J Atheroscler Thromb.* 2010;17(4):361-368
- 23) Hozawa A, Okamura T, Tanaka T, Miura K, Kikuchi Y, Kadowaki T, Yoshita K, Takebayashi T,

- Tamaki J, Minai J, Tada T, Chiba N, Okayama A, Ueshima H : Relation of Gamma-glutamyltransferase and alcohol drinking with incident diabetes : the HIPOP-OHP study. *J Atheroscler Thromb.* 2010;17(2):195-202
- 24) Widome R, Jacobs DR Jr, Hozawa A, Sijtsma F, Gross M, Schreiner PJ, Iribarren C : Passive smoke exposure and circulating carotenoids in the CARDIA study. *Ann Nutr Metab.* 2010; 56(2):113-118
- 25) Koyama Y, Kuriyama S, Aida J, Sone T, Nakaya N, Ohmori-Matsuda K, Hozawa A, Tsuji I : Association between green tea consumption and tooth loss : cross-sectional results from the Ohsaki Cohort 2006 Study. *Prev Med.* 2010;50(4):173-179
- 26) Li WQ, Kuriyama S, Li Q, Nagai M, Hozawa A, Nishino Y, Tsuji I : Citrus consumption and cancer incidence : the Ohsaki cohort study. *Int J Cancer.* 2010;127(8):1913-1922
- 27) Koyama A, Miyake Y, Kawakami N, Tsuchiya M, Tachimori H, Takeshima T : World Mental Health Japan Survey Group, 2002-2006 : Lifetime prevalence, psychiatric comorbidity and demographic correlates of "hikikomori" in a community population in Japan. *Psychiatry Res.* 2010;176(1):69-74
- 28) Karasawa S, Daimon M, Sasaki S, Toriyama S, Oizumi T, Susa S, Kameda W, Wada K, Muramatsu M, Fukao A, Kubota I, Kawata S, Kayama T, Kato T : Association of the common fat mass and obesity associated (FTO) gene polymorphism with obesity in a Japanese population. *Endocr J.* 2010;57(4):293-301
- 29) Kawai M, Minami Y, Kuriyama S, Kakizaki M, Kakugawa Y, Nishino Y, Ishida T, Fukao A, Tsuji I, Ohuchi N : Reproductive factors, exogenous female hormone use and breast cancer risk in Japanese : the Miyagi Cohort Study. *Cancer Causes Control.* 2010;21(1):135-145
- 30) Liu L, Okamura T, Kadowaki T, Murakami Y, Hozawa A, Kita Y, Takashima N, Okuda N, Okayama A, Ueshima H : Bundle branch block and other cardiovascular disease risk factors : US-Japan comparison. *Int J Cardiol.* 2010;143(3):432-440
- 31) Karasawa S, Daimon M, Sasaki S, Toriyama S, Oizumi T, Susa S, Kameda W, Wada K, Muramatsu M, Fukao A, Kubota I, Kawata S, Kayama T, Kato T : Association of the Common Fat Mass and Obesity Associated (FTO) Gene Polymorphism with Obesity in a Japanese Population. *Endocrine a journal.* 2010;57(4):293-301
- 32) Hozawa A, Sugawara Y, Tomata T, Kakizaki M, Ohmori-Matsuda K, Nakaya N, Kuriyama S, Fukao A, Tsuji I : Relationships between N-Terminal pro B-Type Natriuretic Peptide and Incident Community-Dwelling Adults : The Tsurugaya Study. *J American Geriatrics Soc.* 2010; 58(12):2439-2441
- 33) Nishise S, Fujishima T, Kobayashi S, Otani K, Nishise Y, Takeda H, Kawata S : Mass infection with *Entamoeba histolytica* in a Japanese institution for individuals with mental retardation : epidemiology and control measures. *Ann Trop Med Parasitol.* 2010;104(5):383-390
- (2) その他
- 1) 渡辺久剛, 齋藤貴史, 西瀬雄子, 邵力, 佐藤智佳子, 石井里佳, 芳賀弘明, 奥本和夫, 齋藤孝治, 富樫整, 新沢陽英, 河田純男 : HCV コホート研究による持続感染者の自然経過. HCV 感染の natural course を探る : わが国におけるコホート研究. 山形大学出版会, 2010:45-50

## 2. 学会報告

### (1) 国際学会

#### i 一般演題

- 1) Sho R, Zhang X-H, Saito T, Watanabe H, Ishii R, Kawata S, Fukao A : Expression Profiling of Signaling Pathway Genes in Human Hepatocytes Infected with Cell Culture-produced Hepatitis C Virus. 20<sup>th</sup> Conference of the Asian Pacific Association for the Study of the

Liver, Beijing ; March 2010

- 2) Teng L, Sho R, Zhang X-H, Watanabe H, Saito T, Ishii R, Kawata S, Fukao A, Kimura W : Identification and Characterization of a Novel MicroRNA Involved in the Development of Liver Cancer. 20<sup>th</sup> Conference of the Asian Pacific Association for the Study of the Liver, Beijing ; March 2010

## (2) 国内の学会

### i 特別講演

- 1) 深尾彰：胃内視鏡検診の現状と展開. 第48回日本消化器がん検診学会大会, 横浜市 ; 2010年10月

### ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 深尾彰 : 胃・大腸がん検診の展望. NPO 法人日本がん検診・診断学会, 東京 ; 2010年1月
- 2) 渡辺久剛, 齋藤貴史, 西瀬雄子, 邵力, 佐藤智佳子, 石井里佳, 芳賀弘明, 三條麻衣, 奥本和夫, 伊藤純一, 齋藤孝治, 石橋正道, 富樫整, 新沢陽英, 河田純男 : HCV コホート研究による持続感染者の自然経過. 第46回日本肝臓学会総会サテライトシンポジウム, 山形市 ; 2010年5月
- 3) 寶澤篤 : 介護予防プログラムの有効性 : 系統的レビューの結果から『栄養』. 第69回日本公衆衛生学会総会, 東京 ; 2010年10月

### iii 一般演題

- 1) 邵力, 張旭紅, 渡辺久剛, 齋藤貴史, 石井里佳, 深尾彰, 河田純男 : HCV 培養細胞感染系における TLR シグナル伝達関連遺伝子の発現解析. 第46回日本肝臓学会総会, 山形市 ; 2010年5月
- 2) 藤亮, 邵力, 渡辺久剛, 張旭紅, 齋藤貴史, 石井里佳, 河田純男, 深尾彰, 木村理 : 肝癌における microRNA の発現異常と意義. 第14回日本肝臓学会大会, 横浜市 ; 2010年10月
- 3) 寶澤篤, 菅原由美, 遠又靖丈, 柿崎真沙子, 大森芳, 中谷直樹, 栗山進一, 深尾彰, 辻一郎 : 高齢者における NT-Pro BNP と要介護認定の関連 — 鶴ヶ谷コホート研究 —. 第33回日本高血圧学会総会, 福岡市 ; 2010年10月
- 4) 張旭紅, 邵力, 渡辺久剛, 齋藤貴史, 石井里佳, 深尾彰, 河田純男 : RNAi スクリーニングを用いた HCV 増殖に関わる宿主因子の探索. 第83回日本生化学会大会, 神戸市 ; 2010年12月

## (3) 国内地方会

### i 特別講演

- 1) 深尾彰 : 岐路に立つ胃がん検診. 第48回日本消化器がん検診学会東北地方会, 山形市 ; 2010年7月

### ii 一般演題

- 1) 瀬戸順次, 金子紀子, 安孫子千恵子, 水田克巳, 大谷勝実, 阿彦忠之 : 反復配列多型分析法による結核菌の分子疫学解析. 第36回山形県公衆衛生学会, 山形市 ; 2010年3月
- 2) 瀬戸順次, 金子紀子, 安孫子千恵子, 大谷勝実, 山口一郎, 井瀨安雄, 山田敬子, 松田徹, 阿彦忠之 : 山形県における分子疫学解析を組み入れた結核対策への取り組み. 第59回東北公衆衛生学会, 山形市 ; 2010年7月
- 3) 渡辺暁子, 邵力, 後藤和男, 中村智洋, 齋藤孝治, 田中幸子, 大谷勝実, 深尾彰 : 大腸がん検診受診者のライフスタイルに関する検討. 第59回東北公衆衛生学会, 山形市 ; 2010年7月
- 4) 松浪容子, 大谷勝実, 邵力, 深尾彰 : 虚血性心疾患患者の喫煙行動の変化と関連要因に関する研究. 第59回東北公衆衛生学会, 山形市 ; 2010年7月
- 5) 成松宏人, 田宮元, 佐藤慎哉, 齋藤貴史, 北中千史, 加藤丈夫, 久保田功, 深尾彰, 山下英俊 : 山形分子疫学コホート研究の今後の展開. 第59回東北公衆衛生学会, 山形市 ; 2010年7月

## (4) その他

- 1) 深尾彰 : がん検診について. 第55回市民公開講座, 長井市 ; 2010年11月

## 3. 学会, 講演会, シンポジウム, ワークショップ等の開催

- 1) 第59回東北公衆衛生学会, 山形市 ; 2010年7月

# 医療政策学講座

## 1. 論文

### (1) 原著

- 1) Tanaka S, Maruyama Y, Ooshima S, Ito H: Working condition of nurses in Japan: awareness of work-life balance among nursing personnel at a university hospital. *Journal of Clinical Nursing*. 2010; 20: 12-22
- 2) 伊藤嘉高, 田中幸子, 大嶋聡子: 「移動の時代」における看護職員の就労構造と就労支援—山形県における看護職員の年齢構成から. *日本医療・病院管理学会誌*. 2010; 47(4): 17-24
- 3) 村上正泰: 50周年を迎える国民皆保険と深刻化する医療格差. *医療白書2010年版*. 2010: 2-12
- 4) 村上正泰: 医療制度改革は、高齢・現役問わず、負担能力に見合った支え合いが前提. *日本の論点* 2011. 2010: 582-585

### (2) 著書

- 1) 村上正泰: 医療経営士・初級テキスト2 日本の医療行政と地域医療. 東京; 日本医療企画, 2010
- 2) 村上正泰: 職域・地域で分立する保険制度の一元化で「支え合う仕組み」はつくりやすくなる. 松村真吾, 富井淑夫, 後期高齢者医療制度を再考する. 東京; ミネルヴァ書房, 2010: 129-140

### (3) その他

- 1) 村上正泰: 持続可能な医療制度を目指し負担増の国民的議論が必要. *集中*. 2010; 3(2): 48-50
- 2) 村上正泰: 厚労省の発想が招いた医療崩壊. *医薬経済*. 2010; 1366: 12-13
- 3) 村上正泰: 元官僚が医療政策に苦言 長年の医療費抑制策が元凶. *日経メディカル*. 2010; 508: 178
- 4) 伊藤嘉高: 山形県内医療施設における患者動向及び医療従事者等に係わる現状調査報告 (平成20/21年実施). 2010
- 5) 村上正泰: 診療報酬制度は医療政策の一部にすぎない 政策の“全体像”の把握と分析が医療経営の成否を大きく左右する. *最新医療経営 Phase 3*. 2010; 308: 64-65
- 6) 村上正泰: オバマの医療制度改革の教訓—国民皆保険をなし崩しにする日本の大間違い. *VOICE*. 2010; 389: 192-201
- 7) 村上正泰: もっと知りたい! このテーマ 診療報酬改定 (上) プラス改定の意味とは. *暮らしと健康*. 2010; 65(6): 44-46
- 8) 村上正泰: もっと知りたい! このテーマ 診療報酬改定 (下) これからの医療をどう支えるか. *暮らしと健康*. 2010; 65(7): 44-46

## 2. 学会報告

### (1) 国内の学会

#### i 一般演題

- 1) 村上正泰: 自治体病院の再生に向けた政策課題. *全国自治体病院学会*, 秋田県; 2010年10月

### (2) 研究会

#### i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 村上正泰: 高齢者医療制度改革について. *医療・介護・社会保障の将来設計プロジェクト研究会*, 東京都; 2010年9月

### (3) その他

- 1) 村上正泰: 政権交代で何が変わったか?—医療・介護政策の展望. *国のあり方を考える有志の会*, 京都府; 2010年2月
- 2) 村上正泰: 医療崩壊の真犯人. *大阪医事懇話会*, 大阪府; 2010年2月
- 3) 村上正泰: 「医療崩壊の真犯人」と医療再生に向けた展望. *外来診療と医療経営について考える会*, 兵庫県; 2010年2月

- 4) 村上正泰：医療政策の課題と歯科医療。東京都歯科医師連盟，東京都；2010年2月
- 5) 村上正泰：平成22年度診療報酬改定の概要について。山形大学医学部附属病院保険診療委員会講演会，山形県；2010年3月
- 6) 村上正泰：「医療崩壊」の原因と今後の医療再生に向けた課題。日本病院会北海道ブロック支部，北海道；2010年4月
- 7) 村上正泰：「医療崩壊」の原因と今後の医療再生に向けた課題。神奈川県保険医協会，神奈川県；2010年5月
- 8) 村上正泰：日本の医療の現状と今後－医療政策の方向性と課題について。山形市立病院済生館，山形県；2010年5月
- 9) 村上正泰：最近の医療政策と今後の課題。仁誠会・仁誠医学振興会学術講演会，山形県；2010年6月
- 10) 村上正泰：医療崩壊の真犯人と処方箋－安心・安全の医療再生に向けて。日本文化厚生農業協同組合連合会，東京都；2010年7月
- 11) 村上正泰：日本の医療の問題点－“医療崩壊”と広がる医療格差。大阪弁護士会貧困問題連続市民講座，大阪府；2010年7月
- 12) 村上正泰：医療経営士初級講座 日本の医療行政と地域医療。日本医療企画北信越支社，石川県；2010年7月
- 13) 村上正泰：山形県の地域医療の展望－「医療崩壊の真犯人」と今後の課題。日本臨床泌尿器科医会学術講演会，神奈川県；2010年7月
- 14) 村上正泰：暮らしを左右する政策は、誰がどのように決めている？～「官僚主導」のウソとホント～。生活設計塾クルー，東京都；2010年8月。
- 15) 村上正泰：「医療崩壊」の原因と今後の医療再生に向けた課題。全国保険医団体連合会，東京都；2010年8月
- 16) 村上正泰：山形県の地域医療の展望。山形大学医学部と山形県医師会との懇談会，山形県；2010年8月
- 17) 村上正泰：今後の医療政策と財源論の考え方。千葉県保険医協会，千葉県；2010年9月
- 18) 村上正泰：地域医療の最前線。福島県立安積黎明高等学校，福島県；2010年9月
- 19) 村上正泰：危機に瀕する地域医療と療養病床問題。高山厚生病院と地域医療を守る会，岐阜県；2010年9月
- 20) 村上正泰：医療政策の課題と山形県における取り組み。全国公立病院連盟，山形県；2010年10月
- 21) 村上正泰：我が国の医療政策の課題と今後の展望。旭川市医師会医政講演会，北海道；2010年11月
- 22) 村上正泰：医療崩壊の真犯人と今後の医療政策。草の根歯科研究会，東京都；2010年11月
- 23) 村上正泰：これからの医療・介護政策の展望。医業・老人福祉施設経営セミナー，山口県；2010年11月
- 24) 村上正泰：医療再生に向けて今何が必要か－今後の医療政策の課題－。愛知県小児科医会，愛知県；2010年11月
- 25) 村上正泰：介護療養型医療施設廃止延期後のあり方を考える。介護療養型医療施設の存続を求める会，東京都；2010年11月

# 臨床的機能再生部門

## 脳神経外科学講座

### 1. 論文

#### (1) 原著

- 1) Sato A, Sunayama J, Matsuda K, Tachibana K, Sakurada K, Tominaga A, Kayama T, Kitanaka C: Association of stem cell marker CD133 expression with dissemination of glioblastomas. *Neurosurg Rev.* 2010;33:175-184
- 2) Sato A, Sunayama J, Matsuda K, Tachibana K, Sakurada K, Tominaga A, Kayama T, Kitanaka C: Regulation of neural stem/progenitor cell maintenance by PI3K and mTOR. *Neuroscience Letters*, 2010;470:115-120
- 3) Sunayama J, Matsuda K, Sato A, Tachibana K, Suzuki K, Narita Y, Shibui S, Sakurada K, Kayama T, Tomiyama A, Kitanaka C: Dual blocking of mtor and PI3K elicits a prodifferentiation effect on glioblastoma stem-like cells. *Neuro Oncol.* 2010;12(12):1205-1219
- 4) Omodaka S, Saito R, Kumabe T, Kawagishi J, Jokura H, Sonoda Y, Watanabe M, Kayama T, Tominaga T: Melanotic neuroectodermal tumor of the brain recurring 12 years after complete remission: case Report. *Brain Tumor Pathology.* 2010;27(1):51-57
- 5) Tamura H, Watanabe T, Hirono O, Nishiyama S, Sasaki S, Shishido T, Miyashita T, Miyamoto T, Nitobe J, Kayama T, Kubota I: Low wall velocity of left atrial appendage measured by trans-thoracic echocardiography predicts thrombus formation caused by atrial appendage dysfunction. *J Am Soc Echocardiogr.* 2010;23(5):545-552
- 6) Sunayama J, Matsuda K, Sato A, Tachibana K, Suzuki K, Narita Y, Shibui S, Sakurada K, Kayama T, Tomiyama A, Kitanaka C: Crosstalk Between the PI3K/mTOR and MEK/ERK Pathways Involved in the Maintenance of Self-Renewal and Tumorigenicity of glioblastoma Stem-Like Cells. *Stem Cells.* 2010;28(11):1930-1939
- 7) 近藤礼, 嘉山孝正: 基本をマスター 脳神経外科手術のスタンダード 椎骨動脈解離に対する直達手術. *脳神経外科速報.* 2010;20(9):998-1006
- 8) 近藤礼, 嘉山孝正: 無症候性脳血管障害への対応—脳卒中ガイドライン2009より. *臨床検査.* 2010;54(12):1531-1536
- 9) 櫻田香, 菊地善彰, 久下淳史, 竹村直, 小久保安昭, 佐藤慎哉, 嘉山孝正: 術中MRIにて急性硬膜下血腫を診断し得た悪性神経膠腫の1例. *脳神経外科.* 2010;38(12):1115-1120
- 10) 菊地善彰, 竹村直, 久下淳史, 佐藤慎哉, 嘉山孝正: 自然破裂した無症候性頭蓋内類皮腫の1例. *Neurological Surgery.* 2010;38(5):455-462
- 11) 齋藤佑規, 竹村直, 櫻田香, 佐藤慎哉, 嘉山孝正: 大脳鎌に発生した intracranial extraskeletal mesenchymal chondrosarcoma. *Neurological Surgery.* 2010;38(5):441-448
- 12) 櫻田香, 竹村直, 久下淳史, 舟生勇人, 佐藤慎哉: 術中MRIを用いた脳腫瘍手術. *CI研究.* 2010;1:25-32
- 13) 櫻田香, 松田憲一朗, 嘉山孝正: 後頭蓋窩正中部に発生した巨大腫瘍. *脳神経ジャーナル「脳腫瘍の画像と病理」.* 2010;19(2):80-85
- 14) 近藤礼, 伊藤美以子, 松田憲一朗, 齋藤伸二郎, 小久保安昭, 嘉山孝正: 再発血マメ状動脈瘤に対し瘤内塞栓術を施行した1例. *脳卒中の外科(別冊).* 2010;38:358-362
- 15) 山田裕樹, 金城利彦, 嘉山孝正: PICA communicating arteryに発症した多発脳動脈瘤の1手術例. *脳神経外科ジャーナル.* 2010;19(8):623-630
- 16) 山田裕樹, 金城利彦, 黄木正登, 嘉山孝正: 経過観察中に自然血栓化した未破裂内頸動脈瘤の1例. *脳卒中の外科.* 2010;38(2):114-118
- 17) 櫻田香, 嘉山孝正: V. 脳腫瘍の治療 脳腫瘍の外科療法 術中MRI. *新時代の脳腫瘍学—診断・治療最*

前線一. 2010 ; 68 (10) : 338-343

- 18) 久下淳史, 佐藤慎哉, 櫻田香, 竹村直, 嘉山孝正: 画像誘導法を駆使した内視鏡単独経鼻蝶形骨洞手術の手術成績. 日本内分泌学会雑誌. 2010 ; 86 : 63-64
- 19) 近藤礼, 山田裕樹, 伊藤美以子, 斎藤伸二郎, 嘉山孝正: 血栓化脳動脈瘤の手術経験. 第32回東北脳血管障害研究会. 2010 ; 32 : 55-58
- 20) 佐藤篤, 朽木秀雄, 小久保安昭, 近藤礼, 佐藤慎哉, 嘉山孝正: 軽度頭痛のみを呈するくも膜下出血—“歩いて来たSAH”について—. 第32回東北脳血管障害研究会. 2010 ; 32 (12) : 23-28

## (2) 総説

- 1) Kayama T: In Celebration of NMC's 50<sup>th</sup> Anniversary. Neurologia. 2010;1:E19-E20
- 2) 嘉山孝正: 22年改訂答申—安達委員「財源枠設定は財務省の越権行為」受け診療側・支払診療側が会見—. 日本医事新報. 2010 ; 4478 (2) : 10-11
- 3) 嘉山孝正: 医療者教育. 現場からの医療改革推進協議会 第4回シンポジウム. 2010 ; 4 (7) : 88-92
- 4) 嘉山孝正: 第21回「国立がん研究センターの改革」「自立、自律、自浄」で患者のためのセンターに. 日本医事新報. 2010 ; 4487 (4) : 14-15
- 5) 嘉山孝正: 新臨床研修制度の改善—教育病院からの提言 2. 大学病院からの提言. 日本内科学会雑誌. 2010 ; 99 (11) : 132-137
- 6) 嘉山孝正: 医療再生のための診療報酬戦略. 日本医事新報. 2010 ; 4492 (5) : 9-15
- 7) 嘉山孝正, 久下淳史: 【内視鏡・内視鏡外科治療最前線 低侵襲治療の進歩】内視鏡外科治療の進歩 脳神経外科領域—神経内視鏡手術の現況と展望—. 日本臨床. 2010 ; 68 (7) : 1366-1370
- 8) 近藤礼, 嘉山孝正: 脳卒中治療ガイドライン 2009—無症候性脳血管障害—. 脳と循環. 2010 ; 15 (3) : 67-71
- 9) 近藤礼, 嘉山孝正: 脳卒中ガイドライン 2009 の解釈と活用法 無症候性脳血管障害. Clinical Neuroscience 別冊. 2010 ; 28 (6) : 657-659

## (3) 著書

- 1) 嘉山孝正: 国立がんセンターの独法化—患者さんとともに、世界をリードするがん研究センターを目指して—. 腫瘍内科. 東京 ; 科学評論社, 2010 : 146-147
- 2) 嘉山孝正: 低髄液圧症候群. 山口徹, 北原光夫, 福井次矢, 今日の治療指針 私はこう治療している TODAY'S THERAPY 2011. 東京 ; 医学書院, 2010 : 835
- 3) 佐藤慎哉, 嘉山孝正: 脊髄関連疾患 2 (髄液漏出). 上原馨志夫, 大林完二, 隅谷護人, 益子邦洋, 松岡博昭, 総合診断マニュアル. 京都 ; 金芳堂, 2010 : 685-687
- 4) 佐藤慎哉, 嘉山孝正: 転移性脳腫瘍の治療方針にエビデンスはあるのか?. 宮本亨, 新井一, 鈴木倫保, 渋井壮一郎, 中瀬裕之, EBM 脳神経外科疾患の治療 2011-2012. 東京 ; 中外医学社, 2010 : 189-194
- 5) 近藤礼: 新人読ん得! お助け特集① 病態生理超ベーシック 17 ~よく見る疾患・症状を完全把握!~ 【症状編】意識障害. 石山光枝, 小笠原邦昭, 紙屋克子, 田村綾子, 詠田眞治, 橋本洋一郎, 宮本亨, BRAIN NURSING. 2010 ; 26 (4) : 52-54
- 6) 櫻田香, 舟生勇人, 土谷大輔, 竹村直, 久下淳史, 佐藤慎哉, 嘉山孝正: 中心溝近傍悪性神経膠腫の手術. 脳腫瘍の外科 ; 2010 ; 1(9) : 30-34

## (4) その他

- 1) 嘉山孝正: 第39回日本脳卒中の外科学会印象記. 脳卒中の外科. 2010 ; 38 : 283-285
- 2) 嘉山孝正: 医学教育・医学研究再生に向けた提言. Monthly ミクス. 2010 ; 38 (1) : 13
- 3) 嘉山孝正: シリーズ医を語る—大学から医療改革を問う—. 2010 ; 39 (1) : 12-15
- 4) 嘉山孝正: ドクターフィーの創設で病院勤務医に希望を与えたい. 月刊 新医療. 2010 ; 37 (1) : 2-5
- 5) 嘉山孝正: 見直された臨床研修制度、いよいよ運用スタート—研修医のキャリア制度どうつなげていくか—. Medical Tribune. 2010 ; 43 (7) : 54-55
- 6) 嘉山孝正: 医療安全と質を高めるには教育現場からの視点が不可欠. 集中 OPINION. 2010 ; 3 (3) : 48-46
- 7) 嘉山孝正: 国立がん研究センター独法化—新旧トップ会談—. Lohas Medical Dialogue. 2010 ; 55 (4) : 14-19
- 8) 嘉山孝正: 有能な人材を活かす仕掛け. 医療経済. 2010 ; 1368 (3) : 14-15



- 9) 嘉山孝正：シリーズ日本の聖域① 国立がんセンター. NIKKEI BUSINESS. 2010 ; 1532 (3) : 108-113
- 10) 嘉山孝正：理事長就任決定までの経緯や今後の方針. 医療タイムス. 2010 ; 1957 (3) : 31-33
- 11) 嘉山孝正：独法化のナショナルセンターを世界トップ 20 以内に—改革の旗頭として “お役所体質” の打を. Medical Tribune. 2010 ; 43 (13) : 65
- 12) 嘉山孝正：連載特集 2010 年改訂の文脈を読む ドクターフィーの創設で病院勤務医に希望を与えたい. 保健診療. 2010 ; 65 (1) : 2-5
- 13) 嘉山孝正：改革はエビデンスに基づいて. 鉄門だより. 2010 ; 665 (4) : 11
- 14) 嘉山孝正：大学医学部教育の未来に向けた提言. 日経メディカル. 2010 ; 510 (5) : 27-29
- 15) 嘉山孝正：NC 独法化で露出した政治主導の可能性と限界① 「心」 実行するガバナンスの概念を新組織に注入. 集中 OPINION. 2010 ; 3 (5) : 46-47
- 16) 嘉山孝正：嘉山医学部長学術講演会. 蔵王. 2010 ; 8 (4) : 1-2
- 17) 嘉山孝正：国立がん研究センター初代理事長のいくつかの課題. CLINIC Magazine. 2010 ; 490 (6) : 7
- 18) 嘉山孝正：今後のがん医療の展望. 加仁. 2010 ; 37 (5) : 6-7
- 19) 嘉山孝正, 幸田正考, 杉村隆：財団 42 年を振り返って～財団今後の展望～. 加仁. 2010 ; 37 (5) : 8-21
- 20) 櫻田香, 嘉山孝正：第 6 回日独脳神経外科学術会議報告記. 脳神経外科. 2010 ; 38 (3) : 302
- 21) 櫻田香, 嘉山孝正：がんを知る—最新診療と治療法—脳腫瘍 先端技術で治療成績向上. 山形新聞. 2010 ; 44887 (6) : 6
- 22) 嘉山孝正：改革は納得だ！ (上). 産経新聞. 2010 ; (6) : 7
- 23) 嘉山孝正：改革は納得だ！ (中). 産経新聞. 2010 ; (6) : 4
- 24) 嘉山孝正：改革は納得だ！ (下). 産経新聞. 2010 ; (6) : 7
- 25) 嘉山孝正：景山直樹先生と脳腫瘍学. 景山直樹先生追悼文集 (夢・遙かなる奇跡). 2010 ; 1 (6) : 24-27
- 26) 嘉山孝正：すべては、がん患者のために. 朝日新聞 be on Saturday. 2010 ; (6) : b1
- 27) 嘉山孝正：「最高の医療をすべて紹介できる体制に」. 朝日新聞 be on Sunday. 2010 ; (6) : b1
- 28) 嘉山孝正：巻頭言 世界トップ 20 を目指す 改革の根幹は現場力の底上げ. Oncology NETWORK. 2010 ; 5 (6) : 2
- 29) 嘉山孝正：「患者とともに歩むがん研究センターに」. 対がん協会報. 2010 ; 559 (6) : 2-3
- 30) 嘉山孝正：ナショナルセンター (NG) 独法化に期待すること. 集中 OPINION. 2010 ; 27 (6) : 32
- 31) 嘉山孝正：巻頭言 PET と私の研究人生. PET journal. 2010 ; 10 (7) : 3
- 32) 嘉山孝正：嘉山孝正・国立がん研究センター理事長言動録 第 1 回築地遊撃戦記. 集中 OPINION. 2010 ; 28 (7) : 27
- 33) 嘉山孝正：未承認薬の保健適用を. 朝日新聞. 2010 ; (8) : 6
- 34) 嘉山孝正：命を削る 下. 毎日新聞. 2010 ; 48739 (8) : 2
- 35) 嘉山孝正：嘉山孝正・国立がん研究センター理事長言動録 第 2 回築地遊撃戦記. 集中 OPINION. 2010 ; 29 (8) : 29
- 36) 嘉山孝正：嘉山孝正・国立がん研究センター理事長言動録 第 3 回築地遊撃戦記. 集中 OPINION. 2010 ; 30 (9) : 29
- 37) 嘉山孝正：嘉山孝正・国立がん研究センター理事長言動録 第 4 回築地遊撃戦記. 集中 OPINION. 2010 ; 31 (10) : 19
- 38) 嘉山孝正：嘉山孝正・国立がん研究センター理事長言動録 第 5 回築地遊撃戦記. 集中 OPINION. 2010 ; 32 (11) : 19
- 39) 嘉山孝正：嘉山孝正・国立がん研究センター理事長言動録 第 6 回築地遊撃戦記. 集中 OPINION. 2010 ; 33 (12) : 19
- 40) 嘉山孝正：脳脊髄液減少症の正体. 日経メディカル. 2010 ; 514 (9) : 24-26
- 41) 嘉山孝正：全国医学部長病院長会議の相談役に就任して. 全国医学部長病院長会議 (AJMC) 広報. 2010 ; 56 (10) : 7
- 42) 嘉山孝正：最初は“アンビリーバブル”の連続だった—国立がん研究センター理事長・嘉山孝正氏に聞く. Vol.1. 医療維新. 2010 ; (10) : 1-3
- 43) 嘉山孝正：日本のがん診療の問題はインフラの未整備—国立がん研究センター理事長・嘉山孝正氏に聞く.

Vol. 2. 医療維新. 2010 ; (10) : 1-3

- 44) 嘉山孝正：頭部の病気 脳腫瘍（グリオーマ）『腫瘍摘出が基本 実績ある病院で治療を』。週刊朝日 増刊号 新「名医」の最新治療 2011. 2010 ; 5034 (10) : 194-195
- 45) 嘉山孝正：院内がん登録の全国集計公開、ドラッグ・ラグも共同治験で解消。医療維新. 2010 ; (10) : 1-2
- 46) 嘉山孝正：改革の決め手は「人・使命・人情」。Future SIGHT 未来 とうほく 第2回. 2010 ; 50 (10) : 15-17
- 47) 嘉山孝正：医療の羅針盤 私の提言 第34回 現代日本人の危うさを国立がん研究センターの現状分析から語る。新医療. 2010 ; (11) : 22-25
- 48) 嘉山孝正：病院の実力インタビュー 治療に直結した研究で、最先端のがん治療を世界に発信 国立がん研究センター初代理事長・嘉山孝正さんに聞く。病院の実力 がんに克つ。2010 ; 53 (12) : 50-53
- 49) 嘉山孝正：嘉山孝正先生が国立がん研究センター新理事長に就任。蔵王. 2010 ; 9 (10) : 2
- 50) 嘉山孝正：進化する治療現場 国立がん研究センター・嘉山理事長インタビュー。PRESIDENT. 2010 ; 49 (3) : 51-53
- 51) 嘉山孝正：公立置賜総合病院開院十周年を御祝いして、公立置賜総合病院開院 10 周年記念誌. 2010 ; 1 (11) : 4
- 52) 嘉山孝正：新生がんセンターに学ぶ組織改革「アンビリーバブル」の連続に剛腕理事長が仕掛けた改革の中味。日経ヘルスケア. 2010 ; 253 (11) : 49-53
- 53) 嘉山孝正：「国立がん研究センター医学会」創設、診療・研究・教育・社会活動を推進。医療維新. 2010 ; (12) : 1-2
- 54) 佐藤慎哉：山形大・佐藤教授 高度医療人研修センターで専門医資格取得を支援「県外の後期研修医も呼びたい」。Japan Medicine. 2010 ; (11) : 10

## 2. 学会報告

### (1) 国際学会

#### i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) Kayama T: Society and cancer registration: toward harmonization. 32nd ANNUAL MEETING OF INTERNATIONAL ASSOCIATION OF CANCER REGISTRIES, Tokyo Japan ; October 2010
- 2) Sato A, Sunayama J, Matsuda K, Tachibana K, Sakurada K, Tominaga A, Kayama T, Kitanaka C, : Association of stem cell marker CD133 expression with dissemination of glioblastomas. 9th International Conference of the Asian Clinical Oncology Society, Gifu, Japan ; August 2010

### (2) 国内の学会

#### i 特別講演

- 1) 嘉山孝正：中医協議論の変革。第13回日本病院脳神経外科学会，釧路；2010年7月
- 2) 嘉山孝正：日本のがん医療の問題点と今後の方向性。日本放射線腫瘍学会 第23回学術大会，東京；2010年11月
- 3) 嘉山孝正：女性外科医が就労継続するために必要なこと；私見。第72回日本臨床外科学会総会「女性外科医フォーラム」，東京；2010年11月
- 4) 嘉山孝正：スチューデントドクター制と新卒後研修制度。第43回日本内科学会教育病院連絡会議特別シンポジウム，東京；2010年7月
- 5) 嘉山孝正：中医協と診療報酬改定。第64回日本臨床眼科学会，神戸；2010年11月
- 6) 佐藤慎哉、嘉山孝正：High risk-High return への制度設計：現場の実状に即した待遇改善への試み。日本脳神経外科学会第69回学術総会，福岡；2010年10月

#### ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 佐藤慎哉、竹村直、伊藤美以子、齋藤佑規、嘉山孝正：3ヶ月の安静臥床にて治療した特発性脳脊髄減少症の経時的頸椎MRI 髄液漏所見。第39回日本神経放射線学会，東京；2010年2月
- 2) 久下淳史、佐藤慎哉、櫻田香、竹村直、嘉山孝正：画像誘導法を駆使した内視鏡単独経鼻蝶形骨洞手術の手術成績。第20回日本間脳下垂体腫瘍学会，兵庫；2010年2月
- 3) 佐藤慎哉、嘉山孝正：覚醒下手術のガイドラインについて。第19回脳神経外科手術と機器学会，東京；

2010年3月

- 4) 近藤礼、小久保安昭、嘉山孝正、斎藤伸二郎：Multimodalityを用いた未破裂脳動脈瘤の直接手術。第39回日本脳卒中の外科学会（STROKE 2010），岩手；2010年4月
- 5) 朽木秀雄、小久保安昭、櫻田香、近藤礼、斎藤伸二郎、嘉山孝正：坑血栓療法を用いない非出血性脳動脈解離の治療成績～長期追跡を行った脳血管撮影所見との関連も含めて～。第39回日本脳卒中の外科学会（STROKE 2010），岩手；2010年4月
- 6) 朽木秀雄、小久保安昭、近藤礼、斎藤伸二郎、嘉山孝正：くも膜下出血と突然の頭痛～軽度頭痛のみの“歩いて来たSAH”について～。第39回日本脳卒中の外科学会（STROKE 2010），岩手；2010年4月
- 7) 小久保安昭、近藤礼、斎藤伸二郎、嘉山孝正：3.0T MRIを用いた頸動脈プラークの質的診断。第39回日本脳卒中の外科学会（STROKE 2010），岩手；2010年4月
- 8) 小久保安昭、佐藤篤、竹村直、林真司、朽木秀雄、近藤礼、嘉山孝正：めまいと脳卒中。第39回日本脳卒中の外科学会（STROKE 2010），岩手；2010年4月
- 9) 佐藤慎哉、嘉山孝正：転移性脳腫瘍における手術の役割。第30回日本脳神経外科コンgres、横浜；2010年5月
- 10) 黒木亮、嘉山孝正：説得力の高い受診直後の結果説明法の工夫～PACS用パソコンで迅速に作成できる3d MRA画像について。第19回日本脳ドック学会総会，山形；2010年6月
- 11) 朽木秀雄、小久保安昭、近藤礼、斎藤伸二郎、嘉山孝正：当科における脳ドック600例の検討～受診者全例の追跡調査も含めて～。第19回日本脳ドック学会総会，山形；2010年6月
- 12) 竹村直、舟生勇人、久下淳史、櫻田香、小久保安昭、佐藤慎哉、嘉山孝正：リン酸カルシウム骨ペーストの改良と使用経験。第22回日本頭蓋底外科学会，福岡；2010年7月
- 13) 竹村直、嘉山孝正、齋藤佑規、佐藤篤、佐藤慎哉：Treatment board導入後の前庭神経鞘腫の長期治療成績。第15回日本脳腫瘍の外科学会，大阪；2010年10月
- 14) 櫻田香、嘉山孝正：悪性脳腫瘍の手術。日本脳神経外科学会第69回学術総会，福岡；2010年10月
- 15) 竹村直、嘉山孝正、久下淳史、櫻田香、小久保安昭、佐藤慎哉：適切な手術とガンマナイフを併用したClinoidal meningiomaの長期治療成績。日本脳神経外科学会第69回学術総会，福岡；2010年10月

### iii 一般演題

- 1) 櫻田香、舟生勇人、佐藤篤、竹村直、佐藤慎哉、嘉山孝正：てんかん発症 low grade glioma の術後発作後の検討。第33回日本てんかん外科学会，大阪；2010年1月
- 2) 舟生勇人、嘉山孝正、竹村直、櫻田香、佐藤慎哉：Cortical dysplasia および DNT による難治性てんかんに対する Gyrectomy 法を用いた長期術後成績。第33回日本てんかん外科学会，大阪；2010年1月
- 3) 斎藤伸二郎、近藤礼、伊藤美以子、山田裕樹、小久保安昭、嘉山孝正：脳底動脈遠位部動脈における術中 MEP 所見。第19回脳神経外科手術と機器学会，東京；2010年3月
- 4) 近藤礼、山田裕樹、伊藤美以子、斎藤伸二郎、嘉山孝正：瘤内塞栓術で根治し得た再発内頸動脈血マメ状動脈瘤。第19回脳神経外科手術と機器学会，東京；2010年3月
- 5) 櫻田香、舟生勇人、佐藤篤、齋藤佑規、久下淳史、竹村直、佐藤慎哉、嘉山孝正：当科における覚醒下脳機能マッピング：脳表電極および刺激法の工夫。第19回脳神経外科手術と機器学会，東京；2010年3月
- 6) 舟生勇人、竹村直、久下淳史、櫻田香、佐藤慎哉、嘉山孝正：リン酸カルシウム骨ペーストの改良と使用経験。第19回脳神経外科手術と機器学会，東京；2010年3月
- 7) 櫻田香、佐藤篤、舟生勇人、菊池善彰、嘉山孝正、中里洋一：Multifocal oligodendro-oligoastrocytoma の一例。第28回日本脳腫瘍病理学会，大阪；2010年5月
- 8) 金城利彦、土谷大輔、渡辺茂樹、嘉山孝正：未破裂中大動脈瘤経過観察中に新生して増大または破裂を来した前大脳、前交通動脈瘤の3例。第39回日本脳卒中の外科学会（STROKE 2010），岩手；2010年4月
- 9) 近藤礼、伊藤美以子、山田裕樹、斎藤伸二郎、小久保安昭、嘉山孝正：頸動脈狭窄症の外科治療。第39回日本脳卒中の外科学会（STROKE 2010），岩手；2010年4月
- 10) 久下淳史、小久保安昭、近藤礼、佐藤慎哉、嘉山孝正：山形県における脳卒中の動向～脳卒中登録事業10年の結果から。第39回日本脳卒中の外科学会（STROKE 2010），岩手；2010年4月
- 11) 土谷大輔、渡辺茂樹、金城利彦、嘉山孝正：くも膜下出血晩期再発16例の検討。第39回日本脳卒中の外科学会（STROKE 2010），岩手；2010年4月

- 12) 佐藤篤、小久保安昭、近藤礼、佐藤慎哉、嘉山孝正：山形県における脳梗塞患者の頸動脈病変の特徴、3DCCTA および頸動脈エコーによる検討。第 39 回日本脳卒中の外科学会 (STROKE 2010) . 岩手；2010 年 4 月
- 13) 伊藤美以子、山田裕樹、近藤礼、斎藤伸二郎、小久保安昭、嘉山孝正：CHADS2 を用いた心原性脳塞栓症例の検討。第 39 回日本脳卒中の外科学会 (STROKE 2010) . 岩手；2010 年 4 月
- 14) 櫻田香、久下淳史、佐藤慎哉、中里洋一、嘉山孝正：急性リンパ性白血病治療 18 年後に発症した松果体部 AT/RT の一例。第 38 回日本使用に神経外科学会，富山；2010 年 6 月
- 15) 朽木秀雄、小久保安昭、近藤礼、佐藤慎哉、斎藤伸二郎、嘉山孝正：軽度頭痛での“歩いて来た SAH”症例の診断困難率。第 19 回日本脳ドック学会総会。山形；2010 年 6 月
- 16) 小久保安昭、佐藤篤、竹村直、林真司、朽木秀雄、近藤礼、嘉山孝正：めまい患者における脳卒中。第 19 回日本脳ドック学会総会，山形；2010 年 6 月
- 17) 櫻田香、松田憲一朗、菊池善彰、嘉山孝正：エネルギー代謝がプロトポルフィリン IX に与える影響についての検討。第 6 回日本脳神経外科光線力学研究会。福井；2010 年 6 月
- 18) 舟生勇人、櫻田香、竹村直、佐藤慎哉、嘉山孝正：硬膜下留置電極を術前 MRI 脳画像へ fusion する工夫。第 12 回日本ヒト脳機能マッピング学会，東京；2010 年 6 月
- 19) 久下淳史、佐藤慎哉、齋藤佑規、竹村直、櫻田香、小久保安昭、嘉山孝正：斜台部腫瘍摘出における経鼻孔内視鏡手術—手術器具の工夫と術中高磁場 MRI の使用経験—。第 22 回日本頭蓋底外科学会。福岡；2010 年 7 月
- 20) 齋藤佑規、竹村直、久下淳史、櫻田香、小久保安昭、佐藤慎哉、嘉山孝正：当科における眼窩内腫瘍の治療成績。第 22 回日本頭蓋底外科学会。福岡；2010 年 7 月
- 21) 櫻田香、久下淳史、竹村直、菊池善彰、佐藤慎哉、嘉山孝正：高磁場術中 MRI システムを併用した low grade glioma の手術。第 15 回日本脳腫瘍の外科学会，大阪；2010 年 10 月
- 22) 久下淳史、佐藤慎哉、櫻田香、竹村直、嘉山孝正：画像誘導法を駆使した内視鏡単独経鼻蝶形骨洞手術の手術成績。第 15 回日本脳腫瘍の外科学会，大阪；2010 年 10 月
- 23) 舟生勇人、竹村直、久下淳史、櫻田香、佐藤慎哉、嘉山孝正：前額部外傷後 48 年を経て視力障害で発症した Intraorbital mucocele の稀な一例。第 15 回日本脳腫瘍の外科学会，大阪；2010 年 10 月
- 24) 金城利彦、土谷大輔、渡辺茂樹、嘉山孝正：未破裂中大動脈瘤経過観察中に新生、増大または破裂した前大脳、前交通動脈瘤の 3 例。日本脳神経外科学会第 69 回学術総会，福岡；2010 年 10 月
- 25) 斎藤伸二郎、近藤礼、伊藤美以子、小久保安昭、嘉山孝正：術中 MPE 所見から見た脳動脈瘤手術のピットフォール。日本脳神経外科学会第 69 回学術総会，福岡；2010 年 10 月
- 26) 近藤礼、斎藤伸二郎、小久保安昭、嘉山孝正：内頸動脈前壁動脈瘤に対する治療戦略。日本脳神経外科学会第 69 回学術総会，福岡；2010 年 10 月
- 27) 朽木秀雄、小久保安昭、櫻田香、近藤礼、佐藤慎哉、斎藤伸二郎、嘉山孝正：抗血栓療法を用いない非出血性解離症例における脳血管撮影所見正常化例の検討。日本脳神経外科学会第 69 回学術総会，福岡；2010 年 10 月
- 28) 小久保安昭、近藤礼、斎藤伸二郎、嘉山孝正：頸動脈プラーク質的診断に基づく頸動脈狭窄病変の治療方針。日本脳神経外科学会第 69 回学術総会，福岡；2010 年 10 月
- 29) 櫻田香、松田憲一朗、菊池善彰、竹村直、久下淳史、佐藤慎哉、嘉山孝正：術中 MRI 画像の有用性と Pitfall 術中 MRI150 回の経験をふまえて。日本脳神経外科学会第 69 回学術総会，福岡；2010 年 10 月
- 30) 久下淳史、佐藤慎哉、櫻田香、竹村直、嘉山孝正：斜台部腫瘍摘出における内視鏡単独経鼻蝶形骨洞手術—手術器具の工夫と術中高磁場 MRI 使用経験。日本脳神経外科学会第 69 回学術総会，福岡；2010 年 10 月
- 31) 林真司、朽木秀雄、小久保安昭、近藤礼、佐藤慎哉、嘉山孝正：定量的 CT volumetry を用いた Pterional craniotomy 後の側頭筋萎縮の経時的変化の検討。日本脳神経外科学会第 69 回学術総会，福岡；2010 年 10 月
- 32) 毛利渉、久下淳史、佐藤慎哉、櫻田香、竹村直、嘉山孝正：当施設における妊孕期女性、プロラクチノーマの治療成績。日本脳神経外科学会第 69 回学術総会，福岡；2010 年 10 月
- 33) 佐藤篤、櫻田香、隈部俊宏、笹嶋寿郎、別府高明、浅野研一郎、大熊洋揮、小川彰、溝井和夫、富永悌二、北中千史、嘉山孝正：膠芽腫における CD133 発現と播種との関係 東北脳腫瘍研究会共同研究。日本脳神

- 経外科学会第 69 回学術総会, 福岡; 2010 年 10 月
- 34) 舟生勇人、櫻田香、竹村直、佐藤慎哉、嘉山孝正: 難治性てんかん外科治療の長期治療成績—DNT および cortical dysplasia への Gyrectomy 法の応用—. 日本脳神経外科学会第 69 回学術総会, 福岡; 2010 年 10 月
  - 35) 伊藤美以子、小久保安昭、近藤礼、斎藤伸二郎、嘉山孝正: 年齢制限を設けない未破裂脳動脈瘤の直達手術. 日本脳神経外科学会第 69 回学術総会, 福岡; 2010 年 10 月
  - 36) 菊地善彰、竹村直、佐藤慎哉、嘉山孝正: 当科における眼窩内腫瘍の治療成績. 日本脳神経外科学会第 69 回学術総会, 福岡; 2010 年 10 月
  - 37) 山田裕樹、小久保安昭、竹村直、久下淳史、佐藤慎哉、嘉山孝正: 脳虚血における大脳皮質および白質の神経再生. 日本脳神経外科学会第 69 回学術総会, 福岡; 2010 年 10 月
  - 38) 松田憲一朗、櫻田香、菊池善彰、佐藤慎哉、嘉山孝正: 当科における高齢者神経膠芽腫の治療成績. 日本脳神経外科学会第 69 回学術総会, 福岡; 2010 年 10 月
  - 39) 齋藤佑規、朽木秀雄、小久保安昭、近藤礼、佐藤慎哉、斎藤伸二郎、嘉山孝正: 脳卒中医療における DPC の改善点〜2010 年度診療報酬改定を受けて〜. 日本脳神経外科学会第 69 回学術総会, 福岡; 2010 年 10 月
  - 40) 渡辺茂樹、土谷大輔、金城利彦、嘉山孝正: 家族性脳動脈瘤 15 家系 32 症例の報告. 日本脳神経外科学会第 69 回学術総会, 福岡; 2010 年 10 月
  - 41) 佐藤慎治、朽木秀雄、小久保安昭、近藤礼、佐藤慎哉、嘉山孝正: 当科における脳ドック 600 例の検討〜受診者全例の追跡調査も含めて〜. 日本脳神経外科学会第 69 回学術総会, 福岡; 2010 年 10 月
  - 42) 小久保安昭、佐藤慎哉、近藤礼、嘉山孝正: 99mTc-ECD dynamic SPECT を用いた脳循環評価の有用性、血行再建術前後の検討. 第 22 回日本脳循環代謝学会総会, 大阪; 2010 年 11 月
  - 43) 櫻田香、松田憲一朗、菊池善彰、嘉山孝正: エネルギー代謝がプロトポルフィリン 9 産生に与える影響についての検討. 第 28 回日本脳腫瘍学会学術集会, 長野; 2010 年 11 月
  - 44) 菊地善彰、松田憲一朗、櫻田香、佐藤慎哉、嘉山孝正: 鞍上部・松果体部 Germinoma 治療後に Secondary Parkinsonism を呈した 1 例. 第 28 回日本脳腫瘍学会学術集会, 長野; 2010 年 11 月
  - 45) 松田憲一朗、櫻田香、菊池善彰、佐藤慎哉、嘉山孝正: 当科における高齢者神経膠芽腫の治療成績. 第 28 回日本脳腫瘍学会学術総会, 長野; 2010 年 11 月
  - 46) 久下淳史: 傍鞍部腫瘍に対する内視鏡単独経鼻蝶形骨洞手術の工夫と術中高磁場 MRI の有用性. 第 17 回日本内視鏡学会, 千葉; 2010 年 12 月

### (3) 国内地方会

#### i 特別講演

- 1) 嘉山孝正: 日本の医療の現状と将来の展望. 第 86 回日本神経学会東北地方会 生涯教育講演会, 仙台; 2010 年 5 月
- 2) 嘉山孝正: 日本の医学教育の問題点と展望. 第 90 回北海道医学大会総会, 札幌; 2010 年 9 月

#### ii 一般演題

- 1) 朽木秀雄、小久保安昭、櫻田香、近藤礼、斎藤伸二郎、嘉山孝正: 抗血栓療法を用いない非出血性脳動脈解離症例の治療成績. 第 86 回日本神経学会東北地方会, 仙台; 2010 年 3 月
- 2) 小久保安昭、朽木秀雄、近藤礼、斎藤伸二郎、嘉山孝正: 脳卒中医療における DPC の問題点. 第 86 回日本神経学会東北地方会, 仙台; 2010 年 3 月
- 3) 舟生勇人、櫻田香、竹村直、佐藤慎哉、嘉山孝正: 難治性前頭葉てんかんに対する病巣切除で corpora amylacea を認めた稀な 1 例. 第 4 回日本てんかん学会東北地方会, 仙台; 2010 年 7 月
- 4) 板垣寛、佐藤慎治、伊藤美以子、近藤礼、斎藤伸二郎、嘉山孝正: Densely calcified anterior cerebral artery を伴った巨大前交通動脈瘤の 1 例. 第 46 回 (社) 日本脳神経外科学会東北支部会, 山形; 2010 年 9 月
- 5) 松田憲一朗、櫻田香、久下淳史、佐藤慎哉、嘉山孝正: 中里洋一: 急性リンパ性白血病治療 18 年後に発症した松果体部 AT/RT の 1 例. 第 46 回 (社) 日本脳神経外科学会東北支部会, 山形; 2010 年 9 月
- 6) 渡辺茂樹、土谷大輔、金城利彦、嘉山孝正: 自然縮小した髄膜腫の 3 例. 第 46 回 (社) 日本脳神経外科学会東北支部会, 山形; 2010 年 9 月

- 7) 齋藤佑規、竹村直、舟生勇人、佐藤慎哉、嘉山孝正：症候性腫瘍内出血を繰り返した vestibular schwannoma の稀な 1 例. 第 46 回 (社) 日本脳神経外科学会東北支部会, 山形; 2010 年 9 月
- 8) 菊地善彰、佐藤慎哉、久下淳史、佐藤篤、嘉山孝正：頭蓋形成術に先行し水頭症に対して第 3 脳室底開窓術を施工した Pfeiffer 症候群の 1 例. 第 46 回 (社) 日本脳神経外科学会東北支部会, 山形; 2010 年 9 月
- 9) 小久保安昭、佐藤慎哉、近藤礼、嘉山孝正：<sup>99m</sup>Tc-ECD dynamic SPECT を用いた脳循環評価の有用性、血行再建術前後の検討. 第 17 回東北脳循環カンファレンス, 仙台; 2010 年 10 月
- 10) 金城利彦、土谷大輔、渡辺茂樹、嘉山孝正：開院 10 年間の脳血管障害入院患者の変遷. 第 33 回東北脳血管障害研究会, 仙台; 2010 年 12 月
- 11) 近藤礼、佐藤慎治、板垣寛、伊藤美以子、長畑守雄、齋藤伸二郎、嘉山孝正：AVM 手術における ICG 蛍光血管撮影の経験. 第 33 回東北脳血管障害研究会, 仙台; 2010 年 12 月
- 12) 小久保安昭、佐藤慎哉、近藤礼、嘉山孝正：最近 10 年間の山形県の脳卒中の動向. 第 33 回東北脳血管障害研究会, 仙台; 2010 年 12 月
- 13) 伊藤美以子、佐藤慎治、板垣寛、長畑守雄、近藤礼、齋藤伸二郎、嘉山孝正：3DCTA を用いた脳卒中患者の全身血管評価. 第 33 回東北脳血管障害研究会, 仙台; 2010 年 12 月

#### (4) 研究会

##### i 特別講演

- 1) 嘉山孝正：悪性神経膠腫の治療の現況と展望. 平成 22 年度鹿児島大学大学院脳神経外科同門会総会, 鹿児島; 2010 年 1 月
- 2) 嘉山孝正：医学教育の現況と問題点. 慶応医学会例会, 東京; 2010 年 2 月
- 3) 嘉山孝正：地域医療再生における問題点. 信州大学医学部地域医療推進学講座設立 1 周年記念講演会, 松本; 2010 年 3 月
- 4) 嘉山孝正：無症候性脳血管障害. 第 5 回 Stroke Prevention Forum, 東京; 2010 年 2 月
- 5) 嘉山孝正：巨大脳動脈瘤の手術と無症候性脳血管障害の治療. 第 2 回 Stroke Consortium in Tokyo, 東京; 2010 年 4 月
- 6) 嘉山孝正：医学教育・医療制度の問題点と展望. 第 45 回神奈川県臨床外科医学会総会, 神奈川; 2010 年 6 月
- 7) 嘉山孝正：10 年診療報酬改定と日本医療の将来. 埼玉保険医協会 第 36 回定期総会, 埼玉; 2010 年 6 月
- 8) 嘉山孝正：日本医療及び教育の問題点について. 第 196 回宮城県立がんセンターセミナー, 宮城; 2010 年 7 月
- 9) 嘉山孝正：無症候性脳梗塞の治療. ストロークフォーラム 2010 in 岡山, 岡山; 2010 年 9 月
- 10) 嘉山孝正：日本ライフサイエンスの発展のために—研究者の立場から—第 10 回北里・ハーバードシンポジウム, 東京; 2010 年 10 月
- 11) 嘉山孝正：脳腫瘍治療の現状と展望. 第 18 回国立がん研究センター医局同窓会, 東京; 2010 年 10 月
- 12) 嘉山孝正：日本の医学教育の問題点と展望. 第 22 回埼玉医科大学・連携施設懇談会, 川崎; 2010 年 10 月
- 13) 嘉山孝正：山形大学「医学部—改革の軌跡—」. 日本医科大学 准教授 講師会特別講演会, 東京; 2010 年 11 月

##### ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 櫻田香、嘉山孝正：術中 MRI システム. 東北脳腫瘍レビュー 2010, 仙台; 2010 年 4 月

##### iii 一般演題

- 1) 櫻田香、久下淳史、竹村直、小久保安昭、佐藤慎哉、嘉山孝正：新手術 MRI システムを用いた脳神経外科手術：98 例の経験をふまえて. 第 60 回山形脳神経外科懇話会, 山形; 2010 年 1 月
- 2) 佐藤慎治、渡辺茂樹、土谷大輔、金城利彦、嘉山孝正：部分血栓化進行性巨大椎骨動脈瘤の 1 手術例. 第 60 回山形脳神経外科懇話会, 山形; 2010 年 1 月
- 3) 竹村直、嘉山孝正、久下淳史、櫻田香、佐藤慎哉：Treatment board 導入後の前庭神経鞘腫の長期治療成績. 第 61 回山形脳神経外科懇話会, 山形; 2010 年 4 月
- 4) 朽木秀雄、小久保安昭、近藤礼、齋藤伸二郎、嘉山孝正：脳卒中医療における DPC の改善点～2010 年度診療報酬改定を向けて～. 第 24 回山形対脳卒中治療研究会, 山形; 2010 年 5 月

- 5) 松田憲一朗、佐藤篤、櫻田香、嘉山孝正、北中千史：神経幹細胞の維持機構における PI3k および mTOR の役割。第 11 回山形ニューロサイエンス研究会，山形；2010 年 6 月
- 6) 小久保安昭、嘉山孝正：山形県における脳梗塞患者の頸動脈病変の特徴 3DCCTA および頸動脈エコーによる検討。第 2 回東北頸動脈研究会，仙台；2010 年 7 月
- 7) 齋藤佑規、竹村直、佐藤慎哉、嘉山孝正：脳腫瘍を伴う cranial nerve hyperactive dysfunction の治療成績。第 62 回山形脳神経外科懇話会，山形；2010 年 7 月
- 8) 小久保安昭、佐藤慎哉、近藤礼、嘉山孝正：<sup>99m</sup>Tc-ECD dynamic SPECT を用いたモヤモヤ病の 2 例。第 20 回東北脳 SPECT 研究会，山形；2010 年 9 月
- 9) 山木哲、近藤礼、佐藤慎哉、板垣寛、伊藤美以子、齋藤伸二郎：臍下障害にて発症した巨大頸部内頸動脈瘤の一手術例。第 63 回山形脳神経外科懇話会，山形；2010 年 10 月
- 10) 久下淳史、佐藤慎哉、櫻田香、竹村直、嘉山孝正：画像誘導法を駆使した内視鏡単独経鼻蝶形骨洞手術の手術成績，第 63 回山形脳神経外科懇話会，山形；2010 年 10 月

## (5) その他

- 1) 嘉山孝正：山形大学医学部の現状。山形大学医学部医学科同窓会「同窓会」第 1 回 関東地区 情報交換会，東京；2010 年 1 月
- 2) 嘉山孝正：当面の大学附属病院の問題点。当面の大学附属病院の問題点 平成 21 年度横浜市立大学医学部医学科・医学研究科 Faculty Development，横浜；2010 年 1 月
- 3) 嘉山孝正：新春特別企画 明日の日本の医療を考える。日本の医学教育、医療の問題点。新社会システム総研講演会，東京；2010 年 1 月
- 4) 嘉山孝正：日本の医療の成り立ちと現在の問題点。日本医療機器販売業協会新春賀詞交歓会，横浜；2010 年 2 月
- 5) 嘉山孝正：大学医学部教育の未来に向けた提言。KANPO MEDICAL SYMPOSIUM 2010，東京；2010 年 2 月
- 6) 嘉山孝正：医療事故にまつわる諸問題と展望。医療安全講演会，山形；2010 年 2 月
- 7) 嘉山孝正：大学病院の教育病院としての危機。平成 21 年度国公立大学医学部長・医学部附属病院長会議，東京；2010 年 2 月
- 8) 嘉山孝正：脳脊髄液減少症の診断・治療の確立に関する研究の現況と進行状況について。民主党 難病・脳脊髄液減少症を考える議員連盟 第 2 回総会，東京；2010 年 2 月
- 9) 嘉山孝正：現役中医協委員が明かす 改訂の裏側と積み残された課題。日経ヘルスケア 診療報酬改定セミナー，東京；2010 年 3 月
- 10) 嘉山孝正：今次診療報酬改定と日本医療の問題。医療問題研究会，横浜；2010 年 5 月
- 11) 嘉山孝正：医療安全推進活動について。平成 22 年度医療安全講演会，東京；2010 年 7 月
- 12) 嘉山孝正：勤務医処遇の改善について。聖マリアンナ医科大学病院講演会，神奈川；2010 年 7 月
- 13) 嘉山孝正：がん専門施設の現状とこれから。癌研オープンアカデミー 日本のがん医療の未来を考える，吉田記念講堂，東京；2010 年 7 月
- 14) 嘉山孝正：日本でのがん治療向上の課題。第 28 回がんについて市民公開講演会，東京；2010 年 8 月
- 15) 嘉山孝正：最新の脳腫瘍の治療。山新健康フォーラム，山形；2010 年 8 月
- 16) 嘉山孝正：国立がん研究センター刷新の現状。鈴木寛文科副大臣勉強会「現場からの医療刷新」，東京；2010 年 8 月
- 17) 嘉山孝正：中医協は変わる。『塔の会』講演会，東京；2010 年 10 月
- 18) 嘉山孝正：卒前教育と卒後研修の連携について。第 90 回国立大学医学部長会議，滋賀；2010 年 10 月
- 19) 嘉山孝正：脳神経外科領域の医療制度、教育制度の展望。脳神経外科将来展望セミナー，東京；2010 年 10 月
- 20) 嘉山孝正：日本の社会問題と医療。平成 22 年度基盤教育課外講座，山形；2010 年 11 月
- 21) 嘉山孝正：がん専門施設の現状とこれから。がん政策サミット 2010 秋，東京；2010 年 11 月
- 22) 嘉山孝正：問題からみた今後の日本の展望。平成 22 年度医薬品卸業経営セミナー，東京 2010 年 11 月
- 23) 嘉山孝正：中医協委員としてのこの国の制度改革。第 57 回昭和医学会総会，東京；2010 年 11 月
- 24) 嘉山孝正：「国立がん研究センターの在り方とがん医療の将来」。第 52 回全国がん(成人病)センター協議会総会，名古屋；2010 年 11 月

- 25) 嘉山孝正：日本医療の問題点と展望. 「肝胆膵」発刊30年記念講演会, 東京; 2010年12月
- 26) 嘉山孝正：日本の社会制度および医学教育の問題点. 政策情報トップセミナー, 東京; 2010年12月
- 27) 齋藤伸二郎、嘉山孝正：パーキンソン病の治療. 第46回日本脳神経外科学会 東北支部会 市民公開講座, 山形; 2010年9月
- 28) 近藤礼、嘉山孝正：脳卒中の予防と治療. 第46回日本脳神経外科学会 東北支部会 市民公開講座, 山形; 2010年9月
- 29) 小久保安昭：頭痛とめまいの原因と治療について. 山形大学/COM「すこやか健康教室」, 山形; 2010年11月

### 3. 学会・講演会・シンポジウム・ワークショップ等の開催

- 1) 第39回日本脳卒中の外科学会 (STROKE 2010), 岩手; 2010年4月
- 2) 第19回日本脳ドック学会総会, 山形; 2010年6月
- 3) 第46回日本脳神経外科学会東北支部会, 山形; 2010年9月
- 4) 第44回東北脳腫瘍研究会, 仙台; 2010年4月
- 5) 厚生労働省がん臨床研究「がん医療均てん」事業・がん医療均てん研修会, 山形; 2010年2月
- 6) Fighting Vascular Events in Yamagata 2010, 山形; 2010年5月
- 7) 第11回山形ニューロサイエンス研究会, 山形; 2010年6月
- 8) 第24回山形県対脳卒中治療研究会, 山形; 2010年5月
- 9) 第25回山形県対脳卒中治療研究会, 山形; 2010年11月
- 10) 第60回山形脳神経外科懇話会, 山形; 2010年1月
- 11) 第61回山形脳神経外科懇話会, 山形; 2010年4月
- 12) 第62回山形脳神経外科懇話会, 山形; 2010年7月
- 13) 第63回山形脳神経外科懇話会, 山形; 2010年10月
- 14) 第65回山形神経放射線懇話会, 山形; 2010年6月
- 15) 第66回山形神経放射線懇話会, 山形; 2010年11月



# 高次脳機能障害学講座

## 1. 論文

### (1) 原著

- 1) Ishioka T, Hirayama K, Hosokai Y, Takeda A, Suzuki K, Nishio Y, Sawada Y, Takahashi S, Fukuda H, Itoyama Y, and Mori E: Illusory misidentifications and cortical hypometabolism in Parkinson's disease. *Movement disorder* doi:10.1002/mds.23576
- 2) Tanji K, Leopold DA, Ye FQ, Zhu C, Malloy M, Saunders RC, Mishkin M: Effect of sound intensity on tonotopic fMRI maps in the unanesthetized monkey. *Neuroimage*. 2010 ; 49(1) : 150-157
- 3) Takeda A, Saito N, Baba T, Kikuchi A, Sugeno N, Kobayashi M, Hasegawa T, Itoyama Y. Functional imaging studies of hyposmia in Parkinson's disease. *J Neurol Sci*. 2010 ; 289(1-2) : 36-9
- 4) 早川裕子, 岩崎奈緒, 穴水幸子, 三村将, 加藤元一郎: 動かしているが使えないー両手動作時に左手の空振りを呈した一症例ー. *高次脳機能研究*. 2010 ; 30 (1) : 86-95
- 5) 早川裕子, 山本澄子, 坂本里佳, 伊佐美由紀, 前野豊: 片麻痺者の体幹機能観察ポイントの検討ー座位における非麻痺側上肢のリーチ姿勢分析の試みからー. *作業療法*. 2010 ; 29 (6) : 773-779
- 6) 遠藤佳子, 鈴木匡子, 平山和美, 藤井俊勝, 隈部俊宏, 森悦朗: 文字処理過程における運動覚の役割 左頭頂葉損傷による失読失書例の検討. *Brain and Nerve* 2010 ; 62 : 991-996

### (2) 総説

- 1) 丹治和世: 皮膚電気刺激による脳機能検査ではどのような結果がでているのでしょうか. *モダンフィジシャン*. 2010 ; 30(1) : 211-213
- 2) 早川裕子: 患者さんから学んだ半側空間無視. *リハビリナース*. 2010 ; 3 (3) : 252-258
- 3) 斎藤尚宏, 鈴木匡子: 島皮質と失語症. *Clinical Neuroscience*. 2010 ; 28 (4) : 444-446
- 4) 三村将, 早川裕子: 高次脳機能障害のリハビリテーション. *精神医学*. 2010 ; 52 (10) : 997-1004

### (3) 著書

- 1) 鈴木匡子: 視覚性認知の神経心理学. 東京; 医学書院, 2010年
- 2) 早川裕子, 鈴木匡子: 急性期から取り組む高次脳機能障害リハビリテーション. 河村満編, 失行. 大阪; メディカ出版, 2010 : 172-183
- 3) 鈴木匡子: 失語と記憶の評価法. 斉藤延人編, 図説脳神経外科 新シリーズ 側頭葉/後頭葉. 東京; メジカルビュー社, 2010 : 60-65
- 4) 鈴木匡子: 脳腫瘍における高次脳機能障害. 日本臨床 別冊 新時代の脳腫瘍学 ー診断・治療の最前線ー. 大阪; 日本臨床社, 2010年

### (4) その他

- 1) 鈴木匡子: 高次脳機能障害 Q & A. *Modern Physician*. 2010 ; 30 : 100-103

## 2. 学会報告

### (1) 国際学会

#### i 一般演題

- 1) Hayakawa Y, Tanji K, Saito N, Suzuki K: Survey of the prevalence of personal neglect. The 2010 International neuropsychological society mid-year meeting, Krakow, Poland ; June 2010
- 2) Hayashi A, Nomura R, Mochizuki A, Ohnuma T, Kinpara K, Ohtomo Y, Hosokai T, Ishioka T, Suzuki K, Mori E: Neural bases of Kanji writing impairment in Japanese patients with mild Alzheimer's disease. The 2010 International neuropsychological society mid-year meeting, Krakow, Poland ; June 2010
- 3) Tanji K, Iwasaki M, Nakasato N, Funiu H, Sakurada K, Suzuki K: Dissociation of electrocorticographic high gamma activity during word generation and word repetition in the ventral prefrontal cortex. The 40<sup>th</sup> annual meeting Neuroscience, San Diego ; November 2010

## (2) 国内の学会

### i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 鈴木匡子：高次脳機能と機能マッピング. 第33回日本てんかん外科学会, 大阪; 2010年1月
- 2) 丹治和世, 岩崎真樹, 中里信和, 鈴木匡子：言語課題における頭蓋内誘発反応の多様性. 第33回日本てんかん外科学会, 大阪; 2010年1月
- 3) 鈴木匡子：脳からみた心 - 神経心理学的アプローチを応用した臨床的検討 -. 第8回認知心理学会, 福岡; 2010年5月
- 4) 鈴木匡子：高次脳機能の診かた. 日本神経学会主催 第12回卒後教育セミナー, 東京; 2010年11月

### ii 一般演題

- 1) 高橋賛美, 伊関千書, 和田学, 川並透, 栗田啓司, 門間政亮, 鈴木匡子, 加藤丈夫：地域在住高齢者の高次脳機能の検討. 第51回日本神経学会総会, 東京; 2010年5月
- 2) 伊関千書, 高橋賛美, 和田学, 川並透, 栗田啓司, 門間政亮, 鈴木匡子, 加藤丈夫：脳MRIで特発性正常圧水頭症 (iNPH) の特徴が認められた高齢住民の前頭葉機能検査. 第19回日本脳ドック学会総会, 山形; 2010年6月
- 3) 高橋賛美, 伊関千書, 和田学, 川並透, 栗田啓司, 門間政亮, 鈴木匡子, 加藤丈夫：地域在住高齢者における糖尿病と高次脳機能の検討. 第19回日本脳ドック学会総会: 山形; 2010年6月
- 4) 丹治和世, 岩崎真樹, 中里信和, 舟生勇人, 櫻田香, 鈴木匡子：前頭前野外側面における言語正性に選択的な高ガンマ帯域の皮質活動. 第33回日本神経科学大会: 神戸; 2010年9月
- 5) 斎藤尚宏, 山口浩一, 松田憲一郎, 丹治和世, 鈴木匡子：形態イメージの想起が著しく障害された失書の一例. 第34回日本神経心理学会, 京都; 2010年9月
- 6) 丹治和世, 永沢光, 鈴木匡子：辺縁性脳炎による健忘例における緩徐な意味記憶の獲得. 第34回日本神経心理学会, 京都; 2010年9月
- 7) 早川裕子, 丹治和世, 斎藤尚宏, 鈴木匡子：「りん」を打ち始められない進行性核上性麻痺の一症例. 第34回日本神経心理学会, 京都; 2010年9月
- 8) 小久保香江, 鈴木匡子, 畠中めぐみ, 宮井一郎, 長谷川千洋, 博野信次：背側視覚路損傷により視空間認知と運動の統合が障害された一例. 第34回日本神経心理学会, 京都; 2010年9月
- 9) 斎藤尚宏, 丹治治子, 早川裕子, 加藤丈夫, 鈴木匡子：The Montreal Cognitive Assessment (MoCA) によるパーキンソン病の認知機能の検討. 第34回日本高次脳機能障害学会, 大宮; 2010年11月
- 10) 宇野友貴, 斎藤尚宏, 丹治和世, 斎藤伸二郎, 鈴木匡子：くも膜下出血における談話障害の検討. 第34回日本高次脳機能障害学会, 大宮; 2010年11月

## (3) 国内地方会

### i 特別講演

- 1) 丹治和世：高次脳機能障害の基礎知識. 第12回日本脳神経看護研究会東北地方部会, 山形; 2010年10月

### ii 一般演題

- 1) 丹治和世, 永沢光, 加藤丈夫, 鈴木匡子：経過中認知機能に著明な改善を認めた両側内包膝部梗塞の一症例. 第87回日本神経学会東北地方会, 山形; 2010年9月

## (4) 研究会

### i 特別講演

- 1) 鈴木匡子：脳機能マッピングからみた言語の神経基盤. 宮城言語臨床研究会, 仙台; 2010年5月
- 2) 鈴木匡子：日常診療における神経心理学的スクリーニング検査の意義. 庄内脳神経疾患治療研究会, 鶴岡; 2010年11月

### ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 丹治和世, 岩崎真樹, 中里信和, 舟生勇人, 櫻田香, 鈴木匡子：言語課題に対する頭蓋内脳波誘発反応について. 第8回Awake Surgery 研究会, 大阪; 2010年9月

### iii 一般演題

- 1) 山口浩一, 斎藤尚宏, 丹治和世, 早川裕子, 宇野友貴, 鈴木匡子：局所脳損傷患者における Japanese Adult Reading Test の有用性. 第21回東北神経心理懇話会, 仙台; 2010年1月

- 2) 宇野友貴, 斎藤尚宏, 山口浩一, 早川裕子, 丹治和世, 鈴木匡子: くも膜下出血後の高次脳機能障害—談話機能検査を中心に—. 第21回東北神経心理懇話会, 仙台; 2010年1月
- 3) 斎藤尚宏, 早川裕子, 丹治治子, 加藤丈夫, 鈴木匡子: The Montreal Cognitive Assessment によるパーキンソン病の認知機能の検討. 第22回山形認知症研究会, 山形; 2010年4月
- 4) 丹治和世, 舟生勇人, 櫻田香, 鈴木匡子: 頭蓋内脳波高ガンマ帯域における発話過程に伴う誘発反応の特徴. 山形ニューロサイエンスミーティング, 山形; 2010年5月
- 5) 丹治和世: 前頭前野外側面における言語生成に選択的な高ガンマ帯域の皮質脳活動. 包括脳ミーティング, 札幌; 2010年7月
- 6) 高木正仁, 遠藤佳子, 森悦朗, 鈴木匡子: 両側視床および前脳基底部に血流低下をきたした縊頸による低酸素脳症の一例. 第17回東北脳循環カンファランス, 仙台; 2010年10月

#### (5) その他

- 1) 鈴木匡子: 講演 子育てのための勤務態勢と保育サポート. 山形県医師会主催「女性医師をサポートするためのシンポジウム」, 山形; 2010年1月
- 2) 斎藤尚宏: 高次脳機能の診かた. 認知症予防研修会, 米沢; 2010年1月
- 3) 鈴木匡子: 講演 高次脳機能障害の理解—よりよい支援をめざして—. 平成21年度山形県医療ソーシャルワーカー協会専門研修, 山形; 2010年2月
- 4) 鈴木匡子: 講演 高次脳機能障害者に必要な支援とは. 平成21年度山形県高次脳機能障害者支援事業支援協力医療機関ネットワーク会議, 山形; 2010年3月
- 5) 鈴木匡子: 講演 高次脳機能障害の理解と評価. 山形県病院協議会リハビリテーション専門部会研修会特別研修, 酒田; 2010年3月
- 6) 鈴木匡子: 講演 失語症の診かた. 第36回全国身体障害者福祉医療講習会, 山形; 2010年6月
- 7) 鈴木匡子: 模擬講義 脳からみたところ. 山形大学医学部オープンキャンパス, 山形; 2010年7月
- 8) 丹治和世: 記憶障害について. 高次脳機能障がい研修会, 山形; 2010年7月
- 9) 鈴木匡子: 指定討論 学長・学部長を囲んで考える! 男女共同参画懇談会@医学部, 山形; 2010年8月
- 10) 早川裕子: 講演 高次脳障害患者の観察・評価・スクリーニングのポイント 全般性注意の評価から治療まで. 山形県作業療法士会村山地区研修会, 山形; 2010年9月
- 11) 鈴木匡子: 特別授業 Woman of Yamagata. 山形大学. 山形; 2010年11月
- 12) 斎藤尚宏: 高次脳機能障害を知る. 山形県市民後見人養成講座, 米沢; 2010年11月
- 13) 早川裕子: 講演 行為障害-私が症例から学んだこと. 第10回高次脳機能障害セミナー, 山形; 2010年11月
- 14) 鈴木匡子: 講演 高次脳機能障害の理解. 市民後見人養成講座, 山形; 2010年11月
- 15) 斎藤尚宏: 認知症について. 山形県市民後見人養成講座, 米沢; 2010年12月

### 3. 学会, 講演会, シンポジウム, ワークショップ等の開催

- 1) 第9回高次脳機能セミナー開催 永井知代子: 発達障害の神経心理学 -Williams 症候群-. 山形; 2010年7月
- 2) 第8回日本Awake Surgery 研究会, 大阪; 2010年9月
- 3) 第10回高次脳機能セミナー開催 早川裕子: 行為障害-私が症例から学んだこと. 山形; 2010年11月
- 4) 大学院セミナー開催 福島誠: Auditory information processing in songbird and primate. 山形; 2010年12月

# 分子疫学部門

## 内科学第三（神経・内分泌代謝・血液内科学）講座

### 1. 論文

#### (1) 原著

- 1) Wada M, Nagasawa H, Kawanami T, Kurita K, Daimon M, Kubota I, Kayama T, Kato T: Cystatin C as an index of cerebral small vessel disease: results of a cross-sectional study in community-based Japanese elderly. *Eur J Neurol* 2010;17:383-390
- 2) Karasawa S, Daimon M, Sasaki S, Toriyama S, Oizumi T, Susa S, Kameda W, Wada K, Muramatsu M, Fukao A, Kubota I, Kawata S, Kayama T, Kato T: Association of the Common Fat Mass and Obesity Associated (FTO) Gene Polymorphism with Obesity in a Japanese Population. *Endocr J* 2010;57(4):293-301
- 3) Maruyama H, Morino H, Ito H, Izumi Y, Kato H, Watanabe Y, Kinoshita Y, Kamada M, Nodera H, Suzuki H, Komure O, Matsuura S, Kobatake K, Morimoto N, Abe K, Suzuki N, Aoki M, Kawata A, Hirai T, Kato T, Ogasawara K, Hirano A, Takumi T, Kusaka H, Hagiwara K, Kaji R, Kawakami H: Mutations of optineurin in amyotrophic lateral sclerosis. *Nature* 2010;465(13):223-226
- 4) Nakagami T, Tajima N, Oizumi T, Karasawa S, Wada K, Kameda W, Susa S, Kato T, Daimon M: Hemoglobin Alc in predicting progression to diabetes. *Diabetes Res Clin Pract* 2010;87:126-131
- 5) Ishiguro T, Ishikawa K, Takahashi M, Obayashi M, Amino T, Sato N, Sakamoto M, Fujigasaki H, Tsuruta F, Dolmetsch R, Arai T, Sasaki H, Nagashima K, Kato T, Yamada M, Takahashi H, Hashizume Y, Mizusawa H: The carboxy-terminal fragment of  $\alpha_{1A}$  calcium channel preferentially aggregates in the cytoplasm of human spinocerebellar ataxia type 6 Purkinje cells. *Acta Neuropathol* 2010;119:447-464
- 6) Yamamoto M, Shiono Y, Suzuki I, Kouno K, Hiroshima Y, Kato Y, Tajima K, Kato T: Bloodstream infections in patients with hematological malignancies at the adult hematology ward of Yamagata University Hospital. *Yamagata Med J* 2010;28(2):39-49
- 7) Sagae M, Kawanami T, Nagasawa H, Koyama S, Kimura H, Arawaka S, Wada M, Kurita K, Daimon M, Kato T: Reduced contribution of hypertension to the risk of silent brain infarction in the elderly: a population-based study in Takahata, Japan. *Yamagata Med J* 2010;28(2):51-58
- 8) Kato T, Emi M, Sato H, Arawaka S, Wada M, Kawanami T, Katagiri T, Tsuburaya K, Toyoshima I, Tanaka F, Sobue G, Matsubara K: Segmental copy-number gain within the region of isopentenyl diphosphate isomerase genes in sporadic amyotrophic lateral sclerosis. *Biochem Biophys Res Commun* 2010;402:438-442
- 9) Machiya Y, Hara S, Arawaka S, Fukushima S, Sato H, Sakamoto M, Koyama S, Kato T: Phosphorylated  $\alpha$ -Synuclein at Ser-129 Is Targeted to the Proteasome Pathway in a Ubiquitin-independent Manner. *J Biol Chem* 2010;285(52):40732-40744
- 10) Shichishima T, Ikeda K, Takahashi N, Kameoka J, Tajima K, Murai K, Tamai Y, Shichishima N A, Akutsu K, Noji H, Okamoto M, Kimura H, Harigae H, Oyamada T, Kamesaki T, Takeishi Y, Sawada K: Low concentration of serum haptoglobin has impact on understanding complex pathophysiology in patients with acquired bone marrow failure syndromes. *Int J Hematol* 2010;91:602-610
- 11) Konta T, Takasaki S, Ichikawa K, Emi M, Toriyama S, Satoh H, Ikeda A, Suzuki K, Mashima Y, Shibata Y, Watanabe T, Kato T, Kawata S, Kubota I: The novel and independent association between single-point SNP of *NPH4* gene and renal function in non-diabetic Japanese population: the Takahata study. *J Hum Genet* 2010;55:791-795
- 12) Tanji H, Koyama S, Kawanami T, Kato T: Late-onset familial amyloid polyneuropathy unrelated to known endemics. *Intern Med* 2010;49:2367

- 13) Nishise Y, Saito T, Makino N, Okumoto K, Ito JI, Watanabe H, Saito K, Togashi H, Ikeda C, Kubota I, Daimon M, Kato T, Fukao A, Kawata S: Relationship between alcohol consumption and serum adiponectin levels: the Takahata study—a cross-sectional study of a healthy Japanese population. *J Clin Endocrinol Metab* 2010;95(8):3828-35
- 14) Tanabe Y, Kawasaki R, Wang JJ, Wong TY, Mitchell P, Daimon M, Oizumi T, Kato T, Kawata S, Kayama T, Yamashita H: Retinal arteriolar narrowing predicts 5-year risk of hypertension in Japanese people: the Funagata study. *Microcirculation* 2010;17(2):94-102
- 15) Nishiyama S, Watanabe T, Arimoto T, Takahashi H, Shishido T, Miyashita T, Miyamoto T, Nitobe J, Shibata Y, Konta T, Kawata S, Kato T, Fukao A, Kubota I: Trends in coronary risk factors among patients with acute myocardial infarction over the last decade: The Yamagata AMI Registry. *J Atheroscler Thromb* 2010;17:989-998
- 16) 猪狩龍佑, 伊関憲, 阿部さち, 東海林正邦, 佐藤恵, 下村慶子, 林田昌子, 杉浦明日美, 岩下義明, 緑川新一: マムシ咬傷により複視・眼瞼下垂をきたした1例. *BRAIN and NERVE* 2010;62(3):273-277
- 17) 伊関千書, 佐藤裕康, 和田学, 栗田啓司, 加藤丈夫: 髄膜脳炎と多発ニューロパチーで高齢発症した systemic lupus erythematosus(SLE)の1男性例. *神経内科* 2010 ; 73 (1) : 74-77
- 18) 加藤丈夫, 栗田啓司, 木村英紀, 川並透, 鈴木義広, 栗谷義樹, 栗村正之, 飛田宗重, 新澤陽英, 圓谷建治, 片桐忠, 鈴木敬次, 有海躬行: 重症神経難病患者の在宅療養における基幹病院と無床診療所との連携—山形県神経難病医療ネットワークの構築—. *山形県医師会会報* 2010 ; 701:18-22

## (2) 総説

- 1) 加藤丈夫: 孤発性ALSのゲノム解析. *医学のあゆみ* 2010 ; 235 (3) : 215-219
- 2) 大門真, 大泉俊英, 加藤丈夫: 舟形研究. *日本臨床* 2010 ; 68 (5) : 843-846
- 3) 木村英紀, 川並透, 加藤丈夫: CMV脳炎. *Clinical Neuroscience* 2010; 28(3):278-279
- 4) 伊関千書, 川並透, 加藤丈夫: 傍腫瘍性辺縁系脳炎. *臨床放射線* 2010 ; 55 (11) : 1540-1545
- 5) 和田学, 加藤丈夫: 悪性リンパ腫とCIDP. *神経内科* 2010 ; 73 (1) : 40-44
- 6) 亀田亘, 川並透, 加藤丈夫: 内分泌疾患に伴う神経障害 副甲状腺疾患. *Clinical Neuroscience* 2010; 28(9):1066-1068
- 7) 木村英紀, 加藤丈夫: パーキンソン病の疫学. *総合臨床* 2010 ; 59 : 2371-2376
- 8) Arawaka S, Machiya Y, Kato T: Heat Shock Proteins as Suppressors of Accumulation of Toxic Prefibrillar Intermediates and Misfolded Proteins in Neurodegenerative Diseases. *Curr Pharm Biotechnol* 2010;11:158-166

## (3) 著書

- 1) 加藤丈夫: ミトコンドリア脳筋症. 「今日の治療指針」. 東京; 医学書院 2010 : 764-765
- 2) 村成幸, 和田学: 筋ジストロフィー. 「アトラス骨・関節画像診断 関節-上肢」. 東京; 中外医学社 2010 : 16-18

## 2. 学会報告

### (1) 国際学会

#### i 一般演題

- 1) Daimon M, Aoyama N, Kato T, Kaino W, Takase K, Tada K, Karasawa S, Wada K, Kameda W, Susa S, Oizumi T, Tomita Y, Kato T: Thyroid dysfunction related to tyrosine kinase inhibitors: Analysis of the cases with renal cell carcinoma of the Yamagata University Hospital. 14<sup>th</sup> International Congress of Endocrinology:ICE 2010, Kyoto ; Mar 2010
- 2) Susa S, Ohtake M, Kaino W, Takase K, Tada K, Karasawa S, Wada K, Kameda W, Oizumi T, Daimon M, Kato T: Association of the microsomal glutathione S-transferase 1 gene polymorphism with type 2 DM and serum adiponectin concentration. 14<sup>th</sup> International Congress of Endocrinology:ICE 2010, Kyoto ; Mar 2010
- 3) Kameda W, Kaino W, Takase K, Tada K, Jimbu Y, Wada K, Karasawa S, Susa S, Oizumi T, Daimon M, Kato T: “Nadir GH in OGTT” may be a more predictable marker of future GHD than “peak GH in insulin

tolerance test” after surgical treatment of growth hormone producing adenoma. 14<sup>th</sup> International Congress of Endocrinology:ICE 2010, Kyoto ; Mar 2010

- 4) Iseki C, Takahashi Y, Wada M, Kawanami T, Kato T: Frontal lobe function in individuals with AVIM [asymptomatic ventriculomegaly with features of idiopathic normal pressure hydrocephalus (iNPH) on MRI]. 14<sup>th</sup> CONGRESS OF THE EUROPEAN FEDERATION OF NEUROLOGICAL SOCIETIES, Geneva Switzerland; Sep 2010

## (2) 国内の学会

### i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 加藤丈夫, 木村英紀, 栗田啓司, 栗村正之, 飛田宗重, 新澤陽英, 有海躬行: 重症神経難病の在宅療養における診療所との連携: 在宅診療が可能な無床診療所を記載したホームページの作成. 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業 重症難病患者の地域医療体制の構築に関する研究班, 東京; 2010年1月
- 2) 加藤丈夫, 清野智美, 後藤薫, 荒若繁樹, 佐藤秀則, 江見充, 川並透, 栗田啓司, 豊島至, 祖父江元: 孤発性筋萎縮性側索硬化症患者ゲノムのCNV(copy number variation)解析 (第3報): 疾患感受性蛋白質の免疫組織化学染色およびWestern blot 法による検討. 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業 筋萎縮性側索硬化症の病態に基づく画期的治療の開発班, 東京; 2010年1月
- 3) 加藤丈夫, 伊関千書, 高橋賛美, 和田学, 川並透: 疫学研究: iNPHとAVIM (エイビム). 第51回日本神経学会総会「シンポジウム」, 東京; 2010年5月
- 4) 加藤丈夫: リスクファクターの管理: 糖尿病. 第19回日本脳ドック学会総会「教育講演」, 山形; 2010年6月
- 5) 和田学: 脳小血管病変とバイオマーカー -地域住民を対象とした検討から-. 第19回日本脳ドック学会総会「シンポジウム」, 山形; 2010年6月

### ii 一般演題

- 1) 山口佳剛, 大竹浩也, 永沢光, 小山信吾, 和田学, 川並透, 栗田啓司, 丹治和世, 川勝忍, 加藤丈夫: 自己免疫性辺縁系脳炎の兄弟例. 第33回日本脳神経CI学会総会, 東京; 2010年2月
- 2) 大門真, 大泉俊英, 加藤丈夫: Funagata study (食後高血糖と血管合併症). 第44回糖尿病学の進歩, 大阪; 2010年3月
- 3) 廣島由紀, 塩野洋介, 鈴木郁子, 高野桂, 山本雅一, 加藤裕一, 田嶋克史, 加藤丈夫, 山内啓子, 折原美佳, 吉岡孝志: リツキシマブ静脈内投与後、腹水中リツキシマブ濃度を経時的に測定し得た一例. 第8回日本臨床腫瘍学会学術集会, 東京; 2010年3月
- 4) 田中英智, 鈴木義広, 和田学, 川並透, 栗田啓司, 加藤丈夫: 脳幹型 RPLS (reversible posterior leukoencephalopathy syndrome) の1剖検例. 第51回日本神経病理学会総会, 東京; 2010年4月
- 5) 川並透, 宇留野勝久, 山口佳剛, 伊関千書, 高橋賛美, 丹治治子, 木村英紀, 和田学, 栗田啓司, 加藤丈夫: てんかんを呈した歯状核赤核蒼球ルイ体萎縮症 (DRPLA) 早発成人型の検討. 第51回日本神経学会総会, 東京; 2010年5月
- 6) 荒若繁樹, 町屋陽平, 佐藤裕康, 小山信吾, 加藤丈夫: Ser129 リン酸化の $\alpha$ -シヌクレインタンパク質分解への効果. 第51回日本神経学会総会, 東京; 2010年5月
- 7) 和田学, 川並透, 栗田啓司, 加藤丈夫: 地域住民における脳小血管病変危険因子の検討. 第51回日本神経学会総会, 東京; 2010年5月
- 8) 木村英紀, 和田学, 荒若繁樹, 川並透, 栗田啓司, 栗村正之, 鈴木義広, 加藤丈夫: 神経難病患者の在宅療養における診療所との連携支援. 第51回日本神経学会総会, 東京; 2010年5月
- 9) 佐藤裕康, 町屋陽平, 小山信吾, 荒若繁樹, 加藤丈夫: AAVを用いたA53T $\alpha$ シヌクレインのin vivo過剰発現: パーキンソン病モデルとしての特徴. 第51回日本神経学会総会, 東京; 2010年5月
- 10) 伊関千書, 高橋賛美, 和田学, 川並透, 栗田啓司, 加藤丈夫: 認知機能の低下は死亡に影響する: 山形県高島町の高齢住民の縦断研究から. 第51回日本神経学会総会, 東京; 2010年5月
- 11) 高橋賛美, 伊関千書, 和田学, 川並透, 栗田啓司, 門間政亮, 鈴木匡子, 加藤丈夫: 地域在住高齢者の高次脳機能の検討. 第51回日本神経学会総会, 東京; 2010年5月
- 12) 大門真, 大泉俊英, 柄澤繁, 海野航, 高瀬薫, 多田杏子, 神部裕美, 和田輝里子, 亀田亘, 諏佐真治, 村

- 松正明, 加藤丈夫: Clusterin/apolipoprotein J 遺伝子多型と2型糖尿病との関連. 第53回日本糖尿病学会年次学術集会, 岡山; 2010年5月
- 13) 大泉俊英, 多田杏子, 高瀬薫, 海野航, 柄澤繁, 神部裕美, 和田輝里子, 亀田亘, 諏佐真治, 大門真, 加藤丈夫: 糖尿病検診者における耐糖能と脂肪酸分画測定値の関係と諸相. 第53回日本糖尿病学会年次学術集会, 岡山; 2010年5月
  - 14) 和田輝里子, 海野航, 高瀬薫, 多田杏子, 柄澤繁, 亀田亘, 諏佐真治, 大泉俊英, 大門真, 加藤丈夫: BMI標準高値は耐糖能異常, 脂質異常, 高血圧の危険因子である. 第53回日本糖尿病学会年次学術集会, 岡山; 2010年5月
  - 15) 柄澤繁, 海野航, 高瀬薫, 多田杏子, 神部裕美, 和田輝里子, 亀田亘, 諏佐真治, 大泉俊英, 大門真, 加藤丈夫: Fat mass and obesity associated (FTO) 遺伝子多型は肥満と運動量依存性に関連している. 第53回日本糖尿病学会年次学術集会, 岡山; 2010年5月
  - 16) 海野航, 高瀬薫, 多田杏子, 柄澤繁, 神部裕美, 和田輝里子, 亀田亘, 諏佐真治, 大泉俊英, 大門真, 加藤丈夫: 非侵襲的に測定されたAGEs値は糖尿病の慢性合併症に関連している. 第53回日本糖尿病学会年次学術集会, 岡山; 2010年5月
  - 17) 亀田亘: 10年間の下垂体卒中の検討. 第19回日本脳ドック学会総会, 山形; 2010年6月
  - 18) 伊関千書, 高橋賛美, 川並透, 鈴木匡子, 加藤丈夫: 脳MRIで特発性正常圧水頭症(iNPH)の特徴が認められた高齢住民の前頭葉機能検査. 第19回日本脳ドック学会総会, 山形; 2010年6月
  - 19) 高橋賛美, 和田学, 伊関千書, 門間政亮, 鈴木匡子, 植木優夫, 田宮元, 加藤丈夫: 地域在住高齢者における糖尿病と高次脳機能の検討. 第19回日本脳ドック学会総会, 山形; 2010年6月
  - 20) 高野桂, 塩野洋介, 山本雅一, 加藤裕一, 鈴木郁子, 廣島由紀, 鴻巣佐智子, 大竹浩也, 岩場晶子, 山川光徳, 田嶋克史: HIV関連リンパ腫にみられたB型肝炎ウイルスについて. 第50回日本リンパ網内系学会総会, 新潟; 2010年6月
  - 21) 猪狩龍佑, 田中英智, 山口佳剛, 丹治治子, 伊関千書, 木村英紀, 荒若繁樹, 和田学, 川並透, 栗田啓司, 加藤丈夫: 急性増悪の再発抑制にステロイド療法とmethotrexate療法追加が有効であった神経Behcet病の1例. 第28回日本神経治療学会総会, 横浜; 2010年7月
  - 22) Kato Y, Kohnosu S, Shiono Y, Suzuki I, Kohno K, Hiroshima Y, Tajima K, Kato T, Yamamoto M: Influence of peak CsA concentration at early post-transplant period on the outcome of allogenic SCT. 第72回日本血液学会学術集会, 横浜; 2010年9月
  - 23) Shiono Y, Yamamoto M, Hiroshima Y, Kouno K, Katou Y, Suzuki I, Kato T, Tajima K: A case of acute lymphoblastic leukemia positive for BCR-ABL transcript and Monosomy-7. 第72回日本血液学会学術集会, 横浜; 2010年9月
  - 24) Kounosu S, Kouno K, Yamamoto M, Shiono Y, Hiroshima Y, Suzuki I, Katou Y, Kato T, Tajima K: Initial presentation of chronic myelogenous leukemia as multiple subcutaneous granulocytic sarcomas. 第72回日本血液学会学術集会, 横浜; 2010年9月
  - 25) 飯島寛, 佐藤秀則, 石井美穂, 伊東紀子, 加藤丈夫, 江見充: 分節重複領域(Segmental duplications)とCNV多型の位置構造関係. 日本人類遺伝学会第55回大会, 埼玉; 2010年10月
  - 26) 佐藤秀則, 加藤丈夫, 石井美穂, 飯島寛, 伊東紀子, 江見充: CNV多様性と散在性反復配列のゲノム構造における関連性. 日本人類遺伝学会第55回大会, 埼玉; 2010年10月
  - 27) 福島進吾, 町屋陽平, 荒若繁樹, 佐藤裕康, 小山信吾, 加藤丈夫:  $\alpha$ -シヌクレインの細胞内分解におけるSer129リン酸化の影響についての検討. 第33回日本分子生物学会年会 第83回日本生化学会大会 合同大会, 神戸; 2010年12月

### (3) 国内地方会

#### i 一般演題

- 1) 塩野洋介, 高野桂, 山本雅一, 鈴木郁子, 廣島由紀, 加藤裕一, 田嶋克史, 加藤丈夫: Blastic plasmacytoid dendritic cell neoplasmの2例. 第109回日本血液学会東北地方会, 仙台; 2010年2月
- 2) 伊関千書, 山口佳剛, 丹治治子, 木村英紀, 和田学, 川並透, 栗田啓司, 加藤丈夫: 片側の腓腹筋が肥大し、同筋がMRI脂肪抑制画像で高信号を呈した腰椎管狭窄症の1例. 第86回日本神経学会東北地方会, 仙台; 2010年3月

- 3) 山口佳剛, 伊関千書, 丹治治子, 木村英紀, 和田学, 川並透, 栗田啓司, 加藤丈夫: SLE を背景に発症したと考えられる急性非ヘルペス性辺縁系脳炎の1例. 第86回日本神経学会東北地方会, 仙台; 2010年3月
- 4) 亀田亘, 中村麻里, 海野航, 高瀬薫, 柄澤繁, 和田輝里子, 諏佐真治, 大泉俊英, 大門真, 加藤丈夫: テストステロン補充により女性化乳房が軽減したマクロプロラクチネミアの1例. 第192回日本内科学会東北地方会, 山形; 2010年9月
- 5) 平賀利匡, 小山信吾, 岡田弘明, 伊関千書, 丹治治子, 黒川克朗, 和田学, 川並透, 加藤丈夫: 左視神経障害で発症した特発性肥厚性硬膜炎の1例. 第192回日本内科学会東北地方会, 山形; 2010年9月
- 6) 岡田弘明, 高野桂, 塩野洋介, 鈴木郁子, 廣島由紀, 加藤裕一, 田嶋克史, 加藤丈夫: プリンアナログ投与後、脾臓摘出術を施行した脾臓リンパ腫の一例. 第110回日本血液学会東北地方会, 山形; 2010年9月
- 7) 丹治和世, 永沢光, 加藤丈夫, 鈴木匡子: 経過中認知機能に著明な改善を認めた両側内包膝部梗塞の一症例. 第87回日本神経学会東北地方会, 山形; 2010年9月
- 8) 成澤健, 佐藤裕康, 高橋賛美, 木村英紀, 和田学, 川並透, 加藤丈夫: ミトコンドリア遺伝子ATPase6にT8993C 異変を認めたNARPの1例. 第87回日本神経学会東北地方会, 山形; 2010年9月
- 9) 大門真, 海野航, 高瀬薫, 柄澤繁, 神部裕美, 和田輝里子, 亀田亘, 諏佐真治, 大泉俊英, 仁科盛之, 加藤丈夫: DPP4 阻害薬, シタグリブチンの体重への効果は併用薬剤により異なる? 第48回日本糖尿病学会東北地方会, 仙台; 2010年11月
- 10) 諏佐真治, 海野航, 高瀬薫, 石川詩織, 中村麻里, 和田輝里子, 柄澤繁, 亀田亘, 大泉俊英, 大門真, 加藤丈夫: 治療にインスリン投与を必要としたアルコール性低血糖症の一例. 第48回日本糖尿病学会東北地方会, 仙台; 2010年11月
- 11) 柄澤繁, 諏佐真治, 海野航, 石川詩織, 中村麻里, 高瀬薫, 和田輝里子, 亀田亘, 大泉俊英, 大門真, 加藤丈夫: インスリン持続皮下注入療法導入に持続血糖モニタリングを用いた劇症1型糖尿病の1例. 第48回日本糖尿病学会東北地方会, 仙台; 2010年11月
- 12) 海野航, 高瀬薫, 柄澤繁, 和田輝里子, 亀田亘, 諏佐真治, 大泉俊英, 刑部光正, 長岡迪生, 大門真, 加藤丈夫: 腹部大動脈に巨大血栓を形成した糖尿病患者の一例. 第48回日本糖尿病学会東北地方会, 仙台; 2010年11月

#### (4) 研究会

##### i 特別講演

- 1) 加藤丈夫: 糖尿病と脳障害. 第31回いわき神経疾患研究会, 福島; 2010年2月
- 2) 加藤丈夫: 山形の分子疫学研究. ヒトゲノム・遺伝子解析研究倫理セミナー, 新潟; 2010年3月

##### ii 一般演題

- 1) 亀田亘, 海野航, 高瀬薫, 多田杏子, 柄澤繁, 神部裕美, 和田輝里子, 諏佐真治, 大泉俊英, 大門真, 加藤丈夫, 武藤明紀, 富田善彦, 大竹浩也, 山川光徳, 笹野公伸: DHEAS 値が抑制されなかったクッシング症候群の一例. 第18回東北副腎研究会, 仙台; 2010年2月
- 2) 亀田亘, 海野航, 高瀬薫, 多田杏子, 柄澤繁, 神部裕美, 和田輝里子, 諏佐真治, 大泉俊英, 大門真, 加藤丈夫: 思春期に発症したGHDの治療例. 第25回東北成長障害・成長因子研究会, 仙台; 2010年3月
- 3) 高瀬薫, 亀田亘, 川並透, 海野航, 多田杏子, 柄澤繁, 神部裕美, 和田輝里子, 諏佐真治, 大泉俊英, 大門真, 加藤丈夫: 臨床的に lymphocytic hypophysitis と診断され、ステロイド療法とホルモン補充療法を行った一例. 第25回東北成長障害・成長因子研究会, 仙台; 2010年3月
- 4) 亀田亘, 高瀬薫, 大門真, 加藤丈夫: 診断が困難なクッシング病の一例. 第8回東北下垂体腫瘍フォーラム, 仙台; 2010年7月
- 5) 高瀬薫, 亀田亘, 中村麻里, 海野航, 多田杏子, 柄澤繁, 神部裕美, 和田輝里子, 諏佐真治, 大泉俊英, 大門真, 加藤丈夫, 久下淳史, 江口英行, 嘉山孝正: 下垂体卒中後に自然治癒し耐糖能も改善した先端巨大症の一例. 第8回東北下垂体腫瘍フォーラム, 仙台; 2010年7月
- 6) 鈴木郁子, 塩野洋介, 鴻巣佐智子, 高野桂, 廣島由紀, 加藤裕一, 田嶋克史, 加藤丈夫: Rh 血液型不適合移植の一例. 第23回東北BMT研究会, 仙台; 2010年7月
- 7) 高瀬薫, 亀田亘, 海野航, 柄澤繁, 和田輝里子, 神部裕美, 諏佐真治, 大泉俊英, 大門真, 加藤丈夫, 山口宏, 加藤智幸, 富田善彦, 堤誠司, 倉智博久, 岩場晶子, 大竹浩也, 山川光徳, 笹野公伸: 妊娠中に診



断されたクッシング症候群の一例. 第30回山形内分泌代謝研究会, 山形; 2010年10月

- 8) 川並透, 鈴木義広, 菊池謙二, 富樫尚子, 岩場晶子, 大竹浩也, 山川光徳, 加藤丈夫: 運動ニューロン疾患に前頭側頭葉型認知症と頭蓋骨肥厚を合併した一剖検例. 第17回東北神経病理研究会, 仙台; 2010年11月
- 9) 川並透, 鈴木義広, 菊池謙二, 富樫尚子, 岩場晶子, 大竹浩也, 山川光徳, 加藤丈夫: 運動ニューロン疾患に前頭側頭葉型認知症と頭蓋骨肥厚を合併した一剖検例. 第17回東北神経病理研究会, 仙台; 2010年11月
- 10) 高瀬薫, 亀田亘, 海野航, 柄澤繁, 神部裕美, 和田輝里子, 諏佐真治, 大泉俊英, 大門真, 加藤丈夫, 山口宏, 加藤智幸, 富田善彦, 堤誠司, 倉智博久, 岩場晶子, 大竹浩也, 山川光徳, 笹野公伸: 妊娠中に手術治療を行ったクッシング症候群の一例. 第73回宮城内分泌研究会, 仙台; 2010年12月

#### (5) その他

- 1) 神部裕美: 今日から始まるメタボ対策-内臓脂肪を減らして健康寿命アップ-. 山形大学・COMEセンター「すこやか教室」寒河江はつらつ健康教室, 寒河江; 2010年1月
- 2) 神部裕美: 糖尿病にならないために. 山形大学・COMEセンター「すこやか教室」高島町げんき学校, 高島町; 2010年3月
- 3) 加藤丈夫: 糖尿病と脳疾患. 山形県立中央病院講演会, 山形; 2010年7月
- 4) 亀田亘: アクロメガリーの診断と治療 ~一般診療の中で発見される症例を交えて~. 庄内地区医師会学習会, 酒田; 2010年7月
- 5) 高橋賛美: 生活習慣病と認知症の予防. 山形大学・COMEセンター「すこやか教室」高島町げんき学校, 高島町; 2010年7月
- 6) 川並透: 認知症予防のために今できること. すこやか教室~知って得する認知症予防~, 川西町; 2010年9月
- 7) 大泉俊英: 耐糖能異常は心血管疾患発症の危険因子である -舟形町研究から-. アテローム血栓症講演会, 山形; 2010年9月

### 3. 学会, 講演会, シンポジウム, ワークショップ等の開催

- 1) 第192回日本内科学会東北地方会, 山形; 2010年9月
- 2) 第110回日本血液学会東北地方会, 山形; 2010年9月
- 3) 第87回日本神経学会東北地方会, 山形; 2010年9月

# 生化学・分子生物学講座

## 1. 論文

### (1) 原著

- 1) Iuchi Y, Roy D, Okada F, Kibe N, Tsunoda S, Suzuki S, Takahashi M, Yokoyama H, Yoshitake J, Kondo S, Fujii J: Spontaneous skin damage and delayed wound healing in SOD1-deficient mice. *Mol. Cell. Biochem.* 2010;341:181-194
- 2) Iuchi Y, Kibe N, Tsunoda S, Suzuki S, Mikami T, Okada F, Uchida K, Fujii J: Implication of oxidative stress as a cause of autoimmune hemolytic anemia in the NZB mice. *Free. Radic. Biol. Med.* 2010;48:935-944
- 3) Ikeda Y, Ito R, Ihara H, Okada T, Fujii J: Expression of N-terminally truncated forms of rat peroxiredoxin-4 in insect cells. *Protein Expr. Purif.* 2010;72:1-7
- 4) Kimura N, Tsunoda S, Iuchi Y, Abe H, Totsukawa K, Fujii J: Intrinsic oxidative stress causes either two-cell arrest or cell death depending on developmental stage of the embryos from SOD1-deficient mice. *Mol. Hum. Reprod.* 2010;16:441-451
- 5) Otaki N, Chikazawa M, Nagae R, Shimozu Y, Shibata T, Ito S, Takasaki Y, Fujii J, Uchida K: Identification of a lipid peroxidation product as the source of oxidation-specific epitopes recognized by anti-DNA autoantibodies. *J. Biol. Chem.* 2010;285:33834-33842
- 6) Bertolotti M, Yim SH, Masciarelli S, Kim YJ, Garcia-Manteiga JM, Vene' R, Iuchi Y, Kang MH, Fujii J, Rubartelli A, Rhee SG, Sitia R: B to plasma cell terminal differentiation entails oxidative stress and profound reshaping of the antioxidant responses. *Antioxid Redox Signal.* 2010;13:1133-1144
- 7) Peng D, Ma LH, Ogura H, Yang EC, Zhang X, Yoshida T, La Mar GN : (1)H NMR Study of the Influence of Mutation on the Interaction of the C-Terminus with the Active Site in Heme Oxygenase from *Neisseria meningitidis*: Implications for Product Release. *Biochemistry.* 2010;20;49(28):5832-5840.
- 8) Sanjo M, Saito T, Ishii R, Nishise Y, Haga H, Okumoto K, Ito J, Watanabe H, Saito K, Togashi H, Fukuda K, Imai Y, El-Shamy A, Deng L, Shoji I, Hotta H, Kawata S: Secondary structure of the amino-terminal region of HCV NS3 and virological response to pegylated interferon plus ribavirin therapy for chronic hepatitis C. *J Med Virol.* 2010;82(8):1364-70.
- 9) Nishise Y, Saito T, Makino N, Okumoto K, Ito JI, Watanabe H, Saito K, Togashi H, Ikeda C, Kubota I, Daimon M, Kato T, Fukao A, Kawata S: Relationship between Alcohol Consumption and Serum Adiponectin Levels: The Takahata Study—A Cross-Sectional Study of a Healthy Japanese Population. *J Clin Endocrinol Metab.* 2010;95(8):3828-35.
- 10) Hattori E, Shu HJ, Saito T, Okumoto K, Haga H, Yokozawa J, Ito J, Watanabe H, Saito K, Togashi H, Kawata S: Expression of the RNA-binding protein Musashi1 in adult liver stem-like cells. *Hepatol Res.* 2010;40(4):432-7.
- 11) Kurahashi T, Furusawa T, Ueda T: Bustin M. The nucleosome binding protein HMGN3 is expressed in pancreatic alpha-cells and affects plasma glucagon levels in mice. *J Cell Biochem.* 2010;109(1):49-57
- 12) 伊藤純一, 鈴木明彦, 宇賀神智, 佐藤智佳子, 芳賀弘明, 石井里佳, 三條麻衣, 奥本和夫, 西瀬雄子, 渡辺久剛, 齋藤孝治, 齋藤貴史, 河田純男: 高齢者に発症した肝動注化学塞栓療法 (TACE) 後のガス産生肝膿瘍の1例. *日本高齢者消化器病学会誌.* 2010;12(2):83-87
- 13) 松尾拓, 王玉来, 五十嵐貴宏, 齋藤吉彦, 鈴木恒治, 平田慎也, 伊藤純一, 山川徳光: シスプラチン/リピオドール懸濁液による肝動脈化学療法後に急速に浸潤性増殖をきたし、診断に苦慮した肝細胞癌の1例. *肝臓.* 2010;51(8):447-452

### (2) 総説

- 1) 伊藤純一, 河田純男: 原発性硬化性胆管炎におけるゲノムワイド関連解析. *Review of Gastroenterology &*

(3) 著書

- 1) Fujii J, Iuchi Y: Requirement of Multiple Antioxidative/Redox Systems to Support Male Fertility. In "Male and Female Infertility: Genetic Causes, Hormonal Treatments and Health Effects." (Bjorn Glantz and Klas Edquist eds), Nova Science Publishers, Inc, 2010;33-54
- 2) Kimura N, Fujii J: Active oxygen species as a signal of embryonic developmental arrest and death. In "Male and Female Infertility: Genetic Causes, Hormonal Treatments and Health Effects." (Glantz B and Edquist K eds), Nova Science Publishers, Inc, 2010;55-75
- 3) 伊藤純一, 河田純男: NASH/NAFLDの診断・治療 臨床経過 I: 通常型. 大畑秀穂編, 「臨床栄養臨時増刊 NASH/NAFLDのすべて」 東京; 医歯薬出版, 2010;689-693

## 2. 学会報告

(1) 国際学会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) Kurahashi T, Ueda T, Furusawa T, Bustin M: Regulation of glucose homeostasis by the nucleosome binding protein HMGN3. In: Molecular Basis for Chromatin Structure and Regulation: Keystone Symposia, USA; Jan 2010

ii 一般演題

- 1) Iuchi Y, Tsunoda S, Kibe N, Suzuki S, Okada F, Fujii J: Reactive nitrogen oxide species in red blood cells are possible cause for hemolytic anemia and autoimmunity in SOD1-deficient mice. The 6th International Conference on the Biology, Chemistry and Therapeutic Applications of Nitric Oxide. Kyoto, Japan; June 2010
- 2) Kimura N, Sato Y, Tsunoda S, Iuchi Y, Odajima K, Totsukawa K, Fujii J: Intrinsic oxidative stress in SOD1-deficient embryo under atmospheric oxygen culture causes developmental arrest without mitochondrial malfunction. Society for Reproduction and Fertility. UK; July 2010.
- 3) Sho L, Zhang XH, Saito T, Watanabe H, Ishii R, Kawata S, Fukao A: Expression Profiling of Signaling Pathway Genes in Human Hepatocytes Infected with Cell Culture-produced Hepatitis C Virus. 20<sup>th</sup> Conference of the Asian Pacific Association for the Study of the Liver. Beijing, China; March 2010
- 4) Teng L, Sho L, Zhang XH, Watanabe H, Saito T, Ishii R, Kawata S, Fukao A, Kimura W: Identification and Characterization of a Novel MicroRNA Involved in the Development of Liver Cancer. 20<sup>th</sup> Conference of the Asian Pacific Association for the Study of the Liver. Beijing, China; March 2010

(2) 国内の学会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 藤井順逸 (ワークショップ): Prx4の抗酸化活性による活性酸素シグナルの制御. 第33回日本分子生物学会第83回日本生化学合同年会, 神戸; 2010年12月
- 2) 藤井順逸 (特別講演): ペルオキシレドキシシンによる抗酸化と活性酸素シグナルの制御. 第27回臨床フリーラジカル会議, 京都; 2010年12月

ii 一般演題

- 1) 角田智志, 木村直子, 井内良仁, 阿部宏之, 中島修, 十津川清, 藤井順逸: 内因性酸化ストレス亢進によるマウス着床前胚の発生段階に依存した分裂停止および細胞死の解析. 第33回日本分子生物学会第83回日本生化学合同年会, 神戸; 2010年12月
- 2) 角田智志, 岐部紀子, 藤井順逸: SOD1欠損マウス胎児線維芽細胞を用いた酸化ストレスによる細胞死と増殖抑

- 制機構の解析. 第 63 回日本酸化ストレス学会, 横浜; 2010 年 6 月
- 3) Takahashi M, Fujii J, Araki M, Inai Y, Soga T, Miyata S, Taniguchi N, Kuroki Y: The involvement of aldehyde reductase in biosynthesis of ascorbic acid in mice. 第 33 回日本分子生物学会第 83 回日本生化学合同年会, 神戸; 2010 年 12 月
  - 4) 倉橋敏裕, 上田哲也, 古澤貴志, Michael Bustin: スクレオソーム結合タンパク質 HMG3 はグルコース恒常性制御に関わっている. 第 33 回日本分子生物学会第 83 回日本生化学合同年会, 神戸; 2010 年 12 月
  - 5) 張旭紅, 劬力, 渡辺久剛, 齋藤貴史, 石井里佳, 深尾彰, 河田純男: RNAi スクリーニングを用いた HCV 増殖に関する宿主因子の探索. 第 33 回日本分子生物学会第 83 回日本生化学合同年会, 神戸; 2010 年 12 月
  - 6) 小沼邦重, 藤井順逸, 小林正伸, 岡田太: 炎症発癌に対する予防化合物の同定 第 69 回日本癌学会総会, 大阪; 2010 年 9 月
  - 7) 佐藤康子, 小田島和治, 角田智志, 戸津川清, 藤井順逸, 木村直子: 体外成熟させた SOD1 遺伝子欠損マウス卵でみられる受精障害の解析. 十和田; 2010 年 9 月
  - 8) 佐藤康子, 木村直子, 井内良仁, 佐藤英世, 藤井順逸, 戸津川清: SOD1 欠損マウス卵でみられる卵成熟過程での酸化ストレスによる受精障害. 第 51 回日本哺乳動物卵子学会大会, 新潟市; 2010 年 5 月
  - 9) 劬力, 張旭紅, 渡辺久剛, 齋藤貴史, 石井里佳, 深尾彰, 河田純男: HCV 培養細胞感染系における TLR シグナル伝達関連遺伝子の発現解析. 第 46 回日本肝臓学会総会, 山形市; 2010 年 5 月
  - 10) 藤亮, 劬力, 渡辺久剛, 張旭紅, 齋藤貴史, 石井里佳, 河田純男, 深尾彰, 木村理: 肝臓における microRNA の発現異常と意義. 第 14 回日本肝臓学会大会, 横浜市; 2010 年 10 月
  - 11) 奥本和夫, 齋藤貴史, 佐藤智佳子, 芳賀弘明, 石井里佳, 三條麻衣, 西瀬雄子, 伊藤純一, 渡辺久剛, 齋藤孝治, 富樫整, 河田純男: B 型急性肝炎 (ゲノタイプ A) に対する核酸アナログ投与の検討. 第 96 回日本消化器病学会総会肝臓学会総会, 新潟; 2010 年 4 月
  - 12) 石井里佳, 齋藤貴史, 渡辺久剛, 宇賀神智, 佐藤智佳子, 芳賀弘明, 三條麻衣, 奥本和夫, 西瀬雄子, 伊藤純一, 齋藤孝治, 富樫整, 河田純男: 当科における SVR 例からの肝発癌症例の検討. 第 96 回日本消化器病学会総会肝臓学会総会, 新潟; 2010 年 4 月
  - 13) 渡辺久剛, 齋藤貴史, 西瀬雄子, 佐藤智佳子, 石井里佳, 芳賀弘明, 三條麻衣, 奥本和夫, 伊藤純一, 齋藤孝治, 富樫整, 河田純男: HCV コホートにおけるウイルス自然治癒および肝発癌の検討. 第 46 回日本肝臓学会総会, 山形; 2010 年 5 月
  - 14) 芳賀弘明, 西瀬雄子, 安藤雅泰, 菅原心平, 佐藤智佳子, 石井里佳, 三條麻衣, 奥本和夫, 伊藤純一, 渡辺久剛, 齋藤孝治, 齋藤貴史, 富樫整, 河田純男: 肝区域における Virtual Touch Tissue Quantification の検討. 第 46 回日本肝臓学会総会, 山形; 2010 年 5 月
  - 15) 西瀬雄子, 齋藤貴史, 佐藤智佳子, 石井里佳, 芳賀弘明, 三條麻衣, 奥本和夫, 伊藤純一, 渡辺久剛, 齋藤孝治, 富樫整, 河田純男: 超音波検査における肝腎光学輝度比の上昇とメタボリックシンドローム関連因子との関係. 第 46 回日本肝臓学会総会, 山形; 2010 年 5 月
  - 16) 齋藤孝治, 奥本和夫, 芳賀弘明, 宇賀神智, 佐藤智佳子, 石井里佳, 三條麻衣, 西瀬雄子, 伊藤純一, 渡辺久剛, 齋藤貴史, 富樫整, 河田純男: 肝臓局所治療におけるソナゾイド造影超音波および RVS の有用性について. 第 46 回日本肝臓学会総会, 山形; 2010 年 5 月
  - 17) 奥本和夫, 齋藤貴史, 佐藤智佳子, 石井里佳, 芳賀弘明, 三條麻衣, 西瀬雄子, 伊藤純一, 渡辺久剛, 齋藤孝治, 富樫整, 河田純男: 肝再生における Stem Cell Factor (SCF) の役割についての検討. 第 46 回日本肝臓学会総会, 山形; 2010 年 5 月
  - 18) 三條麻衣, 奥本和夫, 佐藤智佳子, 石井里佳, 芳賀弘明, 西瀬雄子, 伊藤純一, 渡辺久剛, 齋藤孝治, 齋藤貴史, 富樫整, 河田純男: B-RT0 不成功例に対する内視鏡的硬化療法後の肝予備能の変化についての検討. 第 46 回日本肝臓学会総会, 山形; 2010 年 5 月
  - 19) 石井里佳, 齋藤貴史, 三條麻衣, 佐藤智佳子, 芳賀弘明, 奥本和夫, 西瀬雄子, 伊藤純一, 渡辺久剛, 齋藤孝治, 富樫整, 河田純男: C 型慢性肝炎に対する IFN 治療後の SVR 例からの肝発癌症例の検討. 第 46 回日本肝臓学会総会, 山形; 2010 年 5 月
  - 20) 芳賀弘明, 齋藤貴史, 奥本和夫, 佐藤智佳子, 石井里佳, 三條麻衣, 西瀬雄子, 伊藤純一, 渡辺久剛, 齋藤孝治, 富樫整, 河田純男: Fibroblast growth factor 2 (FGF2) の肝再生における役割についての検討. 第 46 回日本肝臓学会総会, 山形; 2010 年 5 月

- 21) 伊藤純一, 石井里佳, 三條麻衣, 佐藤智佳子, 芳賀弘明, 奥本和夫, 渡辺久剛, 齋藤孝治, 齋藤貴史, 富樫整, 河田純男: 内視鏡的胃静脈瘤硬化療法後に食道静脈瘤が発達、破裂した1例の3D-CTによる検討. 第80回日本消化器内視鏡学会総会, 横浜; 2010年10月
- 22) 奥本和夫, 齋藤孝治, 芳賀弘明, 佐藤智佳子, 石井里佳, 三條麻衣, 西瀬雄子, 伊藤純一, 渡辺久剛, 齋藤貴史, 富樫整, 河田純男: 尾状葉(S1)肝細胞癌に対する穿刺局所療法時におけるReal-time Virtual Sonography (RVS)の有用性について. 第52回日本消化器病学会大会, 横浜; 2010年10月
- 23) 佐藤智佳子, 齋藤貴史, 三澤慶子, 宇賀神智, 芳賀弘明, 石井里佳, 三條麻衣, 奥本和夫, 西瀬雄子, 伊藤純一, 渡辺久剛, 齋藤孝治, 富樫整, 河田純男: C型慢性肝炎患者におけるミトコンドリア脂肪酸β酸化障害-絶食試験によるin vivo解析. 第52回日本消化器病学会大会, 横浜; 2010年10月
- 24) 芳賀弘明, 佐藤智佳子, 石井里佳, 三條麻衣, 奥本和夫, 西瀬雄子, 伊藤純一, 渡辺久剛, 齋藤孝治, 齋藤貴史, 富樫整, 河田純男: NASH(非アルコール性脂肪肝炎)患者におけるVirtual Touch Tissue Quantificationの検討. 第14回日本肝臓学会大会, 横浜; 2010年10月
- 25) 渡辺久剛, 齋藤貴史, 石井里佳, 佐藤智佳子, 芳賀弘明, 三條麻衣, 奥本和夫, 西瀬雄子, 伊藤純一, 齋藤孝治, 富樫整, 河田純男: B型肝炎ジェノタイプB型高浸淫地域における急性B型肝炎の実態. 第14回日本肝臓学会大会, 横浜; 2010年10月
- 26) 伊藤純一, 沼倉周彦, 石井里佳, 佐藤智佳子, 芳賀弘明, 三條麻衣, 奥本和夫, 西瀬雄子, 渡辺久剛, 齋藤孝治, 齋藤貴史, 井田博幸, 早坂清, 河田純男: 肝生検で診断されたGaucher病の1例. 第38回日本肝臓学会東部会, 東京; 2010年12月
- 27) 石井里佳, 齋藤孝治, 伊藤純一, 佐藤智佳子, 芳賀弘明, 三條麻衣, 奥本和夫, 西瀬雄子, 渡辺久剛, 齋藤貴史, 富樫整, 河田純男: Low-dose FP肝動注療法およびMitoxantrone併用療法が奏効した肝細胞癌の1例. 第38回日本肝臓学会東部会, 東京; 2010年12月
- 28) 西瀬雄子, 芳賀弘明, 佐藤智佳子, 石井里佳, 三條麻衣, 奥本和夫, 伊藤純一, 渡辺久剛, 齋藤孝治, 齋藤貴史, 富樫整, 河田純男: 当科における肝硬変患者の門脈血栓症に対する血栓溶解・抗凝固療法の検討. 第38回日本肝臓学会東部会, 東京; 2010年12月
- 29) 奥本和夫, 佐藤智佳子, 石井里佳, 芳賀弘明, 三條麻衣, 西瀬雄子, 伊藤純一, 渡辺久剛, 齋藤孝治, 齋藤貴史, 富樫整, 河田純男: 抗ミトコンドリア抗体陽性自己免疫性肝炎の1男性例. 第38回日本肝臓学会東部会, 東京; 2010年12月

### (3) 国内地方会

#### i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 井内良仁: 遺伝子改変マウスを用いた活性酸素の傷害性と有効性に関する研究(受賞講演). 日本生化学会東北支部第76回例会, 福島; 2010年5月
- 2) 菅原心平, 伊藤純一, 沼倉周彦, 石井里佳, 佐藤智佳子, 芳賀弘明, 三條麻衣, 奥本和夫, 西瀬雄子, 渡辺久剛, 齋藤孝治, 齋藤貴史, 井田博幸, 早坂清, 河田純男: 下血を初発症状とし、肝生検で診断されたGaucher(ゴーシェ)病の1例. (ワークショップ) 第189回日本消化器病学会東北支部例会, 山形; 2010年7月

#### ii 一般演題

- 1) 角田智志, 木村直子, 阿部宏之, 井内良仁, 戸津川清, 藤井順逸: SOD1欠損による内因性酸化ストレスは胚発生過程に依存して2細胞期発生停止もしくは細胞死を引き起こす. 日本生化学会東北支部第76回例会, 福島; 2010年5月
- 2) 伊藤純一, 石井里佳, 三條麻衣, 鈴木義広, 緒方真也, 岩場晶子, 佐藤智佳子, 芳賀弘明, 奥本和夫, 西瀬雄子, 渡辺久剛, 齋藤孝治, 齋藤貴史, 河田純男: 頭蓋底転移による失明を初発症状とした肝細胞癌の1例. 第188回日本消化器病学会東北支部例会, 仙台; 2010年2月
- 3) 三條麻衣, 奥本和夫, 佐藤智佳子, 石井里佳, 芳賀弘明, 西瀬雄子, 伊藤純一, 渡辺久剛, 齋藤孝治, 齋藤貴史, 富樫整, 河田純男: 胃静脈瘤出血に対して緊急EVL施行後、硬化療法を施行した1例. 第144回日本消化器内視鏡学会東北支部例会, 仙台; 2010年2月
- 4) 西瀬雄子, 芳賀弘明, 佐藤智佳子, 石井里佳, 三條麻衣, 奥本和夫, 伊藤純一, 渡辺久剛, 齋藤孝治, 齋藤貴史, 富樫整, 河田純男: ダナパロイドナトリウムによる門脈血栓溶解療法が奏功した肝硬変の2例. 第188回日本消化器病学会東北支部例会, 仙台; 2010年2月

- 5) 佐藤智佳子, 奥本和夫, 石井里佳, 芳賀弘明, 三條麻衣, 西瀬雄子, 伊藤純一, 渡辺久剛, 斉藤孝治, 斎藤貴史, 富樫整, 河田純男: 高度の肝脂肪化を呈した自己免疫性肝炎の一例. 第 189 回日本消化器病学会東北支部例会, 山形; 2010 年 7 月
- 6) 奥本和夫, 佐藤智佳子, 芳賀弘明, 石井里佳, 三條麻衣, 西瀬雄子, 伊藤純一, 渡辺久剛, 斉藤孝治, 斎藤貴史, 富樫整, 河田純男: 肝動脈化学療法後に胆管壊死を発症し、早期に再発出血を来たした食道静脈瘤の 1 例. 第 144 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会, 仙台; 2010 年 2 月

#### (4) 研究会

##### i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 伊藤純一: げんき健診からみた高島町民の健康状態について. げんき講演会, 高島町; 2010 年 3 月
- 2) 奥本和夫, 斎藤貴史, 芳賀弘明, 宇賀神智, 佐藤智佳子, 石井里佳, 三條麻衣, 西瀬雄子, 伊藤純一, 渡辺久剛, 斎藤孝治, 富樫整, 河田純男: 肝再生を目的とした骨髄細胞移植における増殖因子の検討. (シンポジウム) 第 16 回肝細胞研究会, 山形; 2010 年 6 月

##### ii 一般演題

- 1) 大槻倫之, 伊藤純一, 高橋素子, 西田隼人, 金野祐, 角田智志, 倉橋敏裕, 張旭紅, 宮田哲, 藤井順逸: アルデヒド還元酵素(ALR)遺伝子改変マウスを用いたペントバルビタール解毒障害機序の解明. 第21回山形大学医学部動物実験セミナー, 山形; 2010年12月
- 2) 福田直樹, 伊藤恒賢, 大和田一雄, 藤井順逸: 遺伝性食後高トリグリセリド血症(PHT)ウサギにおける脂質代謝関連遺伝子発現の解析. 第21回山形大学医学部動物実験セミナー, 山形; 2010年12月
- 3) 角田智志, 岐部紀子, 藤井順逸: SOD1欠損マウス胎仔線維芽細胞を用いた酸化ストレス誘導性細胞老化機構の解析. 第18回山形分子生物学セミナー, 山形; 2010年12月
- 4) 芳賀弘明, 斎藤貴史, 奥本和夫, 佐々木弥生, 宇賀神智, 佐藤智佳子, 石井里佳, 三條麻衣, 西瀬雄子, 伊藤純一, 渡辺久剛, 斉藤孝治, 富樫整, 河田純男: 増殖因子の急性肝疾患での血清動態および肝幹細胞の分化, 増殖能の検討. 第 16 回肝細胞研究会, 山形; 2010 年 6 月
- 5) 沼倉周彦, 伊藤純一, 石井里佳, 斎藤貴史, 河田純男, 井田博幸, 早坂清: 成人後に診断された Gaucher 病の一例. 第 9 回 東北代謝異常症治療研究会, 仙台; 2010 年 7 月

#### (5) その他

- 1) 藤井順逸: 哺乳動物生殖の酸化ストレス傷害とレドックス制御. 第 12 回山形大学生命・環境科学交流セミナー, 鶴岡; 2010 年 11 月

# 生命情報工学講座

## 1. 論文

### (1) 原著

- 1) Feng Z, Seya D, Kitajima T, Kosawada T, Nakamura T, Umezu M: Viscoelastic characteristics of contracted collagen gels populated with rat fibroblasts or cardiomyocytes. J Artif Organs 2010; 13: 139-144
- 2) Kubota S, Rubin J, Kitajima T, Nakamura T: A variety of competitive properties arising from STDP incorporating metaplastic regulation. Artif Life Robotics 2010; 15:185-188
- 3) 狩俣徹, 新澤剛, 大川貴裕, 佐藤大介, 楠正隆, 中村孝夫: 1型糖尿病モデルラットの末梢交感神経活動へのアルドース還元酵素阻害剤の効果. 山形ニューロサイエンス研究会誌 2010; 10: 15-18

## 2. 学会報告

### (1) 国際学会

#### i 一般演題

- 1) Kubota S, Rubin J, Kitajima T, Nakamura T: A variety of competitive properties arises from STDP incorporating metaplastic regulation. AROB 15th Internat Symp, Beppu; February 2010
- 2) Kusunoki M, Tsutsumi K, Sato D, Miyata T, Oshida Y, Nakamura T: Activation of lipoprotein lipase increases serum high density lipoprotein 2 (HDL2) cholesterol and enlarges HDL2 particles in rats. ADA 70th Scientific Sessions, Orlando; June 2010
- 3) Kubota S, Kitajima T, Kang S, Nakamura T: Functional cooperativity between NMDA receptor and GABA systems can trigger cortical critical period. Neuroscience 2010, San Diego; November 2010

### (2) 国内の学会

#### i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 馮忠剛, 横山道央, 北嶋龍雄, 中村孝夫: 分岐マイクロ回路によるセルソーティングの流れ解析. 第29回日本シミュレーション学会大会 (オーガナイズドセッション), 米沢; 2010年6月

#### ii 一般演題

- 1) 楠正隆, 佐藤大介, 堤一彦, 宮田哲郎, 押田芳治, 森文美, 中村孝夫: リポタンパクリパーゼ活性化による高齢運動ラットの血漿過酸化脂質抑制作用. 第10回日本抗加齢医学会総会, 京都; 2010年6月
- 2) 楠正隆, 佐藤大介, 堤一彦, 宮田哲郎, 押田芳治, 森文美, 中村孝夫: 運動負荷高齢ラットの血管内皮障害に対するリポタンパクリパーゼ活性化による効果. 第10回日本抗加齢医学会総会, 京都; 2010年6月
- 3) 久保田繁, 北嶋龍雄, 中村孝夫: STDPにおける神経活動依存フィードバックメカニズムとその機能的役割について. 第29回日本シミュレーション学会大会, 米沢; 2010年6月
- 4) 松井奉直, 佐藤大介, 新澤剛, 狩俣徹, 楠正隆, 中村孝夫: Glucose uptake enhancement induced with electrical sympathetic stimulation is not dependent on insulin function. 第49回日本生体医工学学会大会, 大阪; 2010年6月
- 5) Kusunoki M, Tsutsumi K, Sato D, Miyata T, Oshida Y, Mori F, Nakamura T: Activation of lipoprotein lipase increases serum high density lipoprotein 2 (HDL2) cholesterol and enlarges HDL2 particles in rats. 第42回日本動脈硬化学会, 岐阜; 2010年7月
- 6) 佐藤大介, 松井奉直, 新澤剛, 狩俣徹, 楠正隆, 中村孝夫: ラット末梢筋交感神経電気刺激による糖取り込みはインスリンに依存しない. 第63回自律神経学会, 横浜; 2010年10月
- 7) 狩俣徹, 新澤剛, 大川貴裕, 佐藤大介, 佐藤政文, 楠正隆, 中村孝夫: 糖尿病性神経障害モデルラットの末梢交感神経活動に及ぼすアルドース還元酵素阻害剤の効果. 第23回日本マイクロニューログラフィ学会, 横浜; 2010年10月
- 8) 佐々木寛之, 松井奉直, 佐藤大介, 狩俣徹, 楠正隆, 中村孝夫: ラット末梢筋交感神経電気刺激による末梢組織への糖取り込みの亢進. 第48回日本人工臓器学会, 仙台; 2010年11月

- 9) 瀬谷大貴, 菊地真郷, 馮忠剛, 北嶋龍雄, 中村孝夫: ラット胎膜とラット由来コラーゲンゲルの力学特性に関する実験研究. 第48回日本人工臓器学会, 仙台; 2010年11月
- 10) 高橋理恵, 為我井祐輔, 本田翼, 馮忠剛, 北嶋龍雄, 中村孝夫: 培養心筋細胞における microRNA-1 の発現調節について. 第48回日本人工臓器学会, 仙台; 2010年11月
- 11) 川西彬裕, 福田秀平, 馮忠剛, 北嶋龍雄, 横山道央, 中村孝夫: 分岐マイクロ流路構造による赤血球の分離. 第48回日本人工臓器学会, 仙台; 2010年11月

(3) 研究会

i 一般演題

- 1) 久保田繁, 姜時友, 北嶋龍雄, 中村孝夫: 視覚野の in vitro LTP/LTD と in vivo 可塑性の一貫性について. 第11回山形ニューロサイエンス研究会, 山形; 2010年6月



## 動物実験施設

### 1. 学会報告

#### (1) 国際学会

##### i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) Patricia V. Turner, William White, Judy McArthur Clark, Kathryn Bayne, Tsutomu Miki Kurosawa, Philippe Baneux, Jin Soo Han, Takuya Ikeda, Hee-Kyung Jin, Kazuo Ohwada, Ghislaine Poirier, Seung-Hyeok Seok: The International Association of Colleges of Laboratory Animal Medicine: A Global Demographic Survey of Diplomate Practices and Trends Across Colleges, A joint FELASA/Scand-LAS Symposium, Marina Congress Center, Helsinki, Finland, June 14-17, 2010
- 2) Judy McArthur Clark, Patricia V. Turner, William White, Kathryn Bayne, Tsutomu Miki Kurosawa, Philippe Baneux, Jin Soo Han, Takuya Ikeda, Hee-Kyung Jin, Kazuo Ohwada, Ghislaine Poirier, Seung-Hyeok Seok: An IACLAM survey of trends and practices of diplomates across the worldwide colleges of laboratory animal medicine: 11<sup>th</sup> ESLAV/ECLAM Joint Scientific Meeting, TOULOUSE, France, Sept. 26-28, 2010
- 3) Tsutomu Miki Kurosawa, Patricia V. Turner, William White, Judy McArthur Clark, Kathryn Bayne, Philippe Baneux, Jin Soo Han, Takuya Ikeda, Hee-Kyung Jin, Kazuo Ohwada, Ghislaine Poirier, Seung-Hyeok Seok: The International Association of Colleges of Laboratory Animal Medicine: A Global Demographic Survey of Diplomate Practices and Trends Across Colleges, The 4<sup>th</sup> AFLAS Congress Meeting, 5<sup>th</sup> AMRAM and 11<sup>th</sup> CSLAS Annual meeting. Nov. 9-11, 2010, Taipei International Convention Center, Taipei

#### (2) 国内の学会

##### i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 大和田一雄: 実験動物技術者資格における公的な資格認定制度化への実現を目指して (社)日本実験動物協会における実験動物技術者認定制度の現状, 第44回日本実験動物技術者協会総会, 旭川市, 2010年9月
- 2) 伊藤恒賢: 「実験動物への配慮 -実験動物への福祉をどうとらえるか-」1) 実験動物の状態を「平時」に近づけるという考え方. 第44回日本実験動物技術者協会総会サテライトセミナー, 旭川市, 2010年9月

##### ii 一般演題

- 1) 福田直樹, 伊藤恒賢, 大和田一雄: 食後高トリグリセリド血症家兔における脂質代謝関連遺伝子発現の特徴. 第57回日本実験動物学会総会, 京都市; 2010年5月
- 2)

#### (3) 国内地方会

##### i 一般演題

- 1) 阿部陽平, 菱沼早織, 伊藤恒賢, 片野由美, 石幡 明: 遺伝性食後高トリグリセリド血症家兔における血小板凝集能. 第61回日本薬理学会北部会, 札幌市, 2010年9月
- 2) 尾崎順子, 江口啓意, 伊藤恒賢, 大和田一雄: ラットの盲腸蠕虫駆除の試み -イベルメクチン単回塗布法による効果-. 平成22年度日本実験動物技術者協会奥羽・東北支部合同勉強会, 仙台市, 2010年12月
- 3) 伊藤恒賢, 伊丹英昭, 大和田一雄: マウス性周期同定における膣インピーダンス法の問題点. 平成22年度日本実験動物技術者協会奥羽・東北支部合同勉強会, 仙台市, 19-19, 2010年12月

#### (4) 研究会

##### i 一般演題

- 1) 福田直樹, 伊藤恒賢, 大和田一雄, 藤井順逸: 遺伝性食後高トリグリセリド血症(PHT)ウサギにおける脂質代謝関連遺伝子発現の解析. 実験動物セミナー第21回研究成果発表会, 山形市, 2010年12月
- 2) 阿部陽平, 菱沼早織, 松本 裕, 伊藤恒賢, 片野由美, 石幡 明: 高トリグリセリド (TG) 血症が血管弛緩能に与える影響. 実験動物セミナー第21回研究成果発表会, 山形市, 2010年12月
- 3) 菱沼早織, 阿部陽平, 伊藤恒賢, 片野由美, 石幡 明: 遺伝性食後高トリグリセリド血症 (PHT) 家兎の血小板凝集能, 血漿 NO および TG の経時的変化. 実験動物セミナー第21回研究成果発表会, 山形市, 2010年12月

#### 2. 学会, 講演会, シンポジウム, ワークショップ等の開催

- 1) 平成21年度日本実験動物技術者協会東北支部総会及び講演会, 仙台市; 2010年4月
- 2) 日本実験動物技術者協会 奥羽・東北支部合同勉強会, 仙台市; 2010年12月
- 3) 実験動物セミナー・第21回研究成果発表会, 山形市; 2010年12月

# 実験実習機器センター

## 1. 論文

### (1) 原著

- 1) Takahashi E, Sato M: Imaging of oxygen gradients in monolayer cultured cells using green fluorescent protein. Am J Physiol. Cell Physiol. 2010; 299: C1318-23
- 2) Takahashi E, Sato M: Intracellular diffusion of oxygen and hypoxic sensing: role of mitochondrial respiration. Adv. Exp. Med. Biol. 2010; 669: 213-7

## 2. 学会報告

### (1) 国際学会

#### i 一般演題

- 1) Takahashi E, Sato M: Imaging of O<sub>2</sub> in monolayer cultured cells revealed steep O<sub>2</sub> gradients. : The 38th Annual Meeting of the International Society on Oxygen Transport to Tissue, Ascona (Switzerland) ; July 2010

### (2) 国内の学会

#### i 一般演題

- 1) Sato M, Takahashi E. Imaging oxygen distribution using GFP in 2-dimensional tissue model: 第33回日本分子生物学会年会・第83回日本生化学会大会合同大会、神戸 ; 2010年12月
- 2) 渡辺剛太郎, 梅津和夫, 佐藤道比古, 山崎健太郎. Identifier Kit における非特異ピークの成因: 日本 DNA 多型学会第19回学術集会、三島 ; 2010年11月

# 総合医学教育センター

## 1. 論文

### (1) 著書

- 1) 佐藤慎哉, 嘉山孝正: 脊髄関連疾患 2 (髄液漏出). 上原譽志夫, 大林完二, 隅谷護人, 益子邦洋, 松岡博昭, 総合診断マニュアル. 京都; 金芳堂, 2010: 685-687
- 2) 佐藤慎哉, 嘉山孝正: 転移性脳腫瘍の治療方針にエビデンスはあるのか?. 宮本亨, 新井一, 鈴木倫保, 渋井壮一郎, 中瀬裕之, EBM 脳神経外科疾患の治療 2011-2012. 東京; 中外医学社, 2010: 189-194
- 3) 中西淑美: 第 3 章 周産期管理システムとリスクマネジメント. 我部山キヨ子, 毛利多恵子, 助産学講座 10 第 4 版 助産管理. 東京; 医学書院, 2010: 50-88

### (2) その他

- 1) 佐藤慎哉: 山形大・佐藤教授 高度医療人研修センターで専門医資格取得を支援「県外の後期研修医も呼びたい」. Japan Medicine. 2010; (11) : 10
- 2) 中西淑美: 対話で医療現場の対人関係を円滑にする 医療メディエーション講座. 月刊ナースマネジャー. 2010; 12(4): 51-55
- 3) 中西淑美: 対話で医療現場の対人関係を円滑にする 医療メディエーション講座. 月刊ナースマネジャー. 2010; 12(5): 75-78
- 4) 中西淑美: 対話で医療現場の対人関係を円滑にする 医療メディエーション講座. 月刊ナースマネジャー. 2010; 12(6): 71-75
- 5) 中西淑美: 対話で医療現場の対人関係を円滑にする 医療メディエーション講座. 月刊ナースマネジャー. 2010; 12(7): 65-70
- 6) 中西淑美: 医療メディエーションの背景理念について 医療コンフリクト講座. OG scope. 東京; 医科学出版社. 2010; 1(1): 15-16
- 7) 中西淑美: メディエーションの歴史的背景とその学問的領域について 医療コンフリクト講座. OG scope. 東京; 医科学出版社. 2010; 1(2): 15-16
- 8) 中西淑美: メディエーション概念とそのモデルについて 医療コンフリクト講座. OG scope. 東京; 医科学出版社. 2010; 1(3): 15-16

## 2. 学会報告

### (1) 国際学会

#### i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) Toshimi Nakanishi: New Design of Communication Model in Medical Dispute Resolution. FOCUS ASIA Interpreting the Rule of Law in Asia, Lund; March 2010
- 2) Yoshitaka Wada, Toshimi Nakanishi: Recent Situation and New Approaches in Medical Malpractice in Japan. Lunch Academic Meeting Center for Bioethics, enter for Bioethics, Pennsylvania; September 2010
- 3) Yoshitaka Wada, Toshimi Nakanishi: Recent Situation and New Approaches in Medical Malpractice in Japan. Committee Meeting Ethics Advisory, Philadelphia; September 2010

### (2) 国内の学会

#### i 特別講演

- 1) 佐藤慎哉, 嘉山孝正: High risk-High return への制度設計:現場の実状に即した待遇改善への試み. 日本脳神経外科学会 第 69 回学術総会, 福岡; 2010 年 10 月
- 2) 佐藤慎哉: 学部教育から生涯教育まで～山形大学医学部の医学教育改革～. 第 42 回日本医学教育学会大会, 東京; 2010 年 7 月
- 3) 中西淑美: 医療メディエーション教育プログラムの開発と発展. 第 2 回日本医療メディエーター協会

JAHM 学術集会教育講演, 札幌; 2010年6月

- 4) 中西淑美: ナラティブ・ベイスド・セイフティ・マネジメント (NBSM) の提案. 第48回日本医療・病院管理学術集会, 広島; 2010年10月

#### ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 佐藤慎哉, 竹村直, 伊藤美以子, 齋藤佑規, 嘉山孝正: 3ヶ月の安静臥床にて治療した特発性脳脊髄減少症の経時的頸椎MRI 髄液漏所見. 第39回日本神経放射線学会, 郡山; 2010年2月
- 2) 佐藤慎哉, 嘉山孝正: 覚醒下手術のガイドラインについて. 第19回脳神経外科手術と機器学会, 東京; 2010年3月
- 3) 佐藤慎哉, 嘉山孝正: 転移性脳腫瘍における手術の役割. 第30回日本脳神経外科コンgres, 横浜; 2010年5月
- 4) 中西淑美: 産科・小児科医療とメディエーション. 第3回 JAHM 公開シンポジウム, 東京; 2010年3月
- 5) 中西淑美: メディエーションの概念と妊産婦さんとのパートナーシップ. 産婦人科小児科医療をメディエーションで考える会 (AGORA), 大阪; 2010年5月
- 6) 中西淑美: 院内メディエーション実態調査報告 10. 日本医療メディエーター協会第3回学術集会シンポジウム (JAHM), 沖縄; 2010年6月

#### iii 一般演題

- 1) 中西淑美: 医療事故が看護師に及ぼす影響～心理面への評価と介入～ (POMS尺度を使って). 第10回日本医療マネジメント学術集会, 札幌; 2010年6月

### (3) 国内地方会

#### i 特別講演

- 1) 中西淑美: 現場で医療メディエーションを生かす. 日本予防医学リスクマネジメント学会学術総会 北海道・東北合同地方会, 函館; 2010年5月

#### ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 中西淑美: 医療コンフリクトマネジメント導入基礎編. 北部九州支部 JAHM ワークショップ研修, 福岡; 2010年4月
- 2) 中西淑美: 医療コンフリクトマネジメント導入基礎編. 南九州支部 JAHM ワークショップ研修, 鹿児島; 2010年4月
- 3) 中西淑美: 医療メディエーションの教育について. 岡山支部 JAHM 中国支部設立シンポジウム教育講演, 岡山; 2010年4月
- 4) 中西淑美: 医療コンフリクトマネジメント基礎編. 北海道大学附属病院看護部教育講演, 札幌; 2010年5月
- 5) 中西淑美: 医療コンフリクトマネジメントトレーナー編. 日本医療機能評価機構ワークショップ, 東京; 2010年5月
- 6) 中西淑美: 医療コンフリクトマネジメント導入基礎編. 北陸支部 JAHM 北陸支部ワークショップ研修, 富山; 2010年6月
- 7) 中西淑美: 医療コンフリクトマネジメント導入基礎編. 国立循環器病センターワークショップ, 大阪; 2010年6月
- 8) 中西淑美: 医療コンフリクトマネジメント導入基礎編. JAHM 沖縄支部ワークショップ研修, 沖縄; 2010年6月
- 9) 中西淑美: 医療コンフリクトマネジメント導入基礎編. 岐阜市民病院ワークショップ研修, 岐阜; 2010年6月
- 10) 中西淑美: 医療コンフリクトマネジメント導入基礎編. 北海道大学附属病院看護部ワークショップ研修, 札幌; 2010年7月
- 11) 中西淑美: 医療コンフリクトマネジメント導入基礎編. JAHM 北海道支部ワークショップ研修, 札幌; 2010年7月
- 12) 中西淑美: 医療コンフリクトマネジメント導入基礎編. 国立病院機構仙台医療センターワークショップ研修, 仙台; 2010年8月
- 13) 中西淑美: 医療コンフリクトマネジメント導入基礎編. 甲信越支部 JAHM ワークショップ研修, 長野;

2010年8月

- 14) 中西淑美: 医療安全と医療コンフリクトマネジメント. 日本医療機能評価機構教育研修, 東京; 2010年8月
- 15) 中西淑美: 医療メディエーション総論. 静岡県西部浜松医療センター教育講演, 静岡; 2010年8月
- 16) 中西淑美: 医療メディエーション総論. 豊田地域医療センター医療安全教育講演, 愛知; 2010年8月
- 17) 中西淑美: 医療メディエーション総論. 下北むつ総合病院医療安全教育講演, 青森; 2010年8月
- 18) 中西淑美: 医療コンフリクトマネジメント導入基礎編. 名古屋第二赤十字病院ワークショップ研修, 愛知; 2010年8月
- 19) 中西淑美: 医療コンフリクトマネジメント導入基礎編. 東北厚生局医療安全研修ワークショップ, 仙台; 2010年8月
- 20) 中西淑美: 医療コンフリクトマネジメント導入基礎編. JAHM近畿支部ワークショップ研修, 大阪; 2010年9月
- 21) 中西淑美: 医療コンフリクトマネジメント導入基礎編. JAHM中国支部ワークショップ研修, 岡山; 2010年9月
- 22) 中西淑美: 医療安全と医療コンフリクトマネジメント. 熊本保険医協会ワークショップ研修, 熊本; 2010年10月
- 23) 中西淑美: 医療コンフリクトマネジメントトレーナー編. 日本医療機能評価機構ワークショップ研修, 東京; 2010年10月
- 24) 中西淑美: 院長対象の医療コンフリクトマネジメント. 国立病院機構九州ブロック, 福岡; 2010年10月
- 25) 中西淑美: 看護管理と医療コンフリクトマネジメント. 岩手県医療局部会教育講演, 岩手; 2010年11月
- 26) 中西淑美: 院内コンフリクト. 島根中央病院教育講演, 島根; 2010年11月
- 27) 中西淑美: 医療コンフリクトマネジメント総論. 熊本中央病院教育講演, 熊本; 2010年11月
- 28) 中西淑美: 医療コンフリクトマネジメント総論. 北村山公立病院, 山形; 2010年11月
- 29) 中西淑美: 医師対象の医療コンフリクトマネジメント. 済生会宇都宮病院, 宇都宮; 2010年12月
- 30) 中西淑美: 医療コンフリクトマネジメントと看護管理. 東北大学附属病院看護部教育講演, 仙台; 2010年12月

#### (4) 研究会

##### i 特別講演

- 1) 中西淑美: 母と子の市民講座. NPO法人AGORA, 京都; 2010年11月

##### ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 中西淑美: 医療コンフリクトマネジメント総論 - メディエーションの理論と技法. 山形大学附属病院医療安全研修会講演, 山形; 2010年5月
- 2) 中西淑美: 医療事故と第三者ADRメディエーション(1). 愛媛県医師会, 愛媛; 2010年7月
- 3) 中西淑美: 医療事故と第三者ADRメディエーション(2). 愛媛県医師会, 愛媛; 2009年8月
- 4) 中西淑美: 医療コンフリクトマネジメント総論. 新潟県医師会, 新潟; 2010年7月

##### iii 一般演題

- 1) 中西淑美: 被害者の声を聴く. 日本医療メディエーター協会(JAHM)シンポジウム, 東京; 2010年10月
- 2) 中西淑美: 医療メディエーターの業務指針. 日本医療メディエーター協会(JAHM)シンポジウム, 東京; 2010年12月

#### (5) その他

- 1) 中西淑美: 医療コンフリクトマネジメント部会教育担当者として教育評価項目指導. 財団法人医療機能評価機構 - 全国患者安全推進協議会, 東京; 2010年4月-7月
- 2) 中西淑美: 調停相談. 山形県調停協会, 山形; 2010年11月
- 3) 中西淑美: 教育評価者として指導. 早稲田総研インターナショナル医療コンフリクトマネジメント部会, 東京; 2010年4月-7月

### 3. 学会, 講演会, シンポジウム, ワークショップ等の開催

- 1) 中西淑美: 生命倫理と医療メデイエーション. 山形県医療ADR学術研究会シンポジウム, 山形; 2010年9月
- 2) 中西淑美: 対人関係とコンフリクト. 産科・小児科市民と語る会 橋井クリニックランチョンセミナー, 京都; 2010年5月
- 3) 中西淑美: 医療メデイエーション事例検討会. ADR東北有志研究会学外勉強会, 山形; 2010年4月-12月(月1回)
- 4) 中西淑美: 医療コンフリクトマネジメント勉強会. ADR山形大学学内定例勉強会, 山形; 2010年4月-12月(隔月1回)

# 遺伝子実験施設

## 1. 論文

### (1) 原著

- 1) Okano S, Zhou L, Kusaka T, Shibata K, Shimizu K, Gao X, Kikuchi Y, Togashi Y, Hosoya T, Takahashi S, Nakajima O, Yamamoto M : Indispensable function for embryogenesis, expression and regulation of the nonspecific form of the 5-aminolevulinate synthase in mouse. *Genes Cells* 2010;15:77-89
- 2) Okano S, Hayasaka K, Igarashi M, Iwai H, Togashi Y, Nakajima O : Non-obese early onset diabetes mellitus in mutant cryptochrome1 transgenic mice. *Eur J Clin Invest.* 2010;40:1011-1017

### (2) 総説

- 1) 中島 修 : X染色体連鎖型鉄芽球性貧血モデルマウス. *細胞*. 2010年 ; 42(554) :20-23

## 2. 学会報告

### (1) 国内の学会

#### i 一般演題

- 1) Osamu Nakajima, Kazuhiro Shimizu, Satoshi Okano, Masayuki Yamamoto: Hypnotic effect of pentobarbital and ethanol in 5-aminolevulinate synthase 1 (ALAS1) -partially deficient mice. *BMB2010* 第33回日本分子生物学会年会, 神戸 ; 2010年12月
- 2) 角田 智志, 木村 直子, 井内 良仁, 阿部 宏之, 中島 修, 戸津川 清, 藤井 順逸 : 内因性酸化ストレス亢進によるマウス着床前胚の発生段階に依存した分裂停止および細胞死の解析. *BMB2010* 第33回日本分子生物学会年会, 神戸 ; 2010年12月
- 3) 岡野聡, 早坂清, 五十嵐雅彦, 岩井晴恵, 富樫義之, 中島修: 変異型 CRY1 トランスジェニックマウスの示す非肥満・若年発症糖尿病. (プレジデントポスター発表) 第53回日本糖尿病学会年次学術集会, 岡山; 2010年5月
- 4) 岡野聡, 早坂清, 五十嵐雅彦, 富樫義之, 中島修: 変異型CRY1 過剰発現マウスの膵島の異常. 第17回日本時間生物学会学術大会, 東京; 2010年11月
- 5) Okano S, Hayasaka K, Igarashi M, Togashi Y, Nakajima O: Abnormal islet architecture in diabetic mutant cryptochrome1 transgenic mice. 第33回日本分子生物学会年会・第83回日本生化学会大会合同大会(BMB2010), 神戸; 2010年12月

### (2) 国内地方会

#### i 一般演題

- 1) 岡野聡, 早坂清, 五十嵐雅彦, 富樫義之, 中島修: 変異型CRY 過剰発現マウスの膵島の構成異常. 第48回日本糖尿病学会東北地方会, 仙台; 2010年11月

### (3) 研究会

#### i 特別講演

- 1) 中島 修 : ヘムオキシゲナーゼ1 全身性過剰発現マウスにおける鉄過剰とポルフィリン症の発症. 第7回HO研究フォーラム, 京都市 ; 2010年9月

#### ii 一般演題

- 1) 清水 和弘, 岡野 聡, 中島 修 : 5-アミノレブリン酸合成酵素ALAS1 部分欠損マウスに対する麻酔薬による催眠作用の解析. 第18回山形分子生物学セミナー, 山形市 ; 2010年12月

## 3. 学会, 講演会, シンポジウム, ワークショップ等の開催

- 1) 第18回山形分子生物学セミナー, 山形市 ; 2010年12月
- 2) 蛋白質同定のための質量分析講習会 (第7回). 遺伝子実験施設講習会, 山形市 ; 2010年2月



- 3) 遺伝子改変マウス作製技術講習会「トランスジェニックマウス作製の実際」(第8回)．遺伝子実験施設講習会, 山形市 ; 2010年3月
- 4) DNA組換え実験トレーニングコース (第8回)．遺伝子実験施設講習会, 山形市 ; 2010年3月
- 5) DNAクローニング技術講習会 (第6回)．遺伝子実験施設講習会, 山形市 ; 2010年6月

### 検査部

#### 1. 論文

##### (1) 原著

- 1) 森兼啓太：変わりゆく新型インフルエンザ対策. 臨床病理. 2010;58(3):254-262
- 2) 針原康, 小西敏郎, 森兼啓太, 佐和章弘, 清水潤三, 山崎隆志：SSI サーベイランスの全国集計結果および第14・15回SSIサーベイランス研究会報告. 日本環境感染学会誌. 2010; 25(3): 172-177

##### (2) 総説

- 1) 森兼啓太：医療従事者のための新型インフルエンザへの具体的な対応～流行状況とワクチン接種～. INFECTION CONTROL. 2010; 19(1): 14-16
- 2) 森兼啓太：新型インフルエンザ～現状と今後の対応～. 医学のあゆみ. 2010; 232(13): 1303-1309
- 3) 森兼啓太：オーストラリアにおける新型インフルエンザ対応. 感染制御. 2010; 6(1): 7-10
- 4) 森兼啓太：感染症法に基づく感染症類型. 内科. 2010; 105(6): 1244-48
- 5) 森兼啓太：新型インフルエンザ pandemic (H1N1) 2009. 内科. 2010; 105(6): 1254
- 6) 森兼啓太：医療関連感染サーベイランス. 小児看護. 2010; 33(8): 1078-1082
- 7) 森兼啓太：周術期管理の話題～感染症対策～. Medicament News. 2010; 第2020号: 1-3
- 8) 森兼啓太：パスキュラーアクセス感染率. 透析ケア. 2010; 16(10): 1128
- 9) 森兼啓太：新型インフルエンザのトリビア. INFECTION CONTROL. 2010; 19(11): 1160-1164
- 10) 森兼啓太, 満田年宏：第5回医療関連感染に関する十年次国際会議について(後編). 感染制御. 2010; 6(3): 207-211
- 11) 森兼啓太：APICでの注目すべき情報. INFECTION CONTROL. 2010; 19(12): 1248-1250
- 12) 白田亨, 森兼啓太：サンクHbA1c. 肥満と糖尿病. 2010; 9(3): 437-439

##### (3) 著書

- 1) 森兼啓太：第1章35 集団感染対策. 矢野邦夫, 森兼啓太, 感染対策エビデンス集. 大阪; メディカ出版, 2010: 147-149
- 2) 森兼啓太：第3章8 世界保健機関(WHO)の方針. 矢野邦夫, 森兼啓太, 感染対策エビデンス集. 大阪; メディカ出版, 2010: 268-269
- 3) 森兼啓太：Ⅲ部10章C-3,4 高齢者施設における重要な感染症対策～MRSA・多剤耐性緑膿菌～. 田宮菜奈子, 阿部芳道, 山本秀樹, 根拠にもとづく高齢者施設ケア. 京都; 金芳堂, 2010: 249-252

#### 2. 学会報告

##### (1) 国際学会

###### i 一般演題

- 1) Morikane K, Harihara Y, Konishi T: Usefulness of standardized infection ratio as an indicator for the increase of surgical site infection frequency. The 48th annual meeting of the Infectious Disease Society of America, Vancouver, Canada; 2010. 10
- 2) Otsu N, Mizutani M, Yamada Y, Sato M, Sato T, Morikane K, Krachi H, Kimura W: PREOPERATIVE IMMUNONUTRITION MAY BE POTENT TO PREVENT THE NUTRITIONAL DEPLETION IN PREOPERATIVE PERIOD OF THE PATIENTS WITH DIGESTIVE ORGAN CANCER. 32nd ESPEN Congress, Nice; 2010. 09
- 3) Sato T, Nagasawa M, Kori Y, Inuduka K: Antimicrobial resistance of Gram negative bacteria in Japan.

(2) 国内の学会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 森兼啓太：インフルエンザ感染対策に関する世界のコンセンサス. 第 25 回日本環境感染学会, 東京; 2010 年 2 月
- 2) 森兼啓太：集団感染事例に対する公的機関の関与の実際. 第 25 回日本環境感染学会, 東京; 2010 年 2 月
- 3) 森兼啓太：外科医の立場を尊重した感染対策への助言. 第 84 回日本感染症学会, 京都; 2010 年 4 月
- 4) 森兼啓太：感染症検査の今後. 第 57 回日本臨床検査医学会学術集会, 東京; 2010 年 9 月
- 5) 森兼啓太：SSI サーベイランスの集計結果からみた SSI 発生の動向. 第 32 回日本手術医学会総会, 横浜市; 2010 年 10 月
- 6) 森兼啓太：外科医のための最善の SSI 防止対策. 第 72 回日本臨床外科学会総会, 東京; 2010 年 11 月

ii 一般演題

- 1) 高橋陽一, 森兼啓太, 谷口弘美, 他：透析関連感染サーベイランスシステムの構築. 第 25 回日本環境感染学会, 東京; 2010 年 2 月
- 2) 上野一枝, 森兼啓太：透析用短期留置カテーテル関連感染サーベイランスについての報告. 第 55 回日本透析医学会総会, 神戸市; 2010 年 6 月
- 3) 帯金里美, 沼野正浩, 森兼啓太：サーベイランスによる透析関連感染の現状把握. 第 55 回日本透析医学会総会, 神戸市; 2010 年 6 月
- 4) 渡辺俊夫, 和田由美, 深瀬さおり, 阿部宏美, 佐藤智明, 森兼啓太, 渡邊哲, 久保田功：Holter 心電図を用いたブルガタ型心電図のパターン検出. 第 27 回日本心電学会, 大分; 2010 年 10 月
- 5) 大津信博, 佐藤智明, 森兼啓太, 倉智博久, 水谷雅臣, 木村理：インパクトの術前摂取による手術待機中の栄養低下抑制効果に関する検討. 第 42 回日本臨床検査自動化学会, 神戸市; 2010 年 10 月
- 6) 佐藤直仁, 白田亨, 中嶋英治, 佐藤智明, 森兼啓太, 倉智博久：血清ガストリン放出ペプチド前駆体 (ProGRP) 測定における腎機能障害の影響の検討. 第 42 回日本臨床検査自動化学会, 神戸市; 2010 年 10 月

(3) 国内地方会

i 特別講演

- 1) 森兼啓太：新型インフルエンザの総括. 第 488 回北上医師会医学集談会, 北上市; 2010 年 5 月
- 2) 森兼啓太：2009 年新型インフルエンザの総括と、今後の流行を見据えたインフルエンザ対策. 第 64 回東北医師会連合会総会並びに学術大会, 山形市; 2010 年 9 月

ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 森兼啓太：2009 年新型インフルエンザの総括と、今後の流行を見据えた医療機関での新型インフルエンザ対策. 第 24 回東北救急医学会総会, 横手市; 2010 年 6 月
- 2) 森兼啓太：2009 年新型インフルエンザ流行の総括と今冬のインフルエンザ対策. 第 58 回日本化学療法学会西日本支部総会, 大分市; 2010 年 11 月

iii 一般演題

- 1) 白田亨, 阿部知世, 佐藤直仁, 佐藤智明：シクロホスファミドによる血清コリンエステラーゼ活性低下原因の検討. 第 51 回東北医学検査学会, 八戸市; 2010 年 10 月
- 2) 叶内和範, 佐藤牧子, 菊地真起子, 中嶋英治, 佐藤智明：dRVTT 法による LA 判定の問題点について. 第 51 回東北医学検査学会, 八戸市; 2010 年 10 月
- 3) 阿部宏美, 渡辺俊夫, 深瀬さおり, 和田由美, 佐藤智明, 森兼啓太, 小久保安昭：頸動脈内膜剥離術にて摘出された plaque の病理組織像と術前超音波所見との比較. 第 32 回山形県医学検査学会, 米沢市; 2010 年 11 月
- 4) 堀龍一郎, 山田みゆき, 佐藤充男, 佐藤智明, 森兼啓太：全自動免疫蛍光測定装置  $\mu$ TAS Wako i30 による AFP、AFP-L3%および PIVKA II の基礎的検討. 第 32 回山形県医学検査学会, 米沢市; 2010 年 11 月
- 5) 佐藤直仁, 太田玲子, 白田亨, 阿部知世, 佐藤智明, 森兼啓太：ミュータス Wako i30 によるプロカルシトニン (PCT) 測定の基礎的検討. 第 32 回山形県医学検査学会, 米沢市; 2010 年 11 月

#### (4) 研究会

##### i 特別講演

- 1) 森兼啓太：感染対策最近のトピックス. 第12回山形県感染対策研究会, 山形市; 2010年6月
- 2) 森兼啓太：感染対策アップデート. 第6回釧路感染対策懇話会, 釧路市; 2010年7月
- 3) 森兼啓太：最近のかわりゆく SSI サーベイランス. 第7回東京消化器外科感染症研究会, 東京; 2010年7月
- 4) 森兼啓太：院内感染アウトブレイク事例から学ぶ感染対策の基本. 第14回せんぼ医療感染講習会, 東京; 2010年10月
- 5) 森兼啓太：多剤耐性アシネトバクター集団発生事例にみる日常の感染対策の重要性. 熊本地区感染対策セミナー, 熊本市; 2010年11月
- 6) 森兼啓太：アメリカの感染対策ガイドラインをどう活かすか. テルモ感染対策セミナー, 神戸市; 2010年12月

##### ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 森兼啓太：かわりゆく新型インフルエンザ対策. 第8回城東皮膚科女医会, 東京; 2010年1月
- 2) 森兼啓太：感染制御をめぐる最新のトピックス. 感染管理認定看護師のためのキャリアディベロプメント講座, 東京; 2010年1月
- 3) 森兼啓太：感染症トピックス～新型インフルエンザと術後感染対策～. 至誠堂病院院内講演会, 山形市; 2010年1月
- 4) 森兼啓太：周術期感染対策. 平成21年度院内感染対策講習会, 仙台市; 2010年1月
- 5) 森兼啓太：新型インフルエンザ騒動の顛末. 湘南中央病院感染対策セミナー, 藤沢市; 2010年1月
- 6) 森兼啓太：新型インフルエンザの総括と今後と見据えて. 山形大学医学部附属病院感染対策講演会, 山形市; 2010年2月
- 7) 森兼啓太：インフルエンザ・新型インフルエンザ. 感染症学術セミナー, 東京; 2010年2月
- 8) 森兼啓太：2009年感染対策トピックス～新型インフルエンザ対策と多剤耐性アシネトバクター～. 第4回多摩感染対策懇話会, 東京; 2010年2月
- 9) 森兼啓太：アメリカの感染制御最新情報～ガイドラインとサーベイランス～. CDC ガイドライン解説セミナー, 大阪; 2010年2月
- 10) 森兼啓太：アメリカの感染制御最新情報～ガイドラインとサーベイランス～. CDC ガイドライン解説セミナー, 東京; 2010年2月
- 11) 森兼啓太：新型インフルエンザの総括と今後に向けて. 福島県立医大院内感染対策研修会, 福島市; 2010年2月
- 12) 森兼啓太：2009年新型インフルエンザ流行の総括と今後に向けた対策. 第52回新潟透析懇話会, 新潟市; 2010年5月
- 13) 森兼啓太：Avian influenza and pandemic influenza: current situation. 第20回 ISJ 上級コース, 東京; 2010年5月
- 14) 森兼啓太：BSI 防止 CDC ガイドライン改訂を目前にして. 多摩感染対策懇話会, 東京; 2010年6月
- 15) 森兼啓太：非日常のなかの日常～院内感染アウトブレイクにみる感染対策の基本～. 新潟大学歯学総合病院院内感染対策研修会, 新潟市; 2010年6月
- 16) 森兼啓太：感染対策 UpToDate. 北海道がんセンター感染管理研修会, 札幌市; 2010年6月
- 17) 森兼啓太：看護に生かす最新の感染症情報. 神奈川県看護協会教育研修会, 横浜市; 2010年7月
- 18) 森兼啓太：手術部位感染の減少を目指して. 山形済生病院院内感染対策研修会, 山形市; 2010年7月
- 19) 森兼啓太：手術部位感染の減少を目指して. 置賜総合病院院内感染対策研修会, 川西町; 2010年7月
- 20) 森兼啓太：院内感染防止に役立つサーベイランスの基礎知識. 福山医療センターオープンカンファレンス, 福山市; 2010年7月
- 21) 森兼啓太：2009年新型インフルエンザの総括と、今後の流行を見据えたインフルエンザ対策. 備中保健所新型インフルエンザ対応研修会, 倉敷市; 2010年8月
- 22) 森兼啓太：アメリカ CDC の感染対策ガイドラインをどう活かすか?. 第3回東北感染制御ネットワークフォーラム, 仙台市; 2010年8月

- 23) 森兼啓太：多剤耐性アシネトバクター集団発生とアスペルギルス対策にみる患者療養環境整備の重要性. 豊田厚生病院院内感染対策研修会, 豊田市; 2010年9月
- 24) 森兼啓太：MRSA～何が問題なのか?～. 山形大学医学部附属病院感染対策研修会, 山形市; 2010年9月
- 25) 森兼啓太：エビデンスに基づく術後感染対策とカテーテル関連血流感染対策. 坂総合病院感染対策講演会, 塩釜市; 2010年9月
- 26) 森兼啓太：HAIサーベイランス. APIC トピックスセミナー2010, 東京; 2010年9月
- 27) 森兼啓太：医療施設における多剤耐性アシネトバクターのAPICガイド. APIC トピックスセミナー2010, 東京; 2010年9月
- 28) 森兼啓太：最新の感染症事情. 第13回感染症予防歯科衛生士講習会, 熊本市; 2010年9月
- 29) 森兼啓太：多剤耐性アシネトバクターのアウトブレイク事例. 第15回城東地区感染管理研究会, 東京; 2010年9月
- 30) 森兼啓太：非日常のなかの日常～院内感染アウトブレイクにみる感染対策の基本～. 亀田総合病院院内感染対策研修会, 千葉; 2010年9月
- 31) 森兼啓太：感染制御をめぐる最新のトピックス. 感染管理認定看護師のためのキャリアアディベロブメント講座, 東京; 2010年9月
- 32) 森兼啓太：院内感染対策の基礎と応用～標準予防策と術後感染対策～. 鶴岡市立庄内病院院内感染対策研修会, 鶴岡市; 2010年9月
- 33) 森兼啓太：感染症への備えとしての職種間連携. 山形大学医学部公開講座, 山形市; 2010年9月
- 34) 森兼啓太：2009年新型インフルエンザの総括と今冬のインフルエンザ対策. 2010年度郡山医師会定期予防接種受託講習会, 郡山市; 2010年10月
- 35) 森兼啓太：アシネトバクター～何が問題なのか?～. 山形大学医学部附属病院感染対策研修会, 山形市; 2010年10月
- 36) 森兼啓太：感染症に関する最近の話題. 那須郡市医師会学術講演会, 那須塩原市; 2010年10月
- 37) 森兼啓太：多剤耐性菌の集団発生～どうとらえ、どう対処するか～. シルバー&ヘルスケアビジネス戦略特別セミナー, 東京; 2010年10月
- 38) 森兼啓太：手術部位感染サーベイランスのすべて. 県立広島病院感染対策講演会, 広島市; 2010年11月
- 39) 森兼啓太：SSIサーベイランスの意義とその活用法. 院内感染対策サーベイランス事業説明会, 東京; 2010年11月
- 40) 森兼啓太：血管内留置カテーテル感染予防のためのCDCガイドラインの要点. 病院感染制御担当者育成講習会, 東京; 2010年11月
- 41) 森兼啓太：病院感染サーベイランスの意義と目的. 東京衛生病院院内講習会, 東京; 2010年11月
- 42) 森兼啓太：非日常のなかの日常～院内感染アウトブレイク事例から学ぶ日常の感染対策の重要性～. 石川県石川中央保健所院内感染対策研修会, 金沢市; 2010年11月
- 43) 森兼啓太：多剤耐性菌の現状と集団発生への対処. 病院管理セミナー, 東京; 2010年11月
- 44) 森兼啓太：院内感染集団発生にみる日常の感染対策の重要性. 筑西保健所地区院内感染対策研修会, 茨城県筑西市; 2010年11月
- 45) 森兼啓太：周術期感染対策のすべて. 埼玉県立がんセンター院内感染対策委員会主催講演会, 埼玉県伊奈町; 2010年11月
- 46) 森兼啓太：感染対策最新情報～多剤耐性アシネトバクター集団発生事例と血管内留置カテーテル関連感染防止～. 前橋赤十字病院感染対策講演会, 群馬県前橋市; 2010年12月
- 47) 森兼啓太：多剤耐性アシネトバクターとその集団発生. シスメックス株式会社社内講演会, 神戸市; 2010年12月
- 48) 佐藤智明：集団感染を疑った場合の臨床微生物検査担当技師の役割. 第3回東北感染制御ネットワークフォーラム, 仙台市; 2010年8月
- 49) 太田玲子：院内での他職種との連携. 院内での職種別の役割, ICTラウンドの実際, 微生物検査室に望むこと～ICMTの立場から～. 平成22年度東北地区感染制御部門研修会, 新潟市; 2010年12月
- 50) 叶内和範：各種APTT試薬におけるLAの検出について. 第9回東北地区凝固線溶症例研究会, 盛岡市; 2010年2月

- 51) 佐藤智明：微生物検査に必要な臨床との情報交換. 第3回山形感染制御研究会, 山形市; 2010年7月
- 52) 佐藤智明：静岡県内の緑膿菌感受性成績について. 第2回静岡東部耐性菌・感染制御研究会, 静岡県沼津市; 2010年8月
- 53) 佐藤智明：緑膿菌の感受性率～ローカルデータの必要性～. 山形耐性菌・感染制御研究会, 山形市; 2010年10月
- 54) 佐藤智明：血液培養のピットホールについて. 東北アカデミックフォーラム in 仙台 マイクロバイオロジーセッション, 仙台市; 2010年10月
- 55) 佐藤智明：ICT活動への取り組みかた. 第17回中部地区微生物検査宿泊研修会, 静岡市; 2010年10月

## ii 一般演題

- 1) 大津信博, 水谷雅臣, 柏倉美幸, 丘龍祥, 佐藤智明, 森兼啓太, 倉智博久, 木村理：免疫賦活栄養調整食摂取による手術待機中の栄養低下防止効果に関する検討. 第25回東北静脈経腸栄養研究会, 山形市; 2010年11月
- 2) 佐藤智明, 長沢光章, 郡美夫, 犬塚和久, 荒川宜親：日本における薬剤耐性菌の検出現状～薬剤耐性菌検査の現状と問題点～. 第39回薬剤耐性菌研究会, 群馬県伊香保; 2010年11月

## (5) その他

- 1) 佐藤智明：検査技師の役割～微生物関連の検査と迅速で有効な臨床への情報伝達～. 山形大学医学部公開講座 感染症への備え～医療現場での最低限必要な準備と対策～, 山形市; 2010年9月

# 放射線部

## 1. 論文

### (1) 総説

1) 江口陽一：血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師. インナービジョン 2010 ; 25(1) : 1-2

## 2. 学会報告

### (1) 国際学会

#### i 一般演題

1) Chidu Onuma, Ryuji Suzuki, Yukiko Ito, Chie Kawasaki, Kenji Nemoto : Performance evaluation of direct conversion digital mammography system with photoconductive switching readout method . ECR2010 , Vienna/Austria ; 2010年3月

### (2) 国内の学会

#### i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ等・教育講演等

1) 江口陽一：血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師について. 第74回日本循環器学会総会・学術集会 コメディカルセッション シンポジウム I , 京都 ; 2010年3月

2) 佐藤俊光：CTと血管撮影によるASOの評価. 第19回日本心血管カテーテル治療学会 合同シンポジウム「閉塞性動脈硬化症 (ASO) の包括的チーム医療について」, 仙台 ; 2010年8月

#### ii 一般演題

1) 山田金市：循環器 X 線装置において、体厚測定による面積線量計表示値から入射皮膚線量の換算法について：日本放射線技術学会第66回総会学術大会, 横浜市 ; 2010年4月

2) 大沼千津、藤原知佳、山田金市、江口陽一：循環器用 X 線診断装置からの照射条件出力機能を利用した皮膚吸収線量の算出. 第66回総会学術大会, 横浜 ; 2010年4月

3) 伊藤由紀子、丹治一、小原真、渡辺道子、山澤喜文、高橋友佳、江口陽一：頭部領域の Phase cycling Diffusion Prepared Imaging (PC-DPI) の検討. 日本放射線技術学会 第66回総会学術大会, 横浜 ; 2010年4月

4) 丹治一、伊藤由紀子、小原真、八巻智也、高橋大輔：Phase cycling Diffusion Prepared Imaging (PC-DPI) と SE-EPI DWI における拡散反映能の比較検討. 日本放射線技術学会 第66回総会学術大会, 横浜 ; 2010年4月

5) 佐藤俊光、保吉和貴、藤原知佳、江口陽一：下肢領域における CT-AEC の動作とノイズ. 日本放射線技術学会第38回秋季学術大会, 仙台 ; 2010年10月

### (3) 国内地方会

#### i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ等・教育講演等

1) 江口陽一：医療被ばくの最適化を考える. 日本放射線技師会 平成22年度東北地域学術大会 シンポジウム II , 盛岡 ; 2010年10月

2) 佐藤俊光：管電圧の選択をどうされていますか？. テクニカルミーティング CT 分野, 日本放射線技術学会第48回東北部会学術大会, 弘前 ; 2010年11月

#### ii 一般演題

1) 池田基樹：心臓核医学検査における再構成法の違いによる検討. 山形県放射線技師会第46回山形県放射線技師学術大会, 山形 ; 2010年5月

2) 保吉和貴、佐藤俊光、藤原知佳、江口陽一：当院における CABG 術後評価としての心臓 CT. 山形県放射線技師会第46回山形県放射線技師学術大会, 山形 ; 2010年5月

3) 藤原知佳、佐藤俊光、保吉和貴、江口陽一：肝臓ダイナミック CT における水押し効果の検討. 日本放射線技術学会第48回東北部会学術大会, 弘前 ; 2010年11月

4) 高橋友佳、伊藤由紀子、芳賀和幸、工藤亜紀、江口陽一、小久保安昭：3.0T MRI 対応運動脈瘤クリップの画像アーチファクトおよび吸引力の検討. 日本放射線技術学会東北部会第48回学術大会, 岩手 ; 2010年11月

#### (4) 研究会

##### i 一般演題

- 1) 山田金市：シンポジウム-IVR基準点線量と画質について考える。第49回東北循環器撮影研究会，盛岡市；2010年7月
- 2) 伊藤由紀子：乳腺診療ガイドライン～乳腺MRI撮像法の標準化に向けて。第9回東北MR技術研究会，福島；2010年7月
- 3) 川崎千絵：乳腺超音波検査の基本撮影技術。第55回放射線技術学会撮影分科会，仙台市；2010年10月
- 4) 大沼千津：デジタルマンモグラフィの品質管理について-Part 1-。第27回乳房撮影研究会，山形；2010年10月
- 5) 山田金市：教育講演-小児の心疾患と循環器撮影について。第59回血管撮影研究会，新庄市；2010年11月
- 6) 保吉和貴：当院の3Dアンギオ撮影法（東芝社製）。山形県放射線技師会第59回血管撮影研究会，山形；2010年11月
- 7) 大沼千津：デジタルマンモグラフィの品質管理について-Part 2-。第28回乳房撮影研究会，山形；2010年12月

#### (5) その他

- 1) 伊藤由紀子：Tractography（錐体路）を簡単に作成するための一工夫。第1回フィリップスユーザーズミーティング全国大会 Gyro Cup2010，茨城；2010年10月

### 3. 学会，講演会，シンポジウム，ワークショップ等の開催

- 1) 第46回山形県放射線技師学術大会，山形；2010年5月
- 2) 第25回山形県造影画像研究会，山形；2010年6月
- 3) 第12回東北デジタル医用画像研究会，山形；2010年6月
- 4) 第49回東北循環器撮影研究会，盛岡；2010年7月
- 5) 山形県放射線技師会第27回乳房撮影研究会，山形；2010年10月
- 6) 山形県放射線技師会第28回乳房撮影研究会，山形；2010年12月



# 特殊診療施設

## 輸血部

### 1. 学会報告

#### (1) 国内の学会

##### i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 高橋俊二：シンポジウム「血液事業の広域化」山形県における検査・製剤業務集約と課題. 第18回赤十字血液シンポジウム, 仙台市; 2010年2月
- 2) 高橋俊二：シンポジウム「輸血検査の再考察」カラム凝集法：間接抗グロブリン法単独による不規則抗体検査. 第58回日本輸血・細胞治療学会, 名古屋市; 2010年5月

#### (2) 国内地方会

##### i 一般演題

- 1) 高橋俊二, 石山裕子, 奈良崎正俊, 田嶋克史：当院における血小板製剤の使用・廃棄状況の推移について. 第96回日本輸血・細胞治療学会東北支部例会, 仙台市; 2010年3月
- 2) 奈良崎正俊, 高橋俊二, 石山裕子, 田嶋克史：CBC低値領域の施設間差調査. 第96回日本輸血・細胞治療学会東北支部例会, 仙台市; 2010年3月

#### (3) 研究会

##### i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 高橋俊二：講演「認定輸血検査技師に期待すること」. 平成22年度第1回山臨技輸血・移植検査研修会, 山形; 2010年9月
- 2) 高橋俊二：講演「認定輸血検査技師-輸血担当技師に望むこと」日本海側輸血検査セミナー, 秋田; 2010年9月
- 3) 高橋俊二：講演「輸血医療に携わった30数年を振り返り～今, 検査技師に期待すること～」. 平成22年度東北輸血・移植検査研修会, 盛岡; 2010年11月

# リハビリテーション部

## 1. 論文

### (1) 原著

- 1) Dairaku K, Ishii M, Kobayashi S, Kawaji H, Sasaki K, Takakubo Y, Takagi M : Initial evaluation on subsidence of cemented collarless polished tapered stem applied to the patients with narrow femoral medullar canal. *Open Orthop J.* 2010 ; 4 : 141-151
- 2) Pajarinen J, Cenni E, Savarino L, Gomez-Barrena E, Tamaki Y, Takagi M, Salo J, Konttinen YT : Profile of Toll-like positive cells in septic and aseptic loosening of total hip arthroplasty implants. *J Biomed Mater Res A.* 2010 ; 94 : 84-92
- 3) Pajarinen J, Mackiewicz Z, MD, Pöllänen R, Takagi M, Epstein N, Ting Ma T, Goodman SB, Konttinen YT : Titanium particles modulate expression of Toll-like receptor proteins. *J Biomed Mater Res A.* 2010 ; 92 : 1528-1537
- 4) Sagae M, Suzuki K, Fujita T, Sotokawa T, Nakano H, Naganuma M, Narita A, Sato T, Fujii H, Ogino T, Naito A : Strict actions of the human wrist extensors: A study with an electrical neuromuscular stimulation method. *J Electromyogr Kinesiol.* 2010 ; 20 : 1178-1185
- 5) Takakubo Y, Takagi M, Tamaki Y, Sasaki A, Nakano H, Orui H, Ogino T : Mid-term results of joint preserving procedures by a modified Mann method for big toe deformities in rheumatoid patients with undergoing forefoot surgeries. *Mod Rheumatol.* 2010 ; 20 : 147-153
- 6) 川路博之, 石井政次, 浜崎允, 玉木康信, 高木理彰 : 当院における大転子側方移行術の成績. *日本股関節学会誌.* 2010 ; 36 : 345-347
- 7) 佐々木幹, 来次浩之, 豊口禎子, 岩崎聖, 高窪祐弥, 白石正, 赤塚孝雄, 高木理彰 : 凍結乾燥アミカシン含有骨セメントの性状に関する検討. *日人工関節会誌.* 2010 ; 40 : 232-233
- 8) 鈴木光典, 小林真司, 高木理彰, 荒川忍, 佐々木幹, 高窪祐弥 : 人工股関節置換術を施行した強直股に対してバイオフィードバック機器を用いた1例. *整形外科.* 2010 ; 61 : 343-346
- 9) 大楽勝之, 玉木康信, 川路博之, 石井政次, 高木理彰 : Impaction bone graft 法における骨セメントの浸透現象. *日本股関節学会誌.* 2010 ; 36 : 217-221
- 10) 高窪祐弥, 高木理彰, 佐々木幹, 小林真司, 松木宏史, 浅野多聞 : 人工関節手術患者の腎機能評価におけるシスタチンCの有用性. *日人工関節会誌.* 2010 ; 40 : 82-83
- 11) 高窪祐弥, 高木理彰, 浅野多聞, 村成幸, 佐々木幹, 玉木康信, 梁秀蘭, 佐々木明子, 仲野春樹, 大類広, 荻野利彦 : 生物学的製剤投与中の関節リウマチ患者における手術症例の検討. *日本関節病学会誌.* 2010 ; 29 : 231-236
- 12) 高窪祐弥, 高木理彰, 梁秀蘭, 小林真司, 佐々木幹, 玉木康信, 川路博之, 石井政次 : ミノサイクリン長期投与により骨の黒色変化 (Black Bone) を認めた人工股関節手術例の検討. *日本股関節学会誌.* 2010 ; 36 : 672-675
- 13) 武井寛, 橋本淳一, 杉田誠, 仲野春樹, 荻野利彦 : 胸椎凸側椎弓根スクリーと in situ contouring technique による手術の経験. *J Spine Res.* 2010 ; 1 : 2060-2064
- 14) 塚本重治, 大楽勝之, 佐藤哲也, 高木理彰 : 大腿骨転子部骨折に対する Gamma 3 の治療成績. *日本股関節学会誌.* 2010 ; 36 : 409-411
- 15) 仲野春樹, 武井寛, 橋本淳一, 杉田誠, 成田亜矢, 荻野利彦 : 経頭蓋電気刺激による両下肢複合筋活動電位におけるアラーム基準の検討. *脊髄機能診断学.* 2010 ; 32 : 155-160

### (2) 総説

- 1) 石井政次, 川路博之, 玉木康信, 高木理彰, 佐々木幹, 大楽勝之 : 感染性人工股関節治療での再建法. *整形災害外科.* 2010 ; 53 : 579-587

- 2) 高木理彰, 玉木康信, 高窪祐弥, 平山朋幸, 佐々木幹 : 人工関節術後感染と生体反応. Monthly Book Orthopaedics. 2010 ; 23 : 7-16

(3) 著書

- 1) 高木理彰 : 下肢静脈瘤. 国分正一ほか編, 今日の整形外科治療指針第6版. 東京 ; 医学書院, 2010 : 318

## 2. 学会報告

(1) 国際学会

i 一般演題

- 1) Hirayama T, Tamaki Y, Takakubo Y, Ogino T, Goodman SB, Konttinen YT, Takagi M : Adherent endotoxin modulate expression of Toll-like receptor (TLR) 4 and their adaptor molecules phagocytosis of titanium particles in monocytes/macrophages. 7th Combined Meeting of the Orthopaedic Research Societies, Kyoto ; October 2010
- 2) Nakano H, Takei H, Hashimoto J, Sugita M, Narita A, Ogino T : Alarm criteria for compound muscle action potential evoked by transcranial electrical stimulation in bilateral lower limbs recording. 29th International Conference of Clinical Neurophysiology, Kobe ; October 2010
- 3) Takagi M, Tamaki Y, Hirayama T, Sasaki K, Ogino T, Goodman S, Konttinen Y : Activated signal pathway of Toll-like receptor in the synovial-like membrane around aseptic and septic loose artificial hip joints. 57th Annual Meeting of the Orthopaedic Research Society, Long Beach ; January 2010
- 4) Takagi M, Tamaki Y, Takakubo Y, Hirayama T, Ogino T, Goodman S, Konttinen Y : Expression of Toll-like receptors and their adaptor molecules in synoviocytes and sublining cells in actively inflamed rheumatoid synovial membranes. 7th Combined Meeting of the Orthopaedic Research Societies, Kyoto ; October 2010
- 5) Takagi M, Takakubo Y, Hirayama T, Tamaki Y : Increased expression of Toll-like receptors and the adaptor molecules in rheumatoid synovium with active auto-immune inflammation. Annual European Congress of Rheumatology (EULAR 2010), Rome ; June 2010

(2) 国内の学会

i 特別講演

- 1) 高木理彰 : 関節構造と関節破壊を呈する疾患の基礎知識 (教育研修講演) . 第 54 回 日本リウマチ学会総会. 神戸 ; 2010 年 4 月

ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 石川雅樹, 高木理彰, 佐々木幹, 大木弘治, 仲野春樹, 濱田美香, 荒川忍, 大森允, 垂石千佳 : 末期変形性股関節症患者における人工股関節全置換術後の足関節底屈筋力の検討 -歩行能力との関連性に着目して-. 第 59 回 東日本整形災害外科学会, 盛岡 ; 2010 年 9 月
- 2) 高木理彰, 玉木康信, 高窪祐弥, 平山朋幸, 佐々木明子, 梁秀蘭, 石井政次, 荻野利彦 : 関節リウマチ滑膜組織における Toll 様受容体発現に関する検討 (ワークショップ) . 第 54 回 日本リウマチ学会総会, 神戸 ; 2010 年 4 月
- 3) 高木理彰, 佐々木幹, 小林真司, 川路博之, 大楽勝之, 高窪祐弥, 玉木康信, 大木弘治, 塚本重治, 井田英雄, 石井政次 : 無菌性白蓋弛緩に対するケルプールタイプ十字プレートをを用いた機能再建の検討 (シンポジウム) . 第 37 回 日本股関節学会, 福岡 ; 2010 年 10 月

iii 一般演題

- 1) 石川雅樹, 濱田美香, 荒川忍, 大森允, 垂石千佳, 高木理彰 : 末期変形性股関節症患者における人工股関節全置換術後の足関節底屈筋力と歩行能力の関係. 第 45 回 日本理学療法学会大会, 岐阜 ; 2010 年 5 月
- 2) 石川雅樹, 佐々木幹, 大木弘治, 高木理彰 : 人工股関節全置換術と周術期リハビリテーションを受けた末期変形性股関節症患者における足関節底屈筋力の検討 -歩行能力との関連性に着目して-. 第 37 回 日本股関節学会, 福岡 ; 2010 年 10 月
- 3) 大木弘治, 高木理彰, 小林真司, 佐々木幹, 高窪祐弥 : 血液透析患者における THA の周術期合併症の検討. 第 37 回 日本股関節学会, 福岡 ; 2010 年 10 月

- 4) 高木理彰, 佐々木幹, 大楽勝之, 高窪祐弥, 玉木康信, 小林真司, 川路博之, 石井政次: 人工股関節術後感染症例の病態特性と治療法に関する検討. 第40回 日本人工関節学会, 沖縄; 2010年2月
  - 5) 武井寛, 橋本淳一, 杉田誠, 仲野春樹, 荻野利彦: 胸椎凸側椎弓根スクリューと in situ contouring technique による側弯症の矯正. 第83回 日本整形外科学会学術総会, 東京; 2010年5月
  - 6) 武井寛, 橋本淳一, 杉田誠, 仲野春樹, 荻野利彦: in situ contouring technique による側弯症胸腰/腰椎カーブの矯正. 第59回 東日本整形災害外科学会, 盛岡; 2010年9月
  - 7) 武井寛, 橋本淳一, 杉田誠, 仲野春樹: 特発性側弯症側弯症胸腰/腰椎カーブに対する in situ contouring technique. 第44回 日本側弯症学会, 札幌; 2010年10月
  - 8) 仲野春樹, 高木理彰, 佐々木明子, 高窪祐弥, 大類広, 荻野利彦: 関節リウマチ患者における副鼻腔炎の合併状況. 第54回 日本リウマチ学会, 神戸; 2010年4月
  - 9) 仲野春樹, 高木理彰, 佐々木幹, 成田亜矢, 荻野利彦: 血管炎症候群のリハビリテーションの検討. 第47回 日本リハビリテーション医学会, 鹿児島; 2010年5月
  - 10) 橋本淳一, 武井寛, 杉田誠, 仲野春樹, 荻野利彦: 骨粗鬆症性椎体圧迫骨折後遅発性下肢麻痺の神経症候. 第39回 日本脊椎脊髄病学会, 高知; 2010年4月
  - 11) 橋本淳一, 武井寛, 杉田誠, 仲野春樹: 骨粗鬆症性椎体圧迫骨折後遅発性下肢麻痺の神経症候. 第39回 日本脊椎脊髄病学会学術集会, 高知; 2010年4月
  - 12) 花香直美, 土屋登嗣, 菅原正登, 佐竹寛史, 渡邊忠良, 高木理彰, 荻野利彦: 手背に発生した線維形成性線維芽腫 (Desmoplastic fibroblastoma) の一例. 第59回 東日本整形災害外科学会, 2010年9月
  - 13) 平山朋幸, 高木理彰, 玉木康信, 高窪祐弥, 荻野利彦: LPS 刺激骨髄マクロファージにおける Toll-like receptor とアダプター分子発現の検討. 第54回 日本リウマチ学会, 神戸; 2010年4月
  - 14) 平山朋幸, 高木理彰, 玉木康信, 高窪祐弥, 荻野利彦: 骨髄マクロファージにおける Toll-like receptor (TLR) 4 とアダプター分子発現の検討. 第25回 日本整形外科学会基礎学術集会, 京都; 2010年10月
  - 15) 村川美幸, 佐藤肇博, 中嶋英一, 佐々木健, 菊地瑞恵, 辺見大剛, 高木理彰: ハンドセラピー教育 -臨床実習指導と臨床の立場から-. 第59回 東日本整形災害外科学会, 盛岡; 2010年9月
- (3) 国内地方会
- i 特別講演
    - 1) 高木理彰: 感染性人工股関節周囲の生体反応. -DAMPs, PAMPs, ALARMINs- (特別講演). 第58回 宮城リウマチの外科研究会, 仙台; 2010年2月
  - ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等
    - 1) 高木理彰: 外科治療をどのように活用するか? (シンポジウム). 第20回 日本リウマチ学会 北海道東北支部学術集会, 札幌; 2010年9月
  - iii 一般演題
    - 1) 菊池瑞恵, 村川美幸: 小児の両側前腕切断に対する装飾用義手の使用 -食事動作の獲得に向けて-. 第18回 山形県作業療法学会, 山形; 2010年5月
    - 2) 武井寛, 橋本淳一, 杉田誠, 仲野春樹, 荻野利彦: in situ contouring technique による特発性側弯症胸腰椎カーブの矯正. 第108回 東北整形災害外科学会, 弘前; 2010年6月
- (4) 研究会
- i 一般演題
    - 1) 仲野春樹, 武井寛, 橋本淳一, 杉田誠, 成田亜也, 荻野利彦: 当科における脊髄モニタリングのアラーム基準の検討. 第32回 脊髄機能診断研究会, 東京; 2010年2月
    - 2) 成田亜矢, 渡邊忠良, 仲野春樹, 荻野利彦, 長沼誠, 橋爪和足, 内藤輝, 鈴木克彦, 佐藤寿晃: 「手根の力と運動の自動計測・表示・記録装置の臨床応用」. 山形電気生理研究会, 山形; 2010年11月
- (5) その他
- 1) 高木理彰: 関節炎の鑑別診断. -分子標的薬による治療の時代を迎えて- (特別講演). 第16回 山形臨床整形外科懇話会, 山形; 2010年7月
  - 2) 高木理彰: 関節炎. -思い出したいあの疾患, この病態- (特別講演). 第21回 青森県リウマチ懇話会, 八戸; 2010年7月

- 3) 高木理彰：リウマチ性股関節障害の機能再建. -分子標的薬治療の時代を迎えて- (特別講演). 第4回 股基礎の会, 京都；2010年11月
- 4) 高木理彰：人工股関節の生体親和性. -現在, 過去, 未来- (特別講演). 第7回 秋田県南由利地区リウマチと関節疾患懇話会, 大仙；2010年11月
- 5) 高木理彰：人工股関節の生体親和性に関する研究. 山形大学医学部医学会 特別賞 金賞, 2011年1月(受賞)
- 6) 村川美幸：今、出来ること、確認すること -関節リウマチのリハビリテーションと日常生活活動を中心に-. 市民公開講座, 山形；2010年6月

# 病理部

## 1. 論文

### (1) 原著

- 1) Hiroya Ohtake, Hiroshi Kawamura, Masami Matsuzaki, Eiichi Yokoyama, Masayuki Kitajima, Shiro Onizuka, Mitsunori Yamakawa : Oncocytic adrenocortical carcinoma : a case report and review of the literature. *Annals of Diagnostic Pathology*. 2010 ; 14 : 204-208.
- 2) Kamio Y, Maeda K, Moriya T, Takasu N, Takeshita A, Hirai I, Kimura W, Yamakawa M : Clinicopathological significance of cell cycle regulatory factors and differentiation-related factors in pancreatic neoplasms. *Pancreas*. 2010 ; 39 : 345-352
- 3) Orii T, Takeda H, Kawata S, Maeda K, Yamakawa M : Differential immunophenotypic analysis of dendritic cell tumours. *J Clin Pathol*. 2010 ; 63 : 497-503
- 4) Ishida A, Hozumi Y, Goto K, Ito T, Aoyagi M, Yamakawa M : Expression of glucocorticoid receptor spliced variants in lymphoma cell lines. *Hematol Oncol*. 2010 ; 29 : 1-4
- 5) Ishida A, Ohta N, Koike S, Aoyagi M, Yamakawa M : Overexpression of glucocorticoid receptor- $\beta$  in severe allergic rhinitis. *Auris Nasus Larynx*. 2010 ; 37 : 584-588
- 6) 松尾拓, 王玉来, 五十嵐貴宏, 齋藤吉彦, 鈴木恒治, 平田慎也, 伊藤純一, 山川光徳 : シスプラチン/リピオドール懸濁液による肝動脈化学療法後に急速に浸潤性増殖をきたし、診断に苦慮した肝細胞癌の1例. 2010 ; 肝臓 51 (8) : 447-453

### (2) 著書

- 1) 前田邦彦, 山川光徳 : 第I章 医学一般(原因と病態). 鈴木利光, 山川光徳, 吉野正, 医学一般ダイナミック病理学 -365 症例からのアプローチ-. 東京 ; 西村書店, 2010 : 35-49
- 2) 斉藤仁昭, 山川光徳 : 第II章 人体各器官の正常構造と疾患 1. 血液・造血器・リンパ系 C. 正常構造 [リンパ系]. 鈴木利光, 山川光徳, 吉野正, 医学一般ダイナミック病理学 -365 症例からのアプローチ-. 東京 ; 西村書店, 2010 : 140-147
- 3) 山川光徳 : 第II章 人体各器官の正常構造と疾患 5. 循環器系 Box 5-1 Marfan 症候群の診断基準. 鈴木利光, 山川光徳, 吉野正, 医学一般ダイナミック病理学 -365 症例からのアプローチ-. 東京 ; 西村書店, 2010 : 375
- 4) 横井豊治, 山川光徳 : 第II章 人体各器官の正常構造と疾患 6. 呼吸器系 症例 141 突然死. 鈴木利光, 山川光徳, 吉野正, 医学一般ダイナミック病理学 -365 症例からのアプローチ-. 東京 ; 西村書店, 2010 : 426-427
- 5) 山川光徳 : 第II章 人体各器官の正常構造と疾患 12. 内分泌・栄養・代謝系 Box 12-1 ビタミン欠乏症. 鈴木利光, 山川光徳, 吉野正, 医学一般ダイナミック病理学 -365 症例からのアプローチ-. 東京 ; 西村書店, 2010 : 862-863

## 2. 学会報告

### (1) 国内の学会

#### i 一般演題

- 1) 岩場晶子, 大江倫太郎, 加藤智也, 大竹浩也, 山川光徳, 石田晃弘 : 肉腫成分を伴う副鼻腔 small cell carcinoma, neuroendocrine type の1例. 第99回日本病理学会総会, 新宿 ; 2010年4月
- 2) ナイン・イエイ・アウン, 大竹浩也, 岩場晶子, 加藤智也, 大江倫太郎, 田嶋克史, 長瀬輝顕, 山川光徳 : Angioimmunoblastic T-cell Lymphoma Involvement in Palatine Tonsil as Primary Site. 第50回日本リンパ網内系学会総会, 新潟 ; 2010年6月
- 3) 大竹浩也, 加藤智也, 岩場晶子, 大江倫太郎, ナイン・イエイ・アウン, 山川光徳, 田嶋克史, 高野桂 : 甲状腺原発と考えられたfollicular lymphomaの一例. 第50回リンパ網内系学会総会, 新潟 ; 2010年6月

- 4) 佐藤裕子, 二本松明, 宇津木努, 安戸方邦, 吉田眞夢, 平井顯徳 : 癩痕への皮内鍼の効果について. 社団法人東洋療法学校協会第 32 回学術大会, 東京 ; 2010 年 10 月

## (2) 国内地方会

### i 一般演題

- 1) 加藤智也, ナイン・イエイ・アウン, 大江倫太郎, 大竹浩也, 岩場晶子, 山川光徳, 東海林佳兼, 五十嵐朗 : 新型インフルエンザ(A/H1N1)肺炎の一部検例. 第 70 回日本病理学会東北支部学術集会, 仙台 ; 2010 年 2 月
- 2) 岩場晶子, ナイン・イエイ・アウン, 熊沢豊, 大江倫太郎, 加藤智也, 大竹浩也, 山川光徳, 加藤哲子, 本山悌一, 布山繁美, 松永純 : 全身に多発する浸潤性紅斑の一例. 第 71 回日本病理学会東北支部学術集会, 山形 ; 2010 年 7 月

## (3) 研究会

### i 一般演題

- 1) 加藤智也, ナイン・イエイ・アウン, 大江倫太郎, 熊澤豊, 大竹浩也, 岩場晶子, 山川光徳 : セミノーマにおける血管新生・成熟と腫瘍内炎症細胞浸潤との相関. 第 20 回日本樹状細胞研究会, 新潟 ; 2010 年 6 月
- 2) 鈴木郁子, 加藤裕一, 高野桂, 廣島由紀, 塩野洋介, 田嶋克史, 岩場晶子, ナイン・イエイ・アウン, 熊澤豊, 大江倫太郎, 加藤智也, 大竹浩也, 山川光徳 : 木村氏病の診断でフォロー中に発症した悪性リンパ腫の一例. 第 9 回福島・新潟・山形血液スライドカンファレンス, 山形 ; 2010 年 10 月
- 3) 廣島由紀, 塩野洋介, 鈴木郁子, 加藤裕一, 高野桂, 田嶋克史, 大江倫太郎, ナイン・イエイ・アウン, 熊澤豊, 加藤智也, 大竹浩也, 岩場晶子, 山川光徳 : Castleman 病とホジキンリンパ腫の鑑別が問題となった一例. 第 9 回福島・新潟・山形血液スライドカンファレンス, 山形 ; 2010 年 10 月

# 薬剤部

## 1. 論文

### (1) 原著

- 1) 豊口禎子, 富永綾, 細谷順, 佐藤智也, 海老原光孝, 白石正:バンコマイシン PK/PD パラメーター変動と有害反応. 医療薬学. 2010 ; 36 : 419-424
- 2) 細谷順, 波多江崇, 渡邊由香, 深谷朋美, 倉本敬二, 東海林徹, 白石正:薬学生を対象とした手指衛生実習の有効性. 日病薬誌. 2010 ; 46 : 1496-1500
- 3) 本田麻子, 豊口禎子, 粕谷法子, 土谷宏美, 岸ひとみ, 押切佳代子, 白石正, 鈴木浩之:妊娠・授乳期薬物療法の情報提供に関する調査. 医薬品相互作用研究. 2010 ; 33 : 59-62
- 4) 志田敏宏, 小嶋文良, 豊口禎子, 加藤智幸, 富田善彦, 白石正:MVAC 療法の骨髄抑制発現に対する NSAID<sub>s</sub> の影響. 医薬品相互作用研究. 2010 ; 33 : 91-95
- 5) 加藤祐太, 志田敏宏, 豊口禎子, 白石正:併用注意および同種同効薬に対する処方鑑査システムの有用性. 医薬品相互作用研究. 2010 ; 34 : 71-75
- 6) 菅原拓也, 倉本敬二, 鈴木啓之, 白石正, 石井一成, 玉地正樹, 東海林徹:不溶性微粒子除去に対する輸液フィルターの有用性の検討. 静脈経腸栄養. 2010 ; 25 : 1243-1249
- 7) 竹末芳生, 谷川原祐介, 小林昌宏, 三鴨廣繁, 木村利美, 平田純生, 白石正, 柴田敏之, 高倉俊二:Vancomycin の Therapeutic drug monitoring (TDM) 実施に関する抗菌薬療法認定薬剤師制度委員会ならびに抗菌薬 TDM 標準化ワーキンググループの見解. 日化療誌. 2010 ; 58 : 18-19
- 8) 小林昌宏, 竹末芳生, 谷川原祐介, 三鴨廣繁, 木村利美, 平田純生, 白石正, 柴田敏之, 高倉俊二:抗MRSA薬のTDMに関する全国アンケート調査. 日化療誌. 2010 ; 58 : 119-123
- 9) 鈴木規子, 齊藤浩司, 横沢大輔, 山下貴子, 片桐祐司, 荒生剛, 稲毛稔, 豊口義夫, 豊口禎子, 白石正: Vinorelbine 投与時における静脈炎の予防. 日病薬誌. 2010 ; 46 : 955-958

### (2) 総説

- 1) 白石正:手指衛生に使用する製品・製剤を理解する. INFECTION CONTROL. 2010 ; 19 : 575-578
- 2) 白石正:知っておきたい消毒薬の知識. 日内誌. 2010 ; 99(8) : 166-172
- 3) 白石正:成人市中肺炎. 月刊薬事. 2010 ; 52(11) : 119-125
- 4) 白石正:感染制御認定薬剤師および感染制御専門薬剤師. ファルマシア. 2010 ; 46(10) : 957-959
- 5) 豊口禎子:患者背景に応じた薬学的管理、妊婦. 薬事. 2010 ; 52(7) : 961-965
- 6) 豊口禎子:妊娠・授乳期婦人への薬物投与例. 薬事. 2010 ; 52(2) : 270
- 7) 細谷順, 白石正:デバイス衛生管理における薬剤師の役割. 感染対策 ICT ジャーナル. 2010 ; 5(1) : 104-107
- 8) 細谷順:内視鏡の消毒 DO Not & エビデンス. INFECTION CONTROL. 2010 ; 20(1) : 63-67

### (3) 著書

- 1) 白石正 (分筆):消毒薬の適切な使用法. 山口恵三編, ゼロから始める感染制御と一歩進んだ耐性菌対策. 東京;じほう, 2010 : 27-32

### (4) その他

- 1) 志田敏宏:腎癌の分子標的治療チームにおける薬剤師の役割. 山形県病薬 DI News. 2010 ; 21 : 34-36
- 2) 志田敏宏:手術部における薬剤師の活動と今後の課題. 薬事新報. 2010 ; 2642 : 859-861

## 2. 学会報告

### (1) 国内の学会

#### i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 白石正:感染管理に関する最近の動向シンポジウム「シンポジウムの目的」. 第20回日本医療薬学会年会, 千葉;2010年11月



## ii 一般演題

- 1) 小嶋文良, 志田敏宏, 山澤真之, 加藤祐太, 小沢実香, 後藤真弥, 白石正: パクリタキセル、シスプラチン投与直後にワルファリンカリウムの抗凝固作用が増強した症例. 日本薬学会 第130年会, 岡山; 2010年3月
- 2) 渡辺由香, 波多江崇, 倉本敬二, 深谷朋美, 鈴木孝司, 多田均, 細谷順, 白石正, 東海林徹: 手洗いに関する学生の意識を高めるために実習は有用か. 日本薬学会 第130年会, 岡山; 2010年3月
- 3) 志田敏宏, 小嶋文良, 豊口禎子, 加藤智幸, 富田善彦, 白石正: MVAC療法の骨髄抑制発現に対するNSAIDsの影響. 第98回日本泌尿器科学会総会, 盛岡; 2010年4月
- 4) 太田聖子, 丘龍祥, 金野昇, 新関昌宏, 豊口禎子, 白石正: 経腸栄養剤データベースの構築. 医療薬学フォーラム2010/第18回クリニカルファーマシーシンポジウム, 広島; 2010年7月
- 5) 高野佳奈子, 本田麻子, 豊口禎子, 粕谷法子, 土谷宏美, 岸ひとみ, 押切佳代子, 白石正, 鈴木啓之: 妊娠・授乳期薬物療法に関わる薬剤師の現状と課題. 医療薬学フォーラム2010/第18回クリニカルファーマシーシンポジウム, 広島; 2010年7月
- 6) 富永綾, 豊口禎子, 高橋信明, 細谷順, 白石正, 伊関憲: 当院におけるアセトアミノフェン中毒症例の検討. 医療薬学フォーラム2010/第18回クリニカルファーマシーシンポジウム, 広島; 2010年7月
- 7) 志田敏宏, 山川真由美, 大滝和幸, 鹿野たかね, 志田正子, 福井忠久, 金野昇, 豊口禎子, 吉岡孝志, 白石正: 悪性黒色腫に伴うがん性悪臭に対するクリンダマイシンパテの有用性. 第4回日本緩和医療薬学会年会, 鹿児島; 2010年9月
- 8) 太田聖子, 志田敏宏, 豊口禎子, 白石正, 桜田香: 初発の悪性神経膠腫におけるテモゾロミドと放射線併用療法の副作用に及ぼす因子の検討. 第20回日本医療薬学会年会, 千葉; 2010年11月
- 9) 豊口禎子, 高野佳奈子, 本田麻子, 細谷順, 白石正: 授乳婦への薬物投与評価法の比較検討. 第20回日本医療薬学会年会, 千葉; 2010年11月
- 10) 菅原拓也, 倉本敬二, 鈴木啓之, 白石正, 東海林徹: 注射シリンジ由来の不溶性微粒子に関する研究. 第20回日本医療薬学会年会, 千葉; 2010年11月

## (2) 国内地方会

### i 一般演題

- 1) 丘龍祥, 太田聖子, 金野昇, 新関昌宏, 豊口禎子, 柏倉美幸, 大津信博, 水谷雅臣, 白石正, 木村理: 濃厚流動食(食品)を含んだ経腸栄養剤の適正使用に向けた取り組み～経腸栄養剤の成分表示に対する検討～. 第25回東北静脈経腸栄養研究会, 山形; 2010年11月

## (3) 研究会

### i 一般演題

- 1) 加藤祐太: 降圧薬の併用状況と配合剤の有用性. 臨床薬学研究会, 山形; 2010年1月
- 2) 加藤祐太, 志田敏宏, 高橋洋子, 高橋信明, 本田麻子, 小林武志, 高野佳奈子, 阿部緑, 豊口禎子, 白石正: 相互作用システムによるリスク回避効果の検討. 山形県薬学大会, 山形; 2010年3月
- 3) 高野佳奈子, 本田麻子, 豊口禎子, 粕谷法子, 土谷宏美, 岸ひとみ, 押切佳代子, 白石正, 鈴木啓之: 妊娠・授乳期薬物療法に関するアンケート調査結果. 山形県薬学大会, 山形; 2010年3月
- 4) 細谷翠, 富永綾, 豊口禎子, 白石正: 当院眼科病棟における持参薬調査. 第65回医薬品相互作用研究会シンポジウム, 盛岡; 2010年5月
- 5) 太田聖子: 経腸栄養剤データベースの構築. 臨床薬学研究会, 山形; 2010年7月
- 6) 志田敏宏: がん性悪臭に対するクリンダマイシンパテの有用性. 山形県緩和医療研究会, 山形; 2010年9月
- 7) 小林武志: サリドマイドについて-TERMS<sup>®</sup>改訂点と副作用管理. 第19回山形造血器疾患研究会, 山形; 2010年11月
- 8) 丘龍祥, 太田聖子, 柏倉美幸, 大津信博, 水谷雅臣, 白石正, 木村理: 経腸栄養剤および濃厚流動食の適正使用に向けた取り組み～成分表示方法に対する検討～. 第8回山形NSTセミナー学術集会, 山形; 2010年12月

## (4) その他

- 1) 白石正: 洗浄・消毒・滅菌の基礎と実際. 厚労省委託事業 平成21年度院内感染対策講習会, 仙台; 2010

- 年1月
- 2) 白石正：病棟における輸液調製と感染防止対策. 第31回日病薬近畿学術大会ランチョンセミナー, 京都; 2010年1月
  - 3) 白石正：実践に活かせる消毒薬の最新トピックス. 第25回日本環境感染学会教育セミナー, 東京; 2010年2月
  - 4) 白石正：インフルエンザの現状と対策. 花王サニテーションセミナー, 札幌; 2010年3月
  - 5) 白石正：新型インフルエンザの流行でわかったこと. 平成21年度山形県学校薬剤師会研修会, 山形; 2010年3月
  - 6) 白石正：消毒薬の質問にお答えします. 福島県感染対策セミナー, 郡山; 2010年4月
  - 7) 白石正：感染制御にかかわる論文作成のポイント. 平成22年度感染制御専門薬剤師講習会, 福岡; 2010年5月
  - 8) 白石正：栄養管理と感染管理. 第12回日本医療マネージメント学会, 札幌; 2010年6月
  - 9) 白石正：感染制御（認定・専門）薬剤師の申請・更新および論文作成のポイントと最近の話題. 平成22年度札幌市病薬感染制御専門薬剤師セミナー, 札幌; 2010年7月
  - 10) 白石正：四種抗体ワクチンとガイドライン. 第15回南東北化学療法研究会, 仙台; 2010年9月
  - 11) 白石正：消毒薬の適正使用. 平成22年度山形大学医学部公開講座, 山形; 2010年10月
  - 12) 白石正：栄養管理と感染防止対策に関する情報提供. 大塚製薬社内講演, 徳島; 2010年11月
  - 13) 白石正：感染制御部門・認定薬剤師制度の最近の状況. 平成22年度山形県病院薬剤師会感染対策講習会, 山形; 2010年11月
  - 14) 白石正：感染制御薬剤師の知識および論文作成のポイント. 埼玉県病院薬剤師会講演会, 埼玉; 2010年11月
  - 15) 豊口禎子：薬物血中濃度の医療現場における活用. 平成21年度岩手県立病院薬剤師会研修会, 盛岡; 2010年2月
  - 16) 豊口禎子：専門薬剤師の活動とは. 平成21年度山形県薬剤師会第7回新任薬剤師強化研修会, 天童; 2010年2月
  - 17) 豊口禎子：授乳婦への薬物投与について. 平成21年度長野県病院薬剤師会薬剤師専門講座, 松本; 2010年2月
  - 18) 豊口禎子：症例から学ぶ—抗菌薬療法の実際—. 第18回山形造血管疾患研究会, 山形; 2010年6月
  - 19) 豊口禎子：抗インフルエンザ・抗菌薬の作用と効果. 第15回山形大学医学部技術部職員研修会, 山形; 2010年8月
  - 20) 豊口禎子：生涯学習研修. 第43回全国統一薬事講習会, 上山; 2010年9月
  - 21) 豊口禎子：母乳と薬について. 平成22年度妊婦授乳婦薬物療法認定薬剤師講習会, 東京; 2010年10月
  - 22) 豊口禎子：授乳婦への薬物療法が乳児へ及ぼす影響の評価. 第4回妊婦・授乳婦専門薬剤師養成研修会, 東京; 2010年11月
  - 23) 豊口禎子：抗菌薬のTDM. 山形大学感染対策に関する講演会, 山形; 2010年11月
  - 24) 豊口禎子：母乳中薬物の乳児への影響と情報源. 平成22年度仙台市薬剤師会学術研修会, 仙台; 2010年12月
  - 25) 新関昌宏：抗がん剤監査システムの導入. 山形県がん化学療法セミナー, 山形; 2010年5月
  - 26) 細谷順：消毒剤の使い方. JICA集団研修「病院薬学コース」, 東京; 2010年10月
  - 27) 志田敏宏：手術部における薬剤師の活動と今後の課題. 第49回山形県病院薬剤師研修会, 山形; 2010年5月
  - 28) 志田敏宏：腎細胞癌チーム医療における薬剤師の役割. RCC Expert Meeting in SENDAI—Achieving Optimal Benefit with Sutent in mRCC—, 仙台; 2010年5月
  - 29) 志田敏宏：分子標的薬治療チームにおける薬剤師の役割. 第40回腎癌研究会記念大会—JAPANESE KIDNEY CANCER SYMPOSIUM—, 2010年7月
  - 30) 細谷翠：みんなで育てよう未来のくすり、くすりの開発～治験ってなに？～. 治験管理センター市民公開講座, 山形; 2010年12月

# 先端分子疫学研究所（ゲノム情報解析ユニット）

## 1. 論文

### (1) 原著

- 1) Ueki M, Fueda K : Boosting local quasi-likelihood estimators. *Ann Inst Stat Math* 2010;62(2):235-248.

### (2) 総説

- 1) 今田 恒久, 中村 智洋. 対照比較のための多変量多重比較法について. *計算機統計学* 2010; 23(1), 45-58.

## 2. 学会報告

### (1) 国際学会

#### i 一般演題

- 1) Kawasaki Y. and Ueki M. Variable Selection in Discrete Choice Models, American Statistical Association, Vancouver; August 2010.
- 2) Ueki M, Tamiya G : A machine learning approach for genome-wide interaction analysis. the 60th annual meeting of the American Society for Human Genetics; Washington; November 2010
- 3) Makino S, Tamiya G, Tooyama I. Neuron-specific enhanced expression of TAF1 and its isoform. the 60th annual meeting of the American Society for Human Genetics; Washington; November 2010

### (2) 国内の学会

#### i 一般演題

- 4) 田宮元: 山形コホートによるパーソナルゲノム医療と健康増進の実現. 国家戦略としてのがん研究シンポジウム、国立がん研究センター、東京; 2010年7月
- 5) 田宮元: 最新のゲノムテクノロジーを用いた生殖遺伝学研究の試み. 新学術領域研究「動植物に共通するアロ認証機構の解明」第一回班会議、名古屋; 2010年7月

# 編 集 後 記

編集委員長（人体病理学講座教授）

本 山 悌 一

今回より、研究業績集は、冊子体が止められ、電子体のみとなった。利用される方に変化が起こるかどうか、先ずは経過を見て、そして意見を聞いてみたい。ところで、研究業績集は何のためにあるのだろうか。優れた研究業績があるところでは、それを誇ることに有効であろう。一方で、数だけを頼み、およそ研究業績とは言えないものまでも載せてくるというところがあれば、研究者としての品位を疑われることにもなりかねない。書かれたものは、読まれなければ全く意味がないと私は考える。その読者の第一が自分自身、自分たち自身であってもよい。業績を集めたものを読むことによって、これまでの研究の道筋を改めて整理することができ、今後の方向性を考える資料とすることができるからである。読者が他の講座や部署の人間である場合、それらの人たちから自分たちの仕事を知ってもらうことができる。勿論自分たちが研究業績集によって他の人たちの仕事を知ることもできる。真の共同研究はそういうところから生まれてくるはずだからである。また、興味を引くタイトルをみて、その論文を実際熟読してみて、ここにこんな素晴らしい研究をしている人がいるのだとか、あの人はこんな素晴らしい仕事をしていたのだと知ることは、大変嬉しいことでもある。人を知るための道具の一つとしてあることは、間違いない。

(2011年7月)

## 山形大学医学部研究業績集編集委員会

委員長	本	山	梯	一※
副委員長	中	村	孝	夫
副委員長	石	幡		明
委員	浅	尾	裕	信
委員	根	本	建	二
委員	川	前	金	幸

※ 編集責任者

平成23年 8月印刷  
平成23年 8月発行

編集兼  
発行者 山形大学医学部  
山形市飯田西2丁目2-2

印刷所 株式会社 大風印刷  
山形市蔵王松ヶ丘1-2-6